# アチック写真　資料概要（粗目録）
2011/06/02改訂

| 資料単位 | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報　（*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料　アルバム | 001 | | **1　喜界島Ⅰ（岩倉市郎氏撮影）**<br>（＊阿伝末吉神社のドゥンガンドー、観音様の社と洗濯場など） | 1　喜界島Ⅰ（岩倉市郎氏撮影） | 39 |
| 財団引継資料　アルバム | 002 | | **2　喜界島Ⅱ（岩倉市郎氏撮影）**<br>（＊正月の床飾り、盆の夜の夕涼みなど） | 2　喜界島Ⅱ（岩倉市郎氏撮影） | 24 |
| 財団引継資料　アルバム | 003 | | **3　喜界島**<br>（＊材木運搬、蘇鉄の実干し、脱穀機による麦の脱穀、竹馬に乗る子供達など） | 3　喜界島 | 48 |
| 財団引継資料　アルバム | 004 | | **4　喜界島**<br>（＊葬式の行列、タマヤ、墓地、豚の皮剥ぎなど、焼いた山羊の腹を割くところなど） | 4　喜界島 | 17 |
| 財団引継資料　アルバム | 005 | | **5　喜界島**<br>（＊溜め池、薯植え、道普請、牛の品評会、正月の買物を馬に乗って行く人々など） | 5　喜界島 | 37 |
| 財団引継資料　アルバム | 006 | | **6　喜界島　7**<br>（＊阿伝の砂糖小屋、屋根葺、阿伝の岩倉宅、高倉、家建でハミダスを両方建て終わったところなど） | 6　喜界島　7 | 27 |
| 財団引継資料　アルバム | 007 | | **7　喜界島　鹿児島　沖永良部**<br>（＊奄美丸の甲板より開聞岳を望む、鹿児島県伊敷の民家、沖永良部島知名村のクダ屋、沖永良部島知名村の甘藷畑のシメなど） | 7　喜界島　鹿児島　沖永良部 | 25 |
| 財団引継資料　アルバム | 008 | | **8　喜界島**<br>（＊砂糖黍運搬に馬に乗って行く人、砂糖黍の圧搾機、田の水のシメ、苗取り、作業歌を歌いながらの麦打ちなど） | 8　喜界島 | 57 |
| 財団引継資料　アルバム | 009 | | **十島行写真　竹島硫黄島**<br>（＊十島丸より竹島を望む、硫黄島の硫黄島港と矢筈岳を後方に望む、硫黄島の太鼓踊り、口之島のアダン、） | 十島行写真　竹島硫黄島 | 103 |
| 財団引継資料　アルバム | 010 | | **十島行写真　口ノ島　中ノ島**<br>（＊口之島の刳船、口之島の耕地に植わる水芋、中之島のクバ、中之島の階段道と高倉、中之島の俵踊りなど） | 十島行写真　口ノ島　中ノ島 | 105 |
| 財団引継資料　アルバム | 011 | | （＊諏訪之瀬島の山火事、平島の鳥居の上の大きなガジュマル、小宝島の海岸の珊瑚礁、小宝島の犁など） | [　] | 86 |
| 財団引継資料　アルバム | 012 | | **十島行写真　宝島・大島名瀬住用村（Ⅳ）**<br>（＊宝島珊瑚礁上にて十島調査団集合写真、宝島の水井戸、奄美大島名瀬町の奄美本通り、奄美大島住用村城での蘇鉄の実干など） | 十島行写真　宝島・大島名瀬住用村（Ⅳ） | 83 |
| 財団引継資料　アルバム | 013 | | **十島行写真□　大島大和村、口之永良部、鹿児島、櫻島　（Ⅴ）**<br>（＊奄美大島大和村大和浜遠景、奄美大島大和村大和浜の龍舌蘭の花、奄美大島大和村恩勝の高倉、口之永良部島の子守、鹿児島市内の桜島へ帰る物売りの女性など） | 十島行写真□　大島大和村、口之永良部、鹿児島、櫻島（Ⅴ） | 58 |
| 財団引継資料　アルバム | 014 | | **三宅島　採訪（11）** | 三宅島　採訪（11） | 19 |
| 財団引継資料　アルバム | 015 | | **新島・式根島（藤木喜久麿氏撮影）** | 新島・式根島（藤木喜久麿氏撮影） | 50 |
| 財団引継資料　アルバム | 016 | | **民俗繪葉書（Ⅲ）　新島　式根島** | 民俗繪葉書（Ⅲ）　新島　式根島 | 27 |
| 財団引継資料　アルバム | 017 | | 欠番 | 欠番 | 0 |
| 財団引継資料　アルバム | 018 | | **脇本　越後　瀬戸内海　磯貝　高橋　吉田**<br>（＊村の産土神のトシドリ神のヒバ、新潟県北蒲原郡赤谷村瀧谷での熊の狩猟後の解剖、大晦日のミタマメシ、仙岩峠六枚沢の架橋先の登路途上で出会った炭焼きの男性の装束、鯛網漁、志摩半島の漁村、塩田の遠景、児島湾内のカシギ漁場の番小屋,など） | 脇本　越後　瀬戸内海　磯貝　高橋　吉田 | 84 |
| 財団引継資料　アルバム | 019 | | **採訪（4）　オキ　エチゴ** | 採訪（4）　オキ　エチゴ | 52 |
| 財団引継資料　アルバム | 020 | | **採訪（2）　オキ** | 採訪（2）　オキ | 33 |
| 財団引継資料　アルバム | 021 | | **民俗繪葉書（Ⅱ）　ウルシ取　大原女** | 民俗繪葉書（Ⅱ）　ウルシ取　大原女 | 8 |
| 財団引継資料　アルバム | 022 | | **採訪（1）　伊那　十津川　熊野**<br>（＊三信国境線新野峠より山々を望む、下伊那郡神原村坂部の石置きの民家の屋根、吉野郡十津川村折立にて鹿革製の羽織と袴を着用した男性、南牟婁郡泊村古泊にて頭に薪を載せた女性など） | 採訪（1）　伊那　十津川　熊野 | 29 |
| 財団引継資料　アルバム | 023 | | **採訪（15）**<br>（＊琵琶湖周辺などヵ） | 採訪（15） | 34 |
| 財団引継資料　アルバム | 024 | | **採訪（5）**<br>（＊静岡県田方群周辺など） | 採訪（5） | 60 |
| 財団引継資料　アルバム | 025 | | **採訪（7）　三河**<br>（＊奥三河段戸山の苗畑、奥三河段戸山椹尾集落にてショイタを着た女性、北設楽郡段峰村田峯観音の神楽堂、北設楽郡田口町の馬市にてセリを見る人々、岡崎市の大蔵永常旧宅と伝えられる家、岐阜県恵那郡三濃村下柏尾にて背負い子を持つ男子、愛知県北設楽郡本郷町中在家の花祭の湯囃し） | 採訪（7）　三河 | 49 |
| 財団引継資料　アルバム | 026 | | **採訪（19）　三河**<br>（＊田口町長江の夏目義吉宅にて新盆行事見学の一行記念写真、奥三河北設楽郡田口町長江の夏目義吉家、斜面に建つ家屋など） | 採訪（19）　三河 | 23 |
| 財団引継資料　アルバム | 027 | | **花祭視察旅行　榎本文治氏　玉生道経氏撮影**<br>（＊花祭見学の一行、北設楽郡下津具村和市のヒゴヤ、花祭の鬼面、北設楽郡本郷町中在家の花祭の舞庭など） | 花祭視察旅行　榎本文治氏　玉生道経氏撮影 | 21 |
| 財団引継資料　アルバム | 028 | | **志摩** | 志摩 | 19 |
| 財団引継資料　アルバム | 029 | | **塩に関する資料　新潟** | 塩に関する資料　新潟 | 1 |
| 財団引継資料　アルバム | 030 | | **採訪　（20）　アワラの田植** | 採訪　（20）　アワラの田植 | 48 |
| 財団引継資料　アルバム | 031 | | **片田家の小正月行事　染物家株札　瞽女所謂「特殊部落」の一部　※1** | 片田家の小正月行事　染物家株札　瞽女所謂「特殊部落」の一部※1 | 7 |
| 財団引継資料　アルバム | 032 | | **越後　村上　福島潟** | 越後　村上　福島潟 | 56 |
| 財団引継資料　アルバム | 033 | | **採訪（18）**<br>（＊越後三面、北設楽中在家、雫石など、アチックフィルム「男鹿オシラアソビ他」に写る漁村、大屋斎藤家ダイドコの囲炉裏上部など） | 採訪（18） | 37 |
| 財団引継資料　アルバム | 034 | | **上伊那　□□　多島海　その他　ウケ**<br>（＊上洛月島の浜辺、下洛月島の浜辺にあげられた船、越後三面川鮭漁場地域図、たくさんの筌を前に煙管で一服する男性など） | 上伊那　□□　多島海　その他　ウケ | 46 |
| 財団引継資料　アルバム | 035 | | **三面村民俗（Ⅰ）　村上清文氏撮影** | 三面村民俗（Ⅰ）　村上清文氏撮影 | 43 |
| 財団引継資料　アルバム | 036 | | **三面村民俗（Ⅱ）　村上清文氏撮影** | 三面村民俗（Ⅱ）　村上清文氏撮影 | 46 |
| 財団引継資料　アルバム | 037 | | **三面村民俗（Ⅲ）　村上清文氏撮影** | 三面村民俗（Ⅲ）　村上清文氏撮影 | 35 |
| 財団引継資料　アルバム | 038 | | **三面** | 三面 | 20 |
| 財団引継資料　アルバム | 039 | | **採訪（10）高橋氏　三面　粟島**<br>（＊ゴム靴に帽子を被り荷を背負った男性二人、小国の街並みと羽織袴で歩く男性の老人、栃倉より三面への途中のブナ林の道、三面村の正月の鏡餅など） | 採訪（10）高橋氏　三面　粟島 | 51 |
| 財団引継資料　アルバム | 040 | | **採訪（12）　越後** | 採訪（12）　越後 | 23 |
| 財団引継資料　アルバム | 041 | | **採訪（13）**<br>（＊越後三面など） | 採訪（13） | 45 |
| 財団引継資料　アルバム | 042 | | **採訪（17）　三面** | 採訪（17）　三面 | 24 |
| 財団引継資料　アルバム | 043 | | **民俗繪葉書（Ⅰ）　三面川　能代　牛堀**<br>（＊大館、茨城農人形） | 民俗繪葉書（Ⅰ）　三面川　能代　牛堀 | 42 |
| 財団引継資料　アルバム | 044 | | **吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村1** | 吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村1 | 66 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | アルバム | 045 | | **吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村2** | 吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村2 | 32 |
| 財団引継資料 | アルバム | 046 | | **吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村3** | 吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村3 | 47 |
| 財団引継資料 | アルバム | 047 | | **吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村四** | 吉田三郎氏撮影　寒風山麓脇本村四 | 38 |
| 財団引継資料 | アルバム | 048 | | **吉田三郎氏足半製作写真** | 吉田三郎氏足半製作写真 | 20 |
| 財団引継資料 | アルバム | 049 | | **採訪（8）　仙岩峠　高山**<br>（＊沢内村川舟佐藤家の囲炉裏と側で話す老父と老婆、沢内村の駒形社の鳥居、橋場駅前で袋や背負い板で栗拾いの箱状のものを運ぶ人々、仙岩峠頂上から見た岩手山などの遠景、角館の家並みなど） | 採訪（8）　仙岩峠　高山 | 63 |
| 財団引継資料 | アルバム | 050 | | **採訪（6）　マタギ**<br>（＊狩りの後の獲物分配の様子、ウマノツラを被り炭焼き運搬用の橇を背負う二人の女性、野辺送りの葬列、マタギの古老など） | 採訪（6）　マタギ | 39 |
| 財団引継資料 | アルバム | 051 | | （＊アルバムのみ、写真なし） | 筌ノ写真 | 0 |
| 財団引継資料 | アルバム | 052 | | **採訪（3）　霞浦　栃木** | 採訪（3）　霞浦　栃木 | 27 |
| 財団引継資料 | アルバム | 053 | | **アイヌ民俗　7** | アイヌ民俗　7 | 11 |
| 財団引継資料 | アルバム | 054 | | **白老アイヌ写真集** | 白老アイヌ写真集 | 21 |
| 財団引継資料 | アルバム | 055 | | **朝鮮**<br>（＊竹籤のようなものでできた杓子や刳られた洗い桶のようなもの、白いものが入った鉢、石臼、集落内の大きな木の前で写る人、板塀など） | 朝鮮 | 7 |
| 財団引継資料 | アルバム | 056 | | **採訪（14）　朝鮮**<br>（＊丸木で作られた桶状の入れ物、フネ、京城府昌徳宮庭園の東屋、竹垣とそれをのぞく調査者や地元の人々、犬、筵機で筵を織る人など） | 採訪（14）　朝鮮 | 27 |
| 財団引継資料 | アルバム | 057 | | **採訪（16）　蔚山**<br>（＊細い道を行く二人の女性、敷地内小屋の裏の木、唐臼など） | 採訪（16）　蔚山 | 3 |
| 財団引継資料 | アルバム | 058 | | **朝鮮　全羅南道多島海**<br>（＊口籠をつけた農耕用牛と男達、織機（pe-tul）、鎮里の風の神、チプセギとチゲなど） | 朝鮮　全羅南道多島海 | 11 |
| 財団引継資料 | アルバム | 059 | | **朝鮮　蔚山邑達里　（一）**<br>（＊帽子を被り立つ男、歓迎の宴の様子、水甕を頭にのせる女性、頭にものを載せ運ぶ女性たちなど） | 朝鮮　蔚山邑達里　（一） | 37 |
| 財団引継資料 | アルバム | 060 | | **朝鮮　蔚山邑達里　（二）**<br>（＊パアチゲと杖、下草を刈る朴容文、調査本部であった洞舎前での調査員と子供たちなど） | 朝鮮　蔚山邑達里　（二） | 37 |
| 財団引継資料 | アルバム | 061 | | **朝鮮　蔚山・新亭里・兵榮・慶州**<br>（＊家屋と物干し、輿を先頭に進む人々、枝の束をチゲに乗せたまま下ろしている男性達、遠景から見た櫓漕ぎの網舟2艘など） | 朝鮮　蔚山・新亭里・兵榮・慶州 | 35 |
| 財団引継資料 | アルバム | 062 | | **朝鮮旅行写真（蔚山邑達里）**<br>（＊朝鮮慶尚南道蔚山邑達里周辺のとある地図、チゲにスコップや1斗缶を乗せその横に立つ男、麦の篩分けなど） | 朝鮮旅行写真（蔚山邑達里） | 16 |
| 財団引継資料 | アルバム | 063 | | **採訪（9）　朝鮮・兵庫**<br>（＊木浦港に帰港する金剛丸、前曾島羽田里の遠景、鎮里の堂山木、風の神と渋沢敬三、16ミリカメラで撮影する渋沢敬三など） | 採訪（9）　朝鮮・兵庫 | 23 |
| 財団引継資料 | アルバム | 064 | | **多島海喜界島**<br>（＊大許沙島の玩具の舟、全羅南道扶南群島附近のニベを捕る漁舟、上洛月里の働く女性、水島の祖霊を祀る壇、調査の合間の昼飯、家屋前での渋沢と3人の写真など） | 多島海喜界島 | 71 |
| 財団引継資料 | アルバム | 065 | | **朝鮮旅行写真（蔚山邑達里、慶州、多島海）**<br>（＊パアチゲを背負う人とスコップを持つ人、縁側での記念撮影、仏国寺裏山より慶州附近を見るなど） | 朝鮮旅行写真（蔚山邑達里、慶州、多島海） | 6 |
| 財団引継資料 | アルバム | 066 | | **朝鮮旅行写真（多島海、平壌、京城）、四国旅行写真（佐多岬、宇和島）**<br>（＊波市の料理屋の店先、波市の料理屋の店先、平壌市街、孝南里の家、朝鮮総督府の広間、佐多岬の北岸遠景など） | 朝鮮旅行写真（多島海、平壌、京城）、四国旅行写真（佐多岬、宇和島） | 23 |
| 財団引継資料 | アルバム | 067 | | **台湾**<br>（＊カピアン社頭目、台南州佳里街の廟、台南州呉鳳廟前での田植えの様子、台南市安平旧英国領事館跡と陳森塗、台南州三鯤鯓海岸に集まる漁夫と仲買人達など） | 台湾 | 25 |
| 財団引継資料 | アルバム | 068 | | **雑輯**<br>（＊ナンバ（雪の上をはく下駄）、筏のウエ（熊野川成川にて）、フカグツ、下伊那郡神原村本山にてソデナシにナタカゴを提げた炭焼きの男性達など） | 雑輯 | 15 |
| 財団引継資料 | アルバム | 069 | | **高砂族**<br>（＊川漁の様子を撮影する鹿野忠雄、ヤスのようなものと竹製の筌のようなものをもつ現地の人、川に筌を設置する現地の様子など） | 高砂族 | 9 |
| 財団引継資料 | アルバム | 070 | | **カピヤン**<br>（＊カピヤンの集落と耕地、里芋（バサ）の植付、泉（タタン）で洗い物や洗濯をするカピヤンの女性達、耕作地の斜面など） | カピヤン | 32 |
| 財団引継資料 | アルバム | 071 | | **台湾旅行**<br>（＊下パイワン社の集落遠景、下パイワン社の笠（リナイ）の製作、ピューマ社の女性の服装、頭上運搬をするピューマ社の女性など） | 台湾旅行 | 20 |
| 財団引継資料 | アルバム | 072 | | **（クワルス）**<br>（＊クワルス社の集落遠景、クワルス社の頭目の家屋の前の石板の前に座る人々、クワルス社にて狩りの支度をした男性達など） | （クワルス） | 51 |
| 財団引継資料 | アルバム | 073 | | **ライ　トラン　其の他**<br>（＊ライ社より林辺渓を望む、ライ社の集落と家屋、キセルを咥えたライ社の男性、トランの家屋、トランの穀物が入れられた盆状の民具と網代編みされたボシェット状の容器など） | ライ　トラン　其の他 | 64 |
| 財団引継資料 | アルバム | 074 | | **パクヒョウ　マカザヤザヤ**<br>（＊屋外で編み物をパクヒョウの女性、毛皮製の袖無を着るパクヒョウの男性、川岸の巨石の上で釣り竿を上げるパクヒョウの男の子と多くの筌の前に座るパクヒョウの女性、民族衣装を着たパイルス女性の手首や指の装飾、トコルと呼ばれる亀甲型雨具を被るマカザヤザヤの男の子、タパウにて鍋で煮炊きをする二人のタラバコンの女性など） | パクヒョウ　マカザヤザヤ | 52 |
| 財団引継資料 | アルバム | 075 | | **[　]**<br>（＊草山の山中からの遠景、草山の山裾の家屋、学甲庄の家屋と畑、大武山付近で群れをなす牛など） | [　] | 42 |
| 財団引継資料 | アルバム | 076 | | **資料　棒踊　農業図**<br>（＊新潟県中頸城郡の火祭り、農業図絵など） | 資料　棒踊　農業図 | 11 |
| 財団引継資料 | アルバム | 077 | | **資料（漁業）　霞ヶ浦　幌別**<br>（＊南島巡歴紀行、北海道幌別の漁夫、三河下津具柿平の農業に関する覚、江戸城周辺絵図など） | 資料（漁業）　霞ヶ浦　幌別 | 19 |
| 財団引継資料 | アルバム | 078 | | **記念写真**<br>（＊味野町荻野正孝邸前での記念写真、福武丸と瀬戸内海島嶼調査団一行、奄美大島から鎮三男氏を迎えてなど） | 記念写真 | 31 |
| 財団引継資料 | アルバム | 079 | | **新島民具** | 新島民具 | 22 |
| 財団引継資料 | アルバム | 080 | | **カラフト　シーボルト** | カラフト　シーボルト | 66 |
| 財団引継資料 | アルバム | 081 | | **小屋組模型　保谷出水** | 小屋組模型　保谷出水 | 13 |
| 財団引継資料 | アルバム | 082 | | **足半** | 足半 | 17 |
| 財団引継資料 | アルバム | 083 | | **資料（漁業）　九十九里　その他** | 資料（漁業）　九十九里　その他 | 22 |
| 財団引継資料 | アルバム | 084 | | **資料　南部　桧枝岐**<br>（＊小正月の飾り物、ワラジにオソカゲを装着したもの、ワラグツ、畑脇に立つ祠のようなものと、そばに立つ市川信次、明神べい　桧枝岐など） | 資料　南部　桧枝岐 | 27 |
| 財団引継資料 | アルバム | 085 | | **資料　オコゼ　ムツゴロウ** | 資料　オコゼ　ムツゴロウ | 2 |
| 財団引継資料 | アルバム | 086 | | **□□**<br>（＊木地屋　手廻しロクロ） | □□　木地屋 | 1 |
| 財団引継資料 | アルバム | 087 | | **日本青年館所蔵民具** | 日本青年館所蔵民具 | 13 |
| 財団引継資料 | アルバム | 088 | | **筌古図** | 筌古図 | 13 |
| 財団引継資料 | アルバム | 089 | | **筌**<br>（＊Romok、ブヌン族使用のスグージュ、魚入など） | 筌 | 87 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報　(*)内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | アルバム | 090 | | **筌**<br>（＊コピル゜、カパサウ、ヒイコオーなど） | 筌 | 48 |
| 財団引継資料 | アルバム | 091 | | **雑輯　□□　その他**<br>（＊エブリ、編み笠、塩田作業など） | 雑輯　□□　その他 | 12 |
| 財団引継資料 | アルバム | 092 | | **オシラサマ寫真**<br>（＊青森県八戸市のオシラサマ、岩手県雫石村のオシラサマ、岩手県附馬牛村のオシラサマなど） | オシラサマ寫真 | 59 |
| 財団引継資料 | アルバム | 093 | | **資料　テスリツム**<br>（＊幕末の絵巻より接写したテスリツムの場面、犬追物屏風絵より足半をはく人、小千谷ちぢみ絵巻より接写したテスリツムの場面など） | 資料　テスリツム | 11 |
| 財団引継資料 | アルバム | 094 | | **石器時代漁具標本** | 石器時代漁具標本 | 40 |
| 財団引継資料 | アルバム | 095 | | **資料（漁業）　内浦** | 資料（漁業）　内浦 | 9 |
| 財団引継資料 | アルバム | 096 | | **資料（漁業）　捕鯨　南洋漁具** | 資料（漁業）　捕鯨　南洋漁具 | 15 |
| 財団引継資料 | アルバム | 097 | | **資料（内浦古文書）**<br>（＊パイルス社の高倉式穀倉と家屋、パイルス社の家屋の見取り図など） | 資料（内浦古文書） | 47 |
| 財団引継資料 | アルバム | 098 | | （＊内浦古文書、灘浦古文書、片山家古文書など） | [　] | 34 |
| 財団引継資料 | アルバム | 099 | | **斉藤家大（観）**<br>（＊斎藤善助家の入口、名子橋本孫蔵家、斎藤善助家ジョウイからトドコベヤやハシリマエをのぞむ、麦（穂）の種類七種など） | 斉藤家大（観） | 24 |
| 財団引継資料 | アルバム | 100 | | **和具**<br>（＊味野の紡績工場と木造船、麦と除虫菊が栽培されている釜島の畑、志々島の港の集落と畑の区割、高見島遠景、和具の海女の作業風景など） | 和具 | 36 |
| 財団引継資料 | アルバム | 101 | | **岡山池田家所蔵品**<br>（＊『池田家所蔵洛中洛外図屏風』接写魚屋･町屋、草鞋、草履など） | 岡山池田家所蔵品 | 39 |
| 財団引継資料 | アルバム | 102 | | **古文書　内浦　栃尾又**<br>（＊栃尾又入湯用心之覚など古文書） | 古文書　内浦　栃尾又 | 26 |
| 財団引継資料 | アルバム | 103 | | **古文書　村松家　奥のしおり**<br>（＊村松家万作物覚帳のうち寛政十年度分の一部、村松家万作物覚帳のうち明治十年度分の一部など） | 古文書　村松家　奥のしおり | 15 |
| 財団引継資料 | アルバム | 104 | | **神津島風俗風景写真** | 神津島風俗風景写真 | 41 |
| 財団引継資料 | アルバム | 105 | | **八丈島＜□□俗＞風俗風景写真一　Ⅰ** | 八丈島＜□□俗＞風俗風景写真一　Ⅰ | 48 |
| 財団引継資料 | アルバム | 106 | | **八丈島風俗風景写真二　Ⅱ** | 八丈島風俗風景写真二　Ⅱ | 49 |
| 財団引継資料 | アルバム | 107 | | **八丈島風俗風景写真三　Ⅲ** | 八丈島風俗風景写真三　Ⅲ | 13 |
| 財団引継資料 | アルバム | 108 | | **神事芸能〈□□□□□〉究資料の一** | 神事芸能〈□□□□□〉究資料の一 | 24 |
| 財団引継資料 | アルバム | 109 | | **神事芸能〈民俗藝術研〉究資料の二**<br>（＊豊橋安久美神戸神明社の鬼祭の御玉引年占神事、豊橋安久美神戸神明社の鬼祭の天狗の薙刀の舞、広島県宇佐郡安村の花田植の早乙女など） | 神事芸能〈民俗藝術研〉究資料の二 | 24 |
| 財団引継資料 | アルバム | 110 | | **神事芸能〈民俗藝術研〉究資料の三**<br>（＊兵庫県淡路三條操人形秀衡館の舞台面、兵庫県淡路三條操人形の首など） | 神事芸能〈民俗藝術研〉究資料の三 | 24 |
| 財団引継資料 | アルバム | 111 | | **壬生狂言〈□□□□□〉究資料の四** | 壬生狂言〈□□□□□〉究資料の四 | 24 |
| 財団引継資料 | アルバム | 112 | | **黒川能〈民俗藝術〉研究資料の五** | 黒川能〈民俗藝術〉研究資料の五 | 9 |
| 財団引継資料 | アルバム | 113 | | **玩具〈旅と伝説〉「玩具号」写真** | 玩具〈旅と伝説〉「玩具号」写真 | 25 |
| 財団引継資料 | アルバム | 114 | | **支那□□村風景** | 支那□□村風景 | 45 |
| 財団引継資料 | アルバム | 115 | | （＊澁澤敬三肖像写真や保谷民族博物館など） | 記載なし | 20 |
| 財団引継資料 | アルバム | 116 | | （＊台湾阿里山噴起口汽車を待つ生藩族、草山、石黒忠篤と澁澤敬三、林本源氏邸など） | 記載なし | 34 |
| 財団引継資料 | アルバム | 117 | | （＊扶桑丸甲板や台湾総督官邸、長官と石黒忠篤、加藤氏経営家鴨卵人工孵化場、永楽町市場、台北橋など） | 記載なし | 40 |
| 財団引継資料 | アルバム | 118 | | （＊台湾総督官邸、長官と石黒忠篤、台湾阿里山噴起口汽車を待つ生藩族、加藤氏経営家鴨卵人工孵化場、永楽町市場、台北橋、豊年踊りなど） | 記載なし | 50 |
| 財団引継資料 | アルバム | 119 | | （＊西表･石垣島遠景、豚小屋、入れ墨、糸満船、カイザーウィルヘルムー世感謝碑など） | 記載なし | 31 |
| 財団引継資料 | アルバム | 120 | | **昭和十一年八月朝鮮達里写真集**<br>（＊牛をつけたTolban、朴氏宅で製作中のTaksigi、麦籾の乾燥、前曽島の製塩所、前曽島の人々とChon-ja-namuの木など） | 昭和十一年八月朝鮮達里写真集 | 55 |
| 財団引継資料 | アルバム | 121 | | 欠番 | 欠番 | 0 |
| 財団引継資料 | アルバム | 122 | | **宇部硫安**<br>（＊宇部窒素工業前社長故渡邊祐策肖像写真、宇部窒素工業本社設立地鎮祭など） | 宇部硫安 | 24 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 001 | | **最上紅花**<br>（＊山形県七日町初市の花飴、紅花を摘む女性、中村嘉兵衛氏所蔵「東講商人鑑」など） | 最上紅花 | 73 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 002 | | **紡績農家飲食燈火**<br>（＊糸車･筬等織物用具、牛首･蚕籠等養蚕用具、釜･徳利等飲食用具など） | 紡績農家飲食燈火 | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 003 | | **根子部落、マタギ集**<br>（＊秋田県仙北郡上檜木内村字堀内のオイヌ社、マタギ姿の鈴木甚之助と赤上政治郎、スケートを履いた荒瀬村根子の子ども達など） | 根子部落、マタギ集　高橋文太郎 | 22 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 004 | | （＊竹製竪筌、ガラス製横筌、筌引き上げ具など） | 記載なし | 20 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 005 | | **真澄遊覧記**<br>（＊機織具、漁具･網図、アイヌ民家図など） | 真澄遊覧記 | 25 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 006 | | **朝鮮多島海**<br>（＊鎭里のパアチゲと杖、大許沙島のチヨクセミとチユングを着た女子、全羅南道扶南群島附近のニベを捕る漁舟、共同作業場で麦打ちを終えた荏子島の人々など） | 朝鮮多島海 | 49 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 007 | | **堺市民家**<br>（＊酒屋「金露」、木綿問屋、醤油･味噌屋、魚問屋など） | 堺市民家 | 71 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 008 | | **山口県佐合島佐川家文書自己筆写合と対照**<br>（＊山口県佐合島佐川家文書の筆稿本や筆者原稿など） | 山口県佐合島佐川家文書自己筆写合と対照 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 009 | | **昭和11年8月朝鮮達里写真集**<br>（＊洗濯後ノ乾燥、トラコーマ治療、水田の除草、パアチゲを背負う少年、姜氏とその家族、衛生調査員のポートレイトなど） | 昭和11年8月朝鮮達里写真集 | 78 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 010 | | **朝鮮多島海集**<br>（＊喜界島のアヨー、上落月島の蝦網船と豚、大許砂島の蛸を入れて生かして置く竹製の篭･ソンドイ、荏子島の波市の料理店、筵機を使った筵織など） | 朝鮮多島海集 | 25 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 011 | | **瞬間　高橋文太郎作**<br>（＊越後赤谷村瀧谷の熊の皮張、踏俵を履いて雪を踏み固める吉田三郎、南牟婁郡泊村古泊にて頭に薪を載せた女性など） | 瞬間　高橋文太郎作 | 15 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 012 | | **三面集　村上其の他**<br>（＊小国村伊佐領にてニショヒミノを用いて材木板を背負う女性、天秤棒で魚を売るボテカツギ（行商人）と会話する高橋文太郎と早川孝太郎、こまがた飾りなど） | 三面集　村上其の他 | 26 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | 写真類1 | 013 | | **雑集**<br>（＊オーアシ（田下駄）で代こしらえをする男性、雲水の旅装を着けた高嶺道隆君、オンドヤキや厄落し行事に用いるセイマルボウ、ハシナガチョウザメ、雲水の旅装を着けた高嶺道隆君など） | 雑集 | 27 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 014 | | **瞬間の累積　岩倉市郎作　喜界島　附桜島etc**<br>（＊六月燈の神楽、六月燈の子供料理、製糖所、オーバリなど） | 瞬間の累積　岩倉市郎作　喜界島　附桜島etc | 107 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 015 | | **岩倉作　新潟見附　稲作其の他**<br>（＊米山薬師如来塔、藁にゅうや雁木のある横丁、立木はぜなど） | 岩倉作　新潟見附　稲作其の他 | 19 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 016 | | （＊航空機タラップ上の澁澤敬三、日本常民生活絵引原図の「ちはや」の模写図、レストラン「PRUNIER」のパンフレット、ヘラルド誌1956年11月4日付けの記事「An　Old　Mushroom　With　a Kick」など） | 記載なし | 8 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 001 | （＊木の枝に登る猿、浜でムギを拾う猿、幸島の岩場の猿など） | 記載なし | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 002 | **門松写真、平凡社ヨリ**<br>（＊満州奥地の深林地帯の正月飾り、門に桃符をはり掛篭をかけた門松、ブータンの門松、ヤミ族が描いた魚「Viviyan」など） | 門松写真、平凡社ヨリ | 14 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 003 | **東京都港区芝三田綱町　渋沢敬三様　大阪府堺市大仙町　大阪府立大学農学部　中尾佐助**<br>（＊ティンブラ王宮にて首相以下客人のためにたてた臨時テント村のカドマツやジグミー・ドルヂ氏の一行をむかえるため臨時に植えたカシの木の間にツナを張りカザリの小旗がつけてある様子など） | 東京都港区芝三田綱町　渋沢敬三様　大阪府堺市大仙町　大阪府立大学農学部　中尾佐助 | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 004 | **港区三田綱町一〇　速達　渋澤敬三先生　即日速達　消印　写真在中**<br>（＊アイヌの高倉、熊飼育舎、保谷野外博物館の様子など） | 港区三田綱町一〇　速達　渋澤敬三先生　即日速達　消印　写真在中 | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 005 | **港区芝三田綱町一〇　日本常民文化研究所内　宮本常一様　写真在中　消印**<br>（＊早川孝太郎とその妻智恵、そのほかの人々との集合写真など） | 港区芝三田綱町一〇　日本常民文化研究所内　宮本常一様　写真在中　消印 | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 006 | **Culture＆hotography　Cameras＆Photo　Supplies　FUTAMISHOKAI　4th.ST．GINZA**<br>（＊『和訓諸職絵尽』地唐紙屋、『今様職人尽』「御しろいや」、『西鶴俗つれづれ』往来の賑わい、桐油合羽や縮緬絞、紙子を売る店、キセル屋の看板など） | Culture＆hotography　Cameras＆Photo　Supplies　FUTAMISHOKAI　4th.ST．GINZA | 101 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 007 | **瞬間の累積　計画**<br>（＊人物彫像など） | 瞬間の累積　計画 | 6 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 008 | **瞬間の累積　計画**<br>（＊澁澤敬三が写るイギリスの街並みや談笑する澁澤敬三、ポートレートなど） | 瞬間の累積　計画 | 18 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 009 | **瞬間の累積　計画**<br>（＊氷屋の様子や酒屋の看板、下駄など） | 瞬間の累積　計画 | 14 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 010 | **瞬間の累積　計画**<br>（＊ヤミ族が描いた魚「Oiyan」、ヤミ族が描いた魚「Magarat」など） | 瞬間の累積　計画 | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 011 | **瞬間の累積　計画**<br>（＊時国家広間や第一銀行パンフレット表紙写真など） | 瞬間の累積　計画 | 21 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 017 | 012 | **瞬間の累積計画、封筒　東京都教育委員会** | 瞬間の累積計画、封筒　東京都教育委員会 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 001 | **伊豆内浦**<br>（＊大川四郎左衛門、長屋門、古文書など） | 伊豆内浦 | 9 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 002 | **東北所見「一六ミリ」ヨリ**<br>（＊青森八戸・岩手種市塩釜跡附近鳥居、稲ハザ掛け、アラメ・カジメの切干、藤琴の駒踊り、おしらさま遊びなど） | 東北所見「一六ミリ」ヨリ | 38 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 003 | **東北風物**<br>（＊津軽深澤の地蔵堂、縄を担ぎ蓑と頬冠りをした女性三人、竜飛岬、菅江真澄翁の墓シイッコサマなど） | 東北風物 | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 004 | **ムツゴロウ　東京市麹町区丸ノ内一ノ一　第一銀行本店　八十島親義様**<br>（＊ムツゴロウなど） | ムツゴロウ　東京市麹町区丸ノ内一ノ一　第1銀行本店　八十島親義様 | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 005 | **捕魚捕鳥（中尊寺）**<br>（＊中尊寺蔵と思われる「捕魚捕鳥」図など） | 捕魚捕鳥（中尊寺） | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 006 | **帆影七里　越後フィルム、　越後採訪旅行「フィルム」楫西氏撮影、楫西様　十一月十五日～二十三日　村上　新潟地方**<br>（＊盥や桶、網、鮭漁の様子、地引網漁を見る渋沢敬三など） | 帆影七里　越後フィルム、　越後採訪旅行「フィルム」楫西氏撮影、楫西様　十一月十五日～二十三日　村上　新潟地方 | 59 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 007 | **笹森儀助　星里稲刈帳**<br>（＊大福帳や家屋、屋根裏の様子など） | 笹森儀助　星里稲刈帳 | 19 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 008 | **シュミットノサイン　明治ノガス燈**<br>（＊ガス燈の下での勉強会やシュミットのサインなど） | シュミットノサイン　明治ノガス燈 | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 009 | **奈良家**<br>（＊秋田県金足村の奈良家の母家、秋田県金足村の奈良家の古式の鍵、秋田県金足村の奈良家の安永十年の「私用日記」など） | 奈良家 | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 010 | **テスリツム**<br>（＊手ツム） | テスリツム | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 011 | **角突き**<br>（＊二十村の牛の玩具の絵【春日部たすく君画】、南総里見八犬伝中「小文吾暴れ牛と駐む」挿絵など） | 角突き | 4 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 012 | **斉藤家**<br>（＊稗室の内部、大屋斎藤家成員および雇人、大屋斎藤家ダイドコなど） | 斉藤家 | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 013 | **古文書**<br>（＊九十九里絵図や古文書など） | 古文書 | 11 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 014 | **水族館**<br>（＊イルカやイルカのショー、水族館俯瞰写真、昭和31年・昭和34年ICC総会でのロス　マリーンランドでの絵葉書ヵ、『祭魚洞襍考』写真図版21,22に使った版下ヵなど） | 水族館 | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 015 | **公私用日記　ばばさまのおはなし**<br>（＊深靴の絵ハガキやけんつくの絵葉書、すかりの絵葉書、消防用手押しポンプなど） | 公私用日記　ばばさまのおはなし | 15 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 016 | **浅沢郷土史　資料　五十沢様御承知　浅沢郷土誌**<br>（＊『浅沢郷土史料』、筆者原稿ヵなど） | 浅沢郷土史　資料　五十沢様御承知　浅沢郷土誌 | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 017 | **東北犬歩当棒録**<br>（＊おしやく島のサイの河原や流れ昆布採集具、アラメ・カジメの切干、花飴、おしらさま遊びなど） | 東北犬歩当棒録 | 35 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 018 | **当棒録の人々**<br>（＊進藤竹次郎肖像写真、石川理紀之助肖像写真、近藤竹治郎肖像写真、内田武志肖像写真など） | 当棒録の人々 | 16 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 019 | **台湾文化史より　クジライハイ　アニマタギ　最上徳内代官記**<br>（＊クジライハイ、荒瀬村根子のマタギの狩猟用具、最上徳内肖像画、最上徳代官記、鰐珠など） | 台湾文化史より　クジライハイ　アニマタギ　最上徳内代官記 | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 020 | **昭和廿九年十二月七日東北犬歩当棒録への写真原稿二重の分及不要の分**<br>（＊佐久間孫太夫の位牌など） | 昭和廿九年十二月七日東北犬歩当棒録への写真原稿二重の分及不要の分 | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 021 | **考古漁具**<br>（＊銛先、アバ、土器に残る網の目など） | 考古漁具 | 41 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 022 | **台湾**<br>（＊「Pagain-so-aribanban」と呼ばれるヤミ族の飛魚煮炊き用の壷（Pagain-so-aribanban or boilling-pot for flying-fish）、「Purararum」と呼ばれるヤミ族の水壷（water-pot）、「Tawal」と呼ばれるヤミ族の仕掛網　（drag-net）など） | 台湾 | 40 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 023 | **東京俚俗集覧　第一輯**<br>（＊鼠小僧の墓、久米平内堂、駒込大黒堂など） | 東京俚俗集覧　第一輯 | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 018 | 024 | 封筒 | なし | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 001 | **北野天神19枚在中**<br>（＊北野天神絵巻の一カットなど） | 北野天神19枚在中 | 19 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 002 | **市川様**<br>（＊シュミット博士を迎えた際の集合写真、敬三とシュミット博士の写真、島崎藤村歌碑など） | 市川様 | 4 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 003 | **社長**<br>（＊35.5.10の日付、契約を交わしているような写真など） | 社長 | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 004 | **石山寺43枚　石山寺　43枚　在中**<br>（＊石山寺縁起絵巻の一カットなど） | 石山寺43枚　石山寺　43枚　在中 | 43 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 005 | （＊敬三のポートレイト、書籍中に掲載されているアステカの太陽神の石像の写真、澁澤敬三葬儀時集合写真、葬儀時の敬三の死に顔など） | 記載なし | 8 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | 写真類1 | 019 | 006 | **絵引きの写真**<br>（＊写真類1-19の内容が入っていた封筒） | 絵引きの写真 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 020 | | **予備**<br>（＊『日本広告史小考』に使われた挿絵版下など） | 予備 | 11 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 021 | | **東京シネマ岡田様　一枚ヅツ焼付分一四組　四枚　三枚ヅツ十九組　五七枚　計二十三組　六十一枚**<br>**昭和廿九年十二月七日　東北犬歩当棒録　資料二ノ口の分**<br>（＊薩南十島調査時集合写真、綱町邸など） | 東京シネマ岡田様　一枚ヅツ焼付分一四組　四枚　三枚ヅツ十九組　五七枚　計二十三組　六十一枚<br>昭和廿九年十二月七日　東北犬歩当棒録　資料二ノ口の分 | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 022 | | **足半レントゲン写真　足半**<br>（＊足半レントゲン写真など） | 足半レントゲン写真　足半 | 17 |
| 財団引継資料 | 写真類1 | 023 | | （＊鯖長縄釣之図、鯖釣夜漁之図、鰻漁千本釣之図、水産博覧会一区一類出品審査報告　烏賊鉤など） | 記載なし | 105 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 001 | （＊戦災より復興した具志堅・玉城・名護小学校の写真など）**※2** | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 002 | **十五分席画　二冊**<br>（＊公暁撃實朝之図や静御前法楽之舞、敬三自筆絵など） | 十五分席画　二冊 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 003 | （＊料亭にて澁澤を囲む集合写真など） | 記載なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 004 | （＊荻原碌山彫刻写真など） | なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 005 | **智雄　渡辺隆男　桐寮etc　ネガ6枚**<br>（＊智雄、渡辺隆男に相当する人のポートレイトなど） | 智雄　渡辺隆男　桐寮etc　ネガ6枚 | 6 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 006 | **富浦水泳部**<br>（＊大正3年ごろより始まる、静浦に行く途中の富浦での水泳仲間など） | 富浦水泳部 | 16 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 007 | **昭和十二年七月三十一日～八月七日　尾瀬～日光へ　フィルム在中**<br>（＊山並みや草原、ハイキング時の集合写真など、「日光　男体山　戦場ヶ原」や「湯ノ湖　龍頭の瀧　中禅寺湖」といったネガ袋に小分けにされている） | 昭和十二年七月三十一日～八月七日　尾瀬～日光へ　フィルム在中（「日光　男体山　戦場ヶ原」や「湯ノ湖　龍頭の瀧　中禅寺湖」といったネガ袋に小分けにされている） | 77 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 008 | （＊グラバー邸俯瞰写真や邸内など） | なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 009 | （＊水路あるいは港で積み荷を上げ下ろす作業の様子など） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 010 | （＊澁澤敬三著作集　第3巻　p.526「ﾘﾃﾞﾙ女子」と同一のもの版下ヵ） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 011 | （＊内山峡青淵の詩の石碑の前での集合写真など） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 012 | 「中の家家法」、「中の家臨時会議決議録」 | なし | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 013 | **澁澤敬三宛　岩波茂雄出**<br>（＊書簡「岩波茂雄より渋沢敬三へメロンの礼状」） | 澁澤敬三宛　岩波茂雄出 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 001 | 014 | （＊航空写真） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 002 | 001 | （＊芸者の写真や建物等写真など） | なし | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 002 | 002 | （＊牛馬を使った農耕作業、田植、稲刈り、はさ、農村、農具、屋根葺きなど） | なし | 88 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 002 | 003 | **重複写　欠写　十二枚**<br>（＊『三重県漁業図解　壱』より絵図接写、「艘漁之図」、「バイ捕獲之図」など） | 重複写　欠写　十二枚 | 36 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 003 | | **シーボルト　複**<br>（＊『長崎表ニ而　シーボルトより取上ケ候東韃紀行より書抜候画六拾五枚』の接写写真、南カラフトのそりや南カラフト鍛治し師の図など） | シーボルト　複 | 66 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 004 | | **呼売　鳴物によるもの、声によるもの、行事　年中行事に現れる（年の市、ほうずき市、節句人形の市）　市場　魚市場、青物市場、世田ヶ谷のボロ市の如き、老舗　日本橋＜口口＞辺に残る、東京地震災に残る方面の商売　露店　＜口＞縁日、夜店など　大阪　ー船場　京都　浅草　ー銭蒸汽ー隅田川. コレノ四切ハ十五、五月十一日付先生銀行へ持参ス。アチツクニナシ**<br>（＊『日本広告史小考』より、「らうや」浜谷浩撮影、「飴や」浜谷浩撮影、前掛け屋看板など） | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの、行事　年中行事に現れる（年の市、ほうずき市、節句人形の市）　市場　魚市場、青物市場、世田ヶ谷のボロ市の如き、老舗　日本橋＜口口＞辺に残る、東京地震災に残る方面の商売　露店　＜口＞縁日、夜店など　大阪　ー船場　京都　浅草　ー銭蒸汽ー隅田川.<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付 | 17 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 005 | | **写真控張　MEMO**<br>（＊草、刃物のスケッチなど） | 写真控張　MEMO | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 006 | | 空封筒<br>（＊空封筒 「三面漁場地域之図（複）」、空封筒　採集旅行vol.4、空封筒№2越後、空封筒　朝鮮昭8. 12澁澤敬三撮影、空封筒　村上清分三面、空封筒　乗鞍2袋など） | 空封筒（空封筒　三面漁場地域之図（複）、空封筒　採集旅行vol.4、空封筒№2越後、空封筒　朝鮮昭8. 12澁澤敬三撮影、空封筒　村上清分三面、空封筒　乗鞍2袋など） | 39 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 007 | | **渋澤様 「タイワン」 大正十五年口　二枚宛焼増　厚板　九枚アリ　合計十八枚也　出来上りは五月三十一日**<br>（＊基隆港に停泊する帝国海軍艦船ヵ、水辺の淵の筆筒樹（蛇木）の前に座る石黒忠篤（民政長官官邸ヵ）など） | 渋澤様 「タイワン」 大正十五年口　二枚宛焼増　厚板　九枚アリ　合計十八枚也　出来上りは五月三十一日 | 6 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 008 | | **台湾八枚**<br>（＊手鍬、ヘラ（沖縄･奄美のフィラに似た小農具）、「Yara」と呼ばれる農業で使う籠の底部、「Sasaragan」と呼ばれるヤミ族のかせをつくる台（warping-bench with grids）など） | 台湾八枚 | 8 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 009 | | **北野天神（欠）　石山寺（欠）、北野天神　欠アルモノ**<br>（＊北野天神絵巻の1カット、石山寺縁起絵巻の1カットなど） | 北野天神（欠）　石山寺（欠）、北野天神　欠アルモノ | 14 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 010 | | **手紙4枚/カビネ4枚　特別パンクに使用　絵巻物の中の仮面　宇野様より　絵巻物ノ仮面**<br>（＊絵巻物に出てくる仮面のクローズアップ、絵巻物に出てくる方相氏など） | 手紙4枚/カビネ4枚　特別パンクに使用　絵巻物の中の仮面　宇野様より　絵巻物ノ仮面 | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 011 | | （＊小屋の軒下の網、縄など） | なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 012 | | （＊フィリピンルソン島のバナウエ棚田【絵ハガキ】、白紙の名刺大カードなど） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 013 | | **昭和七年夏　於逗子其他　フィルム在中**<br>（＊昭和7年夏の逗子にての家族写真など） | 昭和七年夏　於逗子其他　フィルム在中 | 33 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 014 | | （＊山を向いて背を向けて移る4人、登山での家族写真ヵ【ネガフィルム1枚、雅英･登喜子･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 015 | | （＊登山での記念写真、山の風景など、登山での写真ヵ【雅英･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 4 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 016 | | （＊登山での記念写真、山の風景、白樺の木など、登山での家族写真ヵ【雅英･登喜子･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 017 | | （＊登山での記念写真、山の風景など、登山での家族写真ヵ【雅英･登喜子･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 8 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 018 | | （＊登山での記念写真、山の風景など、登山での家族写真ヵ【雅英･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 019 | | （＊スキーでの記念写真ヵ【アチック同人が写ったものあり】） | なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 020 | | （＊スキーでの記念写真、スキーでの家族写真ヵ【雅英･登喜子･アチック同人が写ったものあり】） | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 021 | | **ウナギ、ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ　四巻（廿六類）**<br>（＊朝鮮ウミヘビ、ウナギ、ゴテンアナゴなど魚の絵） | ウナギ、ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ　四巻（廿六類）<br>（＊包紙に書かれたメモより） | 26 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 022 | | **廿参巻**<br>（＊ホウボウ、カナド、カナガシラなど魚の絵） | 廿参巻 （＊帯に書かれたメモより） | 20 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 023 | | **拾五巻**<br>（＊タカノハダイ、シラキス、キサコリなど魚の絵） | 拾五巻 （＊帯に書かれたメモより） | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 024 | | **廿四巻　カレイ、シタベラ、クツブコ**<br>（＊ガンゾウヒラメ、タカカレイ、サメカレイなど魚の絵） | 廿四巻　カレイ、シタベラ、クツブコ （＊帯に書かれたメモより、帯裏に「貳拾四組　印　24」とあり） | 25 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （＊）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | 写真類2 | 025 | | **ヤカラ/ウミテング/ヨウジ/フウライ　五巻（十九類）**<br>（＊アカヤガラ、アオヤガラ、ヤウジウヲなど魚の絵、グラバー図譜の接写ヵ） | ヤカラ/ウミテング/ヨウジ/フウライ　五巻（十九類）（＊包紙に書かれたメモより） | 18 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 026 | | **タツ、サヨリ、サンマ、トビウヲ、　ボラ、カマス、コノシロ、イットウダイ、ヒメジ　七巻（廿六類）**<br>（＊アオサギ、ダツ、チユウゾウなど魚の絵） | タツ、サヨリ、サンマ、トビウヲ、　ボラ、カマス、コノシロ、イットウダイ、ヒメジ　七巻（廿六類）（＊包紙に書かれたメモより） | 26 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 027 | | **コノシロ/イワシ/シラウヲ/エツ/アユ/オキトショウ　六巻（二十四類）**<br>（＊コノシロ、ウルメイワシ、マイワシなど魚の絵） | コノシロ/イワシ/シラウヲ/エツ/アユ/オキトショウ　六巻（二十四類）（＊包紙に書かれたメモより） | 24 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 028 | | **御写真　PHOTOGRAPHY**<br>（＊写真館のような場所で撮られた男女二人の写真【ガラス乾板】） | 御写真　PHOTOGRAPHY（＊墨書された木の写真入れに書かれている文字） | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類2 | 029 | | （＊カネタタキ、カガミタイ、ヒシダイなど魚の絵） | 記載なし | 544 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 001 | | **焼増1枚　市川様**<br>（＊人形を持つ人形使い） | 焼増1枚　市川様 | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 002 | | （＊幼少の渋沢雅英、第一銀行名古屋支店建設現場、敬三らの集合写真など） | なし | 9 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 003 | | **朝鮮　昭　8. 12　渋澤先生撮影**<br>（＊軒先にある刳られた丸太のようなもの、納屋のようなものの前に立つ男と犬、調査団のような人と地元の人々と犬など） | 朝鮮　昭　8. 12　渋澤先生撮影 | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 004 | | **十島**<br>（＊平島の水田、小宝島の墓地、中之島港付近の集落と丸木舟など） | 十島 | 9 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 005 | | （＊海から望む島の岸壁、網【隠岐】、船を洗う様子など） | なし | 17 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 006 | | **四月廿二日受附　櫻田様　十五枚**<br>（＊台南州呉鳳廟前での田植えの様子、台北市教育会館前の牛に曳かれる荷車、鯤鯓に向う升筏、三面分校入り口で冬支度をする人など） | 四月廿二日受附　櫻田様　十五枚 | 22 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 007 | | **秋田県南秋田郡脇本村大倉附近　写真原板　お返しの分**<br>（＊寒風山と白田伐採の薪、藁束を載せる馬と少年、ムシロオリなど、吉田三郎氏撮影の秋田県南秋田郡脇本村写真） | 秋田県南秋田郡脇本村大倉附近　写真原板　お返しの分 | 11 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 008 | | **村上清文　三面（a）**<br>（＊ムラ芝居の後の様子、雪中での伐採の様子、モチバナを木に付けている様子など、村上清文撮影三面撮影写真） | 村上清文　三面(a) | 59 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 009 | | **村上清文　村上町にて　不要分**<br>（＊直江津の山車、村上新聞社主催の新潟県下傷兵大会での会場外観など） | 村上清文　村上町にて　不要分 | 9 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 010 | | **岩倉．キカイ．去府中2し**<br>（＊組合旗を持つ人と海女達の集合写真、和具村絵図、地引き網に使うロクロの前の老人、竹内久三郎船の絵など） | 岩倉．キカイ．去府中2し | 23 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 011 | | **藤木君分**<br>（＊新島本村新町のカラウス、新島本村前浜にての荷積み、網納屋と網など） | 藤木君分 | 22 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 012 | | **吉田三郎　練習分**<br>（＊とある部屋に座る市川信次、綱街邸など、吉田三郎が写真撮影練習用として写した綱町邸近郊の風景など） | 吉田三郎　練習分 | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 013 | | **芋川か**<br>（＊新潟県芋川の畑に立つ女性と少女、当地の人々と写る澁澤敬三など） | 芋川か | 8 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 014 | | （＊高知県室戸市クジラ位牌） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 015 | | **村上町　村上清文作**<br>（＊村上大祭のおしゃぎり、御輿） | 村上町　村上清文作 | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 016 | | **白荻村　アワラ**<br>（＊富山県中新川郡上市町白萩アワラの女性達、富山県中新川郡上市町白萩アワラの田植の様子、水田の様子など） | 白荻村　アワラ | 8 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 017 | | **台湾　安平　不要分　小松君**<br>（＊台南州北門庄五王廟前での集合写真、台南州佳里街の廟、台南州新巷庄媽祖廟祭の町並み、袋網先の浮き樽、村上大祭のおしゃぎりなど） | 台湾　安平　不要分　小松君 | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 018 | | **（アチック　岩合村）**<br>（＊モチバナ【三面ヵ】、刳り船を作る大工など） | （アチック　岩合村） | 10 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 019 | | **（三面川流域中［　］）**<br>（＊「三面川鮭漁場区域之図」絵図） | （三面川流域中［　］） | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 020 | | **（朝鮮　昭　8. 12　渋澤先生撮影）**<br>（＊朝鮮温陽郊外籾すり臼、朝鮮温陽郊外木製の鳥を竿先に掲げている竿、朝鮮温陽郊外天下将軍など） | （朝鮮　昭　8. 12　渋澤先生撮影） | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 021 | | **（伊豆新島　藤木A）**<br>（＊新島水桶やコーガ石の塀と民家、道路と竹垣など） | （伊豆新島　藤木A） | 56 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 022 | | **（奄美B）**<br>（＊奄美大島の高倉、タキキを運ぶ男性、水面に浮かぶ木造船と山の斜面の畑など） | （奄美B） | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 023 | | **（台湾C）**<br>（＊浜に集まる漁夫と仲買人達、台湾のとある漁村の網干場、夜漁に使う燈斗、三鯤鯓の浜の筏など） | （台湾C） | 11 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 024 | | **（多島海D）**<br>（＊上洛月島の浜辺、朝鮮総督府（京福宮慶会楼）を背に記念撮影、上洛月島の蝦網船、木浦沖金剛丸上にて集合写真など） | （多島海D） | 10 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 025 | | （＊茶葉を摘む女性、社殿を見学する調査の人々、ティータイムでお茶を飲む人々など） | 記載なし | 27 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 026 | | **ビワ湖　栗見新田　etc**<br>（＊家屋前の田植え女達、富山県中新川郡上市町白萩アワラの田植の様子、水田の様子など） | ビワ湖　栗見新田　etc | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 027 | | **採集旅行　vol.4　No2　越後**<br>（＊アルバム「採訪No.2と4に関わる越後三面や隠岐の写真が入っていたものヵ、詳細不明） | 採集旅行　vol.4　No2　越後 | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 028 | | **オキ．糸満2．**<br>（＊隠岐、糸満の漁の様子など） | オキ．糸満2． | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 029 | | **（ハンザ）**<br>（＊海から望む島の岸壁や網【隠岐】、社、積まれたサザエの殻など） | （ハンザ） | 14 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 030 | | **（村上清文　三面a b）**<br>（＊三面の正月行事の様子、御輿を担ぐ人々、小正月の餅花、刳り船を運ぶ様子など） | （村上清文　三面a b） | 66 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 031 | | **（村上清文　三面（e））**<br>（＊囲炉裏端の家族、松飾りを飾る様子、モチバナなど） | （村上清文　三面(e)） | 44 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 032 | | **大菩薩峠　奥塩原　神津牧場　赤倉　駒ヶ岳**<br>（＊草原で寝ころぶ敬三と登喜子・雅英、山の祠の前に座る雅英達、山の風景など） | 大菩薩峠　奥塩原　神津牧場　赤倉　駒ヶ岳 | 19 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 033 | | **（九年夏　上高地にて）**<br>（＊登喜子・雅英達集合写真、山を眺める雅英達、山の風景など） | （九年夏　上高地にて） | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 034 | | **乗鞍岳にて**<br>（＊山の風景など） | 乗鞍岳にて | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 035 | | **昭和九年　九月　八ツ嶽にて**<br>（＊山から見下ろす湖の様子、木立の中で倒木に座る雅英達、山の風景など） | 昭和九年　九月　八ツ嶽にて | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 036 | | **昭和十年　七月　赤倉　妙高山　親不知**<br>（＊山の斜面に座る登喜子・雅英・市川信次達、草木を眺める雅英・紀子達など） | 昭和十年　七月　赤倉　妙高山　親不知 | 24 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 037 | | **昭和九年　八月　日光にて**<br>（＊ベンチに座る紀子達や車の横に立つ登喜子・雅英・紀子達、倒木に座る敬三・雅英・紀子など） | 昭和九年　八月　日光にて | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 038 | | **昭和十一年九月　乗鞍行フィルム**<br>（＊山頂に立つ登喜子・雅英達や湖を眺める登喜子・雅英達、山の風景など） | 昭和十一年九月　乗鞍行フィルム | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 039 | | **五湖めぐり　昭和九年十一月**<br>（＊湖と山や草原に座る雅英達など） | 五湖めぐり　昭和九年十一月 | 4 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 040 | | **九年夏　上高地にて　蓼科**<br>（＊草原に座り談話する敬三・雅英達） | 九年夏　上高地にて　蓼科 | 1 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 財団引継資料 | 写真類3 | 041 | | **（台湾）**<br>（＊屋根の無い建物【台湾】や牛を使った代掻き、船上の宮本馨太郎と小川徹、ムラの様子、焼畑の様子など） | （台湾） | 95 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 042 | | **（吉田三郎氏撮影）**<br>（＊藁束やハサ掛け、馬を使った代掻き、田植え枠を使っているところなど） | （吉田三郎氏撮影） | 97 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 043 | | （＊七庚申と石宮や注連縄を巻いた石臼、餅を載せた鍋、餅を藁で結んだ鍬、注連飾り、縄をなった束を前に写る職人達など） | なし | 45 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 044 | | （*「**【表面】昭和九年十一月　五湖めぐり 【裏面】十月　箱根　神山　駒ケ岳**」と書かれた「金城商会」の原板保存袋） | 昭和九年十一月　五湖めぐり　十月　箱根　神山　駒ケ岳 | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 045 | | （*「**【表面】蓼科にて 【裏面】十一月三四日　五湖めぐり**」と書かれた「金城商会」の原板保存袋） | 蓼科にて　十一月三四日　五湖めぐり | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類3 | 046 | | （*【表面】6[月]□□[日]澁澤[様] 【裏面】[Size]手札 [現像] [ロール]7[本] [焼付] [各]1　31[枚] [仕上]6[月]14[日]」と書かれた「新宮館」の封筒 | 6[月]□□[日]澁澤[様] [Size]手札 [現像] [ロール]7[本] [焼付] [各]1　31[枚] [仕上]6[月]14[日] | 0 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 001 | （＊正徳年間の真鍋島絵図、真鍋増太郎家文書写真、鼠絵図など） | なし | 7 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 002 | （＊祭礼にあたっての「御祓い」「祝詞」の写真ヵ　など） | なし | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 003 | （＊豆州内浦湾内風景ヵなど） | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 004 | （＊アチック同人によるスナップ写真、赤子の写真など） | なし | 5 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 005 | （＊アチック同人による三田綱町邸内における記念写真やスナップ写真など） | なし | 6 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 006 | （＊「頬被りをする母子」「稲架の前で子守をする子供」「石臼小屋」など） | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 001 | 007 | （＊アチック･ミューゼアムの屋根裏郷土玩具展示写真、昭和2年ゴルドン･ボールス、フレデリック･スタール来館時の集合写真など） | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 001 | （＊アチック･ミューゼアム彙報第十『復刻　木実方秘伝書』口絵写真など） | なし | 3 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 002 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「ニンギョウ」「テル」「イタヤカツコベ」「カンジキ」など） | なし | 19 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 003 | （＊渋沢敬三料亭写真、敬三二男紀美戒名など） | なし | 4 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 004 | （＊草履･草鞋･下駄写真、岡山県池田家所蔵洛中洛外図屏風写真など） | なし | 13 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 005 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「イタブクリ」、アチック･ミューゼアム彙報第35『土佐室戸浮津組捕鯨実録』口絵写真「酒宴の酒杯」、『日本社会民俗辞典』第1巻掲載写真「二百十日の厄除人形」など） | なし | 10 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 006 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「コシゴとニカヲ」、「クヅ」、「アグドスベ」、「クサトリメカイとカマ」、「ボウチボー」、「山ノ神」、「フミダラ」、「十二日禮ノ餅苞」など） | なし | 18 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 007 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「コシピリ」など） | なし | 21 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 008 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「ヒメツコとバカ」、「ツイタテ」、「シヨタゴ」、「田ノ神」、『日本社会民俗辞典』第3巻掲載写真「豆コキバシ（福岡県糟屋郡地方」などアチック･ミューゼアム彙報第十『復刻　木実方秘伝書』口絵「第一図　木実方秘伝書　五巻」など） | なし | 23 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 009 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「ウケとコズ」、「イトヒキワク」、「テゴ」、「シヨイカゴ」、アチック･ミューゼアム彙報6『所謂足半（あしなか）に就いて』掲載写真「疱瘡神送りの足半」など） | なし | 17 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 010 | （＊アチック･ミューゼアム彙報第十『復刻　木実方秘伝書』口絵「第四図　土手櫨の一例」、日本社会民俗辞典第3巻掲載写真「門道心（木偶）」、アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「タスキ」など） | なし | 21 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 011 | （＊アチック･ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』掲載写真「燈台」、「キハダの下駄」、「ツチンボー」、日本社会民俗辞典第2巻掲載写真「ネコダ（岐阜県高山市）」など） | なし | 21 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 012 | （＊アチック･ミューゼアム彙報第19『北海道幌別漁村生活誌』口絵写真、本橋巳太郎氏寄贈の台湾原住民族使用のウケ写真など） | なし | 12 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 013 | （＊アチック･ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』挿絵写真など） | なし | 24 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 014 | （＊「昭和十三年四月十七日撮影　〇大里　葛飾区新宿町　梅沢平次郎氏」ウケ製作写真ヵなど） | なし | 2 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 015 | （＊日本社会民俗辞典第3巻掲載写真「まるた船（諏訪湖）」ほか、木造船に関する版本の接写写真など） | なし | 61 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 002 | 016 | （＊アチック･ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』挿絵写真、およびアチック･ミューゼアム「瀬戸内海島嶼調査写真など） | なし | 16 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 003 | | （＊着物を着た女性のポートレート写真） | なし | 1 |
| 財団引継資料 | 写真類4 | 004 | | （＊版本の接写写真、蜜柑を収穫する図･蜜柑を集めた市場の図･蜜柑を出荷する湊の図･蜜柑を小舟から大船に積み込む図など） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 001 | | **達里集**<br>（＊慶尚南道蔚山邑達里の大きな笠を二人で被る少女や平安南道大同郡南串面孝南里の機織pe-tul、秋田県角館町のヤマゾリ古型など） | 達里集 | 12 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 002 | | （＊糸くり絵巻、屏風絵、紅花畠全景、岩木山、山形七日町初市の花飴、テスリツムなど） | 記載なし | 10 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 003 | | **XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.　TOSHIBA　MUSIC　(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)　JH-02006　August 8th. 1959(Saturday)　宮本馨太郎作**<br>（＊静岡県田方郡トンボガサや静岡県賀茂郡モヂリバンテン、静岡県田方郡ナガアシ、静岡県田方郡ももヒキなど） | XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.　TOSHIBA　MUSIC　(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)　JH-02006　August 8th. 1959(Saturday)　宮本馨太郎作 | 12 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 004 | | **港区芝三田綱町一〇　渋沢敬三様　(裏面)筌集　広[　]写真　ほしい**<br>（＊筌やサガリ、アミクッ、ズなど） | 港区芝三田綱町一〇　渋沢敬三様<br>(裏面)筌集　広[　]写真　ほしい | 15 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 005 | | **東京都港区　芝三田綱町一〇　澁澤敬三先生　□□□（裏面)二月五日　杉本□□**<br>(*八戸市の洗濯場や小井川氏より田口氏への手紙、スケッチ、杉本氏より澁沢先生への手紙など） | 東京都港区　芝三田綱町一〇　澁澤敬三先生　□□□<br>(裏面)二月五日　杉本□□ | 7 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 006 | | **瞬間の累積　アチック集<国際電□>　Mr.Keizo Shibusawa, President　Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.　Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor　#2, C-chome Marunouchi　Chiyoda-ku, Tokyo　Japan　P2-E　113**<br>（＊柏葉拾遺より旅譜凡例部分切り抜きや旧水産史研究室、旧民具室、綱町邸、小川徹･市川信次の写真、アチック屋根裏展示写真など） | 瞬間の累積　アチック集<国際電□>　Mr.Keizo Shibusawa, President　Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.　Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor　#2, C-chome Marunouchi　Chiyoda-ku, Tokyo　Japan　P2-E　113 | 14 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 007 | | **瞬間の累積　伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>　藤木喜久麿作**<br>（＊新島ハマンモリ風除の垣や新島羽伏浦、新島クルマヰド、新島ナマグサオケなど） | 瞬間の累積　伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>　藤木喜久麿作 | 19 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 008 | | **瀬戸内集**<br>（＊香川県岩黒島の集落や岡山県カシキアミ、愛媛県ササとネズミを積んだ薪木船など） | 瀬戸内集 | 10 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 009 | | （＊氷見郡灘浦漁場園） | なし | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 010 | | （＊香川県岩黒島を望む島並み遠景トレースや香川県櫃石島を望む島並み遠景トレース、粟島･高見島を望む島並み遠景トレースなど、『瀬戸内海島巡訪日記』に使用した版下ヵ） | なし | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 011 | | **牛旋激水図　一枚　牛旋激水/牛曳碓　一器ニシテニ器ヲ兼タル図　一枚**<br>（＊牛旋激水図など） | 牛旋激水図　一枚　牛旋激水/牛曳碓　一器ニシテニ器ヲ兼タル図　一枚 | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 012 | | **17.9.25　白髪太郎写真　淡路洲本　前野正博氏　シラガタロウ　<佐々木喜善>　シラガタロウ**<br>（＊クスサンの幼虫や繭、成虫など、シラガタロウとはクスサンの幼虫の俗称） | 17.9.25　白髪太郎写真　淡路洲本　前野正博氏　シラガタロウ　<佐々木喜善>　シラガタロウ | 12 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 013 | | （＊「魚家歓楽」図や「魚家歓楽」図の1カットなど） | 記載なし | 12 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 014 | | **米田村　鉤針　製造　<台湾>米田村鉤針製造　<鹿野氏分>　米田村鉤針**<br>（＊米田村釣鉤製造など） | 米田村　鉤針　製造　<台湾>米田村鉤針製造　<鹿野氏分>　米田村鉤針 | 7 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 015 | | （＊琵琶湖野洲町河口附近地図トレース） | なし | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 016 | | **千代田区大手町一の五　国際電信電話　顧問渋沢敬三殿　足半集**<br>（＊足半作り作業や足半レントゲン写真、上野西郷像の足半など、「所謂足半について」の版下ヵ） | 千代田区大手町一の五　国際電信電話　顧問渋沢敬三殿　足半集 | 12 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 017 | | **信仰用具　祭具品10　サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日札ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギノ藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ　信仰用具**<br>（＊栃木県河内古里村サイノカミの棒や岩手県上閉伊金澤ワラウマ、愛知県北設楽園村足込ヤスなど） | 信仰用具　祭具品10　サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日札ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギノ藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ　信仰用具 | 11 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 018 | | **内房写真**<br>（＊内房平郡絵図や大根洗いの絵図、魚を釜で煮ているところの絵図など） | 内房写真 | 6 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 019 | | **2.津軽の砂丘　完　保谷**<br>（＊日本民族博物館予定敷地【西方】や日本民族博物館予定敷地【南方】、日本民族博物館予定敷地【北方】など） | 2.津軽の砂丘　完　保谷 | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 020 | | **単織機**<br>（＊筬･杼など） | 単織機 | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 021 | | **＜15　最上紅花＞　物売　浜谷浩**<br>（＊封筒のみ） | ＜15　最上紅花＞　物売　浜谷浩 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 022 | | **29　石神村　瀬戸内海(K･M)**<br>（＊マエダレやハイガイトリ、マンヂューカゴ、ヲワラなど） | 29　石神村　瀬戸内海(K･M) | 52 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 023 | | **東京＜市＞都港区芝＜区＞三田綱町十番地アチツクミューゼアム　澁澤敬三様＜行＞　竹の下駄　竹のゲタ、海のヤロ（裏面）港区芝高輪南町五三　林彌一郎　十月三十日**<br>（＊林彌一郎から澁澤敬三に宛てた「竹下駄」「海ノヤロ」についての質問への回答） | 東京＜市＞都港区芝＜区＞三田綱町十番地アチツクミューゼアム　澁澤敬三様＜行＞　竹の下駄　竹のゲタ、海のヤロ（裏面）港区芝高輪南町五三　林彌一郎　十月三十日 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 024 | | **東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様（裏面）出雲ハゼ**<br>（＊島根県松江市栄町北垣文市商店内蝋･桐油絞り工場やハゼの木ヵ、山間の風景など、『稲塚和右衛門著　木実方秘伝書』まえがきに関するものヵ） | 東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様<br>（裏面）出雲ハゼ | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 025 | | **＜24. 25. 26. 東北ノ塩＞　内浦　銅版**<br>（＊富士山を遠望に望む内浦や古文書接写、御林絵図など） | ＜24. 25. 26. 東北ノ塩＞　内浦　銅版 | 23 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 026 | | **■（■はチェックマーク） 1. 金と米　中尊寺　金堂　内陣の図　紀念写真　完**<br>（＊本牧釣った鯛を持つ留吉と澁澤敬三や十島集合写真、洛月島の金支鏑を迎えての集合写真、洛月島の金支鏑と澁澤敬三、綱町邸内で国旗を前にしてのアチック同人との集合写真など） | ■（■はチェックマーク） 1. 金と米　中尊寺　金堂　内陣の図　紀念写真　完 | 13 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 027 | | **瞬間の累積　隠岐集**<br>（＊島根県大根島遠景や島根県大根島半田舟、島根県隠岐浦郷イモグラ、島根県隠岐浦郷二度クサツヅリなど） | 瞬間の累積　隠岐集 | 16 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 028 | 001 | **626B　NO.1　日本常民文化研究所様　撮影場所旧澁沢邸　昭和47年10月25日　キ-3**<br>（＊スリーブ状ネガ7つ、ネガ紙焼き7枚、ネガケースなど）、<br>**NO.2　キ―4**<br>（＊スリーブ状ネガ31、ネガの紙焼き6枚、ネガケースなど）、<br>**NO.3　キャ3（＊スリーブ状ネガ31、ネガ紙焼き7枚、ネガケースなど）**<br>（＊いずれも財団法人日本常民文化研究所出版記念会会場前での写真や会場内での様子など） | 626B　NO.1　日本常民文化研究所様　撮影場所旧澁沢邸　昭和47年10月25日　キ-3、NO.2　日本常民文化研究所様　撮影場所旧澁沢邸　昭和47年10月25日　キ-4、NO.3　日本常民文化研究所様　撮影場所旧澁沢邸　昭和47年10月25日　＜キ-5＞　J1　キャ3 | 128 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 028 | 002 | **NO.001　常民文化様　場所青年館　昭和49年11月26-27日　254**<br>（＊スリーブ状ネガフィルムなど、第一回民具研究講座での発表の様子や同講座内民具製作実演、座談会の一カットなど）、<br>**NO.002　常民文化様　場所青山　青年館　昭和49年11月25･26日　良寛　312**<br>（＊スリーブ状ネガフィルムなど、第一回民具研究講座での発表の様子や同講座内シンポジウムの様子など） | NO.001　常民文化様　場所青年館　昭和49年11月26-27日　254、NO.002　常民文化様　場所青山　青年館　昭和49年11月25･26日　良寛　312 | 62 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 028 | 003 | （＊紙焼き23枚など、財団法人日本常民文化研究所出版記念会会場内での様子） | 記載なし | 23 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 028 | 004 | **常民文化様　承り日11日　出来上り日14日6時　各一引伸　サービスサイズ　数量31@25　金額775　光沢**<br>（＊第一回民具研究講座での発表の様子や同講座内民具製作実演、座談会の一カット、テレビに出演する河岡氏をテレビ画面越しに撮影したものなど） | 常民文化様　承り日11日　出来上り日14日6時　各一引伸　サービスサイズ　数量31@25　金額775　光沢 | 46 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 028 | 005 | **虎屋近江　鉄道人写　印**<br>（＊虎屋近江の紙箱【印文は「鉄斎」】、写真なし） | 虎屋近江　鉄道人写　印 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 001 | 「瞬間の累積　日本常民文化研究所三五周年記念」<br>（＊澁沢直筆の目次　原稿用紙7枚） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 002 | （＊家屋前の田植え女達や富山県中新川郡上市町白萩アワラの田植の様子、水田の様子など） | なし | 6 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 003 | （＊新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺正月十五日の行事や高田市北本町での瞽女の演奏、ヂョーバコなど） | なし | 8 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 004 | （＊新潟県岩船郡三面村布部の犂や高知県室戸市クジラ位牌、鯨モリなど） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 005 | （＊「昭和十一年十一月一日　白川～棚倉ハイキング」（福島県西白河郡白河町クサミノや福島県東白河郡棚倉町ポンチョ型上着、新潟県岩船郡三面村布部入口の一つの家など） | なし | 13 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 006 | （＊味野町荻野正孝邸前での記念写真） | なし | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 007 | （＊三重県英虞郡和具村アマゴヤの内部や三重県英虞郡御座村軒先で海女の道具類を広げこちらを指差す女性と子供、三重県英虞郡和具村船上から海に飛び込む海女など） | なし | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 008 | （＊新潟県北魚沼郡湯三谷村上折立「横道の亀太郎　熊に噛まれた顔」など） | なし | 2 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 009 | （＊藤塚浜、福島潟、寺泊、野積、阿賀野川鮭網･網引の様子やスマキ葛塚など） | なし | 21 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 010 | （＊船上の海女や渋沢らによる対馬での海女調査風景など） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 011 | （＊愛知県北設楽郡田口町夏目義吉宅にてアチック同人らと集合写真や同所キリコドウロウ、和歌山県東牟婁郡田原村ドウミチの一枚田など） | なし | 7 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 012 | （＊新潟県西頸城郡糸魚川町押上塩田や同所塩田での作業の様子など） | なし | 6 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 013 | （＊琵琶湖畔風景や筌など） | なし | 2 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 014 | （＊新潟県古志郡二十村野田ベコや同所牛の角付きなど） | なし | 2 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 015 | （＊秋田県男鹿乾草を運ぶ様子や同所乾草刈りの様子、塩釜跡など） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 016 | （＊塩釜跡附近や稗室の外観、マヤなど） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 017 | **渋沢先生　石神特集　小泉信三氏　茅誠司氏　石坂泰三氏　私見在中　馬場さん**<br>（＊岩手県岩手郡御村「森林鉄道インクライン」森林鉄道跡や「仙岩峠途上切通シ」仙岩峠途上、「仙岩峠お助け小屋」など） | 渋沢先生　石神特集　小泉信三氏　茅誠司氏　石坂泰三氏　私見在中　馬場さん | 7 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 018 | （＊「愛知北設楽富山村大谷附近」斜めに傷を付けた木や「長野下伊那郡神原村本山」板木を担ぐ四人の男、山間のムラの風景など） | なし | 3 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 019 | （＊漁村の風景や陸にて網から魚を取る様子、門松など） | なし | 8 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 020 | （＊愛知県北設楽郡本郷町中在家花宿や同所花祭り湯囃し、花祭り鬼の面など） | なし | 8 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 021 | （＊蓑を着けナワのようなものを運ぶ三人の女性など） | なし | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 022 | （＊栄一･篤二･敬三と親類の集い、澁澤敬三と挿嘉一郎や澁澤敬三と挿一家との集合写真、アチック同人など） | 記載なし | 21 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 023 | **栗見＜荘＞新田集**<br>（＊石臼や田靴、琵琶湖畔むしぶろの一形式など） | 栗見＜荘＞新田集 | 20 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 024 | （＊原稿用紙7まとめ、瞬間の累積　ねらい、詳細目次、など　原稿･下書きヵ） | （日本生命のビニール製ファイル） | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 025 | **渋沢先生　石神村集　小泉信三氏　茅誠司氏　石坂泰三氏　私見在中　馬場さん**<br>（＊テスリツムや斉藤家家屋、大家斎藤家ヤクヤ、大家斎藤家ジョウイなど） | 渋沢先生　石神村集　小泉信三氏　茅誠司氏　石坂泰三氏　私見在中　馬場さん | 31 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 026 | 昭和五年四月十三日　三田綱町邸花祭　来会者芳名録<br>（＊原稿用紙1まとめ） | なし | 0 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報 （*）内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 029 | 027 | **瞬間の累積**<br>（＊段ボール箱） | 瞬間の累積 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 001 | **VISCOUNT K. SHIBUSAWA 10TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU TOKYO**<br>（＊レバノン バールベックでの澁澤敬三や藤田嗣治など、外国視察などの風景） | VISCOUNT K. SHIBUSAWA 10TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU TOKYO | 39 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 002 | （＊海水浴の様子や砂浜での子供たち、台湾での石黒忠篤など） | なし | 16 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 003 | （＊A REAL KING, TWO QUEENS OF CHUM Petersburg, Alaska WORLD′S RECORD SALMONとChilkat blankets of mountain goat woolの絵はがき） | なし | 2 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 004 | （＊「精密と包まれた誠実」【ダイヤモンド「私見」に寄稿したもの】や「笹村先生手記 ロダン「鼻欠け」ブロンズの由来」など、原稿類） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 005 | **フィルムネガ 台湾 沖縄 花祭**<br>（＊島の遠景やサトウキビを絞る石臼をひく馬、屋敷門、雪中にゴザのようなものを乾す様子、花祭りの鬼の舞、石敢當など） | フィルムネガ 台湾 沖縄 花祭 | 18 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 006 | CUNARD LINE PLAN “MAURETANIA”<br>（＊英国汽船会社CUNARDの旅船室内の地図） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 007 | （＊レバノン バールベックの風景や藤田嗣治、ストーンヘンジ、エルサレムのモスク、新潟県西蒲原郡月潟村角兵衛獅子、コペンハーゲンのドルメン、馬に乗る渋沢敬三、沖縄戦災校舎復興後援会会長就任に関わり糸満を訪れた際の渋沢敬三を歓迎する地元の小学生など、版下に用いるために集めたものヵ） | なし | 64 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 008 | （＊松森胤保翁肖像写真や同翁が描いた葡萄虫の絵、同翁が描いたドジョウの絵など） | なし | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 009 | **No.96 故石黒さんの写っているネガ 5月30日 澁澤様**<br>（＊台北後藤長官官邸にて写る後藤文夫と石黒忠篤やテラスにて座る澁澤敬三と石黒忠篤など） | No.96 故石黒さんの写っているネガ 5月30日 澁澤様 | 3 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 010 | （＊ライオンやペンギン、カバ、カリブーなど、海外の動物園の写真） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 011 | （＊岡山県味野荻野邸前での集合写真や野崎中学の生徒達、三重県鳥羽多徳島桐英会集合写真、エルサレムの街並み、サンパウロ鐘紡工場内の澁澤敬三など、外国·国内調査写真） | なし | 20 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 012 | （＊天然記念物ホタル烏賊【魚津名物】の絵はがきや魚津埋没林の絵はがき、海外の古い犂など） | なし | 3 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 013 | **澁沢様**<br>（＊澁澤敬三証明用写真） | 渋沢様 | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 014 | （＊長崎国際電話局や同局内写真など） | なし | 3 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 015 | **三沢市中央通り二丁目 公営住宅第二号 円空上人作 佐井村/甲地村 中道等殿 杉本社[ ] 御[ ] 中[ ]生**<br>（＊十一面観音像や小観音像、えびす·大黒像、原稿など） | 三沢市中央通り二丁目 公営住宅第二号 円空上人作 佐井村/甲地村 中道等殿 杉本社[ ] 御[ ] 中[ ]生 | 14 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 016 | **澁澤先生 写真四枚在中 飛田生**<br>（＊バタヤ街の風景や飛田氏イレズミなど） | 澁澤先生 写真四枚在中 飛田生 | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 017 | （＊澁澤青淵先生頌徳碑など） | なし | 4 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 018 | （＊屏風に描かれた書の筆写、詳細不明だが河岡1-30-20と関連ヵなど、原稿用紙4枚） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 019 | **栗原様**<br>（＊ペルーリマのチルカ塩地の結晶塩中にいるクラミドモナスSP） | 栗原様 | 5 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 020 | （＊屏風書など、河岡1-30-18と関連ヵ） | 記載なし | 6 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 021 | （＊十一面観音が県重宝に指定された報や十和田湖·青森などに関する新聞スクラップなど） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 022 | 封筒<br>（＊**「リデル」·「澁澤會長様 御写真」·「椎名様」**【博多大丸8㎜シネの封筒】） | 封筒（3点、「リデル」·「澁澤會長様 御写真」·「椎名様」） | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 030 | 023 | **魚名口**<br>（＊段ボール箱） | 魚名口 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 031 | | **民具説明手紙（昭和九年頃）**<br>（＊「民具説明」【書簡類綴】） | 民具説明手紙（昭和九年頃） | 1 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 032 | | **民具図彙？＜農業用具 件数40＞**<br>（＊テショカゴの参考図スケッチ並びに参考説明版下ヵなど） | 民具図彙？＜農業用具 件数40＞ | 3 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 033 | 001 | （＊韮山の反射炉や仙台元デニング先生邸、古志郡二十村の闘牛、大島沖の船上にいる澁澤敬三、菅江真澄の墓、「Welcome to GREENFIELD VILLAGE」【町の案内図ヵ】、江戸川河口附近トレース地図など） | なし | 64 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 033 | 002 | **東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中（表）**<br>**茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子（裏）**<br>（＊鹿野忠雄肖像写真や調査での鹿野氏、鹿野静子手紙一通など） | 東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中（表）<br>茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子（裏） | 2 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 033 | 003 | **「瞬間·計画」**<br>（＊封筒） | 「瞬間·計画」 | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 034 | | **農民日録 挿図 野洲川地図家口**<br>（＊ソリテンビンやエリ漁、野洲川絵図、古文書など） | 農民日録 挿図 野洲川地図家口 | 30 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 035 | | （＊年代別表、用紙欄外に神奈川大学経済学部とあり、財団常民研以降のものヵ） | なし | 0 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 036 | | **三津町 重田禮志提 （小型） 計拾枚**<br>（＊麻ゾーリやマキワ、オゴケ、マギモノ、海ノヤロ、ツモ、エリの様子など） | 三津町 重田禮志提 （小型） 計拾枚 | 11 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 037 | | （＊ソリテンビンでダラを運ぶ女性やソリテンビンの実測図など） | なし | 1 |

| 資料単位 | | 資料番号① | 資料番号② | 資料名<br>（背表紙名・封筒名・内容より）<br>※**太字**はアルバムの背表紙や封筒に記載された文字情報　(*)内はそれぞれの資料群より推定した内容） | 備考<br>（背表紙名・封筒名記載文） | 写真点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 038 | | （＊大日本帝国とロシアそれぞれの国境碑、ロッペン鳥や卵、ギリヤークの女の子、鱒漁の様子、オロッコ族と家、海豹島、オットセイ、宮崎県南那珂郡福島町クケ下駄など） | なし | 22 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 039 | | （＊瀬戸内わち魚のたも網すくい、救助船光海号水難救済より波止場内に引あげた所、蛸壷縄作業、箱下駄、『安芸三津漁民手記』掲載写真等の説明など） | なし | 39 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 040 | | （＊新島本村ハジキで遊ぶ少女や新島本村前浜の遠景、地内島、網納屋、漁船など） | なし | 15 |
| 河岡武春資料 | 河岡1 | 041 | | **行徳塩ノ図バン3枚　カヂ西口御存和　行徳ノ塩**<br>（＊塩採取の絵図接写など） | 行徳塩ノ図バン3枚　カヂ西口御存和　行徳ノ塩 | 3 |
| | | | | | | 8852 |

**◆凡例**

・資料名は、背表紙・封筒記載があるものは極力そのままを資料名とした。背表紙・封筒記載がないものはアルバム内キャプション情報や内容などから勘案して付した。尚、「（＊　　）」は資料群のそれぞれの内
・備考には背表紙・封筒等に題名として記載があるものを原文のままあげた。尚、封筒や包紙等が無い場合は「なし」、封筒や包紙があるが記載がない場合は「記載なし」としている。
・口は判読不明文字で字数が確定しているもの（口一つにつき1文字）、[　　]は判読不明文字で字数が不確定のもの。
・＜　＞は傍線などで訂正されている元の文字、[　　]中に文字がある場合はもともと印刷されている文字で意味が分からなくなるため資料名に追加記入した。

**◆注**

**※1 「特殊部落」とあるが、これは明治期の行政が用いた差別的呼称であり、本来は用いるべき呼称ではない。しかし、常民研では時代性を反映している歴史的資料であると考え、改訂せずそのまま使**
**返却くださいとあり、借用したものヵ**

**◆資料単位説明**

| | |
|---|---|
| **アルバム** | ・英国印刷用紙寸法でいう「Large Foolscap 1/2」（171×216mm）と「Crown1/2」（190×254mm）版の台紙を綴じたパテントレザー製、または布張・紙製のアルバム<br>・120冊（1～122番まで。内17と121は欠番、51番はアルバムのみで写真無） |
| **写真類1** | 財団法人日本常民文化研究所から資料を引き継いで収蔵されていた箱に付したカテゴリー番号1。主に写真だが中にはスケッチや図画などもある。 |
| **写真類2** | 財団法人日本常民文化研究所から資料を引き継いで収蔵されていた箱に付したカテゴリー番号2。主に写真だが中にはスケッチや図画などもある。 |
| **写真類3** | 財団法人日本常民文化研究所から資料を引き継いで収蔵されていた箱に付したカテゴリー番号3。ネガフィルム（コマ状）。しかし、紙焼きのみでネガフィルムがないというものが2点ある。 |
| **写真類4** | 財団法人日本常民文化研究所から資料を引き継いで収蔵されていた箱に付したカテゴリー番号4。主にガラス乾板だが中にはネガフィルムが数点ある。 |
| **河岡1** | 財団法人日本常民文化研究所所員であった同氏が仕分けをしたアチック関係資料と、自身のコレクション中、写真や原稿下などをピックアップした箱に付したカテゴリー番号。主に写真だが中にはスケッチや図画、原稿などもある。 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 1 | 1 | | 山形県 | 河1-2-6 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県七日町初市の花飴 | | | | ・記載なし | 79×108 | ・引用・使用媒体本文によれば「陰暦正月の初市に立つ大道店」とあり(p249)、その大道店で花飴を売っている場面カ<br>・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「花飴　山形七日町初市」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県七日町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 2 | | 山形県 | 写1-1-45 写1-1-61-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県最上地方の干紅花製法 | | | | ・記載なし | 76×109 | ・『最上紅花史料』p70によれば「生花をそのまま莚にひろげて天日に乾かすか、あるいは一度清水に漬けてからよく絞り乾かしたもの」とあり、その場面カ<br>・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第五章による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「干紅花製法」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上郡)誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上郡)<br>澁澤敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955p59「14　干紅花製法」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県最上地方（備考参照） | |
| 写1 | 1 | 3 | | 山形県 | 写1-1-62-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県西里村本木林兵衛所蔵の万延元年の紅花の「荷物請払帳」 | | | | 第十四図ノ(一) 仕切書払（ママ） （縦書）<br>第十章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>本木林兵衛氏所蔵 （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>12 （鉛筆、丸囲み）<br>76 （鉛筆、丸囲み） | 80×147 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p157による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切書控　本木林兵衛氏蔵」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県西里町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 4 | | 山形県 | 写1-1-63-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 京都の紅花問屋若山屋から山形谷地の紅花商柴田へ宛てた天明元年の仕切書 | | | | 第十三図　仕切書 （縦書）<br>第十章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>柴田大之助氏所蔵 （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>11 （鉛筆、丸囲み）<br>73 （鉛筆、丸囲み） | 93×153 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p144-145による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切書　柴田大之助氏蔵」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 5 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 湯殿山道中略図 | | | | 第二〇(十八)図(二) （縦書） | 150×103 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・裏面記載には「第二〇図」とあるが、『最上紅花史料』には掲載されていない<br>・写1-1-9と組で一揃いとなる<br>・本資料は三山行者の説明として『最上紅花史料』p253-255に言及されている。<br>・撮影者は写1-1-9から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 6 | | 山形県 | 写1-1-56 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形谷地の城主白鳥十郎長久に対して、織田信長が駿馬の返礼として送天正五年に送った文書 | | | | ○ （鉛筆）<br>第八図 ■信長公書翰 （縦書）<br>第七章 参照 （縦書）<br>大沼正宏氏撮影 （縦書）<br>積久右衛門氏所蔵 （縦書）<br>7現寸 （鉛筆、縦書、「7」は丸囲み） | 134×108 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』p94-95に言及されている。山形谷地の城主白鳥十郎長久に対して、織田信長が駿馬の返礼として送天正五年に送った文書。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「信長公書　積久右衛門氏蔵」 | | | | | | | 大沼正宏 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 7 | | 山形県 | 写1-1-63-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 文久二年に山形谷地の紅花商宇野仁左衛門から京都の最上屋喜八に宛てた紅花仕切書 | | | | 第十三図　仕切目録払 （縦書）<br>第十章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>宇野仁左衛門氏所蔵 （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>16 （鉛筆、丸囲み）<br>76 （鉛筆、丸囲み） | 89×148 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p132-134による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切目録控　宇野仁左衛門氏蔵」洪沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p58「12　紅花証文仕切目録控」産業経済新聞社1955p58「12　紅花証文仕切目録控」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 8 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花出来高 | | | | ☆ （鉛筆）<br>○ （鉛筆）<br>左右五寸切抜キ （鉛筆、縦書） | 120×164 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・写真資料記載に「左右五寸切抜キ」とあるが、『最上紅花史料』には掲載されていない<br>・横半帳の見開きの写真、紅花の出来高の覚カ、文化八年とある<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 9 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 湯殿山道中略図 | | | | 第二〇(十八)図(一)山形に於ける三山道者の盛況 （縦書）<br>第十四章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影(■■) （縦書） | 149×103 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・裏面記載には「第二〇図」とあるが、『最上紅花史料』には掲載されていない<br>・写1-1-5と組で一揃いとなる<br>・本資料は三山行者の説明として『最上紅花史料』p253-255に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 10 | | 山形県 | 写1-1-47 写1-1-48 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 祭魚洞文庫所蔵の「ベに一覧」 | | | | ○ （鉛筆）<br>二ノ二 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>祭魚洞文庫所蔵 （縦書）<br>全部入用 （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>8 （鉛筆、丸囲み）<br>5 （鉛筆、丸囲み） | 111×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第五章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「ベに一覧（祭魚洞文庫所蔵）」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 11 | | 山形県 | 写1-1-62-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 勘定仕切帳 | | | | ○(鉛筆、右上)<br>第十四図ノ(二)(縦書、右)<br>左右(鉛筆、縦書、中央)<br>三寸五分(鉛筆、縦書、中央)<br>13(鉛筆、左、丸囲み字)<br>78(鉛筆、左下、丸囲み字) | 77×147 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「勘定仕切書」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 12 | | 山形県 | 写1-1-22 写1-1-25 写1-1-57 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十二図ノ(二) （縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・写1-1-15と合わせて一双<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅵ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 13 | | 山形県 | 写1-1-55-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 會田六郎兵衛所蔵の勘定仕切書 | | | | ○ （鉛筆）<br>第十五図 勘定仕切書 （縦書）<br>第十章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>會田六郎兵工氏所蔵 （縦書）<br>14 （鉛筆、丸囲み）<br>左右三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>11 （鉛筆、丸囲み） | 103×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十章p162-163に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「勘定仕切書」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 14 | | 山形県 | 写1-1-16 写1-1-18 写1-1-54 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十二図ノ(三) 紅花屏風(縦書)<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・写1-1-17と合わせて一双<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 15 | | 山形県 | 写1-1-43 写1-1-51 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | ○ （鉛筆）<br>第二十二図ノ(一) 紅花屏風(縦書)<br>第十五章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>長谷川吉三郎氏所蔵 （縦書）<br>現寸 （鉛筆） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-12と合わせて一双<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅴ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 16 | | 山形県 | 写1-1-14 写1-1-18 写1-1-54 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十三図ノ(三) （縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×156 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-14をトリミングしたもの<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 17 | | 山形県 | 写1-1-50 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十二ノ(四) （縦書）<br>現寸 （鉛筆）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・写1-1-14と合わせて一双<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅵ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 1 | 18 | | 山形県 | 写1-1-14 写1-1-16 写1-1-54 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十三図ノ(二) （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-14をトリミングしたもの<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 19 | | 山形県 | 写1-1-64-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花を摘む女性 | | | | 第四図 紅花摘み （縦書）<br>第五(■)章参照 （縦書）<br>安斎徹氏撮影 （縦書）<br>左右二寸 （鉛筆）<br>9(3) （鉛筆、「3」「9」ともに丸囲み）<br>57 （鉛筆、丸囲み） | 152×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第五章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花摘」 | | | | | | | | 安斎徹 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 20 | | 山形県 | 写1-1-24 写1-1-52 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第廿一(十九)図ノ(三) （縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・刊行物口絵では一部分が拡大され使われている<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・紙テープ上のテープが裏に貼られている(2センチ×5ミリ程度)<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅲ」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 21 | | 山形県 | 写1-1-37 写1-1-40 写1-1-65 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第廿一(十九)図ノ(二) 紅花(風)屏風 （縦書）<br>第十五章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮(■)影 （縦書）<br>武田健氏所蔵 （縦書） | 113×153 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・『最上紅花史料』では別カットの写1-1-40が掲載されている<br>・裏面に鉛筆で縦に線が入っている、版下として使うときの跡か<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅰ」日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(紅花屏風)誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(紅花屏風) | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 22 | | 山形県 | 写1-1-12 写1-1-25 写1-1-57 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 〇(鉛筆)<br>第二十三図ノ(四) （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-12をトリミングしたもの<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 23 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 〇 （鉛筆）<br>第二十一図ノ(二) 干紅花製造 （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書） | 113×156 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・写1-1-21の一部分の拡大<br>・撮影者は写1-1-15から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅱ」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(紅花屏風)誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(紅花屏風) | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 24 | | 山形県 | 写1-1-20 写1-1-52 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 〇 （鉛筆）<br>第二十一図ノ(三) （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書） | 113×156 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料をトリミングしたもの<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅲ」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 25 | | 山形県 | 写1-1-12 写1-1-22 写1-1-57 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十三図ノ(五) （縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 113×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-12をトリミングしたもの<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 26 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花 | | | | 一ノ三 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り加工） | 155×113 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・『最上紅花史料』口絵で使われているのは上半分のみ<br>・撮影地は佐藤栄太撮影によることからの推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県（備考参照） | |
| 写1 | 1 | 27 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花 | | | | 第一図 紅花 （縦書）<br>第一章参照 （縦書）<br>一ノ一 （縦書）<br>一ノ二 （縦書）<br>一ノ三 （縦書）<br>安斎徹氏撮影 （縦書）<br>何レカ一枚御選定下サイ。 （縦書）<br>〈佐藤〉 （縦書） | 155×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・写真資料記載は一ノ一は安斎徹氏撮影、一ノ二 一ノ三は佐藤(佐藤栄太)撮影と見られる。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | | 安斎徹 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 28 | | 山形県 | 写1-1-49 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 諸国物産見立相撲番附 | | | | 第九図 諸国物産見立相撲番附 （縦書）<br>第八章参照 （縦書）<br>今田恒三氏撮影 （縦書）<br>横主(圭)一(正之)氏所蔵 （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>6 （鉛筆、丸囲み） | 140×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第八章p115-116に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「諸国物産見立相撲番附 横主一氏所蔵」 | | | | | | | | 今田恒三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 29 | | 大阪府 | 写1-1-55-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 長明燈 | | | | 長明燈(三) （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸 （鉛筆）<br>64 （鉛筆、丸囲み） | 109×148 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵 | | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 30 | | 大阪府 | 写1-1-64-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花燈籠 | | | | 紅花燈籠(二) （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸三分 （鉛筆、縦書）<br>〇 （鉛筆）<br>68 （鉛筆、丸囲み） | 149×109 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵 | | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 31 | | 大阪府 | 写1-1-60-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 長明燈 | | | | 長明燈(一) （縦書）<br>天地 （鉛筆、縦書）<br>三寸二分 （鉛筆、縦書）<br>〇 （鉛筆）<br>67 （鉛筆、丸囲み） | 150×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「長明燈　大阪住吉神社境内」 | | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 32 | | 山形県 | 写1-1-58-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 最上名所名産名物番附 | | | | 第十回最上名所名産名物番附 （縦書）<br>第九章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>川崎浩良氏所蔵 （縦書）<br>天地三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>8 （鉛筆、丸囲み）<br>(現寸) （鉛筆、左）<br>全部入用 （鉛筆、縦書）<br>70 （鉛筆、丸囲み） | 153×112 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第九章p125-126に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「最上名所名産名物番附（川崎良(ママ)氏蔵)」 | | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 33 | | 山形県 | 写1-1-59-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 中村嘉兵衛氏所蔵「東講商人鑑」 | | | | 第十八(六)図(一)東講商人鑑 （縦書）<br>第十四章参照 （縦書）<br>田中寫真館撮影 （縦書）<br>中村喜兵エ氏所蔵 （縦書）<br>全部入用 （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>70 （鉛筆、丸囲み） | 109×154 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十四章p243に言及されている。<br>・写1-1-34と二つで一枚<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「東講商人鑑(中村嘉兵衛氏蔵)」 | | | | | | | | 田中寫真館 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 34 | | 山形県 | 写1-1-59-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 中村嘉兵衛氏所蔵「東講商人鑑」 | | | | 第十八(六)図(二) （縦書）<br>左右 （鉛筆、縦書）<br>全部入用 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>72 （鉛筆、丸囲み） | 105×148 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十四章p243に言及されている。<br>・撮影者は写1-1-34と二つで一枚であることから田中寫真館と推定した<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「東講商人鑑(中村嘉兵衛氏蔵)」 | | | | | | | | 田中寫真館 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 35 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 明和8年の芋川村耕地絵図 | | | | コノ写真ヲ入レル （鉛筆、縦書）<br>←→ （鉛筆）<br>六寸三分 （鉛筆、縦書）<br>切抜キ （鉛筆、縦書）<br>13. 6. 7 〈赤インク、天地逆〉<br>☆ （鉛筆） | 119×153 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・「コノ写真ヲ入レル」とあるが口絵には掲載されていない<br>・ア-103-13と同様の写真(最上紅花資料とは無関係か)<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 36 | | 山形県 | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花摘法 | | | | 第五図 紅花摘法(■)(一部拡大) （縦書）<br>第五章参照 （縦書）<br>安斎徹氏所蔵 （縦書） | 111×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・『最上紅花史料』常民研彙報第57口絵「紅花摘」(写1-1-19)と同じようなカットの一部分を拡大であるが、ぶれている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | | | | | | | | 安斎徹 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 1 | 37 | | 山形県 | 写1-1-21 写1-1-40<br>写1-1-65 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十図ノ(一) （縦書）<br>最上の春景色 （縦書）<br>紅花屏風部分拡大図 （縦書）<br>第十五章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>武田健氏所蔵 （縦書） | 112×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-40をトリミングしたもの<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅰ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 38 | | 山形県 | 写1-1-39 写1-1-41<br>写1-1-53 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十一図(四) （縦書） | 111×154 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料をトリミングしたもの<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-41から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅳ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 39 | | 山形県 | 写1-1-38 写1-1-41<br>写1-1-53 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十一図 紅花屏風部分拡大図 （縦書）<br>二十ノ五 （縦書） | 112×154 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料をトリミングしたもの<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-41から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅳ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 40 | | 山形県 | 写1-1-21 写1-1-37<br>写1-1-65 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 第廿一(十九)図(一)(■) 紅花屏風 （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>〇 （鉛筆）<br>yamagata satou （浮き彫り） | 113×154 | ・テープをはがした跡あり<br>・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-40とあわせて一双<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-21による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅰ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 41 | | 山形県 | 写1-1-38 写1-1-39<br>写1-1-53 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | 〇 （鉛筆）<br>第廿一(十九)図(四) （縦書）<br>現寸 （鉛筆、縦書）<br>yamagata satou （浮き彫り） | 113×153 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は浮き彫りから佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅳ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 42 | | 大阪府 | 写1-1-60-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花燈籠 | | | | 紅花燈籠(三) （縦書）<br>78(赤鉛筆)<br>天地 （鉛筆、縦書）<br>三寸二分 （鉛筆、縦書）<br>〇 （鉛筆、左上）<br>67 （鉛筆、丸囲み） | 151×111 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花燈籠　大阪住吉神社境内)(ママ)」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 43 | | 山形県 | 写1-1-15 写1-1-51 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | 第二十三図ノ(一) （縦書）<br>紅花屏風部分拡大図 （縦書）<br>第十五章参照 （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>長谷川吉三郎氏所蔵 （縦書）<br>76 （赤鉛筆）<br>yamagata satou （浮き彫り） | 112×155 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-15をトリミングしたもの<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅴ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 44 | | 山形県 | 写1-1-61-2 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花 | | | | 左右 （鉛筆、縦書）<br>三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>77 （赤鉛筆）<br>1 （鉛筆、丸囲み）<br>一ノニ （縦書）<br>佐藤栄太氏撮影 （縦書）<br>〇 （鉛筆）<br>70 （鉛筆、丸囲み）<br>yamagata satou （浮き彫り） | 113×154 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・上部にのりをはがしたような跡がある。<br>・撮影地は佐藤栄太撮影によることからの推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県（備考参照） | |
| 写1 | 1 | 45 | | 山形県 | 写1-1-2 写1-1-61-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県最上地方の干紅花製法 | | | | 第六図 干紅花製法 （縦書）<br>第五章(図)参照 （縦書）<br>安斎徹氏所蔵 （縦書）<br>75 （赤鉛筆）<br>左右三寸二分 （鉛筆、縦書）<br>4 （鉛筆、丸囲み）<br>65 （鉛筆、丸囲み）<br>〇 （鉛筆） | 111×155 | ・『最上紅花史料』p70によれば「生花をそのまま莚にひろげて天日に乾かすか、あるいは一度清水に漬けてからよく絞り乾かしたもの」とあり、その場面か<br>・本資料は写真のみで台紙はない<br>・上部にのりをはがしたような跡がある。<br>・写1-1-2の原版ヵ<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第五章による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「干紅花製法」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上郡)誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上郡)<br>澁澤敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955p59「14 干紅花製法」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県最上地方（備考参照） | |
| 写1 | 1 | 46 | | 山形県 | 写1-1-58-1 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 新庄御國産名物盡 | | | | 第十一回新庄御国産名物盡 （縦書）<br>第九章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>『葛麓』所載 （縦書）<br>天地三寸五分 （鉛筆、縦書）<br>9 （鉛筆、丸囲み）<br>50 （鉛筆、丸囲み） | 223×141 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・『葛麓所載』とあるが、掲載の巻号名は不明<br>・本資料は『最上紅花史料』第九章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「新庄御國産名物盡（葛麓所載）」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 47 | | 山形県 | 写1-1-10 写1-1-48 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 祭魚洞文庫所蔵の「べに一覧」 | | | | 第二回 べに一覧 （縦書）<br>第五章第六章参照 （縦書）<br>今田悌三氏撮影 （縦書）<br>二ノ一 二ノ二 何しカー枚御選定下サイ （縦書）<br>祭魚洞(堂)文庫所蔵 （縦書） | 142×219 | ・本資料は写真のみで台紙はない<br>・本資料は『最上紅花史料』第五章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「べに一覧(祭魚洞文庫所蔵)」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 48 | | 山形県 | 写1-1-10 写1-1-47 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 祭魚洞文庫所蔵の「べに一覧」 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第五章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「べに一覧(祭魚洞文庫所蔵)」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 49 | | 山形県 | 写1-1-28 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 諸国物産見立相撲番附 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第八章p115-116に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「諸国物産見立相撲番附　横主一氏所蔵」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 不明 | |
| 写1 | 1 | 50 | | 山形県 | 写1-1-17 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-17による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅵ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 51 | | 山形県 | 写1-1-15 写1-1-43 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-15による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅴ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 52 | | 山形県 | 写1-1-24 写1-1-52 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-20から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅲ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 53 | | 山形県 | 写1-1-38 写1-1-39<br>写1-1-41 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-41から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅳ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 54 | | 山形県 | 写1-1-14 写1-1-16<br>写1-1-18 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-14による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 55 | 1 | 大阪府 | 写1-1-29 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 長明燈 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 1 | 55 | 2 | 山形県 | 写1-1-13 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 會田六郎兵衛所蔵の勘定仕切書 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十章p162-163に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「勘定仕切書」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 56 | | 山形県 | 写1-1-6 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形谷地の城主白鳥十郎長久に対して、織田信長が駿馬の返礼として送天正五年に送った文書 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』p94-95に言及されている。山形谷地の城主白鳥十郎長久に対して、織田信長が駿馬の返礼として送天正五年に送った文書。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「信長公書　積久右衛門氏蔵」 | | | | | | | 大沼正宏 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 57 | | 山形県 | 写1-1-12 写1-1-22 写1-1-25 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形市長谷川家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている。<br>・本資料は関連目録番号資料写1-1-12をトリミングしたもの<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-12による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅶ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県山形市（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 58 | 1 | 山形県 | 写1-1-46 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 新庄御國産名物盡 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・「葛麓所載」とあるが、掲載の巻号名は不明<br>・本資料は『最上紅花史料』第九章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「新庄御國産名物盡（葛麓所載）」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 58 | 2 | 山形県 | 写1-1-32 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 最上名所名産名物番附 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第九章p125-126に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「最上名所名産名物番附（川崎良(ママ)氏蔵）」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 59 | 1 | 山形県 | 写1-1-33 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 中村嘉兵衛氏所蔵「東講商人鑑」 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十四章p243に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「東講商人鑑(中村嘉兵衛氏蔵)」 | | | | | | | 田中寫真館 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 59 | 2 | 山形県 | 写1-1-34 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 中村嘉兵衛氏所蔵「東講商人鑑」 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十四章p243に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「東講商人鑑(中村嘉兵衛氏蔵)」 | | | | | | | 田中寫真館 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 60 | 1 | 大阪府 | 写1-1-31 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 長明燈 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「長明燈　大阪住吉神社境内」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 60 | 2 | 大阪府 | 写1-1-42 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花燈籠 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花燈籠　大阪住吉神社境内)(ママ)」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 61 | 1 | 山形県 | 写1-1-2 写1-1-45 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県最上地方の干紅花製法 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・『最上紅花史料』p70によれば「生花をそのまま莚にひろげて天日に乾かすか、あるいは一度清水に漬けてからよく絞り乾かしたもの」とあり、その場面ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第五章による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「干紅花製法」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上都)誠文堂新光社1957年p1297「紅花つくり」(山形県最上都)澁澤敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955p59「14　干紅花製法」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県最上地方（備考参照） | |
| 写1 | 1 | 61 | 2 | 山形県 | 写1-1-44 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県(備考参照) | |
| 写1 | 1 | 62 | 1 | 山形県 | 写1-1-3 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 山形県西里村本木林兵衛所蔵の万延元年の紅花の「荷物請払帳」 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p157に拠る。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切書控　本木林兵衛氏蔵」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県西里町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 62 | 2 | 山形県 | 写1-1-11 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 勘定仕切書 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第十章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「勘定仕切書」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 63 | 1 | 山形県 | 写1-1-4 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 京都の紅花問屋若山屋から山形谷地の紅花商柴田へ宛てた天明元年の仕切書 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p144-145による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切書　柴田大之助氏蔵」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 63 | 2 | 山形県 | 写1-1-7 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 文久二年に山形谷地の紅花商宇野仁左衛門から京都の最上屋喜八に宛てた紅花仕切書 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第十章p132-134による。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「仕切日録控　宇野仁左衛門氏蔵」洪沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p58「12　紅花証文仕切日録控」産業経済新聞社1955p58「12　紅花証文仕切目録控」 | | | | | | | 今田悌三 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 山形県谷地（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 64 | 1 | 山形県 | 写1-1-19 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花を摘む女性 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史料』第五章に言及されている。<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花摘」 | | | | | | | 安斎徹 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 不明 | |
| 写1 | 1 | 64 | 2 | 大阪府 | 写1-1-30 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 紅花燈籠 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史料』口絵写真版下ヵ<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)8月以前(備考参照) | 大阪住吉神社境内（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 1 | 65 | | 山形県 | 写1-1-21 写1-1-37 写1-1-40 | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | | | | ・記載なし | 194×137 | ・本資料は『最上紅花史資料』口絵写真版下ヵ<br>・本資料は『最上紅花史資料』第十五章に言及されている。<br>・撮影者は関連目録番号資料写1-1-21による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした。 | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「紅花屏風Ⅰ」 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前（備考参照） | 山形県寒河江町（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 1 | 66 | | × | | 最上紅花 （青インク）<br>最上紅花 （黒インク、縦書）<br>最上紅花誌写真在中 （鉛筆、縦書、赤丸囲み）<br>至急製版ノ事 （赤インク、縦書）<br>(26)28枚 （鉛筆、丸囲み） | 封筒 | | | | × | 259×204 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 2 | 1 | | 不明 | | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 糸車・筬等繊物用具写真 | 記載なし | | | ・記載なし（台紙に貼られているため） | | ・厚紙上の台紙に貼ってある(写真専用台紙ヵ) | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 2 | 2 | | 不明 | ア-93-4<br>ア-93-7<br>ア-93-11 | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 牛首・蚕箱等養蚕用具、他農具写真 | 記載なし | | | ・記載なし（台紙に貼られているため） | | ・厚紙上の台紙に貼ってある(写真専用台紙ヵ)<br>・ア93-4、7、11はこの写真を拡大したもの | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 2 | 3 | 1 | 不明 | ア-93-9 | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 燭台・行灯等燈火用具写真 | [60]（青色スタンプ、下部中央）<br>865（鉛筆、右） | | | ・記載なし（台紙に貼られているため） | | ・写1-2-3-1・2は同じ台紙に上下に貼られている<br>・ア93-9はこの写真を拡大したもの | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 2 | 3 | 2 | 不明 | | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 万石通・篩等農具写真 | [60]（青色スタンプ、下部中央）<br>869（鉛筆、右） | | | ・記載なし（台紙に貼られているため） | | ・写1-2-3-1・3は同じ台紙に上下に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 2 | 4 | | 不明 | | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 釜・徳利等飲食用具写真 | 記載なし | | | ・記載なし（台紙に貼られているため） | | ・厚紙上の台紙に貼ってある(写真専用台紙ヵ) | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 2 | 5 | | 不明 | | 紡績、農具飲食燈火（横書青字）<br>紡績農家飲食燈火（縦書黒字）<br>※B5封筒 | 封筒 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 3 | 1 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 秋田県仙北郡上檜木内村字堀内のオイヌ社 | 1870 （ナンバリング、青インク）<br>仙北郡上檜木内字堀内<br>オイヌ社<br>[No.]7. | ・ESPARTO SUPERFINE C.N. &Coと透かしあり | 211×164 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった) | | | | | | | 武藤鉄城・高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月5日～（備考参照） | 仙北郡上檜木内字堀内台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 2 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 秋田県仙北郡檜木内村字堀内の狩猟神 | 1871 （ナンバリング、青インク）<br>狩猟神 14.4 山犬 （鉛筆）<br>仙北郡上檜木内字堀内<br>pl.7の神像。<br>[No.]8 | ・ESPARTO SUPERFINE C.N. &Coと透かしあり | 211×164 | ・記載なし | 103×78 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった) | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p647「マタギの持つ神像」<br>高橋文太郎『山と人と生活』金星堂1943金星堂1943p315「ヤマイヌ社神像（秋田檜木内村）金星堂1943p315「ヤマイヌ社神像（秋田檜木内村） | | | | | | | 武藤鉄城・高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月5日～（備考参照） | 仙北郡上檜木内字堀内台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 3 | | 秋田県 | ア-50-28 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギ姿（正面)の男性と犬 | 1872 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>マタギ（バンドリを狩りて【ママ】帰りたる図）<br>[No.]39 | ・ESPARTO SUPERFINE C.N. &Coと透かしあり | 211×164 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。また同書p.796に「ムサビ(もものが)をりて帰りたるマタギの姿(同上部落)背に著てゐるのは犬皮。生ゴムの長靴に輪標をつけてゐる。」とあり題名はこれによる | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一〇図 マタギ姿 四」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日（備考参照） | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 4 | | 秋田県 | ア-50-38 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | マタギ姿の鈴木甚之助と赤上政治郎（後ろ向き） | 1873 （ナンバリング、青インク）<br>pl.9ノ前面<br>[No.]10 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×164 | ・記載なし | 89×94 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・『秋田マタギ資料』写真解説には仙北郡檜木内村檜木内字寺村とある<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。また同書p.797に「仙北郡檜木内村檜木内字寺村のマタギである鈴木甚之助(左)と赤上政治郎(右、明治四十年三月生)の両氏。(中略)第二二図 同上氏の背面」とあり題名はこれに | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第二一図 マタギ姿 六」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年誠文堂新光社1959年p1506誠文堂新光社1959年p1506 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月5日～（備考参照） | 仙北郡檜木内村檜木内字寺村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 3 | 5 | | 秋田県 | ア-50-35 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子集落の全景 | 1879 （ナンバリング、青インク）<br>北秋田郡荒瀬村根ッ子<br>[No.]16 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。また同書p.793に「民家のクラカケといふ屋根構の押さへは七とか九とかの奇数に作る。右方杉の森が山ノ神社(富文化の)とあり富部落の氏神。」題名はこれによる。 | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第三図 部落の全景」高橋文太郎『山と人と生活』金星堂1943金星堂1943p10「マタギ部落（北秋田郡荒瀬村根子）金星堂1943p10「マタギ部落（北秋田郡荒瀬村根子」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日（備考参照） | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 6 | | 秋田県 | ア-50-29 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の家紋を表せる民家 | 1881 （ナンバリング、青インク）<br>147 紋章(鉛筆)<br>北秋田郡荒瀬村根ッ子<br>佐藤家紋<br>[No.]18 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第三図 家紋を表せる民家」日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年誠文堂新光社1959年p1469「戸袋につけた家紋（秋田県根子）」誠文堂新光社1959年p1469「戸袋につけた家紋（秋田県根子）」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日（備考参照） | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 7 | | 秋田県 | ア-50-39 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の民家で飼育している秋田犬の親子と子ども達 | 1884 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>秋田犬<br>[No.]21 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。また同書p.796に「民家で飼育してゐる秋田犬(富部落)」とあり題名はこれによる | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一一図 秋田犬」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日（備考参照） | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 8 | | 秋田県 | ア-50-30 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | スケートを履いた荒瀬村根子の子ども達 | 1885 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>スケートをつけた子供達（日曜日ノ朝）<br>[No.]22 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。また同書p.797に「部落の子供達。スケートと云ふ金具をつけて硬雪面を滑つてゐる。」とあり題名はこれによる<br>・撮影日は台紙記載に「日曜日の朝」とあることから根子集落滞在中の3月8日とした | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一九図 部落の子供達一」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月8日～（備考参照） | 荒瀬村根子台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 3 | 9 | | 秋田県 | ア-50-33 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | カシベ泉を雪の上で揚げる荒瀬村根子の子ども達 | 1886（ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>カシベダコ<br>シダレ2本<br>ツリイト（糸目）<br>家ダコ （天流）<br>[No.]23 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書p.796に「カシベ泉を雪の上で揚げる子供達」.泉には「天上、雨風上水」とか「天に春風、登泉」など書いてある。]とあり題名はこれによる<br>・写真が貼られた罫線用紙に扇形泉の図の解説(土-天-上-水、風、雨)と角泉の解説(これは途中で紙が切れている)がある | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第二〇図 全 二」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p69「6 根っ子の子ども 神奈川大学日本常民文化研究所 秋田マタギの村にて」横浜市歴史博物館2002p69「6 根っ子の子ども 神奈川大学日本常民文化研究所 秋田マタギの村にて」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 10 | | 秋田県 | ア-50-26 写1-18-19-4 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の薬製の種子入と荷橇 | 1889（ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>薬種子入（家の中に置くと湿気がつくから、<br>旧10月時分ヨリ88夜過の10日許りの間に<br>[No.]26 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書p.797に「樹枝より吊り下げてあるのは薬製の薬種子入（中略）又こいに立てかけてある荷橇の腕木はカンジョウと呼び、自然木を利用している。他の橇も皆同型である。」とあり題名はこれによる<br>・台紙記載のうち「薬種子入」にはカタカナで「アワダネイレ」とカナがある。また同罫線用紙の解説は途中で紙が切れている | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一八図 薬製の種子入と荷橇」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 11 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の庚申社 | 1892 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子<br>庚申社（マタギが祈願スル）<br>[No.]25 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×105 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。 | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一三図 庚申社」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 12 | | 秋田県 | ア-50-36 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 佐藤富松氏のマタギ姿（正面） | 1895 （ナンバリング、青インク）<br>14.8 根子 （鉛筆）<br>1ハンモ＼ヒキ（木綿 （数字は丸囲み）<br>2ツビレ（一枚用ア、 （数字は丸囲み）<br>3ハンバキ（麻紐 （数字は丸囲み）<br>4ハカマ（麻紐をつ （数字は丸囲み）<br>5甲ハバキ（四角型、 （数字は丸囲み）<br>甲ガケ（三角型 （数字は丸囲み）<br>6マヘカケ （数字は丸囲み）<br>7テウエ（皮手袋） （数字は丸囲み）<br>8手拭（笠ノ下ニ （数字は丸囲み）<br>9フロシキ（三角型） （数字は丸囲み）<br>(10)ドウマキ（？）<br>12(■)カワ（アヲンーの （数字は丸囲み）<br>10ミノカサ（マタギカ （数字は丸囲み）<br>(■)11ゼンブクロ（皮 （数字は丸囲み）<br>13ショイアミ（小猟 （数字は丸囲み） | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書pp..793~794に「第四図マタギ姿 一 富地佐藤富松氏(富年三十七歳)。現今は段々この古式の服装が廃されてゐる。」とあり題名はこれによる<br>・台紙解説は紙は途中で切れている | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)日本常民文化研究所編口絵「第五図 マタギ姿二」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p98「2 マタギの姿（後） 神奈川大学日本常民文化研究所」横浜市歴史博物館2002p98「2 マタギの姿（後） 神奈川大学日本常民文化研究所」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子（備考参照） | |
| 写1 | 3 | 13 | | 秋田県 | ア-50-27 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 佐藤富松氏のマタギ姿（後ろ向き） | 1896 （ナンバリング、青インク）<br>14.9 根子 （鉛筆）<br>pl.32の背面<br>古式ニ於ルマタギ姿<br>[No.]33 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 104×78 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書pp..793~794に「第四図マタギ姿 一 富地佐藤富松氏(富年三十七歳)。現今は段々この古式の服装が廃されてゐる。(中略)マタギ姿 二 カサの下から背にフロシキの端が三角形に垂れてゐる。」とあり題名はこれによる<br>・台紙解説は紙は途中で切れている | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第四図 マタギ姿 一」高橋文太郎『山と人と生活』金星堂1943巻星堂1943p13「マタギ（秋田根子所見）」金星堂1943p13「マタギ（秋田根子所見）」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002p98「1 マタギの姿（前） 神奈川大学日本常民文化研究所」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 14 | | 秋田県 | 写1-18-19-2 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟用具 | 1898 （ナンバリング、青インク）<br>一小刀<br>一縫針（熊ノ皮ヲヌフ）<br>一タケツツ（火縄入）<br>一アブラ取皮丁<br>一火鋼<br>一皮手袋<br>一イチャラ（錆皿）<br>一小刀<br>荒瀬村根ッ子<br>猟具 pl.35、q<br>[No.]36 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。<br>・矢印は写真に合わせて引いてあり、解説も向きが90度回転している | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第八図 マタギ用具 二」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p98「3 マタギの道具 神奈川大学日本常民文化研究所」横浜市歴史博物館2002p98「3 マタギの道具 神奈川大学日本常民文化研究所」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 15 | | 秋田県 | ア-50-34 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟用具（ヤリ、タテ、マヘカケ、ミノカサ） | 1899 （ナンバリング、青インク）<br>タテ 一 一<br>一ミノカサ（葦ミゴにて作る）<br>一くドウマキ＞マヘカケ<br>pl.36、q<br>No.37 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 80×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書p.795に「右はヤリ(熊突き用槍)、左はタテ(片刃の槍、熊突き用)。マヘカケ。ミノカサ。(佐藤富松氏蔵)」題名はこれによる。<br>・矢印・棒線は写真に合わせて引いてある | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第七図 マタギ用具 一」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子（備考参照） | |
| 写1 | 3 | 16 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟姿 | 1901（ナンバリング、青インク）<br>pl.39の背面<br>No.40 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。 | 高橋文太郎『山と人と生活』金星堂1943p12「マタギ（猟姿ー秋田根子）」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 3 | 17 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の狩猟の際に山に持っていく魔除けのオコゼ | 1904 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子 佐藤正夫氏蔵<br>右 コゼ。(川には棲まない。七之丞山(鉢森)へ行く （「右」は丸囲み）<br>マタギが持参せり。魔除けとなる。<br><br>もう一つ当家ぬはガメ(亀)に似たる形にて刺のあ<br>コゼがあった。(佐藤正夫氏老婆談) | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 79×104 | ・写真が貼られた用紙(No.はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまた。また同書p.805に「ヲコジ(ゼ)」として関連の記述があり、題名はこれによる。<br>・台紙解説は紙は途中で切れている | | | | | | | | 武藤鉄城・高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 3 | 18 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギの酒入れと魔除けのオコゼ | 1905 （ナンバリング、青インク）<br>荒瀬村根ッ子 （佐藤正夫氏蔵）<br>左 マタギの酒入。（「左」は丸囲み）<br>右 オコゼの背面 （「右」は丸囲み）<br>[No.]44 | ・馬に乗る人の絵、VICTORYと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 104×79 | ・写真が貼られた用紙(No.1はこの用紙に振られている、王冠に「S」と「M」を組み合わせた絵の透かしあり、168×136)が台紙に貼付されている<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまった。 | | | | | | | | 武藤鉄城・高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子台紙記載 | |
| 写1 | 3 | 19 | | 秋田県 | 写1-18-19-3 | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟用具(コガタナ、ヌビバリ、タケツツ、アブラトリ包丁、火縄、テウエ、イジヤラ、コガタナ、犬の引綱) | 1906 （ナンバリング、青インク） | 台紙には国会議事堂のような絵の透かしとその下に［ ］RIAL TOWERとある | 202×156 | 切ル （鉛筆）<br>原寸 （縦書）<br>Agfa-Brovia （印刷、斜体字） | 112×157 | ・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまった。 | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第九図 マタギ用具 三」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子 （引用・使用媒体） | |
| 写1 | 3 | 20 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の狩猟の際に山に持っていく魔除けのオコゼ | 2811 （ナンバリング、青インク）<br>オコゼ （鉛筆） | 写真が貼られた罫線用紙は透かしに、ESPARTO SUPERFINEとある | 257×205 | ・記載なし | 165×119 | ・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまった。<br>本資料は写1-3-22の別カットのため、撮影者はこれにまる。 | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 3 | 21 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の狩猟の際に山に持っていく魔除けのオコゼ | 2812 （ナンバリング、青インク）<br>オコゼ （鉛筆） | 写真が貼られた罫線用紙は透かしに、ESPARTO SUPERFINEとある | 257×205 | ・記載なし | 164×120 | ・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888にまった。<br>本資料は写1-3-22の別カットのため、撮影者はこれにまる。 | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 3 | 22 | | 秋田県 | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | 荒瀬村根子の狩猟の際に山に持っていく魔除けのオコゼ | 2813 （ナンバリング、青インク）<br>オコゼ （鉛筆） | 写真が貼られた罫線用紙は透かしに、ESPARTO SUPERFINEとある | 257×205 | ・記載なし | 120×165 | ・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。ただし、撮影日・撮影地は木川半之丞撮影であることから、アチックミューゼアム内での撮影の可能性もあり不明とし | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻 東北編(3)三一書房1973口絵「第一図 ヲコゼ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 不明 | 有 |
| 写1 | 3 | 23 | | × | | 根子部落 （縦書）<br>マタギ集 （縦書）<br>高橋文太郎様 （縦書）<br>渋沢委員 （筆書） | （封筒） | | | | × | 364×240 | ・日本専売公社の封筒を使用している | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 4 | 1 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | [14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 2 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | [14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 3 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | [14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 4 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | ガラス製横釜 | | | | [14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 5 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横釜 | | | | 原田忠一(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 6 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | [14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 4 | 7 | | 静岡県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪筌 | | | | 静岡県田方郡(縦書、中央)<br>三津村長浜(縦書、中央)<br>菊池傳■郎(縦書、中央、■は己カ)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、左) | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 8 | | 千葉県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8383(中央)<br>ヅ(中央)<br>千葉県印旛郡安食町(縦書、中央)<br>功力亀内(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 9 | | 台湾 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8332(中央)<br>台湾台北市(縦書、中央)<br>ヘエヲン(縦書、中央)<br>蝦龍(縦書、中央)<br>本■(橋の字の右の部分の口の部分が日になった字)已太郎(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 10 | | 台湾 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8329(中央)<br>ヒイコオー(縦書、中央)<br>台湾台北市(縦書、中央)<br>本■(橋の字の右の部分の口の部分が日になった字)已太郎(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、左) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 11 | | 高知県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竹筒横筌 | | | | 6242(中央)<br>ウナギヅヽ(縦書、中央)<br>高知県安藝市室戸町(縦書、中央)<br>吉岡高志(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 12 | | 千葉県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8385(中央)<br>ヅ(中央)<br>千葉県印旛郡安食町(縦書、中央)<br>功力亀内(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 13 | | 台湾 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8330(中央)<br>ヒイコオー(縦書、中央)<br>台湾台北市(縦書、中央)<br>本■已太郎(■は橋の字のつくりの口が日になった字)(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、左) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 14 | | 滋賀県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8434(中央)<br>セゼラ(ガンラ)(縦書、中央)<br>滋賀県滋賀郡堅田町(縦書、中央)<br>喜多村俊夫(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 15 | | 長野県 | | 【封筒1】<br>筌(上、鉛筆)<br>筌(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横筌 | | | | 8380(中央)<br>長野県諏訪郡(縦書、中央)<br>功内亀内(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 4 | 16 | | 鹿児島県 | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜、釜引き上げ具 | | | | 8228(中央)<br>アミケ引上具(縦書、中央)<br>アミケ(縦書、中央)<br>鹿児島県大島郡(縦書、中央)<br>宇検村宇検(縦書、中央)<br>浜田完(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、左) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 17 | | 愛知県 | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製横釜 | | | | 8191(中央)<br>タギ(縦書、中央)<br>愛知県北設楽郡(縦書、中央)<br>富山村市原(縦書、中央)<br>武田米人(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 18 | | 千葉県 | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | 5892(中央)<br>カニカゴ(縦書、中央)<br>千葉県安房郡(縦書、中央)<br>岩井村市部(縦書、中央)<br>山口和雄(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、左) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 19 | | 三重県 | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | 8320(中央)<br>アイカゴ(縦書、中央)<br>三重県度會郡(縦書、中央)<br>南海村相賀浦(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 20 | | 群馬県 | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 竹製竪釜 | | | | 8229(中央)<br>ダルマウケ(縦書、中央)<br>群馬県邑楽郡(縦書、中央)<br>六郷村大字堀江(縦書、中央)<br>甲子三郎(縦書、中央)<br>[14. 4. 15](赤スタンプ、下) | | ・横書番号はアルバムNo.89-90の収蔵番号と関連するものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 4 | 21 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 封筒 | | | | | | ・高砂(右から、横書)TAKASAGO(横書)<br>昭和寫眞工業株式會社(右から、横書)の封筒を転用して使っている<br>(12SHEETS 12×16.5CM. とあり)<br>・封の跡あり<br>・角6B6封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 4 | 22 | | × | | 【封筒1】<br>釜(上、鉛筆)<br>釜(上、ペン)<br>【封筒2、表】<br>13(左上、横書)<br>4/14<br>廿一枚ウケ<br>【封筒2、裏】<br>[153](横書青色でナンバリングされている) | 封筒 | | | | | | ・祭魚洞書屋収蔵古文書の封筒を転用して使っている<br>・40×23の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 5 | 1 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 機織具<br>(写真、刊行物解説による) | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「5」と書かれている<br>・刊行物解説p. 222参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第四十九図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 2 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 漁具・網図<br>(写真、刊行物解説による) | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「8」と書かれている<br>・刊行物解説p. 219参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第二十二図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 3 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 貝焼き・ひさげ・盃図<br>(写真、刊行物解説による) | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「3」と書かれている<br>・台紙・写真の上に薄用紙状の紙がありそこに「左右一寸三分(赤鉛筆)、東北犬前付(赤鉛筆) 945、34(赤鉛筆で書かれ、〇・赤鉛筆で囲まれている)」とある<br>・刊行物解説p. 219参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十八図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 4 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 雪ぞり・箱ぞり等図<br>(写真、刊行物解説による) | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「1」と書かれ、裏面に「[ ]経済新聞東京本社[ ]」等印刷されている<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十四図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 5 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 苧桶・苞等図<br>(写真、刊行物解説による) | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「4」と書かれている<br>・台紙・写真の上に薄用紙状の紙がありそこに「左右一寸三分(赤鉛筆)、東北犬前付(赤鉛筆) 93、35(赤鉛筆で書かれ、〇・赤鉛筆で囲まれている)」とある<br>・台紙裏面に「[illegible]」とある | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十二図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 6 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 支干六十字六方柱図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「6」と書かれている<br>・台紙裏面に「斗牛、浮世絵牛」とある<br>・刊行物解説pp. 222-223参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十三図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 7 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 急須状発掘物図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は茶色封筒を切って使っており、「7」と書かれている<br>・台紙・写真の上に薄用紙状の紙がありそこに「左右一寸三分(赤鉛筆)、東北犬前付(赤鉛筆) 87、38(赤鉛筆で書かれ、〇・赤鉛筆で囲まれている)」とある<br>・刊行物解説p. 224参照 | 内田武志 編著『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第六十二図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 5 | 8 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | アイヌ民家図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙には「第四一図、←天地二寸三分→(赤ペン)、10の補(赤鉛筆)〈〇〉2」、その他に枠点線や作業用の補助線などがある<br>・台紙裏面に「42、〇」とある<br>・刊行物解説p. 221参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第四十一図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 9 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 籠提灯図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十一図、第十二図、第十三図、第十四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「⑪(青ペン)、◎、3(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十三図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 9 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 笈・長刀図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十一図、第十二図、第十三図、第十四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「⑪(青ペン)、◎、3(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十一図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 9 | 3 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 八足・エジコ図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十一図、第十二図、第十三図、第十四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「⑪(青ペン)、◎、3(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十二図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 10 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 小屋図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第二十図、第二十一図、第二十二図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「8(青ペン)、◎、5(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 218-219参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第二十一図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 10 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 被り物・木の皮の屑き物図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十九図、第二十図、第二十一図、第二十二図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「8(青ペン)、◎、5(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 218-219参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十九図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 10 | 3 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 藁束・腰籠等図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十九図、第二十図、第二十一図、第二十二図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「8(青ペン)、◎、5(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 218-219参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第二十図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 11 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 瓶図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は水産庁・日本常民文化研究所の原稿用紙<br>・台紙には「第六一図、第六二図、第六三図、第六四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「7(青ペン)、◎、⑮(赤鉛筆)」とあり、図の番号に対応するように「61-62-63-64」横に書かれている<br>・刊行物解説pp. 224-225参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第六十三図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 11 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 縄文土器図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は水産庁・日本常民文化研究所の原稿用紙<br>・台紙には「第六一図、第六二図、第六三図、第六四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「7(青ペン)、◎、⑮(赤鉛筆)」とあり、図の番号に対応するように「61-62-63-64」横に書かれている<br>・刊行物解説pp. 224-225参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第六十一図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 11 | 3 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | イシガメ・煙管図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は水産庁・日本常民文化研究所の原稿用紙<br>・台紙には「第六一図、第六二図、第六三図、第六四図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「7(青ペン)、◎、⑮(赤鉛筆)」とあり、図の番号に対応するように「61-62-63-64」横に書かれている<br>・刊行物解説pp. 224-225参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第六十四図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 12 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 手笠・蓑帽子等図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十五図、第十六図、第十七図、第十八図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「3(青ペン)、◎、4(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十七図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 12 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 初庚申の男結びの図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十五図、第十六図、第十七図、第十八図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「3(青ペン)、◎、4(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十五図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 12 | 3 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 正月かまくら祭りの図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第十五図、第十六図、第十七図、第十八図」とあり、いずれも横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、また他に「3(青ペン)、◎、4(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説p. 218参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第十六図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 13 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 竹ササラ・器物の脚等図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第四九図、第五十図、第五一図、第五二図」とあり、第四十九図の横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、他の図は「←二寸三分→(赤ペン)」、また他に「4(青ペン)、◎、⑫(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 221-222参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十一図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 13 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 杼・櫛等図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第四九図、第五十図、第五一図、第五二図」とあり、第四十九図の横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、他の図は「←二寸三分→(赤ペン)」、また他に「4(青ペン)、◎、⑫(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 221-222参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 14 | 1 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 瓶状発掘物図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第五三図、第五四図、第五五図、第五六図」とあり、第五十三図の横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、他の図は「←二寸三分→(赤ペン)」、また他に「6(青ペン)、◎、⑬(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 222-223参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十五図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 14 | 2 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 瓶状発掘物図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第五三図、第五四図、第五五図、第五六図」とあり、第五十三図の横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、他の図は「←二寸三分→(赤ペン)」、また他に「6(青ペン)、◎、⑬(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 222-223参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十六図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 5 | 14 | 3 | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 瓶状発掘物図 | | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間傳承編集部の原稿用紙<br>・台紙には「第五三図、第五四図、第五五図、第五六図」とあり、第五十三図の横に「←天地二寸三分→(赤ペン)」とあり、他の図は「←二寸三分→(赤ペン)」、また他に「6(青ペン)、◎、⑬(赤鉛筆)」ともある<br>・刊行物解説pp. 222-223参照 | 内田武志　編著『菅江真澄未刊文献集　二』 常民文化研究第67日本常民文化研究所1954年口絵「第五十四図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 5 | 15 | | × | | <下牛里><瀬戸内海>(青ペン、上)<br>眞澄遊覧記(黒フェルトペン、縦書、左)<br>※B5封筒 | 封筒 | | | | | | ・アチック・ミューゼアムの封筒を転用して使っている | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 6 | 1 | 朝鮮 | ア-64-9 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 大許沙島の人 | | | | NO32(鉛筆、左上)<br>横三寸三分(鉛筆、縦書、中央)<br>足ヲ消ス(鉛筆、縦書、下) | 108×106 | ・刊行物本文によれば写真に写っている人が着ている衣服はタンモク(唐木)〔棉布〕で作られている(p34)<br>・同一写真であるア-64-9では左下に人の足が写っているが、本写真ではその部分が修正して消してある<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に黒いカット指示の線とその取り消し波線(赤色)、赤いカット指示の線とその切取り部分に波線(黒色)、切取り部分に「キル」とある。(ア-64-9の写真を一部修正している) | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第32図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1282 177 | 1282 177<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>昭和十一年八月十八日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>嘘砂島( 許砂島)<br>韓奇煥、李古味。<br>全島の男達。<br>此の男達の衣服は皆な木綿であった。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部、文字天地逆) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 2 | 朝鮮 | 写1-6-42 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | チユグを着た子供(下洛月里) | | | | NO26(鉛筆、左上)<br>使用(鉛筆、右上) | 109×106 | ・刊行物本文によれば写真に写っている子どもが着ている衣服はチユグ(袴衣)(p25)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第26図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1273 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 3 | 朝鮮 | ア-64-7 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下牛里の共同作業場 | | | | NO37(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 107×106 | ・刊行物本文によれば共同作業場は部落の前面にある田んぼの中にあり、主として麦打ち、大豆打ちに使用され、子どもの遊び場になることもあった(p37)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第37図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1291 186 | 1291 186<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>全羅南道務安郡荏子面下牛里<br>昭和十一年八月十八日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>荏子島<br>下牛里のpul-madangで働ける女。<br>頭に鉢巻をして居るのは稀らしい。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面下牛里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 4 | 朝鮮 | ア-64-14 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の手斧(船大工とその道具) | | | | NO2<3>4(鉛筆、加筆青鉛筆、左上)<br>竪三寸三分五厘(鉛筆、縦書、左)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、左) | 108×105 | ・刊行物本文によれば写真の手斧はトチと呼ばれるものである<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第24図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1276 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 5 | 朝鮮 | ア-64-18 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鎭里にてチゲを負ふ子ども | | | | NO4(鉛筆、左)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、左)<br>横三寸<四>ニ分(鉛筆、縦書、左) | 108×104 | ・刊行物本文(p3)に記述が出てくるが具体的な説明なし<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第4図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1260 155 | 1260 155<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>全羅南道務安郡荏子面鎭里<br>昭和十一年八月十七日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>荏子島<br>チゲを負へる子供<br>chi-ge | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 6 | 朝鮮 | ア-64-17 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鎭里のパアチゲと杖 | | | | NO5(鉛筆、左)<br>竪三寸二分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×106 | ・刊行物本文(p4)に記述が出てくるが具体的な説明なし<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第5図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1261 156 | 1261 156<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>全羅南道務安郡荏子面鎭里<br>昭和十一年八月十七日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>荏子島<br>パーチゲ pā-chige | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 7 | 朝鮮 | ア-64-10 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 大許沙島のチヨクセミとチユングを着た女子 | | | | NO31(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分五厘(鉛筆、縦書、左)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、左)<br>右上ノ斜ノ線消ス(鉛筆、縦書、中央) | 108×106 | ・写真表面右上に変色あり(裏面の記載からすると、線を消した跡か)<br>・刊行物本文によればチヨクセミ(赤衫)とチユング(襯衣)のみで十三四歳になってもチマ(裳)を着けずに居るのは稀な例である(p34)という<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第31図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1283 178 | 1283 178<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>昭和十一年八月十八日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下に | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 8 | 朝鮮 | ア-64-16 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の働く女 | | | | NO17(鉛筆、左上)<br>竪三寸二分三厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×106 | ・刊行物本文によると女子の髪結型式には二つの型式があるが、写真の髪型がそのどちらなのかは触れられていない(p15)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第17図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1266 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムか | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面上洛月里(引用・使用媒体) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 6 | 9 | | 朝鮮 | ア-64-8 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 大許沙島のSongdoi(蛸の生簀) | | | | NO33(鉛筆、右上)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 107×105 | ・刊行物本文によるとこれはSongdoiとよばれる竹製の籠で、蛸を入れて生かし置くもの(p35)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第33図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1285　180 | 1285　180<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>昭和十一年八月十八日撮影(数字以外ゴム印)<br><br>嘘砂島(　許砂島)<br>ソンドイ　song-doi。<br>蛸を入れて生かして置く竹製の篭。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 10 | | 朝鮮 | ア-64-12 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里のバーチゲを負へる男 | | | | ヌキ(鉛筆、縦書、右)<br>NO26(鉛筆、右) | 108×105 | ・NO26とあるが、口絵の第二六図は違うものになっており、本写真は差し替えられる前のものか<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1274 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里ア-64-12による | |
| 写1 | 6 | 11 | | 朝鮮 | ア-64-36 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 堂箱主と舟王の神体(上洛月里) | | | | ・記載なし | 104×150 | ・本写真は写1-6-25の別カットと思われ、壁面に立てかけて撮影している<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 12 | | 朝鮮 | ア-64-36 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 堂箱主と舟王の神体(上洛月里) | | | | ・記載なし | 103×151 | ・本写真は写1-6-25の別カットと思われる<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 13 | | 朝鮮 | ア-64-43 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の景色 | | | | ・記載なし | 114×160 | ・本写真はア-64-19(2枚継ぎ)を作成するために撮影されたものヵ(2枚継ぎ、左側部分)<br>・関連目録番号ア64-43では撮影者は秋葉隆となっているが、同じようなカットの写真は多数あるため、本資料においては撮影者は不明とした<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 14 | | 朝鮮 | ア-64-43 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の景色 | | | | ・記載なし | 110×158 | ・本写真はア-64-19(2枚継ぎ)を作成するために撮影されたものヵ(2枚継ぎ、右側部分)<br>・関連目録番号ア64-43では撮影者は秋葉隆となっているが、同じようなカットの写真は多数あるため、本資料においては撮影者は不明とした<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 15 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の景色 | | | | ・記載なし | 139×142 | ・本写真はア-64-19(2枚あわせ)を作るためのものヵ<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1265 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 16 | | 朝鮮 | ア-64-2 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 大許沙島の玩具の舟 | | | | NO34(鉛筆、左上)<br>横四寸三分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>竪三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 106×152 | ・刊行物本文によると玩具とあるが(p35)具体的な説明が書かれていない<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第34図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 17 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 波市 | | | | NO35(鉛筆、左上)<br>竪三寸二分(鉛筆、縦書、右)<br>横四寸六分(鉛筆、縦書、右) | 109×154 | ・刊行物本文によると、波市は移動の集落で、居酒屋・旅館(遊女屋)・料理屋・雑貨屋・理髪店・漁具商・塩屋・風呂屋などから成り立っており、もっぱら遠地出稼漁夫を相手に商売している(p36)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第35図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡荏子面光山里荏子島（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 18 | | 朝鮮 | ア-64-3 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里にて井戸に通ふ女 | | | | NO16(鉛筆、左上)<br>竪ニ寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 106×152 | ・刊行物本文によれば上洛月里には三つの共同井戸があり写真はその井戸に水を汲みに行く途中ヵ(p13)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第16図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 19 | | 朝鮮 | ア-64-4 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鎭里の風の神 | | | | NO7(鉛筆、左上)<br>竪四寸六分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 152×106 | ・刊行物本文によると、これは2月1日に祀る風の神、高さ九尺くらいで、鯖目を利用して顔が作られ、丈夫に石の帽子が載せられている(p7)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第7図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡荏子面鎭里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 20 | | 朝鮮 | ア-64-5 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の大井戸 | | | | NO14(鉛筆、左上)<br>く■>(鉛筆、左上)<br>ヨコ、<三>[四]寸六分(鉛筆、縦書、右)<br>タテ、三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 106×151 | ・刊行物本文によると、写真は上洛月里にある井戸の一つで大井戸と呼ばれる湧水<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第14図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 21 | | 朝鮮 | ア-64-30 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | ドート(鎭里) | | | | NO2(鉛筆、左上)<br>タテニ寸四分(鉛筆、縦書、右上)<br>ヨコ三寸二分(鉛筆、縦書、右上) | 111×157 | ・刊行物本文によると、塘堤(ドート)は主として干潮時に鎭里と荏子島を結ぶ目的で築かれるものらしい<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第2図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 22 | | 朝鮮 | ア-64-40 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 水島遠望 | | | | NO8(鉛筆、左上)<br>竪ニ寸三分五厘(鉛筆、縦書、右上)<br>ヨコ三寸二分(鉛筆、縦書、右上) | 108×154 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第8図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面水島里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 23 | | 朝鮮 | ア-64-26 ア-64-27 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の遠望全姿 | | | | NO12(鉛筆、左上)<br>竪ナリユキ(鉛筆、縦書、右)<br>横八寸三分五厘を(鉛筆、縦書、右)<br>横五寸三分に縮む(鉛筆、縦書、右)<br>ツナグ(鉛筆、縦書、右) | 117×271 | ・2枚継ぎの写真、写真の上にトレース用紙が被せてある<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第12図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 24 | | 朝鮮 | ア-64-28 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 水島の共同井戸 | | | | NO9(鉛筆、左上)<br>竪ニ寸三分(鉛筆、縦書、右上)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右上) | 111×154 | ・刊行物本文解説あり(p10)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の黒線あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第9図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面水島里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 25 | | 朝鮮 | ア-64-36 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の堂箱主と舟王の神体 | | | | NO19(鉛筆、左)<br>原寸(鉛筆、縦書、右)<br>横五寸(鉛筆、縦書、右)<br>竪ニ寸九分(鉛筆、縦書、右)<br>キル(鉛筆、上) | 114×150 | ・刊行物本文によると舟王とよばれる信仰のご神体で、箱の中には紅、淡紅、黄の三色の布、針一包、三色の糸、白粉一包、ガラス製の簪一本が入っている(p18)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による。<br>・写真裏面上部の「キル」と書かれた位置にトリミング指示の黒線と、切取りを意味する黒の波線あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第19図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里(引用・使用媒体) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 6 | 26 | | 朝鮮 | ア-64-6 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 全羅南道扶南群島附近のニベを捕る漁舟 | | | | NO38(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×105 | ・刊行物本文には、「ニベ釣舟漁夫の服装」とあるが具体的な解説は書かれていない(p51)<br>・写真裏面に縮小指示の黒線あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第38図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1298　192 | 1298　192<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>全羅南道<br>昭和十一年八月十九日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>扶南群島附近ニベを捕る漁船。<br>此の写真に見える漁夫の着用せる黒木綿のツルマキの如き仕事着は自分は始めて見た。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月19日～他研究機関所蔵資料 | 朝鮮・全羅南道扶南群島関連目録番号資料 | |
| 写1 | 6 | 27 | | 朝鮮 | ア-64-13 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の木槌(船大工とその道具) | | | | NO25(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×105 | ・刊行物本文によると写真で使用されている木槌はパングメイ(Pangmei)と呼ばれるものである(p24)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第25図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1278 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 28 | | 朝鮮 | ア-64-15 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の斧(Kunchago、船大工とその道具) | | | | NO23(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×105 | ・刊行物本文によると写真で使用されている斧はクンチヤゴ(Kunchago)と呼ばれるものである(p24)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第23図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1277 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 29 | | 朝鮮 | ア-64-20 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 水島の糸車(ムツレ(Malle) | | | | NO10(鉛筆、左上)<br>竪三寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×105 | ・刊行物本文によるとこれはムツレ(Malle)と呼ばれるものである(p24)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第10図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1263　158 | 1263　158<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>全羅南道務安郡荏子面水島里<br>昭和十一年八月十七日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>水島<br>糸車ムツレ<br>malle | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(文字天地逆、鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面水島里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 30 | | 朝鮮 | ア-64-24 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の鋤(Tabu)の使用法 | | | | NO22(鉛筆、左上)<br>竪四寸三分(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 153×107 | ・刊行物本文によるとこれは(Tabu)とよばれるものである(p24)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小指示の黒線あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第22図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 31 | | 朝鮮 | ア-64-19 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月里の全景 | | | | NO13(鉛筆、上)<br>二枚ツナグ(鉛筆、縦書、中央)<br>竪ナリユキ(鉛筆、縦書、右)<br>横(五)寸三分縮(鉛筆、縦書、右) | 153×232 | ・2枚継ぎの写真、写真の上にトレース用紙が被せてある<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第13図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1264<br>朝鮮(四)<br>1265 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面上洛月里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 32 | | 朝鮮 | ア-64-25 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の石垣と集落 | | | | ＜NO20＞(鉛筆、左)<br>＜横四寸三厘＞(鉛筆、縦書、左)<br>＜竪三寸一部五厘＞(鉛筆、縦書、左)<br>竪二寸二分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 111×157 | ・刊行物本文によるとこの写真は屋敷地前の前栽畑の説明となっているが、写真からではどこが畑に当たるのか判断できない(p23)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)および一部その取り消し波線(黒色)、、取り消し波線(黒色)に「イキ」と記載あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第20図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 33 | | 朝鮮 | ア-64-11 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 大許沙島の集落と浜、山の稜線 | | | | NO28(鉛筆、左上)<br>空の上部を白くすること(鉛筆、縦書、中央)<br>竪三寸二分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 108×105 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第28図 | 宮本記念財団<br>朝鮮(四)<br>1279　174 | 1279　174<br>(この行赤ナンバリング)<br><br>昭和十一年八月十八日撮影<br>(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>嘘砂島(　許砂島)<br>全島部落の全景。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 34 | | 朝鮮 | ア-64-29 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鎭里の石堤と渡舟 | | | | NO3(鉛筆、左上)<br>縦二寸三分五厘(鉛筆、縦書、右)<br>横三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 111×158 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・写真裏面に縮小の線(黒色・朱色)および斜線(青色)あり | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第3図 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月17日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 6 | 35 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 港にて船上で働く二人 | 下落月(鉛筆) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | ・記載なし | 48×64 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡洛月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 36 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 家屋と洗濯物 | 下牛里(鉛筆) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | ・記載なし | 50×65 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 6 | 37 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 下洛月里の浜辺と舟 | 霊光郡落月面下洛月里(鉛筆、縦書) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | 霊光郡落月面下洛月里(台紙に貼り付けられているため、筆記具不詳、右) | 80×104 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 38 | | 朝鮮 | 写1-6-40 写 1-6-41 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 共同作業場で麦打ちを終えた荏子島の人々 | 31(ナンバリング、青インク)<br>全羅南道務安郡荏子面下牛里荏子島<br>下牛里のpul-ma-dang(に於いて。<br>麦打ちを終った所。皆が手にもてるはto-likkeである。 | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし | 57×58 | ・背景から写1-6-3と同じ共同作業場であると考えられる<br>・写1-6-40、41と同被写体を別の角度から同時に撮影したものと考えられる<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による<br>・台紙記載文が常民研所蔵のものと宮本記念財団のものでは一部異なる | | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1292 | 1292(この行赤ナンバリング)<br>全羅南道務安郡荏子面下牛里<br>昭和十一年八月十八日撮影(年月日は数字以外ゴム印)<br>荏子島<br>下牛里のpul-madang(にて。<br>麦打ちを終へて。皆ながら、手に持てるはtallikkeである。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面下牛里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 39 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 共同作業場(下牛里)で麦打ちをする人 | 下牛里(鉛筆) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 46×60 | ・背景から写1-6-3と同じ共同作業場であると考えられる<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面下牛里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 40 | | 朝鮮 | 写1-6-38 写 1-6-41 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 共同作業場で麦打ちを終えた荏子島の人々 | 下牛里(鉛筆) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | ・記載なし | 62×49 | ・背景から写1-6-3と同じ共同作業場であると考えられる<br>・写1-6-38、41と同被写体を別の角度から同時に撮影したものと考えられる<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面下牛里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 41 | | 朝鮮 | 写1-6-38 写 1-6-40 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 共同作業場で麦打ちを終えた荏子島の人々 | 下牛里(鉛筆、縦書) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | ・記載なし | 50×63 | ・背景から写1-6-4と同じ共同作業場であると考えられる<br>・写1-6-38、40と同被写体を別の角度から同時に撮影したものと考えられる<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面下牛里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 42 | | 朝鮮 | 写1-6-2 | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | チユゲを着た子供(下洛月里) | 13(ナンバリング、青インク)<br>全羅南道霊光郡落月面下洛月里<br>下洛月里<br>全島区長宅の石壁と子供。<br>此の子供の着用せるチユゲの型態に注意。 | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし | 58×58 | ・刊行物本文によれば写真の子どもが着ている衣服はチユゲ(袴衣)(p.25)<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | アチック・ミューゼアム編『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第141939口絵第26図 | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1273 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した) | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 43 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 郷氏の家と調査者達(下洛月里) | 下洛月(鉛筆、縦書) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | ・記載なし | 48×64 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第二一図」の家と同じ<br>・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 44 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 上洛月島遠望 | 霊光郡落月面下(ママ)洛月里(鉛筆、縦書) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 206×161 | 霊光郡落月面上洛月里(台紙に貼り付けられているため、筆記具不詳、縦書、右) | 79×105 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面上洛月里写真資料記載 | |
| 写1 | 6 | 45 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鋤とソシラン | 078(ナンバリング、黒インク)<br>鋤(Tâbu)とSosilan<br>(洛月面下洛月里) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし | 61×87 | ・撮影日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定による | | | | | | | | | 明 | 昭和11年(1936年)8月18日～『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 6 | 46 | | 高知県 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 鯨の位牌 | | | | 本文三六頁、(赤鉛筆、縦書、左)<br>三七頁(赤鉛筆、縦書、左) | 71×98 | ・刊行物本文によればこれは室戸の中導寺にある鯨供養の位牌である(pp.36-39) | 吉岡高吉『土佐室戸浮津組捕鯨實録』アチック・ミューゼアム彙報第35口絵「第一六図」 | | | | | | | | 明 | 不明 | 高知県室戸(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 6 | 47 | | 不明 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 海女 | | | | ・記載なし | 156×109 | ・朝鮮多島海ではないと思われる | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 6 | 48 | | 不明 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 海女漁 | | | | ・記載なし | 100×148 | ・朝鮮多島海ではないと思われる | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 6 | 49 | | 朝鮮 | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 全羅南道管内圖 | | | | × | 715×680 | ・本資料は地図資料である | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 6 | 50 | | | | 朝鮮多島海(青ペン、左上) | 封筒 | | | | × | 290×215 | ・東京プロセス社の封筒を使っている | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 7 | 1 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 酒屋「金露」 | [場所]熊野町大小路筋(墨書、縦書、右)<br>[件名]金露、大塚氏(墨書、縦書、左) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 熊野町大小路筋台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 2 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 木綿問屋 | [場所]中町大通(墨書、縦書、右)<br>[件名]木綿問屋 平■氏(墨書、縦書、左) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 中町大通台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 3 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・台紙には記載がないが、写1-7-3、写1-7-4、写1-7-6は被写体が同一と思われる | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 4 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・台紙には記載がないが、写1-7-4、写1-7-6は被写体が同一と思われる | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 5 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]新在家町西三丁ロージ中(墨書、縦書、右)<br>[件名]漁師町(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 新在家町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 6 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・台紙には記載がないが、写1-7-4、写1-7-6は被写体が同一と思われる | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 7 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋、鬼瓦 | [場所]神明町御坊前(墨書、縦書、右)<br>[件名]寺ノ横手(墨書、縦書、右)<br>鬼瓦(墨書、上) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 神明町台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 8 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 9 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・台紙には記載がないが、写1-7-3、写1-7-9は被写体が同一と思われる | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 10 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋、鬼瓦 | [場所]戎之町西(墨書、縦書、右)<br>鬼瓦(墨書、中央)<br>鬼瓦、鬼瓦(墨書、中央) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎之町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 11 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋、医者の門 | [場所]錦之西(墨書、縦書、右)<br>[件名]廣岡氏 医者ノ門(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦之西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 12 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]戎之町西御坊町(墨書、縦書、右)<br>[件名]大仁 森本仁平氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎之町台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 7 | 13 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 庖丁屋 | [場所]南花田口町花田口筋(墨書、縦書、右)<br>[〈件名〉]庖丁ヤ(墨書、縦書、右)<br>[説明]長尾街道ノ筋ニ当リ河内方面ノ人達コノ前ヲ通リ市内ニ入ル コノ筋ニハ荒物屋肥料屋惣菜ヤ等百姓ヲ相手ノ店多シ(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 南花田口町花田口筋台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 14 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 醤油・味噌屋 | [場所]宿院町川尻(墨書、縦書、右)<br>[件名]生島氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 宿院町川尻台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 15 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 醤油・味噌屋 | [場所]宿院町川尻(墨書、縦書、右)<br>[件名]生島氏(墨書、縦書、右)<br>[説明]明治初年頃迄コノ家ノウラ位迄船ガ入ル(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・被写体自体は写1-7-14と同一のもの | | | | | | | | | 明 | 不明 | 宿院町川尻台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 16 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [分数番号]錦山2(墨書、右)<br>[場所]錦町山ノ口(墨書、縦書、右)<br>[〈件名〉]地主　山口義一氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦町山ノ口台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 17 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 川船 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 18 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]南河部丹比村■原城(墨書、右)<br>光子(墨書、中央、縦書) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-18-1と写1-7-18-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 南河内郡丹比村台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 18 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]南河部丹比村■原城(墨書、右)<br>「殿ヲ乾筵」(墨書、中央、縦書) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-18-1と写1-7-18-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 南河内郡丹比村台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 19 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 小屋 | 記載なし | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-19-1と写1-7-19-2は同じ台紙に貼られている<br>・農作業に関係する小屋のように見える | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 19 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-19-1と写1-7-19-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 7 | 20 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 医者宅の蔵 | [場所]錦町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]町医者広岡氏ノ蔵(墨書、縦書、右)<br>[説明]下ノ黒イ所ハ軒下(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・被写体自体は写1-7-11と同一のものヵ | | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 21 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]南河部丹比村(墨書、縦書、右) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-21-1と写1-7-21-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 南河内郡丹比村台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 21 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]南河部丹比村(墨書、縦書、右) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-21-1と写1-7-21-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 南河内郡丹比村台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 22 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 茶室 | [名称]国宝　茶室(墨書、右)<br>[場所]熊取　降井氏(墨書、右) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-22-1と写1-7-22-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 熊取台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 22 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 石灯籠 | [名称]国宝　茶室(墨書、右)<br>[場所]熊取　降井氏(墨書、右) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は調査記録用のカード状のもの<br>・写1-7-22-1と写1-7-22-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 熊取台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 23 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 蔵 | [場所]戎島(墨書、縦書、右)<br>[件名]蔵(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-23-1と写1-7-23-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎島台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 23 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 蔵、扉 | [場所]戎島(墨書、縦書、右)<br>[件名]蔵(墨書、縦書、右)<br>カギ穴(墨書、縦書、下) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-23-1と写1-7-23-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎島台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 24 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋表門 | 【表面】<br>[分数番号]錦山1(墨書、左上)<br>[場所]錦之町山ノ口(墨書、縦書、右)<br>[件名]地主　山口義一氏表門(墨書、縦書、右)<br>[説明]門ノ右側下男部屋　(ウラ参照)(墨書、縦書、右)<br>【裏面】<br>木下勝俊下知状　勝俊(花押)<br>堺鎖町　二郎兵衛(墨書、縦書、中央、堺鎖町に関するメモあり) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦之町山ノ口台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 25 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]錦之町寺町(墨書、縦書、右)<br>[件名]百姓(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦之町寺町台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 26 | 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 造酒業家屋 | [場所]九間町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]染谷氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-26-1と写1-7-26-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 九間町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 26 | 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 造酒業家屋 | [場所]九間町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]染谷氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-26-1と写1-7-26-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 明 | 不明 | 九間町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 27 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]神明町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]元服部氏宅(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 神明町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 28 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]戎ノ町中渋(墨書、縦書、右)<br>[件名]ユーシャ　日高氏(墨書、縦書、右)<br>[説明]茶色ノレンガカヘツテアル中ノ構ヘハ中々面白シ(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎ノ町中渋台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 29 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 商家 | [場所]神明町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]元服部氏商家(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 明 | 不明 | 神明町西台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 30 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 鉄砲鍛冶 | [場所]北旅籠町中浜(墨書、縦書、右)<br>[件名]鉄砲カ治　出来氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-30と写1-7-31は同一の被写体ヵ | | | | | | | | | 明 | 不明 | 北旅籠町中浜台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 31 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 鉄砲鍛冶 | [場所]北旅籠町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]鉄砲カ治　出来氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-30と写1-7-31は同一の被写体ヵ | | | | | | | | | 明 | 不明 | 北旅籠町中浜台紙記載 | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 7 32 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 7 33 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋の壁面 | [場所]寺地町西三丁魚問屋向イ(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-33と同じ写真である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 34 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋の壁面 | [場所]寺地町西三丁魚問屋向(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-33と同じ写真である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 35 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 漁師家と干し魚 | [場所]新在家町西三丁(墨書、縦書、右)<br>[件名]漁師家(墨書、縦書、右)<br>[説明]コノ辺デハドノ家デモコノ様ニシテ乾シテアル(墨書、縦書、右)<br>カレー(墨書、縦書、上) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写真中で干してある写真はカレイカ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 新在家町西台紙記載 | |
| 写1 7 36 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 漁師家 | [場所]新在家町西(墨書、縦書、右)<br>[件名]漁師(墨書、縦書、右)<br>[説明]中ニ漁師道具(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・漁師の家と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 新在家町西台紙記載 | |
| 写1 7 37 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 魚問屋塀 | [分数番号]魚2(墨書、右)<br>[場所]寺地町西三丁(墨書、縦書、右)<br>[件名]魚問屋　塀(墨書、縦書、右)<br>[説明]中ハ庭園(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 38 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 魚問屋 | [分数番号]魚1(墨書、右)<br>[場所]寺地町西三丁(墨書、縦書、右)<br>[件名]魚問屋　ㅋ 万氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写真奥には薬局「阿友薬局」がみえる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 39 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 魚問屋 | [分数番号]魚3(墨書、縦書、右)<br>[場所]寺地町西三丁(墨書、縦書、右)<br>[件名]魚問屋(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 40 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 魚問屋 | [分数番号]魚4(墨書、縦書、右)<br>[場所]寺地町西三丁(墨書、縦書、右)<br>[件名]魚問屋　番頭サン家(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・軒先に「村上」とみえる(苗字か) | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 寺地町西三丁台紙記載 | |
| 写1 7 41 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | うどんそば屋 | [場所]戎之町花田口筋(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・軒先に暖簾「うきよ」、行灯「蕎麦類　き津ね　うどんそば　かや久う登ん」「うきよ　うどんそば　きつね　あんかけ　かや久　玉宇どん　かや久すし　さけ」と見える | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 戎ノ町花田口台紙記載 | |
| 写1 7 42 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 宿院町外農人町 | [分数番号]院外農1(墨書、縦書、右)<br>[場所](錦之町山ノ口表門)(墨書、縦書、右)<br>[件名]百姓(墨書、縦書、右)<br>[撮影月日]宿院町外農人町(墨書、縦書、右)<br>[説明]中位ノ百姓(墨書、縦書、右)<br>下男部屋(墨書、縦書、上)<br>ナヤ(墨書、縦書、上) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 宿院町台紙記載 | |
| 写1 7 43 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 長屋 | [場所]南旅篭西、学校ノ前(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 南旅篭西台紙記載 | |
| 写1 7 44 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 船とレンガ積みの倉庫 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 7 45 1 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 庄屋　南治好氏宅表門 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 安井町台紙記載 | |
| 写1 7 45 2 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 庄屋　南治好氏宅勝手口 | [場所]安井町(墨書、縦書、右)<br>[件名]庄屋　南治好氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 安井町台紙記載 | |
| 写1 7 46 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 鉄砲鍛冶井上氏宅 | [場所]北旅篭町中浜(墨書、縦書、右)<br>[件名]鉄砲カヂ井上氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 北旅籠町中浜台紙記載 | |
| 写1 7 47 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写1-7-58が二重焼きになっている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 7 48 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 倉 | [場所]中町浜(墨書、縦書、右)<br>[件名]倉(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・写真中の倉には「大阪共栄石油商事株式会社　燃(料)部　堺出張所貯炭場」とかかれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 中町浜台紙記載 | |
| 写1 7 49 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 倉 | [場所]中町〈五〉浜(墨書、縦書、右)<br>[件名]倉(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 中町浜台紙記載 | |
| 写1 7 50 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 屋根 | 記載なし | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 7 51 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]熊野町東六軒筋(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 熊野町東六軒筋台紙記載 | |
| 写1 7 52 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 造酒屋 | [場所]宿院町横手(墨書、縦書、右)<br>[件名]造酒屋　米甚氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 宿院町横手台紙記載 | |
| 写1 7 53 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]九間町(墨書、縦書、右)<br>[件名]柴谷氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 九間町台紙記載 | |
| 写1 7 54 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 質屋 | [場所]錦町中浜(墨書、縦書、右)<br>[件名]質屋(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 錦町中浜台紙記載 | |
| 写1 7 55 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 藍玉問屋 | [場所]中町寺町(墨書、縦書、右)<br>[件名]藍玉問屋　春木氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 中町寺町(中ノ町寺町ヵ)台紙記載 | |
| 写1 7 56 | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 売薬屋 | [場所]神明町山ノ口(墨書、縦書、右)<br>[件名]売薬　高林氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 神明町山之口台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 7 | 57 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]宿院町西五メヤ筋(墨書、縦書、右)<br>[件名]米甚　西横手(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 宿院町西五メヤ筋台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 58 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 売薬屋 | [場所]神明町山ノ口(墨書、縦書、右)<br>[件名]売薬　高林氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 神明町山之口台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 59 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 売薬屋 | [場所]■旅籠町大道(墨書、縦書、右)<br>[件名]売薬(墨書、縦書、右)<br>[説明]大阪へ出ル唯一ノ通リ(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 旅籠町大道台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 60 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋・鬼瓦 | [場所]戎之町浜(墨書、縦書、右)<br>[説明]ウラハ河(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 戎之町浜台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 61 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 藍玉問屋 | [場所]中ノ町寺町(墨書、縦書、右)<br>[件名]藍玉問屋(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 中ノ町寺町台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 62 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 家屋 | [場所]錦町東ノ山ノ口筋(墨書、縦書、右)<br>[〈件名〉]地主　山口義一氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦町東ノ山ノ口筋台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 63 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 農家家屋 | [場所]宿屋町外人農町(墨書、縦書、右)<br>[件名]本家百姓　今木氏(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード | | | | | | | | 明 | 不明 | 宿屋町外人農町台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 64 | | 大阪府 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | 農家家屋 | [場所]錦町寺町(墨書、縦書、右)<br>[件名]百姓(墨書、縦書、右)<br>[説明]中二階ノ窓ニハ鐘キサンアリ(瓦製)(墨書、縦書、右) | 民間信仰写真調査記録カード | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた台紙は民間信仰寫眞調査記録カード<br>・台紙記載文「鐘キサン」はママ。「鐘嶌サン」の脱字カ | | | | | | | | 明 | 不明 | 錦町寺町台紙記載 | |
| 写1 | 7 | 65 | | 山口県 | | 境市民家(鉛筆、縦書、右)<br>境市民家(黒フェルトペン、縦書、左) | (封筒) | | | | | | ・祭魚洞書屋収蔵古文書封筒を使っている | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 8 | 1 | | 山口県 | | 山口縣佐合島佐■川家文書自己筆者分と対照(黒フェルトペン、縦書、右) | 山口県佐合島佐川家文書(筆稿本) | | | | | | ・■は書きかけた文字を訂正 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 8 | 2 | | 山口県 | | 山口縣佐合島佐■川家文書自己筆者分と対照(黒フェルトペン、縦書、右) | (封筒) | | | | × | 329×239 | ・■は書きかけた文字を訂正<br>・水産庁の茶封筒を使っている | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 1 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 表表紙「昭和十一年八月　朝鮮達里写真集」(閉じ込み表紙) | | | | × | 308×227 | ・写真1-9自体は冊子ではない。ここでは表表紙を資料とした<br>・表表紙自体を資料とすることにより法量は便宜上写真資料・外装法量に記載した | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 2 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 第四篇　衣服　洗濯後ノ乾燥 | 第四篇　衣服　洗濯<br>1、朝鮮農家家族ノ衣服(右)<br>典型的ナモノ　(右)<br>2、老人ノ服装　(右)<br>3、雨除ケ、(日除ケ)(右)<br>降雨時ノ普ノハキモノ　(右)<br>4、上層結婚婦人ノ華麗(右)<br>ナ服装(右)<br>5、農家主婦ノ上衣　(右)<br>6、下層婦人達ノ労働(右)<br>時(右)<br>(タチ)(鉛筆、右)<br>7、小児((気ヲツケ))(右、丸括弧は鉛筆)<br>8、小児タチ(右)<br>9、村共同井戸ト(右)<br>降雨時小児ノ雨ヨケ(右)<br>10、洗濯(右)<br>11、クリーニング(右)<br>12、洗濯後ノ乾<カス>燥(右、訂正線・燥は鉛筆) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 285×227 | [07 01](左下、青いインクでナンバリング、07は鉛筆で重ね書きされている) | 43×65 | ・「第四篇　衣服」は原稿用紙上部中央に記載<br>・「1、朝鮮農家家族ノ衣服典型的ナモノ」-「12、洗濯後ノ乾<カス>燥(訂正・燥は鉛筆書き)」は原稿用紙左上に横書で記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-2-1が貼られた原稿用紙・貼付された写真を資料とした<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 明 | | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 3 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 甜瓜幕(Chanie wakk)で番人の午睡 | 3(赤鉛筆、左上)<br>達里(鉛筆、縦書、左)<br>0(4)[5] 08(ナンバリング、青インク、加筆は鉛筆、下) | ・台紙は罫線用紙、鳥の絵の透かしがある | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×104 | ・写1-9-3-2(原稿用紙)左下角に台紙と共に貼られている写真、原稿用紙記載「甜瓜幕(Chanie wakk)で番人の午睡」に当たる写真ヵ | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 3 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 頭上運搬の様子　文字記載(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | Nr. 2(左上)<br>婦人達が荷物を頭上運搬し(上)一人の男が背中をまげてThigi運搬をし(上)<br>てゐる。[かくて](彼<等>及<彼女>)等は腰痛及四肢痛(上)を訴えるに到る」であらう」(上、加筆「かくて」、訂正線、丸括弧は鉛筆、加筆「に到る」は赤ペン)<br><br>甜瓜幕(Chanie wakk)(右)<br>(の午睡)(鉛筆、右、訂正線は黒ペン)<br>で番<(してゐる)人>-<(がねている)>(右丸括弧は鉛筆)<br>(人の午睡)(右) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・「Nr. 2」は原稿用紙左上角に横書で記載<br>・「婦人達が荷物を頭上運搬し一人の男が背中をまげてThigi運搬をしてゐる。かくて(鉛筆彼<等>及<彼女>)(丸括弧は鉛筆)等は腰痛及四肢痛を訴えるに到る(「に到る」は赤ペン)であらう」は原稿用紙右上部分に横書で記載<br>・「甜瓜幕(Chanie wakk)で番<してゐる人>の午睡>(がねている)人の午睡」は原稿用紙右中央部に横書で記載<br>・頭上運搬にあたる写真自体は原稿用紙には貼られていない | | | | | | | | | | | | 有 |
| 写1 | 9 | 4 | 1 | 朝鮮 | ア-64-50 | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 牛の群 | 4(赤鉛筆、左上)<br>[039]　(ナンバリング、黒インク、右上)<br>牛の群(中央)<br>毎朝子供達は牛を太和江岸(下)<br>又は飛行場へ追って行き、草(下)<br>を喰はせ、終ると七時半頃(下)一群となって達里へ帰ってくる。(下)<br>牛はそのまゝ水路の堤の上(下)につなぎ置までそうして置く。(下)<br><br>1[04[5] 10]　(ナンバリング、青 | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 64×84 | ・写1-9-4-2(原稿用紙)左上角に台紙と共に貼られている写真、原稿用紙にも牛の群という記載がある(写1-9-3-2備考参考)<br>・「4」と「039」は同段に横書、「牛の群」の記載も横書<br>・写真はアルバム64-50と全く同じもの、焼き増しカ | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 4 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 牛の群　文字記載(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 牛の群(上)<br>10才(文字の右肩に「才」)-13才(文字の右肩に「才」)頃のいぢらしい(児童)子供達(上)<br>(等)が朝(5)[4]([(渋)])時半[に]おきて(上、加筆「に」以外は赤ペン)<br>太和江畔(■)上に(上)<br>牛の食を与へるべく(上)<br>つれていつて[写真の様に]放(して)[つのである](上、加筆「つのである」は鉛筆)<br>(あるところ)(上) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・「牛の群10才(文字の右肩に「才」)-13才(文字の右肩に「才」)頃のいぢらしい(児童)子供達(等)が朝(5)4(「4」は赤鉛筆で抜き出し訂正され、さらに「4」の下に赤鉛筆で二重傍線が引かれ、その下に赤鉛筆で(〈渋〉)とある)時半に起きて太和江畔(■)上に牛の食を与へるべくつれていつて写真の様に放(して)つのである(あるところ)」の記載は横書<br>・ここでは写1-9-4-1自体が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 9 5 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 豪雨のあと | 5（赤鉛筆、左上）<br>[036]（ナンバリング、黒インク、右上）<br><br>豪雨のあと（Ⅶ、1朝）（中央）<br>Ⅶ. 31の夜から翌Ⅶ. 1の早朝（中央）<br>にかけて降水量180mm（蔚山（中央）<br>測候所発表）の豪雨があり、達（中央）<br>里附近の水路（水利組合用水）（中央）<br>が決潰した。（中央） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 60×84 | ・写1-9-5-2（原稿用紙）左上に台紙と共に貼られている写真、原稿用紙にも「豪雨のあと」という記載がある（写1-9-5-2備考参考）<br>・「5」と「036」は同段に横書、「豪雨のあと」の記載も横書 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 9 5 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 豪雨のあと　文字記載（台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 豪雨のあと。（右上）<br>降水量180mm（右上）<br>豪雨のあと（右上）<br>達里附近水路（右上）<br>（水利組合用）が（右上）<br>決潰した｛伏景｝（加筆は赤鉛筆、右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | × | | ・「豪雨のあと、降水量180mm豪雨のあと達里附近水路（水利組合用）が決潰した伏景｛「伏景」は赤ペン｝」の記載は横書<br>・ここでは写1-9-5-1自体が貼られている原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 9 6 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 川での洗濯 | 6（赤鉛筆、左上）<br>[132]（ナンバリング、黒インク、右上）<br><br>[07 07]（ナンバリング、青インク、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 57×57 | ・写1-9-6-2（原稿用紙）左上に台紙と共に貼られている写真、原稿用紙に「洗濯」という記載がある（写1-9-6-2備考参考）<br>・「6」と「132」は同段に横書 | | 宮本記念財団　朝鮮（三）<br>1238　133 | 1238　133<br>（この行赤ナンバリング） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 31（鉛筆、写真裏面中央部）<br>4.4（鉛筆、写真裏面下段部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 太和江畔台紙記載 | 有 |
| 写1 9 6 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 川での洗濯　文字記載（台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 洗濯（右上）<br>（太和江畔に）（右上）<br>（手ニ子供ヲ［ツレ］ヒキ頭ニ洗濯物）（右上）<br>（ヲノセテキテ、濁レタ白衣ノ（右上）<br>（洗濯ニ急ガシイ）（右上、この段落は全て赤ペンで×をつけられている）<br><br>太和江畔に（赤ペン、右上）<br>手に子供をひき、頭に洗濯物（赤ペン、右上）<br>をのせてきて濁れた白衣の（赤ペン、右上）<br>洗濯に急がしい（赤ペン、右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | × | | ・「洗濯（太和江畔に手ニ子供ヲ（ツレ）ヒキ頭ニ洗濯物ヲノセテキテ、濁レタ白衣ノ洗濯ニ急ガシイ）（赤ペンにて×）<br>太和江畔に手に子供をひき、頭に洗濯物をのせてきて濁れた白衣の洗濯に急がしい（この連すべて赤ペン）」の記載は横書<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）<br>・ここではこの原稿用紙を資料とした<br>・ここでは写1-9-6-1自体が貼られている原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 9 7 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第二篇　住宅　朝鮮農家の素描（スケッチ画） | 第二篇　住宅（上）<br>朝鮮農家の素描（赤ペン、下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | （スケッチ用紙にCHANPION　BONDと透かしがある） | 190×222 | ・家屋のスケッチが鉛筆にて描かれている、用紙左下に「17.7、Kaiwndai.1936」とあり昭和11年8月の達里・多島海調査の先発である宮本馨太郎・小川徹・村上清文3氏のうち7月中に朝鮮に渡っている宮本・小川両氏のうちいずれかが7月にスケッチしたものと考えられる（アチックマンスリー13・14号参照）、また「Kaiwndai.」とは海雲台のことか<br>・ここではスケッチが貼られている原稿用紙を資料とした、法量はスケッチの法量を写真資料・外装法量に、それが貼られた原稿用紙の法量を台紙法量にそれぞれ記載した<br>・スケッチ用紙にCHANPION　BONDと透かしがある<br>・「第二篇　住宅　朝鮮農家の素描（赤ペン）」の記載は横書<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）にスケッチが貼られている | | | | | | | | × | 昭和11年（1936年）7月～台紙記載 | 海雲台台紙記載 | |
| 写1 9 8 1 | 朝鮮 | ア-64-45 | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 張子容氏宅の家屋 | 7（赤鉛筆、左上）<br>特殊調査　中農（赤鉛筆、上）<br>[032]（ナンバリング、黒インク、右上）<br><br>張子容（55）氏宅のPantsip（中央）<br>＜Fultsin＞Fulchigi（犂）、＜Tsige＞Chige、Sam｛（藁製ノ叭）｝■が（訂正線、加筆は赤ペン、中央）<br>収められる。壁の奥は便所であ（中央）<br>るが其処にも蓋や＜Toksigi＞Taksak（藁縄デ作ツタ穀物乾燥用ノ筵）■が（訂正線、加筆は赤ペン、中央）<br>蔵ってある。（中央）<br><br>[01 01]（ナンバリング、青インク、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 60×84 | ・写1-9-8-4（原稿用紙）右下に台紙と共に貼られている写真、原稿用紙に「住宅特殊調査上層（１）、B棟」という記載があり、なんらかの関係があるかと思われる（写1-9-7-4備考参考）<br>・「7」と「特殊調査　中農」、「032」は同段に横書<br>・■は消し字<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 9 8 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 中農の家屋 | 住宅特殊調査上層（１）、＜＞台棟（（１）は赤ペン、上）<br>2.（中央）<br><br>2ハ八住宅特殊調査（加筆は赤ペン、中央）<br>中層＜張氏＞（55）の（訂正線、加筆は赤ペン、中央）<br>主家（中央、台紙写真01-9-7-4の当写真左下部分）<br><br>＜個人ノ名前ヲカヨウナ＞（赤ペン、中央）<br>＜公表論文ニ発表ス＞（赤ペン、中央）<br>＜ルコトハ宜シクナイ。＞（赤ペン、中央）<br>＜世帯番号デ示セバ＞（赤ペン、中央）<br>＜充分デハナイカ？（K.）＞（赤ペン、中央、この段落は全て赤ペンの×がつけられている） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 47×62 | ・「1.」は台紙写1-9-8-4の当写真左上部分にあたる場所に記載<br>・台紙である写1-9-8-4左上に貼られている<br>・写真内の家屋に「百忌堂」とある<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 8 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 中農の家屋 | 住宅特殊調査上層(Ⅰ)、<"><br>B棟((Ⅰ)は赤ペン、上)<br>2.(中央)<br><br>2ハ八住宅特殊調査(加筆は赤ペン、中央)<br>中層<張氏>(55)の(訂正線、加筆は赤ペン、中央)<br>主室(中央、台紙写真01-9-7-4の当写真左下部分)<br><br><個人ノ名前ヲカヨウナ>(赤ペン、中央)<br><公表論文ニ発表ス>(赤ペン、中央)<br><ルコトハ宜シクナイ。>(赤ペン、中央)<br><世帯番号デ示セバ>(赤ペン、中央)<br><充分デハナイカ?(K.)>(赤ペン、中央、この段落は全て赤ペンの×がつけられている) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 23(鉛筆、左、天地逆) | 59×80 | ・「2.」は写真左上部分にあたる場所に記載<br>・「2ハ八住宅(「八」は字の行の下付きに赤ペン、「住宅」は字の行の上付きに赤ペン)特殊調査中層<張氏の>(55)の主室」の部分は台紙写1-9-8-4の当写真左下部分に記載<br>・「個人ノ名前ヲカヨウナ公表論文ニ発表スルコトハ宜シクナイ。世帯番号デ示セバ充分デハナイカ?(K.)」の部分は台紙記載「2ハ～～」の部分左下に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 8 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 中農の家屋等添付台紙 (台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 住宅特殊調査上層(Ⅰ)、<"><br>B棟((Ⅰ)は赤ペン、上)<br>1.(中央)<br>2.(中央)<br>3.(中央)<br><br>2ハ八住宅特殊調査(加筆は赤ペン、中央)<br>中層<張氏>(55)の(訂正線、加筆は赤ペン、中央)<br>主室(中央、台紙写真01-9-7-4の当写真左下部分)<br><br><個人ノ名前ヲカヨウナ>(赤ペン、中央)<br><公表論文ニ発表ス>(赤ペン、中央)<br><ルコトハ宜シクナイ。>(赤ペン、中央)<br><世帯番号デ示セバ>(赤ペン、中央)<br><充分デハナイカ?(K.)>(赤ペン、中央、この段落は全て赤ペンの×がつけられている) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・「3.」は写1-9-8-1の右上部分ににあたる場所に記載記載<br>・「3.(2)<ノ>の(「の」の部分は赤ペン)家ノ附属建物、(Fultsi)Fulchig(「Fulchig」の部分は赤ペン)(架)(Tsige)Chige(「Chige」の部分は赤ペン) etc(ガ収レラレテキル)が収められてゐる(「が収められてゐる」の部分は赤ペン)」の説明は写1-9-8-1の説明と思われる<br>・「3.(2)<ノ>～～」は「2ハ～～」部分下方に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-8－1～3までが貼られている原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 9 | 1 | 朝鮮 | ア-64-48 | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 朴容文氏の家屋(台紙記載) | 4 特殊調査 中農(赤鉛筆、上)<br>[027](黒ナンバリング、右上)<br><br>朴容文(72)氏の家(中央)<br><br>[01 08](青インクでナンバリング、右下) | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 64×94 | ・「朴容文(72)氏の家」の72は調査時の世帯番号ヵ<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 9 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 朴容文氏の家屋(台紙記載) (台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 4. (右上)<br>住宅<特殊>調査中農<ノーツ>(72) (「住宅」「(72)」は赤ペン、他右上)<br>の主家(赤ペン、右上)<br>前面中央ニ煙突ガアル (「|」は赤ペン、他右上)<br>男ノ坐ッテヰル所ハ<br>Chinng(様側)女のたつてゐる所ハjeng-ji(台所)の<br>入口 (以上全て右上) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・「4. 住宅」は台紙右上部分に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-9-1自体が台紙共に貼られている原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | 有 |
| 写1 | 9 | 10 | 1 | 朝鮮 | ア-64-61 | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 家屋、鄭文述氏の家(台紙記載参照) | 6. (当資料が貼られた台紙の左やや上)<br><5> (赤鉛筆、消去線はペン、左上)<br>特殊調査 貧農((1)) (赤鉛筆、上、■は消し字)<br>[028](黒ナンバリング、右上)<br>鄭文述(90)氏の家 (中央)<br>[01 04](ナンバリング、青インク、右下) | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 60×84 | ・「6.」は写1-9-10-1の左上部分ににあたる場所に記載<br>・「鄭文述(90)氏の家」の90は調査時の世帯番号ヵ<br>・写真はアルバム64-61と全く同じもの、焼き増しヵ<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 10 | 2 | 朝鮮 | ア-64-51 | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 鄭文述氏の灰小屋 | 6 (赤鉛筆、左上)<br>特殊調査 貧農(2)(赤鉛筆、上)<br>[033](ナンバリング、黒インク、右上)<br><br>鄭文述(90)氏宅のChekkan<br>(灰小屋)<br>Tsekkannの前方にあるのが<br>味噌醤置場(<Tsyantgang><br>Jangtokan)(「Jangtokan」は赤ペン、その他全て黒ペン、中央右)<br><br>[01 02](ナンバリング、青インク、右下) | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 62×86 | ・「鄭文述(90)氏の家」の90は調査時の世帯番号か<br>・「7」は台紙写1-9-10-4の当写真台紙右下部分に記載<br>・写真はアルバム64-51と全く同じもの、焼き増しヵ<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | 有 |
| 写1 | 9 | 10 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 家屋、鄭文述氏の家等添付台紙(台紙記載参照) | 5 (左上)<br>6 (左上)<br>7 (右下、丸で囲み字)<br><5貧農>5).下層Aの家(90)<br>(「5).下層A」、「の」、「(90)」は赤ペン、「の」な「ノ」の上から重ね書、右下)<br>台所<ト>と居間<シカナイ>しかない。(「と」は「ト」の上から重ね書で赤ペン、「しかない。」は赤ペン、右下)<br>6. 全上 (「上」は赤ペン、右下)<br>7.<貧農ノ家>全上の家の附属<br>灰小屋 (「全上の家の」は赤ペン、右下)<br>灰小屋<ノ>のまえ<ニ>に味噌、醤油 (「の」「に」は「ノ」「ニ」の上から赤ペンで重ね書、右下)<br>壼<ガ> | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 23(左下、天地逆) | 58×80 | ・「5」の部分は台紙写1-9-10-4の当写真左上部分ににあたる場所に記載<br>・「7<5.貧農>～～」の部分は台紙右下部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-10-1と写1-9-10-2の両資料ともこの台紙に貼られている<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 11 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 家屋 | 11. (当資料が貼られた台紙の左上)<br>2 (赤鉛筆) [105](ナンバリング、黒インク)<br>[慶尚南道蔚山邑達里] (スタンプ、黒インク、中央)<br>[01 05] (ナンバリング、青インク、右下) | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 57×58 | ・「11.」は台紙写1-9-11-2の写1-9-11-1の左上部分にあたる場所に記載 | | (宮本記念財団 朝鮮(二) 1210 106) | 1210 106 (この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里(ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 51(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 11 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 中層農家の雇人寝室 | 11.（左上）<br>11.或る家 （右上）<br>12.或る［中農の］家の＜附属小屋＞雇人寝室ノ内部 （右下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 23（鉛筆、右、画像に対して90度回転） | 82×57 | ・「11.」は台紙左上、「11.或る家」は台紙右上部分に記載<br>・写真と「12.或るV中農～～」の記載は台紙右下部分<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-11-1もこの台紙に貼られている<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 12 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋 | 1（赤鉛筆、左上）<br>[104]（ナンバリング、黒インク、右上）<br>［慶尚南道蔚山邑達里］（スタンプ、黒インク、中央）<br>[01 06]（ナンバリング、青インク、右下）<br><br>10.典型的な下層Aのある （当資料が貼られてる台紙の右）<br>家.（当資料が貼られてる台紙の右）<br>壁の中央についてゐ（当資料が貼られてる台紙の右）<br>るのが部屋の入口 （当資料が貼られてる台紙の右） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 57×58 | ・この台紙自体は取れているが明らかに貼られていた跡がある<br>・「9.特殊調査下層Aノーツ>0ある家(赤ペン)」は台紙写1-9-12-3の右上部分にあたる場所に記載 | | （宮本記念財団 朝鮮（二） 1209 105） | 1209 105（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（青ナンバリング） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 51（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 12 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋 | 3（赤鉛筆、左上）<br>特殊調査■（赤鉛筆、上、■は消し字ヵ）<br>[106]（ナンバリング、黒インク、右上）<br>［慶尚南道蔚山邑達里］（黒スタンプ、中央）<br>[01 07] （ナンバリング、青インク、右下）<br><br>9.特殊調査下層A＜ノーツ＞<br>（消去線は赤ペン、当資料の貼られた台紙右上）<br>のある家 （赤ペン、当資料の貼られた台紙右上） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 59×58 | ・「10.典型的な下層Aのある<br>家.<br>壁の中央についてゐ<br>るのが部屋の入口」は台紙写1-9-12-3の中央右部分にあたる場所に記載 | | （宮本記念財団 朝鮮（二） 1211 107） | 1211 107（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（青ナンバリング） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 51（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 12 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋等添付 （台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 9.特殊調査下層A＜ノーツ>（消去線は赤ペン、右上）<br>のある家 （赤ペン、右上）<br><br>10.典型的な下層Aのある （右）<br>家.（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | × | | ・「9.特殊調査下層A<ノーツ>のある家(赤ペン)」は台紙写1-9-12-3の右上部分にあたる場所に記載<br>・「10.典型的な下層Aのある<br>家.<br>壁の中央についてゐ<br>るのが部屋の入口」は台紙写1-9-12-3の中央右部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-12-1と写1-9-12-2の両資料とも貼られている原稿用紙 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 13 | 1 | 朝鮮 | ア-64-58 | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 堂の構造と鍬（備考、台紙記載・備考参照） | 8（赤鉛筆、右上）<br>[035]（ナンバリング、黒インク、右上）<br>Tamの構造と鍬（(Kuein)）<br>崔（135)氏方にて （消去線赤ペン、中央右）<br>[01 03]（ナンバリング、青インク、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 62×86 | ・「Tam」とは「朝鮮多島海覚書」に「堂」とあり(p.6)、題名はこれを参照<br>・「崔(135)氏方」の135は調査時の世帯番号ヵ<br>・「13.Tamの構造」は台紙写1-9-13-2の右上部分にあたる場所に記載<br>・写真はアルバム64-58と全く同じもの、焼き増しヵ<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 13 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋 | 13.（右上）<br>Tamの構造 （右上）<br><br>14.白雲＜ノ＞の下、下層A＜ノアル＞のある家＜、＞。（「の」「のある」「。」は「ノ」「ノアル」「」」に赤ペンで重ね書、右下）<br>暑＜(イノデアラウ)＞さが酷しかった。（「さが酷しかった。」と | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 42×60 | ・「13.<br>Tamの構造」は台紙右上、<br>「14.白雲＜ノ＞の「の」は赤ペン)下、下層A＜ノアル＞のある(「のある」は赤ペン)家＜、＞。(「。」は赤ペン)<br>暑＜(イノデアラウ)＞さが酷しかった。(「さが酷しかった。」は赤ペン)」は台紙下部中央、写真は右下部分<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 14 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 味噌醤油壺 | 第三章. 飲食 （上）<br>1. （左上）<br>1.上層＜ノ＞の家＜ノ＞の)裏。味噌醤油壺が （「の」はいずれも「ノ」に赤ペンで重ね書、 他黒ペン、右上）<br>豪壮｜ニ並＜ンデイル＞んでゐる （「｜」「んでゐる」は赤ペン、右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 1（赤鉛筆、中央）<br>[03 08]（青インクでナンバリング、右下） | 44×60 | ・写1-9-14-1～2は同一台紙に貼られている<br>・「第三章. 飲食」は台紙上部中央に記載<br>・「1.上層＜ノ＞の(「の」は赤ペン)家＜ノ＞の(「の」は赤ペン)裏。味噌醤油壺が<br>豪壮｜(「｜」は赤ペン)ニ並＜ンデイル＞んでゐる(「んでゐる」は赤ペン)」は台紙写1-9-14の右上部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | 有 |
| 写1 | 9 | 14 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 味噌醤油壺 | 2.（左上）<br>2.＜全＞同上 （「同」は赤ペン、右上）. | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 2（赤鉛筆、中央）<br>[03 07]（青インクでナンバリング、右下） | 58×80 | ・写1-9-14-1～2は同一台紙に貼られている<br>・「2.＜全＞同(「同」は赤ペン)上」台紙写1-9-14の右上部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | 有 |
| 写1 | 9 | 15 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 張氏宅の炊事場横（台紙記載に参照） | 4（赤鉛筆、左上）<br>[031]（ナンバリング、黒インク、右上）<br>張子容氏(55)の宅 （、中央右）<br>炊事場の西側外部 （中央右）<br>炊事場の小窓に蒜の束（manal）（中央右）<br>が掛けてある。（中央右）<br>[03 02]（ナンバリング、青イン | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 64×86 | ・「張子容氏(55)宅」の55は調査時の世帯番号か<br>・「4.中層＜ノ＞の(「の」は赤ペン)(55)(「(55)」は赤ペン)炊事場＜ノ＞の(「の」は赤ペン)小窓＜ニ＞に(「に」は赤ペン)蹲く/＞の(「の」は赤ペン)束が並＜ンデカケテアルゝんでかけてある。(「んでかけてある。」は赤ペン)」は台紙写1-9-14-3の右上部分にあたる場所に記載<br>・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | 有 |
| 写1 | 9 | 15 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 張氏宅の北側（台紙記載に参照） | 3（赤鉛筆、左上）<br>[034]（ナンバリング、黒インク、右上）<br>張子容(55)氏宅の （中央右）<br>＜Tsyantgang)JangtokanとNojak-Pekali—？（「Jangtokan」<br>「—？」は赤ペン、中央右）<br>Kautse(主屋)の北側 （中央右）<br>—？（赤ペン、縦書き、中央右、 | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 58×84 | ・「張子容(55)氏宅」の55は調査時の世帯番号か<br>・「3.中層ノ家V(55)(「V(55)」は赤ペン)<ノ>の(「の」は赤ペン)裏」は台紙写1-9-15-3の右上部分にあたる場所に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 15 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋内の食器棚（原稿用紙記載に参照） | 5.（左下）<br><br>5. 下層＜ノ＞の＜(アル)＞家＜ノ＞の食器棚 （「の」「の」は「ノ」「ノ」に赤ペンで重ね書、右上、「棚」はママ） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 6（赤鉛筆、中央） | 80×58 | ・「5」は台紙左下の当写真上部分に記載<br>・「5.下層＜ノ＞の(「の」は赤ペン)＜(アル)＞家＜ノ＞の(「の」は赤ペン)食器棚」は台紙右上部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・写1-9-15-1と写1-9-15-2の両資料ともこの台紙に貼られている<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 16 | 1 | 朝鮮 | ア-64-57 | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 朴容文氏宅の民具 | 5（赤鉛筆、左上）<br>[030] （ナンバリング、黒インク、右上）<br>朴容文氏（72)宅 （中央右）<br>炊事場北口の民具 （中央右）<br>図中×印の民具はその （中央右）<br>本来の位置にあるのでは （中央右） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 84×60 | ・「朴容文(72)氏の家」の72は調査時の世帯番号ヵ<br>・「6.中層<ノアル>(「のある」は赤ペン)家(72)(「(72)」は赤ペン)炊事場北側民具」は台紙写1-9-16-2の右上部分にあたる場所に記載<br>※アルバム台紙記載文の※以下には民具の図が名前入りで書かれており記載文の文字はその民具の名前を差す(画像参照)<br>・写真はアルバム64-57と全く同じもの、焼き増しヵ<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 16 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 台所内部の竈と焚口 | 7.（左下）<br>台所＜ノ＞の内部 （「の」は赤ペンで「ノ」に重ね書、下）<br>かまど＜ト＞と温突炊きロ＜ガ＞が(「が」は赤ペンロ＜ヲアケテイル＞をあけてゐる （「と」「が」は赤ペンで「ト」「ガ」に重ね書、「をあけてゐる」も赤ペン、下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 7（赤鉛筆、中央）<br>[03 09]（青インクでナンバリング、右下） | 58×41 | ・「7.」は台紙左下部分、当写真左側に記載<br>・「台所＜ノ＞～～」は台紙下部、当写真右側に記載<br>・「6.中層＜ノアル＞(「のある」は赤ペン)」は台紙右上部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・写1-9-16-1もこの台紙に貼られている<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 17 | 1 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 褰を頭に捧げる少女 | 8（赤鉛筆）［45］（黒インクでナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒インクでナンバリング）<br><br>［03 04］（青インクでナンバリング） | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 56×57 | ・台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある<br>・都道府県・撮影地の項目は宮本記念財団所蔵資料から推定 | | （宮本記念財団 朝鮮（一）1150　46） | 1150　46（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下に[illegible] | 51（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・慶尚南道蔚山邑達里他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 9 | 17 | 2 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 褰を頭に捧げる少女<br>台紙<br>（台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 8（赤鉛筆、左上）<br>［45］（黒ナンバリング、右上）<br>［慶尚南道蔚山邑達里］（黒スタンプ、中央）<br>［03 04］（青インクでナンバリング、右下）<br><br>〈8.〉（右上）<br>〈（ホントニ）コンナニ小サナ〉（右上）<br>〈（娘）［女ノ］子等ガ遠方カラ〉（右上）<br>〈飲料水ヲ汲ンデ〉（右上）<br>〈（キテヰル）来ルノデアル、〉（右上、以上5行全てに赤ペンで×印）<br><br>（8）こんなに小さな女の子 （赤ペン、右上）<br>等が遠方から （赤ペン、右上）<br>飲料水を汲んで来る （赤ペン、右上）<br>のである。（赤ペン、右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | × | | ・「〈8.～～〉」と「（8）こんなに」は台紙右上部分にあたる場所に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）<br>・ここでは写1-9-17-1が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 18 | | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 洗濯の図素描（スケッチ画） | 第四篇　衣服　（上やや左）<br>洗濯　（上やや左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | （スケッチ用紙にCHANPION　BONDと透かしがある） | 190×223 | ・鉛筆描きの洗濯をする姿のスケッチが台紙(BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20))に貼られている、スケッチ左下に「17.7、Kaiwndai.」とあり昭和11年8月の達里・多島海調査の先発である宮本馨太郎・小川徹・村上清文3氏のうち7月中に朝鮮に渡っている宮本・小川両氏のうちいずれかが7月にスケッチしたものと考えられる(アチックマンスリー13・14号参照)、また「Kaiwndai.」とは海雲台のことか<br>・ここではスケッチが貼られている原稿用紙を資料とした、法量はスケッチの法量を写真資料・外装法量に、それが貼られた原稿用紙の法量を台紙法量にそれぞれ記載した | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 19 | | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 洗濯の図素描（スケッチ画） | 洗濯　（上やや左） | （BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）カ） | 96×227 | | 223×186 | ・「17.7.　Kaiwndai.」はスケッチ用紙縦右上部分に記載、スケッチ用紙にCHANPION　BONDと透かしがある<br>・洗濯のスケッチが鉛筆にて描かれている、「17.7、Kaiwndai.　1936」とあり昭和11年8月の達里・多島海調査の先発である宮本馨太郎・小川徹・村上清文3氏のうち7月中に朝鮮に渡っている宮本・小川両氏のうちいずれかが7月にスケッチしたものと考えられる(アチックマンスリー13・14号参照)、また「Kaiwndai.」とは海雲台のことか<br>・ここではスケッチが貼られている原稿用紙を資料とした、法量はスケッチの法量を写真資料・外装法量に、それが貼られた原稿用紙の法量を台紙法量にそれぞれ記載した<br>・台紙法量は途中で破れているため数字は最大値 | | | | | | | | | | | 有 |
| 写1 | 9 | 20 | 1 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第一室　豫診　生体測定 | 1（左上）<br><br>第一室（左上）<br>豫診（左上）<br>生体測定（左上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 1（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 18］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 46×58 | ・「1」は台紙写1-9-20-10の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第一室　豫診～～」は台紙写1-9-20-10の中央上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 2 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第二室　内科的診察<br>薬局 | 2（左）<br><br>第二室（左）<br>内科的診察（左）<br>薬局（左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 2（赤鉛筆、右上）<br>［0＜8＞9 20］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 43×60 | ・「2」は台紙写1-9-20-10の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第二室　内科的診察～～」は台紙写1-9-20-10の中央上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 3 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第二室　小児診察 | 3（左）<br><br>第二室（左）<br>小児診察（左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 3（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 16］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 44×60 | ・「3」は台紙写1-9-20-10の左部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第二室　小児診察」は台紙写1-9-20-10の中央部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 4 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第三室　外科皮膚科 | 4（左）<br><br>第三室（左）<br>外科（左）<br>皮膚科（左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 4（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 12］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 45×58 | ・「4」は台紙写1-9-20-10の左部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第三室　外科皮膚科」は台紙写1-9-20-10の中央部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 5 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 小児腹部膨満ノ図（蛙腹） | 5（左下）<br><br>小児腹部膨満（左下）<br>ノ図（蛙腹）（左下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 5（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 15］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左下、画像に対して90度） | 59×32 | ・「5」は台紙写1-9-20-10の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「小児腹部膨満ノ図(蛙腹)」は台紙写1-9-20-10の中央下部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 6 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第四室　耳鼻咽喉科<br>眼科 | 6（右上）<br><br>第四室（右上）<br>耳鼻咽喉科（右上）<br>眼科（右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 6（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 24］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、画像に対して90度） | 59×32 | ・「6」は台紙写1-9-20-10の中央上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第四室　耳鼻咽喉科眼科」は台紙写1-9-20-10の右上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 7 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 廊下ニ於ケル視力検査 | 7（右）<br><br>廊下ニ於ケル（右）<br>視力検査（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 7（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 13］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左上、天地逆） | 46×57 | ・「7」は台紙写1-9-20-10の中央上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「廊下ニ於ケル視力検査」は台紙写1-9-20-10の右上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 8 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第四室　トラコーマ治療 | 8（右）<br><br>第四室　トラコーマ治療（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 8（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 11］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 58×32 | ・「8」は台紙写1-9-20-10の中央部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第四室　トラコーマ治療」は台紙写1-9-20-10の右下部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 20 | 9 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 第五室　研究室 | 9（右下）<br><br>第五室　研究室（右下）<br>＜住宅衛生＞（右下）<br>＜照度測定中＞（右下）<br>（村田氏反応）（右下）<br>＜カッコヲ附スルコト＞（右下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 10（赤鉛筆、中央）<br>［0＜8＞9 19］（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下） | 60×43 | ・「9」は台紙写1-9-20-10の右下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第五室　研究室～～」は台紙写1-9-20-10の右下部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年（1936年）8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 20 | 10 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 第七篇 〈診療〉我々の活動若干 (台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 第七篇 ＜診療＞我々の活動若干(上)<br>(a)診療活動(上)<br>1(左上)第一室(左上)<br>豫診(左上)生体測定(左上)<br>2(左)<br>第二室(左)<br>内科的診察(左)薬局(左)<br>3(左)<br>第二室(左)<br>小児診察(左)<br>4(左)<br>第三室(左)<br>外科(左)皮膚科(左)<br>5(左下)<br>小児腹部膨満(左下)<br>ノ図(蛙腹)(左下)<br>6(右上)<br>第四室(右上)耳鼻咽喉科(右上)眼科(右上)<br>7(右)<br>廊下ニ於ケル(右)視力検査(右)<br>8(右)第四室 トラコーマ治療(右)<br>9(右下)<br>第五室 研究室(右下)<br>＜住宅衛生＞(右下)<br>＜照度測定中＞(右下)<br>(村田氏反応)(右下)<br>＜カッコヲ附スルコト＞(右下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | ×<br>※写1-9-20-1～9の写真資料記載を参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・写1-9-20-1～9が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | | 有 |
| 写1 | 9 | 21 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 衣服・労働等項目<br>(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 〈2〉 (左、丸で囲み字)<br>〈Ⅳ、衣服〉(左)<br>〈No.1. 〉(左)〈2. 〉(左)〈3. 〉(左)<br>〈4. 〉(左)〈5. 〉(左)〈6. 〉(左)<br>〈7. 〉(左)〈8. 〉14. 精米業ハコノ中農ノ家ニトツテ(最大)「大きな」ノ収入源(ダラウ)」(の一つである。)」(加筆赤ペン、左)<br>〈9. 〉(左)<br>〈10. 〉15. 小川デ魚取ニ使フBal(左)<br>〈11. 〉16. 麦ノ打チナオシ. (左)<br>〈Ⅵ〉(左)<br>Ⅴ. 労働(左)<br>a)、労働(左)<br>№1(Bang-a(踏臼)の頭部)焼ケ付クヤウナ夏ハ陽ヲ背ニ浴ビナガラ水田ノ除草ニ忙シイ<br>№2(Bajigi(刈草入れ)を担いだ少年)楽シイ野良ノ昼飯。調査員達モ共ニ麦飯ヲ頬張リテ●●。<br>№3腹ハ出来タ。サア一一眠リシヨウデャネーカ<br>№4Torikeヲ振リ上ゲテ麦打ヲヤッテイル所<br>№5彼等ハ実ニ原始的ナ選別法ヲ行ッテイル<br>№6Tosigヲ展ベテ麦ヲ乾ス<br>№7夫婦仲ヲBang-aで搗イテイ | あ | 255×177 | × | | ・台紙は薄い水色線の罫線用紙<br>・ここでは文字情報のみだがこの罫線用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 21 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 水田の除草<br>(当該写真による) | 第五篇(a)労働 (上)<br>1(鉛筆、丸で囲われている、右下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | —×(赤鉛筆、中央)<br>[06 01](青インクでナンバリング、右下) | 43×58 | ・「1」は台紙写1-9-21-4の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 21 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 麦打ち<br>(当該写真による) | 第五篇(a)労働 (上)<br>(16) (鉛筆、下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 余(「余」の字に〇で囲っている、赤鉛筆で書かれその上に青鉛筆でなぞられている、中央やや上)<br>x1(右下)<br>[45](黒インクでナンバリング、右下) | 46×61 | ・「(16)」は台紙写1-9-21-4の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 21 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 台紙 (台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 第五篇(a)労働 (上)<br>1(鉛筆、丸で囲われている、右下)<br>(16) (鉛筆、下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | ×<br>※写1-9-21-1～3の写真資料記載参照 | | ・写1-9-21-2.3の資料が添付されている台紙<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 22 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 子供達と牛 | 〇(青鉛筆、上)<br>子供労働1(赤鉛筆、上)<br>[28](黒ナンバリング、上)<br>×(赤鉛筆、左上)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里(黒スタンプ、中央)<br><br>[06 19](ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 212×162 | ・記載なし | 57×58 | ・写1-9-22-1と写1-9-22-2は鉄製のクリップ(MKSの刻印)で綴じられている | | (宮本記念財団 朝鮮(一) 1132 28) | 1132 28(この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里(ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 51(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 22 | 2 | 朝鮮 | ア-60-7 | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | パアチゲを背負う少年<br>(『朝鮮多島海旅行覚書』口絵5参照) | 〇(青鉛筆、上)<br>2(赤鉛筆、上)<br>[89](黒ナンバリング、右上)<br>×(赤鉛筆、左上)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里(黒スタンプ、中央)<br><br>[06 26](ナンバリング、青インク、右下) | ・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 59×58 | ・写1-9-22-1と写1-9-22-2は鉄製のクリップ(MKSの刻印)で綴じられている | | (宮本記念財団 朝鮮(二) 1194 90) | 1194 90(この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里(青ナンバリング) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 31(鉛筆、写真裏面中央部)<br>3-5(鉛筆、写真裏面下段部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 22 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 児童労働、牛飼や草刈に出掛ける少年<br>(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | (b)児童労働(上)<br>1. 朝タノ牛飼ハ子供等ニトツテ大切ナ務デアル (1)(消し字の1)は丸で囲われている、中央)<br>2. Bajigiを擔フル少年、草刈ニ出掛ケル所ダラウ. (中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 台紙は薄い水色線の罫線用紙 | 70×155 | ・台紙は薄い水色線の罫線用紙、上部7cmほどを切り取ってBUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20に貼りつけられている<br>・ここでは文字が書かれた紙片が貼られている原稿用紙を資料とした、法量は文字が書かれた紙片の法量を写真資料・外装法量に、それが貼られた原稿用紙の法量を台紙法量にそれぞれ記載した<br>・ここでは文字情報のみだがこの罫線用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 23 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 労働用具項目<br>(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | C、労働用具(上)<br>(1)Baug-aノ頸部(右)<br>(2)牛をつけたToebange(右)<br>(3)穀粉ヲ(ヒケ遒ク)藤ク(右)<br>藤(Che)トリイレ下デウケル<br>(篩、丸括弧は赤ペン、右)<br>(■)箕(Khi)(Cheng-i)(箕、(Khi)の丸括弧は赤ペン、右)<br>(4)So-palgu(右)<br>(肥モッコの一種)(赤ペン、右)<br>(5)(Gib(穀藁)デ)(右)<br>縄デ苫(Tosig)(Mængshk)(苫、(Tosig)の丸括弧は赤ペン、右)<br>ヲ製作(〈中〉)スル、(右)<br>(6)(Gib)(ebib)(藁)デ縄ヲナッテイル。縄ハ彼等ニトッテ用途ガ極メテヒロイ<br>(7)一重ノ縄ヲ二重ニナフタメニ考案シタ粗朴ナ道具<br>(8)大型、Maug](Mæ)製粉シテイルノハコムギカ<br>(9)全ク耕地ヲ持タヌ彼ニトッテハ命ノ綱ハコノ竹製品デアル(竹簀ノ一種) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは文字情報のみだがこの罫線用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 24 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 幼児を背負う女性(スケッチ画) | 第六篇　子供達(上) | (BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)カ) | 105×227 | (スケッチ用紙にCHANPION　BONDと透かしがある) | 223×190 | ・CHANPION　BONDと透かしがある用紙に子供を背負う女性のスケッチが鉛筆で描かれている、右下に「17.7.36」と記載されている<br>・ここではスケッチが貼られている原稿用紙を資料とした、法量はスケッチの法量を写真資料・外装法量に、それが貼られた原稿用紙の法量を台紙法量にそれぞれ記載した<br>・上10cmほどを残して破れているがBUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)と同じものと思われる<br>・ここでは写1-9-24-1が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 25 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 写真キャプションの項目立て　(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 1.一人乳児ヲおんぶシテ(右)<br>野辺ニ遊ブチヲツレニ(右)<br>イク所(右)<br>2.眞夏炎天ノ下デ(右)<br>一人縄遊ビニ夢中(右)<br>3.木陰ノまゝごと遊び(右)<br>4.ある雨の日(右) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | × | | ・台紙記載は当台紙右半分に記載<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは文字情報のみだがこの原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 26 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 乳幼児達 | 5(左)<br>(5)、乳幼(■)児達(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 5(赤鉛筆、中央) | 44×60 | ・「5」は台紙写1-9-26-7の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(5)、乳幼(■)児達」は台紙写1-9-26-7の右上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 集落内での子供達 | 6(左)<br>(6)父母ヲ労働ニ出シタアトノ留守番(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 7(赤鉛筆、中央) | 43×57 | ・「6」は台紙写1-9-26-7の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(6)父母ヲ労働ニ出シタアトノ留守番」は台紙写1-9-26-7の右上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 少女達 | 7(左)<br>(7)可愛イイ未来ノ娘タチ(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 8(赤鉛筆、中央)<br>[10 22](青インクでナンバリング、左下) | 60×45 | ・「7」は台紙写1-9-26-7の左中央部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(7)可愛イイ未来ノ娘タチ」は台紙写1-9-26-7の中央上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 甜瓜を摘む子供 | 8(左)<br>(8)10才ソコソコノ児童ガ(〝瓜〉(中央)<br>甜瓜ヲ摘ンデキル(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 6(赤鉛筆)<br>[10 55](青インクでナンバリング、左下) | 44×59 | ・「8」は台紙写1-9-26-7の左中央部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(8)10才ソコソコノ児童ガ(〝瓜〉<br>甜瓜ヲ摘ンデキル」は台紙写1-9-26-7の中央部分にあたる場所に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 5 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 子供達と調査員 | 9(左)<br>(9)調査員、助手ガ乳幼児タチニ囲(中央)<br>マレテー息キイレテキル(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 9(赤鉛筆、中央)<br>[10 41](青インクでナンバリング、左下) | 43×59 | ・「9」は台紙写1-9-26-7の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(9)調査員、助手ガ乳幼児タチニ囲<br>マレテー息キイレテキル」は台紙写1-9-26-7の中央部分にあたる場所に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 6 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 診療所前 | 10(左)<br>(10)アル日ノ(言)午後ノ診療所前.(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 10(赤鉛筆、中央)<br>[10 50](青インクでナンバリング、左下) | 43×58 | ・「10」は台紙写1-9-26-7の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(10)アル日ノ(言)午後ノ診療所前.」は台紙写1-9-26-7の中央部分にあたる場所に記載<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 26 | 7 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 写真キャプションの項目台紙　(台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし) | 5(左)<br>(5)、乳幼(■)児達(中央)<br>6(左)<br>(6)父母ヲ労働ニ出シタアトノ留守番(中央)<br>7(左)<br>(7)可愛イイ未来ノ娘タチ(中央)<br>8(左)<br>(8)10才ソコソコノ児童ガ(〝瓜〉(中央)<br>甜瓜ヲ摘ンデキル(中央)<br>9(左)<br>(9)調査員、助手ガ乳幼児タチニ囲(中央)<br>マレテー息キイレテキル(中央)<br>10(左)<br>(10)アル日ノ(言)午後ノ診療所前.(中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | ×<br>※写1-9-26-1～6の写真資料記載参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-26-1～7の写真が貼られた原稿用紙を資料とした<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮(備考参照) | |
| 写1 | 9 | 27 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 第五室　研究室　糞便検査中 | 10(鉛筆、左)<br>第五室　研究室(鉛筆、中央)<br>糞便検査中(鉛筆、中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | <10>11　(赤鉛筆、中央)<br>[0<8>9 22](青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下) | 43×62 | ・「10」は台紙写1-9-27-5の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「第五室　研究室<br>糞便検査中.」は台紙写1-9-27-5の中央上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 27 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 住宅衛生照度測定中 | 11(鉛筆、左)<br>住宅衛生(鉛筆、中央)<br>照度測定中(鉛筆、中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 9(赤鉛筆、中央)<br>[■■■09] 09]　(青インクでナンバリング、但し「09」は鉛筆、右下) | 45×62 | ・「11」は台紙写1-9-27-5の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「住宅衛生<br>照度測定中」は台紙写1-9-27-5の中央部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 27 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 食堂ニテ少憩 | 12(鉛筆、左)<br>食堂ニテ少憩(鉛筆、中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | <13><14>15　(赤鉛筆、中央)<br>[10 36]　(青インクでナンバリング、左上、天地逆) | 45×58 | ・「12」は台紙写1-9-27-5の左部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「食堂ニテ少憩」は台紙写1-9-27-5の中央部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 27 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 宿舎ニカヘリテ計算整理中 | 13(鉛筆、左)<br>宿舎ニカヘリテ(鉛筆、中央)<br>計算整理中(鉛筆、中央) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | 23　(鉛筆、右上)<br><12><13>12　(赤鉛筆、中央)<br>[0<8>[9] 21]　(青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、右下) | 80×58 | ・「13」は台紙写1-9-27-5の左下部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「宿舎ニカヘリテ<br>計算整理中」は台紙写1-9-27-5の中央下部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、『朝鮮の農村衛生』などから衛生調査は達里で行っているため達里としている | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月〜表表紙記載 | 朝鮮・達里『朝鮮の農村衛生』などによる | |
| 写1 | 9 | 27 | 5 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月(黒フェルトペン、縦書、右)<br>朝鮮(黒フェルトペン、縦書、右)<br>達里写真集(黒フェルトペン、縦書、右) | 衛生調査実体写真<br>(写真参照) | 10(鉛筆、左)<br>第五室　研究室(鉛筆、中央)<br>糞便検査中(鉛筆、中央)<br>11(鉛筆、左)<br>住宅衛生(鉛筆、中央)<br>照度測定中(鉛筆、中央)<br>12(鉛筆、左)<br>食堂ニテ少憩(鉛筆、中央)<br>13(鉛筆、左)<br>宿舎ニカヘリテ(鉛筆、中央)<br>計算整理中(鉛筆、中央)<br>14、漢方薬を煎ず(鉛筆、右) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | 308×227 | ×<br>※写1-9-27-1～4の写真資料記載参照 | | ・「14、漢方薬を煎ず」は文字のみの記載で、写真はない<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-27-1～5の写真が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 28 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 農作物調査風景 | 十（右上）<br>特1（赤鉛筆、右上）<br>[108]（黒ナンバリング、右上）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒スタンプ中央）<br><br>[0⟨8⟩[9] 02]（ナンバリング、青インク、加筆は鉛筆、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 58×59 | ・「十」は「+」のこと | | （宮本記念財団 朝鮮（三） 1213 109） | 1213 109（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 31（鉛筆、写真裏面中央部）<br>9.8（鉛筆、写真裏面下部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 28 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋前での調査員と現地の人々の集合写真 | 十十（赤鉛筆、上）<br>1（赤鉛筆、上）<br>117（黒ナンバリング、右上）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒スタンプ、中央）<br><br>0⟨8⟩[9] 07（ナンバリング、青インク、加筆は鉛筆、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 58×59 | ・「十十」は「++」のこと<br>・写1-9-28-2から写1-9-28-5までは鉄製のクリップ(MKSと刻印がある)で綴られている | | （宮本記念財団 朝鮮（三） 1223 118） | 1223 118（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 9（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 28 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋前での調査員と現地の人々の集合写真 | 十十（赤鉛筆、上）<br>2（赤鉛筆、上）<br>[059]（黒ナンバリング、右上）<br><br>[0⟨8⟩[9] 06]（ナンバリング、青インク、加筆は鉛筆、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 63×86 | ・「十十」は「++」のこと<br>・写1-9-28-2から写1-9-28-5までは鉄製のクリップ(MKSと刻印がある)で綴られている | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | 有 |
| 写1 | 9 | 28 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 家屋前での調査員と現地の人々の集合写真 | 十十（赤鉛筆、上）<br>3（赤鉛筆、上）<br>[112]（黒ナンバリング、右上）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒ナンバリング、中央）<br><br>[0⟨8⟩[9] 04]（ナンバリング、青インク、加筆は鉛筆、右下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 59×58 | ・「十十」は「++」のこと<br>・写1-9-28-2から写1-9-28-5までは鉄製のクリップ(MKSと刻印がある)で綴られている | | （宮本記念財団 朝鮮（三） 1217 113） | 1217 113（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 5.8（鉛筆、写真裏面上段部）<br>31（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 28 | 5 | 朝鮮 | ア-62-14 | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 調査での休憩の様子 | 十十（赤鉛筆、左上）<br>4（赤鉛筆、左上）<br>[042]（黒ナンバリング、右上）<br><br>Tsyam-slm-pal（中央）<br><br>[06 08]（ナンバリング、青インク） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし（台紙に貼られているため） | 62×84 | ・「十十」は「++」のこと<br>・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある<br>・写1-9-28-2から写1-9-28-5までは鉄製のクリップ(MKSと刻印がある)で綴られている | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 28 | 6 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 肖像写真（姜鋌沢ヵ） | (b)村民トノ交ハリ（上）<br><br>姜鋌沢氏ノ（鉛筆、右）<br>仕事振リ（鉛筆、右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 111×76 | ・姜鋌沢肖像写真か<br>・写真裏には黒台紙に貼られていた跡がある<br>・当写真は写1-9-28-7右下部分に貼られている<br>・「村民トノ交ワリ」「姜鋌沢氏ノ仕事振リ」は文字のみの記載で、写真はない、何かが貼られていた跡がある<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20) | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | 有 |
| 写1 | 9 | 29 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 歓迎の宴の後の懇親の様子 | 2.（左）<br>(2)(3)共ニ村ノ（我々ヲ歓迎）（右上）<br>我々ニ対スル歓迎宴後ノ（右上）<br>親シミ！（右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | （祭りの写真）（鉛筆、縦書き、右）<br>ヨリ （鉛筆、縦書き、右下）<br>23 （鉛筆、天地逆転、中央やや左）<br>特2 （赤鉛筆、中央）<br>十 （中央やや右下） | 58×81 | ・「2.」は台紙写1-9-29-4の左上部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(2)(3)先ニ村ノ（我々ヲ歓迎）<br>我々ニ対スル歓迎宴後ノ<br>親シミ！」は台紙写1-9-29-4の右上部分にあたる場所、当写真右に記載<br>・撮影地域は、当写真内に「達里」と書かれた旗が写っていることから達里と している。 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 29 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 歓迎の宴の後の懇親の様子 | 3.（左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 特3 （赤鉛筆、中央）<br>十 （中央やや右下）<br>[10 14]（青のナンバリング、右下） | 57×80 | ・「3.」は台紙写1-9-29-4の左部分にあたる場所、当写真左に記載<br>・「(2)(3)先ニ村ノ（我々ヲ歓迎）<br>我々ニ対スル歓迎宴後ノ<br>親シミ！」は台紙写1-9-29-4の右上部分にあたる場所、当写真右上に記載<br>・撮影地域は、写1-9-29-1内に「達里」と書かれた旗が写り、当写真も同キャプションにて説明されていることから達里としている | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 29 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 洞舎前での歓迎宴の様子 | 4（左）<br>洞舎前デノ（右）<br>歓迎宴（右）<br><br>特4+（赤鉛筆、右上）<br>[30]（黒ナンバリング、右上）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒スタンプ、中央）<br><br>[02 01]（ナンバリング、青インク、右下、天地逆の状態になっている） | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 48×58 | ・「4」は台紙写1-9-29-4の左下部分にあたる場所で当写真左に記載、「洞倉前デノ<br>歓迎宴」も台紙写1-9-29-4右下部分に当たる場所、当写真右に記載<br>・上記以外の記載は台紙写1-9-29-4に記載 | | （宮本記念財団 朝鮮（三） 1134 30） | 1134 30（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 24（鉛筆、写真裏面中央部）<br>4.12（鉛筆、写真裏面下部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 29 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 歓迎の宴の様子 （台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 2.（左）<br>3.（左）<br>(2)(3)共ニ村ノ（我々ヲ歓迎）（右上）<br>我々ニ対スル歓迎宴後ノ（右上）<br>親シミ！（右上）<br><br>4.（左）<br>洞舎前デノ（右）<br>歓迎宴（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ×<br>※写1-9-29-1～3の写真資料記載参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・写1-9-29-1と写1-9-29-2は共にこの写1-9-29-4に写真で貼られ写1-9-29-3は台紙に貼られた状態でこの写1-9-29-4に貼られている | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 30 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 歓迎の宴の様子 | 特5+（赤鉛筆、上）<br>[31]（黒ナンバリング、右上）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（黒ナンバリング、中央）<br><br>[02 02]（ナンバリング、青インク、右下、天地逆の状態になっている） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 58×57 | ・「5.」は台紙写1-9-30-2の左上部分にあたる場所で当写真左上に記載、「調査員一行ハ<br>達里村民トノ<br>密接ナ打解ケ<br>ヲ決シテ忘レナカッタ」も台紙写1-9-30-2右上部分に当たる場所、当写真右上に記載<br>・上記以外の記載は台紙写1-9-30-2に記載 | | （宮本記念財団 朝鮮（一） 1135 31） | 1135 31（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 31（鉛筆、写真裏面中央部）<br>5.1（鉛筆、写真裏面下部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 30 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 歓迎の宴の様子 （台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 5.（左上）<br>調査員ー行ハ（右）<br>達里村民トノ（右）<br>密接ナ打解ケ（右）<br>ヲ決シテ忘レナカッタ（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ×<br>※写1-9-30-1の写真資料記載参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・ここでは写1-9-30-1の写真が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 31 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 高床の小屋で甜瓜を食べる | (C)記念撮影（上）<br>(1)食堂ヲ提供シテクレタ（右）<br>B家前ノ記念撮影（右）<br>(2)洪氏ヲ先キニ送ル（右）<br>(3)洞舎（診察所）前ニテ（右）<br>道廳ノ金兄服援ニクル（右）<br>(4)調査員達ハ鷹民ノ（右）<br>共同食ニ参加スル（右）<br>機会ヲモツタ（右）<br>(5)助手ト共ニÆudômak（右）<br>デ甜瓜食ヒ（右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 十十5(赤鉛筆)<br>[0＜8＞[9] 17]（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている） | 61×45 | ・「十」は「+」のこと<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・撮影地は朝鮮内の詳細不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 32 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 昼食後の子供たちと調査員 | 6(左上)<br>(6)晝食(時)ノアト、子供達ハ吾々ヲ最モ好イテクレタ、(下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 十十7(赤鉛筆、中央)<br>[0＜8＞[9] 08]（青インクでナンバリング、但し前にある「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左下） | 46×58 | ・「十」は「+」のこと<br>・「6」は台紙写1-9-32-7の左上部分にあたる場所で当写真上に記載、「(6)晝食(時)ノアト、子供達ハ吾々ヲ最モ好イテクレタ、」も台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載<br>・衛生調査は達里で行われており当写真は衛生調査後の写真と思われ撮影地域はこれによる | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 32 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 蔚山郡守等と調査員の懇親 | 7(左上)<br>〈(6)〉(7)蔚山〈群〉〈群〉群守、署長、衛生主任等ト吾々トノ懇親（左上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 十十8(赤鉛筆、中央)<br>[0＜8＞[9] 25]（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左下） | 43×59 | ・「十」は「+」のこと<br>・「7」は台紙写1-9-32-7の左上部分にあたる場所で当写真下に記載、「〈(6)〉(7)蔚山〈群〉〈群〉群守、署長、衛生主任等ト吾々トノ懇親」も台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・蔚山台紙記載 | |
| 写1 | 9 | 32 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 姜氏と調査員との談合 | 8(左)<br>〈(7)〉(8)大部分ノ團員ガ達里ヲ離レル前、姜兄ト(政治的)談合、一渡リ(下、「(政治的)」の丸括弧は鉛筆) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 十十10(赤鉛筆、中央)<br>[0＜8＞[9] 10]（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左下） | 59×45 | ・「十」は「+」のこと<br>・「8」は台紙写1-9-32-7の左中央部分にあたる場所で当写真上に記載、「〈(7)〉(8)大部分ノ團員ガ達里ヲ離レル前、姜兄ト(政治的)(「()」は鉛筆)談合、一渡リ」も台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 32 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 二女子團員の正装姿 | 9(左)<br>〈(8)〉(9)二女子團員ノ正装ブリ(下) | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ＜12＞十十11(赤鉛筆、中央)<br>[10 15]（青インクでナンバリング、右下、画像に対して90度回転） | 59×43 | ・「十」は「+」のこと<br>・「9」は台紙写1-9-32-7の左下部分にあたる場所で当写真左に記載、「〈(8)〉(9)二女子團員ノ正装ブリ」も台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載<br>・撮影されている二人は衛生調査に参加した女性のうち(呉氏と李氏と洪氏)の二人かと思われる<br>・撮影地の詳細は不明 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 9 | 32 | 5 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 姜氏とその家族 | 10(左下)<br>〈(9)〉(10)宿舎ヲ(タツ、最後ノ記念)提供シタ姜兄ノ家族（下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | [0＜8＞9 23]（青インクでナンバリング、但し「08」の「8」は鉛筆で「9」と訂正されている、左上、天地逆） | 46×58 | ・「10」は台紙写1-9-32-7の左下部分にあたる場所で当写真左に記載、「〈(9)〉(10)宿舎ヲ(タツ、最後ノ記念)提供シタ姜兄ノ家族」も台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載<br>・「姜兄の家」と原稿用紙記載にはあり、写1-9-32-3記載から姜兄の家は達里とわかり、撮影地域はこれによる | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮・達里（備考参照） | |
| 写1 | 9 | 32 | 6 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 宿舎を発つ前の全体写真 | 十(十9)11(赤鉛筆、訂正線、「11」は鉛筆、上)<br>[131]（黒ナンバリング、右上）<br><br>[0(8)[9] 01]（ナンバリング、青インク、加筆鉛筆、左下）<br><br>(11)宿舎ヲタツ最後ノ記念（下） | ・台紙は罫線用紙、旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | ・記載なし | 56×58 | ・「(11)宿舎ヲタツ最後ノ記念」は台紙写1-9-32-7右下部分に当たる場所に記載<br>・台紙は罫線用紙、旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある<br>・当台紙裏に「十十9」(赤鉛筆)と記載あり<br>・写1-9-32-6は台紙と共に写1-9-32-7に貼られている | | 宮本総合財団 朝鮮（三） 1237 132 | 1237 132（この行赤ナンバリング） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 9(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～表表紙記載 | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 9 | 32 | 7 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | 調査後の懇親や記念撮影など（台紙記載・備考参照、但し該当写真資料なし） | 6(左上)<br>(6)晝食(時)ノアト、子供達ハ吾々ヲ最モ好イテクレタ、(下)<br>7(左上)<br>〈(6)〉(7)蔚山〈群〉〈群〉群守、署長、衛生主任等ト吾々トノ懇親（下）<br>8(左)<br>〈(7)〉(8)大部分ノ團員ガ達里ヲ離レル前、姜兄ト(政治的)談合、一渡リ(下、「(政治的)」の丸括弧は鉛筆)<br>9(左)<br>〈(8)〉(9)二女子團員ノ正装ブリ(下)<br>10(左下)<br>〈(9)〉(10)宿舎ヲ(タツ、最後ノ記念)提供シタ姜兄ノ家族(下)<br>(11)宿舎ヲタツ最後ノ記念（下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ×<br>※写1-9-32-1～5の写真資料記載参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙(横書用20×20)<br>・写1-9-32-6は台紙と共に写1-9-32-7に貼られ、それ以外の写1-9-32-1～5は写1-9-32-7に貼られている。ここでは写1-9-32-1～5の写真が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 33 | 1 | 不明 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、江副勉氏 | 江副勉（左上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 52(左下、鉛筆) | 80×58 | ・「江副勉」は台紙写1-9-33-7左上部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 33 | 2 | 不明 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、池田忠義氏 | 池田忠義（上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | 52(右下、鉛筆) | 80×57 | ・「池田忠義」は台紙写1-9-33-7上部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 33 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、洪鍾任氏 | 洪鍾任（右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 57×58 | ・「洪鍾任」は台紙写1-9-33-7右上部分に当たる場所で当写真下に記載<br>・都道府県・撮影地の項目は宮本記念財団所蔵資料から推定 | | (宮本記念財団 朝鮮（一） 1125 21) | 1125 21（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 51(鉛筆、写真裏面中央部) | | | | 宮本馨太郎 | 不明 | 朝鮮・慶尚南道蔚山邑達里他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 9 | 33 | 4 | 不明 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、呉姜一氏 | 呉姜一（鉛筆、左下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・絹目紙写真<br>・記載なし | 82×57 | ・「呉姜一」は台紙写1-9-33-7左下部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 33 | 5 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、大串茂氏 | 大串茂（鉛筆、下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 57×58 | ・「大串茂」は台紙写1-9-33-7下部分に当たる場所で当写真下に記載<br>・都道府県の項目は宮本記念財団所蔵資料から「朝鮮」と推定 | | (宮本記念財団 朝鮮（三） 1221 116) | 1221 116（この行赤ナンバリング）<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 大串君（鉛筆、写真裏面左上部縦書き)<br>23(鉛筆、写真裏面中央部)<br>1.9(鉛筆、写真裏面下段部)<br>7.13(鉛筆、写真裏面最下段部) | | | | 宮本馨太郎 | 不明 | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 9 | 33 | 6 | 不明 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、尾崎嘉篤氏 | 尾崎嘉篤（鉛筆、右下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 82×59 | ・「尾崎嘉篤」は台紙写1-9-33-7下部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 9 | 33 | 7 | 不明 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート台紙（ABC順表記） | 第八く三＞編　ポートレート（上）<br>（ABC順）（上）<br>江副勉（左上）<br>池田忠義（上）<br>洪鍾任（右上）<br>呉羹一（鉛筆、左下）<br>大串茂（鉛筆、下）<br>尾崎嘉篤（鉛筆、右下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ×<br>※写1-9-33-1～6の写真資料記載参照 | | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）<br>・いずれの写真もいつどこで撮影されたのかは不明<br>・ここでは写1-9-33-1～6の写真が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 34 | 1 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、李快洙氏 | 李快洙（左上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 85×58 | ・「大串茂」は台紙写1-9-34-7左上部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 34 | 2 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、崔應錫氏 | 崔應錫（右上） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 83×59 | ・「崔應錫」は台紙写1-9-34-7右上部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 34 | 3 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、渋沢喜守雄氏 | 渋沢喜守雄（左） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 80×58 | ・「渋沢喜守雄」は台紙写1-9-34-7左中央部分に当たる場所で当写真下に記載 | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 9 | 34 | 4 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、島村喜久治氏 | 島村喜久治（中央） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 58×59 | ・「島村喜久治」は台紙写1-9-34-7中央部分に当たる場所で当写真下に記載<br>・都道府県の項目は宮本記念財団所蔵資料から「朝鮮」と推定 | | （宮本記念財団 朝鮮（三） 1220　115） | 1220　115（この行赤ナンバリング）<br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 島村君（鉛筆、写真裏面左上部縦書き）<br>23（鉛筆、写真裏面中央部）<br>1.8（鉛筆、写真裏面左下段部） | | | | 宮本馨太郎 | 不明 | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 9 | 34 | 5 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、朴興度氏 | 朴興度（下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 59×59 | ・「朴興度」は台紙写1-9-34-7中央下部分に当たる場所で当写真下に記載<br>・都道府県・撮影地の項目は宮本記念財団所蔵資料から推定 | | （宮本記念財団 朝鮮（一） 1116　12） | 1116　12（この行赤ナンバリング）<br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 興度（二〇）（鉛筆、写真裏面左上部縦書き）<br>23（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 不明 | 朝鮮・慶尚南道蔚山邑達里他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 9 | 34 | 6 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート、朴淳杓氏 | 朴淳杓（下） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ・記載なし | 59×57 | ・「朴淳杓」は台紙写1-9-34-7中央下部分に当たる場所で当写真下に記載<br>・都道府県・撮影地の項目は宮本記念財団所蔵資料から推定 | | （宮本記念財団 朝鮮（一） 1118　14） | 1118　14（この行赤ナンバリング）<br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印） | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 9（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 不明 | 朝鮮・慶尚南道蔚山邑達里他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 9 | 34 | 7 | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | ポートレート台紙 | 李快洙（左上）<br>李小姐（上）<br>崔應錫（右上）<br>渋沢喜守雄（左）<br>島村喜久治（中央）<br>朴興度（下）<br>朴淳杓（下）<br>小川、宮本、（縦書き、青鉛筆、右） | ・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20） | 308×227 | ×<br>※写1-9-34-1～6の写真資料記載参照 | | ・「李小姐」は台紙写1-9-34-7上部分に当たる場所に記載、当該写真は無い<br>・BUNYOUDOとある原稿用紙（横書用20×20）<br>・いずれの写真もいつどこで撮影されたのかは不明だが写1-9-33-5と写1-9-33-6は朝鮮で撮影されたものか<br>・ここでは写1-9-34-1～6の写真が貼られた原稿用紙を資料とした | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 9 | 35 | | 朝鮮 | | 昭和十一年八月（黒フェルトペン、縦書、右）<br>朝鮮（黒フェルトペン、縦書、右）<br>達里写真集（黒フェルトペン、縦書、右） | （閉じ込み裏表紙） | | | | × | 308×227 | ・写真1-9自体は冊子ではない、ここでは裏表紙を資料とした<br>・裏表紙自体を資料とすることにより法量は便宜上写真資料・外装法量に記載した | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 10 | 1 | | 鹿児島県 | 河1-4-15 | 朝鮮　（黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集　（黒フェルトペン、縦書） | 喜界島のアヨー（アリョー） | 224　（ナンパリング、青インク）<br>アヨー　（鉛を取るもの）（鉛筆）<br>又は　（鉛筆）<br>アリョー　（鉛筆） | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | 記載なし | 75×103 | ・写1-10-1と写1-10-2は一枚の台紙に裏裏で貼られている。また、この2枚はナンパリング・被写体・関連目録番号資料から喜界島のものと推測される<br>・アチック・ミューゼアム彙報55『喜界島漁業民俗　喜界島調査資料第四』の口絵「5アリョー」と同形態だが籠の網目や吊り紐など若干仕様が異なる | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島関連目録番号資料 | 有 |
| 写1 | 10 | 2 | | 鹿児島県 | | 朝鮮　（黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集　（黒フェルトペン、縦書） | 喜界島の機を織る子供達 | 225　（ナンパリング、青インク、訂正／黒インク） | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | Atic　（鉛筆） | 78×108 | ・写1-10-1と写1-10-2は一枚の台紙に裏裏で貼られている。また、この2枚はナンパリング・被写体から喜界島のものと推測される | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p123 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 10 | 3 | | 朝鮮 | | 朝鮮　（黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集　（黒フェルトペン、縦書） | 上落月島の蝦網船と豚 | 2049　（ナンパリング、青インク）<br>〇　（赤ペン）<br>写22　（赤ペン、縦書）<br>上落月島　（赤ペン、縦書）<br>上落　（鉛筆） | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | 記載なし | 48×63 | ・題名はアチック・ミューゼアムノート第14『朝鮮多島海旅行覚書』口絵第一八図「蝦網船」などを参照した<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・上洛月島台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 10 | 4 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 大許砂島の嬶を入れて生かして置く竹製の篭・ソンドイ | 2050 （ナンバリング、青インク）<br>〇 （赤ペン）<br>26 （ナンバリング、青インク）<br>嘘砂島（|大|許砂島）<br>ソンドイ Song-doi<br>蝿を入れて生かして置く竹製の篭。<br>写37 （赤ペン、縦書） | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | 記載なし | 58×58 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第三三図 蜻の生簀」と同一の被写体でひっくり返した底の部分を写している<br>・台紙記載には「写37」とあるが、『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四の口絵三七は別写真<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | （宮本記念財団 朝鮮（四）<br>1286 181） | 1286 181<br>（この行赤ナンバリング）<br><br>昭和十一年八月十八日撮影（年月日は数字以外はゴム印）<br><br>嘘砂島（ 許砂島）<br>ソンドイ song-doi<br>蝿を入れて生かして置く竹製の篭。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 41（鉛筆、写真裏面中央部） | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～他研究機関所蔵資料 | 朝鮮・許砂島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 5 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 前曾島の神木 | 2053 （ナンバリング、青インク）<br>2053 （赤鉛筆）<br>〇 （赤鉛筆）<br>088 （ナンバリング、黒インク）<br>前曾島 （鉛筆、縦書）<br>写44 （赤ペン、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | 記載なし | 58×84 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四口絵では多くの神木の写真を掲載しており題名はそれらを参照<br>・台紙記載には「写44」とあるが、『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四の口絵四四という写真番号はない<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 前曾島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 6 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 船上から望む上下落月島 | 2191 （ナンバリング、青インク）<br>落月島 （鉛筆、縦書）<br>向ッテ右 上― （鉛筆、縦書）<br>左 下― （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×164 | 落月島 （鉛筆、縦書）<br>向ッテ右 上― （鉛筆、縦書）<br>左 下― （鉛筆、縦書） | 64×88 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第一二図 上落月島の遠望全姿」の写真も秋葉氏が撮影しており当写真は『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第一二図 上落月島の遠望全姿」の何分か前の同船上と思われる<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・洛月島沖台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 7 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 上落月島の浜に上がった船 | 2192 （ナンバリング、青インク）<br>上落月島 （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×164 | 上落月里 （鉛筆、縦書） | 64×90 | ・題名は『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第一八図 蝦網船」を参照<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・上落月島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 8 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子島の波市 | 2193 （ナンバリング、青インク）<br>荏子島波市 （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×164 | 荏子島 （鉛筆、縦書）<br>波市 （鉛筆、縦書） | 64×89 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 9 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子島下牛里のボルマダン | 2195 （ナンバリング、青インク）<br>荏子島下牛里 （鉛筆、縦書）<br>ボルマダン （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 荏子島 （鉛筆、縦書）<br>下牛里 （鉛筆、縦書）<br>ボルマダン （鉛筆、縦書） | 63×88 | ・ボルマダン(ブルマダン)とは共同作業場のこと(『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 参照)<br>・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編口絵三六図、三七図は同地の撮影であり特に三七図は同様の背景が見えるので同一地とみられる<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島下牛里台紙記載 | 有 |
| 写1 | 10 | 10 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 下洛月里の鄭氏宅 | 2201 （ナンバリング、青インク）<br>下落月里 （鉛筆、縦書）<br>鄭氏宅？内■ （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 下落月里 （鉛筆、縦書）<br>鄭氏宅 （鉛筆、縦書）<br>内■■ （鉛筆、縦書） | 64×89 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 11 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 鎭里の民家の井戸 | 2202 （ナンバリング、青インク）<br>鎭里 （鉛筆、縦書）<br>民家ノ井戸 （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 鎭里 （鉛筆、縦書）<br>民家井戸 （鉛筆、縦書） | 64×88 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月17日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 12 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 鎭里にて風の神(ヵ)を撮影する澁澤敬三 | 2204 （ナンバリング、青インク）<br>鎭里(鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影(鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | 鎭里 （鉛筆、縦書） | 88×64 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四 アチック・ミューゼアム編 口絵「第七図 風の神か」とあり題名はこれを参照<br>・本資料で澁澤敬三が撮影しているのは渋沢フィルムDVD「多島海探訪記」07:01あたりの映像と思われる。<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月17日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡荏子面鎭里台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 13 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 下落月里の染釜 | 2205 （ナンバリング、青インク）<br>下落月里 染釜 （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 下落月里 （鉛筆、縦書）<br>染釜 （鉛筆、縦書） | 64×89 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・下洛月里台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 14 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 上落月島にて竪杵で臼をつく女性 | 2206 （ナンバリング、青インク）<br>上落月里ニテ （鉛筆、縦書）<br>秋葉氏撮影 （鉛筆、縦書） | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | 上落月里ニテ （鉛筆、縦書） | 88×63 | ・渋沢フィルムDVD「多島海探訪記」12:35あたりの映像と思われる。<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | | 秋葉隆 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・上落月里台紙記載 | 有 |
| 写1 | 10 | 15 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子島の波市の料理店 | 2307 （ナンバリング、青インク）<br>28 （ナンバリング、青インク）<br>全羅南道務安郡荏子面光山里荏子島<br>波市pa-siの料理店liyoli-chib. | ・台紙には旗の絵（中にSM）とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 記載なし | 58×58 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | 宮本記念財団 朝鮮（四）<br>1288 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した） | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 10 | 16 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子島の波子の料理店店先 | 2308 （ナンバリング、青インク）<br>波市 （鉛筆、縦書） | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×162 | 記載なし | 50×64 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島台紙記載 | 有 |
| 写1 | 10 | 17 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子面光山里の波市 | 2309 （ナンバリング、青インク）<br>荏子面光山里波市 （鉛筆、縦書） | ・台紙には鳥の絵とその絵の上と下にsuperfainと思われる透かしがある | 206×160 | 荏子面光山里 （鉛筆、縦書） | 78×104 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 18 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 荏子島の波市の料理店の女 | 2311 （ナンバリング、青インク）<br>30 （ナンバリング、青インク）<br>全羅南道務安郡荏子面光山里荏子島<br>波市pa-siの料理店liyo-li-chibの女。 | ・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | 記載なし | 57×56 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | 宮本記念財団 朝鮮(四)<br>1290 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、赤いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した） | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・荏子島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 19 | | 朝鮮 | ア-120-51 | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 前曽島の建築物と調査一行 | 記載なし | ・祭魚洞書屋20×10文字原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 79×115 | ・本資料は関連目録番号資料を引き延ばしてトリミングしたもの<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月19日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 前曽島台紙記載 | |
| 写1 | 10 | 20 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 山中から望む上洛月里の全景 | 記載なし | ・台紙には祭魚洞書屋の罫紙を使っている | 248×176 | 記載なし | 77×113 | ・『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四　アチック・ミューゼアム編　口絵「第一三図　上洛月里の全景」写真を撮影するまでの途中にある山中か、遠景は同じ景色と思われる<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・上洛月里（備考参照） | |
| 写1 | 10 | 21 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 縄を作る男性 | 記載なし | ・台紙には祭魚洞書屋の罫紙を使っている | 248×176 | 記載なし | 78×116 | ・綱・縄状のものの上に、それより細い綱縄状のものを巻きつけている。写真右手に見える木製の杭に結ばれた縄の形状から見て蝦網船で使用している縄か(渋沢フィルムDVD『多島海探訪記』12:59参照、）<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・上洛月里（備考参照） | |
| 写1 | 10 | 22 | | 朝鮮 | ア-56-18 | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 筵機を使った筵織 | 記載なし | ・台紙には祭魚洞書屋の罫紙を使っている | 248×176 | 記載なし | 79×115 | ・本資料は関連目録番号資料を引き延ばしてトリミングしたもの<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月～8月（備考参照） | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 10 | 23 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 流澤敬三・高橋文太郎らの船上（金剛丸か)でのひととき | | | | 記載なし | 79×116 | ・流澤敬三、高橋文太郎が見えるところから、『朝鮮多島海旅行覚書』アチック・ミューゼアムノート第十四　アチック・ミューゼアム編の「小序」(渋沢著昭和十四年)から渋沢らが広島から達里へ向かい先発隊に合流しようとしている船中、あるいは全日程を終えた帰りの船中か<br>・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月～8月（備考参照） | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 10 | 24 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 下洛月里の石垣に囲まれる家屋（備考参照） | | | | 記載なし | 78×114 | ・本資料はア64-12と同場面の撮影とみられ、題名・撮影地域および撮影年月日はこれによる。 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～備考参照、『朝鮮多島海旅行覚書』による | 朝鮮・全羅南道務安郡大許沙島（備考参照） | |
| 写1 | 10 | 25 | | 朝鮮 | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 庭先で竪杵を使い臼をつく | | | | 記載なし | 79×116 | ・撮影年月日は『渋沢敬三著作集第4巻旅譜』、『朝鮮多島海旅行覚書』などからの推定による | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月～8月（備考参照） | 朝鮮外装記載 | |
| 写1 | 10 | 26 | | × | | 朝鮮 （黒フェルトペン、縦書）<br>多島海集 （黒フェルトペン、縦書） | 封筒 | | | | × | 270×215 | ・日本勧業銀行の封筒を使っている | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 11 | 1 | | 新潟県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 越後赤谷村混谷国有林内にて、千匹万匹の祭(熊の毛皮を剥いだところ) | No.3 （鉛筆）<br>498 （赤鉛筆）<br>498 （ナンバリング、青インク）<br>狩猟(鉛筆、縦書、丸囲み)<br>朝日嶽？(鉛筆、縦書、「？」は丸囲み)<br>イ(鉛筆、丸囲み) | ・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 「千匹万匹」の祭 （鉛筆、縦書）<br>皮剥ぎ後 （鉛筆、縦書） | 77×102 | ・台紙記載のうち「狩猟」、「？」、「イ」の記載はそれぞれ〇で囲まれている<br>・台紙記載に「朝日嶽？」となっていること、昭和12年4月13日の新潟県北蒲原郡赤谷村での熊狩の様子が書かれた高橋文太郎「山と人の生活」p29には本資料の前の場面の写真が掲載されていること、同書p24-25に「千匹万匹」の記述があること、などから引用・使用媒体にある「毛祭(山形県朝日岳山麓」は誤りで撮影地は新潟県北蒲原郡赤谷村、撮影年月日は昭和12年4月13日、撮影者は外装記載なども考慮し高橋文太郎とした。 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p645「毛祭（山形県朝日岳山麓」(ママ) | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和12年(1937年)4月13日～（備考参照） | 新潟県北蒲原郡赤谷村滝谷（備考参照） | 有 |
| 写1 | 11 | 2 | | 新潟県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 越後赤谷村混谷の熊の皮張 | 516 （ナンバリング、青インク） | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 205×154 | 赤谷村 （鉛筆、縦書）<br>滝谷にて （鉛筆、縦書）<br>皮ハリ （鉛筆、縦書） | 78×103 | ・昭和12年4月13日の新潟県北蒲原郡赤谷村での熊狩の様子が書かれた高橋文太郎「山と人の生活」p.9-63から、撮影地は新潟県北蒲原郡赤谷村、撮影年月日は昭和12年4月13日前後、撮影者は外装記載なども考慮し高橋文太郎とした。 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和12年(1937年)4月13日～（備考参照） | 新潟県北蒲原郡赤谷村滝谷（備考参照） | 有 |
| 写1 | 11 | 3 | | 新潟県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 越後赤谷村混谷にて剥いだ熊の皮を張り伸ばしているところ(写真は皮の裏側) | 518(ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 199×164 | 赤谷村[滝谷] （鉛筆、縦書）<br>熊 （鉛筆、縦書）<br>皮ハリ （鉛筆、縦書） | 78×104 | ・昭和12年4月13日の新潟県北蒲原郡赤谷村での熊狩の様子が書かれた高橋文太郎「山と人の生活」p.9-63から、撮影地は新潟県北蒲原郡赤谷村、撮影年月日は昭和12年4月13日前後、撮影者は外装記載なども考慮し高橋文太郎とした。 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和12年(1937年)4月13日～（備考参照） | 新潟県北蒲原郡赤谷村滝谷台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 4 | | 新潟県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 越後赤谷村上赤谷の井上村長宅囲炉裏端に座る女性と子ども | いろり （鉛筆、下線あり）<br>523 （ナンバリング、青インク）<br>新潟県岩船町三面村三面 （鉛筆） | ・台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 赤谷村 （鉛筆、縦書）<br>上赤谷 （鉛筆、縦書）<br>井上村長宅 （鉛筆、縦書） | 104×78 | ・台紙記載には「新潟県岩船町三面村三面」とあるが、写真記載に「赤谷村上赤谷井上村長宅」とあること、昭和12年4月13日の新潟県北蒲原郡赤谷村での熊狩の様子が書かれた高橋文太郎「山と人の生活」p.9-63から、台紙記載は誤りで、撮影地は新潟県北蒲原郡赤谷村と見られる。同書より撮影年月日は昭和12年4月13日前後、撮影者は引用・使用媒体、外装記載なども考慮し高橋文太郎とした。<br>・アルバム18-30とほぼ同一の写真(被写体として老女の隣に女の子がいない) | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p56「囲炉裏（新潟県三面村)」<br>高橋文太郎『途上所見（二)』『旅と伝説』第11年3月号三元社<br>三元社口絵三元社口絵 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和12年(1937年)4月13日～（備考参照） | 新潟県北蒲原郡赤谷村上赤谷写真資料記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 11 | 5 | | 秋田県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 踏俵を履いて雪を踏み固める吉田三郎 | 503 (ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 200×164 | 4 (鉛筆、丸囲み)<br>A (赤鉛筆、丸囲み)<br>寸 (赤鉛筆)<br>左右 2・1 (赤鉛筆)<br>天地 2・5 (赤鉛筆) | 97×72 | ・吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』p1「この原稿の挿繪の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、油澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした」とあることから、本資料は昭和9年9月のアチック一行による男鹿・石神・八戸の調査の際に脇本村に立ち寄られた時点から、同書が印刷・出版されるまでの昭和10年2月までの間に撮影されたものと推定される。本資料については同書p20-21に関連の記述がある。 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』アチックミューゼアム彙報第第4p20「使用図　大西伍一作」 | | | | | | | | 大西伍一 | 昭和9年(1934年)9月～昭和10年(1935年)2月(備考参照) | 秋田県脇本村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 11 | 6 | | 秋田県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 田んぼへ肥料を運ぶ吉田三郎 | 504 (ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 200×164 | 三 (鉛筆、丸囲み)<br>原寸 (赤鉛筆)<br>このまゝ (赤鉛筆) | 72×97 | ・吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』p1「この原稿の挿繪の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、油澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした」とあることから、本資料は昭和9年9月のアチック一行による男鹿・石神・八戸の調査の際に脇本村に立ち寄られた時点から、同書が印刷・出版されるまでの昭和10年2月までの間に撮影されたものと推定される。本資料については同書p.20に関連の記述がある。 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』アチックミューゼアム彙報第第4p20「第三図　田圃へ肥料を運ぶ　大西伍一作」 | | | | | | | | 大西伍一 | 昭和9年(1934年)9月～昭和10年(1935年)2月(備考参照) | 秋田県脇本村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 11 | 7 | | 秋田県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | マドと呼ばれる五重丸の柄の凧 | 505 (ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 200×164 | 七 (鉛筆、丸囲み)<br>マド (縦書)<br>B (赤鉛筆)<br>天地ニ寸五分 (鉛筆、縦書)<br>大西伍一作 (縦書) | 88×60 | ・吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』p.1「この原稿の挿繪の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、油澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした」とあることから、本資料は昭和9年9月のアチック一行による男鹿・石神・八戸の調査の際に脇本村に立ち寄られた時点から、同書が印刷・出版されるまでの昭和10年2月までの間に撮影されたものと推定される。本資料については同書p.91-93に関連の記述がある。 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』アチックミューゼアム彙報第第4p93「第二十三図　マド　大西伍一氏作」 | | | | | | | | 大西伍一 | 昭和9年(1934年)9月～昭和10年(1935年)2月(備考参照) | 秋田県脇本村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 11 | 8 | | 秋田県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 八面ベラと呼ばれる凧 | 506 (ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗〇地にKとその絵を挟んで上にORIGINALとSUPARFINEと透かしがある | 200×164 | 一七 (鉛筆、丸囲み)<br>八面ベラ (縦書)<br>〇左右(ニ寸) (鉛筆、縦書、「〇」は赤鉛筆)<br>〇天地ニ寸五分 (鉛筆、縦書、「〇」は赤鉛筆)<br>(大西伍一作) (縦書)<br>A (赤鉛筆)<br>縦六三. 糎五 (縦書)<br>横六七糎五 (縦書) | 103×72 | ・吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』p.1「この原稿の挿繪の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、油澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした」とあることから、本資料は昭和9年9月のアチック一行による男鹿・石神・八戸の調査の際に脇本村に立ち寄られた時点から、同書が印刷・出版されるまでの昭和10年2月までの間に撮影されたものと推定される。本資料については同書p.91-93に関連の記述がある。<br>・台紙右上には付箋が破れて残ったものが張り付いている。 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』アチックミューゼアム彙報第第4p93「第二十三図　ベラ　大西伍一氏作」 | | | | | | | | 大西伍一 | 昭和9年(1934年)9月～昭和10年(1935年)2月(備考参照) | 秋田県脇本村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 11 | 9 | | 奈良県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 吉野郡十津川村小森附近にて手拭いを被り、腰にコシアテをつけた女性達 | 713(ナンバリング、青インク)<br>奈良県吉野郡十津川村小森附近 (高橋文太郎作) | 台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINEと透かしがある | 208×161 | 十津川村 (鉛筆、縦書)<br>小森附近 (鉛筆、縦書) | 81×113 | ・ア-22-19に写っている女性達の後姿と思われる。<br>・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p.156に関連の記述が見られる。またp177から、昭和8年1月7日に撮影されたものと推定される。 | 高橋文太郎『山と民俗』山と渓谷社1933口絵「薪運びの女達(大和十津川中原峠付近)」日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年誠文堂新光社1954年p531「山仕事の女達の腰あて」(奈良県十津川村)誠文堂新光社1954年p531「山仕事の女達の腰あて」(奈良県十津川村) | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月7日～(備考参照) | 奈良県吉野郡十津川村小森附近台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 10 | | 奈良県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 吉野郡十津川村池穴の集落と十津川本流にかかる吊り橋 | No.5(鉛筆)<br>714(ナンバリング、青インク)<br>山村(鉛筆、縦書)<br>村落(縦書、縦書)<br><br>奈良県吉野郡十津川村池穴(十津川本流) (高橋文太郎作) | 台紙にはSUPERFINEと透かしがある | 208×161 | 十津川村 (鉛筆、縦書)<br>池穴 (鉛筆、縦書) | 81×113 | ・ア-22-17と同被写体を違う角度から撮った写真。<br>・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p.154、p.177によると、昭和8年1月7日に撮影されたものと推定される。 | 高橋文太郎『山と民俗』山と渓谷社1933口絵「薪運びの女達(大和十津川と池穴部落)」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年誠文堂新光社1954年p512「奈良県十津川村」<br>誠文堂新光社1954年p512「奈良県十津川村」<br>早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p513「十津川村池穴、吊橋は左側に白い線のように見える」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月7日～(備考参照) | 奈良県吉野郡十津川村池穴台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 11 | | 三重県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 南牟婁郡泊村古泊にて頭に薪を載せた女性 | 722(ナンバリング、青インク)<br><br>古泊浦 (高橋文太郎作)<br>(三重県南牟婁郡泊村) | 台紙にはSUPERFINEと絵柄不明の透かしの切れ端がある | 207×161 | 古泊 (鉛筆、縦書) | 102×78 | ・ア-22-27と同被写体を違う角度から撮った写真。<br>・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p175に関連の記述が見られる。またp178から、昭和8年1月8日に撮影されたものと推定される。<br>・引用・使用媒体の『早川孝太郎全集ⅩⅡ』p.511では昭和8年1月9日となっているが、ここでは高橋文太郎『山と民俗』に記載の日程を優先した。 | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p511「薪木を頭上に頂く古泊の女」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月8日～(備考参照) | 三重県南牟婁郡泊村古泊浦台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 12 | | 三重県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 南牟婁郡泊村古泊にて腰からボッツリ(籠)を提げた女性と子ども | 723(ナンバリング、青インク)<br>古泊 (高橋文太郎作)<br>(三重県南牟婁郡泊村) | 台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 208×161 | 古泊 (鉛筆、縦書) | 103×78 | ・ア-22-29と同被写体を違う角度から撮った写真。<br>・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p.176に関連の記述が見られる。またp178から、昭和8年1月8日に撮影されたものと推定される。 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月8日～(備考参照) | 三重県南牟婁郡泊村古泊台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 13 | | 和歌山県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 東牟婁郡新宮町にて柑橘類を並べた店先 | 729(ナンバリング、青インク)<br><br>新宮町 (高橋文太郎作)<br>(和歌山県県、東牟郡) | 台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINEと透かしがある | 208×161 | 新宮 (鉛筆、縦書)<br>〈■■〉(鉛筆、縦書) | 81×114 | ・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p.168-169に関連の記述が見られる。またp178から、昭和8年1月8日に撮影されたものと推定される。 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月8日～(備考参照) | 和歌山県県東牟郡新宮町台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 14 | | 和歌山県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 新宮町の風景 | 732(ナンバリング、青インク)<br><br>新宮町 (高橋文太郎作)<br>(和歌山県県、東牟郡) | 台紙には絵柄不明の透かしの切れ端がある | 207×161 | 新宮 (鉛筆、縦書) | 81×114 | ・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p.167-169に関連の記述が見られる。またp178から、昭和8年1月8日に撮影されたものと推定される。 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月8日～(備考参照) | 和歌山県県東牟郡新宮町台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 15 | | 三重県 | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | 南牟婁郡泊村古泊にてオイネという綿入れの布団を使った子守 | No.5(鉛筆)<br>7.1(鉛筆、丸囲み)<br>734(ナンバリング、青インク)<br>子守(鉛筆、縦書)<br>1.7×1.6寸(鉛筆、縦書)<br>—(鉛筆)<br>三重県南牟婁郡泊村、古泊浦(高橋文太郎作) | 台紙にはQUARITYと透かしがある | 208×161 | 古泊 (鉛筆、縦書) | 102×77 | ・台紙記載のうち「7.1」と「子守」は〇で囲まれている。写真余白部分にも書き込みがあり「1.7×1.6」(縦方向横書き)とある。横線「—」は写真余白部分にも掛かっており編集跡と思われる。<br>・本資料は高橋文太郎『山と民俗』p1.76に関連の記述が見られる。またp.178から、昭和8年1月8日に撮影されたものと推定される。 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p443「村の子守(三重県古泊浦)」早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003未来社2003p512「亀の子半纏を着け子守りをする古泊の女の子」未来社2003p512「亀の子半纏を着け子守りをする古泊の女の子」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月8日～(備考参照) | 三重県南牟婁郡泊村古泊浦台紙記載 | 有 |
| 写1 | 11 | 16 | | × | | 瞬間　高橋文太郎作(黒フェルトペン、縦書、右) | (封筒) | | | | | | ・西日本紡績株式会社東京出張所の封筒を使っている<br>・26.7×32.5の大きさの封筒 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 12 | 1 | | 山形県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 眼鏡をかけた女性と赤子を背負う女性 | 1386 (ナンバリング、青インク)<br><br>小国町にて (鉛筆) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×162 | 小国ニテ (鉛筆、縦書) | 102×78 | ・16ミリフィルム「越後三面行」04:46～56の場面は、本資料を撮影している場面を横から撮影したものぁ<br>・左側の眼鏡をかけた女性は着物に下駄を履き、右側の女性は赤子を背負い、モンペを履きあ、足元は草履である。女性たちの背後には大八車が見える<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7前後の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる。また、本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文 | 16ミリフィルム「越後三面行」04:53早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003未来社2003p540未来社2003p540 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県西置賜郡小国町台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 2 | | 山形県 | ア-39-6 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 小国村伊佐領にてニショヒミノを用いて村木板を背負う女性 | 1378 (ナンバリング、青インク)<br><br>山形縣西置賜郡小国本村伊佐領にて (鉛筆) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | 伊佐領ニテ (鉛筆、縦書) | 77×102 | ・本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文太郎『朝日山麓三面村記』(『山岳』第28年3号)による<br>・引用・使用媒体「早川孝太郎全集12」p.557には「撮影　高橋文太郎」とあり、撮影者はこれによる<br>・高橋文太郎「朝日山麓三面村記」(『山岳』第28年3号)p.39に本資料についての記述があり、題名はこれによる | 16ミリフィルム「越後三面行」02:57早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003未来社2003p557未来社2003p557 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県置賜郡小国本村伊佐領台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 3 | | 山形県 | ア-39-3 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 宇津峠で出会ったナタフクロ(葡萄蔓にて作れる鉈入)を下げた男性と家族の後ろ姿 | 1375 (ナンバリング、青インク)<br><br>山形西置賜郡豊川村宇津峠<br>(鉛筆) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | 山形県宇津峠ニテ (鉛筆)<br>下 (鉛筆) | 77×102 | ・本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文太郎『朝日山麓三面村記』(『山岳』第28年3号)による<br>・引用・使用媒体「早川孝太郎全集12」p.556には「撮影　高橋文太郎」とあり、撮影者はこれによる<br>・高橋文太郎「朝日山麓三面村記」(『山岳』第28年3号)p.39に本資料についての記述があり、題名はこれによる。また、ア-39-3は本資料に写る家族を正面から撮影したもの | 16ミリフィルム「越後三面行」早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003未来社2003p556未来社2003p556 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県置賜郡豊川村宇津峠台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 4 | | 山形県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 天秤棒で魚を売る ボテカツギ(行商人)と会話する高橋文太郎と早川孝太郎 | No.8 (鉛筆)<br>1391 (ナンバリング、青インク)<br>行商(鉛筆、縦書)<br><br>←高橋文太郎(鉛筆、縦書)<br>早川孝太郎(鉛筆、縦書、ママ)<br>栃倉附近魚賣(鉛筆、縦書) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | ・VELOX・ (印刷、斜体字) | 59×83 | ・本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文太郎『朝日山麓三面村記』(『山岳』第28年3号)による<br>・高橋文太郎「朝日山麓三面村記」(『山の人達』p.62-63では「一行－澁澤敬三氏他三名。」とある。また、本資料には高橋文太郎、早川孝太郎が写っており、渋沢フィルム13「越後三面行」01:18には車中で眠る村上清文の様子が映されており、これらのことから一行は澁澤敬三・高橋文太郎・早川孝太郎・村上清文とした。これにより撮影者は澁澤敬三または同行した村上清文と推定される | | | | | | | | | 渋沢敬三・村上清文 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県置賜郡小国町栃倉付近台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 5 | | 山形県 | ア-39-7<br>ア-39-8 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 山形県西置賜郡小国町町原の通りと手に日の丸を持って飛行機を迎える子ども達 | 1382(ナンバリング、青インク)<br><br>山形縣西置賜郡小国町にて<br>(鉛筆) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | ・VELOX・ (印刷、斜体字) | 59×84 | ・本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文太郎『朝日山麓三面村記』(『山岳』第28年3号)による<br>写1-12-4に高橋文太郎、早川孝太郎が写っており、また、渋沢フィルム13「越後三面行」01:18には車中で眠る村上清文の様子が映されており、これらのことから一行は澁澤敬三・高橋文太郎・早川孝太郎・村上清文とし撮影者もこれによる<br>・高橋文太郎「朝日山麓三面村記」(『山岳』第28年3号)p.40に本資料についての記述があり、題名はこれによる | 16ミリフィルム「越後三面行」04:47 | | | | | | | | 渋沢敬三・高橋文太郎・早川孝太郎・村上清文 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県西置賜郡小国町町原(備考参照) | |
| 写1 | 12 | 6 | | 山形県 | ア-39-12 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 山形県置賜郡小国町栃倉の仁科家の民家とその前に集まるアチックの人々 | 1390 (ナンバリング、青インク)<br><br>栃倉にて (鉛筆) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | ・VELOX・ (印刷、斜体字) | 59×84 | ・本資料はナンバリングからアルバム39から抜き出されたものと見られる。アルバム39は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和八年五月に行われた澁澤敬三・高橋文太郎ほか2名の山形県米沢から新潟県三面の調査と見られ、撮影者・撮影日・撮影地域など詳細はこれら調査をまとめた高橋文太郎『朝日山麓三面村記』(『山岳』第28年3号)による<br>写1-12-4に高橋文太郎、早川孝太郎が写っており、また、渋沢フィルム13「越後三面行」01:18には車中で眠る村上清文の様子が映されており、これらのことから一行は澁澤敬三・高橋文太郎・早川孝太郎・村上清文とし撮影者もこれによる<br>・高橋文太郎「朝日山麓三面村記」(『山岳』第28年3号)p.40-41に本資料についての記述があり、この地で笹担ぎの人夫を雇ったとの記述があ | 16ミリフィルム「越後三面行」05:46 | | | | | | | | 渋沢敬三・高橋文太郎・早川孝太郎・村上清文 | 昭和8年(1933年)5月19日～(備考参照) | 山形県置賜郡小国町栃倉付近台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 7 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 高橋源蔵氏宅の囲炉裏 | 1393(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>高橋源蔵氏方　イロリ(鉛筆、中央)<br>採訪(10)8(鉛筆、縦書、下)<br>出3(鉛筆、下) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | | | ・「高橋源蔵氏方　イロリ」の記載は写真の下に隠れていて捲ると見える<br>・写真上方に何か紙のようなものが貼られていた跡がある<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 8 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 肥ビシャク | 1408(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>三面村三面肥ビシヤク(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | | | ・2本の長柄の肥ビシャクが2本立て懸けられている。杓の部分は木を刳り抜いたものの様である<br>・16ミリフィルム「越後三面行」09:29～09:43に類似する場面が撮影されている<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影年月日は16ミリフィルム「越後三面行」によれば昭和8年5月、『犬歩当棒録』旅譜によれば6月となる | 16ミリフィルム「越後三面行」09:29 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月16ミリフィルム「越後三面行」、『犬歩当棒録』旅譜による | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 9 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 壁に吊るした木碗とハケ | 1415(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>高橋源蔵氏方にて　■メゴ(ズ)キ(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 三面(鉛筆、縦書、中央、90度回転した状態)<br>高橋方(鉛筆、縦書、中央、90度回転した状態) | | ・柄の無い木碗と小さな竹箒状のものが鴛がれ上から掛けられている<br>・『早川孝太郎全集』XⅡp.532には「壁に吊るした木碗とハケ。木碗に作る塩水を、ハケで飛ばして家中を祓い清める。当主の毎朝の仕事だった。」と記されている<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003年p532「壁に吊るした木碗とハケ。木碗に作る塩水を、ハケで飛ばして家中を祓い清める。当主の毎朝の仕事だった。」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 10 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 高橋源蔵氏の畑での種まき | 1417(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>高橋源蔵氏方(鉛筆、中央)<br>種まき(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | ・VELOX・ (印刷、斜体字) | | ・丸太を繋ぎ合せた垣の畑で種蒔きをしている人物。畑には畝が切られている<br>・人物は笠を被っている。この笠は『越後三面村布部郷土誌』p.96に記載されている「サンジョガサ」に類似すると考えられる | | | | | | | | 不明 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 11 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 渋沢を中心にして撮った高橋源蔵一家写真(台紙記載参照) | 1418(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>高橋源蔵氏一家(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | | | ・渋沢敬三や高橋源蔵一家の他に早川孝太郎、村上清文も写っている<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影年月日は16ミリフィルム「越後三面行」によれば昭和8年5月、『犬歩当棒録』旅譜によれば6月となる<br>・被写体は下駄履きの渋沢を中心に高橋源蔵氏一家、早川孝太郎、縁側の上に村上清文がいる | 16ミリフィルム「越後三面行」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月16ミリフィルム「越後三面行」、『犬歩当棒録』旅譜による | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 12 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 建物の横で一列に並ぶ家族の写真 | 1419(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>三面村三面にて(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 三面■■(鉛筆、縦書、右、■■は「にて」カ) | | ・7人の人物を撮影している。うち大人は男女で2人、男の子5人、女の子1人である。<br>・男の子はミチカハダコ、ハガマを着ており足元は草履である。一人だけゴム製の長靴を履いている。<br>・女性は女の子を傍らに抱いて座っている。女の子は着物を着て下駄を履いている<br>・男性はミチカハダコ、ハガマを着ており足元は地下足袋である<br>・『越後三面村布部郷土誌』によると、ミチカハダコ―「股の中頃か膝の一寸下位までの長さのハダコ(單衣)(p.88)」、ハガマ―「シマ、紺などで作り上等のものは繻子でこしらふ。仕事着と云ふよりも、常着に近い(p.91)。」と記されている<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真 | 16ミリフィルム「越後三面行」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月16ミリフィルム「越後三面行」、『犬歩当棒録』旅譜による | 新潟県三面村三面台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 12 | 13 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 女性と子供達 | 1423(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>岩崩れにて(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | | | ・女性と子供たちを撮影したもの。計12人が撮影されている<br>・女性たちはミチカハダコ、ハガマを着ている。撮影された全員が下肢隠きである。<br>・子供もミチカハダコ、ハガマを着用している。足元は見切れているが、靴を履いている<br>・『越後三面村布部郷土誌』によると、ミチカハダコ―「股の中頃か膝の一寸下位までの長さのハダコ(單衣)(p.88)」、ハガマ―「シマ、蛙などで作り上等のものは繻子でこしらふ。仕事着と云ふよりも、常着に近い(p.91)。」と記されている<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | 16ミリフィルム「越後三面行」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月16ミリフィルム「越後三面行」、『犬歩当棒録』旅譜による | 新潟県三面村岩崩台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 14 | | 新潟県・山形県 | ア-37-4<br>写3-30-25 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 油締機で油を絞る様子 | 1320(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはSUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしがある | | 記載なし(台紙に貼られているため) | | ・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による<br>・木製の枠の上部を縄で固定し斜めの位置を保たせている。木枠の中間部に角材が通され、その下に円形の部位があり、ここから液体が碗に注がれている。被写体の2人は中間部の角材上部にあるカスガイを打ち込む事により、圧力をかけていると考えられる<br>・本資料は、ア-37-4と関連しており、『渋沢敬三　上』「村上清文氏談話」p.523に村上清文が三面村で宿泊していた家の名前が「高橋」との記述があるため、宿泊している際に撮影されたと考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 新潟県三面村三面(備考参照) | 有 |
| 写1 | 12 | 15 | | 新潟県 | 写3-8-28 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 小正月の飾り | 1355(ナンバリング、青インク、右上)<br>12.1(三面)(鉛筆、上)<br>正月(鉛筆、上、下線あり) | ・台紙には鳥の絵とその絵の下にQUARITYと透かしがある | | | | ・本資料は小正月のダンゴ飾りを撮影したもの。木には鯛の飾りの他、紙風船が吊るされている<br>・写真中に「：：拾二月☆」と書かれた「十二グヴヅ」と呼ばれるものが見える(『越後三面村布部郷土誌』pp.53-54参照)。ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月のニ日に伐つて来たものである。(中略)此等の團子をさした木をクッンダエとも言ふ。クッンダエにはアワボー(薬に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ―薬のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)、美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | 有 |
| 写1 | 12 | 16 | | 新潟県・山形県 | ア-36-28<br>写3-8-51 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 神棚と小正月の飾り | 1294(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙はこれまでのものと材質や形状とも同一の規格の用紙と思われるがこの台紙には透かしが無い | | | | ・本資料は神棚に供えられたダンゴ飾り。これには鯛型のガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53)が飾られている<br>・神棚の右に貼られた紙には、絵と文字が書かれているが詳細不明・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県・山形県(備考参照) | |
| 写1 | 12 | 17 | | 新潟県 | ア-38-19 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 丸木舟の川舟(サメゾラ)作り | 1225(ナンバリング、青インク、右上)<br>〇(鉛筆、右上) | ・台紙には鳥の絵とその絵の下にQUARITYと透かしがある | | | | ・手に手斧を持ち木の内側を削っている<br>・『山に生かされた日々』p.148における丸木舟作り復元の工程では、ヘサキを作る事を「底どり」と称しており、「材を横にねかせ」とある。本資料は、ヘサキの内部を刳りぬいている。被写体の男性が使用しているのはコマチョウナカ<br>・題名は河1-29-5-8～29-5-9を参照、そこには三面川とあり撮影地域もこれによる<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県(備考参照) | 有 |
| 写1 | 12 | 18 | | 新潟県 | ア-38-16 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 丸木舟の川舟(サメゾラ)作り | 1227(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「s」「I」が重なった意匠の盾と槍を持つ人の絵の透かしがある | | | | ・手に手斧を持ち木の内側を削っている、傍らには墨壺と曲尺がある<br>・ア-38-16の台紙記載によると「ハンバキと中」とある。ハンバキは『山に生かされた日々』p.148によると「半ばきとり　舟の側面を、オビラキと同じ方法で剝っていく」とある。「中」とは「中ぐり」とも考えられるが、被写体がコマチョウナを用い、ヘサキの作業をしているため「コマキとり(コマチョウナで舟の内部をきれいにしあげる)」の作業と考える<br>・被写体の男性は頭に手拭を被り、モンペに仕事着の格好。舟のヘサキには墨壺、竹尺が置かれている<br>・題名は河1-29-5-8～29-5-9を参照、そこには三面川とあり撮影地域もこれによる<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県(備考参照) | 有 |
| 写1 | 12 | 19 | | 新潟県 | ア-38-21 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 丸木舟の川舟(サメゾラ)作り | 1240(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「s」「I」が重なった意匠の盾と槍を持つ人の絵の透かしがある | | | | ・手にスコップ状の道具を持ち削った木片を片付けている男が二人見える<br>・本資料は完成した丸木舟の周囲に溜まった木屑を片づけて居る場面か。被写体の男性2人が丸スコップで片づけている<br>・題名は河1-29-5-8～29-5-9を参照、そこには三面川とあり撮影地域もこれによる<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県(備考参照) | 有 |
| 写1 | 12 | 20 | | 新潟県 | ア-38-17 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 丸木舟の川舟(サメゾラ)作り | 1259(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には鳥の絵とその絵の下にQUARITYと透かしがある | | | | ・手に手斧を持ち木の内側を削っている、傍らには墨壺と曲尺がある、写1-12-18と同作業を別のカットから撮ったと思われる<br>・ア-38-17台紙記載によるとトモの部分での作業。「ハンバキと中」とある。ハンバキは『山に生かされた日々』p.148によると「半ばきとり　舟の側面を、オビラキと同じ方法で剝っていく」とある。「中」とは「中ぐり」とも考えられるが、被写体がコマチョウナを用い、ヘサキの作業をしているため「コマキとり(コマチョウナで舟の内部をきれいにしあげる)」の作業と考える<br>・被写体の男性は頭に手拭を被り、モンペに仕事着の格好。舟のヘサキには墨壺、竹尺が置かれている<br>・題名は河1-29-5-8～29-5-9を参照、そこには三面川とあり撮影地域もこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県(備考参照) | |
| 写1 | 12 | 21 | | 新潟県 | 写3-31-38<br>写3-31-41 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 神送りの藁人形 | 8、2(鉛筆、上)<br>1447(ナンバリング、青インク、右上)<br>(三面)(鉛筆、上)<br>人形(鉛筆、縦書、右上) | ・台紙にはSUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしがある | | | | ・題名の「神送りの人形」は奥三面歴史交流館にある同様の人形の呼称による<br>・『山に生かされた日々』p.47によると「神送りは、旧暦の2月2日、新暦でいえば3月はじめごろ。そうすると、そろそろ外に出て働くわけだ。病気になるのもこのころだし、厄病神を送るという意味でねえかな。(中略)ワラ人形をつくって、夕方に15若え衆(15歳になった青年たち)が人形をかついで、部落を3回まわってから人形とて場(部落の前田の渕)に立ててくるわけだ。それに子供が、カネたたきながら、「何神送れば、はやり神送るわ、送るわ」と叫んでついてくんだぜ。昭和37年に、この祭りはやめちまったどもな。」との記述がある<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさ | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1102「門口の藁人形(新潟県三面村)」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 22 | | 新潟県・山形県 | ア-35-39<br>写3-31-16 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 捏ね鉢で団子を作る二人の女性 | 1484(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはSUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしがある | | | | ・捏ね鉢のほかに笊や盥との桶にも団子が見え大量に作っていることから行事に関する団子作りと思われる。小正月の準備ヵ<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県・山形県(備考参照) | |
| 写1 | 12 | 23 | | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 縄に吊るされた小正月の飾り | 1451(ナンバリング、青インク、右上)<br>No.8(鉛筆、右上)<br>小正月(鉛筆、縦書、右上)<br><br>三面村(鉛筆、中央)<br>高橋源蔵氏方にて(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 三面(鉛筆、縦書、右)<br>高橋方(鉛筆、縦書、右) | | ・『越後三面村布部郷土誌』の「小正月」では「アワボー(薬に餅を巻きつけたもの)」との記載があり当写真にも同様のものが見える(『越後三面村布部郷土誌』p.53参照)ため、小正月の飾りであると考えられる。<br>・本資料中央には藁に包まれ、吊るされた餅がある。その右横には籠が下げられており、布きれ、魚らしき尻尾、篠竹なども見える。左側に吊るされているものはアワボーヵ<br>・小正月に使う飾りを資料撮影のためにーか所に集めて撮影したものヵ<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 24 | | 新潟県 | 写3-30-33 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | 屋根の雪下ろしの様子 | 1452(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはSUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしがある | | 記載なし(台紙に貼られているため) | | ・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による<br>・屋根に積もった雪を下ろしている。男性は曲屋の「中門」の上に積もった雪を下している | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 12 | 25 | 新潟県 | アｰ43ｰ13 | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | カモシカ狩の服装 | 1461(ナンバリング、青インク、右上)<br>No.8(鉛筆、右上)<br>■人(狩人カ、鉛筆、縦書き、右上)<br><br>17.2(写真左、鉛筆、縦書、90度回転している)<br>1.6×1.2(写真右、鉛筆、縦書、90度回転している)<br><br>三面村三面　高橋源蔵氏(鉛筆、中央)<br>狩ガリ服装(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | ○天地二寸八分　(鉛筆、縦書、右)<br>同右　(鉛筆、縦書、中央)<br>背面　(鉛筆、縦書、中央)<br>(高橋文太郎氏作)　(鉛筆、縦書、左、(　)はママ) | | ・撮影年月日は16ミリフィルム「越後三面行」によれば昭和8年5月、『犬歩当棒録』旅譜によれば6月となる<br>・16ミリフィルム「越後三面行」10:07から12:47の「鈴羊狩衣装　高橋源蔵氏」に類似する場面が撮影されている。そのため衣装をつけた人物は高橋源蔵氏カ<br>・三面村においては家の呼び名が「大炊介、善五郎」などと人名を用い、さらにそれを継ぐため本名であるかは不明<br>・狩猟装束については『山に生かされた日々』pp.108-109(『越後三面山人記』pp.58-59)の「狩猟装束」に基づくと、頭にある布は「ブシ(木綿布・被り物。冬仕事で作られた)」、背中には「ミノ」と「セナカワ」、胸には「マエカワ」、その下には「山用の上着である「スッコギ」、下半身には「コバカマ」左腰巻、腰には「ハンバキ」、足元は「カンジキ」の装備である。腹まわりに白い布袋を巻き付けている、狩猟用具の詳細(『越後三面山人記』p.58)は、<br>・ミノ―材質:ヒノリ(ミヤマカンスゲ・カンスゲ)、稲藁で、狩りで用いられるミノは水に強いヒネリミノ」が用いられた。<br>・セナカワ―材質:主にカモシカの毛皮(イヌの毛皮も用いた)、用途は背中の保温用、野宿するときの寝具として用いた<br>・マエカワ―材質:主にアナグマの毛皮、ムネアテ、胸部の保温用に用いた<br>・スッコギ―材質:木綿布、フジ、山用の上着、布を強化するためにフジの繊維でサシコにしてある<br>・コバカマ―材質:麻布、布の表面にカモシカの油を塗り防水性を高めた。『越後三面村布部郷土誌』p.91では「コバカマ」は「主として女性のもの」との記述がある<br>・ハンバキ―材質:麻布、腥当て。コバカマの上につける。<br>・カンジキ―材質:輪の部分―トリモ(オオバクロモジ)、爪の部分―ク | 16ミリフィルム「越後三面行」早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003年未来社2003年p533未来社2003年p533日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p219マタギの狩姿 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)5月～昭和8年(1933年)6月16ミリフィルム「越後三面行」、『犬歩当棒録』旅譜による | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 26 | 新潟県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | こまがた | 2799(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>三面(鉛筆、下) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | | 記載なし(台紙に貼られているため) | | ・台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある、またこの台紙は写1-12の中で異例の大きさである(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5)<br>・『越後三面村布部郷土誌』『ヤソ様』では「館腰村小揚の佐藤」氏から各家にお礼を配る際の御礼の記載があり、また「馬の姿が書いてあるお礼」との記載もある(『越後三面村布部郷土誌』p.125参照) | 丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』『アチックミューゼアム彙報第22アチック・ミューゼアム1938口絵第20図 | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写1 | 12 | 27 | 山形県 | | 三面集 (黒ペン、縦書)<br>村上其他 (黒ペン、縦書) | (封筒) | | | | × | 215×278 | ・東京大学東洋文化研究所の封筒を使っている | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 13 | 1 | 不明 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | オーアシ(田下駄)で代こしらえをする男性 | 1182(ナンバリング、青インク) | ・台紙にはSUPERFINE [ ]EAMLAIDと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p880「オーアシで代こしらえをする(長野県上伊那郡川島村)」 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 長野県上伊那郡川島村(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 13 | 2 | 不明 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | 家屋内で吊るされた柿か何かのもの | 1187(ナンバリング、青インク) | ・台紙にはSUPERFINE [ ]EAMLAIDと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 3 | 岐阜県 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | 山ノ神 | No.10(鉛筆、右上)<br>1413(ナンバリング、青インク、右上)<br>(岐阜県)(鉛筆、縦書、左)<br>■(鉛筆、左)<br>沢田村川舟(鉛筆、縦書、左)<br>佐屋氏方(鉛筆、縦書、左)<br>山の神(鉛筆、縦書、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真の上部台紙に何か貼られていた跡がある<br>・台紙記載の■は「？」が丸囲みされた字 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年p149「山神像秋田県」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 岐阜県沢田村川舟台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 4 | 栃木県 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | オンドヤキ(オニヤキ)、どんど焼き、オニヤキ小屋 | 18.2(鉛筆、左上)<br>1940(ナンバリング、青インク、左上)<br>子供組(鉛筆、縦書、左)<br>(ドンド)(鉛筆、縦書、左)<br><br>オンドヤキ(下)<br>栃木県河内郡古里村字下ゲ橋(下)<br>昭9.(下)<br><br>2(ナンバリング、青インク、下) | ・台紙にはSUPERFINE C.N. &Coと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・『早川孝太郎全集12』p.603には「田圃の中に子供たちが造りあげた小正月のサギッチョコヤ(左義長小屋)。火をつけたときの凄まじいほどの火の勢いが想像される。 撮影　高橋文太郎　栃木県上都賀郡。」とあり<br>・『民族学研究』第二巻　第三号「下野古里村に於ける子供組行事」p.185に「オンドヤキ(オニヤキ)と厄拂い行事」、「昭和九年二月、村上清文君と同行」とあり、また同書p.186　に「小屋は部落の家々に近い田の中に建てるが、その田は毎年同じ田を使用し、當大字の地主加藤平三郎氏所有のものである」とあり | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p429早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003未来社2003p603未来社2003p603「下野古里村に於ける子供組行事』『民族学研究』第2巻第3号p186「第一図　當大字　北方のオニヤキ小屋」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)2月～台紙記載、引用・使用媒体 | 栃木県河内郡古里村西下ゲ橋台紙記載、引用・使用媒体 | |
| 写1 | 13 | 5 | 栃木県 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | 厄落しのため民家を廻り歩く子供、子供組の道祖神祭り | 1942(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>厄落しのため民家を廻り歩く子供(中央)<br>(中央にセイマルボウを置きカタナにて其れを倒し唄をうたふ)(中央、下線あり)<br><br>栃木県河内郡古里村下ゲ橋里崎方にて(中央)<br>昭9.(中央) | ・台紙には透かしに、碇に日章旗と旭日旗が描かれその中央にC.N.と書かれた絵の透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・『早川孝太郎全集12』p.600には「子供組の道祖神祭り。真ん中にすえた注連をかけたものが男女二体の道祖神。子供たちはそれぞれカタナを持っている。 撮影　高橋文太郎　栃木県下都賀郡。」とあり<br>・『民族学研究』第二巻　第三号「下野古里村に於ける子供組行事」p.185に「厄落し廻りの子供組(黒崎勝吉氏方)」とあり<br>・『民族学研究』第二巻　第三号「下野古里村に於ける子供組行事」p.185に「昭和九年二月、村上清文君と同行」とあり、また同書p.186に「當大字(西下ゲ橋)」とあり)、pp.190-191に「吾々は黒崎勝吉方に廻って来るを待ち、当家でとを親しくとをみることが出来た」とあり | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p600「下野古里村に於ける子供組行事』『民族学研究』第2巻第3号p190「第五図　厄落し廻りの子供組(黒崎勝吉氏方)」p190「第五図　厄落し廻りの子供組(黒崎勝吉氏方)」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)2月～台紙記載、引用・使用媒体 | 栃木県河内郡古里村黒崎勝吉氏方台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 6 | 栃木県 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | 厄落し行事に用いるセイマルボウ | 1943(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>セイマルボウ(厄落し行事に用ふ)(下)<br><br>栃木県河内郡古里村字下ゲ橋にて(下)<br><br>7(ナンバリング、青インク、下) | ・台紙にはSUPERFINE C.N. &Coと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・『民族学研究』第二巻　第三号「下野古里村に於ける子供組行事」は高橋文太郎の写真を使用しているため撮影者はこれによる | 「下野古里村に於ける子供組行事』『民族学研究』第2巻第3号p188「第三図　セイマルボウ(道陸神)」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)2月～台紙記載、引用・使用媒体 | 栃木県河内郡古里村台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 7 | 栃木県 | | 雑集 (黒ペン、縦書) | オンドヤキ当夜厄落し行事に用いるカタナ(セイマルボツキ)の鞘 | 1944(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>オンドヤキ当夜、厄落しに使ふカタナの鞘(中央)<br>(子供製作物)(中央)<br><br>栃木県河内郡古里村字下ゲ橋(中央)<br>昭9.(中央)<br><br>8(ナンバリング、青インク、下) | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・『早川孝太郎全集12』p.600には「小正月にカツ(白膠木)で作る太刀の柄模様。カタナともいい、子供たちはこれを持って遊ぶ。 撮影　高橋文太郎　栃木県下都賀郡。」とあり<br>・『民族学研究』第二巻　第三号「下野古里村に於ける子供組行事」p.185に「昭和九年二月、村上清文君と同行」とあり、また同書p.186に「當大字(西下ゲ橋)」とあり)、p.189に「カタナ(刀)を、ノデボウ又はコウカンボウと土地で呼ぶ木を用ひて作ることである。」とあり | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p600「下野古里村に於ける子供組行事』『民族学研究』第2巻第3号p189「第四図　カタナ(セイマルボツキ)の鞘部」p189「第四図　カタナ(セイマルボツキ)の鞘部」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)2月～台紙記載、引用・使用媒体 | 栃木県河内郡古里村台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 13 | 8 | | 台湾 | 写3-6-22 | 雑集（黒ペン、縦書） | 鰹鯖に向う升筏 | 2350(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>台南州安平より鰹鯖に向ふ升筏(中央)<br>昭和11,4,16(中央)<br>小松勝美撮影(中央) | ・台紙にはSUPERFINE C.N. &Coと透かしがある | 207×163 | 昭和拾壱年四月十六日(縦書、右)<br>台南州安平より鰹鯖に至る渡航(縦書、右) | 99×77 | ・鰹鯖は台湾にある地名で台江内海中の砂州で、三鰹鯖は億載金城の南側彼岸の光島にあたる<br>{http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6-333C-4087-8F34-0207B5906588%7D&Lang=J} | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～台紙記載 | 台湾・台南州鰹鯖台紙記載 | 有 |
| 写1 | 13 | 9 | | 台湾 | 写3-23-11 | 雑集（黒ペン、縦書） | 三鰹鯖の浜の筏 | 2352(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>台南州三鰹鯖にて(中央)<br>昭和11,4,16(中央)<br>小松勝美撮影(中央)<br>1(右下) | ・台紙にはSUPERFINE C.N. &Coと透かしがある | 205×164 | 昭和十一年四月十六日(鉛筆、縦書、右)<br>台南州鰹鯖にて(鉛筆、縦書、右) | 100×76 | ・当写真に写っている筏は写1-13-8に写る筏と同じものと思われる<br>・鰹鯖は台湾にある地名で台江内海中の砂州で、三鰹鯖は億載金城の南側彼岸の光島にあたる<br>{http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6-333C-4087-8F34-0207B5906588%7D&Lang=J} | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～台紙記載 | 台湾・台南州鰹鯖台紙記載 | 有 |
| 写1 | 13 | 10 | | 台湾 | 写3-23-7 | 雑集（黒ペン、縦書） | 夜漁に使う燈斗 | 2353(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>台南州三鰹鯖にて(中央)<br>燈斗(夜漁に用ふ)(中央)<br>昭和11,4,16(中央)<br>小松勝美撮影(中央)<br>1(右下) | ・台紙にはSUPERFINE C.N. &Coと透かしがある | 206×163 | 昭和拾壱年四月十六日(鉛筆、縦書、右)<br>台南州鰹鯖にて(鉛筆、縦書、右)<br>燈斗(鉛筆、縦書、中央) | 103×77 | ・鰹鯖は台湾にある地名で台江内海中の砂州で、三鰹鯖は億載金城の南側彼岸の光島にあたる<br>{http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6-333C-4087-8F34-0207B5906588%7D&Lang=J} | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～台紙記載 | 台湾・台南州鰹鯖台紙記載 | 有 |
| 写1 | 13 | 11 | | 不明 | 写3-1-1 | 雑集（黒ペン、縦書） | 操り人形を持つ男 | 2358(ナンバリング、青インク) | ・台紙には玉座に座るエジプト王朝の王のような絵の透かしがある | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・当写真に写る男の腰には袋がありそこには「[ ]区林町　一番地<br>[ ]や男タンポ」と記されている | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 12 | | 岐阜県 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 竹で組まれた囲いのある墓(台紙記載、) | 16.1(鉛筆、上)<br>2371(ナンバリング、青インク、右上)<br>〈■■〉[岐阜](消し字鉛筆、上)<br>墓制(鉛筆、右上)<br><br>岐阜県(中央)<br>三濃村下柏尾　墓(鉛筆、中央) | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 三濃村(鉛筆、縦書、右)<br>下柏尾(鉛筆、縦書、中央)<br>墓(鉛筆、中央) | | ・写真の上部台紙に何か貼られていた跡がある | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 13 | | 岐阜県 | | 雑集（黒ペン、縦書） | セナカミノ | 2372(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>収蔵番号5326(左)<br>名称(左)<br>方言(セナカミノ)(左)<br><br>採集地　岐阜・揖斐郡・徳山村本郷(下)<br>採集日　昭和10年5月20日(下)<br>採集者　櫻田勝徳(下)<br>斎藤者　〃(下) | ・台紙には透かしに、碇に日章旗と旭日旗が描かれその中央にC.Nと書かれた絵の透かしがある | | ・記載なし | | | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和10年(1935年)5月20日～台紙記載 | 岐阜県揖斐郡徳山村本郷台紙記載 | 有 |
| 写1 | 13 | 14 | | 東京都 | 写4-2-5-3 | 雑集（黒ペン、縦書） | 藁靴(フカグツ)を編む田中喜多美 | 2380 （ナンバリング、青インク） | ・台紙には透かしに、碇に日章旗と旭日旗が描かれその中央にC.Nと書かれた絵の透かしがある | 206×163 | ・記載なし | 75×108 | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物が写り、これが田中喜多美であることによった<br>・因みにこの前日が敬三の誕生日であることからそれで呼ばれたまたは16ミリフィルムでの撮影になったかといった何かしらの関係があるか<br>・撮影者は関連目録番号資料により、アチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。 | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町邸16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | 有 |
| 写1 | 13 | 15 | | 中国・台湾 | | 雑集（黒ペン、縦書） | ハシナガチョウザメ(写真余白記載による) | 2381(ナンバリング、青インク) | ・台紙上部にピンクの二重線が横に入っている、この台紙には透かしはない | | 六、六、五(縦書、右)<br>長物鰯(縦書、右)<br>長い雨■また上流にそって大き(縦書、中央)<br>[ ]は三米位あるよし四川産の(縦書、左)<br>[ ]い古きよし　61(縦書き、「61」は向きが横、左) | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 16 | | 新潟県 | 写1-13-17 | 雑集（黒ペン、縦書） | 雲水の旅装を着けた高嶺道隆君 | 2982(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>雲水の旅装を着けた(縦書、中央)<br>高嶺道隆君(正面)(縦書、中央)<br><br>昭一一．八．一〇(縦書、中央)<br>木川半之丞氏撮影(縦書、中央) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある、またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5)<br>・台紙記載の「高嶺道隆」は渡谷浩写真集『雪国』(昭和31年)の後書きに「桑取谷高住、洞泉寺住職高嶺道隆師」(同書p.19)とあり同人かと思われる<br>・この台紙は横にして使われている | | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)8月10日～台紙記載 | 新潟県中頸城郡桑取谷(備考参照) | 有 |
| 写1 | 13 | 17 | | 新潟県 | 写1-13-16 | 雑集（黒ペン、縦書） | 雲水の旅装を着けた高嶺道隆君、後ろ姿 | 2983(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>雲水の旅装を着けた(縦書、中央)<br>高嶺道隆君(背面)(縦書、中央)<br><br>昭一一．八．一〇(縦書、中央)<br>木川半之丞氏撮影(縦書、中央) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある、またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5)<br>・台紙記載の「高嶺道隆」は渡谷浩写真集『雪国』(昭和31年)の後書きに「桑取谷高住、洞泉寺住職高嶺道隆師」(同書p.19)とあり同人かと思われる<br>・この台紙は横にして使われている | | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)8月10日～台紙記載 | 新潟県中頸城郡桑取谷(備考参照) | |
| 写1 | 13 | 18 | | 東京都 | 写4-2-5-2 | 雑集（黒ペン、縦書） | 背負い袋を背負う田中喜多美(後ろ姿) | 2985 （ナンバリング、青インク） | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある | 257×205 | ・記載なし | 157×113 | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵と透かしがある、またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5)<br>・撮影者は関連目録番号資料により、アチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。 | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町邸16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | 有 |
| 写1 | 13 | 19 | | 東京都 | 写4-2-5-4 | 雑集（黒ペン、縦書） | 山仕事道具を背負いこちらを向く田中喜多美(腰ミノ) | 3245 （ナンバリング、青インク） | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある | 257×205 | ・記載なし | 149×109 | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵と透かしがある、またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5)<br>・撮影者は関連目録番号資料により、アチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。 | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町邸16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 13 | 20 | 1 | 台湾 | | 雑集（黒ペン、縦書） | クワルス社の石畳の上に立つ高床の小屋 | 2438（ナンバリング、青インク）<br>1487（ナンバリング、赤インク） | ・S M、その下にREGISTERED TRADE MARKと透かしあり<br>・罫線用紙、左右部分に縦罫線あり | 261×207 | ・記載なし | 58×59 | ・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」24:50に「クワルス三月三十日・三十一日」とテロップがあり撮影年月日はこれによる。 | | (宮本記念財団昭和12年・台湾・2・パイワン族(B)【中表紙クワルス】1487) | 1487(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料は同一の写真 | 1(鉛筆、写真裏面中央) | 58×58 | ・SPOUTING WATER FOOL' SCAPと透かしあり | 209×163 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 13 | 21 | 1 | 台湾 | 写3-41-30 | 雑集（黒ペン、縦書） | クワルス社の頭目の家屋の前の石畳の上に立つ高床の建物 | 2439（ナンバリング、青インク）<br>クワルス 家 （鉛筆、縦書）<br>1036（ナンバリング、青インク）<br>1 （鉛筆） | ・S M、その下にREGISTERED TRADE MARKと透かしあり<br>・罫線用紙、左右部分に縦罫線あり | 261×207 | クワルス （赤鉛筆、縦書） | 61×84 | ・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:22)で本資料に写る場面が紹介される(ただし逆向きからの撮影)ことによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」24:50に「クワルス三月三十日・三十一日」とテロップがあり撮影年月日はこれによる。 | 16ミリフィルム「PAI-WAN 1-3」28:22 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス写真資料記載、台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 22 | 1 | 台湾 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 蓑と笠を身につけるバイルスの男性（正面） | 2530（ナンバリング、青インク）<br>バイルス （鉛筆、縦書）<br>1443（ナンバリング、赤インク）<br>1444（ナンバリング、赤インク） | ・S M、その下にREGISTERED TRADE MARKと透かしあり<br>・罫線用紙、左右部分に縦罫線あり | 261×207 | ・記載なし | 60×60 | ・写1-13-22-1,2は同一台紙に貼付されている<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びバイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」03:49周辺キャプションには「バイルス 三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした。<br>・写真の男性と渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」05:18周辺の男性は同一人物だが蓑と笠をつけている | | (宮本記念財団昭和12年・台湾・1・パイワン族(A)【中表紙マカザヤザヤバイルス】1443) | 1443(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料は同一の写真 | 11(鉛筆、写真裏面中央) | 59×57 | ・SPOUTING WATER FOOL' SCAPと透かしあり | 209×164 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日(備考参照) | 台湾・バイルス台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 22 | 2 | 台湾 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 蓑と笠を身につけるバイルスの男性（背面） | 2530（ナンバリング、青インク）<br>バイルス （鉛筆、縦書）<br>1443（ナンバリング、赤インク）<br>1444（ナンバリング、赤インク） | ・S M、その下にREGISTERED TRADE MARKと透かしあり<br>・罫線用紙、左右部分に縦罫線あり | 261×207 | ・記載なし | 60×60 | ・写1-13-22-1,2は同一台紙に貼付されている<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びバイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」03:49周辺キャプションには「バイルス 三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした。<br>・写真の男性と渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」05:18周辺の男性は同一人物だが蓑と笠をつけている | | (宮本記念財団昭和12年・台湾・1・パイワン族(A)【中表紙マカザヤザヤバイルス】1444) | 1444(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料は同一の写真 | 11(鉛筆、写真裏面中央) | 58×59 | ・SPOUTING WATER FOOL' SCAPと透かしあり | 209×163 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日(備考参照) | 台湾・バイルス台紙記載 | |
| 写1 | 13 | 23 | 1 | 台湾 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 学甲庄の船 | 2581 （ナンバリング、青インク）<br>台湾 （鉛筆、縦書、）<br>1573 （ナンバリング、赤インク） | ・S M、その下にREGISTERED TRADE MARKと透かしあり<br>・罫線用紙、左右部分に縦罫線あり | 262×207 | ・記載なし | 58×57 | ・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の隣華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。 | | (財)宮本記念財団(宮本記念財団 台湾4 本島人・アミ族【中表紙 学甲】1573) | 1573(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料は同一の写真 | 15(鉛筆、写真裏面上部) | 58×58 | ・SPOUTING WATER FOOL' SCAPと透かしあり | 209×163 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄他研究機関所蔵資料 | |
| 写1 | 13 | 24 | | 不明 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 唐臼・土摺り臼の絵 | 2595(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある | | ・記載なし | | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある。またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5) | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 25 | | 不明 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 万石通の絵 | 2597(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある | | ・記載なし | | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある。またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5) | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 26 | | 不明 | | 雑集（黒ペン、縦書） | 唐箕の絵 | 2599(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある | | ・記載なし | | ・台紙にはESPARTO SUPERFINEと馬の絵の透かしがある。またこの台紙は通常の台紙より大きい(通例は20.5×16.3、当台紙は25.7×20.5) | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 13 | 27 | | | | 雑集（黒ペン、縦書） | (封筒) | | | | × | 332×234 | ・国際商業会議所日本国内委員会の封筒を転用している。酸性紙のため劣化が激しく、外装法量はおおよその数値。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 14 | 1 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 六月燈の神楽、来吉神社 | 3(ナンバリング、青インク、右上) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 210×160 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×104 | ・刊行物には「7月26日」とあり撮影日はこれによる<br>・付箋に「チェック印」があり、その上から「×」がつけられている<br>・撮影者は引用・使用媒体著者から推定 | 挾嘉一郎『喜界島農家食事日誌 喜界島調査報告一』アチック・ミューゼアム彙報第281938口絵第一図 | | | | | | | 岩倉市郎・挾嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月26日～引用・使用媒体 | 阿伝来吉神社（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 2 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 末吉神社神楽道具 | 13(ナンバリング、青インク、右上)<br>末吉神社神楽道具(中央)<br>昭11、8、6(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×105 | ・付箋に「チェック印」がある | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p19 | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)8月6日～台紙記載 | 阿伝来吉神社台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 3 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 六月燈の神楽ー場面、末吉神社 | 26(ナンバリング、青インク、右上) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・ア-1-4と同地であり、撮影地はこれによる、因みにア1-24、25等の神楽舞の連続写真と思われる | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)7月26日～(備考参照) | 阿伝来吉神社（備考参照） | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 4 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 六月燈の子供料理 | 33(ナンバリング、青インク、右上)<br>41.3　食制(鉛筆、右上)<br>六月燈(旧暦六月八日)の子供料理<br>魚(クグシにせる物)(縦書、中央)<br>トーフ<br>付揚<br>平麺<br>於阿傳末吉神社外＜苑＞苑<br>昭和11.7.26 | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 76×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・写真下部には図と図解がある<br>・喜界島調査で昭和11年での同地調査の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p18 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月27日～台紙記載 | 阿伝末吉神社台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 5 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 三つ重ねられた小石 | 34(ナンバリング、青インク、右上)<br>→<br>生児初めて末吉神社(阿傳)前を通る時(左を天に縦書、中央)<br>小石三個を拾ひ三つ重ねて上げる(左を天に縦書、中央)<br>昭十一年八月六日(左を天に縦書、中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×104 | ・付箋は二重、表にある付箋に「チェック印」がある<br>・写真右側の台紙に「→」がある<br>・「生児初めて末吉神社(阿傳)前を通る時<br>小石三個を拾ひ三つ重ねて上げる<br>昭十一年八月六日」は文字の向きが左側を天にして縦書きになっている<br>・喜界島調査で昭和11年での同地調査の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者・撮影年月日・撮影地域はこれによる<br>・この台紙は横にして使われ写真の向きも左を天にして使用されている | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p40 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月6日～台紙記載 | 阿伝末吉神社台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 6 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 氏神様 | 44(ナンバリング、青インク、右上)<br>氏神様 | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 103×79 | ・喜界島調査での可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p41 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 14 | 7 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ユウタロウ加那志 | 46(ナンバリング、青インク、右上)<br>ユウタロウ加那志(喜界村中間) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 69×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『手段としての写真「澁澤写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p12 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界村中間台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 8 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 年祝 | 47(ナンバリング、青インク、右上)42.1(鉛筆)　キカイ(鉛筆、縦書、右上)<br>年祝(中央の餅は白髪餅)(中央)<br>1.6(鉛筆、下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 75×99 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』口絵第8図のキャプションには「阿伝　福元家　中央祝われる人、その前方の餅は白髪餅」とあり撮影地はこれによる | 岩倉市郎『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第8図<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p1031誠文堂新光社1957年p1031『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p13 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島阿伝福元家（備考参照） | 有 |
| 写1 | 14 | 9 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 正月の先祖棚の飾り | 48(ナンバリング、青インク、右上)42.2(鉛筆)　キカイ(鉛筆、縦書、右上)<br>正月の先祖棚の飾り(中央)<br>(阿傳)(中央)<br>祖(礼)先(鉛筆、下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×95 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』口絵第4図のキャプションには「阿伝　岩倉家」とあり撮影地はこれによる | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第4図日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年誠文堂新光社1954年p852誠文堂新光社1954年p852『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p11 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島阿伝岩倉家（備考参照） | 有 |
| 写1 | 14 | 10 | | 鹿児島県 | ア-2-3 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 正月の床飾り | 51(ナンバリング、青インク、右上)<br>正月の床飾(阿傳)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 105×78 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・ア-2-3と同被写体、アルバム2は背表紙から岩倉市郎撮影の写真アルバムであり撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p10 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 11 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 正月の機飾り | 52(ナンバリング、青インク、右上)<br>正月の機飾(中央)<br>小さき餅を吊り下げる(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 105×78 | ・付箋に「チェック印」がある | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第5図<br>『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p12神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p12 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 12 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 正月の農具飾り | 53(ナンバリング、青インク、右上)<br>正月の農具飾り(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 103×80 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p13 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 13 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 正月の墓 | 54(ナンバリング、青インク、右上)<br>正月の墓(オーバリを掛けてある)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 105×77 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p12 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 14 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 盆送りの夜の墓場 | 59(ナンバリング、青インク、右上)<br>精口　42.4(鉛筆、右上)<br>盆送りの夜の墓場(中央)<br>於阿傳石原墓地<br>昭.11、8.31(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×105 | ・付箋に「チェック印」がある | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第14図『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p21神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p21 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)8月31日～台紙記載 | 阿伝石原墓地台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 15 | | 鹿児島県 | ア-2-11 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 夕涼み、盆の十四日の夜 | 63(ナンバリング、青インク、右上)42.5　若物組(鉛筆、右上)<br>夕涼み(盆の十四日の夜)(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭.11、8.30(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×103 | ・ア2-11と同被写体の写真、同アルバム写真には大付紙がありそこには「夕涼み　盆14日の夜　蛇皮線をならしてうたをうたひ、たのしむ　こうした夜昔話もかたられる」とある、尚、これらは同一写真の焼増しではない、また、アルバム2は背表紙から岩倉市郎撮影の写真アルバムであり撮影者はこれによる<br>・付箋に「チェック印」がある | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年p1623「夏の夜の若者のつどい(喜界島)」『手段としての写真「油滓写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p7神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p7『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p20『「景観」と「環境」についての覚書』神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p9 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)8月30日～台紙記載 | | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 16 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 墓場の棚機 | 67(ナンバリング、青インク、右上)42.6(鉛筆)　キカイ(鉛筆、縦書、右上)<br>墓場の棚機(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p20 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 17 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | オーバリ | 70(ナンバリング、青インク、右上)<br>門口(青鉛筆、上)　42.7(鉛筆、右上)<br>オーバリ(中央)<br>(喜界村湾)昭11.1(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×105 | ・付箋に「チェック印」がある | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第1図『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p11神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p11 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)1月～台紙記載 | 喜界村湾台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 18 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 氏神様(または金山様) | 73(ナンバリング、青インク、右上)<br>氏神様(或ハ金山様カ)昭11.1(中央)<br>(喜界村中里)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×107 | ・付箋に「チェック印」がある | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第6図『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p11神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p11 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)1月～台紙記載 | 喜界村中里台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 19 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 墓石にオーバリをかけたもの | 74(ナンバリング、青インク、右上)<br>墓石にオーバリをかけたもの昭11.1(中央)<br>喜界村湾(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×104 | | 『喜界島年中行事　喜界島調査報告五』日本住民文化研究所彙報第60口絵第7図 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)1月～台紙記載 | 喜界村湾台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 20 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 板付舟に松を立てたもの | 75(ナンバリング、青インク、右上)<br>42.8(鉛筆、右上)<br>板付舟に松を立てたもの(中央)<br>7.1(丸囲み字、天地逆)<br>漁船(鉛筆、中央)<br>喜界村坂峰　昭11.1(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p13『「景観」と「環境」についての覚書』神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p27神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p27 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)1月～台紙記載 | 喜界村坂峰台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 21 | | 鹿児島県 | ア-2-18 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 子売　塩俵 | 77(ナンバリング、青インク、右上)<br>子賣(2)■俵(中央)<br>桑ノ葉ニテ塩ヲ五十個包ミ塩俵五十俵ト称シ(中央)<br>ソレニ手拭ナド添エテ買フ人ガ持ツテ来ル(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×105 | ・台紙記載の■は「塩」の字のつちへんがさんずいになっている字<br>・ア-2-18には「子売(3)」があり何かしら関連があるものと思われる、また、アルバム2は背表紙から岩倉市郎撮影の写真アルバムであり撮影者はこれによる<br>・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 22 | | 鹿児島県 | ア-2-20 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 三月三日のウムムッチー搗き | 80(ナンバリング、青インク、右上)<br>三月三日のウムムッチー搗　其の二(中央)<br>昭11.3.25(中央)<br>阿傳(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×106 | ・ア2-20には「三月三日のウムムッチー(芋餅搗)　其の一」があり何かしらの関連があるものと思われる、また、アルバム2は背表紙から岩倉市郎撮影の写真アルバムであり撮影者はこれによる<br>・付箋に「チェック印」がある | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)3月25日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 23 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 三月三日のウムムッチー | 81(ナンバリング、青インク、右上)　42.9(鉛筆、上)<br>三月三日のウムムッチー(中央)<br>ウムは田の羊、ムッチーは餅、(中央)<br>製法、ウムの皮を取り、麦粉と黒砂糖を混じて搗く(中央)<br>食品　＜□餅＞(鉛筆、中央)<br>昭11.3.25(下)<br>阿傳(下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×104 | ・刊行物には「五月五日のウムムッチー　6月23日」とある<br>・付箋に「チェック印」がある | 排嘉一郎『喜界島農家食事日誌　喜界島調査報告一』アチック・ミューゼアム彙報第281938口絵第四図『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p14神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p14 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)3月25日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 24 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | さで網 | 82(ナンバリング、青インク、右上)<br>さで網(sadi-ami)(中央)<br>昭11.3.25(下)<br>阿傳(下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×106 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月25日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 25 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 放牧 | 89(ナンバリング、青インク、右上)<br>放牧(喜界村荒木)(丸括弧内は鉛筆) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油滓写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p58 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界村荒木台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 26 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 砂糖黍のはかま取り | 94(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖黍のはかま取り(中央)<br>於蒲生村(中央)<br>昭11.4(下) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 68×93 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p36 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月～台紙記載 | 蒲生村台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 27 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 麦打 | 100(ナンバリング、青インク、右上)<br>麦打(中央)<br>11.5.2(下) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 75×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)5月2日～台紙記載 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 28 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 風選や脱穀棒による脱穀、稲扱 | 104(ナンバリング、青インク、右上)<br>稲扱ひ(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭11.8.4(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 212×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 76×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p30 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月4日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 29 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 稲小積、にお | 105(ナンバリング、青インク、右上)<br>稲小積(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭11.8.1(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月1日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 30 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | マーラン船 | 106(ナンバリング、青インク、右上)<br>マーラン船(手前の船)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×104 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p52 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 31 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 田圃遠景 | 115(ナンバリング、青インク、右上)<br>＜仲間田圃＞川嶺田圃(訂正線と川嶺田圃は鉛筆、中央)<br>＜昭11.4.26＞(訂正線は鉛筆、中央)<br>昭.11.4.7.(鉛筆、中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 70×99 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p22 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月7日～台紙記載 | 川嶺台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 32 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 魚干 | 116(ナンバリング、青インク、右上)<br>魚干(jin-Fusi)(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭和十一年(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 33 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | トゥンガイイスー(立ち泳ぎ漁)・泳ぎ釣りの帰途の男子 | 118(ナンバリング、青インク、右上)<br>泳釣の帰途(中央)<br>阿傳にて(中央)<br>昭11.7(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 102×74 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・当写真に写る二人の別カットが『喜界島風土記』p.59下にありそこでは「トゥンガイイスー(立泳ぎ漁)の帰り。昭和11年7月、岩倉市郎氏撮影」とあり、撮影者・撮影年月日はこれによる | 椙嘉一郎『喜界島風土記』神奈川大学日本常民文化叢書 1p59 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)7月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 34 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 製糖所 | 113(ナンバリング、青インク、右上)<br>製糖所(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『手段としての写真「澁澤写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p19 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 35 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 砂糖黍を載せた馬、砂糖黍の運搬 | 120(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖黍運搬(其の二)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・後ろに移る砂糖小屋や馬がア-3-25と同一と考えられ、撮影者・撮影日・撮影地はこれによる | 『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p35 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)4月～(備考参照) | 喜界島蒲生村(備考参照) | 有 |
| 写1 | 14 | 36 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 流木の占有のためにつけた標、寄木のしめ(シミ) | 133(ナンバリング、青インク、右上)<br>寄木のしめ(シミ)(鉛筆、中央)<br>左端を藁縄で結んである(鉛筆、中央)<br>昭.11.3(鉛筆、右下)<br>阿傳(鉛筆、右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 76×101 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・題名は神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書『「景観」と「環境」についての覚書』による<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・椙の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『手段としての写真「澁澤写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p21『「油澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p78神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p78『「景観」と「環境」についての覚書』神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p21 | | | | | | | | 岩倉市郎・椙嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 37 | | 鹿児島県 | ア-3-30 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 樟脳売り | 128(ナンバリング、青インク、右上)<br>樟脳賣(大阪から来たと自称)(鉛筆、中央)<br>於阿傳(鉛筆、中央)<br>昭.11.7.10(鉛筆、中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・ア3-30、31と連続した写真<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p52 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月10日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 38 | | 鹿児島県 | ア-3-37 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 糸満の魚売り | 134(ナンバリング、青インク、右上)<br>糸満魚賣(中央)<br>昭.11.3.19(右下)<br>志戸桶(右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 75×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『手段としての写真「溢澤写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p17『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p51神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p51『「景観」と「環境」についての覚書』神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p25 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月19日～台紙記載 | 志戸桶台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 39 | | 鹿児島県 | ア-3-38 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | サンバラ造り | 138(ナンバリング、青インク、右上)<br>1、1(鉛筆、上、二つ目の「1」は丸囲み字)<br>竹細工(鉛筆、上)<br>(喜界島)(鉛筆、右上)<br>サンバラ造り(其の一)(中央)<br>川嶺村竹工富み友爺(87才)(中央)<br>昭.11.3.7.(中央)<br>1.95(鉛筆、下) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる<br>・アルバム台紙記載の「富」は富の旧字 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p878『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p7神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p7 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月7日～台紙記載 | 川嶺村台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 40 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 泉にて洗濯する女 | 141(ナンバリング、青インク、右上)<br>泉にて洗濯する女(中央)<br>着物に水をかけて足で踏みにじる(中央)<br>於川嶺村(中央)<br>昭.11.4.7(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 76×97 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p76 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月7日～台紙記載 | 川嶺村台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 41 | | 鹿児島県 | ア-3-43 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 竹馬 | 144(ナンバリング、青インク、右上)<br>竹馬(其の二)(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×106 | ・ア3-43と人物、状況が同一と考えられることから撮影年月日・撮影地はこれによる<br>・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p6 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月～(備考参照) | 喜界島阿伝(備考参照) | 有 |
| 写1 | 14 | 42 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 締機 | 147(ナンバリング、青インク、右上)<br>締機(しめばた)(中央)<br>大島紬の原糸に模様をつける為の機(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭.11.4.(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・『喜界島風土記』揖嘉一郎p.176には「大島紬製造の一工程、締機。著者撮影。昭和11年11月」とあり当写真と撮影年月日が違う<br>・付箋に「チェック印」がある | 揖嘉一郎『喜界島風土記』神奈川大学日本常民文化叢書11990p176『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5p7p7 | | | | | | | | 揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 43 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 乃呂の祭服 | 153(ナンバリング、青インク、右上)<br>2、1　巫女(鉛筆、右上)<br>乃呂の祭服(中央)<br>阿傳山野要助氏蔵(中央)<br>昭.11.8(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 74×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p44 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 44 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 首里からの乃呂の辞令書 | 154(ナンバリング、青インク、右上)<br>乃呂の辞令書(縦書、右)<br>阿傳山野氏所蔵(縦書、右)<br>昭.11.8.(右下)<br>しよりのおみこと(縦書、中央)<br>きゝやのがまきり(の)(縦書、中央)<br>あてんのろハ(縦書、中央)<br>もとののろのおとゝ(縦書、中央)<br>一人あくかたるに(縦書、中央)<br>たまはり申候(縦書、中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p44 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 45 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 井戸の埋め跡 | 155(ナンバリング、青インク、右上)<br>井戸の埋め跡(囲いの中に竹筒を立てゝあるのは息抜)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p68 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 46 | | 鹿児島県 | ア-4-2 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 葬式、野辺送り | 156(ナンバリング、青インク、右上)<br>葬式　其ノ一(中央)<br>早町村阿傳(中央)<br>昭.11.7.10(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 210×160 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×104 | ・ア-4-2、3の連続写真、『喜界島風土記』p.125上の写真も同被写体だが掲載されているのはア-4-2のもの、同刊行物によると「葬式。日本常民文化研究所蔵。昭和11年頃、岩倉市郎氏の撮影」とあり、撮影者はこれによる<br>・付箋に「チェック印」がある | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p46 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)7月10日～台紙記載 | 早町村阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 47 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 葬式の際に浜に捨てるもの | 160(ナンバリング、青インク、右上)　2.4　葬制(鉛筆、右上)<br>人が死んだ時(葬式の時)浜に捨てるもの(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 76×101 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・揖の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p841『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p47神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p47 | | | | | | | | 岩倉市郎・揖嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 48 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 地葬場 | 161(ナンバリング、青インク、右上) 2.5 葬制(鉛筆、右上)<br>地葬場(中央)<br>阿傳(中央)<br>昭11.7.19(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 210×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p48 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月19日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 49 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 墓場 | 164(ナンバリング、青インク、右上)<br>墓場(志戸桶)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 74×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 志戸桶台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 50 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ムヤ、墓所 | 166(ナンバリング、青インク、右上)<br>ムヤ(内部の廣さ約六畳、骨壺古墓を納む)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 75×101 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p48 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 51 | | 鹿児島県 | ア-4-5 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | タマヤ | 168(ナンバリング、青インク、右上) 2.7 タマヤ(鉛筆、右上)<br>タマヤ(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭.11.7.19(中央)<br>たまや(鉛筆、縦書、左) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 210×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×105 | ・ア-4-5は同被写体の引きの画で当写真と同一<br>・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年p1464 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月19日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 52 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ムヤの内部、享保の頃の墓所の内部 | 169(ナンバリング、青インク、右上) 2.7(鉛筆、右上) 墓制(鉛筆、右上)<br>ムヤの内部 享保頃の墓(無縁佛)(中央)<br>昭.11.3.19(右下)<br>志戸桶(右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×100 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1336『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム『「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p49神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p49 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月19日～台紙記載 | 志戸桶台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 53 | | 鹿児島県 | ア-4-10 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 豚焼きを作るために豚の腹を割いているところ | 170(ナンバリング、青インク、右上)<br>豚焼(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×102 | ・ア-4-10～13までと、写1-14-54の「豚焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p61 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 54 | | 鹿児島県 | ア-4-10 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 豚焼きを作るために豚の頭から血を抜くところ | 171(ナンバリング、青インク、右上)<br>豚焼(1)(中央) 昭12.1(中央)<br>ウル(頸部)を刺して血を取る処(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 80×104 | ・ア-4-10～13までと、写1-14-53の「豚焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p59 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 55 | | 鹿児島県 | ア-4-14 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 山羊焼の山羊、木に吊したところ | 178(ナンバリング、青インク、右上)<br>山羊焼(其の三)(中央) | ・猫と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 106×79 | ・ア-4-14～19までと、写1-14-56～58の「山羊焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p62 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 56 | | 鹿児島県 | ア-4-14 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 山羊焼の薪に火を点けるところ | 180(ナンバリング、青インク、右上)<br>山羊焼(其の五)(中央)<br>焼く処(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 68×107 | ・ア-4-14～19までと、写1-14-55～58の「山羊焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p63 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 57 | | 鹿児島県 | ア-4-14 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 山羊焼、焼けた山羊 | 181(ナンバリング、青インク、右上)<br>山羊焼(其の六)(中央)<br>焼いたもの(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×106 | ・ア-4-14～19までと、写1-14-55～58の「山羊焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p63 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 58 | | 鹿児島県 | ア-4-14 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 山羊焼、焼けた山羊の首を切るところ | 182(ナンバリング、青インク、右上、上から黒ペンでなぞられている)<br>山羊焼(其の七)(中央)<br>首を切断(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×106 | ・ア-4-14～19までと、写1-14-55～58の「山羊焼」という写真郡があるがこれらと何らかの関連があると思われる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p63 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 59 | | 鹿児島県 | ア-5-7 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | キリギリスに似た虫<br>Çimmuŋ ga:ʻta: | 191(ナンバリング、青インク、右上)<br>Çimmuŋ ga:ʻta:(中央)<br>夜美しき声で鳴く(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭11.8(中央) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×160 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 79×103 | ・ア-5-7と同被写体の写真があるが台紙記載が違う<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 60 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 打ち上げられたものの占有のためにつけた標、シミ | 207(ナンバリング、青インク、右上)<br>シミ(2)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 75×100 | ・題名は神奈川大学21世紀COEプログラム研究成果報告書『「景観」と「環境」についての覚書』p.21による<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料3神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p78 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 61 | | 鹿児島県 | ア-5-23 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 黒砂糖の初物をユナの木の葉に盛ったところ | 209(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖のお初(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 74×102 | ・ア-5-23に同一の被写体の別カット写真があり、題名はこれによる<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 62 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 三味線屋、蛇皮線屋 | 213(ナンバリング、青インク、右上) 3.2 三味線(鉛筆、右上)<br>三味線屋(鉛筆、中央)<br>於湾(鉛筆、中央)<br>昭11.8(鉛筆、中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 207×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため)<br>・写真には細部を修正したような跡がある | 77×103 | ・写真には細部を修正したような跡がある<br>・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p505『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム『人類文化研究のための非文字資料の体系化』研究推進会議2008p54神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p54 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 湾台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 63 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 肥桶を運ぶ馬 | 214(ナンバリング、青インク、右上)<br>肥桶の運び方(中央)<br>於小野津(中央)<br>昭和11.8(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×163 | ・記載なし | 76×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p56 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 小野津台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 64 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 排嘉一郎と浜田国義の記念写真 | 219(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | ・記載なし | 103×77 | ・撮影者、撮影地は写1-14-65の被写体とを考慮して岩倉市郎、鹿児島とした | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p80 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 鹿児島 | 有 |
| 写1 | 14 | 65 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 岩倉市郎と浜田国義の記念写真 | 220(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | ・記載なし | 101×78 | ・撮影者、撮影地は写1-14-65の被写体とを考慮して岩倉市郎、鹿児島とした | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p80 | | | | | | | | | 排嘉一郎 | 不明 | 鹿児島 | 有 |
| 写1 | 14 | 66 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | アダナシ割り | 227(ナンバリング、青インク、右上)<br>アダナシ割(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 80×105 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 67 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | イグサ干し | 230(ナンバリング、青インク、右上)<br>蘭干(中央)<br>於阿伝(中央)<br>昭11.8.1(中央) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×162 | ・記載なし | 78×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月1日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 68 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ハッカ製油場 | 233(ナンバリング、青インク、右上)<br>ハッカ製油場(中央)<br>阿傳(中央)<br>昭11.8(中央) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | ・記載なし | 77×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p76 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 69 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 水車場 | 234(ナンバリング、青インク、右上)<br>水車場(中央)<br>於喜界村中熊(中央)<br>昭11.4.26(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 216×163 | ・記載なし | 77×103 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『手段としての写真「澁澤写真」の追跡調査をを中心に』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料4神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2007p24『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p77神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p77 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)4月26日～台紙記載 | 喜界村中熊台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 70 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 高倉 | 237(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | ・記載なし | 79×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 71 | | 鹿児島県 | ア-6-7 | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 高倉の屋根葺 | 239(ナンバリング、青インク、右上) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 205×164 | ・記載なし | 78×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる<br>・ア-6-7と同一、どちらかが焼き増しカ | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p73 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 72 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 屋根葺途中の高倉 | 240(ナンバリング、青インク、右上) | ・ESPARTO SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 211×165 | ・記載なし | 79×105 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 73 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 新しい積み方の石垣 | 245(ナンバリング、青インク、右上) 7.1 口(鉛筆、上)<br>石垣(新しい積方)(中央)<br>(白水にて)(中央)<br>喜界島(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×163 | ・記載なし | 76×106 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p65 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島白水台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 74 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 六つ股の蔵、六本柱の高倉 | 247(ナンバリング、青インク、右上)<br>六ツ股の蔵(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 74×100 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 75 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家屋内、床の間 | 248(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋、床の前(中央)<br>家屋(約百十年前の家と謂わる)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし | 80×106 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 76 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 又木の利用 | 252(ナンバリング、青インク、右上)<br>又木の利用(中央)<br>早町村小野津(中央)<br>昭11.9.(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし | 104×77 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p66 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)9月～台紙記載 | 早町村小野津台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 77 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 便所 | 253(ナンバリング、青インク、右上)<br>便所(鉛筆、中央)<br>於小野津(鉛筆、中央)<br>吉山氏宅(鉛筆、中央)<br>昭11.9.(鉛筆、中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし | 77×104 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p67 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)9月～台紙記載 | 小野津台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 78 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家屋内の柱の名称 | 255(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋A(鉛筆、左上)<br>廻ル柱↓　庇柱↓　廻ル柱↓<br>庇柱↓　廻ル柱↓　庇柱↓　隔柱↓　床柱↓(鉛筆、上)<br>◎ショーバシー(So:basiz)(◎は鉛筆、中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 80×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p70 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 79 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 天井や長押、仏壇など家屋内の名称 | 258(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋A(鉛筆、左上)<br>ツカ↓　組子↓　板天井↓(鉛筆、上)<br>キャクロウ→　鏡→　仏ダン→(鉛筆、左)<br>ナギシ←　鴨居←(鉛筆、右)<br>杉戸↑　中柱↑(鉛筆、中央)<br>◎中柱(本柱ノ内)、(1)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×163 | ・記載なし | 103×78 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p69 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 80 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ケタや長押、鴨居など家屋内の名称 | 259(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋B(左上)<br>←ヌキ　←ヌキ　←ナギシ　←鴨居(右)<br>↑中柱(本柱ノ内)(中央)<br>ケタ→　→キャクロウ(左)<br>◎本柱(中柱)ノ(2)(中央)<br>(組子及天井板・鏡ノ無キ家)(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 103×78 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島外装記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 81 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ケタや庇など家屋内の名称 | 262(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋A(左上)<br>鏡↓　ツカ↓(上)<br>←組子　←キャクロウ(右)<br>↑廻ルバヤ　↑ヒサシバヤ(中央、「廻」に「マー」とフリガナあり)<br>→上ヒクムンwafikum-un　→ヒサシ　→ヒサシケタ(左)<br>◎ヒクムンとキャクロウの交叉(1)(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 102×80 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p69 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島（引用・使用媒体） | 有 |
| 写1 | 14 | 82 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 井戸 | 267(ナンバリング、青インク、右上)<br>井戸(喜界村川嶺)(中央)<br>ha:(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 80×106 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p67 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界村川嶺台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 83 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 石積の便所 | 268(ナンバリング、青インク、右上)<br>石積の便所(早町村小野津)(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 78×103 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「溢澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p67 | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 早町村小野津台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 84 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家建の際のハミダス、合掌 | 269(ナンバリング、青インク、右上)<br>家建(1) ハミダス(合掌ともいふ)(中央)<br>此家ハ石壁屋ノ砂糖小屋ナレド(中央)<br>建テル順序、用材、及方法ハ住家ノ場合ト変リナシ(中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 207×162 | ・記載なし | 76×106 | ・付箋に「以下数枚ツベキ」と赤ペンで記されている<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p71 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 85 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家建の際の棟上げをしたところ | 271(ナンバリング、青インク、右上)muni Ⅰ (三)(鉛筆、右上)<br>家建(3) 棟を■上げた処(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 77×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p71 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 86 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家建の際のヤナーを括るところ | 275(ナンバリング、青インク、右上)<br>家立(七)(左上)<br>7.4 (喜界)(鉛筆、右上)<br>建築(鉛筆、右上)<br>ヤナーを括る処(中央)<br>家立(7)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×163 | ・記載なし | 78×107 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p72 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 87 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 家建途中の家屋 | 277(ナンバリング、青インク、右上)<br>家立(九)(左上)<br>家建(9)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p73 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 88 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 機織小屋の屋根葺 | 278(ナンバリング、青インク、右上)<br>家葺(左上)<br>機織小屋(左上)<br>締る人Ⅰ(縦書、上)<br>一葺く人(縦書、右)<br>↑針突(縦書、中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | ・記載なし | 79×103 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p73 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 不明 | 喜界島(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 14 | 89 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 一丈三尺柱屋の家屋 | 279(ナンバリング、青インク、右上)<br>家屋(一丈三尺柱屋)(中央)<br>↑表(umuti)(中央)<br>↑台所(tonga)(中央)<br>昭11.3(右下)<br>阿傳 盛福成宅(右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×104 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「澁澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p65 | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 90 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 地固め | 281(ナンバリング、青インク、右上)<br>7.5 建築口(鉛筆、右上)<br>地固め(dɲikatami)其の一(中央)<br>トン搗きともいふ(中央)<br>建築習俗(鉛筆、縦書、左)<br>昭11.3(右下)<br>阿傳 富満富忠宅(右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 206×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 100×77 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・排の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎・排嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | |
| 写1 | 14 | 91 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 藩船(バイセン)の乗組の人々と遺品 | 【表面】<br>289(ナンバリング、青インク、右上)<br>藩船(バイ船)乗組ノ人々及遺品(中央)<br>左ハ第十一浜崎太平次(中央)<br>中ハ浜崎喜五郎翁(八六才)(中央)<br>瑞應丸乗組、喜界島へ八年往来シタ人(中央)<br>右ハ永田萬吉翁(八八才)(中央) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし | 78×101 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の排氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられ、また、撮影日・撮影地は『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第十六前書による | 岩倉市郎『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第16口絵「第一図」 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～(備考参照) | 指宿町潟口(備考参照) | 有 |
| 写1 | 14 | 92 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 御手形箱 | 【表面】<br>290(ナンバリング、青インク、右上)<br>御手形箱(中央)<br><br>【裏面】<br>[昭和拾年十二月廿弐日]収蔵(四角括弧内黒スタンプ、縦書、右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 78×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・被写体である手形箱は写1-14-91で手に持っているものと同一と考えられる<br>・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の排氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられ、また、撮影日・撮影地は『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第十六前書による | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～(備考参照) | 指宿町潟口(備考参照) | |
| 写1 | 14 | 93 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 旧藩時代の砂糖蔵 | 【表面】<br>291(ナンバリング、青インク、右上)<br>山川港に残存せる旧藩時代の砂糖蔵(中央)<br><br>【裏面】<br>[昭和拾年十二月廿弐日]収蔵(四角括弧内黒スタンプ、縦書、右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の排氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられ、また、撮影日・撮影地は『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第十六前書による | 岩倉市郎『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第16口絵「第二図」 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～(備考参照) | 山川町(引用・使用媒体) | 有 |
| 写1 | 14 | 94 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 海運王浜崎太平次の碑 | 【表面】<br>292(ナンバリング、青インク、右上)<br>海運王と謂はれる浜崎太平次の碑.(中央)<br><br>【裏面】<br>[昭和拾年十二月廿弐日]収蔵(四角括弧内黒スタンプ、縦書、右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 78×102 | ・浜崎太平次翁の碑は現在指宿市湊の稲荷神社内にある<br>・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の排氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられ、また、撮影日・撮影地は『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第十六前書による | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～(備考参照) | 指宿市湊(備考参照) | |
| 写1 | 14 | 95 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 十月亥の日の餅を入れたツト | 【表面】<br>295(ナンバリング、青インク、右上)<br>十月亥の日の餅を入れたツト(タワラとも言ふ)(中央)<br>喜入村生見. 久津輪(中央)<br><br>【裏面】<br>[昭和拾年十二月廿弐日]収蔵(四角括弧内黒スタンプ、縦書、右下) | ・SUPERFINE C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし | 103×77 | ・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の排氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられ、また、撮影日・撮影地は『薩州山川ばい船聞書』アチック・ミューゼアムノート第十六前書による | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～(備考参照) | 喜入村生見台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | 96 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 五枚天馬(ゴンメデンマ)、船 | 298(ナンバリング、青インク、右上)<br>五枚天馬(ゴンメデンマ)(中央)<br>一名インノコ(中央)<br>(指宿所見) 昭10.11(鉛筆、中央) | ・錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 207×162 | ・記載なし | 77×105 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・鹿児島での調査は『歴史と民俗』12p.119の挿氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられる | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)11月～台紙記載 | 指宿台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 97 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 砂糖小屋 | 311(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖小屋(中央)<br>ユイブシャ(jibusa)(中央)<br>と称する屋根の一例(中央)<br>沖永良部知名村(中央)<br>昭11.5.24(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・沖永良部での調査は『歴史と民俗』12p.148の挿氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられる | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)5月～台紙記載 | 沖永良部知名村台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 98 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 牛の鞍 | 313(ナンバリング、青インク、右上)<br>牛の鞍(中央)<br>知名村竿津(中央)<br>東氏宅にて(中央)<br>昭11.5.20(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×104 | ・沖永良部での調査は『歴史と民俗』12p.148の挿氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられる | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)5月20日～台紙記載 | 沖永良部知名村台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | 99 | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 世之主神社 | 315(ナンバリング、青インク、右上)<br>世之主神社(中央)<br>於沖永良部内城(中央)<br>昭11.5.(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・沖永良部での調査は『歴史と民俗』12p.148の挿氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられる | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)5月～台紙記載 | 沖永良部内城台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 沖永良部島世之主の墓 | 317(ナンバリング、青インク、右上)<br>4.5 草分(■)(鉛筆、右上)<br>沖永良部島世之主の墓(中央)<br>和泊村内城(中央)<br>昭11.5(中央)<br>草分け(鉛筆、縦書、左) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・沖永良部での調査は『歴史と民俗』12p.148の挿氏の記述を見ると岩倉市郎単独での調査と考えられる | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和11年(1936年)5月～台紙記載 | 沖永良部内城台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | ア-5-25 | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 蛇皮線張 | 319(ナンバリング、青インク、右上)<br>3.1(鉛筆、右上)<br>三味線(鉛筆、右上)<br><br>蛇皮線張(中央)<br>於喜界村湾(中央)<br>昭11.8(中央) | ・台紙には「TRADE」、旗に「SM」、「MARK」と透かしあり | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×103 | ・ア-5-25と同じ写真、焼増しか<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月～台紙記載 | 喜界村湾台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 砂糖車 | 326(ナンバリング、青インク、右上)<br>近所に死人ある場合トビラ木の小枝を(中央)<br>砂糖車の上(両方)に差し不浄を祓ふ、前く(中央)<br>せざれば怪我過ちありといふ(中央)<br>昭.11.3.20(下)<br>志戸桶にて(下) | ・SUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p45 | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月20日～台紙記載 | 志戸桶台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 砂糖車 | 329(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖車(中央)<br>昭11.3(下)<br>阿傳(下) | ・SUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしあり | 207×163 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×102 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p37 | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 馬による砂糖樽の運搬 | 331(ナンバリング、青インク、右上)<br>砂糖樽運搬(中央)<br>昭11.3(右下)<br>阿傳(右下) | ・SUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×103 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p37 | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | 田のこやし(ガジマルの枝等) | 338(ナンバリング、青インク、右上)<br>田のこやし(ガジマルの枝等)(中央)<br>昭11.3(右下)<br>阿傳(右下) | ・SUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしあり | 207×162 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×101 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)3月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | ヤマ(鼠わな) | 366(ナンバリング、青インク、右上)<br>ヤマ(鼠わな)(中央)<br>於阿傳(中央)<br>昭11.7(中央) | ・ESPARTO<br>SUPERFINE<br>C.N.&Coと透かしあり | 211×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 77×103 | ・付箋に「チェック印」がある<br>・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p80 | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)7月～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |
| 写1 | 14 | ## | | 鹿児島県 | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | クダ(千歯)を用いる稲こき | 369(ナンバリング、青インク、右上)<br>稲こき(中央)<br>クダ(千歯)を用ふる例(中央)<br>昭11.8.1(中央)<br>於阿傳(中央) | ・台紙には馬に乗る人の絵、<br>VICTORYの透かしあり | 210×161 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 78×104 | ・喜界島での撮影の可能性は岩倉・挿の両氏が考えられ、撮影者はこれによる | 『「造澤写真」に見る1935-1936年の喜界島』神奈川大学21世紀COEプログラム調査研究資料5神奈川大学21世紀COEプログラム「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議2008p29 | | | | | | | | | | 岩倉市郎・挿嘉一郎 | 昭和11年(1936年)8月1日～台紙記載 | 阿伝台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 14 | ## | | × | | 瞬間の累積(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>岩倉市郎氏作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>喜界島(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>附桜島etc(黒フェルトペン、縦書、中央) | (封筒) | | | | × | 330×230 | ・日本郵便友の会協会の封筒を使っている | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 15 | 1 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 龍を持つ親子 | 564(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>(玉生道徑)(岩倉市郎)氏撮影(訂正線赤ペン、右下) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、ESPARTO　SUPERFINEとある<br>・付箋に「チェック印」がある<br>・親子共に菅笠を被っている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 2 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 米山薬師如来塔 | 600(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>米山塔(中央) | | | ・記載なし | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・米山は新潟県中越地方と上越地方の位置する山で、頂上には米山薬師が祀られている。本資料は米山講の記念として建てられたものヵ<br>・石塔には「米山　明治十九丙犬年　薬師如来　八月八日二和村講中設置」と彫られている<br>・米山講については山口賢俊『新潟の民俗』p.166にて解説されている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 3 | 新潟県 | ア-19-40 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 刈谷田川となが舟による砂利取作業(台紙記載、関連目録) | 601(ナンバリング、青インク、右上)<br>〇(鉛筆、右上)<br><br>見附田苅谷田川(中央)<br>前景は砂利上げ作業(中央) | | | ・記載なし | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・金塚友之丞『新潟県民俗学会叢書　蒲原の民俗』p.1に「大きなゴミカキ、ジョレンを使い、水底のゴミ(砂泥粘土)を掻き上げるジョレンカキ(ゴミカキ)という作業がいつ頃から始まったかは明らかではない。(中略)最も盛んに採いたのは明治四十年前後であったといえば、この附近のジョレンカキ(ゴミカキ)は、それほど古くからではないと思われる」とある。<br>・新潟市歴史博物館『開墾の技術史　蒲原平野のたんぼとはたけ』p.24「ジョレン」では「イタアワセに乗って潟や堀の底にあるゴミ(腐植土)を掻き上げるのに使用した。浚渫したゴミは堆積させた上で客土に利用した」とある。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県見附台紙記載 | 有 |
| 写1 | 15 | 4 | 新潟県 | ア-19-41 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 葛巻村の民家(写真裏面記載による) | 603(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>民家(一)(中央) | | | 一九三五、九(鉛筆、縦書、右)<br>民家(鉛筆、縦書、中央)<br>葛巻村(鉛筆、縦書、中央) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・写真の大きさは余り例を見ないものなのでここに記す、5.8×10.4の大きさの写真<br>・新潟県の民家の形態に関しては、山口賢俊『新潟の民俗』pp..48-49に概略が述べられている。<br>・ア-19-41と同一の民家、撮影アングルが異なる | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県見附市葛巻写真資料記載 | 有 |
| 写1 | 15 | 5 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 雁木のある横丁(写真裏面記載による) | 605(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>がんぎのある横丁(中央、下線あり) | | | 見附町(鉛筆、縦書、右)<br>ガンギのある横丁(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・台紙記載「がんぎ」の下にはアンダーラインが引かれている<br>・「がんぎ」とは雪国で見られる雪よけの屋根の事である。山口賢俊『新潟の民俗』p.50では「市街地でも多くは妻入りの軒を並べ、その前面にガンギと呼ばれる土庇のような構造を隣家から隣家へと建て連ねて雪の深い時の通行を確保した(口絵参照)。積代化された商店街ではほとんど失われたがまだいたるところに面影は残っている」と書かれている。<br>・本資料では、がんぎの下に自転車が停められ、上には鉢が置かれている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県見附写真資料記載 | 有 |
| 写1 | 15 | 6 | 新潟県 | 写3-27-5 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | ちぐら(台紙記載) | 606(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>ちぐら(中央) | | | ・記載なし | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・巻史学会『蒲原の民具』p.63「ちぐら」写真注では「東北地方でいう「えじめ」「えずめ」で、このような藁、蒲製、桶型、箱型、竹篭のものも地方によってはあるらしい。いうまでもなく赤ん坊を入れておくものである。オシッコで中が湿めるので底に藁灰や乾燥した藻を敷いて使ったものという」と書かれている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 7 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | はざ木にゅう | 611(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>はざ木にふ(中央)<br><br>1(ナンバリング、青インク、下) | | | ハザ木にふ(鉛筆、縦書、右) | | ・台紙より一回り小さいサイズの方眼洋紙状の付箋が付いており、そこには<br>「昭和十年<br>越後南蒲原郡<br>見附町附近に於ける<br>稲の収穫　(20枚)<br>(岩倉市郎氏撮影)」<br>とあり、写1-15の写真郡の撮影者は岩倉市郎の可能性がある(但し、写1-15には写真資料が19点しかない)<br>・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・山口賢俊『新潟の民俗』p.81では「ハサは木を一列に植えたキハザと、秋にだけ柱をたてて作るツクリバサとあり、いずれも横に太い縄(ハサナワ)やヤを渡した。高いものは一二、三段に張った」と書かれている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近(備考参照) | 有 |
| 写1 | 15 | 8 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 造りはぜ | 612(赤鉛筆、右上)<br>612(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>造りはぜ(中央)<br><br>2(ナンバリング、青インク、下) | | | ハザ段(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・「はぜ」は稲木のことで、刈った稲を束ねてかけ、乾燥させる<br>・山口賢俊『新潟の民俗』p.81では「ハサは木を一列に植えたキハザと、秋にだけ柱をたてて作るツクリバサとあり、いずれも横に太い縄(ハサナワ)やヤを渡した。高いものは一二、三段に張った」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』No.28p.114に「はぜに造りハゼと立木ハゼとあり、後者には多くはんの木が好まれる。長さ凡そ十間より十五間、幅十二段の十間ハゼで、一反歩の稲約二百束をかける。此の地方では秋の米山風を怖れ、ハゼを倒そんだら大ごんだとて力めてハゼツ面を其方角に向けない。さる郷人の吟に曰く　秋晴や何におどろくはぜ雀」とあり | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 9 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 立木はぜ | 613(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>立木はぜ(中央)<br>幅十五間位を普通とする(中央)<br>中間に立てる木を添木といひ(中央)<br>縦縄を吊縄といふ(中央)<br>横縄即ちはぜ縄は十二段を普通とする(中央)<br>十五間はぜは約一段歩の稲が架ろ由(中央) | | | ハザ段(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・「はぜ」は稲木のことで刈った稲を束ねてかけ、乾燥させる<br>・山口賢俊『新潟の民俗』p.81では「ハサは木を一列に植えたキハザと、秋にだけ柱をたてて作るツクリバサとあり、いずれも横に太い縄(ハサナワ)やヤを渡した。高いものは一二、三段に張った」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』No.28p.114に「はぜに造りハゼと立木ハゼとあり、後者には多くはんの木が好まれる。長さ凡そ十間より十五間、幅十二段の十間ハゼで、一反歩の稲約二百束をかける。此の地方では秋の米山風を怖れ、ハゼを倒そんだら大ごんだとて力めてハゼツ面を其方角に向けない。さる郷人の吟に曰く　秋晴や何におどろくはぜ雀」とあり | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 10 | 新潟県 | | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 刈った稲を運ぶところ(写真裏面記載による) | 615(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>稲運び(中央)<br><br>5(ナンバリング、青インク、下) | | | 刈った稲を田から(鉛筆、縦書、右)<br>上げる処(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・巻史学会『蒲原の民具』p.7の写真注では「(前略)女性の衣服の特徴は帯であり、この帯には「袋帯」、「手織帯」(サシコ)等、多種多様であった。また田植時には襷をかけた時代もあった。冬は綿入の隔袖(ドウブクと称する)、早春や晩秋時には「袖無し」を上に羽織ったのは、男女共通である。足首を藁でしばるのは水田作業のみ(春耕期は除く但し乾田のみ)であり、「オカ」(畑作)仕事にはしばらない」と書かれている。本資料では足首を藁でしばっているのが分かる。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 11 | 新潟県 | 写3-27-7 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 稲越舟(二) | 617(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>稲運び(中央)<br><br>7(ナンバリング、青インク、下) | | | イナコシ舟(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・山口賢俊『新潟の民俗』pp..106-107では「(前略)また農作業では稲の運搬はすべて船によって行われ、刈った稲を積んで田の中を遡ぶキツソブネや、さらにハサバまで運ぶ船、米を積む船、あるいは漁猟用の船など大小種々の船が用いられた」と書かれている。<br>・新潟市歴史博物館『開墾の技術史　蒲原平野のたんぼとはたけ』p.24「タブネ(田舟)」では「土や肥料を運搬するほか、田植えの際の苗や、刈った稲の運搬などにも利用した。蒲原平野ではイタアワセを小型化した舟型のキッツォが普及していたが、平野南北の境界領域では、箱型のタブネも利用されていた。また少量ではあるが、剜舟型のタブネも平野各地の資料館で保存されている」と書かれている。 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 15 | 12 | | 新潟県 | 写1-15-13<br>写3-27-4 | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 稲を運ぶソリ(写真裏面記載による) | 618(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>8(ナンバリング、青インク、下) | | | 稲を運ぶソリ(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・巻史学会『蒲原の民具』p.14の「押橇」写真注では「これに刈稲を積んで道端に運搬するのに用いた。これを逆さにおいて稲かつぎの荷台ともした。橇の長さ約130cm、押手82cm、高さ58cm。雪中の客土運搬にも使用したが、今は苗代の苗運びにたまに見ることがある」と書かれている。 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 13 | | 新潟県 | 写1-15-12 | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 稲を運ぶソリで実際に稲を運ぶ様子(関連目録) | 621(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>9(ナンバリング、青インク、下) | | | ・記載なし | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・写1-15-12と同一のソリ<br>・巻史学会『蒲原の民具』p.14の「押橇」写真注では「これに刈稲を積んで道端に運搬するのに用いた。これを逆さにおいて稲かつぎの荷台ともした。橇の長さ約130cm、押手82cm、高さ58cm。雪中の客土運搬にも使用したが、今は苗代の苗運びにたまに見ることがある」と書かれている。 | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 14 | | 新潟県 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 稲かけ | 17、3(鉛筆、右上)<br>(越後見附)(鉛筆、右上)<br>622(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>稲かけ(夫婦)(中央)<br>下より投げるを巧に受けて架ける(中央)<br><br>10(ナンバリング、青インク、下) | | | ハゼを架ける処(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・刈った稲を束ねて、ハゼにかけている所を撮影したと推測される。<br>・山口貴俊『新潟の民俗』p.81では「ハサは木を一列に植えたキハザと、秋にだけ柱をたてて作るツクリハサとあり、いずれも横に太い縄(ハサナワ)や竹を渡した。高いものは一二、三段に張った」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』No.28p.114に「はぜに造りハゼと立木ハゼとあり、後者には多くはんの木が好まれる。長さ凡そ十間より十五間、縦十二段の十間ハゼで、一反歩の稲約二百束をかける。此の地方では秋の米山風を怖れ、ハゼを倒そんだら大ごんだとて力めてハゼツ面を其方角に向けない。さる郷人の吟に曰く　秋晴や何におどろくはぜ雀」とあり | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 15 | | 新潟県 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | はざに空けた風窓 | 17、4(鉛筆、右上)<br>ハゼ(鉛筆、右上)<br>越後見附(鉛筆、右上)<br>625(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>風(容)窓(一)(鉛筆、中央)<br><br>13(ナンバリング、青インク、下) | | | ・記載なし | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・「はぜ」は稲木のことで、刈った稲を束ねてかけ、乾燥させる。稲のかかったはぜが倒れないよう、風窓を作っていると推測される。<br>・『アチックマンスリー』No.28p.114に「はぜに造りハゼと立木ハゼとあり、後者には多くはんの木が好まれる。長さ凡そ十間より十五間、縦十二段の十間ハゼで、一反歩の稲約二百束をかける。此の地方では秋の米山風を怖れ、ハゼを倒そんだら大ごんだとて力めてハゼツ面を其方角に向けない。さる郷人の吟に曰く　秋晴や何におどろくはぜ雀」とあり | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 16 | | 新潟県 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 藁にゅう | 629(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>藁にふ(中央)<br><br>17(ナンバリング、青インク、下) | | | 藁にふ(鉛筆、縦書、中央) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・「にゅう」「にふ」は「にお」の事で、刈稲を円錐状に積み上げたものを指す。本来は刈稲を積み上げたものを指すが、本資料で積まれているのは藁である。円錐状に積まれている状態を「にゅう」「にふ」と呼んでいるか | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 17 | | 新潟県 | 写3-27-2 | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 糠にゅう | 630(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>ぬかにふ(一)(中央)<br>糠は籾の事、これを肥料にする(中央)<br><br>18(ナンバリング、青インク、下) | | | ヌカニフ(鉛筆、縦書、右) | | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE　C.N.＆Coとある<br>・「にゅう」「にふ」は「にお」の事で、刈稲を円錐状に積み上げたものを指す。本来は刈稲を積み上げたものを指すが、本資料で積まれているのは籾である。円錐状に積まれている状態を「にゅう」「にふ」と呼んでいるか | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)9月1日～・写1-15-7備考参照<br>・始めは、アチックマンスリー「DIARY」p.11より | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | 有 |
| 写1 | 15 | 18 | | 新潟県 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】 | 三面川の漁舟 | 19.1(鉛筆、右上)<br>船(鉛筆、右上)<br>619(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>漁舟(　　)(中央) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・台紙には玉座に座るエジプト王朝の王のような絵の透かしがある<br>・川べりに並べられた計5艘の舟。その後方には川を堰き止めるため、川を横断するように設けられた「止め簀」を撮影している。「止め簀」の上に人物がいる<br>・舟の両端は、舟底から約45度の角度をもつ「サメゾラ」と呼ばれる形態である | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1268川船(新潟県三面川) | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月17日～台紙記載 | 新潟県三面川種川台紙記載 | |
| 写1 | 15 | 19 | | 新潟県 | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | 地引き大網漁、地引網を上げる人々 | 19.2(鉛筆、右上)<br>サケ(■)(鉛筆、右上)<br>620(ナンバリング、青インク、右上)<br><br>20左右→(鉛筆、左、90度回転した状態で書かれている)<br>オーアミ(中央)<br>松ヶ崎(中央)<br><br>昭,13･11･19(左下) | | | ・記載なし(台紙に貼られているため) | | ・台紙には国会議事堂のような絵の透かしとその下に［　］RIAL LOWERとある<br>・台紙記載によると松ヶ崎浜における大網漁。本資料は7名で網を引いているところ<br>・昭和13年11月16日～24日にかけて『藤塚浜、福島潟、寺泊、野積』(『旅譜』)への新潟県での調査であることから撮影日はこれによった | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p289オーアミ(鮭の曳網、新潟県松ヶ崎) | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～台紙記載 | 新潟県松ヶ崎台紙記載 | |
| 写1 | 15 | 20 | | × | | 【表面】<br>岩倉作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>新潟見附(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>稲作(黒フェルトペン、縦書、中央)<br>其他(黒フェルトペン、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>8/11(鉛筆、右下) | (封筒) | | | | | | ・大蔵省の封筒を使っている<br>・22.5×28.0の大きさの封筒 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 16 | 1 | | 不明 | | 記載なし | 航空機タラップ上の澁澤敬三 | | | | [御注意]<br>[この写真は著作権も出版権も]<br>[朝日新聞社の所有するものですから]<br>[朝日新聞社の文書による許可なしには]<br>[この写真の一部又は全部を印行又は]<br>[転載することを得ませんし、又転売]<br>[することも出来ません。]<br>[年　月　日朝日新聞東京本社]<br>[SEP. 3 1957 業務局事業課](全て青スタンプ、中央) | | ・写真資料記載からは1957年9月3日と読み取れるが、撮影年月日ではないと考えられるため推定。 | | | | | | | | 不明 | 昭和32年(1957年)9月3日～写真資料記載、備考参照 | 不明 | |
| 写1 | 16 | 2 | | 不明 | | 記載なし | 航空機内窓から手を振る澁澤敬三 | | | | [御注意]<br>[この写真は著作権も出版権も]<br>[朝日新聞社の所有するものですから]<br>[朝日新聞社の文書による許可なしには]<br>[この写真の一部又は全部を印行又は]<br>[転載することを得ませんし、又転売]<br>[することも出来ません。]<br>[年　月　日朝日新聞東京本社]<br>[業務局事業課](全て青スタンプ、中央) | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 16 | 3 | | × | | 記載なし | 日本常民生活絵引原図の模写 「福襠」(りょうとう)の図 | | | | 9　北野天神(鉛筆、縦書、右) | | ・北野天神絵巻第三巻の一場面から模写したものの写真、絵のタッチから横浦泰雄の描いたものか<br>・付箋に記載<br>「(104. )103<br>b. 」とある。これは日本常民生活絵引(pp.150-151)の中で写1-16-4と見開きページになっていることを示していると思われるが、同書内番号とは対応していない | | | | | | | | | 不明 | 不明 | × | 有 |
| 写1 | 16 | 4 | | × | | 記載なし | 日本常民生活絵引原図の模写 「ちはや」の図 | | | | | | ・当資料は和紙に描かれた直筆絵、北野天神絵巻第五巻の一場面から模写したもの、絵のタッチから村田泥牛の描いたものか、因みに絵引き作成時に使用した原図ではない<br>・付箋に記載<br>「103<br>a. 」とある。これは日本常民生活絵引(pp.150-151)の中で写1-16-3と見開きページになっていることを示していると思われるが、同書内番号とは対応していない | | | | | | | | | | | 有 |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1-16-5 | × | | 記載なし | レストラン「PRUNIER」のパンフレット | | | | | | ・当資料は折りたたまれたシーフードレストランのパンフレットで開くとA4程度の大きさのもの、フランス語と補足的に英語で書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-6 | × | | 記載なし | クスコの牧畜の写真のポストカード | | | | | | ・当資料は牧畜の様子を撮ったポストカードで裏面に「Cuzuco」という印字がスタンプされておりクスコあるいはその近辺で手に入れたものか | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-7 | × | | 記載なし | ヘラルド誌1956年11月4日付けの記事「An Old Mushroom With a Kick」 | | | | | | ・ヘラルド誌1956年11月4日付けの記事「An Old Mushroom With a Kick」の部分を中心に破った新聞紙 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-8 | × | 写1-16-12 | 記載なし | 1956年11月4日付けの「23SKIDOO」の記事 | | | | | | ・1956年11月4日付けの記事でクラシックカーのパレードの様子と男性の家事の危険性についての記事が出ている雑誌の切り抜き、写1-16-12と対で一ページの記事であるクラシックカーの記事を必要としたと思われる<br>・ページ隅に「TODAY'S LIVING」とあるが雑誌名なのかコラム名なのか詳細不明 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-9 | × | | 記載なし | アステカ文明期のピラミッド型神殿の絵葉書 | | | | [agfa](中央) | | ・資料表には「TEMPLO DE LAS INSCRIPCIONES PALENQUE」とある<br>・裏面の「agfa」とは印刷やフィルムを扱うAGFA社のことと思われる | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-10 | × | | 記載なし | アステカ文明の模様が付いたコップ状の碗の写真 | | | | | | ・印刷されたカラーの写真 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-11 | × | | 記載なし | アステカ文明のマチュピチュの絵葉書 | | | | [PANAGURA](左上)<br>[PAN AMERICAN-GRACE AIRWAYS, INC. ](左上)<br>[PANAMA, COLOMBIA, ECUADOR, PERU, ](左上)<br>[BOLIVIA, ](左上)<br>[CHILE, ARGENTINA, ](左上)<br><br>[POST CARD](右上)<br>[Adress](右上)<br><br>[Antiguas Ruinas Incas de Machu Picchu, Per ú. ](左下)<br>[Ancient Inca Ruins, Machu Picchu, Peru. ](左下)<br>[ | | ・パン-アメリカ社製の絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-12 | × | 写1-16-8 | 記載なし | 1956年11月4日付けの「23SKIDOO」の記事 | | | | | | ・1956年11月4日付けの記事でクラシックカーのパレードの様子とあなたの資産よをり少ない努力で増やすについての記事が出ている雑誌の切り抜き、写1-16-8と対で一ページの記事であるクラシックカーの記事を必要としたと思われる<br>・ページ隅に「TODAY'S LIVING」とあるが雑誌名なのかコラム名なのか詳細不明 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-13 | × | | 記載なし | 日本勧業銀行芝支店のリーフレット | | | | | | ・日本勧業銀行の預金商品のリーフレット、裏面はモナリザの微笑の絵になっている | | | | | | | | | | | | |
| 写1-16-14 | × | | 記載なし | (封筒) | | | | | | ・27.4×20.9の大きさの封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1-17-1-1 | 宮崎県 | | 記載なし | 木の枝に登る猿 | | | | K(右上、90度回転した状態)<br>1(中央) | | 撮影者は「滋澤敬三著作集 第3巻」p392より推定。写1-17-1-1～3は写真のプリントから川村俊蔵撮影のものと思われる。 | | | | | | | | | 川村俊蔵 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-2 | 宮崎県 | | 記載なし | 幸島の案内図に登る猿 | | | | K(左下、天地逆)<br>2(中央) | | 撮影者は「滋澤敬三著作集 第3巻」p392より推定。写1-17-1-1～4は写真のプリントから川村俊蔵撮影のものと思われる。 | | | | | | | | | 川村俊蔵 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-3 | 宮崎県 | | 記載なし | 浜でムギを拾う猿 | | | | K(左上、90度回転した状態)<br>5(中央) | | 撮影者は「滋澤敬三著作集 第3巻」p392より推定。写1-17-1-1～5は写真のプリントから川村俊蔵撮影のものと思われる。 | | | | | | | | | 川村俊蔵 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-4 | 宮崎県 | | 記載なし | 幸島の岩場の猿 | | | | [幸島(日南海岸国定公園候補地内)<br>昭和九年一月二十二日猿の生息地として島全体が<br>天然記念物に指定された、この島は京く都帝<人文科学研究所今西錦司理博が昭和二十三年から毎年猿の生態調査をされて、其著「<歴史>[人間以]前の社会」で日本猿の最後の拠点として残して置きたいものであると、いっておられる処である、通称猿ヶ島と呼ばれるこの島は読売新聞元旦号が報ずるように、陸地から二〇〇米はなれた周囲三キロに満たない、雑木と奇岩の小島で、日本猿二十七八匹がだれはゞかることもなく平和を謳っている絶好の島である。 | | 本資料、裏面の状況やプリント具合からは観光客向けの販売用写真と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 幸島写真資料記載 | |
| 写1-17-1-5 | 宮崎県 | | 記載なし | 幸島の岩場の猿 | | | | ・記載なし | | 本資料、裏面の状況やプリント具合からは観光客向けの販売用写真と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-6 | 宮崎県 | | 記載なし | 幸島の岩場の猿 | | | | ・記載なし | | 本資料、裏面の状況やプリント具合からは観光客向けの販売用写真と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-7 | 宮崎県 | | 記載なし | 幸島の岩場の猿 | | | | ・記載なし | | 本資料、裏面の状況やプリント具合からは観光客向けの販売用写真と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 幸島写1-17-1-4備考参照 | |
| 写1-17-1-8 | × | | 記載なし | (封筒) | | | | | | ・19.3×13.8のフジカラーの封筒、「祝皇孫御誕生」の記載があるので徳仁親王(皇太子)が誕生された昭和35年2月27日以降のものであると推測される。裏面の「中判」のサイズに○がつけてある。 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 1 | 9 | × | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書、右)<br>澁澤敬三様(縦書、中央)<br>写真在中(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>大阪市北区南扇町　大阪市立大学理学部(縦書、中央)<br>川村俊蔵(縦書、中央) | (封筒) | | | | | | ・19.5×14.3の茶封筒。宛先「港区芝三田綱町一〇　澁澤敬三様　写真在中 (消印)東京中央 35.3.17 後0-9」差出人「大阪市北区南扇町　大阪市立大学理学部　川村俊蔵」とあり<br>・写1-17-1は写01-17-12の封筒に入れられていた。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 1 | 満州 | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | 満州奥地の深林地帯の正月飾り・門松 | | | | ・記載なし | | 版下用に拡大された写真と思われるが、原掲載刊行物は不明。原掲載刊行物の写真の説明には「第一九七図　門松の図〔二〕 満州奥地の深林地帯の正月飾りの概観であるといふ。」とあり、脇に「第一篇　正月」と見える。 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 満州(備考参照) | |
| 写1 | 17 | 2 | 2 | 中国 | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | 門に桃符をはり掛箋をかけた門松(掲載刊行物による) | | | | ・記載なし | | 版下用に拡大された写真と思われるが、原掲載刊行物は不明。この写真は『犬歩当棒録』・『澁澤敬三著作集　第3巻』の「◇門松とXマスツリー」の挿絵として再録されている。 | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p260渋沢敬三『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p532平凡社1992p532 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 中国・東北寧古塔(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 17 | 2 | 3 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 121×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 4 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 5 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 6 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 7 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 8 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 9 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 10 | | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | ・引用・使用媒体は日本語訳のモノであるが、原版であるE・S・モース『JAPAN DAY BY DAY』図485は未確認。 | E・S・モース　石川欣一訳『日本その日その日』2平凡社1970p231図485 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 11 | ブータン | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | 撮影者・撮影日・撮影場所は写1-17-3および・中尾佐助著『秘境ブータン』より推定。 | 中尾佐助『秘境ブータン』<br>毎日新聞社1959口絵渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p260産業経済新聞社1955p260渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻p532 | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月1日～(備考参照) | ブータン (引用・使用媒体) | |
| 写1 | 17 | 2 | 12 | 台湾 | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | ヤミ族が描いた魚「Viviyan」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE209、「YAMI DRAWING OF FISHES (4)」Below：Viviyan | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 2 | 13 | 台湾 | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | ヤミ族が描いた魚「Chirat」 | | | | ・記載なし | 122×164 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE211、「YAMI DRAWING OF FISHES (6)」Below：Chirat | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 2 | 14 | × | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | ・引用・使用媒体は日本語訳のモノであるが、原版であるE・S・モース『JAPAN DAY BY DAY』図486は未確認。 | E・S・モース　石川欣一訳『日本その日その日』2平凡社1970p231図486 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 2 | 15 | × | | 門松写真 (赤鉛筆、中央)<br>平凡社ヨリ (赤鉛筆、中央) | (厚紙) | | | | | | ・140×105ほどに二つ折りされた厚紙に朱筆で「門松写真　平凡社ヨリ」と書かれている。<br>・写1-17-2は写01-17-12の封筒に入れられていた。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 3 | 1 | ブータン | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | ブータンの首都テインプラの王宮で、(鉛筆、上)<br>首相以下客人のためにたてた臨時テント村の(鉛筆、上)<br>垣とカドマツ。訪れたのは■(消し字)ブータン皇太子。(鉛筆、上)<br>October 1958(鉛筆、中央) | 116×161 | | | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月～写真資料記載 | ブータン写真資料記載 | |
| 写1 | 17 | 3 | 2 | ブータン | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | ブータン、TalaのBangalou前にたてられた(鉛筆、上)<br>常緑カシの並木のカドマツ。首相(鉛筆、上)<br>ジグミー・ドルヂ氏の一行をむかえるため。(鉛筆、中央)<br>臨時に植えたカシの木の間にツナを張り、(鉛筆、中央) | 116×159 | | | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月～写真資料記載 | ブータン写真資料記載 | |
| 写1 | 17 | 3 | 3 | ブータン | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | ブータン首相　クマール　ジグミー　ドルヂ氏の(鉛筆、上)<br>旅行には、昼食地のテントにもカドマツを(鉛筆、上)<br>たたて準備してあった。南ブータンにて。(鉛筆、上)<br>June　1959　 S.Nakao(鉛筆、下) | 117×160 | | | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月～写真資料記載 | ブータン写真資料記載 | |
| 写1 | 17 | 3 | 4 | ブータン | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | ブータンの首都　テインプラの王宮(鉛筆、上)<br>で、首相以下客人のための(鉛筆、上)<br>臨時のテント村のまわりの垣と(鉛筆、上)<br>カドマツを張りめぐらす。(鉛筆、上)<br>October　1958.(鉛筆、下)<br>S.Nakao撮影(鉛筆、下) | 159×117 | | | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月～写真資料記載 | ブータン写真資料記載 | |
| 写1 | 17 | 3 | 5 | ブータン | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | ブータン、パロ　ゾン附近のキャンプ地。(鉛筆、上)<br>私の到着前〔私のために〕にこれだけの準備がして(鉛筆、上)<br>あった(鉛筆、上) | 116×160 | | | | | | | | | | 中尾佐助 | 昭和33年(1958年)10月～写真資料記載 | ブータン写真資料記載 | |
| 写1 | 17 | 3 | 6 | × | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | | | | | × | | 便箋2枚<br>226×179 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 3 | 7 | × | | 東京都港区芝三田綱町<麻生二ノ橋>(縦書、右部、訂正／黒ペン)<br>渋沢敬三様(縦書、右部)<br>大阪府堺市大仙町(縦書、左部)<br>大阪府立大学農学部(縦書、左部)<br>中尾佐助(縦書、左部) | (封筒) | | | | × | | 封筒は「毎日新聞大阪本社写真部」の社名、住所、電話番号が表面に印刷され、裏面が厚紙になっているもの<br>193×140<br>・写1-17-3は写01-17-12の封筒に入れられていた。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 4 | 1 | 東京都 | | 【表面】<br>港区三田綱町一〇(縦書、右)<br>[速達](赤インクのゴム印) 渋澤敬三先生(縦書、中央)<br>[即日速達](赤インクのゴム印) 消印<br>写真在中(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[東京都台東区池之端七軒町六六番地](黒スタンプ、縦書、左)<br>[宮本馨太郎](黒スタンプ、縦書、左)<br>[電話・駒込(82)〇八九五番](黒スタンプ、縦書、左) | アイヌの高倉(刊行物記載参照) | | | | [昭和]35[年]3[月]13[日]撮影(数字以外青インクのゴム印) | | ・渋沢敬三『犬歩当棒録』p,247に同状況の写真があるが写っている人物が違う、当写真には宮本馨太郎が写っている<br>・渋沢敬三『犬歩当棒録』p,247にある同状況の写真から保谷民族博物館でのものと考えられる | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p247「奄美大島の高倉。…」 | | | | | | | | 不明 | 昭和35年(1960年)3月13日～写真資料記載 | 日本民族学協会付属博物館(東京都保谷)『犬歩当棒録』p,247による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 4 | 2 | 東京都 | | 【表面】<br>港区三田綱町一〇(縦書、右)<br>[速達](赤インクのゴム印) 渋澤敬三先生(縦書、中央)<br>[即日速達](赤インクのゴム印) 消印<br>写真在中(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[東京都台東区池之端七軒町六六番地](黒スタンプ、縦書、左)<br>[宮本馨太郎](黒スタンプ、縦書、左)<br>[電話・駒込(82)〇八九五番](黒スタンプ、縦書、左) | アイヌ住居(刊行物記載参照) | | | | [昭和]35[年]3[月]13[日]撮影(青スタンプ、下) | | ・渋沢敬三『犬歩当棒録』p.247に同状況の写真があるが、当写真には宮本馨太郎が写っている<br>・渋沢敬三『犬歩当棒録』p.247にある同状況の写真から保谷民族博物館でのものと考えられる | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p247「アイヌ住居。熊飼育舎。高倉。…」 | | | | | | | 不明 | 昭和35年(1960年)3月13日～写真資料記載 | 日本民族学協会付属博物館(東京都保谷)『犬歩当棒録』p.247による | |
| 写1 | 17 | 4 | 3 | 東京都 | | 【表面】<br>港区三田綱町一〇(縦書、右)<br>[速達](赤インクのゴム印) 渋澤敬三先生(縦書、中央)<br>[即日速達](赤インクのゴム印) 消印<br>写真在中(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[東京都台東区池之端七軒町六六番地](黒スタンプ、縦書、左)<br>[宮本馨太郎](黒スタンプ、縦書、左)<br>[電話・駒込(82)〇八九五番](黒スタンプ、縦書、左) | 熊飼育舎 | | | | 不採用(鉛筆、中央、90度回転した状態)<br>[昭和]35[年]3[月]13[日]撮影(青スタンプ、下) | | ・渋沢敬三『犬歩当棒録』p.247に同状況の写真があり、そのキャプションには「アイヌ住居、熊飼育舎、高倉」とあり、そこで採用されている写真は写1-4-1、写1-4-2と同被写体の写真であり、当写真裏面に「不採用」とあることから、当写真が熊飼育舎と考えられる、また同理由から保谷民族博物館での写真と考えられる | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p247「…後方は今和次郎氏設計の絵馬堂。…」 | | | | | | | 不明 | 昭和35年(1960年)3月13日～写真資料記載 | 日本民族学協会付属博物館(東京都保谷)『犬歩当棒録』p.247による | |
| 写1 | 17 | 4 | 4 | × | | 【表面】<br>港区三田綱町一〇(縦書、右)<br>[速達](赤インクのゴム印) 渋澤敬三先生(縦書、中央)<br>[即日速達](赤インクのゴム印) 消印<br>写真在中(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[redacted] | 封筒 | | | | | | ・16.0×11.5cmの茶封筒<br>・消印に「35. 4. 15」とあり、昭和35年4月15日に発送されたことが分かる<br>・封筒裏面には<br>「東京都台東区池之端七軒町六六番地<br>宮本馨太郎<br>電話・駒込(82)〇八九五番」<br>と青インクのゴム印が押してある | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 5 | 1 | 不明 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書、中央)<br>日本常民文化研究所内(縦書、中央)<br>宮本常一様(縦書、中央)<br>写真在中　消印(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[redacted] | 早川孝太郎とその妻智恵とそのほかの人々との集合写真 | | | | ・記載なし | | ・写真前列向かって一番右手に晩年の早川の姿、前列左から二番目が石黒忠篤が見える | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 5 | 2 | × | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書、中央)<br>日本常民文化研究所内(縦書、中央)<br>宮本常一様(縦書、中央)<br>写真在中　消印(縦書、左)<br><br>【裏面】<br>[redacted] | 封筒 | | | | | | ・20.0×13.7cmの封筒<br>・封筒裏面には<br>「武蔵野市西窪六ノ五<br>早川智恵」<br>とある<br>・写1-17-5は写1-17-12の封筒に入れられていた。 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-1 | × | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、小間物屋や履き物屋、足袋屋、本屋 | | | | □(鉛筆、右、レチェック カ) | | ・『摂津名所図会』に足袋の形を模した「いろいろ有」との看板が見える、大坂順慶町の夜店。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p37林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p225「第565図　大阪・順慶町夜店の行燈型足袋看板。左側は本屋。『摂津名所図絵』より。」三樹書房1977p225「第565図　大阪・順慶町夜店の行燈型足袋看板。左側は本屋。『摂津名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-2~ | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『和訓諸職絵尽』地唐紙屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『和訓諸職絵尽』に「地唐紙」とあり、輸入品ではなく地元の江戸で作った唐紙という意味。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p40『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p129角川文庫p129 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-3 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『今様職人尽』「ういろうや」 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『今様職人尽』に（調査中）とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p40『今様職人尽』 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-4 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『今様職人尽』「御しろいや」 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『今様職人尽』に（調査中）とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p38『今様職人尽』 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-5 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『今様職人尽』「七や」 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『今様職人尽』に（調査中）とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p54『今様職人尽』 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-6 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 往来の賑わい、たばこ屋 | | | | □(鉛筆、左、レチェック カ) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・画風から『名所図会』ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p45 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-7 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『今様職人尽』「ぎょにくや」 | | | | □(鉛筆、右、レチェック カ) | | ・『今様職人尽』に（調査中）とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p38『今様職人尽』 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 1-8 | | 写1-17-6-1-28 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『木曽路名所図会』往来の賑わい、扇屋の御影堂 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・『木曽路名所図絵』に「江戸市中の扇店」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、見開き向かって右側の片面<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・『風俗画報』No.70に「扇屋御影堂」という記事があり御影堂は京都の店で当資料も同地だと思われる(因みに『風俗画報』には同絵画資料はない)、また御影堂だけで扇屋を指すことが『守貞謾稿』第一巻　巻之五生業　p154にあるので単に扇屋のことだけを指しているのかもしれない<br>・江戸市中の扇屋(『江戸看板図譜』林美一　参照、) | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p91「第190図　江戸市中の扇屋。『木曽名所図絵』より。」三樹書房1977p91「第190図　江戸市中の扇屋。『木曽名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-9 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、合羽屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『摂津名所図絵』中の絵に「合羽処」と看板がある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p51『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p116角川文庫p116 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-10 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、大坂高麗橋、鏡屋と一緒になった煙管屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『摂津名所図絵』に「高麗橋矢倉屋敷」とあり、鏡屋と煙管屋が一緒になっているのが見える、大坂高麗橋の夜店。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p45林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p105「第232図　鏡屋と煙管屋が一緒になった大坂高麗橋の矢倉屋敷。『摂津名所図絵』より」三樹書房1977p105「第232図　鏡屋と煙管屋が一緒になった大坂高麗橋の矢倉屋敷。『摂津名所図絵』より」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-11 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『江戸名所図会』往来の賑わい、そば屋、煙草屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『江戸名所図絵』に「浄蓮寺」「板橋駅」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p33『江戸名所図会』第4巻角川文庫角川文庫p254角川文庫p254 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-12 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、銭小売りもする煙管屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『摂津名所図絵』に「銭小うり」との看板が見える、大坂順慶町の夜店。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・当資料詞書きに「江戸」との文字があり当地は東京、江戸か | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p32林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p322「第858図　夜店で銭小売りもする煙管屋。『摂津名所図絵』より。」三樹書房1977p322「第858図　夜店で銭小売りもする煙管屋。『摂津名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-13 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『東海道名所図会』往来の賑わい、大津絵屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『東海道名所図絵』に「大津絵はむかしここに云々」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p33『東海道名所図絵』上巻べりかん社べりかん社p56-57べりかん社p56-57 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-14 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『木曽路名所図会』往来の賑わい、熊胆熊皮屋の大熊 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『木曽路名所図絵』に「木曽路は獣類の皮を与うる店多し」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料詞書に「木曽路」との文字があるが当地がどこかは確定されていない | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p36『木曽路名所図会』『臨川書店臨川書店p375臨川書店p375 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-15 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『江戸名所図会』往来の賑わい、火の見櫓、髪結床 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『江戸名所図絵』に「馬喰町馬場」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料に「馬喰町」との文字があり当地は江戸と分かり、自信番と並んだ床屋が見え暖簾には役者紋、障子には津と名前らしきものが見える、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p39『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p114-115角川文庫p114-115林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977p124「第291図 『江戸名所図絵』より。左端は自身番、その右が髪結床。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-16 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518] | 団扇屋、脇差し屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料の挿絵の画風、書体などから『京雀』か<br>・当資料に「あやのこうじ通」との文字があり当地は京都ヵ | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-17 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 往来の賑わい、心斎橋筋呉服店松屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料の挿絵の画風、書体などから『摂津名所図会』か<br>・当資料詞書きに「心斎橋筋」との文字があり当地は大坂で大丸の心斎橋店ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p36 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-18 | | 写1-17-6-1-36 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『西鶴俗つれづれ』往来の賑わい、桐油合羽や縮緬紋、紙子を売る店 | | | | 5(鉛筆、下、90度回転した状態) | | ・『西鶴俗つれづれ』中の挿絵に「道中合羽いろいろおろし」との看板がある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・当資料に「」との文字がありこれは井原西鶴の著作の物でその中の挿絵であることが分かる<br>・当写真と写1-17-6-1-36は同被写体 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p51『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p116角川文庫p116 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 1-19 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 「鰻かばやき」の看板、そば切うんとん屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p33 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-20 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『的中地本問屋』「江戸前大蒲焼附めし」の看板、スッポン屋の看板 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・「的中地本問屋』に「江戸前大蒲焼附めし」との看板が見える。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでのは『江戸看板図譜』によった<br>・当資料に「江戸前」との文字があり当地は東京、江戸ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p53林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p207「第512図　享和二年(1802)刊『的中地本問屋』より。」三樹書房1977p207「第512図　享和二年(1802)刊『的中地本問屋』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-21 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 鍛冶屋や両替屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料の挿絵の画風、書体などから『京雀』か<br>・当資料に「とびのこうじ通」との文字があり当地は京都ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-22 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 薬屋や呉服屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料の挿絵の画風、書体などから『京雀』か<br>・当資料に「中立売り通」との文字があり当地は京都ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p44 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-23 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 呉服屋、犬 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料の挿絵の画風、書体などから『京雀』か<br>・当資料に「衣ノ棚通」との文字があり当地は京都ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p17 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-24 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『西鶴織留』京白粉屋、編み笠を被る男たち | | | | 5(鉛筆、下、90度回転した状態) | | ・『西鶴織留』に「京白粉屋」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもので、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった。<br>・京白粉屋(『江戸看板図譜』林美一　参照、) | 林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977p96「第205図　元禄頃の京都の白粉屋。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-25 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『江戸名所図会』銅物屋、馬具師の店先 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『江戸名所図会』に「大門通」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料に「大門通」との文字があり当地は江戸と分かる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p47『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p136角川文庫p136 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-26 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『江戸名所図会』「弁慶橋」の往来、御飯物酒屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『江戸名所図会』に「弁慶橋」とあり「御飯物、酒」の文字が見える。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料に「弁慶橋」との文字があり当地は江戸と分かる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p53『江戸名所図会』第1巻角川文庫角川文庫p109角川文庫p109 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-27 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『京雀』小芝居小屋、楊枝屋、編み笠を被る男 | | | | □(鉛筆、中央、レチェック力) | | ・『京雀』に「やうじや」という看板と猿(猿は楊枝屋と因縁がある、詳しくは『江戸看板図譜』参照)が見え、また「四条通」との文字がある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p44林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p314「第831図　寛文頃の京都の露天の楊枝売り。小さな絵でわかりにくいが、縁台の上に猿が坐っている。上の絵は小芝居。」三樹書房1977p314「第831図　寛文頃の京都の露天の楊枝売り。小さな絵でわかりにくいが、縁台の上に猿が坐っている。上の絵は小芝居。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-28 | | 写1-17-6-1-8 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『木曽路名所図会』往来の賑わい、扇屋の御影堂 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・『木曽路名所図絵』に「江戸市中の扇店」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、見開き向かって左側の片面<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・『風俗画報』No.70に「扇屋御影堂」という記事があり御影堂は京都の店で当資料も同地だと思われる(因みに『風俗画報』には同絵画資料はない)、また御影堂だけで扇屋を指すことが『守貞謾稿』第一巻　巻之五生業　p154にあるので単に扇屋のことだけを指しているのかもしれない<br>・江戸市中の扇屋(『江戸看板図譜』林美一　参照、) | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p91「第190図　江戸市中の扇屋。『木曽名所図絵』より。」『風俗画報』No.70「扇屋御影堂」という記事があり御影堂は京都の店で当資料も同地だと思われる(因みに『風俗画報』には同絵画資料はない)、また御影堂だけで扇屋を指すことが『守貞謾稿』第一巻　巻之五生業　p154にあるので単に扇屋のことだけを指しているのかもしれない<br>・江戸市中の扇屋(『江戸看板図譜』林美一　参照、) | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p91「第190図　江戸市中の扇屋。『木曽名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-29 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『京雀』店の軒先、扇屋、本屋、弓屋 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・『京雀』に「本や」との看板が見える。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・当資料に「寺町通」との文字があり当地は京都か | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p40林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p279「第723図　寛文五年(1665)刊『京雀』に描かれた本屋の箱看板。」三樹書房1977p279「第723図　寛文五年(1665)刊『京雀』に描かれた本屋の箱看板。」 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 1-30 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『百人女郎品定』煙草、柿屋 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・『百人女郎品定』に「刻たばこ、いろいろおろし」との看板が見え、また「柿かふ」との書入れも書かれている、京の煙草屋。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p45林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p218「第544図　京の煙草屋。享保八年(1723)刊『百人女郎品定』より。」三樹書房1977p218「第544図　京の煙草屋。享保八年(1723)刊『百人女郎品定』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-31 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『河内名所図会』往来の賑わい、団扇屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『河内名所図会』に「小山團」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p70「第136図　享和元年(1801)刊『河内名所図絵』に描かれた団扇屋の模型看板。」三樹書房1977p70「第136図　享和元年(1801)刊『河内名所図絵』に描かれた団扇屋の模型看板。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-32 | | 写1-17-6-1-33 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、麻苧屋、蒸し菓子屋の虎屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『摂津名所図会』に「高麗橋虎屋春藾店」とある。大坂高麗橋の麻苧屋。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写1-17-6-1-33と同一被写体で双方とも上下の位置が少しずれている | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p31林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p29「第29図　大阪高麗橋の麻苧屋。右端の店がそれえある。(右は菓子屋)『摂津名所図絵』より。」三樹書房1977p29「第29図　大阪高麗橋の麻苧屋。右端の店がそれえある。(右は菓子屋)『摂津名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-33 | | 写1-17-6-1-32 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『摂津名所図会』往来の賑わい、麻苧屋、蒸し菓子屋 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・『摂津名所図会』に「高麗橋虎屋春藾店」とある。大坂高麗橋の麻苧屋。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写1-17-6-1-32と同一被写体で双方とも上下の位置が少しずれている | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p31林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p29「第29図　大阪高麗橋の麻苧屋。右端の店がそれえある。(右は菓子屋)『摂津名所図絵』より。」三樹書房1977p29「第29図　大阪高麗橋の麻苧屋。右端の店がそれえある。(右は菓子屋)『摂津名所図絵』より。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-34 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 往来の賑わい、筆屋、三所権現の山車 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p41 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-35 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『日本永代蔵』味噌醤油屋 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・『日本永代蔵』巻六の挿絵に「みそ志やうゆ」とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・当資料に「大福新長者教」との文字がありこれは井原西鶴の著作の物でその中の挿絵であることが分かる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p48林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p196「第477図　元禄頃の上方の味噌醤油屋。」三樹書房1977p196「第477図　元禄頃の上方の味噌醤油屋。」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-36 | | 写1-17-6-1-18 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『西鶴俗つれづれ』往来の賑わい、桐油合羽や縮緬絞、紙子を売る店 | | | | 5(鉛筆、中央)<br>□(鉛筆、上、レチェック力) | | ・『西鶴俗つれづれ』中の挿絵に「道中合羽いろいろおろし」との看板がある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの、ここでの説明は『江戸看板図譜』によった<br>・当資料に「」との文字がありこれは井原西鶴の著作の物でその中の挿絵であることが分かる<br>・当写真と写1-17-6-1-18は同被写体 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p40渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961中部日本新聞社1961p51中部日本新聞社1961p51『江戸名所図会』第1巻角川文庫p116 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-37 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 『星光寺縁起(上巻)』地蔵尊と小屋 | | | | 4(鉛筆、中央) | | ・資料中『星光寺縁起(上巻)』とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p30『星光寺縁起(上巻)』 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-38 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 髪屋 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p39 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-39 | | | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]21(印字黒、鉛筆、中央) | 人形を持つ男とそれを見る女や子供達 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・とある。当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・当資料中暖簾に三つ鯛の紋が見える<br>・絵の描写法から当資料は『洛中洛外図』か | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p31 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 1-40 | | 写1-17-6-2-34 | 【表面】<br>37(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA] | 写真やネガを入れる双美商会の袋 | | | | | | ・袋裏面には<br>「高級カメラ　　カメラの修理は迅速確実<br>優良付属品と材料　　交感お引取りも致します<br>ダイヨット<br>ネガカバー<br>ネガの修理に便利安全優美　双美商会<br>東京都中央区銀座4の2 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 2-1 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 髷を結う、床屋 | | | | 5(鉛筆、中央) | | ・当資料は元々写真ではなく書籍の図版を撮って紙焼きしたもの<br>・絵の描写法から当資料は『洛中洛外図』か | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p31 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-2 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | キセル屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央) | | ・キセルの看板に「仕入」とある<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p45 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-3 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 火熨斗屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、天地逆) | | ・火熨斗の看板の炭を入れる部分は蓋が付いた形を模している<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により増定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p41 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-4 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 数珠屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・数珠の看板に「じゅず」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p52 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-5 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 質屋の看板 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・将棋の駒に模した看板に「八大野屋」とあり、看板を吊す部分に多くの質屋の明細の反故と思われる紙片が結ばれている、これは「質屋に入ると金になる」という判じ物だという(『企画展看板のむかし』石巻文化センター 参照、)<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p54 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-6 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 将棋の駒屋の看板 | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | | ・将棋の駒の看板に「王将」とある<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p54林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p196「第475図 将棋屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p196「第475図 将棋屋の看板。『看板図譜』より。」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-7 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 煙草入れ屋の看板 | | | | □(鉛筆、中央、レチェック力) | | ・看板は煙草入れ、キセル入れ、菊の模様の根付けの一セットの形を模している<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p37 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-8 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 扇屋の看板 | | | | □(鉛筆、下、レチェック力) | | ・『風俗画報』No.70に「扇屋御影堂」という記事があり御影堂は京都の店で当資料も同地だと思われる(因みに『風俗画報』には同絵画資料はない)、また御影堂だけで扇屋を指すことが『守貞謾稿』第一巻 巻之五生業 p154にあるので単に扇屋のことだけを指しているのかもしれない<br>・写真裏面記載の□はv字状のチェックしたような記号<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思わ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-9 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 絵具屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・絵具皿の看板に「絵安」とある(『江戸看板図譜』林美一 参照、)<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる<br>・横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』p129の写真は本資料とは書かれた文字が異なり、表裏の関係であるかもしれないため推定。 | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p86「第179図 絵具屋の吊看板」三樹書房1977p86「第179図 絵具屋の吊看板」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002p129「13 看板 国文学研究資料館史料館 絵具屋の看板」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-10 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 焼き印屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・看板に「印」とあり、その文字を中心に様々な焼き印の頭の部分がちりばめてある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p66「第123図 印判屋の看板」三樹書房1977p66「第123図 印判屋の看板」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-11 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 筆屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・板看板に筆の絵が描かれている<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p30 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 2-12 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 糸屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央) | | ・板看板に座繰りに三色の糸が巻かれている絵が描かれている<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p34 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-13 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 漆屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・板看板に「うるし」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p33林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p81「第169図　うるし屋の看板の模写」三樹書房1977p81「第169図　うるし屋の看板の模写」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-14 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 両替屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・寛永通宝を模した看板<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p45 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-15 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518] | たばこ屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・「だ」と「ば」と「こ」を合成した文字が書かれた看板<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-16 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 葉茶屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・達磨と茶壺を模した看板に「茶」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p42 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-17 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 狐に模した宮師の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・狐に模した看板に「玉や」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p52 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-18 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 社に模した宮師の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・社に模した看板に「宮吉」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p52 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-19 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 法衣屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・板看板に法衣(ころも)に模した形を切り抜き「御有識法衣」とある(『江戸看板図譜』林美一　参照、)<br>・『江戸看板図譜』p165の写真は本目の状態から見て、本資料に写る資料の裏面の可能性がある。<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p36林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p165「第395図　法衣の形を切抜いた珍しい看板」三樹書房1977p165「第395図　法衣の形を切抜いた珍しい看板」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-20 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 燧金屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央) | | ・燧金(ひうちがね)に模した看板に「請合」とある(『江戸看板図譜』林美一　参照、)<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p47『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』[横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p129「14　看板　国文学研究資料館史料館　火打鎌の看板」横浜市歴史博物館2002p129「14　看板　国文学研究資料館史料館　火打鎌の看板」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-21 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | ひさご屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・ひょうたんに模した看板に「ひさご」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p48 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-22 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 櫛、笄、簪、眼鏡屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・板看板に櫛、笄、簪、眼鏡を模した形が張られている<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』[『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p39 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 2-23 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 袋物、巾着屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・巾着袋に模した看板<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p37 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-24 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 銅器師の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・丸取っ手が二つに犬の飾りを施した蓋月の入れ物に模した看板に「銅器師」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p46 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-25 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 提灯屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・提灯に模した看板に「八十　守」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p50 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-26 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 絵馬状の地の上に二つの正方形が付いた板看板 | | | | 7(鉛筆、中央) | | ・絵馬状の地の上に二つの正方形が付いた板看板、何屋か不明<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p52 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-27 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 扇子屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央) | | ・扇子紙状の地の板看板に「御扇子　口絡舞扇」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-28 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 甕、壺屋、あるいは葉茶屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・甕や壺に模した看板、これが茶壺なら葉茶屋になるか<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p49 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-29 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 錠前屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・錠前に模した看板に「鍵万」とある。『江戸看板図譜』に「(国立史料館蔵の看板には)表側には中央に鍵穴をつけ、鍵万と彫込み、裏には、かぎやと彫っている」として当資料の裏側と思われる写真を載せている<br>・『江戸看板図譜』p196の写真は木目の状態から見て、本資料に写る資料の裏面の可能性がある。<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p34林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p196「第476図　錠前の模型看板。国立史料館蔵。」三樹書房1977p196「第476図　錠前の模型看板。国立史料館蔵。」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-30 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 溜醤油屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・醤油壺に模した看板に「溜醤油」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p49 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-31 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 打保屋の長暖簾 | | | | 4(鉛筆、中央) | | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.116「のれん」に関した写真ヵ | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p29 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-32 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518] | 表具師渡邊精炎堂の半暖簾 | | | | 4(鉛筆、中央) | | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.116「のれん」に関した写真ヵ | | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-33 | | | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央) | 石屋の看板 | | | | 4(鉛筆、中央、90度回転した状態) | | ・石灯籠に模した看板に「石長」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 2-34 | | 写1-17-6-1-40 | 【表面】<br>33(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA] | 写真やネガを入れる双美商会の袋 | | | | | | ・袋裏面には<br>「高級カメラ　　カメラの修理は迅速確実<br>優良付属品と材料　　交感お引取りも致します<br>ダイヨット<br>ネガカバー<br>ネガの修理に便利安全優美　双美商会<br>東京都中央区銀座4の2 | | 国文学研究資料館 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 3-1 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 大工道具屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 81×115 | ・前挽大鋸に模した看板<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p46 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-2 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 墨、筆屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 116×80 | ・筆に模した看板に「すみ処」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p41 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-3 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 櫛屋の看板 | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 118×79 | ・櫛に模した看板に入山型で「サ」の字の商標が入っている(『江戸看板図譜』林美一　参照。)<br>・『江戸看板図譜』林美一に掲載されている写真の出典には『看板図譜』とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p38林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p139「第332図　櫛屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p139「第332図　櫛屋の看板。『看板図譜』より。」 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-4 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 酒屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 117×80 | ・貧乏徳利に模した看板に「どぶ六」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p53 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-5 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 三味線、張り替え屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 119×80 | ・板看板に穴を切り抜きそこに三味線を模したものを付してあり「はりかえ処　三味線」とある<br>・写真裏面記載「9」はその書き方により推定<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p42 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-6 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 大工道具屋の看板 | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 115×82 | ・鋸に模した看板に「大工道具　一万」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p46 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-7 | | 写1-17-6-3-16 | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 絵馬屋の看板 | | | | 9(鉛筆、中央、90度回転した状態、丸囲み字) | 81×117 | ・絵馬に模したやや縦長の看板に「ゑまや」とある(『江戸看板図譜』林美一　p.89参照。)<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-8 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 鏡屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 118×81 | ・板看板に丸鏡に模した形と「御鏡所」とある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-9 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 提灯、傘屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 120×80 | ・傘に模した看板に「丁ちん」とある<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p39 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-10 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 茶釜屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央) | 80×119 | ・茶釜に模した看板に「御釜師」とある<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p42 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-11 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture&hotography]<br>[Cameras&Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 竪木細工屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 120×82 | ・木槌に模した看板に「かたぎや」とある<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある<br>・『江戸のモノづくり　資料編』に「竪木細工　かたぎや」p.86とあり題名はこれによった<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考』p.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p47 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 3-12 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 「はけや御道具いろいろ」の看板 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 117×80 | ・卒塔婆のように長い板看板に「はけや御道具いろゝ」とある<br>・写真裏面記載の「6」はあるいは「9」の可能性もある<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p50 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-13 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | 薬屋の看板 | | | | 6(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 117×80 | ・(「ウルエス　長崎健壽堂」などとあり、ウルエスとは「空ス」の文字をばらした言葉で下剤薬のこと(http://allabout.co.jp/contents/sp_newyearholidays_mod_c/eventkansai/CU20060915K/index5/　参照。)<br>・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p44 | 国文学研究資料館 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-14 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 118×81 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p42 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-15 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 7(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 119×81 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p49 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-16 | | 写1-17-6-3-7 | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 6(鉛筆、中央) | 80×118 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p35 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-17 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央) | 116×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p34林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p60「第109図　糸屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p60「第109図　糸屋の看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-18 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 118×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p54林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p183「第441図　幕末の上方の質屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p183「第441図　幕末の上方の質屋の看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-19 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 121×81 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p37林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p214「第531図　「本びんらうじ染」の看板。文字は黒漆塗である。『看板図譜』より。」三樹書房1977p214「第531図「本びんらうじ染」の看板。文字は黒漆塗である。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-20 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 119×81 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p51林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p115「第263図　同上実物。『看板図譜』より。」三樹書房1977p115「第263図　同上実物。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-21 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 121×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p47林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p108「第245図　引手金物屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p108「第245図　引手金物屋の看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-22 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央) | 81×120 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』『日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p43 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 17 | 6 | 3-23 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 119×79 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p38 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-24 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | 117×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p46林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p254「第644図　呑口屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p254「第644図　呑口屋の看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-25 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | 120×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p52林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p327「第880図　同前。」三樹書房1977p327「第880図　同前。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-26 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | 119×81 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p38林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p263「第676図　縫針屋の看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p263「第676図　縫針屋の看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-27 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | 5(鉛筆、中央)<br>□(鉛筆、右、レチェック力) | 117×79 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p39林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p131「第310図　同上。」三樹書房1977p131「第310図　同上。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-28 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれ | | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | 116×80 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p42林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p260「第663図　茶壺形の切抜き看板。『看板図譜』より。」三樹書房1977p260「第663図　茶壺形の切抜き看板。『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-29 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA]<br>[TEL.(56)0636.0846.2518]<br><br>【裏面】<br>[REMARKS]12(印字黒、鉛筆、中央、12は丸で囲まれている) | | | | | □(鉛筆、左、レチェック力) | 116×79 | ・掲載刊行物『犬歩当棒録』「日本広告史小考 jp.117に同一の写真はないが同紙写真下キャプションに「広告看板とその店の板画(実業史博物館遠藤氏の好意による)」とあり何らかの関係があると思われる | 渋沢敬三・遠藤武・吉田茂『図説日本広告変遷史』中部日本新聞社1961p46林美一『江戸看板図譜』三樹書房1977三樹書房1977p232「第590図 『看板図譜』より。」三樹書房1977p232「第590図 『看板図譜』より。」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 6 | 3-30 | | | 【表面】<br>29(鉛筆、上)<br>[Culture＆hotography]<br>[Cameras＆Photo]<br>[Supplies]<br>[FUTAMISHOKAI]<br>[4th.ST. GINZA] | 写真やネガを入れる双美商会の袋 | | | | | | ・袋裏面には<br>「⑫(鉛筆)<br>高級カメラ　カメラの修理は迅速確実<br>優良付属品と材料　交感お引取りも致します<br>ダイヨット<br>ネガカバー<br>ネガの修理に便利安全優美　双美商会 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 1 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 237×153 | 写1-17-7はこれを収める封筒がないため、封筒記載文には写1-17-1～11がまとめて入れられていた写1-17-12の内容を記載した。 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 2 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 234×153 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 3 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 237×153 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 4 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 235×153 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 5 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 235×153 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 17 | 7 | 6 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 153×204 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 17 8 1 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 155(赤鉛筆、右上) | 103×72 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 2 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | イギリス(鉛筆、上) | 80×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 3 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 150(赤鉛筆、右上) | 103×72 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 4 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | (77)(右上)<br>2-8(鉛筆、左上)<br>1寸8分＜■＞(鉛筆、中央) | 145×103 | ・写真裏面にトリミングの指示線あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 5 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 78×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 6 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 77×115 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 7 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 76×115 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 8 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 9 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 10 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 141(赤鉛筆、右上) | 80×105 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 11 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 80×105 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 12 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 80×105 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 13 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 139(赤鉛筆、右上) | 80×105 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 14 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 105×80 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 15 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 116×77 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 16 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 17 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 166×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 8 18 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 166×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 1 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 2 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 3 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 4 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 5 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 6 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 7 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 8 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 9 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 10 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 11 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 12 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 13 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 9 14 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 164×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 10 1 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Oiyan」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE211、「YAMI DRAWING OF FISHES (6)」Middle:Oiyan | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 10 2 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Mauriurit」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE208、「YAMI DRAWING OF FISHES (3)」Below:Mauriurit | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 10 3 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Rigi」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE208、「YAMI DRAWING OF FISHES (3)」Top:Rigi | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 17 10 4 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Magarat」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE209、「YAMI DRAWING OF FISHES (4)」Middle:Magarat | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 10 5 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Matavasobibi」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE208、「YAMI DRAWING OF FISHES (3)」Middle:Matavasobibi | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 10 6 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Ivoao」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE209、「YAMI DRAWING OF FISHES (4)」Top:Ivoao | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 10 7 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | ヤミ族が描いた魚<br>「Gagai」 | | | | ・記載なし | 122×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE211、「YAMI DRAWING OF FISHES (6)」Top:Gagai | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 17 11 1 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×141 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 2 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 不採用(鉛筆、縦書、中央) | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 3 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 4 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 5 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 6 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 7 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 8 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 9 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 10 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 11 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 12 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 165×122 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 13 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 14 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | 252-26(鉛筆、中央) | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 15 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 16 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 117×160 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 17 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 122×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 18 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 78×116 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 19 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 101×70 | 裏面に貼付されていたのを剝がした痕跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 20 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 78×117 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 21 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 101×72 | 裏面に貼付されていたのを剝がした痕跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 11 22 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | | | | | ・記載なし | 87×185 | 雑誌の切り抜きヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 17 12 | | | 瞬間の累積(黒マジック、中央)<br>計画(黒マジック、中央) | (封筒) | | | | | | 東京都教育委員会の茶封筒、330×238 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 1 | 静岡県 | 写1-18-3-13 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 大川四郎左衛門翁 | | | | ・記載なし | 98×69 | ・写1-18-1-1と写1-18-3-13は同一のもの(焼増しヵ)<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「大川四郎左衛門翁」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p52『大川四郎左衛門横浜市歴史博物館2002p52『大川四郎左衛門 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 静岡県内浦村『豆州内浦漁民史料』上巻による | |
| 写1 18 1 2 | 静岡県 | | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 大川家長屋門 | | | | ・記載なし | 76×110 | ・写1-18-1-2と写1-18-1-3と写1-18-1-4は同一のもの(焼増しヵ)<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第三圖 大川家長屋門」 | | | | | | | | 不明 | | 静岡県内浦村『豆州内浦漁民史料』上巻による | |
| 写1 18 1 3 | 静岡県 | | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 大川家長屋門 | | | | ・記載なし | 76×110 | ・写1-18-1-2と写1-18-1-3と写1-18-1-4は同一のもの(焼増しヵ)<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第三圖 大川家長屋門」 | | | | | | | | 不明 | | 静岡県内浦村『豆州内浦漁民史料』上巻による | |
| 写1 18 1 4 | 静岡県 | | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 大川家長屋門 | | | | 6-2(鉛筆、左上) | 76×110 | ・写1-18-1-2と写1-18-1-3と写1-18-1-4は同一のもの(焼増しヵ)<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第三圖 大川家長屋門」 | | | | | | | | 不明 | | 静岡県内浦村『豆州内浦漁民史料』上巻による | |
| 写1 18 1 5 | 静岡県 | 写1-18-1-6 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 北條家朱印状[永正十五年十月八日] | | | | ・記載なし | 109×146 | ・写1-18-1-5と写1-18-1-6は同一のもの(焼増しヵ)<br>・当該資料の翻刻がアチックミューゼアム『豆州内浦漁民史料 上巻』p.1に記載されている<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第四図 北條家朱印状[永正十五年十月八日]」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p54「5 北条家朱印状(模写)」横浜市歴史博物館2002p54「5 北条家朱印状(模写)」渋沢敬三『大歩当棒録』角川書店1961年p51「永正15年北条氏虎印状 北条早雲逝去の前年のもの(内浦大川家文書) | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 6 | 静岡県 | 写1-18-1-5 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 北條家朱印状[永正十五年十月八日] | | | | ・記載なし | 110×147 | ・写1-18-1-5と写1-18-1-6は同一のもの(焼増しヵ)<br>・当該資料の翻刻がアチックミューゼアム『豆州内浦漁民史料 上巻』p.1に記載されている<br>・題名は引用・使用媒体による | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第四図 北條家朱印状[永正十五年十月八日]」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p54「5 北条家朱印状(模写)」横浜市歴史博物館2002p54「5 北条家朱印状(模写)」渋沢敬三『大歩当棒録』角川書店1961年p51「永正15年北条氏虎印状 北条早雲逝去の前年のもの(内浦大川家文書) | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 7 | 静岡県 | 写1-18-1-8<br>写1-18-1-9 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 北條家朱印状 | | | | ・記載なし | 155×115 | ・文書の虎印判、年代、宛名、作成者の部分を接写したもの<br>・写1-18-1-7と写1-18-1-8と写1-18-1-9は同一のもの(焼増しヵ) | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第四図 北條家朱印状[永正十五年十月八日]」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 8 | 静岡県 | 写1-18-1-7<br>写1-18-1-9 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 北條家朱印状 | | | | ・記載なし | 155×115 | ・文書の虎印判、年代、宛名、作成者の部分を接写したもの<br>・写1-18-1-7と写1-18-1-8と写1-18-1-9は同一のもの(焼増しヵ) | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第四図 北條家朱印状[永正十五年十月八日]」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 9 | 静岡県 | 写1-18-1-7<br>写1-18-1-8 | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | 北條家朱印状 | | | | ・記載なし | 155×115 | ・文書の虎印判、年代、宛名、作成者の部分を接写したもの<br>・写1-18-1-7と写1-18-1-8と写1-18-1-9は同一のもの(焼増しヵ) | 渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻 アチック・ミューゼアム彙報第二〇アチックミューゼアム1937口絵「第四図 北條家朱印状[永正十五年十月八日]」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 1 10 | | | 伊豆内浦(黒マジック、縦書、左上) | (封筒) | | | | × | 208×142 | 茶封筒、裏面に〔東京都芝区三田綱町十番地 アチック ミユウゼアム 澁澤敬三〕と印刷あり | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 2 | 1 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-2<br>写1-18-2-3 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 青森八戸・岩手種市塩釜跡附近鳥居 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラサマアソビ他を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-1と写1-18-2-2と写1-18-2-3は同一のもの(焼増しか)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照、因みに同16ミリフィルム16:04に鳥居が二つ遠景に見えこのあたりでの撮影かと考えられる | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:02 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 2 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-1<br>写1-18-2-3 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 岩手種市塩釜跡附近鳥居 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラサマアソビ他を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-1と写1-18-2-2と写1-18-2-3は同一のもの(焼増しか)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照、因みに同16ミリフィルム16:04に鳥居が二つ遠景に見えこのあたりでの撮影かと考えられる | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:02 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 3 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-1<br>写1-18-2-2 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 岩手種市塩釜跡附近鳥居 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラサマアソビ他を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-1と写1-18-2-2と写1-18-2-3は同一のもの(焼増しか)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照、因みに同16ミリフィルム16:04に鳥居が二つ遠景に見えこのあたりでの撮影かと考えられる | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:02 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 4 | 岩手県 | 写1-18-2-5 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 塩釜跡 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものヵ<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・写1-18-2-4と写1-18-2-5は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に台紙に貼られていた形跡あり | 渋沢史料館所蔵渋沢フィルム「種市海岸塩釜跡」(昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム)<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 5 | 岩手県 | 写1-18-2-4 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 塩釜跡 | | | | 本文(鉛筆、縦書) | 108×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものヵ<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・写1-18-2-4と写1-18-2-5は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に台紙に貼られていた形跡あり | 渋沢史料館所蔵渋沢フィルム「種市海岸塩釜跡」(昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム)<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 6 | 岩手県 | 写1-18-2-7<br>写1-18-17-10 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 稲ハザ掛け | | | | 1(鉛筆、中央、丸囲み字) | 108×154 | ・昭和8年9月期旅行の16ミリフィルム田沢仙岩峠を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-6と写1-18-2-7は同一のもの(焼増しか) | 16ミリフィルム「田沢仙岩峠」12:50渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「稲の文化　稲ハザ(岩手県雫石)」産業経済新聞社1955口絵「稲の文化　稲ハザ(岩手県雫石)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 岩手県沢地村16ミリフィルム「田沢仙岩峠」による | |
| 写1 | 18 | 2 | 7 | 岩手県 | 写1-18-2-6<br>写1-18-17-10 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 稲ハザ掛け | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和8年9月期旅行の16ミリフィルム田沢仙岩峠を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-6と写1-18-2-7は同一のもの(焼増しか) | 16ミリフィルム「田沢仙岩峠」12:50渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「稲の文化　稲ハザ(岩手県雫石)」産業経済新聞社1955口絵「稲の文化　稲ハザ(岩手県雫石)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 岩手県沢地村16ミリフィルム「田沢仙岩峠」による | |
| 写1 | 18 | 2 | 8 | 山形県 | 写1-18-2-9<br>写1-18-17-7 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | アラメ・カジメの切干 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-8と写1-18-2-9は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に左上から右下に掛けて斜線が引いてある | 16ミリフィルム「飛島」07:55渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　アラメ、カジメ等切って乾す」産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　アラメ、カジメ等切って乾す」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 9 | 山形県 | 写1-18-2-8<br>写1-18-17-7 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | アラメ・カジメの切干 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-8と写1-18-2-9は同一のもの(焼増しか) | 16ミリフィルム「飛島」07:55渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　アラメ、カジメ等切って乾す」産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　アラメ、カジメ等切って乾す」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 10 | 山形県 | 写1-18-2-11<br>写1-18-17-32 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 子供達 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-10と写1-18-2-11は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に台紙に貼られていた形跡あり<br>・渋沢フィルム10「飛島」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)で「浦から法木へ途中所見」としたキャプションの後の映像にあり | 16ミリフィルム「飛島」07:15渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　子供達」<br>産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　子供達」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島、浦から法木『犬歩当棒録』旅譜、16ミリフィルム「飛島」による | |
| 写1 | 18 | 2 | 11 | 山形県 | 写1-18-2-10<br>写1-18-17-32 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 子供達 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-10と写1-18-2-11は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に台紙に貼られていた形跡あり<br>・写真裏面に左上から右下に掛けて斜線が引いてある<br>・渋沢フィルム10「飛島」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)で「浦から法木へ途中所見」としたキャプションの後の映像にあり | 16ミリフィルム「飛島」07:15渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　子供達」<br>産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島　子供達」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島、浦から法木『犬歩当棒録』旅譜、16ミリフィルム「飛島」による | |
| 写1 | 18 | 2 | 12 | 秋田県 | 写1-18-2-13<br>写1-18-17-21 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 藤琴の駒踊り | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたものか<br>・写1-18-2-12と写1-18-2-13は同一のもの(焼増しか)<br>・撮影地、撮影年月日は16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他、『犬歩当棒録』旅譜からの推定。 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」18:27 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 秋田県藤琴(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 2 | 13 | 秋田県 | 写1-18-2-12<br>写1-18-17-21 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 藤琴の駒踊り | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたものか<br>・写1-18-2-12と写1-18-2-13は同一のもの(焼増しか)<br>・撮影地、撮影年月日は16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他、『犬歩当棒録』旅譜からの推定。 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」18:27 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 秋田県藤琴(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 2 | 14 | 青森県 | 写1-18-2-15<br>写1-18-17-16 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 飛島のアカエイ<br>(刊行物旅譜記載による) | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものか<br>・写1-18-2-14と写1-18-2-15は同一のもの(焼増しか) | 16ミリフィルム「飛島」07:05 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 15 | 青森県 | 写1-18-2-14<br>写1-18-17-16 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 飛島のアカエイ<br>(刊行物旅譜記載による) | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものか<br>・写1-18-2-14と写1-18-2-15は同一のもの(焼増しか) | 16ミリフィルム「飛島」07:05 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 16 | 不明 | 写1-18-2-17<br>写1-18-17-8 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 山での運び出し | | | | ・記載なし | 108×154 | ・何を運ぼうとしているのか詳細については不明、フィルム自体からの写真と考えられるが元フィルムは不明、木地屋の材料を切りだしたものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 17 | 不明 | 写1-18-2-16<br>写1-18-17-8 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 山での運び出し | | | | ・記載なし | 108×154 | ・何を運ぼうとしているのか詳細については不明、フィルム自体からの写真と考えられるが元フィルムは不明、木地屋の材料を切りだしたものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 18 | 青森県 | 写1-18-2-19<br>写1-18-17-14 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ×(鉛筆、中央) | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたものか<br>・写1-18-2-18と写1-18-2-19は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に台紙に貼られていた形跡あり | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」12:18渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び　(八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」<br>産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び　(八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 2 | 19 | 青森県 | 写1-18-2-18<br>写1-18-17-14 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・写1-18-2-18と写1-18-2-19は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」12:18洪沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び （八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」<br>産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び （八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 20 | 青森県 | | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしらさま遊びで使用したオシラサマニ体 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」18:32 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 21 | 不明 | 写1-18-17-5 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 草木からの糸撚り | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:36 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 22 | 不明 | 写1-18-2-23<br>写1-18-17-13 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 並木道 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・フィルムによると車からの撮影、写1-18-2-21と写1-18-2-23はカットは違うが同じ道路の写真ヵ | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」19:28 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 23 | 不明 | 写1-18-2-22<br>写1-18-17-13 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 並木道 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・フィルムによると車からの撮影、写1-18-2-21と写1-18-2-23はカットは違うが同じ道路の写真ヵ | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 24 | 青森県・岩手県 | 写1-18-17-23<br>河1-29-16-1<br>河1-29-15-4 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:22 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、渋沢敬三『犬歩当棒録』旅譜 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 25 | 青森県・岩手県 | | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 塩釜の跡 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 26 | 青森県 | 写1-18-2-27<br>写1-18-17-19 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 地引網漁 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)を写真にしたもの<br>・写1-18-2-26と写1-18-2-27-3は同一のもの(焼増しカ)<br>・撮影地域は16ミリフィルム内のテロップによる | 16ミリフィルム「飛鳥」16:32 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～16ミリフィルム「飛鳥」、『犬歩当棒録』旅譜による | 十三村16ミリフィルム「飛鳥」内テロップによる | |
| 写1 | 18 | 2 | 27 | 青森県 | 写1-18-2-26<br>写1-18-17-19 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 地引網漁 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)を写真にしたもの<br>・写1-18-2-26と写1-18-2-27-3は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「飛鳥」16:32 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～16ミリフィルム「飛鳥」、『犬歩当棒録』旅譜による | 十三村16ミリフィルム「飛鳥」内テロップによる | |
| 写1 | 18 | 2 | 28 | 青森県・岩手県 | 写1-18-17-24<br>河1-29-16-2 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 2 | 29 | 青森県 | 写1-18-2-30<br>写1-18-17-22 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 丸太を組み壁上にしたもの | | | | ・記載なし | 108×154 | ・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)を写真にしたもの<br>・写1-18-2-29と写1-18-2-30-3は同一のもの(焼増しカ)<br>・撮影地域は16ミリフィルム内のテロップによる | 16ミリフィルム「飛鳥」17:41 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～16ミリフィルム「飛鳥」、『犬歩当棒録』旅譜による | 龍飛岬または帯島16ミリフィルム「飛鳥」内テロップによる | |
| 写1 | 18 | 2 | 31 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-32<br>写1-18-17-6 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 流れ昆布取り | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがあり、それを参考に同地域・同海岸と考え、題名・県名等はそれを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:13 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 32 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-31<br>写1-18-17-6 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 流れ昆布取り | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがあり、それを参考に同地域・同海岸と考え、題名・県名等はそれを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:13 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 33 | 山形県 | 写1-18-2-34<br>写1-18-17-3 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしやく島(御積島)のサイの河原 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛鳥を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-33と写1-18-2-34は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「飛鳥」11:47洪沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　おしやく島のサイの河原（昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」『産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　おしやく島のサイの河原（昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による | 飛鳥『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 34 | 山形県 | 写1-18-2-33<br>写1-18-17-3 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしやく島(御積島)のサイの河原 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛鳥を写真にしたものヵ<br>・写1-18-2-33と写1-18-2-34は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「飛鳥」11:47洪沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　おしやく島のサイの河原（昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」『産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　おしやく島のサイの河原（昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による | 飛鳥『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 35 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-36 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 流れ昆布採集具 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照<br>・写1-18-2-35と写1-18-2-36は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:52洪沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」産業経済新聞社1955p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 36 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-35 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | 流れ昆布採集具 | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照<br>・写1-18-2-35と写1-18-2-36は同一のもの(焼増しカ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:52洪沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」産業経済新聞社1955p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 37 | 青森県 | 写1-18-17-15 | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・写1-18-2-37と写1-18-2-38は同一の被写体の別カット | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」13:08 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 38 | 青森県 | | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ・記載なし | 108×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・写1-18-2-37と写1-18-2-38は同一の被写体の別カット | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」12:34 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 2 | 39 | × | | 東北所見「一六ミリ」ヨリ(黒フェルトペン、縦書、左) | (封筒) | | | | × | 240×142 | ・アチックミュウゼアムの封筒を使っている、渋沢敬三行<br>・茶封筒 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 3 | 1 | 青森県 | 写1-18-17-20 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 津軽深澤の地蔵堂 | | | | ・記載なし | 72×102 | ・刊行物記載によると「二間四方程のお堂の中に、親地蔵を中心に、その周囲に沢山の小さい地蔵様が並んでいる」(p16) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『産業経済新聞社1955年p16「4津軽北部の地蔵堂」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「津軽北部の地蔵堂」平凡社1992p173「津軽北部の地蔵堂」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽十三途上、深澤の地蔵堂」 | | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による | 深沢引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 3 | 2 | 青森県 | 写1-18-3-3 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 縄を担ぎ簪と頬冠りをした女性三人(正面) | | | | ・記載なし | 80×106 | ・写1-18-3-2と写1-18-3-3は同一のもの(焼増しカ) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p142-143「十三途上所見」16ミリフィルム「飛島」0.604166666666667「津軽乙女」と題された小題が入る辺り | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 木造町郊外引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 写1 | 18 | 3 | 3 | 青森県 | 写1-18-3-2 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 縄を担ぎ簪と頬冠りをした女性三人(正面) | | | | ・記載なし | 80×106 | ・写1-18-3-2と写1-18-3-3は同一のもの(焼増しカ)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p142-143「十三途上所見」16ミリフィルム「飛島」0.604166666666667「津軽乙女」と題された小題が入る辺り | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 木造町郊外引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 写1 | 18 | 3 | 4 | 青森県 | 写1-18-17-26 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 津軽十三村、コミセ(雁木)の前の女性四人 | | | | ・記載なし | 78×101 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p150-151「津軽十三町内所見」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 十三引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 5 | 青森県 | 写1-18-17-27 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 津軽十三村、丸太の垣根 | | | | ・記載なし | 78×102 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p150-151「津軽十三街路の塀」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 十三引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 6 | 青森県 | 写1-18-17-34 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 漁船の碇 | | | | ・記載なし | 78×100 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「龍飛岬にて　漁船の碇」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「龍飛岬にて。漁船の碇」平凡社1992p167「龍飛岬にて。漁船の碇」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p164-165「碇　龍飛岬にて」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 龍飛岬引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 7 | 青森県 | 写1-18-17-2 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | シイッコサマ(シイッコサマ夫妻)(刊行物記載による) | | | | 1(鉛筆、上、丸囲み字)<br>文文(鉛筆、縦書、90度回転した状態)<br>213(鉛筆、丸囲み字)<br>8(赤鉛筆) | 75×110 | ・撮影地域は旅譜による推定<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p17、119「5　シイツコサマ夫妻」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「シイッコサマ」平凡社1992p173「シイッコサマ」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽　シイッコサマ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和6年(1931年)6月～『東北犬歩当棒録』p.119図版説明補足「一」、『犬歩当棒録』旅譜による | アチックミューゼアム(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 3 | 8 | 青森県 | 写1-18-17-25 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 竜飛岬 | | | | ・記載なし | 75×110 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p9「2　竜飛岬」渋沢敬三『祭魚洞雑録』p164-165「竜飛岬」p164-165「竜飛岬」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 龍飛岬引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 9 | 宮城県 | | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 瞑想の松 | | | | 59(鉛筆) | 114×82 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p115「26　瞑想の松」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 仙台引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 10 | 秋田県 | | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 菅江真澄翁の墓 | | | | 本文(鉛筆) | 103×68 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p67「16　菅江真澄翁の墓」 | | | | | | | 不明 | 昭和17年(1942年)7月～『犬歩当棒録』旅譜による | 秋田引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 3 | 11 | 宮城県 | 写1-18-17-1 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 籾痕ある土器底部(刊行物記載による) | | | | ・記載なし | 148×110 | ・被写体の土器の出土場所は宮城県多賀城村枡形囲の貝塚(『東北犬歩當棒録』p.4による) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p5「1　籾痕ある土器底部」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 3 | 12 | 青森県 | 写1-18-17-29 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | シイッコサマ | | | | ・記載なし | 158×104 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p19「6　津軽のシイツコサマ」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「シイツコサマ」平凡社1992p173「シイッコサマ」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽車力　シイツコサマ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 青森県西津軽郡車力引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 写1 | 18 | 3 | 13 | 静岡県 | 写1-18-1-1<br>写1-29-22-18 | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | 大川四郎左衛門翁 | | | | ・記載なし | 97×70 | ・題名は引用・使用媒体による<br>・写1-18-1-1と写1-18-3-13は同一のもの(焼増しカ) | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002p52「大川四郎左衛門」<br>渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』上巻　アチック・ミューゼアム彙報第201937口絵「第三図　大川四郎左衛門翁」1937口絵「第三図　大川四郎左衛門翁」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 静岡県内浦村『豆州内浦漁民史料』上巻による | |
| 写1 | 18 | 3 | 14 | × | | 東北風物(黒フェルトペン、縦書、左) | (封筒) | | | | × | 240×142 | ・アチックミュウゼアムの封筒を使っている、渋沢敬三行<br>・茶封筒 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 4 | 1 | | | ムツゴロウ(黒マジック、縦書、左上)<br>東京市麹町区丸ノ内一ノ一第一銀行本店　八十島親義[様][送先](縦書、左) | | | | | ・記載なし | 85×59 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 4 | 2 | | | ムツゴロウ(黒マジック、縦書、左上)<br>東京市麹町区丸ノ内一ノ一第一銀行本店　八十島親義[様][送先](縦書、左) | | | | | ・記載なし | 85×59 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 4 | 3 | | | ムツゴロウ(黒マジック、縦書、左上)<br>東京市麹町区丸ノ内一ノ一第一銀行本店　八十島親義[様][送先](縦書、左) | (封筒) | | | | | | ・織田写真館の封筒、150×98 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 5 | 1 | 岩手県 | | 捕魚捕鳥(中尊寺)(黒ペン、縦書) | 釣と四手網(中尊寺経巻扉絵) | | | | 4-1 （鉛筆、横書） | 160×116 | ・本資料は「式内水産物需給試考」(『祭魚洞襍考』)に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三「式内水産物需給試考」(『祭魚洞襍考』)岡書院1954年p174「釣と四手網」(中尊寺経巻扉絵)」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 5 | 2 | 岩手県 | | 捕魚捕鳥(中尊寺)(黒ペン、縦書) | 釣と四手網(中尊寺経巻扉絵) | | | | | 4-2 (鉛筆、横書) | 160×116 | ・本資料は「式内水産物需給試考」(『祭魚洞襍考』)に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三「式内水産物需給試考」『祭魚洞襍考』岡書院1954年p174「釣と四手網」(中尊寺経巻扉絵)」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 5 | 3 | | | 捕魚捕鳥(中尊寺)(黒ペン、縦書) | (封筒) | | | | | | | ・表面に〔東京市芝区三田綱町十番地 アチック ミユウゼアム 澁澤敬三 行〕と印刷された茶封筒、207×143 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-1 | 新潟県 | ア-32-24 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書) | 大小二つの天草取の桶(ハギリ、底面) | | | | ・記載なし | 64×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-24のネガフィルム。ア-32-24の写真資料記載に「早川 天草取ノ桶(ハギリ)」とある<br>・桶の底部に「ㅅ三」の印がある。撮影されている二つの桶の底部には縄状のものが通されている<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 早川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-2 | 新潟県 | ア-32-19 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書) | 村上町の市 | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・本資料はア-32-19のネガフィルム村上町の市を撮影したもの。道路には洗沢、伊豆川洗吾らしき人物が見える<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による、台紙記載の「二.七日」については詳細不明) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-3 | 新潟県 | ア-32-23 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書) | 大小二つの天草取の桶(ハギリ) | | | | ・記載なし | 65×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-23のネガフィルム。ア-32-23の台紙記載によると上海府村早川(現新潟県村上市早川地区)でハギリ(桶)を撮影したもの<br>・本資料の台紙記載によると右が「一番」と称するもので、左が「子供用」とある。『村上市史』p.567によると「潜るときは、天採り桶(ハンゾウ)の底から細縄をつけて、その縄の端を腰に結ぶ。」とある。また『図説日本民俗誌 新潟』(新潟県民俗学会 1989年)pp.23-24には「てんぐさ採り」「磯漁」の写真が掲載されており、本資料の「一番」のハギリはその大きさから磯漁に使われたとも考えられる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 早川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-4 | 新潟県 | ア-32-12 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書) | 女性の背負う背負い籠に鮭を入れる男性 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-12のネガフィルム。<br>・背中にニコエカゴを背負い、その中に鮭を入れている。もう一人の人物は、帽子を被り、長靴を履き鮭を入れているようである。本資料左下には、鮭が並べられている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-5 | 新潟県 | ア-32-49<br>河1-29-5-11 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書) | 三面川における鮭の入礼 | | | | ・記載なし | 65×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・三面川の鮭売場。河1-29-5-11のネガフィルム<br>・本資料は地面の上に並べられた鮭を人々が見ている。名前の入った羽織や前掛けが撮影されているが、読み取る事はできない<br>・本資料手前に撮影されている背広に下駄履きの人物はアチック同人ヵ<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川種川岸(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-6 | 新潟県 | ア-32-18 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受][チェック印](鉛筆) | 河原に引き上げられた大網 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-24のネガフィルム<br>・河原に上げられた大網。ア-32-24の台紙には「三面川」とあるため、三面川の河原における撮影ヵ。川原に杭を立て、大網を掛けている<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-7 | 新潟県 | ア-32-17 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受][チェック印](鉛筆) | 鮭の人工孵化 | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-17のネガフィルム。本資料は種川の河原において黒い容器の中に鮭の卵を入れている。本資料中央の帽子を被った人物が雄鮭の精子を絞り出しているようだが、背広を着ているため河原における鮭の人工孵化の体験であると考えられる<br>・『三面川の鮭の歴史』p.99によると、種川における鮭の人工孵化は、村上本町字掘片に孵化場を建て、明治11年12月より内務省農務局の金田帰逸氏の指導を受けていた事が記されている。種川では、天然の増殖法と、孵化場での人工孵化と両立てで鮭の増殖を行なっているという<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-8 | 新潟県 | ア-32-16 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楯西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楯西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受][チェック印](鉛筆) | 三面川の地引き大網 漉、網にかかった鮭 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-16のネガフィルム。引き上げられた網にかかった鮭<br>・網の側に立つ人物たちはツバのある帽子を被り、毛皮らしきものを着ている者、ほっかむりをしている者などを見る事ができる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楯西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-9 | 新潟県 | ア-32-14 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 三面川の地引き大網漁、追舟 | | | | ･記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-14のネガフィルム。本資料は台紙に「大網—追舟」とある事から網をうった後に、鮭を追い込んでいる場面であると考えられる<br>・『村上市史』p.533によると地引き大網漁は「舟は全長33尺、胴幅5尺の大網舟を用いる。アシ(沈子)の部分を舳先側、アバ(浮子)は艫側に積む。船には操船3人、網入れ2人の屈強な若者が乗り込む。まず大網の引き網の端を、川岸の3、4人の若者に持たせる。川岸では網が流されないよう、杭にも綱を懸けている。船は網を投げ入れながら全速力で対岸まで向かう。対岸に着くとそこで待つ。2、3町上流から川舟約12艘が船端を棒でたたきながら、下流に渡された網を目指して鮭を追い込んでいく。鮭の群れが、先に川に渡した網にかかるのを見計らい、対岸で待っていた大網船から残りの網を投げ入れながら、出発した場所の引き綱の方へ川を横切って戻る。この時、大網船の動きに呼応して、最初から引き綱を持っていた3、4人の若者が、いっせいに網をたぐりながら下流に走る。船が岸に着くと、船に乗っていた4人が飛び降り、両方で引き綱を引く」とある<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-10 | 新潟県 | ア-32-13 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 三面川の地引き大網漁、網打ち | | | | ･記載なし | 72×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-13のネガフィルム。本資料は三面川に浮かぶ6艘の川舟を遠景から撮影したもの<br>・鮭を獲るための網うちヵ<br>・『村上市史』p.533によると地引き大網漁は「舟は全長33尺、胴幅5尺の大網舟を用いる。アシ(沈子)の部分を舳先側、アバ(浮子)は艫側に積む。船には操船3人、網入れ2人の屈強な若者が乗り込む。まず大網の引き網の端を、川岸の3、4人の若者に持たせる。川岸では網が流されないよう、杭にも綱を懸けている。船は網を投げ入れながら全速力で対岸まで向かう。対岸に着くとそこで待つ。2、3町上流から川舟約12艘が船端を棒でたたきながら、下流に渡された網を目指して鮭を追い込んでいく。鮭の群れが、先に川に渡した網にかかるのを見計らい、対岸で待っていた大網船から残りの網を投げ入れながら、出発した場所の引き綱の方へ川を横切って戻る。この時、大網船の動きに呼応して、最初から引き綱を持っていた3、4人の若者が、いっせいに網をたぐりながら下流に走る。船が岸に着くと、船に乗っていた4人が飛び降り、両方で引き綱を引く」とある<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-11 | 新潟県 | 河1-29-5-10 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央) | 2艘の川舟 | | | | ･記載なし | 66×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・川に浮かぶ2艘の舟を撮影したもの。本資料手前に撮影されている舟の先頭に立つ人物は、網を張っていると考えられる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の資料であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-12 | 新潟県 | ア-32-15 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 三面川の地引き大網漁、網よせ | | | | ･記載なし | 65×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-1-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア32-15のネガフィルム。河原で網を引いている。川舟は河原近くまで接近している<br>・『村上市史』p.533によると地引き大網漁は「舟は全長33尺、胴幅5尺の大網舟を用いる。アシ(沈子)の部分を舳先側、アバ(浮子)は艫側に積む。船には操船3人、網入れ2人の屈強な若者が乗り込む。まず大網の引き網の端を、川岸の3、4人の若者に持たせる。川岸では網が流されないよう、杭にも綱を懸けている。船は網を投げ入れながら全速力で対岸まで向かう。対岸に着くとそこで待つ。2、3町上流から川舟約12艘が船端を棒でたたきながら、下流に渡された網を目指して鮭を追い込んでいく。鮭の群れが、先に川に渡した網にかかるのを見計らい、対岸で待っていた大網船から残りの網を投げ入れながら、出発した場所の引き綱の方へ川を横切って戻る。この時、大網船の動きに呼応して、最初から引き綱を持っていた3、4人の若者が、いっせいに網をたぐりながら下流に走る。船が岸に着くと、船に乗っていた4人が飛び降り、両方で引き綱を引く」とある<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-1-13 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | (封筒) | | | | ･記載なし | | ・カメラ堂のネガ用封筒、116×153<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>封筒の表面には「楫西[様]と鉛筆で横書され、その下に鉛筆で「十一月十五日一二十三日　村上、新潟地方」とある。その下には印刷された文字で、「カメラと材料品一式　活動写真と附属品　現像・焼付・引伸」とあり、大文字で「カメラ堂」と印刷されている。その下には「麻布区笄町一七六　赤十字社病院正門際　電話赤坂(48)二三二一番　振替東京一六二九八七」と印刷されている<br>・裏面にはライカカメラのイラストと、したに縦書きで「◆御不用のカメラは特別高価に御取引取致します」「◆御交換は是非一度御相談下さる様御勧め致します」「◆カメラの御用は細大共に何でも御申付け下さい」と印刷されている<br><br>・本資料の裏面にあたる写1-18-6-1-1-13-Bの右面は印刷されたマス目に[No.][現像][焼付][引受][擔當]とあり、[No.]に鉛筆で「D5」と横書き、[現像]へ「1」、[焼付]「12」、[引受]「チェック印」、[擔當]「チェック印」がしてある<br>・左面には四角で囲った中に「◆現像焼付…迅速丁寧を主とし特に焼付は原版に応じて適当の印画紙を用い十分御満足の行く様に仕上げます」「◆引伸…小さな原版の一部分が思いがけない立派な写真となる…引伸は弊店の得意とする処です」「複写…古い汚れた写真も見違える様 | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-1 | 新潟県 | ア-32-41 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆 | 魚野川のヤナ、ヤナの鮎入れ | | | | ･記載なし | 67×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-41のネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-41の台紙記載に魚野川とあることからこれによった<br>・ヤナに水を流しいれた瞬間ヵ<br>・本資料の中央には漏斗の付いた箱(生簀箱、箱生簀)が置かれており、その後ろには蓑笠を被った人物が写る、簗にあがったアユをこの箱生簀に手づかみで入れる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-2 | 新潟県 | ア-32-42 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆) | ヤナの鮎入れ | | | | ･記載なし | 66×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア32-42ネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-42の台紙記載に魚野川とあることからこれによった<br>・本資料は写1-18-6-1-2-2と同じく生簀箱が置かれている<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-3 | 新潟県 | ア-32-40 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆) | 魚野川のヤナ、全景 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-40のネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-40の台紙記載に魚野川とあることからこれによった<br>・台紙記載により鮎用のヤナであると考えられる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-4 | 新潟県 | ア-32-44 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆) | 鮭の追込み | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-40のネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-42の台紙記載に魚野川とあることからこれによった<br>・ヤナへの鮭の追込み。川舟を使用し、船頭に立つ人物が竿を水面に入れている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-5 | 新潟県 | ア-32-45 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央) | 鮭の追込み | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-45と同一のネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-45の台紙記載に魚野川とあることからこれによった<br>・被写体は頭にハチマキをし、手に網を持っている。その足元には魚が転がっている<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-6 | 新潟県 | 河1-29-9-9 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央) | 魚野川の鮭を獲るヤナ | | | | ・記載なし | 65×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・河1-29-9-9のネガフィルム。アルバム32の資料とも類似している<br>・ア-32-43の台紙記載によるとヤナを使用した鮭漁。ヤナの上には魚が打ち上げられている<br>・魚野川は「旅譜」に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>備考参照 | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-7 | 新潟県 | ア-32-43 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央) | ヤナの鮭 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-43のネガフィルムであり、撮影地は紙焼きされたア-32-43の台紙記載に魚野川とあることからこれによった。ヤナの上には魚が打ち上げられている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-8 | 新潟県 | ア-32-39 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 中林傳六氏のポートレイト(正面) | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-39のネガフィルム<br>・ア-32-39の台紙記載によると川口村は現新潟県長岡市川口、信濃川と魚野川の合流地点<br>・被写体は帽子を被り、着物に羽織を着ている。背景にある店らしき建物の人物ヵ、あるいは簗場に関わる人物かと考えられる(現在も川口にはやな場がある)<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 川口村(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-9 | 新潟県 | 河1-29-9-8 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 通りにあるガンギ | | | | ・記載なし | 65×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・河1-29-9-8のネガフィルム<br>・本資料は建物の軒先を撮影したもの。手前は木造の建物だが、土台はコンクリートの様な人工物であると考えられる。その奥は大理石らしき石造りの建物<br>・ガンギとは雁木と書く。その用途は『日本民家語彙集解』によると「①新潟県下や長野県下水内郡地方・福井県敦賀市付近などの農家において、主屋の土間の正面に設けた庇を指す呼称。幅1メートルほどで、積雪季の緩衝地帯である。②新潟県下や鳥取県因幡地方・秋田県下などの町家において、主屋や店の道路側におろした幅広の下屋を指す呼称。雨雪の折の通行に利用された。多くは巾1間(1.8メートル)ほどで、板葺きであった」との記述がある<br>・台紙記載によると新潟県十日町での撮影<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 十日町(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-10 | 新潟県 | 河1-29-9-7 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日一二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[擔當]「チェック印」(鉛 | 子安地蔵 | | | | ・記載なし | 63×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・地蔵は笠を被り、左手には赤子を抱え座す。右手には何も無く、錫杖を持つ形に握られている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の場所であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 十日町(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-11 | 新潟県 | 河1-29-9-10 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | 魚野川の鮎漁 | | | | ・記載なし | 68×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-2-12)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・川に設置されたヤナに水を流し込んでいる。ヤナの上には6人の人物がおり、中央に写る人物は着物姿に外套を纏っている。その横の人物も背広姿であり、ヤナの漁をアチック同人と考えられる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>備考参照 | 魚野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-2-12 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | (封筒) | | | | × | | ・カメラ堂のネガ用封筒、116×151<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・封筒の表面には「楫西[様]と鉛筆で横書されてある。その下には印刷された文字で、「カメラと材料品ー式　活動写真と附属品　現像・焼付・引伸」とあり、大文字で「カメラ堂」と印刷されている。その下には「麻布区笄町ー七六　赤十字社病院正門際　電話赤坂(48)ニ三ニ一番　振替東京ー六二九八七」と印刷されている<br>・裏面にはライカカメラのイラストと、したに縦書きで「◆御不用のカメラは特別高価に御取引取致します」「◆御交換は是非一度御相談下さる様御勧め致します」「◆カメラの御用は細大共に何でも御申付け下さい」と印刷されている<br>・本資料の裏面にあたる写1-18-6-1-2-12-Bの右面は印刷されたマス目に「No.][現像][焼付][引受][撥當]とあり、「No.]に鉛筆で「H6」と横書き、「現像」へ「1」、「焼付」「12」、「引受」「チェック印」、「撥當」「チェック印」がしてある<br>・左面には四角で囲った中に「◆現像焼付…迅速丁寧を主とし特に焼付は原版に応じて適当の印画紙を用い十分御満足の行く様に仕上げます」「◆引伸…小さな原版の一部分が思いがけない立派な写真となる…引伸は無店の得意とする処です」「複写…古い汚れた写真も見違える様に立派になります　ぜひ一度御試し下さい」と印字されている | | | | | | | | | | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-1 | 新潟県 | ア-32-6 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | 三艘の川舟 | | | | ・記載なし | 66×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-6と同一のネガフィルム<br>・川辺に置かれた3艘の川舟。右側のものは横に立てかけてある<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について(一)」(民具マンスリー12巻11号 p.4)によると三面川の舟は「長さにくらべ、幅を短くしている」とある。これは三面川に瀬が多く、流れが速いため、水の抵抗を少なくするためだと記述されている。さらに赤羽は三面川の舟の特徴として「ムキあるいは駒木と呼ばれる重木の入った刳舟の系統である」との推測を立てている(p.6)。<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-2 | 新潟県 | 河1-29-5-8 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | 陸にあげられたサメゾラ(川舟) | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・川岸に陸揚げされた川舟。舟の先端は「サメゾラ」と呼ばれる形態となっている<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について(一)」(民具マンスリー12巻11号 p.4)によると三面川の舟は「長さにくらべ、幅を短くしている」とある。これは三面川に瀬が多く、流れが速いため、水の抵抗を少なくするためだと記述されている。さらに赤羽は三面川の舟の特徴として「ムキあるいは駒木と呼ばれる重木の入った刳舟の系統である」との推測を立てている(p.6)。<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 新潟県三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-3 | 新潟県 | ア-32-8 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | 止め簀のガストリ | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア32-8と同一のネガフィルム<br>・止め簀の上に人が立ち、作業を行なっている<br>・ガスとは『三面川の鮭の歴史』p.136によると「ガス除け」と称され、「止め簀」の安全のために上流に設置されるものとされている、ここから「ガス」とはゴミのことか<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-4 | 新潟県 | ア-32-9 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撥當]「チェック印」(鉛 | 止め簀のガストリ | | | | ・記載なし | 67×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-9と同一のネガフィルム<br>・止め簀の上に人が立ち、作業を行なっている<br>・ガスとは『三面川の鮭の歴史』p.136によると「ガス除け」と称され、「止め簀」の安全のために上流に設置されるものとされている、ここから「ガス」とはゴミのことか<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-5 | 新潟県 | ア-32-11 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 鮭運び女の服装 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-11と同一のネガフィルム<br>・本資料の足元の様子から河原での撮影と考えられる。本資料手前にはコエカゴ(ヤマウルシの木で骨組を作り、細縄で編む。『越後三面村布部郷土誌』p.99)が2つ置かれている<br>・被写体は頭に「オカブリ(樹木綿で作る。女子のもので、四季を通じて用いる『越後三面村布部郷土誌』p.88)」をしている。上着の上からミノを着ている<br>・奥にいる2人の人物は、一人は合羽らしきものを着ており、もう一人は山高帽を被っていることから背広姿であろう<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-6 | 新潟県 | ア-32-10<br>ア-32-46 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 村上鮭産育養所種川の碑 | | | | ・記載なし | 62×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-10、ア-32-46と同一のネガフィルム<br>・『三面川の鮭の歴史』p.32によると、『村上種川碑』は藤基神社境内(現新潟県村上市三之町)にあり、「種川碑の撰文は明治になって村上藩に賓師として招かれた、後の東京文科大学教授島田重礼先生が書かれたものです」とあり、藩士の青砥綱義武平次の功績が漢文で書かれる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 種川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-7 | 新潟県 | ア-32-3 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 村上城址より三面川を望む | | | | ・記載なし | 60×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・本資料は村上城址から北に流れる三面川の種川、掘川を撮影している。三面川における川の名称は伊豆川浪吉『越後三面川鮭魚業の史的考察』(『渋沢漁業史研究室報告　第一輯』昭和16年)p.159(170)に表が掲載されている<br>・撮影場所はア-32-2の台帳記載による<br>・ア-32-47と同状況で撮影された写真であることから撮影日はこれによった | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-8 | 新潟県 | ア-32-2 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 村上城址より三面川を望む | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-2と同一のネガフィルム<br>・本資料は村上城址から北に流れる三面川の種川、掘川を撮影している。三面川における川の名称は伊豆川浪吉『越後三面川鮭魚業の史的考察』(『渋沢漁業史研究室報告　第一輯』昭和16年)p.159(170)に表が掲載されている<br>・撮影場所はア-32-2の台帳記載による<br>・ア-32-47と同状況で撮影された写真であることから撮影日はこれによった | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-9 | 新潟県 | ア-32-4 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 張り出された鮭川入札ビラ | | | | ・記載なし | 65×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-4と同一のネガフィルム<br>・本資料は破れたビラを撮影したもの。大部分が破損しており、読める箇所は縦書きで<br>　一　御口<br>　一　又兵衛　口<br>　一　中網　一　大海口<br>　一　寿股<br>　一　十月七日<br>　村上鮭産育養所<br>とある<br>・撮影場所はア-32-4の台帳記載による<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-10 | 新潟県 | ア-32-7 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 三面川の止め簀 | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-7と同一のネガフィルム<br>・三面川を横断してかけられた「止め簀」の遠景<br>・『三面川の鮭の歴史』p.30によると、種川とは「鮭の産卵する川ということです。「種川の制」というのは、今の言葉で云えば鮭の資源保護のために、村上藩がとった制度」とあり、その構造は同書p.136によると「元杭と称し長さ一間半乃至弐間半の松・杉・檜・栗等の杭を、間遠り三本あてに打ち込み、河を横断して基礎となるべき柵を作る」とある<br>・「止め簀」とは「鮭の遡上を止める装置で、河幅全部を遮断するものだが、船筏の通航を自由にするため開閉できるようになっている『三面川の鮭の歴史』(pp.135-136より抜粋)」<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 三面川種川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-11 | 新潟県 | 河1-29-5-9 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | サメヅラ（川舟）の舳の内側 | | | | | ・記載なし | 62×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・川舟の内部を撮影したもの。ア-32-6と類似しており、本資料は陸地を背景に撮影している。<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について（一）」（民具マンスリー12巻11号 p.4）によると三面川の舟は「長さにくらべ、幅を短くしている」とある。これは三面川に瀬が多く、流れが速いため、水の抵抗を少なくするためだと記述されている。さらに赤羽は三面川の舟の特徴として「ムキあるいは駒木と呼ばれる重木の入った刳舟の系統である」との推測を立てている（p.6）。<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙（6×6）であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 新潟県三面川（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-12 | 新潟県 | ア-32-5 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | 馬舟（サメヅラ）の舳内部にある内藤家裏印 | | | | | ・記載なし | 68×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-3-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-5と同一のネガフィルム<br>・本資料は舟の先頭部分に刻印された内藤家印のアップのため、刻印されている場所は舟の先端部<br>・『村上市史』pp.558の図表には「フナダマサマ（屋号の印）、さらにpp.564-565には船大工が舟の完成時に「船魂サマを入れること、あるいは山の神サマが、船魂サマに交代する」との記述がある<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 三面川 | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-3-13 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | （封筒） | | | | × | | ・カメラ堂のネガ用封筒、116×152<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>封筒の表面には「楫西[様]と鉛筆で横書きされてある。その下には印刷された文字で、「カメラと材料品一式　活動写真と附属品　現像・焼付・引伸」とあり、大文字で「カメラ堂」と印刷されている。その下には「麻布区笄町一七六　赤十字社病院正門際　電話赤坂(48)二三二一番　振替東京一六二九八七」と印刷されている<br>・裏面にはライカカメラのイラストと、したに縦書きで「◆御不用のカメラは特別高価に御取引取致します」「◆御交換は是非一度御相談下さる様御勧め致します」「◆カメラの御用は細大共に何でも御申付け下さい」と印刷されている<br><br>・本資料の裏面にあたる写1-18-6-1-3-13-Bの右面は印刷されたマス目に[No.][現像][焼付][引受][撥當]とあり、[No.]に鉛筆で「G6」と横書き、[現像]へ「1」、[焼付]「12」、[引受]「チェック印」、[撥當]「チェック印」がしてある<br>・左面には四角で囲った中に「◆現像焼付…迅速丁寧を主とし特に焼付は原版に応じて適当の印画紙を用い十分御満足の行く様に仕上げます」「◆引伸…小さな原版の一部分が思いがけない立派な写真となる… | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-1 | 新潟県 | 河1-29-9-3 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | 川に浮かぶ艘積の船 | | | | | ・記載なし | 64×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・本資料は大量の革を積んだ川舟を橋の上から撮影したもの。船尾には頭に布を巻いた人物が座っている<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 三面川（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-2 | 新潟県 | ア-32-36 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | 福島潟の風景 | | | | | ・記載なし | 65×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-36と同一のネガフィルム<br>・新潟県新潟市福島潟の風景。<br>・ア-32-36台紙記載の「ガタバタ」は「潟端」の意ヵ<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙（6×6）であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 福島潟（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-3 | 新潟県 | ア-32-37 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撥當]「チェック印」（鉛 | 舟上から流網漁をする男性 | | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-37と同一のネガフィルム。撮影地は台帳記載による<br>・被写体は頭に手拭を巻き、川舟の上から流網を行なっている。その後方には木製の櫓がある<br>・舟の型は「イタアワセ（『村上市史』p.557）」か。<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について（二）」（民具マンスリー13巻4号 p.12）によると福島潟の舟は「十二種類もの多くにわたって」いると述べ、川舟との違いは「イタアワセ」という製作方法によってなされる点を指摘している<br>・日本民具辞典p.405によると流網は「漁網を固定したり、張り立てたりせず、水中に流すような状態で置き、魚が網目に刺さるようにしたり、からませたりして捕獲する刺網の一種」とある<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 福島潟（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-4 | 新潟県 | | 河1-29-9-4 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | ナガシ網 | | | | ・記載なし | 63×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・干されている円柱状の網。網の内部には漏斗状の仕掛けがしてあり、入った獲物を逃がさないようなっている<br>・ア-32-37にナガシ網を行っている資料がある<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 福島潟(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-5 | 新潟県 | | 河1-29-9-6 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | 吊り下げられた複数のドジョウ籠 | | | | ・記載なし | 68×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・竹竿に吊るされた籠。計6つの籠があり、河1-29-9-5と同じ構造(徳利型で漏斗状の返しをもつ)と考えられるが、本資料は小型である。<br>・河1-29-9-6台紙記載によると「カゴ(ドジョウ)」とあるため、筌ではなく籠として使用するものか<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 福島潟(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-6 | 新潟県 | | 河1-29-9-5 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | 置かれた盥とナマズ籠 | | | | ・記載なし | 66×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・地面に置かれた3つの籠。全て同じ徳利型をしており、漏斗状の返しがあると考えられる。その後ろには樽が置かれている。<br>・河1-29-9-5の台紙記載によると「カゴ(ナマズ)」とあるため、筌ではなく籠として使用するものか<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 福島潟(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-7 | 新潟県 | ア-32-38 | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | 網干しに干されている地曳網 | | | | ・記載なし | 62×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-38と同一のネガフィルム<br>・新潟県野積(現新潟県長岡市)にて地曳網を干している風景。丸太を組み合わせた干し台に網がかかっている。撮影地の典拠はア-32-38の台紙記載による<br>・青インクの指紋らしき跡がついている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 野積 | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-8 | 新潟県 | ア-32-34 | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網にかかった鮭 | | | | ・記載なし | 67×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-34と同一のネガフィルム<br>・網にかかった鮭。その後方には網の錘や浮子が見える<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川 | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-9 | 新潟県 | ア-32-32 | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>楫西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[担当]「チェック印」(鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網の浮子(アバ) | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-32と同一のネガフィルム。題名、撮影地はア-32-32の台帳記載による<br>・日本民具辞典p.11によるとアバとは、「漁網を浮かすための木片や樽などのことをいい、「浮く子」の字をあてる。ときには錘にする石のたぐいのこと」とある。本資料では浮子の形は確認できない<br>・手前に砂浜が見えることから地引網と考えられる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-10 | 新潟県 | 河1-29-9-2 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | スマキ(簀巻き) | | | | ・記載なし | 64×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・本資料は湿地に設置されたスマキを撮影したもの<br>・葛塚は「旅譜」に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした | | | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 葛塚(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-11 | 新潟県 | ア-32-35 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | 福島潟の風景 | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・、ア-32-35と同一のネガフィルム。題名、撮影地はア-32-35の台帳記載による<br>・新潟県新潟市福島潟の風景<br>・台紙記載の「ガタバタ」は「潟端」の意ヵ<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 福島潟(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-12 | 新潟県 | ア-32-33 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網引き | | | | ・記載なし | 60×60 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-4-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-33の台紙記載によると網引き、2人づつ4組で地引網を引いている、撮影地は台帳記載による<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-4-13 | 新潟県 | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | (封筒) | | | | × | | ・カメラ堂のネガ用封筒、116×152<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>封筒の表面には「椙西[様]と鉛筆で横書されてある。その下には印刷された文字で、「カメラと材料品一式　活動写真と附属品　現像・焼付・引伸」とあり、太文字で「カメラ堂」と印刷されている。その下には「麻布区笄町一七六　赤十字社病院正門際　電話赤坂(48)二三二一番　振替東京一六二九八七」と印刷されている<br>・裏面にはライカカメラのイラストと、したに縦書きで「◆御不用のカメラは特別高価に御取引取致します」「◆御交換は是非一度御相談下さる様御勧め致します」「◆カメラの御用は細大共に何でも御申付け下さい」と印刷されている<br><br>・本資料の裏面にあたる写1-18-6-1-4-13-Bの右面は印刷されたマス目に[No.][現像][焼付][引受][撸當]とあり、[No.]に鉛筆で「A6」と横書き、[現像]へ「1」、[焼付]「12」、[引受]「チェック印」、[撸當]「チェック印」がしてある<br>・左面には四角で囲った中に「◆現像焼付…迅速丁寧を主とし特に焼付は原版に応じて適当の印画紙を用い十分御満足の行く様に仕上げます」「◆引伸…小さな原版の一部分が思いがけない立派な写真となる… | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-1 | 新潟県 | ア-32-21 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | 上海府村早川全景、遡沿いに並ぶシバニオ | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-21と同一のネガフィルム。題名、撮影地はア-32-21の台帳記載による<br>・上海府村早川(現新潟県村上市早川地区)の風景<br>・シバニオとは『村上市史』p.447によると束ねられたシバは「家に運ばれたシバは、屋敷内に積み上げて、ササなどで覆いを掛けておかれた。これをシバニオと呼んだ。シバニオは積んで一年くらいあとには、薪用に供されたが、ニオがいくつもあって」としている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 上海府村早川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-2 | 新潟県 | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撸當]「チェック印」(鉛 | 日本海の荒波 | | | | ・記載なし | 66×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・海岸の岩場を撮影したもの。<br>昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真に入っていたため、撮影年月日を同じにした | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-3 | 新潟県 | | ア-32-22 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 早川のシバニオ | | | | ・記載なし | 67×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-22と同一のネガフィルム。撮影地は台帳記載による<br>・シバニオとは『村上市史』p.447によると束ねられたシバは「家に運ばれたシバは、屋敷内に積み上げて、ササなどで覆いを掛けておかれた。これをシバニオと呼んだ。シバニオは積んで一年くらいあとには、薪用に供されたが、ニオがいくつもあって」としている<br>・本資料はうず高いシバニオが置かれている種子を撮影している。シバを積んだ上にはムシロなどがかけられている<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 早川 | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-4 | 新潟県 | | ア-32-26 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 網干しをする女性 | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-26と同一のネガフィルム。撮影地は台帳記載による<br>・本資料には干された網とその後ろに立つ人物が撮影されている<br>・ア-32-26の台紙記載には「松ヶ崎」とあるため、撮影地は新潟県北蒲原郡松ヶ崎浜村（現新潟市）ではないかと考えられる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 松ヶ崎(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-5 | 新潟県 | | ア-32-27 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 干されている網 | | | | ・記載なし | 66×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-27と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・道を横断するように松の木に干された網。近くの物干しには仕事着らしきものが掛けられている。遠方には電柱らしきものが見える<br>・ア-32-27の台紙記載には「松ヶ崎」とあるため、撮影地は新潟県北蒲原郡松ヶ崎浜村（現新潟市）ではないかと考えられる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 松ヶ崎(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-6 | 新潟県 | | ア-32-28 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網打ち | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-28と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・本資料は手ぶれ、ピンボケしており、内容を読み取りにくい<br>・ア-32-28の台紙記載には「阿賀野川、鮭網―網ウチ」とあるため、撮影地は新潟県ではないかと考えられる<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-7 | 新潟県 | | ア-32-29 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網打ち | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-29と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・川上の船には船頭1人の他に5人が確認できる。本資料の左側にも人物が確認できるが、その立ち方から陸地に立っている様である<br>・本資料は舟上からの撮影ヵ<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-8 | 新潟県 | | ア-32-31 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[担當]「チェック印」（鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網引き | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-31と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・それぞれが網につけた綱を引いている。綱には背当てが付いており、体全体を使って引く地引網と考えられる<br>・網を引く被写体が異なっている。同行の同人が被写体の一人となっており顔が和やかである<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 阿賀野川(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-9 | 新潟県 | ア-32-30 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撮當]「チェック印」（鉛 | 阿賀野川の鮭漁、網引き | | | | ・記載なし | 67×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-30と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・阿賀野川の鮭漁。被写体は網を引く3人の漁師<br>・それぞれが網につけた綱を引いている。綱には背当てが付いており、体全体を使って引く地引網と考えられる<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 阿賀野川（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-10 | 新潟県 | 河1-29-1 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撮當]「チェック印」（鉛 | 阿賀野川の網引き | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・網引きの様子を撮影したもの。それぞれが網につけた綱を引いている。綱には背当てが付いており、体全体を使って引く地引網と考えられる<br>・被写体や周囲の状況から阿賀野川で撮影したものと考えられる<br>昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 阿賀野川（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-11 | 新潟県 | ア-32-20 | 【封筒1】<br>22帆影七里（青ペン、縦書、表右上）<br>越後フィルム（黒マジック、縦書、表左）<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行（黒、縦書、表中央右寄）<br>「フィルム」（赤ボールペン、縦書、表中央）<br>楫西氏撮影（黒、、縦書、表中央左寄）<br>【封筒3】<br>【表面】<br>楫西[様]（鉛筆、横書、中央上）<br>十一月十五日ー二十三日（鉛筆、横書、中央）<br>村上、新潟地方（鉛筆、横書、中央）<br>【裏面】<br>[No.]D5（鉛筆、横書）<br>[現像]1[枚]（鉛筆）<br>[焼付]12[枚]（鉛筆）<br>[引受]「チェック印」（鉛筆）<br>[撮當]「チェック印」（鉛 | 上海府村早川の海岸、浜にあげられた漁船と網干し | | | | ・記載なし | 63×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-20と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・上海府村早川（現新潟県村上市早川地区）の海岸の風景<br>・引潮の頃であるためか波打ち際が遠い。砂浜には杭が打ち込まれ、船も上げられている。その奥には建物が見える<br>・昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」（『旅譜』）の調査写真であることから撮影日はこれによった（『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による） | | | | | | | | 楫西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日（備考参照） | 上海府村早川（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-12 | 新潟県 | ア-32-25 | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | 新潟市の朝市の風景 | | | | ・記載なし | 64×61 | ・ネガのみ<br>・本資料は【封筒3】(写1-18-6-1-5-13)に入れられ、【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>・ア-32-25と同一のネガフィルム。題名、撮影地は台帳記載による<br>・本資料手間には籠が多く並べられている。籠には(八＋せ)の屋号が見える<br>・被写体は着物姿で前掛けをし、手拭をあたまに巻いている人物が見える<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | 椙西光速 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日(備考参照) | 新潟市(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-5-13 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄)<br>【封筒3】<br>【表面】<br>椙西[様](鉛筆、横書、中央上)<br>十一月十五日ー二十三日(鉛筆、横書、中央)<br>村上、新潟地方(鉛筆、横書、中央)<br>【裏面】<br>[No.]D5(鉛筆、横書)<br>[現像]1[枚](鉛筆)<br>[焼付]12[枚](鉛筆)<br>[引受]「チェック印」(鉛筆)<br>[撮當]「チェック印」(鉛 | (封筒) | | | | × | | ・カメラ堂のネガ用封筒、116×151<br>・本資料は【封筒2】(写1-18-6-1-6)に入れられ、【封筒1】(写1-18-6-2)に入れられていた。<br>封筒の表面には「椙西[様]と鉛筆で横書されてある。その下には印刷された文字で、「カメラと材料品ー式　活動写真と附属品　現像・焼付・引伸」とあり、大文字で「カメラ堂」と印刷されている。その下には「麻布区笄町ー七六　赤十字社病院正門際　電話赤坂(48)二三二ー番　振替東京ー六二九八七」と印刷されている<br>・裏面にはライカカメラのイラストと、したに縦書きで「◆御不用のカメラは特別高価に御取引取致します」「◆御交換は是非ー度御相談下さる様御勧め致します」「◆カメラの御用は細大共に何でも御申付け下さい」と印刷されている<br><br>・本資料の裏面にあたる写1-18-6-1-4-13-Bの右面は印刷されたマス目に[No.][現像][焼付][引受][撮當]とあり、[No.]に鉛筆で「H3」と横書き、[現像]へ「1」、[焼付]「12」と鉛筆書きされている<br>・左面には四角で囲った中に「◆現像焼付…迅速丁寧を主とし特に焼付は原版に応じて適当の印画紙を用い十分御満足の行く様に仕上げます」「◆引伸…小さな原版の一部分が思いがけない立派な写真となる…引伸は弊店の得意とする処です」「複写…古い汚れた写真も見違える様 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 6 | 1-6 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック)<br>【封筒2】<br>越後採訪旅行(黒、縦書、表中央右寄)<br>「フィルム」(赤ボールペン、縦書、表中央)<br>椙西氏撮影(黒、、縦書、表中央左寄) | (封筒) | | | | × | | ・茶封筒、167×116、裏面に[東京市芝区三田綱町拾番地　アチック ミユウゼアム]と印刷あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 6 | 2 | | | 【封筒1】<br>22帆影七里(青ペン、縦書、表右上)<br>越後フィルム(黒マジック) | (封筒) | | | | × | | ・茶封筒、208×142、表面に[東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミユウゼアム　澁澤敬三行]と印刷あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 7 | 1 | | 写1-18-7-2<br>写1-18-7-3<br>写1-18-7-4 | 27 笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 大福種子帳 | | | | ○(鉛筆、右上)<br>赤外(鉛筆、縦書、中央)<br>原寸切抜(鉛筆、縦書、左下) | 165×129 | ・版下写真ヵ<br>・写1-18-7-3と同様の写真、色彩バランスが異なる<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第二圖　大福種子帳」p.1において、「實物は縦二十糎、横十五糎。表紙が煤けてゐて、よく字が見えない。赤外乾板を使用したものは見え過ぎる位、字が浮き出すので、パンクロの乾板に紅色フィルターを以つて撮影したのをこゝに掲げた。寫眞は何れも木川半之丞氏の苦心にかかる」と書かれており、文字の濃度から、赤外乾板を用いた写真と思われる。また撮影者は同書同箇所による<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..19-89において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第三圖　同(赤外乾板に依る)」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 2 | | 写1-18-7-1<br>写1-18-7-3<br>写1-18-7-4 | 27 笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 大福種子帳 | | | | ×(鉛筆、右上)<br>バン赤(鉛筆、縦書、中央) | 164×120 | ・版下写真ヵ<br>・写1-18-7-4と同様の写真、色彩バランスが異なる<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第二圖　大福種子帳」p.1において、「實物は縦二十糎、横十五糎。表紙が煤けてゐて、よく字が見えない。赤外乾板を使用したものは見え過ぎる位、字が浮き出すので、パンクロの乾板に紅色フィルターを以つて撮影したのをこゝに掲げた。寫眞は何れも木川半之丞氏の苦心にかかる」と書かれており、文字の濃度から、パンクロの乾板に紅色フィルターを用いた写真と思われる。また撮影者は同書同箇所による<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..19-89において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第二圖　大福種子帳」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 7 | 3 | | 写1-18-7-1<br>写1-18-7-2<br>写1-18-7-4 | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 大福種子帳 | | | | ・記載なし | 196×136 | ・版下写真ヵ<br>・写1-18-7-1と同様の写真、色彩バランスが異なる<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第二圖　大福種子帳」p.1において、「實物は縦二十糎、横十五糎。表紙が煤けてゐて、よく字が見えない。赤外乾板を使用したものは見え過ぎる位、字が浮き出すので、パンクロの乾板に紅色フィルターを以つて撮影したのをこゝに掲げた。寫眞は何れも木川半之丞氏の苦心にかかる」と書かれており、文字の濃度から、赤外乾板を用いた写真と思われる。また撮影者は同書同箇所による<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..19-89において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第三圖　同（赤外乾板に依る）」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 4 | | 写1-18-7-1<br>写1-18-7-2<br>写1-18-7-3 | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 大福種子帳 | | | | ・記載なし | 196×136 | ・版下写真ヵ<br>・写1-18-7-2と同様の写真、色彩バランスが異なる<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第二圖　大福種子帳」p.1において、「實物は縦二十糎、横十五糎。表紙が煤けてゐて、よく字が見えない。赤外乾板を使用したものは見え過ぎる位、字が浮き出すので、パンクロの乾板に紅色フィルターを以つて撮影したのをこゝに掲げた。寫眞は何れも木川半之丞氏の苦心にかかる」と書かれており、文字の濃度から、パンクロの乾板に紅色フィルターを用いた写真と思われる。また撮影者は同書同箇所による<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..19-89において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第二圖　大福種子帳」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 5 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 大福種子帳の一部 | | | | ・記載なし | 136×200 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第四圖　大福種子帳の一部」p.1において、「表紙から五枚目を開けた所、何度か綴ぢ直したと見えて綴目の所は字が少しかくれてゐる。田の畦で矢立から筆を取り出して書いたと思はれる筆つきである。」と書かれている<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..19-89において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第四圖　大福種子帳の一部」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 6 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 大福稲刈帳 | | | | ・記載なし | 200×136 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第五圖　大福稲刈帳」p.1において、「實物は縦四十糎、横十五糎。表紙は種子帳ほど煤けてはゐない。それは長い帳面なので二つに折つて字の方を中にしておいたからだとも思はれる。」と書かれている<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp..90-182において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム口絵「第五圖　大福稲刈帳」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 7 | 7 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 大福稲刈帳の一部 | | | | ・記載なし | 137×199 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第四圖　大福稲刈帳の一部」pp.1-2において、「表紙から二枚目の所。文化四五年の字が薄く見えるのは後から加へた朱筆であるからである。」と書かれている<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る<br>・同書pp.90-182において、本資料の翻刻が記載されている | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第六圖　大福稲刈帳の一部」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 8 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 田 | | | | ○（鉛筆、右下）<br>１三寸二分（鉛筆、縦書、中央） | 165×120 | ・トリミング前の写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第七圖　田」p.2において、「家のすぐ裏にある田の景で畑に續いて一番手近かの田二枚が苗代田で朴木田の分、それに續いて早稲田の上段下段と更に柳の下まで續いてゐる。山は上の山、左方の森は稲荷山である。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第七圖　田」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 9 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 田 | | | | ・記載なし | 137×196 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第七圖　田」p.2において、「家のすぐ裏にある田の景で畑に續いて一番手近かの田二枚が苗代田で朴木田の分、それに續いて早稲田の上段下段と更に柳の下まで續いてゐる。山は上の山、左方の森は稲荷山である。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第七圖　田」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 10 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 家 | | | | □　7（鉛筆、縦書、右上）<br>○（鉛筆、右下）<br>左右三寸二分（鉛筆、縦書、中央） | 120×164 | ・写真裏面記載文の□は「市」ヵ<br>・トリミング前の写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第八圖　家」p.2において、「所謂表中門付の家である。中門は入口で間口二間四尺、奥行き四間そこに物置、便所、厩がある。本屋は七間四尺に三間五尺、中門の入口から入ると臺所である。奥に爐がある。右手が水所左手が茶の間で更に座敷と部屋がある。屋根のモンドグンは正式ならば中門をヤロウモンド（雌）にし本屋はホンモンド（雄）にする。この本屋はホンモンドになつてゐない。入口の草は堆肥である。やがて山ほども積まれるであらう。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第八圖　家」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 11 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 家 | | | | ・記載なし | 138×199 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第八圖　家」p.2において、「所謂表中門付の家である。中門は入口で間口二間四尺、奥行き四間そこに物置、便所、厩がある。本屋は七間四尺に三間五尺、中門の入口から入ると臺所である。奥に爐がある。右手が水所左手が茶の間で更に座敷と部屋がある。屋根のモンドグンは正式ならば中門をヤロウモンド（雌）にし本屋はホンモンド（雄）にする。この本屋はホンモンドになつてゐない。入口の草は堆肥である。やがて山ほども積まれるであらう。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第八圖　家」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 12 | | | 27　笹森儀助（青インク、縦書、表右上）<br>星家稲刈帳（黒マジック、縦書、表左） | 臺所 | | | | ○（鉛筆、右下）<br>左右三寸二分（鉛筆、縦書、中央） | 119×164 | ・鉛筆で円の模様等を描いた紙帯が縦にまかれている　25×242<br>・写真裏面中央右よりに染筆書きの縦のトリミング指示線あり<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第九圖　臺所」p.2において、「表中門から入るとこの臺所になる。家で一番廣い間であるが土間に近い。藁シベをおいた上に荒莚を敷いただけで歩くとブクンする。客有れば爐邊に薄緑を敷く。寫眞は敷いてある所で客座。そこを座敷と云ふ、その左が横座で右が下座座敷の前がカヽ座敷である。薪は下座から入れる。右手の風呂桶の見える所が水所である。昔鄰は戸を立てゐるが外して撮つた。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第九圖　臺所」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 7 | 13 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 臺所 | | | | ・記載なし | 197×138 | ・版下写真ヵ<br>・写1-18-7-12の写真をトリミングしたものヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第九圖　臺所」p.2において、「表中門から入るとこの臺所になる。家で一番廣い間であるが土間に近い。藁シベをおいた上に荒莚を敷いただけで歩くとブクヽする。客有れば爐邊に薄縁を敷く。寫眞は敷いてある所で客座。そこを座敷と云ふ、その左が横座で右が下座座敷の前がカヽ座敷である。薪は下座から入れる。右手の風呂桶の見える所が水所である。普斷は戸を立てゝあるが外して撮つた。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第九圖　臺所」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 14 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 便所 | | | | ×(鉛筆、右上)<br>＜左右＞(鉛筆、縦書、中央)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、中央) | 164×120 | ・トリミング前の写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一一圖　便所」p.3において、「肥料を入れて運ぶソイオケが置かれ、紙入れのタスがかゝり天井からの縄は子供が肥壺に落ちぬ様につかまる用心縄である。お産の時の臍の緒を紙でこの縄に結んでおく家もある。左手に厩のマセ棒が二本見える。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一一圖　便所」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 15 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 便所 | | | | ・記載なし | 198×138 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一一圖　便所」p.3において、「肥料を入れて運ぶソイオケが置かれ、紙入れのタスがかゝり天井からの縄は子供が肥壺に落ちぬ様につかまる用心縄である。お産の時の臍の緒を紙でこの縄に結んでおく家もある。左手に厩のマセ棒が二本見える。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一一圖　便所」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 16 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 種子入れ | | | | ○(鉛筆、右上)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、右) | 164×120 | ・トリミング前の写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一〇圖　種子入れ」pp..2-3において、「臺所の火棚の傍の天井に釣されているヒュータン(夕顔)である。何んでも種子の保存は一番之がよいと云ふ。ヒユータンの口は稲束で栓をしてゐる。さすが雪國だけに棟木や柱の大なるのが見られる。自慢の杉の棟木は七年半の通しで径二尺餘もある。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一〇圖　種子入れ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 17 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 種子入れ | | | | ・記載なし | 200×138 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一〇圖　種子入れ」pp..2-3において、「臺所の火棚の傍の天井に釣されているヒュータン(夕顔)である。何んでも種子の保存は一番之がよいと云ふ。ヒユータンの口は稲束で栓をしてゐる。さすが雪國だけに棟木や柱の大なるのが見られる。自慢の杉の棟木は七年半の通しで径二尺餘もある。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一〇圖　種子入れ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 18 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 厩 | | | | ・記載なし | 138×199 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一二圖　厩」p.3において、「現在は使用せず物置場、ゴミ捨場の如くなつている。正面に馬形の紙が張つてあり、左隅には秣桶がさがつてゐる。地面を掘下げて周圍を石で疊んである。どこの家の厩もかうなつてゐる。手前の木は取りはづしが出来る。そこから石段で中に入る。」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一二圖　厩」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 19 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | 星家の人々 | | | | ・記載なし | 138×199 | ・版下写真ヵ<br>・アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』の「写真解説　第一三圖　干し家の家族」p.3において、「向かつて左より榮太郎妻、榮太郎、福一郎、福一郎妻、五四郎、前列の子供、左より進、力、米子、千代子の諸氏」と書かれている。<br>・『アチックマンスリー』p.60「芋川紀行」において、8月18～19日に芋川で帳面や家の写真を撮ったことが書かれている。撮影日時・場所はこれに依る | アチックミューゼアム『新潟縣北魚沼郡湯之谷村　星家所蔵種子帳・稲刈帳』アチックミューゼアム彙報第三八アチックミューゼアム口絵「第一三圖　星家の家族」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年8月18日～昭和11年8月19日・『アチックマンスリー』p.60<br>・備考参照 | 芋川・『アチックマンスリー』p.60 | |
| 写1 | 18 | 7 | 20 | | | 27　笹森儀助(青インク、縦書、表右上)<br>星家稲刈帳(黒マジック、縦書、表左) | (封筒) | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　252×144 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 8 | 1 | | | シュミットノサイン　明治ノガス燈（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 109×159 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 8 | 2 | | | シュミットノサイン　明治ノガス燈（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×167 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 8 | 3 | | | シュミットノサイン　明治ノガス燈（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×167 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 8 | 4 | | | シュミットノサイン　明治ノガス燈（黒マジック、縦書、表左） | （封筒） | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　251×143 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 9 | 1 | 秋田県 | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | 秋田県金足村の奈良家の母家（本家） | | | | ○　（鉛筆）<br>奈良家本家　（鉛筆、縦書）<br>秋田県　（鉛筆、縦書） | 154×111 | ・上辺にテープが付着<br>・本資料は『東北犬歩当棒録』に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家（秋田県金足村）母家」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 9 | 2 | 秋田県 | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | 秋田県金足村の奈良家の古式の鍵 | | | | ・記載なし | 148×110 | ・上部と下部に貼り付けた紙を剝がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・本資料は『東北犬歩当棒録』に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家（秋田県金足村）古式の鍵」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 9 | 3 | 秋田県 | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | 秋田県金足村の奈良家の安永十年の「私用日記」 | | | | ・記載なし | 149×104 | ・上部に貼り付けた紙を剝がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・本資料は『東北犬歩当棒録』に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家（秋田県金足村）」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 9 | 4 | 秋田県 | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | 秋田県金足村の奈良家の魚の贈物控（フナ、キス、タラ） | | | | ・記載なし | 160×109 | ・本資料は『東北犬歩当棒録』に掲載するための版下写真ヵ | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家（秋田県金足村）魚の贈物控フナ、キス、タラ」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 9 | 5 | 秋田県 | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | 秋田県金足村の奈良家の安永十年の「私用日記」 | | | | ○　（鉛筆）<br>私用日記（安永十年）（鉛筆、縦書）<br>奈良家　（鉛筆、縦書）<br>秋田県　（鉛筆、縦書） | 112×141 | ・本資料は『東北犬歩当棒録』に掲載するための版下写真ヵ | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 9 | 6 | | | 奈良家　（黒ペン、縦書） | （封筒） | | | | × | 251×143 | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 10 | 1 | 岩手県 | 河1-29-25-1 | テスリツム（黒フェルトペン、縦書、左） | 手ツム<br>（封筒・刊行物記載文による） | | | | ・記載なし | 120×165 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「手ツム　使用麻糸ヨリノ実況」「外二　渋沢子爵ノ活動写真ニ撮影」「石田キク(六七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある） | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967p299「写真36　糸つむぎ」<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955表紙裏「テスリツム　石神村実演」<br>産業経済新聞社1955表紙裏「テスリツム　石神村実演」<br>『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002p61「19　つぼまへての麻糸取り　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 10 | 2 | 岩手県 | | テスリツム（黒フェルトペン、縦書、左） | （封筒） | | | | | | ・アチックミュウゼアムの封筒を使っている、渋沢敬三行<br>・24×14cmの茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 11 | 1 | | | 角突き（黒マジック、縦書、表左） | 二十日村の牛の玩具が描かれた風呂敷 | | | | 二十村で出る（鉛筆、縦書、右下）<br>牛の玩具（鉛筆、縦書、右下）<br>東反（鉛筆、縦書、中央、丸囲み字）<br>春日部たすく元画（青ペン、縦書、中央） | 112×119 | ・上部に貼り付けた紙を剝がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・版下写真ヵ<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している<br>・『東北犬歩当棒録』pp.30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている<br>・二十村の木牛の玩具を描いた風呂敷の一部。風呂敷は二十日村でお世話になった方々に、渋沢らが贈ったものである | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p438「同前。春日部たすく画伯筆。二十日村の牛の玩具」 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 11 | 2 | | | 角突き（黒マジック、縦書、表左） | 二十日村の牛の玩具が描かれた風呂敷 | | | | ・記載なし | 111×122 | ・版下写真ヵ<br>・春日部たすくが描いた水彩画を撮影したものヵ<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している<br>・『東北犬歩当棒録』pp.30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている<br>・二十村の木牛の玩具を描いた風呂敷の一部。風呂敷は二十日村でお世話になった方々に、渋沢らが贈ったものである | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p438「同前。春日部たすく画伯筆。二十日村の牛の玩具」 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 11 | 3 | | 写1-18-4 | 角突き(黒マジック、縦書、表左) | 南総里見八犬伝挿絵「自若として小文吾暴牛を駐む」 | | | | ・記載なし | 111×140 | ・上部に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・写1-18-4と同一の写真、版下写真ヵ<br>・題名は絵中付記に依る<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している<br>・『東北犬歩当棒録』pp.30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p438「八犬伝の中で犬田小文吾が越後二十日村で暴れ牛をおさえるくだりの挿絵」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年産業経済新聞社1955年p31「10　二十村で出る牛の玩具(春日部たすく氏画)」産業経済新聞社1955年p31「10　二十村で出る牛の玩具(春日部たすく氏画)」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 11 | 4 | | 写1-18-3 | 角突き(黒マジック、縦書、表左) | 南総里見八犬伝挿絵「自若として小文吾暴牛を駐む」 | | | | ・記載なし | 110×138 | ・写1-18-3と同一の写真、版下写真ヵ<br>・題名は絵中付記に依る<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している<br>・『東北犬歩当棒録』pp.30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p438「八犬伝の中で犬田小文吾が越後二十日村で暴れ牛をおさえるくだりの挿絵」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年産業経済新聞社1955年p31「10　二十村で出る牛の玩具(春日部たすく氏画)」産業経済新聞社1955年p31「10　二十村で出る牛の玩具(春日部たすく氏画)」 | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 11 | 5 | | | 角突き(黒マジック、縦書、表左) | | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　251×143 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 12 | 1 | 岩手県 | 河1-29-25-18 | ＜5.4地蔵様＞(縦書、右)<br>斎藤家(縦書、左)<br>＜□□□様　□□□＞(縦書、中央) | 神室の内部 | | | | ・記載なし | 166×120 | ・渋沢敬三著作集第3巻-『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967年p156「写真12　神室の内部(棚にさしいれた板の上に稗を並べて乾燥する)」<br>渋沢敬三「石神村」『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992年平凡社1992年p227「斎藤家　ひえむろ内部」平凡社1992年p227「斎藤家　ひえむろ内部」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「斎藤家ひえむろ内部」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 12 | 2 | 岩手県 | 河1-29-25-20 | ＜5.4地蔵様＞(縦書、右)<br>斎藤家(縦書、左)<br>＜□□□様　□□□＞(縦書、中央) | 大屋斎藤家成員および雇人 | | | | ・記載なし | 120×165 | ・渋沢敬三著作集第3巻-『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「斎藤家々族及ビ使用人」「本家屋ハ文政三年庚辰三月十一日建築」「外ニ渋沢子爵ノ活動写真ニモ撮影ス」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある) | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967「写真3　大屋斎藤家成員および雇人」<br>『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p57「3　斎藤家とその大家族　斉藤方男氏」<br>横浜市歴史博物館2002p57「3　斎藤家とその大家族　斉藤方男氏」<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955p110「23　石神村斎藤家の大家族」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p862「岩手県二戸郡浅沢村斎藤家の家族」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 12 | 3 | 岩手県 | 河1-29-25-5 | ＜5.4地蔵様＞(縦書、右)<br>斎藤家(縦書、左)<br>＜□□□様　□□□＞(縦書、中央) | 大屋斉藤家ジョウイ、マツトウガイやヤグラ(刊行物記載による) | | | | ・記載なし | 120×165 | ・渋沢敬三著作集第3巻-『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・ジョウイとは玄関から上がって取付きの部屋(「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』p.260)<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「明松ノ燈スノ影」「渋沢子爵ノ来遊ノ節」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p111「24　同家居間、燈火にシデ鉢を用う」有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967年未来社1967年口絵写真5「大屋斎藤家ジョウイ」未来社1967年口絵写真5「大屋斎藤家ジョウイ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 12 | 4 | 岩手県 | 河1-29-25-7 | ＜5.4地蔵様＞(縦書、右)<br>斎藤家(縦書、左)<br>＜□□□様　□□□＞(縦書、中央) | 大屋斎藤家ダイドコ | | | | ・記載なし | 166×120 | ・渋沢敬三著作集第3巻-『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「臺所」「嬰児　斎藤イネ(一)　斎藤セツ(二四)　橋本キヨ(五七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある) | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967年「写真6　大屋斎藤家ダイドコ」<br>渋沢敬三「石神村」『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992年平凡社1992年p227「斎藤家「台所」」平凡社1992年p227「斎藤家「台所」」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「斎藤家台所」<br>『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002年p60「14　だいどころ　斎藤方男氏子供はエジコに入れられている」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 12 | 5 | 岩手県 | 河1-29-25-2 | ＜5.4地蔵様＞（縦書、右）<br>斎藤家（縦書、左）<br>＜□□□様　□□□＞（縦書、中央） | 大家斎藤家母屋表側 | | | | ・記載なし | 120×165 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩当棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所（日本常民文化研究所のこと）所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「斎藤家全影」「文政三年庚辰三月十一日建築」「斎藤安造　斎藤文男　斎藤方男　橋本春孝」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある） | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967年「写真1　大家斎藤家母屋表側」<br>渋沢敬三『石神村』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992年平凡社1992年p227「斎藤家「全景」」平凡社1992年p227「斎藤家「全景」」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「斎藤家　全景（間口二十一間、奥行九間）」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002年p58「斎藤善助家　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 12 | 6 | × | | ＜5.4地蔵様＞（縦書、右）<br>斎藤家（縦書、左）<br>＜□□□様　□□□＞（縦書、中央） | （封筒） | | | | × | 240×140 | ・アチックミュウゼアムの封筒を使っている、渋沢敬三行<br>・封筒表右上　〈5.4地蔵様〉　宛名左下（□□□様　□□□）<br>・24×14cmの茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 13 | 1 | | | 古文書（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×163 | ・版下写真ヵ<br>・裏面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 13 | 2 | | | 古文書（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 13 | 3 | | | 古文書（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・版下写真ヵ<br>・裏面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 13 | 4 | | | 古文書（黒マジック、縦書、表左） | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・版下写真ヵ<br>・裏面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 13 5 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×166 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 6 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×166 | ・版下写真ヵ<br>・表面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 7 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | 十年(鉛筆、縦書、左)<br>十二月十六日出来(鉛筆、縦書、左)<br>糸魚川　押上(鉛筆、縦書、左) | 120×166 | ・版下写真ヵ<br>・裏面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 8 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×166 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 9 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・版下写真ヵ<br>・表面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 10 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 164×120 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 13 11 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 164×121 | ・版下写真ヵ<br>・裏面にクリップの跡の錆あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 13 12 | | | 古文書(黒マジック、縦書、表左) | (封筒) | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　251×143 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 14 1 | | | ((完)30　瞑想の松■■■■)(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×115 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 14 2 | | | ((完)30　瞑想の松■■■■)(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 120×115 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 14 3 | | | ((完)30　瞑想の松■■■■)(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 131×102 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 14 4 | | | ((完)30　瞑想の松■■■■)(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 130×102 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 14 | 5 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 131×103 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 6 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 105×138 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 7 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 105×138 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 8 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 104×138 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 9 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 149×103 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 10 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 149×103 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 11 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 103×142 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 12 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 105×143 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 14 | 13 | | | ｛(完)30 瞑想の松■■■■｝(縦書、表右、取消線は黒マジック)<br>水族館(黒マジック、縦書、表左) | | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地 アチック ミュウゼアム 澁澤敬三行」と印刷された茶封筒 251×143 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 15 | 1 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百話)(縦書、表中央)<br>阪谷敬子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年旦七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×141 | ・宛名面に「UNIONPOSTALE UNIVERSELLE CARTE POSTALE」「郵便はがき」、裏側に写真と「深沓」「岩代 若松市」と印字された郵便はがき | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 15 2 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×141 | ・宛名面に「UNIONPOSTALE UNIVERSELLE CARTE POSTALE」「郵便はがき」、裏側に写真と「4 しんぺい(深薬谷」「羽後 由利郡 笹子村」と印字された郵便はがき | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 3 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×141 | ・宛名面に「UNIONPOSTALE UNIVERSELLE CARTE POSTALE」「郵便はがき」、裏側に写真と「2 すかり」「越後 北魚沼郡 湯の谷村」と印字された郵便はがき | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 4 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 141×90 | ・宛名面に「UNIONPOSTALE UNIVERSELLE CARTE POSTALE」「郵便はがき」、裏側に写真と「1 けんづく(一名ごす」「羽後 由利郡 笹子村」と印字された郵便はがき | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 5 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 78×103 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 6 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 78×106 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 7 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 54×74 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 8 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ○(鉛筆、右下)<br>＜原寸＞(鉛筆、縦書、中央)<br>左右五寸切抜キ(鉛筆、縦書、中央) | 119×164 | ・版下写真ヵ<br>・『アチック彙報38 口絵6『星家所蔵種子帳・稲刈帳』に掲載』と記載されたヶ付箋あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-1 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×61 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-2 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×58 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-3 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×57 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-4 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×57 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-5 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×57 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-6 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×57 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 15 9-7 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | | | | | ・記載なし | 90×57 | ・版下写真ヵ<br>・本資料は写1-18-15-9-8の中に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 15 | 9-8 | | | 【封筒1】<br>3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左)<br>【封筒2】<br>写真(縦書、表右上)<br>お伽集(祖母百談)(縦書、表中央)<br>阪谷敏子(縦書、表中央下)<br>阪谷和子(縦書、表中央下)<br>阪谷俊作(縦書、表中央下)<br>昭和十八年日七月八日(縦書、表左) | (封筒) | | | | × | | ・裏面に「日本常民文化研究所 東京都芝区三田綱町一〇 澁澤子爵邸内 電話三田(四五)〇二九七・振替口座東京七八四七〇番 昭和 年 月 日」と印刷された茶封筒 219×82<br>・本資料の中には写1-18-15-9-1～写1-18-15-9-7が入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 15 | 10 | | | 3 公私用日記(縦書、表右)<br>ばばさまのおはなし(黒マジック、縦書、表左) | (封筒) | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地 アチック ミュウゼアム 澁澤敬三行」と印刷された茶封筒 253×142 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 16 | 1 | × | | 〈二枚〉(縦書、二重線で消し字)<br>浅沢j郷土史(二枚)(青ペン、縦書、右)<br>資料(青ペン、縦書、右)<br>五十沢様御承知(縦書、左)<br>浅沢郷土誌(黒フェルトペン、縦書、左)<br>4/15入(桃筆、中央) | 浅沢郷土史料 | | | | ・記載なし | 120×165 | ・被写体は浅沢郷土史料の原稿と思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 16 | 2 | × | | 〈二枚〉(縦書、二重線で消し字)<br>浅沢j郷土史(二枚)(青ペン、縦書、右)<br>資料(青ペン、縦書、右)<br>五十沢様御承知(縦書、左)<br>浅沢郷土誌(黒フェルトペン、縦書、左)<br>4/15入(桃筆、中央) | 元文年間南部利視公の巡見、原稿 | | | | ・記載なし | 166×120 | ・被写体は浅沢郷土史料p28-29掲載の『元文年鑑南部利視公の巡見』の直筆原稿を撮影したものと思われる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 16 | 3 | × | | 〈二枚〉(縦書、二重線で消し字)<br>浅沢j郷土史(二枚)(青ペン、縦書、右)<br>資料(青ペン、縦書、右)<br>五十沢様御承知(縦書、左)<br>浅沢郷土誌(黒フェルトペン、縦書、左)<br>4/15入(桃筆、中央) | (封筒) | | | | × | 192×140 | ・純国産印画紙「東京 室町 写真化学工業株式会社 サザナミ(GASLIGHT PAPER)」(12Sheets)の紙袋を利用している | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 17 | 1 | 岩手県 | 写1-18-3-11 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 籾痕ある土器底部(刊行物l記載による) | | | | ・記載なし | 146×108 | ・被写体の土器の出土場所は宮城県多賀城村枡形囲の貝塚(『東北犬歩當棒録』p.4による)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p5「1 籾痕ある土器底部」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 2 | 青森県 | 写1-18-3-7 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | シイッコサマ(シイッコサマ夫妻)(刊行物記載による) | | | | ・記載なし | 76×110 | ・撮影地域は旅譜による推定<br>・シイツコサマとは河童のことで水虎様かもしれないと渋沢はいう(『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.119図版説明補足「一」)<br>・「津軽 シィッコサマ」の「挿図目次」(『祭魚洞雑録』p.4)に「車力にて発見、児玉久雄君を煩はして別に製作したるもの、アティックミュージアム蔵 木川半之丞君作」とあり | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p17、119「5 シイツコサマ夫妻」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「シイッコサマ」平凡社1992p173「シイッコサマ」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽 シィッコサマ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和6年(1931年)6月～『東北犬歩当棒録』p.119図版説明補足「一」、『犬歩当棒録』旅譜による | アチックミューゼアム(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 17 | 3 | 山形県 | 写1-18-2-33 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | おしやく島(御積島)のサイの河原 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものか<br>・写1-18-17-3と写1-18-2-33は同一のもの(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「飛島」11:47渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島 おしやく島のサイの河原(昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島 おしやく島のサイの河原(昭和六年六月、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による | 飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 4 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-35 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 流れ昆布採集具 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19 流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:52渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p84「19 流れ昆布採集具(八戸海岸)」産業経済新聞社1955p84「19 流れ昆布採集具(八戸海岸)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 5 | 不明 | 写1-18-2-21 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 草木からの糸撚り | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:36 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 6 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-31 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 流れ昆布取り | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19 流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがあり、それを参考に同地域・同海岸と考え、題名・県名等はそれを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」16:13 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 7 | 青森県・岩手県 | 写1-18-2-8 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | アラメ・カジメの切干 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものか<br>・写1-18-17-7と写1-18-2-8は同一のもの(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「飛島」07:55渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島 アラメ、カジメ等切って乾す」産業経済新聞社1955口絵「羽後飛島 アラメ、カジメ等切って乾す」 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 8 | 不明 | 写1-18-2-16 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 山での運び出し | | | | ・記載なし | 110×154 | ・何を運ぼうとしているのか詳細については不明、フィルム自体からの写真と考えられるが元フィルムは不明、木地屋の材料を切りだしたものヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 9 | 山形県 | 写1-1-1 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 花飴 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・刊行物本文によれば「陰暦正月の初市に立つ大道店」とあり(p249)、その大道店で花飴を売っている場面ヵ | 今田信一『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57日本常民文化研究所1942年口絵「花飴 山形七日町初市」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 山形県七日町 (引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 17 | 10 | 岩手県 | 写1-18-2-6 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 稲ハザ掛け | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム田沢仙岩峠を写真にしたものか<br>・写1-18-17-10と写1-18-2-6は同一のもの(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「田沢仙岩峠」12:50渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「稲の文化 稲ハザ(岩手県雫石)」産業経済新聞社1955口絵「稲の文化 稲ハザ(岩手県雫石)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 岩手県沢地村16ミリフィルム「田沢仙岩峠」による | |
| 写1 | 18 | 17 | 11 | 秋田県 | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 安永十年私用日記表紙 | | | | ・記載なし | 146×104 | ・写1-18-17-12の表紙部分 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家 魚の贈物控 フナ、キス、タラ(秋田県金足村)」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 秋田県金足村 (引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 17 | 12 | 秋田県 | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 安永十年私用日記、魚の贈物控 | | | | ・記載なし | 158×108 | ・写1-18-17-11の本文中の一部<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「奈良家 魚の贈物控 フナ、キス、タラ(秋田県金足村)」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 金足村 (引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 17 | 13 | 不明 | 写1-18-2-23 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 並木道 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・フィルムによると車からの撮影、写1-18-2-23と同一の写真(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」19:28 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、『犬歩当棒録』旅譜による | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 14 | 青森県 | 写1-18-2-18 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ・記載なし | 112×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・写1-18-2-18と同一の写真(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」12:18渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び (八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」<br>産業経済新聞社1955口絵「おしらさま遊び (八戸市小井川邸にて。昭和九年、十六ミリ撮影より)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 15 | 青森県 | 写1-18-2-37 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | おしらさま遊び | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・写1-18-2-37と同一の写真(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」13:08 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 青森県八戸引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 16 | 山形県 | 写1-18-2-14 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 飛島のアカエイ(刊行物旅譜記載による) | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛島を写真にしたものか<br>・写1-18-2-14と同一の写真(焼増しヵ) | 16ミリフィルム「飛島」07:05 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛島『犬歩当棒録』旅譜による | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 17 | 17 | 岩手県 | | 河1-29-25-1 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 手ツム | | | | 一2.7一(鉛筆、中央)<br>11(鉛筆、下、丸囲み字)<br>873、(鉛筆、右下) | 110×152 | ・台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある<br>・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「手ツム　使用麻糸ヨリ実況」「外ニ　渋沢子爵ノ活動写真ニ撮影」「石田キク(六七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・写真裏面の四隅に貼った跡あり、カット割りから「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』写真36「糸つむぎ」に使った写真の指示だ | 有賀喜左衛門「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ未来社1967p299「写真36　糸つむぎ」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955表紙裏「テスリツム　石神村実演」産業経済新聞社1955表紙裏「テスリツム　石神村実演」『屋根裏の博物館—実家家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002p61「19　つぼまへでの麻糸取り　斎藤方男氏」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～『東北犬歩当棒録』p.120、『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ序による | 岩手県石神村（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 17 | 18 | 岩手県 | | 写1-18-2-4 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 塩釜跡 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものか<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・写1-18-2-4と同一の写真(焼増しカ) | 渋沢史料館所蔵渋沢フィルム「種市海岸塩釜跡」(昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム)<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」産業経済新聞社1955p20「20　塩址釜(ママ)」 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～『犬歩当棒録』旅譜による | 種市海岸『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 19 | 青森県 | | 写1-18-2-26 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 地引網漁 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)を写真にしたもの<br>・写1-18-2-26と同一の写真(焼増しカ)<br>・撮影地域は16ミリフィルム内のテロップによる | 16ミリフィルム「飛鳥」16:32 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～16ミリフィルム「飛鳥」、『犬歩当棒録』旅譜による | 十三村16ミリフィルム「飛鳥」内テロップによる | |
| 写1 | 18 | 17 | 20 | 青森県 | | 写1-18-3-1 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 津軽深澤の地蔵堂 | | | | 本文(鉛筆、縦書、中央、90度回転した状態)<br>2(鉛筆、左上、丸囲み字) | 75×104 | ・刊行物記載によると「二間四方程のお堂の中に、親地蔵を中心に、その周囲に沢山の小さい地蔵様が並んでいる」(p.16)<br>・写1-18-3-1と同一の写真(焼増しカ)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p16「4　津軽北部の地蔵堂」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「津軽北部の地蔵堂」平凡社1992p173「津軽北部の地蔵堂」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽十三途上、深澤の地蔵堂」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による | 深沢引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 21 | 秋田県 | | 写1-18-2-12<br>写1-18-2-13 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 藤琴の駒踊り | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたものか<br>・写1-18-2-12と同一の写真(焼増しカ)<br>・撮影地、撮影年月日は16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他、『犬歩当棒録』旅譜からの推定。 | 16ミリフィルム「飛鳥」18:27 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 秋田県藤琴（備考参照） | |
| 写1 | 18 | 17 | 22 | 青森県 | | 写1-18-2-29 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 丸太を組み壁状にしたもの | | | | ・記載なし | 110×154 | ・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)を写真にしたもの<br>・写1-18-2-29と同一の写真(焼増しカ)<br>・撮影地域は16ミリフィルム内のテロップによる | 16ミリフィルム「飛鳥」17:41 | | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月～16ミリフィルム「飛鳥」、『犬歩当棒録』旅譜による | 龍飛岬または蒂島16ミリフィルム「飛鳥」内テロップによる | |
| 写1 | 18 | 17 | 23 | 青森県・岩手県 | | 写1-18-2-24<br>河1-29-16-1<br>河1-29-15-4 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他を写真にしたもの<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡、とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | 16ミリフィルム「男鹿オシラアソビ他」17:22 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、渋沢敬三『犬歩当棒録』旅譜 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 24 | 青森県・岩手県 | | 写1-18-2-28<br>河1-29-16-2 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | | | ・記載なし | 110×154 | ・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p84「19流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡、とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照 | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月～16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」、渋沢敬三『犬歩当棒録』旅譜 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 25 | 青森県 | | 写1-18-3-8 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 竜飛岬 | | | | ・記載なし | 72×96 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p9「2　竜飛岬」渋沢敬三『祭魚洞雑録』p164-165「竜飛岬」p164-165「竜飛岬」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 龍飛岬引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 26 | 青森県 | | 写1-18-3-4 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 津軽十三村、コミセ(雁木)の前の女性四人 | | | | ・記載なし | 77×102 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p150-151「津軽十三町内所見」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 十三引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 27 | 青森県 | | 写1-18-3-5 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 津軽十三村、丸太の垣根 | | | | ・記載なし | 73×98 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」平凡社1992p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p150-151「津軽十三街路の塀」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 十三引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 28 | 不明 | | 写1-18-18-11 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 笹森儀助翁 | | | | 本文(鉛筆、縦書、中央) | 132×97 | ・写1-18-17-28と写1-18-18-11は同一のもの(焼増しカ)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p103「21　笹森儀助翁」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 29 | 青森県 | | 写1-18-3-12 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | シイッコサマ | | | | 1.3(鉛筆、中央)<br>本文(鉛筆、縦書、中央)<br>3(鉛筆、下、丸囲み字) | 160×106 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p19「6　津軽のシイツコサマ」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p173「シイッコサマ」平凡社1992p173「シイッコサマ」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p146-147「津軽車力　シイッコサマ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 青森県西津軽郡車力引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 写1 | 18 | 17 | 30 | 中国 | | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 中国鵜飼版画 | | | | ・記載なし | 114×168 | ・写1-18-17の括りは東北犬歩当棒録であるが当写真がなぜここに入っているかは不明 | 渋沢敬三「式内水産物需給試考」『渋沢敬三著作集』第1巻平凡社1992年p465「中国鵜飼版画」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 中国引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 31 | 不明 | | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 湯川秀樹の書と画 | | | | ・記載なし | 120×168 | ・「深山木の　道ふみ　わけし　先つ世を　かへりみ　すれば　遥かなるかも　秀樹　印」と書があって書の下に見開きになった本の画があり、周りの線が表装されているように思われる | 渋沢敬三「四三　新木栄吉氏の思い出」『犬歩当棒録』角川書店1961年p169「下　画中谷宇吉郎博士、賛　湯川秀樹博士」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 17 | 32 | | 山形県 | 写1-18-2-10<br>写1-18-2-11 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 子供達 | | | | ・記載なし | 110×156 | ・昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム飛鳥を写真にしたものか<br>・写1-18-2-10・11と同一の写真(焼増しか)<br>・渋沢フィルム10「飛鳥」(昭和6年6月期旅行の16ミリフィルム)で「浦から法木へ途中所見」としたキャプションの後の映像にあり | 16ミリフィルム「飛鳥」07:15渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　子供達」<br>産業経済新聞社1955口絵「羽後飛鳥　子供達」 | | | | | | | 明 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 山形県飛鳥、浦から法木『犬歩当棒録』旅譜、16ミリフィルム「飛鳥」による | |
| 写1 | 18 | 17 | 33 | | 不明 | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 樋のような所から流れる水を利用した締め器のようなもの | | | | ←2→(鉛筆、中央、90度回転した状態)<br>885.(鉛筆、下、90度回転した状態)<br>125.(鉛筆、下、90度回転した状態) | 104×77 | ・写真裏面に台紙からはがした糊跡あり<br>・写真裏面に載ち落としの指示の黒線あり<br>・詳細は不明 | | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 17 | 34 | | 青森県 | | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 漁船の碇 | | | | 本文(鉛筆、縦書) | 71×94 | | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「龍飛岬にて　漁船の碇」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p167「龍飛岬にて。漁船の碇」平凡社1992p167「龍飛岬にて。漁船の碇」渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933年p164-165「碇　龍飛岬にて」 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 龍飛岬引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 写1 | 18 | 17 | 35 | | 青森県 | 河1-29-21 | 【裏面】<br>東北犬歩当棒録(青鉛筆、縦書、左) | 縄を担ぎ袋と頬冠りをした女性三人(後ろ姿) | | | | ・記載なし | 76×106 | ・写1-18-3-2と写1-18-3-3は同一のもの(焼増しか) | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p371渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955産業経済新聞社1955口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」<br>産業経済新聞社1955口絵「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」<br>渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻p167「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」<br>渋沢敬三『祭魚洞雑録』郷土研究社1933p142-143「木造町郊外津軽乙女」<br>16ミリフィルム「飛鳥」0.6041666666667 | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～『犬歩当棒録』旅譜による) | 木造町郊外引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 写1 | 18 | 18 | 1 | | × | | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 進藤竹次郎 | | | | 進藤竹治郎氏(ママ、青鉛筆、左を地に縦書)<br>本文(鉛筆、縦書、) | 162×118 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・進藤竹次郎氏は東洋紡績の副社長で秋田大曲出身の人(『東北犬歩当棒録』p.114より) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p114「25進藤竹次郎氏」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 2 | | × | 写1-18-18-4 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 石川理紀之助翁 | | | | ・記載なし | 162×118 | ・写1-18-18-2と写1-18-18-3と写1-18-18-4は同一のもの(焼増しか)<br>・石川理紀之助翁は秋田奈良家の出身で明治の農聖とよばれた人(『東北犬歩当棒録』 pp..12-14より) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p13「3石川理紀之助」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 3 | | × | 写1-18-18-4 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 石川理紀之助翁 | | | | 石川理紀之助(鉛筆、縦書) | 162×118 | ・写1-18-18-2と写1-18-18-3と写1-18-18-4は同一のもの(焼増しか)<br>・石川理紀之助翁は秋田奈良家の出身で明治の農聖とよばれた人(『東北犬歩当棒録』 pp..12-14より) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p13「3石川理紀之助」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 4 | | × | 写1-18-18-3 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 石川理紀之助翁 | | | | 石川理紀之助(青鉛筆、縦書)<br>本文(鉛筆、縦書、丸囲み字) | 162×118 | ・写1-18-18-2と写1-18-18-3と写1-18-18-4は同一のもの(焼増しか)<br>・石川理紀之助翁は秋田奈良家の出身で明治の農聖とよばれた人(『東北犬歩当棒録』 pp..12-14より) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p13「3石川理紀之助」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 5 | | 秋田県 | | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 内田武志氏と令妹ハチ女史 | | | | 内田武志氏(鉛筆、縦書)<br>本文(鉛筆、縦書)<br>29.10.25(鉛筆) | 162×118 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・内田武志、ハチはアチック同人 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p61「15内田武志氏と令妹ハチ女史」 | | | | | | | 明 | 昭和29年(1954年)10月25日～写真資料記載 | 秋田『東北犬歩当棒録』p.69による | |
| 写1 | 18 | 18 | 6 | | × | 写1-18-18-7 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 伊能嘉矩 | | | | 本文(鉛筆、縦書、中央) | 142×100 | ・写1-18-18-6と写1-18-18-7は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・伊能嘉矩は人類学者、民俗学者、台湾研究で有名、岩手県遠野の出身<br>・『東北犬歩當棒録』「あとがき」p.122で写真について「伊能嘉矩さんのは其著台湾文化誌からの複製しか得られなかった。」とあり、当該写真も複製と考えられる | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p76「18伊能嘉矩氏」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 7 | | × | 写1-18-18-6 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | 伊能嘉矩 | | | | ・記載なし | 142×100 | ・写1-18-18-6と写1-18-18-7は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・伊能嘉矩は人類学者、民俗学者、台湾研究で有名、岩手県遠野の出身 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p76「18伊能嘉矩氏」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 8 | | × | 写1-18-18-9 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | デニング先生 | | | | フクシャ(中央、90度回転した状態) | 162×118 | ・写1-18-18-8と写1-18-18-9は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・デニング氏はデニング英国大使の父で永年二高で英語を教えていた<br>(『東北犬歩當棒録』pp..116-117より)<br>・『東北犬歩當棒録』「あとがき」p.122で写真について「デニング先生のは加納久朗さんを通じ、現大使にお願いして特に頂戴したもの」とあり | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p116「27デニング先生」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 9 | | × | 写1-18-18-8 | 当棒録の人々(黒フェルトペン、縦書、左) | デニング先生 | | | | フクシャ(中央、90度回転した状態) | 162×118 | ・写1-18-18-8と写1-18-18-9は同一のもの(焼増しか)<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・デニング氏はデニング英国大使の父で永年二高で英語を教えていた<br>(『東北犬歩當棒録』pp..116-117より)<br>・『東北犬歩當棒録』「あとがき」p.122で写真について「デニング先生のは加納久朗さんを通じ、現大使にお願いして特に頂戴したもの」とあり | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p116「27デニング先生」 | | | | | | | 明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 18 | 10 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 浴衣姿の南方熊楠 | | | | ・記載なし | 158×75 | ・刊行物掲載写真はいずれも当該写真の上半身だけトリミングしたもの | 渋沢敬三『祭魚洞襍考』岡書院1954年p8「浴衣姿の南方翁」<br>渋沢敬三『犬歩当棒録―『祭魚洞襍考第二部』』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p110「浴衣姿の南方翁」<br>平凡社1992p110「浴衣姿の南方翁」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 11 | × | 写1-18-17-28 | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 笹森儀助翁 | | | | ・記載なし | 130×96 | ・写1-18-17-28と写1-18-18-11は同一のもの(焼増しカ)<br>・笹森儀助は探検家、政治家、青森県弘前出身、後に青森市長 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p103「21笹森儀助翁」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 12 | 宮城県 | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | デニング先生の家 | | | | ・記載なし | 98×75 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・デニング氏はデニング英国大使の父で永年二高で英語を教えていた(『東北犬歩當棒録』pp..116-117より)<br>・仙台米ヶ袋町にあった(『東北犬歩當棒録』p.117より) | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p117「28デニング先生の家」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 宮城県仙台米ヶ袋町(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 18 | 13 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 新考案高低測量器 | | | | ・記載なし | 102×70 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・「新考案高低測量器」は松森胤保の発明、政治家、山形県鶴岡出身 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 14 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 松森胤保による茧切（葦雀）のスケッチ | | | | ・記載なし | 102×70 | ・題名は写真キャプションではなく写真内容と本文から判断してつけた<br>・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・松森胤保は、政治家、山形県鶴岡出身 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「胤保とそのスケッチ　明治五年八月一日の旧図より明治十八年十月十七日転写」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　明治5年8月1日の旧図より明治18年10月17日転写」平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　明治5年8月1日の旧図より明治18年10月17日転写」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 15 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 新考案の編網機を持つ松森胤保 | | | | 14（鉛筆、中央、90度回転した状態）<br>本文（鉛筆、縦書、中央） | 114×74 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・松森胤保は、政治家、山形県鶴岡出身<br>・当該写真に「明治廿四年十二月三日　松森胤保　六十六年八月」とありこれを接写したものと考えられる | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年口絵「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」渋沢敬三『東北犬歩当棒録』『渋沢敬三著作集』第3巻平凡社1992平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」平凡社1992p215「胤保とそのスケッチ　新考案高低測量器」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 16 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | 粟野健次郎先生 | | | | 粟野先生（鉛筆、縦書、中央） | 85×57 | ・写真裏面に紙テープ状のもので貼った跡がある<br>・粟野健次郎氏は二高の英語教諭、岩手県一関出身 | 渋沢敬三『東北犬歩当棒録』産業経済新聞社1955年p118「29粟野健次郎先生」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 | 18 | 18 | 17 | × | | 当棒録の人々（黒フェルトペン、縦書、左） | （封筒） | | | | × | 250×142 | ・アチックミュウゼアムの封筒を使っている、渋沢敬三行 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 19 | 1 | | | (2■　伊能嘉矩）（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ（黒マジック、縦書）<br>アニマタギ（黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記（黒マジック、縦書） | | | | | ＜エヤプッシ、をかけて下さい＞（鉛筆、縦書、右）<br>原寸.（鉛筆、縦書、右上）<br>切抜キ（鉛筆、縦書、中央）<br>「土佐捕鯨」（鉛筆、縦書、左上） | 156×112 | ・表側全面を覆う写真カバーが裏側上部に貼付られている<br>・写真資料記載は「エアブラシ」カ | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 19 | 2 | 秋田県 | 写1-3-14 | (2■　伊能嘉矩）（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ（黒マジック、縦書）<br>アニマタギ（黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記（黒マジック、縦書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟用具 | | | | ・記載なし | 80×102 | ・写真のみで台紙はなし。<br>・本資料は関連目録番号資料からアルバム50に関連するものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。 | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻　東北編(3)三一書房1973口絵「第八図　マタギ用具　二」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた長の学問―』横浜市歴史博物館2002横浜市歴史博物館2002p98「3　マタギの道具　神奈川大学日本常民文化研究所」横浜市歴史博物館2002p98「3　マタギの道具　神奈川大学日本常民文化研究所」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 19 | 3 | 秋田県 | ア-50-22<br>写1-3-19 | (2■　伊能嘉矩）（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ（黒マジック、縦書）<br>アニマタギ（黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記（黒マジック、縦書） | 荒瀬村根子のマタギの狩猟用具（コガタナ、ヌヒバリ、タケツツ、アブラトリ包丁、火縄、テウエ、イジヤラ、コガタナ、犬の引綱） | | | | 第九図（縦書）<br>引伸（鉛筆、縦書） | 79×105 | ・左右両側共、貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着。本資料はア-50-22の台紙から写1-3-19の引伸写真を製作するためにはがされたものと見られる。<br>・本資料は関連目録番号資料からアルバム50に関連するものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった。 | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻　東北編(3)三一書房1973口絵「第九図　マタギ用具　三」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子（引用・使用媒体） | |
| 写1 | 18 | 19 | 4 | 秋田県 | ア-50-26 写1-3-10 | (2■　伊能嘉矩）（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ（黒マジック、縦書）<br>アニマタギ（黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記（黒マジック、縦書） | 荒瀬村根子の粟製の種子入と荷橇 | | | | ・記載なし | 107×79 | ・本資料は関連目録番号資料からアルバム50に関連するものと見られる。アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落下しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp..761-888によった)また同書p.797に「樹枝より吊り下げてあるのは粟製の悪種子入（中略）又こゝに立てかけてある荷橇の脚木はカンジョウと呼び、自然木を利用している。他の橇も皆同型である。」とあり題名はこれによる | 高橋文太郎『秋田マタギ資料』『日本常民生活資料叢書』第10巻　東北編(3)三一書房1973口絵「第一八図」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)3月6日～昭和11年(1936年)3月9日(備考参照) | 荒瀬村根子関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 19 5 | 山形県 | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | 最上徳内肖像画 | | | | [不許可複写転載]（紫スタンプ、縦書）<br>[東京府史語会]（紫スタンプ、縦書）<br>[最上徳内先生顕彰会]（紫スタンプ、縦書） | 149×111 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 19 6 | 鹿児島県 | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | 喜界島折田氏所蔵の代官記の一部(正徳～享保) | | | | 原寸 （鉛筆、縦書）<br>フチ切抜 （鉛筆、縦書）<br>代官記写真貴重 タキ生 （鉛筆、縦書） | 120×165 | ・アチックミューゼアム彙報第四一『喜界島代官記 喜界島調査資料』p2の版下写真ヵ<br>・撮影者は喜界島で資料を撮影していれば岩倉市郎、アチックに資料を送っていれば木川半之丞と推測されるが、『喜界島代官記 喜界島調査資料』では借用の記録が見られないことから岩倉とした。また、撮影年月日は、岩倉が喜界島を離れる以前の昭和12年3月(3日)以前、撮影地域は喜界島とした。 | 『喜界島代官記 喜界島調査資料』アチックミューゼアム彙報第41p2「代官記の一部(正徳～享保)」 | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)3月以前 （備考参照） | 喜界島（備考参照） | |
| 写1 18 19 7 | 鹿児島県 | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | 喜界島の代官記の一部(安永) | | | | 喜界島 （鉛筆、縦書<br>代官記 （鉛筆、縦書）<br>原寸 （鉛筆、縦書）<br>フチ切抜 （鉛筆、縦書） | 165×120 | ・アチックミューゼアム彙報第四一『喜界島代官記 喜界島調査資料』p2の版下写真ヵ<br>・撮影者は喜界島で資料を撮影していれば岩倉市郎、アチックに資料を送っていれば木川半之丞と推測されるが、『喜界島代官記 喜界島調査資料』では借用の記録が見られないことから岩倉とした。また、撮影年月日は、岩倉が喜界島を離れる以前の昭和12年3月(3日)以前、撮影地域は喜界島とした。 | 『喜界島代官記 喜界島調査資料』アチックミューゼアム彙報第41p2「代官記の一部(安永)」 | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)3月以前 （備考参照） | 喜界島（備考参照） | |
| 写1 18 19 8 | | ア-98-35 | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | | | | | 原寸鉛筆、縦書）<br>フチ切抜鉛筆、縦書、上）<br>片山家文書 （鉛筆、縦書） | 121×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 19 9 | | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | | | | | ・記載なし | 105×146 | ・版下写真ヵ<br>・写真の天地不明<br>・写真の日焼け跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 19 10 | | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | | | | | ・記載なし | 104×150 | ・版下写真ヵ<br>・写真の天地不明<br>・写真の日焼け跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 19 11 | | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | | | | | ・記載なし | 142×90 | ・宛名面に「Carte Postale」「郵便はがき」、裏側に写真と「紀伊新庄神島産」「鋲珠」と印刷された郵便はがき | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 19 12 | | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | | | | | ・記載なし | 143×91 | ・宛名面に「Carte Postale」「郵便はがき」、裏側に写真と「紀伊新庄神島産」「鋲珠」と印刷された郵便はがき | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 19 13 | | | (2■ 伊能嘉矩)（縦書、訂正／黒マジック）<br>台湾文化史より（鉛筆、縦書）<br>クジライハイ （黒マジック、縦書）<br>アニマタギ （黒マジック、縦書）<br>最上徳内代官記 （黒マジック、縦書） | (封筒) | | | | × | 251×143 | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地 アチック ミュウゼアム 澁澤敬三行」と印刷された茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 20 1 | 不明 | | 【表面】<br>昭和廿九年十二月七日東北犬歩当棒録への写真原稿二重の分及不要の分(縦書、中央)<br>【裏面】<br>カンパン(青鉛筆、縦書、左)<br>未整理(黒フェルトペン、縦書、左) | 不明 | | | | 佐久間家由[緒]書と佐久間孫太夫の<イハ井>[位牌](追記青鉛筆、縦書、右)<br>原寸。(青鉛筆、縦書、左)<br>注意「バックハ消スコト(エヤーブラッシハマ)(青鉛筆、縦書、左)<br><左右(横)三寸四分縮竪ナリユキ>(青鉛筆、縦書、左) | | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 20 2 | 不明 | | 【表面】<br>昭和廿九年十二月七日東北犬歩当棒録への写真原稿二重の分及不要の分(縦書、中央)<br>【裏面】<br>カンパン(青鉛筆、縦書、左)<br>未整理(黒フェルトペン、縦書、左) | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 20 3 | × | | 【表面】<br>昭和廿九年十二月七日東北犬歩当棒録への写真原稿二重の分及不要の分(縦書、中央)<br>【裏面】<br>カンパン(青鉛筆、縦書、左)<br>未整理(黒フェルトペン、縦書、左) | (封筒) | | | | | | ・FUJI PHOTOGRAPHIC PAPERの封筒を使っている<br>・19.4×14.4cmの茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 1 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、中央) | 116×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 2 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、中央) | 116×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 3 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、右) | 165×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 4 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央) | 120×165 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央下部辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 5 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央) | 164×120 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 6 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央、90度回転させた状態) | 164×120 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 7 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 8 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央)<br>TN8(鉛筆、右上、90度回転させた状態) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 9 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 164×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 10 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 11 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 12 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、下) | 119×165 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 13 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、下) | 119×165 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 14 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 165×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 15 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 土器にのこる網の目(鉛筆、縦書、右)<br>P.55(鉛筆、中央)<br>19(鉛筆、中央、天地逆) | 163×120 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 16 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 120×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 17 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央、90度回転させた状態) | 163×121 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 18 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、90度回転させた状態)<br>TN9(鉛筆、右上)<br>アグニ段ノモリ(鉛筆、縦書、右) | 118×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 19 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央、90度回転させた状態) | 120×165 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 20 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 21 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央) | 120×164 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 22 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央、天地逆)<br>網のイワ(貝塚出土)(鉛筆、縦書、右)<br>左右3寸5分(鉛筆、右下)<br>上(青鉛筆、上) | 120×163 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・写真裏面に表の写真の漁具6点を裏から青鉛筆で縁取りし、中に地域名などの情報を記入している | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 23 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、天地逆) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 24 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、中央、天地逆)<br>上(青鉛筆、上) | 120×164 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 25 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央、90度回転させた状態) | 165×120 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 26 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、天地逆)<br>上(青鉛筆、上) | 120×165 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 27 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | ・記載なし | 164×121 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 28 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、中央) | 165×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 29 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、中央)<br>カラフト-ススヤ貝塚■■(青鉛筆、縦書、右)<br>針入(青鉛筆、縦書、右)<br>原寸□□いくらか拡大(青鉛筆、縦書、右) | 120×164 | ・版下写真ヵ<br>・上下部と中央に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着<br>・写真裏面記載文の□□は「より」カ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 21 30 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 17(鉛筆、中央、天地逆)<br>上(青鉛筆、上)<br>カラフト(青鉛筆、縦書、右)<br>ススヤ貝塚より(青鉛筆、縦書、右)<br>■■(青鉛筆、縦書、右)<br>原<■>寸よりいくらか(青鉛筆、縦書、右)<br>拡大(青鉛筆、縦書、右) | 120×165 | ・版下写真ヵ<br>・四隅と中央辺りに貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 31 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央) | 120×164 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 32 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、天地逆)<br><左右3寸5分>(鉛筆、上)<br>TN6(鉛筆、右上)<br>貝塚から出た釣針(鉛筆、縦書、右)<br>実物大(鉛筆、縦書、右下)<br>右二つ落す(鉛筆、縦書、右下) | 119×163 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 33 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、90度回転した状態)<br>貝塚から出た モリ(鉛筆、縦書、右) | 164×120 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 34 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 35 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央) | 120×163 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 36 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央、天地逆)<br>TN7(鉛筆、右上) | 119×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 37 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 16(鉛筆、中央) | 120×163 | ・版下写真ヵ<br>・四隅に貼り付けた紙を剥がした跡があり、紙片が部分的に付着 | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 38 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 164×120 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 39 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 18(鉛筆、下) | 163×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 40 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央) | 164×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 41 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | 19(鉛筆、中央) | 164×120 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 21 42 | | | 考古漁具(縦書、左上、表裏不明) | | | | | × | | ・紫色の文明堂の包装紙を封筒のようにして使用　215×145<br>・本資料左上に「文明堂 28.8.30 のれん街」という黒印あり | | | | | | | | | | | |
| 写1 18 22 1 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Pagain-so-aribanban」と呼ばれるヤミ族の飛魚煮炊き用の壷(Pagain-so-aribanban or boilling-pot for flying-fish)(引用・使用媒体参照) | | | | 576(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>196(右下) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE228、「PREPARATION AND DINNER OF OYUL FISH EDIBLE BY BOTH SEXES」6 Pagain-so-aribanban or boilling-pot for flying-fish(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 2 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Puraranum」と呼ばれるヤミ族の水壷(water-pot)(引用・使用媒体参照) | | | | 7557(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>195(黒インク、右下) | 165×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE215、「Puraranum or water-pot (1/3)」 | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 3 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Sagakuv」と呼ばれるヤミ族の網(引用・使用媒体参照) | | | | 650(鉛筆、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>216(黒インク、右下) | 102×79 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of right:2.Sagakuvの結び目や編み目の間隔などから判断、因みに画像番号SR001-018-022-003は当該写真集と天地逆に写している | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of right:2.Sagakuv | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 4 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Sagap」と呼ばれるヤミ族の網(引用・使用媒体参照) | | | | 549(鉛筆、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>214(黒インク、右下) | 103×82 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE289、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(2)(Natural size)」From top of right:4.Sagapの結び目や編み目の間隔などから判断した | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE289、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(2)(Natural size)」From top of right:4.Sagap | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 5 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Nanaoi」と呼ばれるヤミ族の網(引用・使用媒体参照) | | | | 704(鉛筆、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>215(黒インク、右下) | 103×79 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of left:2.Nanaoiの結び目や編み目の間隔などから判断、因みに画像番号SR001-018-022-005は当該写真集と天地逆に写している | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of left:2.Nanaoi | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 6 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Banaka」と呼ばれるヤミ族の網(引用・使用媒体参照) | | | | 651(鉛筆、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>217(黒インク、右下) | 105×81 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of left:1.Banakaの結び目や編み目の間隔などから判断、因みに画像番号SR001-018-022-006は当該写真集と天地逆に写している | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of left:1.Banaka | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 7 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Tawal」と呼ばれるヤミ族の網(引用・使用媒体参照) | | | | 705(鉛筆、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>218(黒インク、右下) | 104×80 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of right:1.Tawalの結び目や編み目の間隔などから判断した | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE288、「MESHES OF VARIOUS KINDS OF NET(1)(Natural size)」From top of right:1.Tawal | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 8 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Banaka」と呼ばれるヤミ族のタモ網(scoop-net)(引用・使用媒体参照) | | | | 651(鉛筆、中央)<br>1/10(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>217(黒インク、右下) | 165×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE163、「TORCH-LIGHT FISHING FOR FLYING-FISH(SOMOO)」Banaka or scoop-net(1/10) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 9 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 袖なし状衣服 | | | | 8043(鉛筆、中央)<br>裏(鉛筆、中央)<br>1/7(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左、90度回転した状態)<br>260(黒インク、左、90度回転した状態) | 164×120 | ・詳細は不明 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 22 10 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Waga」と呼ばれるヤミ族の土製汁椀(pedestal earthen ware for soup)(引用・使用媒体参照) | | | | 592(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>201(黒インク、右下) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE231、「DINNER OF SOUP」4 pedestal earthen ware for soup(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 11 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Tawal」と呼ばれるヤミ族の仕掛網 (drag-net)(引用・使用媒体参照) | | | | 705(鉛筆、中央)<br>寸法ナシ(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>218(黒インク、右下) | 165×120 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE187、「Part of drag-net」(1/12)に「The Tawal or drag-net is a large-sized net 30m long, and 1m wide.」とあり題名はこれによった | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE187、「Part of drag-net」(1/12) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 12 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パンニ枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Waga」と呼ばれるヤミ族の土製汁椀(pedestal earthen ware for soup)(引用・使用媒体参照) | | | | 591(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>202(黒インク、右下) | 121×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE231、「DINNER OF SOUP」3 pedestal earthen ware for soup(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 18 22 13 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Votkol」と呼ばれるヤミ族の農業用籠の底武 (farming baskets)(引用・使用媒体参照) | | | | 746(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>203(黒インク、右下) | 165×121 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE132、「FARMING BASKETS」2 Bottom view of Votkol(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 14 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「SUSUNRUN」と呼ばれるヤミ族の紡錘、俯瞰図(spinning-top)(引用・使用媒体参照) | | | | [臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>205(黒インク、右下) | 120×164 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE294、「SUSUNRUN OR SPINNING-TOP」3 Designed side of spinning-top(1/2) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 15 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Pasasakuvan-so-waga」と呼ばれるヤミ族の「waga (earthen bowl)(土製汁椀)作りに使う木製の補助具(引用・使用媒体参照) | | | | 7346(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>204(黒インク、右下) | 164×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE328、「TOOLS FOR MAKING POTTERY」4 Pasasakuvan-so-waga made of wood(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 16 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 鉄砲袖上の肌着 | | | | 7804(鉛筆、中央)<br>1/10(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左下)<br>262(黒インク、左下) | 121×164 | ・詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 22 17 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 袖なし状衣服 | | | | 8043(鉛筆、中央)<br>表(鉛筆、中央)<br>1/7(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左、90度回転させた状態)<br>260(黒インク、左、90度回転させた状態) | 164×120 | ・詳細不明 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写1 18 22 18 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Paiiri」と呼ばれるヤミ族のビンロウの皮製のうちわ(引用・使用媒体参照) | | | | 7327(鉛筆、中央)<br>1/5(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>206(黒インク、右下) | 164×122 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE319、「SILVER WORK-MELTING OF SILVER」Paiiri or fan made of betel-nut bark(1/5) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 19 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の木製のシラサギのおもちゃ(A wooden toy of Egret. It is hung within a room)(引用・使用媒体参照) | | | | 1/5(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>208(黒インク、右下) | 165×121 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE400、「TOYS」5 A wooden toy of Egret. It is hung within a room(1/5) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 20 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の筒状竹製釣り用具入れ(Receptacle for angling-tackle made of bamboo cylinder)(引用・使用媒体参照) | | | | 2/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>207(黒インク、右下) | 165×121 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE165、「ANGLING OF FLYING-FISH (MATAO)」Receptacle for angling-tackle made of bamboo cylinder(2/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 21 | | 写1-18-22-28<br>写1-18-22-29 | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「SUSUNRUN」と呼ばれるヤミ族の紡錘、二点(spinning-top)(引用・使用媒体参照) | | | | 7559(鉛筆、左)<br>7344(鉛筆、右)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>209(黒インク、右下)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>210(黒インク、右下) | 165×121 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE294、「SUSUNRUN OR SPINNING-TOP」1&2 spinning-top(1/3) に同ページ内二ヶ所に分けて掲載されている | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE294、「SUSUNRUN OR SPINNING-TOP」1&2 spinning-top(1/3) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 22 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Pitatangan」と呼ばれるヤミ族の銀製品を石槌で象る木製の型(spinning-top)(引用・使用媒体参照) | | | | 624(鉛筆、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下、90度回転させた状態)<br>211(黒インク、右下、90度回転させた状態) | 120×166 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE321、「TOOLS FOR SILVER-WORK」Pitatangan or stone hammer with wooden rest(1/4) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 23 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Magamaog」と呼ばれるヤミ族の彫像(おもちゃ)(A large-sized statuette of Magamaog)(引用・使用媒体参照) | | | | 1/10(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左上、天地逆)<br>212(黒インク、左上、天地逆) | 121×165 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE400、「TOYS」1 A large-sized statuette of Magamaog(1/10) に『It is made of Kamara wood(Diospyros discolor Willed)』とありKamaraの木で作られたものでありまた同書に「Magamaog is a mythological figure who taught the methods in boat-buillding and agiriculture to the Yami」とあり「Magamaog」はヤミ族に船の作り方と農業を教えた神のような存在ということが分かる | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE400、「TOYS」1 A large-sized statuette of Magamaog(1/10) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 24 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の網製袋 | | | | 652(鉛筆、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左上、天地逆)<br>213(黒インク、左上、天地逆) | 165×121 | ・写1-18-22の資料群に入っていることや、撮影方法、写真裏面「臨時番号213」(当番号周辺はヤミ族の民具)であることなどからヤミ族に関する写真と考えられるが『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』には使用されていない | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(備考参照) | |
| 写1 18 22 25 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Sagap」と呼ばれるヤミ族のタモ網(small-sized scoop-net)(引用・使用媒体参照) | | | | 549(鉛筆、中央)<br>1/6(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>214(黒インク、右下) | 165×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE194、「DIVE-FISHING (MITAGURURUN) AND SAGIT-FISHING(MANAGIT)」Below, left: Sgap or small-sized scoop-net(1/6) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 26 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Sagakuv」と呼ばれるヤミ族のタモ網(medium-sized scoop-net)(引用・使用媒体参照) | | | | 650(鉛筆、中央)<br>1/7(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>216(黒インク、右下) | 164×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE194、「DIVE-FISHING (MITAGURURUN) AND SAGIT-FISHING(MANAGIT)」Top, left: Sgakuv or medium-sized scoop-net(1/7) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 27 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Manaoi(Nanaoi)」と呼ばれるヤミ族の投網の右側半分(Right half part of casting-net)(引用・使用媒体参照) | | | | 704(鉛筆、中央)<br>1/12(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>215(黒インク、右下) | 120×164 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE185、「Manaoi OR CASTING-NET FISHING」に「The Nanaoi is a kind of casting-net peculiar to the Yami」とありManaoiかNanaoiかは分からない、そのため便宜上題名は「Manaoi(Nanaoi)」とした | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE186、「Manaoi OR CASTING-NET FISHING」Right half part of casting-net(1/12) | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 18 22 28 | | 写1-18-22-21 | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「SUSUNRUN」と呼ばれるヤミ族の紡錘、俯瞰図(spinning-top)(備考参照) | | | | 7559(鉛筆、中央)<br>表面(鉛筆、縦書、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右上、天地逆)<br>261(黒インク、右上、天地逆) | 115×152 | ・写1-18-22-21右側と同じ文様であることから同一の被写体を俯瞰で撮影したものと考えられ題名・撮影者・撮影地域はこれによる、因みに当該資料と同じ写真は『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』には使用されていない | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 22 | 29 | | 写1-18-22-21 | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「SUSUNRUN」と呼ばれるヤミ族の紡錘、俯瞰図(spinning-top)(備考参照) | | | | 7344(鉛筆、中央)<br>表面(鉛筆、縦書、中央)<br>原寸(鉛筆、縦書、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右上、天地逆)<br>261(黒インク、右上、天地逆) | 114×152 | ・写1-18-22-21左側と同じ文様であることから同一の被写体を俯瞰で撮影したものと考えられ、題名・撮影者・撮影地域はこれによる、因みに当該資料と同じ写真は『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』には使用されていない | | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 22 | 30 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Waga」と呼ばれるヤミ族の土製汁椀(pedestal earthen ware for soup)(引用・使用媒体参照) | | | | 1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>200(黒インク、右下) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE231、「DINNER OF SOUP」2 pedestal earthen ware for soup(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 31 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Waga」と呼ばれるヤミ族の土製汁椀(pedestal earthen ware for soup)(引用・使用媒体参照) | | | | 7358(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>198(黒インク、右下) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE231、「DINNER OF SOUP」1 pedestal earthen ware for soup(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 32 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Waga」と呼ばれるヤミ族の土製汁椀(pedestal earthen ware for soup)(引用・使用媒体参照) | | | | 589(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下、天地逆)<br>199(黒インク、右下、天地逆) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE231、「DINNER OF SOUP」5 pedestal earthen ware for soup(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 33 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の水壷(water-pot)(引用・使用媒体参照) | | | | 1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>197(黒インク、右下) | 120×165 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE214、「FUEL GATHEING water-pot(1/3)の頁右下が同一写真 | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE214、「FUEL GATHEING water-pot(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 34 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の水壷(water-pot)(引用・使用媒体参照) | | | | 587(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>194(黒インク、右下) | 165×120 | ・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE214、「FUEL GATHEING water-pot(1/3)の中央部が同一写真 | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE214、「FUEL GATHEING water-pot(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 35 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Pasasakuvan-so-waga」と呼ばれるヤミ族の「waga(earthen bowl)(土製汁椀)作りに使う粘土製の補助具(引用・使用媒体参照) | | | | 584(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>193(黒インク、右下) | 166×120 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE328、「TOOLS FOR MAKING POTTERY」5 Pasasakuvan-so-waga made of wood(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 36 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Amogan」と呼ばれるヤミ族のOyul煮炊き用の壷(boiling pot for Oyul fish)(引用・使用媒体参照) | | | | 578(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>191(黒インク、右下) | 166×120 | ・ヤミ族には男女で食べる、食べない魚というものがあり、男女双方ともに食べる魚を「Oyul」と呼んでいる(『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE228、「PREPARATION AND DINNER OF OYUL FISH EDIBLE BY BOTH SEXES」説明より) | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE229、「PREPARATION AND DINNER OF OYUL FISH EDIBLE BY BOTH SEXES」7 Amogan or boiling pot for Oyul fish | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 37 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Chuchuran」と呼ばれるヤミ族のAchiudとKaiin煮炊き用の壷(boiling pot for Oyul fish)(引用・使用媒体参照) | | | | 580(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>192(黒インク、右下) | 165×120 | ・ヤミ族には男女で食べる、食べない魚というものがあり、男だけが食べる魚を「Ragut」と呼んでいる(『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE236、「PREPARATION AND DINNER OF RAGUT OR FISH EDIBLE BY MEN」説明より)、因みに同書の文意からAchiudとKaiinは魚の名前、種類と考えられる | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE236、「PREPARATION AND DINNER OF RAGUT OR FISH EDIBLE BY MEN」2 Chuchuran or boiling pot for fish of Achiud and Kaiin(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 38 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | 「Moron-no-tatara」と呼ばれるヤミ族のシラサギを模した舶首の飾り(Moron-no-tatara in shape of egret head)(引用・使用媒体参照) | | | | パンクロ(鉛筆、縦書、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、左下、90度回転させた状態)<br>190(黒インク、左下、90度回転させた状態) | 165×121 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE153、「MORON-NO-TATARA ORNAMENT OF PROW AND STERN HEADS」3 Moron-no-tatara in shape of egret head(1/4) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 39 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族のカワハギのガラガラ(おもちゃ)(A rattling toy of a File-fish)(引用・使用媒体参照) | | | | パンクロ(鉛筆、縦書、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号](黒スタンプ、右下)<br>189(黒インク、右下) | 120×165 | | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE400、「TOYS」4 A rattling toy of a File-fish(1/3) | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写1 | 18 | 22 | 40 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | ヤミ族の銛、矢 | | | | 台湾(鉛筆、縦書、中央)<br>鹿野氏分(鉛筆、縦書、中央) | 165×121 | ・写1-18-22の資料群に入っていることや、撮影方法、写真裏面記載「鹿野氏分」などがあることからヤミ族に関する写真と考えられるが『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』には使用されていない | | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(備考参照) | |
| 写1 | 18 | 22 | 41 | | | 【表面】<br>二十九(八)枚内パン二枚(鉛筆、縦書、表右側)<br>10/27(赤鉛筆、表左上)<br>台湾(赤鉛筆、縦書、表左側)<br>【裏面】<br>[OYG][05](黒印) | (封筒) | | | | × | | ・オリエンタル写真工業株式会社の茶封筒 194×143 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 1 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(-5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫 蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧 第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人 鈴木凡太郎<br>発行所 東京日本橋区小■・・・ 東京 俚俗集・・・(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ・記載なし | 82×103 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「八幡祭(深川富岡八幡宮)寛永二十年の昔より連綿として続いた、この富岡八幡の祭礼は毎年八月十五日の前後数日に亘って行われる。山王や神田の祭と共に、大江戸の昔を偲ぶもので、よく深川ッ子の意気を表している。特に本年は大震災後の社殿再建の完成と共に近年稀の賑いを極めた。写真は宮元の町内に造られた、男獅子、女獅子の花山車であつて、これが社前の大通りを練り歩いた。」と印刷されている。 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 23 | 2 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×196 | ･記載なし | 103×80 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「鼠小僧の墓　(東両国・回向院内)鼠小僧は名を治郎吉と言い、自ら義賊と名乗って横行し、江戸末期に於ける大泥棒として、今尚講談本を賑わしている。天保二年八月十八日、年三十二才で死んだと伝えられている。何時の頃よりか、彼の墓石を缺いて懐中していると、無尽に当ると言われ、無尽のおまじないとしてこの墓石を缺きに来る人が多い、最初の墓は今跡形もなく、現在のは明治九年、市川団升の立てたもので、高さ約四尺、 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 3 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×196 | ･記載なし | 103×81 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「久米平内堂(浅草仁王門前)此の御堂の始めは貞享年中に造られたが、安政の地震に破壊されて後漸明治二十八年に現在の御堂に再建された。堂内に久米平内兵衛長守と刻された石像が祀られている。平内は其の晩年になるに及んで罪滅しの為、仁王坐禅に像つた自己の石像を造って、衆人に踏附られる為に、この地に置いたと伝えられている。(一説に、彼は持病のおこりの治癒を願って埋めたとも言われている)後所謂踏附けるは、 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 4 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ･記載なし | 81×103 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「駒込大黒天(市外駒込妙義坂)社名を大国神社と言い、都下に於ける大黒天として最も多くの信仰を集めている、祭神は大巳貴命、此の社では一名、日ノ出大国神と称している。天明二年、下野の国よりこの此に移り、徳川十一代将軍家斉公の厚き信仰を得たと伝えて居る。社殿槻の小堂に無数の木彫の大黒天の像が祀られている。此は参詣の人々が甲子の日毎に、社より一体の像を受けて自家に祀り、最初は小より順次大に至って大小七 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 5 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ･記載なし | 78×103 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「王子装束　一(府下王子町王子権現)毎年八月十三日に行われる祭で、当日社前の舞殿で古式に従った田楽舞が行われる処から、田楽祭、又は編木祭とも称しかなり古くから伝ったもので「ひともと草」などに昔の様子が詳記されて居る。この田楽舞十二番の未だ終わらない内に、警固の世話人に依って、踊り児の花笠は取られて、観衆に向って投げ出される、観衆は之を取らんとして、猛烈な奪い合が演じられる。これ故俗に喧嘩祭と | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 6 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ･記載なし | 103×78 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「王子鎧祭　二「田楽舞」田楽舞は七腰・八腰と称する警固の武者(一名は七本の大刀を腰につけ、一名は八本を帯ぶ)と踊児八名、内二人は烏帽子形の花笠をつけ、六人は写真の如き花笠をつけ編木又は太鼓を持ち十人程の上下をつけた世話人に警固されて、一番より十二番までの編木(びんざゝら)舞を行う。」と印刷されている。 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 7 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 150×197 | ･記載なし | 78×103 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「王子植祭　三「奉納植」雄祭の当日この社より、木製に竹の柄をつけた長さ八寸位の植が授与される、之は昔春日局が武運長久を祈って、この社に奉納した植に模して造られたもので、三年程以前までは社前の露店で鬻がれていた。参詣人はこれを求めて神前に供え、別に霊前に供えられて居る植を受けて来たものであったが、近年は直接社から授与される様になった。古くは火難盗難除けと言われて居たが、近頃では腹痛の時この植で | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 8 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×195 | ･記載なし | 79×102 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「涙橋(府下大井町北濱川)旧東海道の大井町を過ぐる処、北濱川と南濱川の境を、立会川と呼ぶ小川が流れて街道を横切っている。こゝに現今、濱川橋と称する全長五間足らずの小橋が架けられているが、古くから此の橋を俗に涙橋と呼んでいる。其の昔、鈴が森刑場へ率かれゆく罪人の、親兄弟或は縁者の見送りの人々が、此の橋を堺として尽きぬ名残の袂を別ち、訣別の情涙と共にせまった所と伝えられている。現在の橋は大正九年 | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 9 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯（墨書、縦書、中央）<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 152×197 | ･記載なし | 80×103 | ・黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>・台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「水天宮　供餅(日本橋区蠣殻町)此処に参詣する人々は社前の露店で鬻がれて居る、この供餅一重ねを求めて、之を神前に供え別に既に供えられている、供餅の一ッを受けてかえる習わしが行われている。此外、写真の中央に見える鉄製の碇は「すいき」のまじないとして、以前は社より貸し与えられて病気全快と共、別に一個を添えて返済したものであって、大小いろいろ種類があったが今では小形の物一種だけ売っているに過ぎぬ。 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 18 | 23 | 10 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ･記載なし | 80×103 | ･黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>･台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「水天宮　安産の腹帯(目本橋区蠣殻町)水天宮の縁日は毎月一日、五日、十五日、の三ヶ日であるが、特に五日には社より安産の腹帯が授与される。これは俗に鈴緒の腹帯と称していて、即ち神前に下げられてある、数個の神鈴を打つ五色の布の緒を用いて造られたものであって、安産を願う人々の間に、御守と共に持てはやされている。」と印刷されている。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 11 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 150×197 | ･記載なし | 81×103 | ･黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>･台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「鈴が森刑場跡　其ノ一　(市外、大井町鈴が森)この鈴が森は徳川幕府最初の刑場であった高輪から、慶安四年に此の地に移られたのが始りであった。前面の海岸に一株の老松があったので一本松獄門場とも謂われ、普通は品川獄門場と称していた。当時は長さ四十間、幅九間、総面積一反二畝歩であったそうだが現在は僅に百坪たらずを其の旧跡として留めているに過ぎない、地内に題目堂、髑髏塚、題目塚等が残っている。平井権八の | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 12 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×196 | ･記載なし | 103×81 | ･黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>･台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「鈴が森刑場跡　其の二　(磔刑柱ノ礎石)此処ではは平井権八を始めとして、天一坊、山縣大弐、仙石左京などが磔刑或は梟首等の刑戮に、行われたところとして有名であるが当時磔刑用の柱を立てるに使用した、伝えられている礎石が、今尚残されている。日興上人建立の小さい題目塔の前に置かれてある二個の角石であって、大きさは、一尺八寸五分角、高さ八寸位、中央に約五寸位の角穴がうがたれている。」と印刷されている。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 13 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | 151×197 | ･記載なし | 80×102 | ･黒い台紙に写真の四隅が差し込み固定されている。<br>･台紙に薄紙のカバー(台紙と同寸法)が付けられている。カバーには「しんこ屋　(浅草、浅草寺境内)　守貞漫稿に「米粉に諸彩を交え鳥獣草木等の形を造り方一二寸の薄き杉板に粘し小児の弄物を専とし食し之子稚也」とある様に、昔は単に玩具として弄ばれたものであったが、後世に至っては砂糖、糖蜜等の味を附けて食物として小児等に喜ばれる様になった。はさみを唯一の道具として其の洗練された指先に僅に江戸の名残を留めている、しんこやさん、現今ではもうかぞえる程に過ぎない。」と印刷 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 14 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | | ･記載なし | 148×193 | ･薄いピンク色の用紙<br>･「東京　俚俗集覧　第一輯<br>八幡祭　鼠小僧の墓　久米平内堂　駒込大黒天　王子権祭一　同二<br>同三<br>浪橋　水天宮供餅　同安産の腹帯　川蒸汽　鈴が森刑場跡一　同二　しんこ屋」と印刷されている。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 15 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠損の | | 記載なし | | | ･記載なし | 149×191 | ･白色の用紙、上部中央に直径約2mmの穴が開けられている<br>･「本書発行　再三の遅延を深くお詫びいたします　のみならず　写真、解説、体裁等に附き　さぞご不満乃点が多々あることと存じますが　如れも素人丸の事として特に御寛容の程を御願い致します<br>本輯中　予告の「赤門」は次回に都合上ゆづりました<br>第二輯より全ての点に尚一層の努力を致す考えでおります<br>俚俗集覧　第二輯　予定<br>ベッタラ市一　同二　御会式万燈　酉の市一　同二　宮詣り一　同二<br>鎮兵衛地蔵　迷子道しるべ　子育て観音　赤門　京傳の墓　からくり<br>十二月十五日発 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 23 | 16 | | | 【表面】<br>[26680](青のスタンプ、表右上に赤の囲い線が印刷された紙が貼られ、その紙にスタンプが押されている)<br>[5105(5334)](青のスタンプ、表右上、「26680」と押印された紙の下に貼られた「祭魚洞文庫　蔵書架票」と印刷された紙にスタンプが押されている)<br>東京俚俗集覧　第一輯(墨書、縦書、中央)<br><br>【裏面】<br>昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･(墨書、縦書、左下、貼り付けられた紙に書かれており、欠 | | | | | × | | ･薄茶色の封筒　195×211。<br>･「祭魚洞文庫　蔵書架票」、「東京　俚俗集覧　第一輯」と印刷された紙が表に貼られている。<br>･裏面の左下には、<br>「昭和五年十二月一日印刷<br>同五年十二月五日発行<br>編集印刷兼発行人　鈴木凡太郎<br>発行所　東京日本橋区小■･･･　東京　俚俗集･･･」<br>と印刷された紙が貼られている。発行所は紙が破れており「･･･」部分について確認できない。 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 18 | 24 | | | | アルバム標(黒マジック、天地90度向きが異なる、左端)<br>下段アルバムの間にあった(黒マジック、左端、90度向きを変えて書かれている)<br>(神奈川大学日本常民文化研究所)(黒マジック、右下) | (封筒) | | | | × | | ･神奈川大学日本常民文化研究所の封筒　238×367<br>･画像データなし | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 1 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 5(鉛筆、右上) | 118×160 | ･版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 2 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 18(鉛筆、右上) | 116×160 | ･版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 3 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 16(鉛筆、右上) | 116×159 | ･版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 4 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 19(鉛筆、右上) | 122×164 | ･版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 19 | 1 | 5 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 15(鉛筆、右上) | 116×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 6 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 14(鉛筆、右上) | 122×166 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 7 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 13(鉛筆、右上) | 116×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 8 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 12(鉛筆、左上、90度回転させた状態) | 159×116 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 9 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 10(鉛筆、右上) | 165×121 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 10 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 11(鉛筆、右上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 11 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 8(鉛筆、右上) | 122×164 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 12 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 7(鉛筆、右上) | 122×163 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 13 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 6(鉛筆、右上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 14 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 5(鉛筆、右上) | 117×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 15 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 4(鉛筆、右上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 16 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 3(鉛筆、右上) | 116×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 17 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 2(鉛筆、右上) | 116×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 18 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 1(鉛筆、左上、90度回転させた状態) | 159×116 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 19 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | 17(鉛筆、右上) | 116×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 1 | 20 | | | 北野天神(19枚)(縦書、「19」のみ横書、表右上)<br>北野天神(縦書、表中央左より)<br>19枚(表中央左より)<br>在中(表中央左より) | | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　251×142 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 2 | 1 | | | 市川様(赤ペン、縦書、表中央左より) | | | | | ・記載なし | 113×150 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 2 | 2 | | | 市川様(赤ペン、縦書、表中央左より) | | | | | ・記載なし | 153×111 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 2 | 3 | | | 市川様(赤ペン、縦書、表中央左より) | | | | | ・記載なし | 108×150 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 2 | 4 | | | 市川様(赤ペン、縦書、表中央左より) | | | | | ・記載なし | 160×110 | | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 2 | 5 | | | 市川様(赤ペン、縦書、表中央左より) | | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷された茶封筒　251×143 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 3 | 1 | | | 社長(左上) | | | | | [36.5.10](紫スタンプ、左上)<br>A.T.T.(中央)<br>Mr.J.S.Jack(中央)<br>□22(鉛筆、中央、天地逆) | 87×126 | ・写真裏面記載文の□は「U」ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 3 | 2 | | | 社長(左上) | | | | | [36.5.10](紫スタンプ、左上)<br>A.T.T.(中央)<br>Mr.H.H.Joyner(中央)<br>□22(鉛筆、右、90度回転させた状態) | 87×126 | ・写真裏面記載文の□は「U」ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 3 | 3 | | | 社長(左上) | | | | | × | | ・裏面に「東京都千代田区大手町一丁目五番地　国際電信電話株式会社　電話丸ノ内(23)〇二五一番　〇二六一番」と印刷された白色無地の封筒　167×121 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 1 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 28(鉛筆、右上) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 2 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 27(鉛筆、右上)<br>〇(鉛筆、右上) | 116×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 3 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 26(鉛筆、左上) | 159×116 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 4 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 2(鉛筆、左上) | 160×118 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 5 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 37(鉛筆、左上) | 161×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 6 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 36(鉛筆、右上) | 116×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 7 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 35(鉛筆、右上) | 117×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 8 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 34(鉛筆、右上) | 119×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 9 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 33(鉛筆、右上) | 118×162 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 10 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 32(鉛筆、右上) | 117×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 11 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 31(鉛筆、右上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 12 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 30(鉛筆、右上) | 117×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 13 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 29(鉛筆、右上) | 117×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 14 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 13(鉛筆、左上) | 160×117 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 4 | 15 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 12(鉛筆、右上) | 117×158 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 19 4 16 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 11(鉛筆、右上) | 112×156 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 17 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 10(鉛筆、右上) | 117×162 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 18 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 9(鉛筆、左上) | 161×113 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 19 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 8(鉛筆、右上) | 116×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 20 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 7(鉛筆、右上) | 119×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 21 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 6(鉛筆、右上) | 118×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 22 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 4(鉛筆、右上) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 23 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 3(鉛筆、右上) | 161×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 24 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 1(鉛筆、右上) | 117×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 25 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 43(鉛筆、右上) | 116×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 26 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 42(鉛筆、右上) | 118×160 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 27 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 41(鉛筆、右上) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 28 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 40(鉛筆、左上) | 160×117 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 29 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 39(鉛筆、左上) | 160×117 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 30 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 38(鉛筆、左下) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 31 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 38(鉛筆、右上) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 32 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 25(鉛筆、左上) | 161×119 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 33 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 24(鉛筆、右上) | 116×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 34 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 15(鉛筆、左上) | 161×118 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 35 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 14(鉛筆、左上) | 160×117 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 36 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 23(鉛筆、右上) | 121×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 37 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 22(鉛筆、右上) | 118×161 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 38 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 21石山寺(鉛筆、縦書、右)<br>1口(鉛筆、右、丸囲み字)<br><左右七寸>(鉛筆、縦書、中央) | 117×159 | ・版下写真ヵ<br>・口は「0」ヵ「6」ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 39 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 20(鉛筆、左上)<br>〇(鉛筆、右上) | 161×116 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 40 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 19(鉛筆、右上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 41 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 18(鉛筆、左上) | 161×118 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 42 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 17(鉛筆、右上)<br>17(鉛筆、左上) | 117×159 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 43 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | | | | | 16(鉛筆、左上) | 161×118 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 4 44 | | | 石山寺43枚(縦書、「43枚」のみ横書、表右上)<br>石山寺(縦書、表中央左より)<br>43枚(表中央左より)<br>在中(縦書、表中央左より) | (封筒) | | | | × | | ・表面に「東京都芝区三田綱町十番地　アチック　ミュウゼアム　滋澤敬三行」と印刷された茶封筒　250×142 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 19 5 1 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■■[様](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][#]45[]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>｜(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | レ(鉛筆、中央、天地逆、「レ」はチェック) | 63×89 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 19 | 5 | 2 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | レ(鉛筆、中央、天地逆、「レ」はチェック) | 63×89 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 3 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 71×99 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 4 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 109×160 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 5 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 116×160 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 6 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 112×160 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 7 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 115×160 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 5 | 8 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[株](上部)<br>[現像]35[型]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[]]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>丨(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーゾツ(鉛筆、縦書、右 | | | | | ・記載なし | 116×161 | ・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 19 | 5 | 9 | | | 【裏面】<br>[No.]1、2、(鉛筆、右上)<br>[御芳名]木■■[抹](上部)<br>[現像]35[至]2[本](明細表内)<br>160(鉛筆、明細表内)<br>[引伸]7[枚][@]45[][]315(鉛筆、明細表内)<br>[合計¥]475(鉛筆、明細表内)<br>36E(鉛筆、右側)<br>↓(鉛筆、右側)<br>22(鉛筆、右側)<br>23(鉛筆、右側)<br>24(鉛筆、右側)<br>25(鉛筆、右側)<br>27(鉛筆、右側)<br>カヒネー(鉛筆、縦書、右側)<br>他ナシ(鉛筆、縦書、右側)<br>20EX(鉛筆、右側)<br>もデスマスク(鉛筆、右側)<br>カヒネーヅツ(鉛筆、縦書、右 | (封筒) | | | | × | | ・「カメラとD.P.E.　五写堂写真機店　港区芝白金志田町41<br>TEL(441)6476」と印刷された「さくらフイルム」の封筒。 198×121<br>・封筒記載文は封筒裏表紙記載 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 19 | 6 | | | | 絵引の(黒マジック、表中央)<br>写真(黒マジック、表中央) | (封筒) | | | | × | | ・「日本民俗学会第51回年会実行委員会」の封筒。 372×239 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 1 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 82×49 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 2 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 82×106 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 3 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 74×96 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 4 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 71×105 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 5 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 110×69 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 6 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 100×75 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 7 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 79×105 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 8 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 145×111 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 9 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 107×150 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 10 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 145×111 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 11 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | ・記載なし | 138×115 | ・版下写真ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 20 | 12 | | | | 予備(鉛筆、縦書、表中央)<br>広告(青鉛筆、縦書、裏右上) | | | | | × | | ・茶封筒　220×121 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 21 | 1 | | | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | 林の中から撮られた海岸線 | | | | ・記載なし | 112×160 | ・叉木に棒が渡してある<br>・奥に見えるのは海岸線ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 21 | 2 | | ノルウェー | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | フィンセのグリーン氷河 | | | | 7(鉛筆、中央、天地逆) | 75×113 | ・『犬歩当棒録』pp.389-392より大正13年8月21日～9月7日に神鞭常泰とスカンジナヴィアを訪問しており、フィンセには8月22日に訪問していることから、撮影日時はこれによる | 洪沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p391「グリングレシア約一里四方山をおおう。フィンセ」『柏葉拾遺』柏窓会1956年柏窓会1956年p39「フィンセ　グリーン氷河にて　ノルウェー　大正13.8」柏窓会1956年p39「フィンセ　グリーン氷河にて　ノルウェー　大正13.8」 | | | | | | | | 大正13年(1924年)8月22日～大正13年8月22日『犬歩当棒録』p.389 | フィンセ『犬歩当棒録』p.389 | |
| 写1 | 21 | 3 | | 鹿児島県 | ア-9-104　河1-26-2 | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | 宝島珊瑚礁上にて十島調査団集合写真 | | | | 7(鉛筆、中央、天地逆) | 75×113 | ・本資料は台紙等の紙に貼られた資料を接写したものである | 『柏葉拾遺』柏窓会1956年p49「十島宝島珊瑚礁上にて　昭和9.5.」早川孝太郎『早川孝太郎全集』X 日未来社2003未来社2003p387「十島丸の船長、船員も一緒に、宝島の珊瑚礁の上に…」未来社2003p387「十島丸の船長、船員も一緒に、宝島の珊瑚礁の上に…」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』横浜市歴史博物館2002p69「5　薩南十島神奈川大学日本常民文化研究所　宝島珊瑚礁上での記念写真」16ミリフィルム「十島(B1～B3)」44:54 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 宝島台紙記載 | |
| 写1 | 21 | 4 | | 愛媛県 | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | 宇和島の牛鬼まつりの牛鬼 | | | | ・記載なし | 156×205 | ・愛媛県宇和島市で行なわれる牛鬼祭りの牛鬼を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 21 | 5 | | | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | 三田綱町の旧渋沢邸の庭 | | | | ・記載なし | 146×209 | ・三田綱町の旧渋沢邸の庭<br>・右手に石灯籠、奥に邸宅の一部が見える | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 21 | 6 | | | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北犬歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | 十字架の立てられた墓地 | | | | ・記載なし | 147×209 | ・青森県戸来村(現三戸郡新郷村大字戸来)にあるキリストの墓ヵ。『犬歩当棒録』より昭和9年9月～10月に石黒忠篤、アチック同人らと男鹿、石神、八戸を調査する途中で三戸に立ち寄っているが、その際に撮影したものかは不明。 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 21 | 7 | | | | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北大歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>資料二ノ口の分(青ペン、縦 | 芳賀矢一肖像写真 | × | | 230×142 | ・記載なし(台紙に貼られているため) | 140×95 | ・写真には台紙と同じサイズのカバーが付いている<br>・さらに台紙が固定されたカバー台紙あり　239×345<br>・写真表の左下には「芳賀　矢一」と記載あり(印刷カ)<br>・写真表の右下には「T. HASEGAWA　KUDAN　TOKYO」とあり<br>・芳賀矢一は江戸末期から昭和初期まで活躍した国文学者である。明治42年に敬三の祖父栄一は、『群書類従』を収集・編纂・発行した塙保己一顕彰のため、「温故学会」を宮中顧問官の井上通泰、文学博士の芳賀矢一、保己一曾孫の塙忠雄らと設立した | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 21 | 8 | | | | | 東京シネマ岡田様(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>一枚ヅツ焼付分一四組　四枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>三枚ヅツ十九組　五七枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>計二十三組(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br>六十一枚(縦書、表下部、90度向きを変えて書かれている)<br><br>昭和廿九年十二月七日(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている)<br>東北大歩当棒録(青ペン、縦書、表中央、90度向きを変えて書かれている) | (封筒) | | | | × | | ・茶封筒　310×217 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 22 | 1 | 1 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・「3905」と記載された黄色の付箋付き<br>・レントゲンフィルム　黒紙(430×162)でカバーされている。<br>・フィルム上部中央に「EASTMAN-SAFETY-KODAK」、反対側左下に「ULTRA RAPID KOMBINATION」と文字あり<br>・本資料は写1-22-1-3の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 1 | 2 | | | 河1-16-9 | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・「4529」と記載された黄色の付箋付き<br>・レントゲンフィルム　黒紙(430×163)でカバーされている。<br>・フィルム上部中央に「EASTMAN-SAFETY-KODAK　32」、反対側左上に「RAPID KOMBINATION」右上に「HYDEN ULTRA　RAPID KOMBINATION」と文字あり<br>・本資料は写1-22-1-3の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | 横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所『屋根裏の博物館　－実業家渋沢敬三が育てた民の学問－』横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年p89「3 交差型の足半草履　同レントゲン写真(足半草履　国立民族学博物館・レントゲン写真　神奈川大学日本常民文化研究所) | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 1 | 3 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 「癌研究会」の封筒 | | | | ・記載なし | | ・裏面に姓名・年齢・性別・住所・撮影日・紹介者・住所・診断・撮影部位・枚数・備考欄を設けた一覧表が印刷された「癌研究会」の白色の封筒<br>268×172<br>・本資料に写1-22-1-1～写1-22-1-2が入れられていたヵ<br>・本資料は写1-22-4の封筒に入れられていたヵ | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 22 | 2 | 1 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・「1213」と記載された黄色の付箋付き<br>・レントゲンフィルム　黒紙(430×162)でカバーされている。<br>・フィルム上部中央に「EASTMAN-SAFETY-KODAK」、<br>裏側左上と右上に「HYDEN RAPID KOMBINATION」と文字あり　左上は「RAPID」の前に「ULTRA」が続いているものヵ<br>・本資料は写1-22-2-3の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 2 | 2 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・「0903」と記載された黄色の付箋付き<br>・レントゲンフィルム　黒紙(429×162)でカバーされている。<br>・フィルム右上に「HYDEN ULTARA RAPID KOMBINATION」と文字あり<br>・本資料は写1-22-2-3の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | 横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所『屋根裏の博物館　－実業家渋沢敬三が育てた民の学問－』横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年p88「2 並行型の足半草履　同レントゲン写真(足半草履　国立民族学博物館・レントゲン写真　神奈川大学日本常民文化研究所) | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 2 | 3 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | (封筒) | | | | × | | ・「1213 0930 のネガ」と記載された黄色の付箋付き<br>・表面に姓名・年齢・性別・住所・撮影日・紹介者・住所・診断・撮影部位・枚数・備考欄を設けた一覧表が印刷された「癌研究会」の白色の封筒<br>268×171<br>・本資料に写1-22-2-1～写1-22-2-2が入れられていたヵ<br>・本資料は写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・本資料封筒記載事項<br>足(墨筆、表中央) | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 22 | 3 | 1 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・レントゲンフィルム　黒紙2枚(219×162、213×162)でカバーされている。<br>・フィルム右下と左下に「HEYDEN RAPID KOMBINATION」と文字あり<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮 | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 2 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 212×162 | ・レントゲンフィルム<br>・フィルム下部中央に天地逆で「EASTMAN-SAFETY-KODAK 42」、反対側左上に「HYDEN RAPID KOMBINATION」と文字あり　左上は「RAPID」の前に「ULTRA」が続いているものヵ<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 3 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真(一足分) | | | | ・記載なし | 199×250 | ・レントゲンフィルム<br>・フィルム右端に「EASTMAN-SAFETY-KODAK」と文字あり<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 4 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 211×135 | ・「0903」と記載された黄色の付箋付き<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・写真裏側左上に90度向きを変えて「D.R.G.M.angem.」と印字されている<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 5 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 217×131 | ・「1213」と記載された黄色の付箋付き<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたヵ<br>・写真裏側上部に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で印刷されている<br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>R¨ontgenpapier<br>Patient・Name・No.・born・Date of photograph・Report・Diagnosis<br>・『所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 22 | 3 | 6 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 216×133 | ・「3905」と記載された黄色の付箋付き<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・写真裏側右下に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で途中から印刷されている<br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>Name of physician or institute・Date<br>その下に「D.R.G.M.angem」と印字されている<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 7 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 213×133 | ・「4529」と記載された黄色の付箋付き<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・写真裏側左上に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で途中から印刷されている<br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>Name of physician or institute(本資料はフランス語部分のみ)・Date<br>その下に「D.R.G.M.angem」と印字されている<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 8 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 214×136 | ・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・写真裏側上部に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で印刷されている<br><br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>R¨ontgenpapier<br>Patient・Name・No.・born・Date of photograph・Report・Diagnosis | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 9 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 211×136 | ・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・写真裏側下部に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で印刷されている<br><br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>R¨ontgenpapier<br>Patient・Name・No.・born・Date of photograph・Report・Diagnosis | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 10 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 213×135 | ・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・写真裏側上部に90度向きを変えてレントゲン詳細が記載できる書き込み欄が英語・ドイツ語・フランス語で印刷されている<br>・写真裏側に印刷されている項目(英語のみ入力)<br>R¨ontgenpapier<br>Patient・Name・No.・born・Date of photograph・Report・Diagnosis<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 11 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 181×143 | ・版下写真カ<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 12 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 207×147 | ・「3905 写1-22-1-1―ネガあり」と記載された黄色の付箋付き<br>・版下写真カ<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 13 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 足半草履のレントゲン写真 | | | | ・記載なし | 201×144 | ・「4529 写1-22-1-2―ネガあり」と記載された黄色の付箋付き<br>・版下写真カ<br>・本資料は写1-22-3-14の封筒に入れられ、写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br>・「所謂足半に就いて』に掲載のレントゲン撮影写真について「寫眞第一―四圖は癌研究會並に山川醫學博士の御好意に依り同會松尾象一氏が種々研究の上撮影せられた足半のレントゲン寫眞である」とあり、撮影者・撮影者はこれによる | | | | | | | | 松尾象一 | 不明 癌研究会 | | |
| 写1 | 22 | 3 | 14 | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 「財団法人癌研究会附属康楽病院」の封筒 | | | | × | | ・表面に姓名・年齢・性別・住所・撮影日・紹介者・住所・診断・撮影部位・枚数・備考欄を設けた一覧表が印刷された「財団法人癌研究会附属康楽病院」の白色の封筒　314×214<br>・本資料に写1-22-3-1～写1-22-3-14が入れられていたカ<br>・本資料は写1-22-4の封筒に入れられていたカ<br><br>・本資料封筒記載事項<br>10．9．22はね■(鉛筆、裏左下) | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 22 | 4 | | | | 足半レントゲン写真(黒筆、縦書、表中央右より)<br>(■■(岐阜・高山町))(表左上)<br>足半(黒マジック、縦書、表左上) | 封筒 | | | | × | | ・紐付きの茶封筒　355×240 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 1 | | | | 記載なし | | | | | ・記載なし | 121×165 | ・版下写真カ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 2 | | | | 記載なし | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・版下写真カ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 3 | | | | 記載なし | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・版下写真カ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 4 | | | | 記載なし | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・版下写真カ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 5 | | | | 記載なし | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・版下写真カ | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 6 | | | | 記載なし | | 62■(上、口は「P」カ「9」カ)<br>明治十年内国勧業博覧会出品解説(縦書、下)<br>九一頁(縦書、下) | | 225×147 | 629(鉛筆、中央) | 76×54 | ・版下写真カ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 7 | | | | 記載なし | | 1563(上)<br>浜田浦瓦片録(林勘次郎)(縦書、下)<br>八八頁(縦書、下) | | 225×147 | 1563(鉛筆、中央) | 94×61 | ・版下写真カ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 8 | | | | 記載なし | | 530(右上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下) | | 225×147 | 530(鉛筆、中央、天地逆) | 98×68 | ・版下写真カ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 9 | | | | 記載なし | | 1461(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>一五一頁(縦書、下) | | 224×148 | 【裏面】<br>1461(鉛筆、中央)<br>【表面】<br>j(鉛筆、縦書、表右上2行目)<br>「○」(鉛筆、縦書、表右上3行目)<br>j(鉛筆、縦書、表右上5行目)<br>|_|_|(鉛筆、表中央、線で書かれた括弧のような印) | 87×64 | ・版下写真カ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 23 10 | | | 記載なし | | 291(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>さめ延縄具(縦書、下) | | 225×147 | 291(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 63×95 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 11 | | | 記載なし | | 1478(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>三八二頁(縦書、下) | | 225×147 | 1478(鉛筆、中央) | 75×58 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 12 | | | 記載なし | | 346(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>小釣具(縦書、下) | | 225×147 | 346(鉛筆、中央) | 91×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 13 | | | 記載なし | | 1466(上)<br>釣具秘伝集(縦書、下)<br>一五六頁(縦書、下) | | 225×147 | 【裏面】<br>1466(鉛筆、左上部)<br>【表面】<br>「(鉛筆、縦書、表右上)<br>」(鉛筆、縦書、表右下3行目)<br>—(鉛筆、表右上、棒線、校正線カ) | 77×58 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 14 | | | 記載なし | | 339(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>挽縄漁景況(縦書、下) | | 225×147 | 339(鉛筆、中央) | 93×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 15 | | | 記載なし | | 534(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下)<br>岩章魚釣(縦書、下) | | 225×147 | 534(鉛筆、中央) | 95×66 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 16 | | | 記載なし | | 60(上)<br>日本捕魚図誌(縦書、下)<br>神奈川県下(モリ・タマ・カンテラ)(縦書、下) | | 225×147 | 60(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 64×87 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 17 | | | 記載なし | | 345(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>小釣具六種(縦書、下) | | 225×147 | 345(鉛筆、中央) | 88×60 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 18 | | | 記載なし | | 758(上)<br>北海道水産調査報告巻之一鰯漁業(縦書、下)<br>第八図(縦書、下) | | 225×147 | 758(鉛筆、中央) | 69×86 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 19 | | | 記載なし | | 538(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下)<br>岩章魚釣具(其二)(縦書、下) | | 225×147 | 538(鉛筆、中央) | 98×65 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 20 | | | 記載なし | | 632(上)<br>明治十年内国勧業博覧会出品解説(縦書、下)<br>釣具(縦書、下) | | 225×147 | 632(鉛筆、中央) | 76×57 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 23 | 21 | | | | 記載なし | | 1271(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>肥後(縦書、下) | | 225×147 | 1271(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 75×49 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 22 | | | | 記載なし | | 1272(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鰤鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1272(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 74×47 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 23 | | | | 記載なし | | 1269(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>烏賊鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1269(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 72×47 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 24 | | | | 記載なし | | 1270(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>伊豆(縦書、下) | | 225×147 | 1270(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 72×51 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 25 | | | | 記載なし | | 1245(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鮪鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1245(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 80×60 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 26 | | | | 記載なし | | 1249(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鰆鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1249(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 84×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 27 | | | | 記載なし | | 1265(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>紀伊(縦書、下) | | 225×147 | 1265(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 83×62 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 28 | | | | 記載なし | | 1464(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>一五五頁(縦書、下) | | 225×147 | 1464(鉛筆、中央、天地逆) | 87×63 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 29 | | | | 記載なし | | 1255(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>狗母釣(縦書、下) | | 225×147 | 1255(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 76×50 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 30 | | | | 記載なし | | 1244(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鮪鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1244(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 76×48 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 31 | | | | 記載なし | | 1248(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鰤鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1248(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 84×48 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 23 | 32 | | | | 記載なし | | 1260(上)<br>水産博覧会一区一類(覧)出品審査報告(縦書、下)<br>隠岐(縦書、下) | | 225×147 | 1260(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 83×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 33 | | | | 記載なし | | 1261(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鮫・鱶鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1261(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 84×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 34 | | | | 記載なし | | 103□(上、□は「P」カ「9」カ)<br>新潟県管内 水産小学附図(縦書、下)<br>釣針(縦書、下) | | 225×147 | 1079(鉛筆、中央、90度回転した状態)<br>103□(左下、90度回転した状態、□は「P」カ「9」カ) | 83×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 35 | | | | 記載なし | | 1037(上)<br>新潟県管内 水産小学附図(縦書、下)<br>釣針(縦書、下) | | 225×147 | 1077(鉛筆、中央、左に90度回転した状態)<br>1037(中央、右に90度回転した状態) | 83×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 36 | | | | 記載なし | | 1242(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鯛鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1242(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 71×47 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 37 | | | | 記載なし | | 1038(上)<br>新潟県管内　水産小学附図(縦書、下)<br>釣針(縦書、下) | | 225×147 | 10＜7＞[3]8(鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 83×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 38 | | | | 記載なし | | 1263(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>加賀(縦書、下) | | 224×147 | 126＜7＞[3](鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 83×50 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 39 | | | | 記載なし | | 1036(上)<br>新潟県管内　水産小学附図(縦書、下)<br>釣針(縦書、下) | | 225×147 | 10＜7＞[3]6(鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 83×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 40 | | | | 記載なし | | 1482(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>三九〇頁(縦書、下) | | 224×147 | 【裏面】<br>1482(鉛筆、下、天地逆)<br>【表面】<br>「(鉛筆、縦書、右上1行目)<br>」(鉛筆、縦書、中央5行目)<br>「■■(鉛筆、中央、校正カ) | 79×51 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 41 | | | | 記載なし | | 1474(上)<br>釣 魚秘伝集(縦書、下)<br>二三三頁(縦書、下) | | 224×147 | 1474(鉛筆、下、天地逆) | 77×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 42 | | | | 記載なし | | 1473(上)<br>釣 魚秘伝集(縦書、下)<br>二七八頁(縦書、下) | | 224×147 | 1473(鉛筆、中央) | 79×58 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 23 | 43 | | | | 記載なし | | 340(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>挽鯖魚景況(縦書、下) | | 225×147 | 340(鉛筆、中央) | 92×60 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 44 | | | | 記載なし | | 1468(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>二一〇頁(縦書、下) | | 224×147 | 【裏面】<br>146<5>[8](鉛筆、訂正・加筆黒ペン、左上)<br>【表面】<br>「(鉛筆、縦書、右上5行目) | 81×56 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 45 | | | | 記載なし | | 1240(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鈎形大別(縦書、下) | | 225×147 | 1240(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 70×50 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 46 | | | | 記載なし | | 1264(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>筑前(縦書、下) | | 225×147 | 1264(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 83×49 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 47 | | | | 記載なし | | 1257(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鰱鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1257(鉛筆、中央) | 81×62 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 48 | | | | 記載なし | | 1254(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鳙魚鈎(縦書、下) | | 225×147 | 125<7>[3](鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 73×46 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 49 | | | | 記載なし | | 1252(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>帯魚鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1251(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 77×49 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 50 | | | | 記載なし | | 1243(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>周防玖珂郡(縦書、下) | | 225×147 | 124<7>[3](鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 73×56 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 51 | | | | 記載なし | | 1267(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鯖鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1267(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 83×50 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 52 | | | | 記載なし | | 1259(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>羽後(縦書、下) | | 225×147 | 1259(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 84×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 53 | | | | 記載なし | | 1256(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>海鰱鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1256(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 76×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 23 54 | | | 記載なし | | 1258(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>小笠原(縦書、下) | | 225×147 | 1258(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 83×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 55 | | | 記載なし | | 1246(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鱚鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1246(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 85×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 56 | | | 記載なし | | 558(上)<br>福岡県漁業誌第四稿(縦書、下)<br>波瀬楯(縦書、下) | | 225×147 | 558(鉛筆、中央) | 81×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 57 | | | 記載なし | | 727(上)<br>石山寺絵巻物第二巻第一期第四回(縦書、下) | | 225×147 | 727(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 64×101 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 58 | | | 記載なし | | 115(上)<br>山海名産図会(縦書、下) | | 225×147 | 115(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 72×96 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 59 | | | 記載なし | | 204(上)<br>豊後漁猟絵巻(縦書、下)<br>深江村ノ内字柿ノ浦ニテ婦女(縦書、下)<br>千鯛ヲスクイトル図(縦書、下) | | 225×147 | 204(鉛筆、上) | 63×62 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 60 | | | 記載なし | | 1436(上)<br>日本の釣(縦書、下)<br>七七図(縦書、下) | | 225×147 | 1496(鉛筆、中央)<br>1436(下) | 81×66 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 61 | | | 記載なし | | 1564(上)<br>浜田浦瓦片録(林勘次郎)(縦書、下)<br>九〇頁(縦書、下) | | 225×147 | 1564(鉛筆、中央) | 93×63 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 62 | | | 記載なし | | 560(上)<br>福岡県漁業誌方四編(縦書、下)<br>波瀬楯景況(縦書、下) | | 225×147 | 560(鉛筆、左上) | 84×58 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 63 | | | 記載なし | | 561(上)<br>福岡県漁業誌第四編(縦書、下)<br>波瀬楯景況(縦書、下) | | 225×147 | 561(鉛筆、上) | 85×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 64 | | | 記載なし | | 1476(上)<br>釣魚秘伝集(縦書、下)<br>三一〇頁ノ次頁(縦書、下) | | 225×147 | 1476(鉛筆、中央) | 81×56 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 23 65 | | | 記載なし | | 1565(上)<br>浜田浦瓦片録(縦書、下)<br>一〇〇頁(縦書、下) | | 225×147 | 1565(鉛筆、中央) | 98×63 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 66 | | | 記載なし | | 626(鉛筆、上)<br>明治十年内国勧業博覧会出品解説(縦書、下)<br>八六頁(縦書、下) | | 225×147 | 626(鉛筆、中央) | 77×54 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 67 | | | 記載なし | | 1230(上)<br>淡路由良町(縦書、下) | | 225×147 | 12＜7＞[3]＜0＞[0](鉛筆、訂正・加筆黒ペン、中央、90度回転した状態) | 61×45 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 68 | | | 記載なし | | 1229(上)<br>淡路由良町(縦書、下) | | 225×147 | 1229(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 46×65 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 69 | | | 記載なし | | 52□(上、□は「P」カ「9」カ)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下) | | 225×147 | 529(鉛筆、中央) | 97×67 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 70 | | | 記載なし | | 531(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下) | | 225×147 | 531(鉛筆、中央) | 94×66 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 71 | | | 記載なし | | 528(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下) | | 225×147 | 528(鉛筆、中央) | 98×66 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 72 | | | 記載なし | | 348(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>小釣ノ景況(縦書、下) | | 225×147 | 348(鉛筆、中央) | 88×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 73 | | | 記載なし | | 543(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下)<br>鰾釣具(縦書、下) | | 225×147 | 543(鉛筆、中央) | 95×66 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 74 | | | 記載なし | | 332(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下) | | 225×147 | 332(鉛筆、中央、天地逆) | 92×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 75 | | | 記載なし | | 287(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>はも釣具(縦書、下) | | 225×147 | 287(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 57×92 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 23 76 | | | 記載なし | | 116(上)<br>山海名産図会(縦書、下)<br>高縄をもって鴨を捕(縦書、下) | | 225×147 | 116(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 67×87 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 77 | | | 記載なし | | 119(上)<br>山海名産図会(縦書、下)<br>津国無雙返鴨羅(縦書、下) | | 225×147 | 119(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 70×91 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 78 | | | 記載なし | | 118(上)<br>山海名産図会(縦書、下)<br>播州霞羅(縦書、下) | | 225×147 | 118(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 72×95 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 79 | | | 記載なし | | 117(上)<br>山海名産図会(縦書、下)<br>豫州峯超鴨(縦書、下) | | 225×147 | 117(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 67×93 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 80 | | | 記載なし | | 559(上)<br>福岡県漁業誌第四編(縦書、下)<br>波瀬楯(縦書、下) | | 225×147 | 559(鉛筆、中央) | 80×58 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 81 | | | 記載なし | | 148(上)<br>山海名産図会(縦書、下)<br>三四(縦書、下) | | 225×147 | 148(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 67×92 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 82 | | | 記載なし | | 1225(上)<br>淡路由良町(縦書、下) | | 225×147 | ＜1224＞1225(鉛筆、中央) | 46×63 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 83 | | | 記載なし | | 1227(上)<br>淡路由良町(縦書、下) | | 225×147 | 122＜6＞[7](鉛筆、中央) | 46×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 84 | | | 記載なし | | 108(上)<br>肥前州産物図考(縦書、下)<br>鮎魚梁の図(縦書、下) | | 225×147 | □08(鉛筆、上、□は「1」カ、台紙に貼り付けられているため不詳) | 60×70 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 85 | | | 記載なし | | 625(上)<br>明治十年内国勧業博覧会出品解説(縦書、下)<br>八四頁(縦書、下) | | 225×147 | 625(鉛筆、中央) | 78×53 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 86 | | | 記載なし | | 726(上)<br>石山寺絵巻物第二巻第一期第四回(縦書、下) | | 225×147 | 726(鉛筆、左下、90度回転した状態) | 65×99 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 23 87 | | | 記載なし | | 336(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>長縄操揚ル景況(縦書、下) | | 225×147 | 336(鉛筆、中央) | 88×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 88 | | | 記載なし | | 337(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下) | | 225×147 | 337(鉛筆、中央) | 89×61 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 89 | | | 記載なし | | 1562(上)<br>浜田浦瓦録(林勘次郎)(縦書、下)<br>八六頁(縦書、下) | | 225×147 | 1562(鉛筆、中央) | 94×62 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 90 | | | 記載なし | | 335(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下) | | 225×147 | 335(鉛筆、中央) | 89×63 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 91 | | | 記載なし | | 760(上)<br>北海道水産調査報告巻ノ一鰹漁業(縦書、下)<br>第十図(縦書、下) | | 225×147 | 760(鉛筆、中央) | 89×65 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 92 | | | 記載なし | | 537(上)<br>福岡県漁業誌第三(縦書、下) | | 225×147 | 537(鉛筆、中央) | 96×65 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 93 | | | 記載なし | | 347(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下) | | 225×147 | 347(鉛筆、中央) | 94×64 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 94 | | | 記載なし | | 1247(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鰤釣(縦書、下) | | 225×147 | 1247(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 76×48 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 95 | | | 記載なし | | 887(上)<br>中尊寺大饒第三経蔵篇(縦書、下)<br>国宝金字大般若経巻第百三十九(縦書、下) | | 225×147 | □701(鉛筆、左下、□は「1」カ) | 138×113 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 96 | | | 記載なし | | 1268(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>鮮鈎(縦書、下) | | 225×147 | 1268(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 76×51 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |
| 写1 23 97 | | | 記載なし | | 1250(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>大魚鈎(縦書、下) | | 226×147 | 1250(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 74×52 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写1 | 23 | 98 | | | | 記載なし | | 1241(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>カツヲ鈎(縦書、下) | | 226×147 | 1241(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 74×54 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | 99 | | | | 記載なし | | 1266(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>豊後(縦書、下) | | 225×147 | 1266(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 73×48 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 279(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>こひ釰具(縦書、下) | | 226×147 | 279(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 63×82 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 276(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>あぢ釣具(縦書、下) | | 225×147 | 276(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 59×88 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 272(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>あまだい釣具(縦書、下) | | 225×147 | 272(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 58×94 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 274(上)<br>日本魚類図説(縦書、下)<br>さば天秤釣具(縦書、下) | | 225×147 | 274(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 60×89 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 330(上)<br>福岡県漁業誌一巻(縦書、下)<br>浮標(縦書、下) | | 225×147 | 330(鉛筆、中央、天地逆) | 88×59 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | | 1262(上)<br>水産博覧会一区一類出品審査報告(縦書、下)<br>越後(縦書、下) | | 225×147 | 1262(鉛筆、中央、90度回転した状態) | 84×48 | ・版下写真ヵ<br>・「祭魚洞文庫用紙」の原稿用紙を台紙に使用 | | | | | | | | | | | | |
| 写1 | 23 | ## | | | | 記載なし | (封筒) | | | | × | | ・東京都教育委員会の茶封筒 366×237<br>・表の中央に所蔵者・所在地・年代・形状数量・題名内容・差出者・受取者・適用欄を設けた表組みと調査日の記入欄があり、裏の中央に「東京都」、右下に「37.7.4000(東京納)」と印字されている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 1 | 1 | | | 封筒なし | | | | | 御返却下さい(鉛筆、縦書、右側)<br>南方同胞援護会(青印、縦書、右側)<br>具志頭小学校(鉛筆、縦書、右側) | 205×254 | ・写真下部にキャプションのような鉛筆書き「具志頭小学校」の貼り紙あり | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 1 | 2 | | | 封筒なし | | | | | 御返却下さい(鉛筆、縦書、右側)<br>南方同胞援護会(青印、縦書、右側)<br>玉城小学校(鉛筆、縦書、右側) | 205×254 | ・写真下部にキャプションのような青ペン書き「米国の援助で建った玉城小学校」の貼り紙あり | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 1 | 3 | | | 封筒なし | | | | | 御返却下さい(鉛筆、縦書、右側)<br>南方同胞援護会(青印、縦書、右側)<br>ナゴ小学校(鉛筆、縦書、右側)<br>名護小学校(鉛筆、縦書、右側)<br>030-208(鉛筆、中央) | 205×254 | ・写真下部にキャプションのような青ペン書き「米国の援助で建った名護小学校」の貼り紙あり | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 2 | 1 | | | 26、27(赤鉛筆、上)<br>126(赤鉛筆、上)<br>十五分席画二冊(赤鉛筆、縦書、中央) | | | | | ・記載なし | 248×170 | ・7枚の和紙が紙縒りで綴じられ、中には鉛筆やペンで絵が描かれている<br>・表紙には中央に黒墨、縦書で「公暁撃實朝之図」、左下部に黒墨、縦書で「二月十四日鎌倉宮居ニ於テ　十五分間席画大会　秀雄画伯ノ公平ナル審査ヲ乞フ」、右上隅にペン書き、横書で「(128)a」と書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 2 | 2 | | | 26、27(赤鉛筆、上)<br>126(赤鉛筆、上)<br>十五分席画二冊(赤鉛筆、縦書、中央) | | | | | ・記載なし | 248×170 | ・7枚の和紙が紙縒りで綴じられ、中には鉛筆やペンで絵が描かれている<br>・表紙には中央に黒墨、縦書で「静御前法来之舞」、左側に黒墨、縦書で「同上」、右上隅にペン書き、横書で「(128)b」と書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 2 | 3 | | | 26、27(赤鉛筆、上)<br>126(赤鉛筆、上)<br>十五分席画二冊(赤鉛筆、縦書、中央) | | | | | ・記載なし | 271×189 | ・封筒記載文の「128」は赤鉛筆の丸で囲われている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 3 | 1 | | | [GINREI PORTRAITS STUDIO](緑字印刷、左上)<br>[銀嶺写真館　東京都中央区銀座東6～6 電話東京(54)[3981 3982](緑字印刷、右下) | | | | | ・記載なし | 114×159 | ・写真裏面の「H」は写真を縦にした際、正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 3 | 2 | | | [GINREI PORTRAITS STUDIO](緑字印刷、左上)<br>[銀嶺写真館　東京都中央区銀座東6～6 電話東京(54)[3981 3982](緑字印刷、右下) | | | | | ・記載なし | 126×169 | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 3 | 3 | | | [GINREI PORTRAITS STUDIO](緑字印刷、左上)<br>[銀嶺写真館　東京都中央区銀座東6～6 電話東京(54)[3981 3982](緑字印刷、右下) | | | | | ・記載なし | 234×147 | ・「GINREI PORTRAITS STUDIO」は同色のラインで囲われ、文字の後ろに山のマークがある | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 4 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 191×180 | ・左下に黒字印刷でキャプション「2.坑夫」 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 4 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 270×178 | ・左下に黒字印刷でキャプション「5.文覚(明治41年)」<br>・右下に黒字印刷で「90cm」 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 1 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5 8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(｜｜｜)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 2 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5 8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(｜｜｜)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 5 | 3 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5　8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(　　)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 4 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5　8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(　　)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 5 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5　8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(　　)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 6 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5　8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(　　)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 113×84 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 5 | 7 | | | 智雄　渡辺睦男　桐案etc(縦書、右)<br>[▲写真ノ仕上ハナンデモ致シマス▲](赤、中央上)<br>[受納]2[月]5　8[日](活字は赤、中央右)<br>[御住所]澁澤[様](活字は赤、中央)<br>[現像](3a)(　　)[種板]1[本　枚御預り](活字は赤、中央)<br>[印書]1[枚宛]6[枚](活字は赤、6は鉛筆、中央)<br>[摘要]85(活字は赤、中央)<br>[写真機械材料製造直輸入　高野寫生堂技術部　東京市神田区錦町一丁目十番地](活字は赤、中央下)<br>[竹紙堂製](活字は赤、右下)<br>芝、4586(左) | | | | | ・記載なし | 109×156 | ・[受納]2[月]5　8[日]の5と8は縦に並記されている<br>・芝、4586は封筒を縦にした際、正位置になるように書かれている。また4は2の上に、5は1の上に重ねて書いたように見える<br>・中央左下に赤活字で高野寫生堂技術部のマーク | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 1 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 114×65 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 2 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 68×110 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 3 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 69×119 | ・ネガ<br>・右下にネガを縦にした際、正位置になるように「P」と書かれている。 | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 4 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 113×68 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 5 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 113×64 | ・ネガ | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 6 | | | [KIMBEI　SHOKWAI.](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER　OF　CAMAS,KODAKS,FILMS,&<br>SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios]<br>(こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 68×121 | ・ネガ<br>・左下にネガを縦にした際、正位置になるように「P」と書かれている。 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 6 | 7 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 68×118 | ・ネガ<br>・右下にネガを縦にした際、正位置になるように「P」と書かれている。 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 8 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 112×68 | ・ネガ<br>・右下に「P」と書かれている。 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 9 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 110×65 | ・ネガ | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 10 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 118×68 | ・ネガ<br>・右下に「キ」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 11 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 68×117 | ・ネガ<br>・左下にネガを縦にした際、正位置になるように「キ」と書かれている。 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 12 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 67×114 | ・ネガ<br>・左下にネガを縦にした際、正位置になるように「キ」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 13 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 68×117 | ・ネガ<br>・左下にネガを正位置にした際、正位置になるように「キ」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 14 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 118×68 | ・ネガ<br>・右下に「P」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 15 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 118×69 | ・ネガ<br>・右下に「キ」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 16 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ネガ<br>・右下に「P」と書いてある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 6 | 17 | | | [KIMBEI SHOKWAI](こげ茶色、中央上)<br>[IMPORTER OF CAMAS,KODAKS,FILMS,& SUPPLIS,ALSO Exporter of Lantern Slides and Curios](こげ茶色、中央上)<br>[To M]下番町21加藤様(活字はこげ茶色、それ以外は縦書、中央)<br>「富浦水泳部」recut是二枚宛(中央下、縦書)<br>[Please write your address on each emvelop,as avoiding undelivery.](こげ茶 | | | | | × | | ・封筒、法量は104×182<br>・裏面に「44枚入」(縦書、中央)と書かれている | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 1-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-10 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒2】(写2-1-7-1-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 1-11 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒2】<br>第七日　日光、男体山　戦場ヶ原(縦書、右)、五枚(赤鉛筆、縦書、右、日光の字に被さっている) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、115×76<br>・本資料が【封筒2】(写2-1-7-1-11) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 2-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-10 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒3】(写2-1-7-2-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 2-11 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒3】<br>第七日(の1)(縦書、右)〈根名草〉湯の湖　龍頭の瀧<br>中禅寺湖(縦書、右)二枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、115×76<br>・本資料が【封筒3】(写2-1-7-2-10) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 3-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-10 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-11 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 3-12 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-13 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-14 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-15 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-16 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-17 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-18 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒4】(写2-1-7-3-19)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 3-19 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒4】<br>第六日(の2)根名草山(縦書、右)、温泉岳　奥白根　菅沼　切込刈込(縦書、右)、四枚(赤鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、115×76<br>・本資料が【封筒4】(写2-1-7-3-19) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 4-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-10 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-11 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-12 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-13 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-14 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日―八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、キヌ瀧(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 4-15 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、<br>キヌ瀦(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-16 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、<br>キヌ瀦(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒5】(写2-1-7-4-17)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 4-17 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒5】<br>第5日　小淵沢の田代　赤安、黒岩、キヌ沼山、キヌ沼、<br>キヌ瀦(縦書、右)<br>三枚(赤字、縦書) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、115×76<br>・本資料が【封筒5】(写2-1-7-4-17) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に<br>入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 5-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-10 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒6】(写2-1-7-5-11)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 5-11 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒6】<br>第四日　焼山峠、大江川の湿原(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 115×76 | ・金城商会の原板保存袋<br>・本資料が【封筒6】(写2-1-7-5-11) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒7】(写2-1-7-6-6)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒7】(写2-1-7-6-6)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒7】(写2-1-7-6-6)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒7】(写2-1-7-6-6)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒7】(写2-1-7-6-6)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 6-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒7】<br>第3日の2　沼尻、燧ヶ岳　沼(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 115×76 | ・金城商会の原板保存袋<br>・本資料が【封筒7】(写2-1-7-6-6) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-1 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-2 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24)　548　1,900　549　1,901　550　……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | 7 | 7-3 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-4 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-5 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-6 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-7 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・ネガ<br>・本資料は【封筒1】(写2-1-7-8)に入れられ、【封筒8】(写2-1-7-7-9)に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 7-9 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、115×76<br>・本資料が【封筒8】(写2-1-7-7-9) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 7 | 8 | | | 【封筒1】<br>昭和十二年七月三十一日—八月七日　尾瀬より日光へ<br>フィルム在中(縦書、右)<br>[東京　日本橋　室町　浅沼商会本店](赤、中央)<br>[電話　日本橋(24) 548 1,900 549 1,901 550 ……<br>…](赤、中央)<br>【封筒8】<br>第3日の1　白砂の湿原(縦書、右) | | | | | × | | ・浅沼商会本店の封筒、138×91<br>・本資料が【封筒1】(写2-1-7-8) | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 8 | 1 | | | 封筒なし | | | | | 95(鉛筆、中央) | 110×152 | ・写真裏面記載文は写真の上下を逆にしたとき正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 8 | 2 | | | 封筒なし | | | | | 124(鉛筆、中央) | 110×152 | | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | 9 | | | | 封筒なし | | 2166(ナンバリング、青インク、右上)<br>5(赤鉛筆、中央上)<br>11,8(赤鉛筆、右下) | × | 206×164 | ・記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 55×52 | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 1 | ## | 1 | | | [R.MARUKI. ATARASHIBASHI－KADO]（左上）<br>[丸木利陽 東京芝新シ橋角]（左上） | | 【表面】<br>[R.Maruki]（右下）<br>[Shiba Tokyo Japan]（右下）<br>【裏面】<br>№.1127.（下）<br>[東京芝新シ橋角写真師 丸木利陽]（下）<br>[R MARUKI.<br>ATARASHIBASHI.TOKYO.<br>JAPAN]（下） | × | 164×107 | ・記載なし（台紙に貼り付けてあるため） | 104×59 | ・女性の肖像写真 写真下部に「H.Riddel. 1906.」(下線付き)と書かれている<br>・台紙裏面の「№.1127.」には下線が付いている<br>・本資料は写2-1-10-2に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | 2 | | | [R.MARUKI. ATARASHIBASHI－KADO]（左上）<br>[丸木利陽 東京芝新シ橋角]（左上） | | | | | × | | ・本資料には写2-1-10-1が入れられていた、法量110×167 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 245×195 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | 1 | | | 封筒なし | | | | | × | | ・堀江法律事務所用紙2枚が半分に折られ、紙縒りで綴じられているものにタイプされている、242×168<br>・用紙左下に「電京六〇六二 ㊥田印行」と印字されている | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | 2 | | | 封筒なし | | | | | × | | ・堀江法律事務所用紙2枚が半分に折られ、紙縒りで綴じられているものにタイプされている、242×168<br>・用紙左下に「電京六〇六二 ㊥田印行」と印字されている | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | | | | 【表面】<br>口文区三田綱町（墨書、縦書、右）<br>渋澤敬三様（墨書、縦書、中央）<br>御礼（墨書、縦書、左）<br>【裏面】<br>小石川、小日向（墨書、縦書、右）<br>水道町九二（墨書、縦書、中央）<br>岩波茂雄（墨書、縦書、中央）<br>廿四日（墨書、縦書、左） | 書簡「岩波茂雄より渋沢敬三へメロンの礼状」 | | | | × | | ・封筒法量208×85、中の書簡は196×700<br>・封筒に昭和4年7月24日の消印あり<br>・書簡の内容は岩波茂雄から渋沢に宛てたメロンのお礼、二枚の和紙が接がれているものに墨で書かれている | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 1 | ## | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 243×193 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×48 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 2 | | | 封筒なし | | | | | 彩千代（鉛筆、縦書、左下） | 77×48 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×48 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 48×77 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 5 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×47 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 48×78 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 49×79 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 8 | | | 封筒なし | | | | | 役者 米国（鉛筆、縦書、左下） | 78×49 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 9 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 78×48 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 10 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×47 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 11 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 78×47 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 12 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 79×47 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 1 | 13 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 78×48 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 2 | | | 封筒なし | | | | | 20（鉛筆、右下） | 76×103 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×85 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×84 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 5 | | | 封筒なし | | | | | 21（鉛筆、左上） | 73×92 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 82×120 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 82×120 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 8 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 80×120 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 9 | | | 封筒なし | | | | | 22（鉛筆、左上） | 75×100 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 10 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 75×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 11 | | | 封筒なし | | | | | 17（鉛筆、右下） | 76×12 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 12 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 80×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 13 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×96 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 14 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×95 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 15 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 16 | | | 封筒なし | | | | | 25（鉛筆、左上） | 75×12 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 17 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 51×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 18 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 12×76 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 19 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 99×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 20 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 12×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 21 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×79 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 22 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 75×79 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 23 | | | 封筒なし | | | | | 6（鉛筆、左上） | 71×77 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 24 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 73×88 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 25 | | | 封筒なし | | | | | 4（鉛筆、右上） | 90×62 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 26 | | | 封筒なし | | | | | 3（鉛筆、右上） | 104×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 27 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 28 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 101×65 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 29 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 99×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 30 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 12×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 31 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 104×73 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 32 | | | 封筒なし | | | | | 27（鉛筆、右上） | 104×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 33 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 104×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 34 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 12×76 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 35 | | | 封筒なし | | | | | 28（鉛筆、左上） | 75×103 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 36 | | | 封筒なし | | | | | 38（鉛筆、左上） | 73×104 | ・写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 37 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×104 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 38 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×104 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 39 | | | 封筒なし | | | | | 37（鉛筆、右上） | 99×72 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 40 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 103×72 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 41 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×100 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 42 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 75×84 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 43 | | | 封筒なし | | | | | 44（鉛筆、左上） | 101×75 | ・写真裏面記載文は写真を横にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 44 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 12×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 45 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 46 | | | 封筒なし | | | | | 43（鉛筆、右上） | 73×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 47 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 76×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 48 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 73×100 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 49 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 79×105 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 50 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×104 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 51 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 74×104 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 52 | | | 封筒なし | | | | | 写真（7）（縦書、右） | 78×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 53 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 77×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 54 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 75×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 2 | 55 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 104×74 | × | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 2 2 56 | | | 封筒なし | | | | | 5(鉛筆、右上) | 105×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 57 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 105×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 58 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 59 | | | 封筒なし | | | | | 59(鉛筆、右上) | 72×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 60 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 70×106 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 61 | | | 封筒なし | | | | | 41(鉛筆、右上) | 77×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 62 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 74×104 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 63 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 64 | | | 封筒なし | | | | | 45(鉛筆、左下) | 66×96 | ·写真裏面記載文は天地逆にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 65 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 67×96 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 66 | | | 封筒なし | | | | | 30(鉛筆、左上) | 74×103 | ·写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 67 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×96 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 68 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 103×76 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 69 | | | 封筒なし | | | | | 54(鉛筆、左上) | 76×12 | ·写真裏面記載文は写真を縦にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 70 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 12×77 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 71 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 72 | | | 封筒なし | | | | | 58(鉛筆、右上) | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 73 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 99×70 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 74 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 75×105 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 75 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×103 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 76 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 12×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 77 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 12×75 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 78 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 74×105 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 79 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 78×106 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 80 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 76×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 81 | | | 封筒なし | | | | | 10(鉛筆、右上) | 104×76 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 82 | | | 封筒なし | | | | | 15(鉛筆、右上) | 72×12 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 83 | | | 封筒なし | | | | | ·記載なし | 100×73 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 84 | | | 封筒なし | | | | | 11(鉛筆、右上) | 100×74 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 85 | | | 封筒なし | | | | | 14(鉛筆、右上) | 101×77 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 86 | | | 封筒なし | | | | | 9(鉛筆、右上) | 103×76 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 87 | | | 封筒なし | | | | | 7(鉛筆、右上) | 101×73 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 2 88 | | | 封筒なし | | | | | 8(鉛筆、左下) | 103×74 | ·写真裏面記載文は天地逆にした際正位置になるように書かれている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 1 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | [14.3.19] (赤印字、左下) | 122×163 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 2 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | [14.3.19] (赤印字、左下) | 119×164 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 3 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ·記載なし | 119×164 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 4 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ·記載なし | 119×166 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 5 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ·記載なし | 119×165 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 2 3 6 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ·記載なし | 121×164 | ·本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>·封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 2 | 3 | 7 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 8 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 9 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 10 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 11 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 12 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 13 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 122×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 14 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×163 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 2 | 3 | 15 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×163 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 16 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×165 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 17 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 18 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | 三重県名張郡の鵜飼(縦書、左)<br>左右3寸2分(鉛筆、上)<br>天地2寸1分(鉛筆、中央)<br>2(鉛筆、中央下) | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 19 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 20 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 21 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 22 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 2 | 3 | 23 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 24 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 25 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 26 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 27 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 28 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | [14.3.19] (赤印字、左下) | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 29 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×163 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 30 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 2 | 3 | 31 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 32 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 120×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 33 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×165 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 34 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 35 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 121×164 | ・本資料は写2-2-3-36に入れられていた<br>・封筒は日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 2 | 3 | 36 | | | 【表面】<br>[2988][12cm×16.5cm][12.SHEETS](中央上、スタンプ)<br>重複分(赤鉛筆、縦書、右、丸で囲われている)<br>欠アリ(青鉛筆、縦書、右)<br>十二枚(鉛筆、縦書、左)<br>【裏面】<br>(副)(赤ペン) | | | | | ・記載なし | 197×140 | ・日本写真工業株式会社製実用印画紙の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 1 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた<br>・封筒はFUJI PHOTO FILM CO.,LTD. GASLIGHT PAPERの封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 2 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | 3 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 4 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 5 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 6 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 7 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 8 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | 9 | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | 常民 シーボルト(■■)より (鉛筆、中央)<br>1 (鉛筆、右上) | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | 常民文化 シーボルト(■)より (鉛筆、中央)<br>1 (鉛筆右上) | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 118×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×163 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 3 | ## | | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト 〈五一種〉(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>〈木川氏ニキク■〉(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | | | | | ・記載なし | 119×164 | ・本資料は写2-2-3-67に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 3 | ## | | | 【表面】<br>複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>シーボルト (五一種)(鉛筆、縦書、右、訂正線は赤鉛筆)<br>(木川氏ニキク■)(鉛筆、縦書、左、文全体が丸で囲われている、消線は赤鉛筆)<br>【裏面】<br>シーボルト 複(赤鉛筆、縦書、中央)<br>[31093-Y](右下) | (封筒) | | | | × | | ・[GASLIGHT PAPER]の封筒、法量119×142 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 1 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 2 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 3 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 4 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 5 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 6 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 7 | | | 呼売 鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事 年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場 魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗 日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店 (塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板 明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生 銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 4 | 8 | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | 9 | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×153 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの(中央)<br>行事　年中行事に現れる(年の市、ほうずき市、節句人形の市)(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京(地)の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店　(塗)縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪－船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽―隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 110×153 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの〈中央〉<br>行事　年中行事に現れる〈年の市、ほうずき市、節句人形の市〉(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京〈地〉の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店〈漆〉縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪ー船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽ー隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 111×153 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの〈中央〉<br>行事　年中行事に現れる〈年の市、ほうずき市、節句人形の市〉(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京〈地〉の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店〈漆〉縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪ー船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽ー隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | | | | | ・記載なし | 111×154 | ・本資料は写2-4-18に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 4 | ## | | | | 呼売　鳴物によるもの、声によるもの〈中央〉<br>行事　年中行事に現れる〈年の市、ほうずき市、節句人形の市〉(中央)<br>市場　魚市場、青物市場、世田谷のボロ市の如き、(中央)<br>老舗　日本橋(■■)辺に残る、東京〈地〉の震災(■)に残る方面の商店(中央)<br>露店〈漆〉縁日、夜店など(中央)<br>看板　明治大正頃よりのもの、昭和のもの(中央)<br>大阪ー船場(中央)<br>京都(中央)<br>浅草(中央)<br>一銭蒸汽ー隅田川(中央)<br>コレノ四切ハ十五、五月十一日付(鉛筆、縦書、左)<br>先生　銀行へ持参ス。アチックニナシ(鉛筆、縦書、左) | (封筒) | | | | × | | ・洋封筒、法量129×175 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 5 | | | | | 封筒なし | | | | | × | | ・メモ帳、法量<br>・表紙には[THE　DESK　MEMO]〈中央〉、2(鉛筆、中央上)、写真控張(鉛筆、中央)と書かれている、民具スケッチなど | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 1 | | | | 【表面】<br>アチック[様](右上)<br>三面川漁場(墨書、縦書、中央)<br>地域之関(複)(墨書、縦書、中央)<br>【裏面】<br>[合計金¥]28(鉛筆、右上) | | | | | × | | ・さくらフィルムのネガ封筒、110×141<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 2 | | | | 隠岐岩倉■作(青ペン、縦書、右) | | | | | × | | ・パンクロフィルムのネガ封筒、71×115<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 3 | | | | ベスト3天(青鉛筆、左上)<br>アチック 岩倉様(青鉛筆、右下)<br>隠岐21(青ペン、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | × | | ・菊フィルムのネガ封筒、71×115<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 4 | | | | (六手フダニ引押し四枚)〈赤鉛筆、縦書、右、消し線は黒ペン)<br>乗鞍(縦書、右) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、114×76<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 5 | | | | 朝鮮(左上)<br>昭8,12(中央)<br>澁澤先生撮影(中央) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 6 | | | | 朝鮮(左上)<br>昭8,12(中央)<br>澁澤先生撮影(中央) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 7 | | | | 朝鮮(左上)<br>昭8,12(中央)<br>澁澤先生撮影(中央) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 8 | | | | 朝鮮(左上)<br>昭8,12(中央)<br>澁澤先生撮影(中央) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | 9 | | | | 朝鮮(左上)<br>昭8,12(中央)<br>澁澤先生撮影(中央) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 〈朝鮮〉(左上、消し線青ペン)<br>〈昭8,12〉(中央、消し線青ペン)<br>〈澁澤先生撮影〉(中央、消し線青ペン)<br>三面(a)不用5(青ペン、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | × | | ・洋封筒、96×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 村上清之 三面(b)(青ペン、縦書、下、封筒を縦にした際正位置になる様に書かれている) | | | | | × | | ・裏面に東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三と印刷された洋封筒、122×171<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 村上清之 三面(e)(青ペン、縦書、下、封筒を縦にした際正位置になる様に書かれている) | | | | | × | | ・裏面に東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三と印刷された洋封筒、121×171<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×146<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、左上)<br>No.2 越後(鉛筆、左上) | | | | | × | | ・洋封筒、97×145<br>・写真類3のネガが入っていた模様 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | ム 乗鞍(縦書、右、「ム」は円で囲われている) | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の封筒(若干上部が切り取られている)<br>・写真類3のネガが入っていた模様、168×90 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 記載なし | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の封筒(若干上部が切り取られている)<br>・写真類3のネガが入っていた模様、194×120 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 記載なし | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の封筒(若干上部が切り取られている)<br>・写真類3のネガが入っていた模様、194×120 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 記載なし | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の封筒(若干上部が切り取られている)<br>・写真類3のネガが入っていた模様、195×120 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 記載なし | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の封筒(若干上部が切り取られている)<br>・写真類3のネガが入っていた模様、194×120 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 6 | ## | | | | ■御中、(縦書、折り返し部、封筒を横にした際正位置になるように書かれている) | | | | | × | | ・神奈川大学日本常民文化研究所の長3封筒<br>・写真類3のネガが入っていた模様、260×120 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 6 | ## | | | | 記載なし | | | | | × | | ・国際商業会議所 日本国内委員会の角3封筒、311×215 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 7 | 1 | | 台湾 | | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 基隆港の海岸ヵ | | | | ・記載なし | 85×113 | ・本資料は写2-7-7に入れられていたことから、大正15年の台湾における撮影の可能性が高いが特定に至らないため推定。基隆港については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)pp14-16に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能。撮影日時・撮影地域は推定に基づき同書および『犬歩当棒録』旅譜p411による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～大正15年(1926年)5月2日(備考参照) | 台湾・基隆(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 2 | | 台湾 | | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 基隆港に停泊する帝国海軍艦船ヵ | | | | ・記載なし | 85×115 | ・本資料は写2-7-7に入れられていたことから、大正15年の台湾における撮影の可能性が高いが特定に至らないため推定。基隆港については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)pp14-16に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能。撮影日時・撮影地域は推定に基づき同書および『犬歩当棒録』旅譜p411による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～大正15年(1926年)5月2日(備考参照) | 台湾・基隆(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 3 | | 台湾 | ア-117-4-1-2 | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 台湾総督府博物館(現国立台湾博物館)前にて記念撮影 | | | | ・記載なし | 112×85 | ・本資料は写2-7-7に入れられていた<br>・台湾総督府博物館については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p18、に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者および被写体の推定は不能。撮影日時は同書および『犬歩当棒録』旅譜p411による。撮影地域は博物館の建築様式・外観による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～(備考参照) | 台湾・台湾総督府博物館(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 4 | | 台湾 | ア-116-5-2 ア-117-4-1-1 | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 水辺の澳の筆筒樹(蛇木)の前に座る石黒忠篤(民政長官官邸カ) | | | | ・記載なし | 115×85 | ・本資料は写2-7-7に入れられていた<br>・本資料はアルバム前後の資料から台湾総督府後藤文夫民政長官官邸の庭園における撮影の可能性が高いが特定に至らないため推定。水辺の澳に座るのは石黒忠篤で、筆筒樹(蛇木)については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p46、に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能。撮影日時・撮影地域は推定に基づき同書およびア117-2-1-2による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～(備考参照) | 台湾・台湾総督府民政長官官邸(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 5 | | 台湾 | | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 基隆港の海岸ヵ | | | | ・記載なし | 85×112 | ・本資料は写2-7-7に入れられていたことから、大正15年の台湾における撮影の可能性が高いが特定に至らないため推定。基隆港については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)pp14-16に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能。撮影日時・撮影地域は推定に基づき同書および『犬歩当棒録』旅譜p411による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～大正15年(1926年)5月2日(備考参照) | 台湾・基隆(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 6 | | 台湾 | ア-117-4-2-1 | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 台湾総督府博物館(現国立台湾博物館)前にて記念撮影 | | | | ・記載なし | 114×85 | ・本資料は写2-7-7に入れられていた<br>・台湾総督府博物館については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p18、に記述がある。澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者および被写体の推定は不能。撮影日時は同書および『犬歩当棒録』旅譜p411によるが、訪問した可能性のある大正15年4月22日と30日を併記した。撮影地域は博物館の建築様式・外観による。 | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～大正15年(1926年)4月30日(備考参照) | 台湾・台湾総督府博物館(備考参照) | |
| 写2 | 7 | 7 | | 台湾 | | 【表面】<br>澁澤様(青ペン、縦書、右)<br>「タイワン」大正十五年よりヵ(鉛筆、縦書、右)<br>三枚宛焼増(鉛筆、縦書、中央)<br>厚板九枚アリ(青ペン、縦書、中央)<br>合計十八枚也(青ペン、縦書、中央)<br>出来上りは五月二十一日(青ペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>9 18(鉛筆、左) | 茶封筒 | | | | ・記載なし | 94×146 | ・洋封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 8 | 1 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 手鍬、ヘラ(沖縄・奄美のフィラに似た小農具) | | | | 7856(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]247 (活字黒、左下) | 120×163 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた<br>・フィラについては『絵引 民具の事典』pp.239-240参照 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写2 | 8 | 2 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | ボカ(備考参照) | | | | 7488(鉛筆、右、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>1/3(鉛筆、中央、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>[臨時番号]246 (活字黒、左下) | 121×163 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた<br>・ボカは「台湾旅行記」p.3に「棒の先端に鉄片を附したもの」とあり渋沢フィルム28「PAI-WAN 1-3」38:34周辺に実際使われている場面がある | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写2 | 8 | 3 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 堀串 | | | | 7399(鉛筆、右、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>1/3(鉛筆、中央、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>[臨時番号]245(活字黒、左下) | 121×164 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写2 | 8 | 4 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 手鍬 | | | | 7838(鉛筆、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]248(活字黒、左下) | 120×163 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写2 | 8 | 5 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 「Yara」と呼ばれる農業で使う籠の底部(引用・使用媒体参照) | | | | 7334(鉛筆、中央)<br>1/3(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]243(活字黒、左下) | 121×163 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE132、「FARMING BASKETS 4」 | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写2 | 8 | 6 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 「KASOKASO」と呼ばれる儀式用の帽子などを入れる籠の底部(引用・使用媒体参照) | | | | 臨時151(鉛筆、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]249(活字黒、左下) | 120×164 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』)生活社1945PLATE312、「WOVEN WITH KASOKASO」 | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 8 | 7 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 熊手、雁爪状の農具 | | | | 7494(鉛筆、中央)<br>1/4(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]244(活字黒、左下) | 121×164 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた<br>・国立民族博物館に同一のものあり(標本番号H0018972「熊手」バイワン;排湾;Paiwan<使用>、http://htq.minpaku.ac.jp/infolib/meta_pub/CsvSearch.cgi) | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写2 | 8 | 8 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 「Sasaragan」と呼ばれるヤミ族のかせをつくる台(warping-bench with grids)(引用・使用媒体参照) | | | | 番号ナシ(鉛筆、中央)<br>1/10(鉛筆、中央)<br>[臨時番号]242(活字黒、左下) | 120×163 | ・本資料は写2-8-9に入れられていた<br>・『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』PLATE298-300、「PUTTING YARN ON WARPING-BENCH」にこれを使用している写真あり | 鹿野忠雄・瀬川孝吉『The Illustrated Ethnography of Formosan Aborigines The Yami Tribe』(『台湾原住民族図譜』) 生活社1945PLATE295、「ACCESSORIES OF HAND-LOOM」 | | | | | | | | 鹿野忠雄 | 不明 | 台湾・蘭嶼(Orchid Island)(引用・使用媒体) | |
| 写2 | 8 | 9 | | | | 台湾八枚(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>12/31入(赤鉛筆、縦書き、中央、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>◎15(青鉛筆、右上) | 封筒 | | | | × | | ・写真化学工業株式会社の写真封筒、142×187<br>・封筒には「KEEP DRY OPEN IN DARK ROOM ONLY 純国産印画紙 サザナミ SAZANAMI GASLIGHT PAPER 東京写真化学工業株式会社 室町 12Sheets 12×16.5cm」とあり封入口表面「F NO.1 FOR EXTREME CONTRAST NEGATIVES サザナミ GLOSSY SINGLE WEIGHT」、封入口裏面「薄手・光澤 SAZANAMI GLOSSY SINGLE WEIGHT F NO.1」とシールがある | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 1 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 6(鉛筆、右上)<br>□□(青鉛筆、縦書、左下) | 117×159 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 2 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 11(鉛筆、右上)<br>□□(青鉛筆、縦書、左下) | 116×157 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 3 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 6(鉛筆、右上)<br>□□(青鉛筆、縦書、左下) | 117×158 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 4 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 1(鉛筆、右上) | 116×150 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 5 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | □□(縦書、右上)<br>大キサ2/3位ト□□(鉛筆、縦書、右)<br>ハイライト(鉛筆、縦書、右) | 121×163 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 6 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 6(鉛筆、右上)<br>右(鉛筆、右下) | 118×159 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 7 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 12(鉛筆、右上)<br>□□(青鉛筆、縦書、右下) | 116×158 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 8 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 5(鉛筆、右上) | 118×159 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | 9 | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 23(鉛筆、右上) | 116×150 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | ## | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 24(鉛筆、右上)<br>□□(縦書、右)<br>大キサ2/3位ニ□□(鉛筆、縦書、右)<br>ハイライト(鉛筆、縦書、右) | 120×153 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | ## | | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 24(鉛筆、右上) | 116×160 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 9 | ## | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 24(鉛筆、右上) | 117×161 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | ## | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 29(鉛筆、右上) | 118×161 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | ## | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | | | | | 17(鉛筆、右上)<br>□□(青鉛筆、縦書、左下) | 116×158 | ・本資料は写2-9-15に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 9 | ## | | | 北野天神(欠)石山寺(欠)(縦書、右)<br>北野天神欠アルモノ(縦書、左) | (封筒) | | | | × | | ・[東京市芝区三田綱町十番地 アチックミュウゼアム澁澤敬三行]と印字されている封筒、250×142 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 1 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 116×78 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 2 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 120×82 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 3 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 120×82 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 4 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 115×78 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 5 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 158×118 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 6 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 121×163 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 7 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 117×158 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 8 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 117×158 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | 9 | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 117×158 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | ## | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野棟より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 120×163 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 10 | ## | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野様より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 76×114 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | ## | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野様より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | | | | | ・記載なし | 78×114 | ・本資料は2-10-13に入れられていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 10 | ## | | | 手紙四枚　カビネ四枚　特別　パンクに使用(鉛筆、縦書、右、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>絵巻物ノ仮面(黒マジック、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている)<br>宇野様より(■■)(鉛筆、縦書、左、封筒を縦にした際正位置になるように書かれている) | (封筒) | | | | × | | ・写真化学工業株式会社の写真封筒、142×187 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 11 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 154×109 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 11 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 154×109 | × | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 12 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 105×135 | ・絵はがき、図柄はフィリピンの棚田 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 12 | 2 | | | 封筒なし | | | | | × | | ・薄様2枚、厚紙2枚、透明プラ板2枚(法量は全て55×80)が重ねられ、ビニール袋(168×91)に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 1 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 2 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 3 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 4 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 5 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 75×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 6 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 75×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 7 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 8 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×74 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | 9 | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×92 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ8(縦書、右上) | 45×74 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、右上) | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 72×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ二(縦書、下、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 71×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、右上) | 45×74 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、下、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ5(縦書、右上) | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 73×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ＜2＞1(縦書、右上) | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 76×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、下、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 73×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ1(縦書、上、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ5(縦書、下、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 70×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 45×77 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他([様])(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ・記載なし | 75×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ1(縦書、右上) | 45×75 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ3(縦書、上、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 74×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、右上) | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ2(縦書、右上) | 45×73 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ二(縦書、上、ネガを横にした際正位置になるように書かれている) | 75×45 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | | | | | ヤキ3(縦書、右上) | 45×70 | ・本資料は写2-13-34に入れられていた<br>・写2-13-1～写2-13-33までの紙焼が同文書封筒に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 13 | ## | | | 昭和七年夏(縦書、右)<br>於逗子其他(〔様〕)(縦書、中央)<br>フィルム在中(縦書、左) | (封筒) | | | | × | | ・新宮館の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 14 | | | | 封筒なし | | | | | × | | ・香月先生整理の時に紙焼したものが同文書封筒に入っている、63× | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 15 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・本資料を紙焼したものが2枚同文書封筒に入れられている<br>・紙焼の裏面には2枚とも「4(黒マジック、右上)」と書かれてる<br>・紙焼した際に使った封筒が同文書封筒(常民研の封筒、FUJICOLORのDPE封筒)に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 15 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・本資料を紙焼したものが2枚同文書封筒に入れられている<br>・紙焼の裏面には2枚とも「4(黒マジック、右上、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)」と書かれてる<br>・紙焼した際に使った封筒が同文書封筒(常民研の封筒、FUJICOLORのDPE封筒)に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 15 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・本資料を紙焼したものが2枚同文書封筒に入れられている<br>・紙焼の裏面には2枚とも「4(黒マジック、右上、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)」と書かれてる<br>・紙焼した際に使った封筒が同文書封筒(常民研の封筒、FUJICOLORのDPE封筒)に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 15 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・本資料を紙焼したものが2枚同文書封筒に入れられている<br>・紙焼の裏面には2枚とも「4(8)(黒マジック、右上、写真を縦にした際正位置になるように書かれている)」と書かれてる<br>・紙焼した際に使った封筒が同文書封筒(常民研の封筒、FUJICOLORのDPE封筒)に入れられている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×86 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 5 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×84 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 8 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 85×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | 9 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 85×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | ## | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×85 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | ## | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 88×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 16 | ## | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-16-1～写2-16-12の紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×88 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×88 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 5 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 17 | 8 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写2-17-1～写2-17-8Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 63×88 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 5 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 88×62 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 63×86 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 18 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写2-18-1～写2-18-7Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 19 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 85×63 | ・写2-19-1、写2-19-2Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 19 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 63×83 | ・写2-19-1、写2-19-2Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 20 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×88 | ・写2-20-1～写2-20-3Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 20 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写2-20-1～写2-20-3Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 20 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写2-20-1～写2-20-3Dの紙焼が同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 1 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 上(鉛筆、左)<br>口(鉛筆、右)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 2 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 3 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 4 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 5 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 口(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 6 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 7 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 8 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | 9 | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 21 | ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 72×100 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 73×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-21-27に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 21 ## | | | ウナギ ハモ、アナゴ、ウツボ、ウミヘビ(鉛筆、縦書、右)<br>4巻 (二十六類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・薄様<br>・畳まれた状態で108×89、広げると235×322 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 1 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 2 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 3 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 二十三巻(鉛筆、縦書、右上)<br>上(鉛筆、中央)<br>12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 4 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 5 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 6 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 7 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 8 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 9 | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 7(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>5(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>6(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>11(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>12(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | 2(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-22-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 22 ## | | | 二十三巻(墨書、縦書、右上) | | | | | × | | ・帯状の和紙、245×42<br>・写2-22-1～写2-22-20をこの和紙と輪ゴムで括っていた、2009年11月現在、輪ゴムも同文書封筒に入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 1 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 2 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 上(鉛筆、中央)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 3 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 4 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 5 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 6 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 下(鉛筆、右)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 7 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-23-8で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 23 8 | | | 十五巻(墨書、縦書、右) | | | | | × | | ・帯状の和紙、243×26<br>・写2-23-1～写2-23-7を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 24 1 | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 上(鉛筆、左、上下逆さに書かれている)<br>4(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 24 2 | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 2(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 24 | 3 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 4 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 5 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 6 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 7 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | —(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 8 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | 9 | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | ＜10＞(鉛筆、下)<br>11(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 2(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 7(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | —(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-24-26で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 24 | ## | | | | 【表面】二十四巻 カレイ、シタベラ、クツゾコ(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組 24(墨書、縦書、下) | | | | | × | | ・帯状の和紙、247×25<br>・写2-24-1～写2-24-26を括っていた<br>・本資料の表裏は確定できず、便宜的につけた<br>・裏面に朱印あり | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 1 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 上(鉛筆、中央)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 2 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 3 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 4 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 5 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 6 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 7 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 8 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | 9 | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、中央)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-25-29で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 25 | ## | | | | ヤガラ ウミテング ヨウジ フライ 五巻(十九類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・薄様<br>・本資料は折りたたまれた状態で115×81、広げる際の法量は233×315<br>・本資料で資料2-25-1～資料2-25-18が包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 1 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 2 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 3 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 4 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 5 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 6 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 7 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 8 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | 9 | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、右)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、右)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-26-27で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 26 | ## | | | タツ サヨリ サンマ トビウヲ ボラ カマス コノシロ イットウダイ ヒメジ 七巻(二十六類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | × | | ・薄様<br>・本資料は畳まれた状態で111×81、広げた際の法量は233×322<br>・本資料で写2-26-1～写2-26-26が包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 1 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 2 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 3 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 4 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>□(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 5 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 6 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 7 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 8 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×12 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | 9 | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3 ×(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は資料2-27-25で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 27 | ## | | | | コノシロ イワシ シラウヲ エツ アユ オキトショウ 六巻(二十四類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・薄様<br>・本資料は畳まれており、広げた際の法量は238×325<br>・本資料で資料2-27-1～資料2-27-24が包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 28 | | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×66 | ・ガラス乾板<br>・木製のガラス乾板入れの法量は112×85 | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 1 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 上(鉛筆、中央)<br>口(鉛筆、右下)<br>4(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 2 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 3 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 3<5>2(鉛筆、右下)<br>5(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 4 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 5 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 7(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 6 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 26(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 7 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 21(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 8 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 29(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 9 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 22(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 10 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 16(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 11 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 9(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 12 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 10(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 13 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 31(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 14 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 14(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 15 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 6(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 16 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 17(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 17 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | 下(鉛筆、中央)<br>14(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-1-18で括られていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 1 | 18 | | | 十八巻(墨書、縦書、中央) | | | | | × | | ・帯状の和紙、245×42<br>・本資料で写2-29-1-1～写2-29-1-17を括っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 1 | | | カチキ サワラ サバ シビ カツオ 八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 2 | | | カチキ サワラ サバ シビ カツオ 八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | 2 | 3 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(絵筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 4 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 5 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 6 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 7 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 8 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 9 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 10 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 11 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 12 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 13 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 14 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 15 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 16 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 17 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 18 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 19 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-2-20で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 2 | 20 | | | カチキ　サワラ　サバ　シビ　カツオ　八巻(十九類)(カチキ、サワラ、サバは青ペン、シビ、カツオは青ペンの上に鉛筆、それ以外は鉛筆、全て縦書、中央) | | | | | × | | ・和紙<br>・本資料で写2-29-2-1～写2-29-2-19を包んでいた<br>・本資料は畳まれた状態で110×84、広げた際の法量は270×317 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 1 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 二十二巻(鉛筆、縦書、右上)<br>A.B.(鉛筆、右)<br>上(鉛筆、中央)<br>11、1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 2 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 3 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 4 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 5 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 6 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 7 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 8 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 9 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 10 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 11 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | —(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 12 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 13 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | □(鉛筆、下)<br>4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 14 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 15 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 16 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 17 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 2 (鉛筆、下)<br>＜□3＞ (鉛筆、下)<br>3 (鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 18 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 19 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | —(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 20 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | —(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 21 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 22 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | 下(鉛筆、中央右)<br>2(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-3-23で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 3 | 23 | | | 二十二巻(墨書、縦書、上)<br>A,B,(墨書、上) | | | | | × | | ・帯状の和紙、42×245<br>・本資料で写2-29-3-1～写2-29-3-22を括っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | 4 | 1 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 十九巻上(鉛筆、縦書、右)<br>上(鉛筆、中央)<br>口(鉛筆、右下)<br>6(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 2 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 1口(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 3 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 8(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 4 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 10(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 5 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 11(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 6 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 15(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 7 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 8 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 9 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 2(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 10 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 3(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 11 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、下)<br><口>口(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 12 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 13 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>10(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 14 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 15 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 一(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 16 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 12(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 17 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 2(鉛筆、右下)<br>3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 18 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 19 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 20 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>9(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 21 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 22 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 9(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 23 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>4(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 24 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 一(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 25 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 26 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 12(鉛筆、右下)<br>2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 27 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 28 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 29 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | 口(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-4-30で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 4 | 30 | | | 十九巻(墨書、縦書き、上)<br>A.B.(墨書、上) | | | | | × | | ・帯状の和紙、41×245<br>・本資料で写2-29-4-1～写2-29-4-30を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 1 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-5-6で包まれ、その上から写2-29-5-7でまとめられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 2 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-5-6で包まれ、その上から写2-29-5-7でまとめられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 3 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-5-6で包まれ、その上から写2-29-5-7でまとめられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 4 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-5-6で包まれ、その上から写2-29-5-7でまとめられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 5 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-5-6で包まれ、その上から写2-29-5-7でまとめられていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 6 | | | ナマズ、ゴンズイ、ギロウロ 三巻(五類)(鉛筆、縦書、中央) | | | | | × | | ・薄様<br>・本資料で写2-29-5-1～写2-29-5-5を包んでいた<br>・本資料は写2-29-5-7でまとめられていた<br>・本資料は畳まれた状態で190×89、広げた際の法量は240×326 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 5 | 7 | | | 二十六巻 アンコウ クサアヂ ナマジ アカナマダ タラフ(■)ウリユ(■)ウヲ(墨書、縦書、下) | | | | | × | | ・帯状の和紙、41×245<br>・本資料で写2-29-5-1～写2-29-5-5を包んだ写2-29-5-6をまとめてい | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 1 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 十七巻B(鉛筆、縦書、右)<br>上(鉛筆、中央)<br>28(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 2 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 32(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 3 | | | | | | | | | | ・当該番号が付与された資料が見あたらない、画像もない | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 4 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 34(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 5 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 24(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 6 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 21(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 7 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 10(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 8 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 9 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 2口(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 10 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 19(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 11 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 17(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 12 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 7(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 13 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 33(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 14 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 18(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 15 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 13(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 16 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 14(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 17 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 25(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 18 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 下(鉛筆、中央)<br>12(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 19 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 下(鉛筆、中央)<br>口(鉛筆、下)<br>5(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 20 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>6(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-6-21で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 6 | 21 | | | 十七巻B(墨書、縦書、下) | | | | | × | | ・帯状の和紙、244×19<br>・本資料で写2-29-6-1～写2-29-6-20を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 1 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 6(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 2 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 3 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 4 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 5 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 6 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 7 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 8 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 9 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 10 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 11 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 12 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 13 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | <2>(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 14 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 口(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | 7 | 15 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 7 16 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 72×100 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 7 17 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 7 18 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 72×100 | ・本資料は写2-29-7-19で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 7 19 | | | 十巻A(墨書、縦書、上)<br>?(中央) | | | | | × | | ・帯状の和紙、242×25<br>・本資料で写2-29-7-1～写2-29-7-18を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 1 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 2 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | —(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 3 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 4 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 5 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 6 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 7 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 8 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 9 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 10 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 11 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 12 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 7(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 13 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 14 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 15 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 16 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 17 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 18 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 19 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 下(鉛筆、右)<br>□7(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 20 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | D(鉛筆、下)<br>4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 21 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | D(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 22 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>7(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 23 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | D(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 24 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 25 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-8-26で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 8 26 | | | 十四巻(墨書、下) | | | | | × | | ・帯状の和紙、245×27<br>・途中で破れてしまっていて、2片に分かれている<br>・本資料で写2-29-8-1～写2-29-8-25を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 1 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 2 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 3 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 4 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 5 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右下)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 6 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 7 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 8 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 9 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 10 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 3(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 11 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、中央)<br>3(鉛筆、中央) | 74×12 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 12 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 13 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 14 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 15 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 16 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 73×100 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 17 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 18 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右)<br>2(鉛筆、下) | 73×100 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 19 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | □(鉛筆、右)<br>1(鉛筆、下) | 72×100 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 20 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 21 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 22 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | 上(鉛筆、中央)<br>1(鉛筆、右下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-9-23で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 9 23 | | | アカエ、(ヒ)、ギンサメ、コテブカ 二巻(二十二類)(鉛筆、縦書、右) | | | | | × | | ・和紙<br>・本資料で写2-29-9-1～写2-29-9-22を包んでいた<br>・本資料は畳まれた状態で241×85、広げた際の法量は237×321 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 二巻、A、B、(鉛筆、縦書、右)<br>上(鉛筆、中央)<br>11(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | —(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 4 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 10(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 11(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 11 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 12 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 8(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 13 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 7(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 14 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 4(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 15 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 2(鉛筆、下)<br>1(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 16 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 12(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 17 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 3(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 18 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 6(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 19 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | —(鉛筆、右下)<br>2(鉛筆、右下) | 73×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 20 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 2(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 21 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 5(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 22 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 7(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 23 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 1(鉛筆、上)<br>2(鉛筆、上) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 24 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | 9(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-10-25で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 25 | | | 二十巻、A、B(墨書、縦書、上) | | | | | × | | ・帯状の和紙、245×42<br>・本資料で写2-29-10-1～写2-29-10-24を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 4 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br><2>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | | | | | □(鉛筆、下)<br>2(鉛筆、下) | 74×12 | ・本資料は写2-29-11-10で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 【表面】二十五巻　ナカ(□)テ、ギンボ、コチ、ハゼ、ムツゴロ、トラキ□(墨書、縦書、下)<br>【裏面】二十四組　26(墨書、縦書、下) | (紙帯) | | | | × | | ・帯状の和紙、245×26<br>・本資料で写2-29-11-1～写2-29-11-9を括っていた<br>・裏面に朱印あり | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 3(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 25(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 30(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 4 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 2(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 24(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 26(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 16(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 19(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 7(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 5(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 11 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | 10(鉛筆、下) | 74×101 | ・本資料は写2-29-12-12で括られていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 12 | | | 十六巻(墨書、縦書、下) | | | | | × | | ・帯状の和紙、245×27<br>・写2-29-12-1～写2-29-12-11を括っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>弐拾四組　[(朱印)] 2タ((墨書、縦書、下記記入の反面、右)<br>ケンヲ書入ル口(鉛筆、縦書、上記記入の反面、右) | グラバー図譜の写真 | | | | L2～　(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-13-2の紙帯が巻いてあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>弐拾四組　2タ　ケンヲ書入ル口(墨書、縦書、下、)<br>[(朱印)] | (紙帯) | | | | × | | ・帯状の和紙<br>・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-13-1の資料を巻いてあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、クロフジモドキ | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 3 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、マンビキ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 4 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ハネヒツ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ギンカメアジ | | | | 上(右上、鉛筆)<br>3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、キンガメアジ | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、カクアジ | | | | レ1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 11 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 12 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 13 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 14 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 15 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 16 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ミサキシイラ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 17 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 下(中央、鉛筆)<br>2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 18 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 19 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 20 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 下(中央、鉛筆)<br>D1(右下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 21 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 拾七巻A(右上、鉛筆)<br>上(中央、鉛筆)<br>23(右下) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 22 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(中央、鉛筆)<br>D3(右下) | 74×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 23 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 36(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 24 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 30(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 25 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5(右下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 26 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 32(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 27 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 35(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 28 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、キツネダイ | | | | 15(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 29 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、アカキツネ | | | | 13(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 30 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | ヒ7カ(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 31 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | ヒ11カ(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 32 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、タキベラ | | | | ヒ1カ(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 33 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、しろかねぐちヵ | | | | D2(右下、鉛筆) | 72×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 34 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、コブダイ | | | | D18(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 35 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D21(右下、鉛筆) | 73×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 36 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、コブダイ | | | | D33(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-14-1～36は輪ゴムで括ってあった<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(右、鉛筆)<br>53(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、スルメイカ | | | | 12　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 93　2(下、鉛筆、2は丸で囲み字) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 4 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 42(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 103(上、鉛筆、天地逆さ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、テナガイカ | | | | 7　1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 7 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 11　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、ハナイカ | | | | 63(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、モツイカヵ | | | | 2口(下、鉛筆、口は「ん」の頭に〇が付いたような感じ、消し字ヵ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | □　―　3(下、鉛筆、口はCヵ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 11 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 8　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 12 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、ナガダコ | | | | 63(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 13 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、イイダコ | | | | 8　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 14 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、マダコ | | | | 下(右、鉛筆)<br>73(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-13の紙帯でまとめられていた<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 15 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿七巻　イカタコ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>弐拾四組[(朱印)] 29(右、縦書、上記記入の反面、墨書、朱印は判読できず)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | (紙帯) | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15-1～14の資料をまとめていた<br>・筆書き<br>・写2-29-20の薄紙で包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、ケンエビ | | | | □21(下、鉛筆、口はbか) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 2 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | □71（下、鉛筆、□はb か） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 3 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真、エビガネ | | | | L1,1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 4 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | D8　3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 5 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 12　3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 6 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真、チョウセンアカジャコ | | | | 93（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 7 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 103（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 8 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 11　2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 9 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5　3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 10 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | —　2（右下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 11 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類（右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真、クルマエビ | | | | 6　1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 12 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 10　1(下、鉛筆、10はあるいは16カ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 13 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 8　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 14 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 7　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 15 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 4　1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 16 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 2　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 17 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 4　1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 18 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 19 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | C　6　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 20 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | □　3(下、鉛筆、□は2カ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 21 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | ―　1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 22 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 51(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 23 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 24 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 11　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 25 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | ―　1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 26 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 9　2(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 27 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(右、鉛筆)<br>12　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-16-28の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 28 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿八巻　エビ類(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-1～27の資料をまとめていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 (シヤコ)(シヤツバ)カニ　ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 73×100 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 (シヤコ)(シヤツバ)カニ　ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 (シヤコ)(シヤツバ)カニ　ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 4 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真、カブトガニ | | | | 10 1(下、鉛筆、10はあるいは110カ) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | □81(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1(下、鉛筆)<br>×2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 11 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 3(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 12 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 3(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 13 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 14 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 2 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 15 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 10 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 16 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 3 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 17 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 18 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 11 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 19 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 12 口（下、鉛筆、口は2を3に修正したものか） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 20 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 4 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 21 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 4 2（下、鉛筆） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 22 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 一 、 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 23 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 4 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 24 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 6 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 25 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 11 2（下、鉛筆） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 26 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 10 4（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 27 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 12 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 28 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 1, 3（下、鉛筆） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 29 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 6 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 30 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 4 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 31 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 11 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 32 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 3 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 33 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 2 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 34 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 35 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | — 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 36 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 3（下、鉛筆、5は丸で囲み字） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 37 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 38 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 10 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 39 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 40 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 41 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 7 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 42 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 43 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 6 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 44 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 7 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 45 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 3 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 46 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 47 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 7 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 48 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 49 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | □ 2 □（下、鉛筆、□はCと1を2に修正したものヵ） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 50 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 51 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1（下、鉛筆） | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 52 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 11 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 53 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ（中央、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 54 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 55 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 56 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 57 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 58 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 2(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 59 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-60の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 60 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿九巻 〈シヤコ〉(シヤツバ)カニ ヤドカリ(中央、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | (紙帯) | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-17-1～59の資料をまとめていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 下(右、鉛筆)<br>2 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 3 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## 4 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 1(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 5 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 6 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 7 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 4 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 8 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 9 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(右、鉛筆)<br>6 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-10の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 10 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>廿 シャカ ガタハジキ(右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | (紙帯) | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-18-1～9の資料をまとめていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 1 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ (右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 2 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ (右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## 3 | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている)<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ (右、縦書、下記記入の反面、墨書)<br>【薄紙】<br>魚の写真(中央、ペン)<br>第廿七集より第参拾集迄(中央、ペン)<br>及び未定入(中央、ペン)<br>昭和五年写(中央、ペン) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | 4 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 12 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 5 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 6 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 7 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 6 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 8 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | グラバー図譜の写真 | | | | 下（右、鉛筆）<br>— 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-9の紙帯でまとめれていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | 9 | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【紙帯】<br>未定 タイ ムツ アラ ロダリ ボウツ イワシ （右、縦書、下記記入の反面、墨書）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | （紙帯） | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-19-1～8の資料をまとめていた<br>・写2-29-20の薄紙に包まれていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている）<br>【薄紙】<br>魚の写真（中央、ペン）<br>第廿七集より第参拾集迄（中央、ペン）<br>及び未定入（中央、ペン）<br>昭和五年写（中央、ペン） | （包紙） | | | | × | | ・写2-29-191の缶に入っていた<br>・写2-29-15～19を包んでいた<br>・270×216<br>・透かしあり「ASSURANCE BOND」 | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | C 6 3（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 11 1（下、鉛筆） | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | S 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | C 4 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D 3 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1, 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1, 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 4 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2．1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、チビキ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ヘダイ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、メバル | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、エビスダイ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、イトヨリダイ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 26(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 下(中央、鉛筆)<br>31(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 4 1(右下 鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D 4 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | ― 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D 12 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D 5 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 4(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | S 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、オオメダイ | | | | 2(右下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10　2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5　3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ミノカサゴ | | | | D　—　1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 土(中央、鉛筆)<br>廿壱巻　A.B.(右上、鉛筆)<br>72(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ヒラアジ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、メシマアジ | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、シマアジ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 <1> (右下、鉛筆) | 73×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、トチザメ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(中央、鉛筆)<br>1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ヤヘエジフカ | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、シュモクザメ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ツノザメ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ツチクヂラ | | | | 1(右下、鉛筆) | 73×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ノコギリザメ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、オウセブカ | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、メジロザメ | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ヨロイイタチウオ | | | | 10 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | — 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | D 3 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | — 1(下、鉛筆)<br>シ(右下、鉛筆、丸で囲み字) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 上(右上、鉛筆)<br>C — <3>3 (下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1, 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 1(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 4 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1 w 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 11 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 7 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 2(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | — 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 3(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 12 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 8 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 2(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 10 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 1(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、ホウロキハダ | | | | 2 1(右下、鉛筆、2は1を訂正したものか) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 29 ## | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、すなあら | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | T(左、鉛筆)<br>10 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2(左下、鉛筆) | 73×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、マトイシモチ | | | | 1(右下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | C 11 1(下、鉛筆) | 73×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 9 2(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 2 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 5 2(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | Y 1(右下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真 | | | | 6 2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、オコゼ | | | | 2 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた<br>・題名は写真に写り込んでいる書き込みから | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | | 【缶】<br>アチック写真(黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている) | グラバー図譜の写真、オコゼ | | | | — 3(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 6 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 2 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 5 1(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 9 2(下、鉛筆) | 74×12 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 上(中央、鉛筆)<br>2(右下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | グラバー図譜の写真 | | | | 3(下、鉛筆) | 74×101 | ・写2-29-191の缶にバラの状態で入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 写2 | 29 | ## | | | 【缶】<br>アチック写真（黒フェルトペン、縦書、中央、缶に貼られた紙に書かれている） | （缶） | | | | × | | ・写2-29-1～190の資料が入っていた、166×295×58<br>・「アチック写真」とかかれた紙がセロハンテープで貼られている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 1 | 1 | | | 焼増一枚（鉛筆、縦書）<br>市川様 （鉛筆、縦書） | | | | | ・記載なし | 109×80 | ・写真03-1-2の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものｶ<br>・渋沢フィルム整理カードには「場所記載 なし b焼増1枚 市川様」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 1 | 2 | | | 焼増一枚（鉛筆、縦書）<br>市川様 （鉛筆、縦書） | | | | | × | | ・「さくらクロームフィルム」の封筒、136×207 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 113×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「場所記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×117 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「場所記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 118×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 2 | 4 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 117×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 5 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 114×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 6 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×116 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 7 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×116 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 8 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×112 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 2 | 9 | | | ア-41-4 | 封筒なし | 鴨居に飾られたダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 109×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「場所記載なし」とあり<br>・ア-41-4のネガフィルム。フィルム上部に糊づけ痕の様なヨゴレあり<br>・本資料は鴨居の上に飾られたダンゴ飾り。6個の団子とマユダマが飾られている。鴨居には注連縄がされている。「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて来たものである。（中略）此等の團子をさした木をクウンダエとも言ふ。クウンダエにはアワボー（粟に餅を巻きつけたもの）、マユダマ（ノエゴ一粟のヨゴーに小さな餅切れを點々と付けたもの）、ガラガラヘンベ（大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅）や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 3 | 1 | | | ア-55-4 | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 軒先にある剝られた丸太のようなもの | | | | ・記載なし | 86×119 | ・写3-3-6の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭和8.12.・渋沢先生撮影」とあり<br>・ア-55-4のネガ、因みにデジタル画像では画が反転している | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 3 | 2 | | | ア-55-7 | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 納屋のようなものの前に立つ男、犬 | | | | ・記載なし | 85×118 | ・写3-3-6の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭和8.12.・渋沢先生撮影」とあり<br>・ア-55-7のネガ、因みにデジタル画像では画が反転している | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 3 | 3 | | | ア-55-3 | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 調査団のような人と地元の人々、犬 | | | | ・記載なし | 85×119 | ・写3-3-6の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭和8.12.・渋沢先生撮影」とあり<br>・真ん中あたりに写っている人は姜蚓沢ヵ<br>・ア-55-3のネガ、因みにデジタル画像では画が反転している | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 3 | 4 | | | ア-55-1 | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 道を行く民族衣装を着た人と荷を積んだ牛 | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-3-6の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭和8.12.・渋沢先生撮影」とあり<br>・ア-55-1のネガ、因みにデジタル画像では画が反転している | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 3 | 5 | | | ア-55-5 | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 集落内の大きな木の前で写る人、板塀 | | | | ・記載なし | 85×118 | ・写3-3-6の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭和8.12.・渋沢先生撮影」とあり<br>・ア-55-5のネガ、因みにデジタル画像では画が反転している | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 3 | 6 | | | | 朝鮮（黒ペン、表面、中央左側）<br>昭和8.12（黒ペン、表面、中央左側）<br>渋澤先生撮影（黒ペン、表面、中央左側）<br>不用分（青ペン、表面、中央左側） | 封筒 | | | | ・白色無地の封筒 | 97×147 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 4 | 1 | | 鹿児島県 | ア-11-76 | 十島（青ペン、縦書、表面、右側） | 小宝島の民家の中庭（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 85×119 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 2 | | 鹿児島県 | ア-11-10 | 十島（青ペン、縦書、表面、右側） | 平島の水田　（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあるが、昭和9年の薩本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 平島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 3 | | 鹿児島県 | ア-11-78 | 十島（青ペン、縦書、表面、右側） | 小宝島の島民の記念写真　（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 85×118 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 4 | | 鹿児島県 | ア-11-81 | 十島（青ペン、縦書、表面、右側） | 小宝島の島民の記念写真　（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | 16ミリフィルム「十島(B1～B3)」40:25 | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 5 | | 鹿児島県 | ア-11-80 | 十島（青ペン、縦書、表面、右側） | 小宝島の島民の記念写真　（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 4 | 6 | | 鹿児島県 | ア-11-63 | 十島(青ペン、縦書、表面、右側) | 小宝島の墓地 (関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×115 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・小宝島の墓地については、桜田勝徳著作集7p377に「墓地」として、『早川孝太郎著作集』Xp212に関連の記述がある。本資料は関連目録番号資料のネガフィルム。 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 7 | | 鹿児島県 | ア-11-79 | 十島(青ペン、縦書、表面、右側) | 小宝島の島民の記念写真 (関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和9年(1934年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜による | 小宝島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 8 | | 鹿児島県 | ア-10-81、ア-10-82 | 十島(青ペン、縦書、表面、右側) | 中之島の小学校にて (関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×116 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)5月15日～『犬歩当棒録』旅譜による | 中之島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 9 | | 鹿児島県 | ア-10-69 | 十島(青ペン、縦書、表面、右側) | 中之島港付近の集落と丸木舟 (関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×117 | ・写3-4-10の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「十島」とあり<br>・中之島港については早川孝太郎著作集ⅩⅡp402「口之島午前9時半発。中之島港11時着」と記述、本資料と同場面の写真の掲載がある。<br>・中之島の丸木舟については桜田勝徳著作集7p359に「舩」として関連の記述がある。本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)5月15日～『犬歩当棒録』旅譜による | 中之島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 4 | 10 | | × | | 十島(青ペン、縦書、表面、右側) | × | | | | × | | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒、172×122 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 5 | 1 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | ハギ舟と動力船(ハギ舟を曳航するための船、かもめ丸) | | | | ・記載なし | 80×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一 写真・日記集成』p.20に同一の写真あり、『宮本常一 写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。切り取ったと考えられる台紙には「62 隠岐旅行 昭和10.8. チェック印」と記載されている。常一のもとにある写真はアチックから焼き増しされた写真と考えられる。撮影地・撮影年月日はこれによる<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(p.8)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。」とあり、題名の「ハギ舟」はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編『戦前戦中の写真帳』『宮本常一 写真・日記集成』毎日新聞社2005p20 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・備考参照 | 隠岐・『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・備考参照 | |
| 写3 | 5 | 2 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 船上から見る牧畑(備考参照) | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一 写真・日記集成』p.21に同一の写真あり、『宮本常一 写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外にには「68 隠岐旅行 牧畑」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。撮影地・撮影年月日はこれによる<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編『戦前戦中の写真帳』『宮本常一 写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・備考参照 | 隠岐・『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・備考参照 | |
| 写3 | 5 | 3 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | マワシタカミ漁のタテアミ | | | | ・記載なし | 81×111 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『糸満漁夫の聞書』p.7に「漁網 マワシタカミはタテアミとフクロから成つてゐる。タテアミはミチ網にひとしい。タテ網は長さ十六尋巾六尋の網を十六位繋ぎ合せたもので、上端に浮子(オキアバといふ)をつけ、下端に沈子(アシアバといふ)をつけてゐる。オキアバは口型の平たい板(多くは桂)で作り、アシアバは子安貝(シビ又はセビといふ)で作られてをりなほ沈子として三百匁位の石が二尋毎に附着せられてゐる」とあり、題名はこれによる<br>・二重露光されている<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 4 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 船上から見るイトマン漁(備考参照) | | | | ・記載なし | 81×111 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一 写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外にには「64 イトマン漁」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編『戦前戦中の写真帳』『宮本常一 写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 5 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 船上から見るイトマン漁(備考参照) | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・写3-5-4の船に近付いたものヵ<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『宮本常一 写真・日記集成』p.20<br>・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 6 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 牧ノ垣(備考参照) | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一 写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外にには「69 牧ノ垣」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編『戦前戦中の写真帳』『宮本常一 写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～ | 隠岐 | |
| 写3 | 5 | 7 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 牧ノ垣(備考参照) | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地 澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一 写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外にには「69 牧ノ垣」と記載されている写真と同被写体。写す角度が少し違うのみでほぼ同時刻に撮影されたと思しき写真。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編『戦前戦中の写真帳』『宮本常一 写真・日記集成』毎日新聞社2005p38 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～ | 隠岐 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 5 | 8 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | アカギンを着た漁師による網染め(引用・使用媒体参照) | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(p.15)に「網染め　綱網一切は豚血若しくは牛血で染める。此染槽にはサバニイを用ゐる」とありその様子と考えられ、また同書(p.16)に「アカギン　ウミギンともいふ。漁夫の仕事着即ち沖着物である。太い縦縞の腰切りの木綿衣で、之はカッチで染めてゐる。」とある。写3-5-13と同状況<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 桜田勝徳『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』アチックミューゼアム1935口絵 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 9 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | チイバクグワアとカタツパアフウゾウ((引用・使用媒体参照) | | | | ・記載なし | 81×111 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』口絵トレースに「チイバコガア　カタツパアフウゾー」とあり、題名はこれと本文内容から。同書では背景を白で潰している<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(p.16)に「カタツパアフウゾウ　船中に持ち込む所謂枕箱の事。枕に使用し、莨入れともなる。フウゾウとは煙草入れの事であるといふ」とあり、同書(p.16)「チイバクグワア　漁具、食料その他を入れる沖箱」とあり<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 桜田勝徳『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』アチックミューゼアム1935口絵 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 10 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | イトマン漁船(備考参照) | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一　写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外ににには「63　イトマン漁船」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編「戦前戦中の写真帳」『宮本常一　写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 11 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 動力船に曳航されるハギ舟 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(p.8)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。」とあり、題名の「ハギ舟」はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 12 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 国旗をつけた船に乗る子供達とイトマン漁夫(備考参照) | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一　写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外ににには「66　イトマン漁夫　島根縣隠岐にて」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 毎日新聞社編「戦前戦中の写真帳」『宮本常一　写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 13 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | アカギンを着た漁師による網染め(引用・使用媒体参照) | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』口絵トレースに「網染め　アガギン」とあり、題名はこれと本文内容から。<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(p.15)に「網染め　綱網一切は豚血若しくは牛血で染める。此染槽にはサバニイを用ゐる」とありその様子と考えられ、また同書(p.16)に「アカギン　ウミギンともいふ。漁夫の仕事着即ち沖着物である。太い縦縞の腰切りの木綿衣で、之はカッチで染めてゐる。」とある。<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | 桜田勝徳『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』アチックミューゼアム1935口絵日本民族学協会編「糸満漁夫の網染め作業(隠岐島所見)」『日本社会民俗辞典』1誠文堂新光社昭和27年誠文堂新光社昭和27年p290「糸満漁夫の網染め作業(隠岐島所見)」誠文堂新光社昭和27年p290「糸満漁夫の網染め作業(隠岐島所見)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 5 | 14 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 二艘並ぶカンコ、あるいはサバニ | | | | ・記載なし | 80×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・画像が不鮮明で詳細不明<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～ | 隠岐外装記載による | |
| 写3 | 5 | 15 | | 島根 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 屋根を付けたカンコ二艘 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～ | 隠岐外装記載による | |
| 写3 | 5 | 16 | | 島根・鳥取 | | 隠岐(青ペン、縦書、表面)<br>糸満か、(青ペン、縦書、表面) | 港に停泊する船「千代丸」と漁船、境町渡 | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・『宮本常一　写真・日記集成』はもともと台紙に添付されていたものを台紙ごと切り取りアルバムに貼りつけたもの。貼りつけられたアルバム欄外ににには「65　イトマン漁民」と記載されている。アチックから焼き増しされた写真と考えられる。<br>・境町渡とあることから境町(現境港)と隠岐を結ぶ定期船の船着所と考えられるが、どの島か詳細不明<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判)<br>・県立公文書館県史編さん室学芸員樫村賢二氏によると「撮影地はたぶん境港市じゃないかと思います。景色的には奥に島根半島があり水道の幅からすると境水道ぽいです。<br>しかし写真中にある「境町渡」となると中海側になるので、奥に島根半島がみえる景観とあわず不思議な気がします。」とされ撮影地は境港の可 | 毎日新聞社編「戦前戦中の写真帳」『宮本常一　写真・日記集成』毎日新聞社2005p21 | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月～ | 隠岐、境港(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 5 | 17 | | 島根 | | 隠岐（青ペン、縦書、表面）<br>糸満か、（青ペン、縦書、表面） | 牧畑の境の柵 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-5-18の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　溢澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「隠岐〇〇〇」とあり<br>・本資料はネガシートフィルム（手札判） | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年（1935）8月～ | 隠岐外装記載による | |
| 写3 | 5 | 18 | | | | 隠岐（青ペン、縦書、表面）<br>糸満か、（青ペン、縦書、表面） | 封筒 | | | | × | | ・表面「隠岐　糸満か」と青ペンで縦書記載、裏面「東京都芝区三田綱町十番地　溢澤敬三」と印刷された白色の封筒、170×121 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 1 | | | | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 草むらに立つ少女 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 2 | | 台湾 | ア-67-9 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 台南州呉鳳廟前での田植えの様子 | | | | ・記載なし | 108×80 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州呉鳳廟前関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 3 | | 台湾 | ア-67-7 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 林眼科医院の軒先にある天秤棒と子供 | | | | ・記載なし | 109×80 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり<br>・写真内看板に為る「東京医学士　林江海」は中京大学社会科学研究所『台湾総督府文書目録』「明治三八年二月一七日　七五　第二二号」に名前がある<br>(http://nippon.zaidan.info/seikabutsu/2005/00016/pdf/0001.pdf) | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月13日～関連目録番号資料 | 台湾 | |
| 写3 | 6 | 4 | | 台湾 | ア-67-12 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 台南州新巷庄での牛を連れた人 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州新巷庄関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 5 | | 台湾 | ア-67-4 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 台北市教育会館前の牛に曳かれる荷車 | | | | ・記載なし | 108×81 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月12日～関連目録番号資料 | 台湾・台北市関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 6 | | 台湾 | ア-67-10 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 台南州呉鳳廟前の納屋小屋 | | | | ・記載なし | 110×81 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州呉鳳廟前関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 7 | | | ア-34-26 | 四月廿二日■附（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>櫻田様（鉛筆、縦書、表面、右側）<br>十五枚（鉛筆、縦書、表面、右側） | 厨子に納められた仏像と、その周囲に集まる旅装束の僧侶、女性、子供 | | | | ・記載なし | 80×110 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d)　四月廿二〇〇附桜田様　十五枚」とあり<br>・ア-34-26のネガフィルム<br>・木の台の上には仏像が納められた厨子、米ヵが入った桶と枡、米ヵが盛られた皿が置かれている<br>・僧侶は笠を持ち、手首に数珠を巻き、首に札挟をかけている<br>・厨子の前には香炉、仏器に盛られた米、果物、菓子ヵが置かれている | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 6 | 8 | | | ア-34-28 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | お供え物が入れられた木箱 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-34-28のネガフィルム<br>・箱の中にはお供え物が入れられている。箱の中の紙には「■モリ 一■」と書かれている<br>・左の皿に盛られているのは米ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 9 | | | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 雪山の三人の子供 | | | | ・記載なし | 84×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・子供の一人はカブリモノをしている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 10 | | | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 庭のような所にいる大人と子供二人 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・塀の向こうには海、島が見られる | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 11 | | | ア-34-29 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 天井から下げられた粟飾り | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-34-29のネガフィルム<br>・正月飾りの一種ヵ<br>・右手前にはガラス戸の棚があり、中のガラス瓶には植物ヵが入っている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 12 | | | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 雪山で煙管を吸う男性 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>男性は手拭の上に帽子、腰には、キリハと呼ばれる山刀、足元にはカンジキを付けている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 13 | | | ア-34-33 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 倉庫のような所に入れられた竹製の籠とその側に立つ女性 | | | | ・記載なし | 81×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-34-33のネガフィルム<br>・竹製の籠は側の女性の腰近くの高さがある<br>・右奥に竹筒のようなものが見える<br>・左手前には藁細工や苧などが入った小型の竹籠が2点重ねられている。苧の入っている籠には縄が掛けられている<br>・左手奥には桶が置かれた棚が見られる | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 14 | | | ア-34-34 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 岸に停泊する2艘の舟 | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-34-34のネガフィルム<br>・川岸に停泊している2艘の舟<br>・山間を流れる川を下るための舟ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 15 | | | ア-34-31 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 無数に積まれた大小の石 | | | | ・記載なし | 80×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-34-31のネガフィルム<br>・岩屋のような所で大小様々の石が積まれている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 16 | | 新潟県 | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附桜田様 十五枚」とあり<br>・小正月のダンゴ飾りの写真。三面の小正月の様子ヵ<br>・部屋の奥には神棚があり、その下には仏壇がある。壁には軸が掛けられている<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて来たものである。(中略)此等の團子をさした木をクワンダエとも言ふ。クハンダエにはアワボー(粟に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ一重のミゴーに小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 6 | 17 | | 新潟県 | ア-43-10 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 三面村小学校分校の前で作業をする男性 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附 桜田様 十五枚」とあり<br>・ア-43-10に写っている建物と同じであることから、撮影場所はこれによる | | | | | | | | | | | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 6 | 18 | | | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 角盆に乗せられたお供え物 | | | | ・記載なし | 109×82 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附 桜田様 十五枚」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 6 | 19 | | 高知県 | ア-34-27 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 漁村の狭い畑 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇付 桜田様 十五枚」とあり<br>・題名は『日本社会民俗辞典 第三巻』p.1138による | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1966年p1138漁村の狭い畑 | | | | | | | | | | | 高知県幡多郡『日本社会民俗辞典3』p.1138 | |
| 写3 | 6 | 20 | | 台湾 | ア-67-8 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 台南州呉鳳廟前での田植えの様子 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附 桜田様 十五枚」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州呉鳳廟前関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 21 | | 台湾 | ア-67-19 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 升筏の材料を加工している男 | | | | ・記載なし | 108×80 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附 桜田様 十五枚」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州呉鳳廟前関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 22 | | 台湾 | 写1-13-8 | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | 鰹鮪に向う升筏 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-6-23の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「場所記載なし(d) 四月廿二〇〇附 桜田様 十五枚」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州鰹鮪関連目録番号資料 | |
| 写3 | 6 | 23 | | | | 四月廿二日■附(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>櫻田様(鉛筆、縦書、表面、右側)<br>十五枚(鉛筆、縦書、表面、右側) | | | | | × | | ・「さくらクロームフィルム」の封筒、135×205 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 7 | 1 | | 秋田県 | ア-47-16 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村 大倉 附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 薪を積んだところ、寒風山と自由伐採の薪 | | | | ・「寒風山と自由伐採の薪」(黒ペン) | 81×110 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものヵ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・当該資料のネガの端に「寒風山と自由伐採の薪」(黒ペン)とあり、題名、撮影地はこれによった | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民手記』アチックミューゼアム1935年p36「第八図 タキギ 大西伍一氏作」 | | | | | | | 大西伍一 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 2 | | | ア-47-35 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村 大倉 附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 荷を付けた馬の引き綱を持つ男の子 | | | | ・記載なし | 110×80 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものヵ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1935年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 7 | 3 | | 秋田県 | ア-47-31 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 筵機で筵を織る吉田三郎の母 | | | | ・「ムシロオリ　吉田三郎君母君」(黒ペン) | 80×110 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「ムシロオリ　吉田三郎君母君」(黒ペン)とあり | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1935年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村吉田三郎本家(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 4 | | 秋田県 | ア-47-36 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 手に鎌を持ち草刈りに行く際の格好をする女性(吉田三郎兄の妻) | | | | ・「草刈りに　脇本村」(黒ペン) | 110×81 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・背景に写る家屋がア-47-9と同じ小屋と判断しで撮影地は脇本村吉田三郎本家とした<br>・当該資料のネガの端に「草刈りに　脇本村」(黒ペン)とあり、撮影地 | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 5 | | 秋田県 | ア-47-32 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 脇本村の道中の井戸と子供たち | | | | ・「脇本村の道中の井戸」(黒ペン) | 81×110 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「脇本村の道中の井戸」(黒ペン)とあり、撮影地はこれによった | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1935年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 6 | | 秋田県 | ア-47-34 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 魚を売る行商の女性二人(全身、正面) | | | | ・「サカナ小売行商女　脇本村」(黒ペン) | 111×81 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「サカナ小売行商女　脇本村」(黒ペン)とあり、撮影地はこれによった | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 7 | | 秋田県 | ア-47-6 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 男鹿のナマハゲ | | | | ・「ナマハゲ」(黒ペン) | 81×110 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「ナマハゲ」(黒ペン)とあり | アチックミューゼアム16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」03:45～04:54 | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 8 | | 秋田県 | ア-47-29 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 板壁の様なところにかけられた目玉餅 | | | | ・記載なし | 109×80 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・「目玉餅」とは『男鹿寒風山農民手記』p.42に「目玉餅。これも人々が最初苗代で仕事した時たべる餅です。十二ヶ月ある年は十二本の茎に、十三ヶ月ある年は十三本の茎にそれぞれ餅をつけます。同じのを二つ | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 9 | | 秋田県 | ア-47-28 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 多くの草ぶき屋根の家屋(小屋)と砂泥状の土地、脇本村の海岸 | | | | ・「脇本村海岸」(黒ペン) | 80×110 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「脇本村海岸」(黒ペン)とあり、撮影地はこれによった | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村海岸(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 10 | | 秋田県 | ア-47-26 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 馬に荷をつけ跨る魚売りと道脇にいる吉田三郎 | | | | ・「サカナウリ」(黒ペン)「吉田三郎君」(黒ペン) | 111×81 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・写3-7はア-47のネガでありア-47では『男鹿寒風山農民手記』関係の写真で纏められている。そのため撮影地は脇本村、撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「サカナウリ」(黒ペン)「吉田三郎君」(黒ペン)とあり、撮影地はこれによった | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 | 7 | 11 | | 秋田県 | ア-47-33 | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 吉田三郎宅と雪が残る畑 | | | | ・「吉田三郎君宅」(黒ペン) | 111×81 | ・写3-7-12の白色無地の封筒に入っていたものぁ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「秋田県南秋田郷脇本村大倉付近」とあり<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民手記』p.1大西伍一「序に代へて」(昭和十年一月八日)の「その上この原稿の挿絵の撮影かたがた君の村を見たいとのことで、澁澤子爵石黒忠篤氏其の他民俗研究者の一行八名が君の家を訪れたのは去年の九月のことでした。」とあり、これによった<br>・撮影者は『男鹿寒風山農民手記』に掲載する写真撮影等で訪れた研究者(高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文。『男鹿寒風山農民手記』写真目次掲載より)とした<br>・当該資料のネガの端に「吉田三郎君宅」(黒ペン)とあり、撮影地はこれによった | アチックミューゼアム16ミリフィルム「男鹿オシラサマアソビ他」05:22～05:28 | | | | | | | | 高橋文太郎、大西伍一、木川半之丞、村上清文 | 昭和9年(1934年)9月～(備考参照) | 寒風山麓脇本村吉田三郎宅(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 7 | 12 | | | | 秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | 封筒 | | | | × | | ・白色無地の封筒、149×98<br>・封筒記載：<br>秋田県南秋田郡(黒ペン、縦書、表面)<br>脇本村　大倉　附近(黒ペン、縦書、表面)<br>寫眞原板(黒ペン、縦書、表面)<br>お返へしの分(鉛筆、縦書、表面)<br>ヤキ6入見本(赤鉛筆、裏面)<br>原板10(赤鉛筆、裏面) | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 8 | 1 | | 新潟県 | ア-35-44<br>ア-35-45 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 囲炉裏端に座る母子の後姿 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文三面(a)」とあり<br>・本資料右側には囲炉裏が確認でき、その側に帽子、半纏を着た赤子と頭に被り物をした母親らしき人物の後姿を撮影している。母親らしき人物は、左手に棒状の道具を持っている。その右側には被り物をした人物が撮影されている<br>・ア-35-45と同一のネガフィルムであるため撮影者はアルバム35の外装記載によった | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村外装記載による | |
| 写3 | 8 | 2 | | 新潟県 | ア-35-37 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 山の神の祭りのカグラ | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文三面(a)」とあり<br>・ア-35-37と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・本資料正面に化粧をして侍の衣装を着た男性やしゃもじをもち道化に扮する男性たちなど、胃広姿の人物が撮影されている。その前には子供たちが大勢座っている。柱に貼られた紙には「アマ酒」などの文字が見える<br>・『山に生かされた日々』pp.38-39には12月12日に行なわれる山の神の祭りでカグラについて「昔は、カグラ宿ということで一年交替で村の家をまあってやっていた」との記述があるが、演劇を行なっていたかは不明である | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村外装記載による | |
| 写3 | 8 | 3 | | 新潟県 | ア-35-11 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雪の中木を担ぐ男性 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・大正月二日目の行事か<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.47によると大正月の二日目に「年男、又は他の男がクウンダエを迎えに山へ行く。クウンダエと言ふのは、小正月の團子をさす木のことで、ミズブサと言ふ名の木と、栗の木である。此の他にタラノ木、ヤドメ(葉が小圓形の、常緑亜喬木)、柴(主としてナラか栗の)を採つて來る。」とある。<br>・被写体の男性は、頭に布を被り、仕事着の格好である。下半身は「ハガマ」を着していると考えられる<br>・ア-35-11と同一のネガフィルムで三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 4 | | 新潟県 | ア-36-21 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 吊り橋 | | | | ・記載なし | 109×84 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・川の流れの上に掛かった吊り橋。吊り橋は手前の岸には2本の木材が確認できるが、その先は1本のみである。<br>・本資料右側にも川に掛けられた紐状のものが見られる<br>・ア-36-21と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 5 | | 新潟県 | ア-35-36 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 鋸を片手に持ち、木の前に立つ男性 | | | | ・記載なし | 83×107 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・雪の積もった林の中で、伐採用具を片手に持ち、木の前に立つ男性とそれを見ている男性<br>・ア-35-36と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 6 | | 新潟県 | ア-37-25 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 冬の三面の雪下ろし | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・民家の屋根近く雪が積もった中、屋根の雪を下ろしている。本資料で撮影されている人物は1名である<br>・ア-37-25と同一のネガフィルムであるため、撮影者はアルバム37の外装記載による | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 7 | | 新潟県 | ア-41-36 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾りと鴨居に掛けられた猟銃 | | | | ・記載なし | 83×107 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文三面(a)」とあり<br>・ダンゴ飾りには、リンゴなどの他に絵の描かれた紙が3枚飾られている<br>・長押には猟銃が掛けてある。ア-41-36と同一のネガフィルム<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1936年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 8 | | 新潟県 | ア-41-17 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 団子さし | | | | ・記載なし | 108×82 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・ア-41-17と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・小正月の15日に行なわれる団子さし。被写体は二人の女性で、踏み台に乗り、腰にはテゴを付けている。テゴとはワラ縄で編んだカゴで、『山に生かされた日々』p.143には小池定蔵氏の談で「テゴの縄にシボリハギまぜてやると、ずいぶん違うんだね。強くなってもちも良くなる」とある。<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によるとこの団子をさしている木は「クウンダエとも言ふ」と記されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム41のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日は | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 8 | 9 | | 新潟県 | ア−37−19<br>ア−41−28 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 龍音寺のヒャクマンベン | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・ア−37−19と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・畳敷きの部屋に集まり数珠を回している。中央には脚が湾曲したデザインの台が置かれている<br>・本資料で撮影されている被写体は着ている羽織、髪型から男性である<br>・『山に生かされた日々』p.83によると、ヒャクマンベン(百万遍)は盆の後に、お寺にジーとババ(主人と主婦)が集まって行なう事が記されている。「昔は羽織袴だったな。数珠繰るんは男だけで、鉦の音に合わせて、ナンマイダ、ナンマイダ、ナンマイダブツナンマイダと唱えながら百回まわすんさ」とあり、さらに「いまは8月21日と正月21日だども、昔は悪い病気が流行ったりするたんびにやった」との記述もあるため、1月21日に行なわれたと考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 10 | | 台湾 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 道教廟風の建物の風景 | | | | ・記載なし | 110×80 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・中国大陸の廟に類似する建物。入口のある建物の上には「恭迎聖駕」の文字が見える。建物の手前には「□□□　☆　大日本□安　一手販売謙源商店」の看板が立ててある<br>・アチックマンスリー第10号「DIARY」p.40と特輯号19「烏兎早早」p.78によると昭和11年4月に小松勝美が台湾へ出発しており、本資料も写3−17の封筒と類似すると考えられる | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)～(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 11 | | 新潟県 | ア−37−21 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾りの準備 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・ア−37−21と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・本資料はダンゴ飾りの材料ヵ。莚の上にダンゴ飾りの木、葉のついた枝、鉈が置かれている | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 12 | | 新潟県 | ア−37−20 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 掛軸のある部屋に飾られたダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 109×82 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面(a)」とあり<br>・ア−37−20と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・本資料は奥座敷に飾られたダンゴ飾りヵ。その横には「笑含霞春鶯歌」と書かれた紙が貼られている。ダンゴ飾りの下には葉のある枝が飾られている<br>・掛軸は4幅掛けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 13 | | 新潟県 | ア−41−7<br>ア−41−23 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 注連縄の張られた神棚 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　三面a」とあり<br>・ア−41−7と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・神棚の横には紙や札が張られているが、露出が強く判読不能。棚には供え物がされている。<br>・鴨居の上にはダンゴ飾りがある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 14 | | 新潟県 | ア−41−33 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 鍬下しをする三人の男の子 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−41−33のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪の残る田圃の中に3人の人物が入っている。田圃の泥を円形に掘った後その底を鋤ですくっている場面ヵ<br>・本資料は予祝行事の鍬下しヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.58によると鍬下しは3月9日に行なう事が記されている。その内容は「ホンのまじなひに田を打つ。但し此の頃は未だ雪があるので、雪の上を耕すことになる。耕すのは誰と限らない。耕した者に餅を焼いてコビリを食べさせる」との記述がある。被写体が持っている鋤の様な道具は「コシケダ」という名称の道具ヵ(・『越後三面村布部郷土誌』p.111によると「屋根の雪を下したりする時に用いる。今はシャベルを代用する」とある) | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 15 | | | ア−35−38 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 山の神の祭りのカグラ | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−35−38のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料正面に化粧をして侍の衣装を着た男性やしゃもじをもち道化に扮する男性たちなど、背広姿の人物が撮影されている。その前には子供たちが大勢座っている。柱に貼られた紙には「アマ酒」などの文字が見える<br>・『山に生かされた日々』pp.38−39には12月12日に行なわれる山の神の祭りでカグラについて「昔は、カグラ宿っていうことで一年交替で村の家をまあってやっていた」との記述があるが、演劇を行なっていたかは不明である | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村ア−35の外装記載による | |
| 写3 | 8 | 16 | | 新潟県 | ア−36−20 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | スルスを使っての脱穀作業 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−36−20のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・スルス—高さ約66cm、幅約47cm、ナラ製の台部と塩入り粘土製の上下臼部からなる。臼部の周りは竹を編んだもので固定している。回転することにより籾と玄米に分離する籾摺用の土臼(『重要有形民俗文化財指定記念誌　越後奥三面の山村生産用具図録』2008年1月　新潟県朝日村教育委員会　p.49)。<br>・作業を行なっているのは女性が3人、男性1人。中央にスルスが置かれ、その上に擂鉢状のものも見える。その足元にはムシロが敷かれ、籾殻の様なものが小山になっている。被写体の手元は、中心に据えられた石臼の様なものから出た身の丈以上の棒を持って回転させていると考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 17 | | 新潟県 | ア−35−30 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | フグデ(鏡餅) | | | | ・記載なし | 82×109 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−35−30のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・膳の上に乗せられた鏡餅。餅は円形の大きなものが二段で、その上に小さな丸餅、昆布、栗、松葉などが乗せてある。大正月のものヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.47によると布部では「フクデ(鏡餅)の上に小さな餅を三つ乗せるが、其れをタガグラと言ふ。餅の側には昆布、串柿、栗を添へる。かうした餅はエダダギ(戴き)と言ひ、皆がてんでに拝んで頂く」とあり、本資料とは異なる。『越後三面村布部郷土誌』の大正月の記述は小池牛吉氏の家の様子であるため、家ごとによって異なるヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 8 | 18 | | 新潟県 | ア-35-12 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雪の中木を担ぐ男性 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-12のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている。フィルム[ヨゴレあり<br>・ア-35-11の別カット。大正月二日目の行事ヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.48によると大正月の二日目に「年男、又は他の男がクウンダエを迎えに山へ行く。クウンダエと言ふのは、小正月の團子をさす木のことで、ミズブサと言ふ名の木と、栗の木である。此の他にタラノ木、ヤドメ(葉が小圓形の、常緑亜喬木)、柴(主としてナラか栗の)を持つて來る。」とある。<br>・被写体の男性は、頭に布を被り、仕事着の格好である。下半身は「ハガマ」を着ていると考えられる。男性の背後にもう一人の人物が撮影されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム36のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 19 | | 新潟県 | ア-36-28 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾りと神棚 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-28のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている。フィルム[ヨゴレあり<br>・本資料は神棚に供えられたダンゴ飾りヵ。これには鯛型のガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53)が飾られている。神棚の右に貼られた紙には、絵と文字が書かれているが詳細不明<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム36のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 20 | | 新潟県 | ア-37-17 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 歳徳神の膳 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-37-17のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている。ヨゴレあり<br>・本資料は板敷きの上に畳が敷かれた上に置かれた膳を撮影したもの。膳の上には蓋付きの碗2つ、供物の入った椀3つの計5つがある。碗の間に置かれているものは箸ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 21 | | 新潟県 | ア-37-19 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 龍音寺のヒャクマンベンでの数珠繰り | | | | ・記載なし | 83×109 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-37-19のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・畳敷きの部屋に集まり数珠を回している。中央には脚が湾曲したデザインの台が置かれている<br>・本資料で撮影されている被写体は着ている服装、髪型から男性である<br>・『山に生かされた日々』p.83によると、ヒャクマンベン(百万遍)は盆の後に、お寺にジーとババ(主人と主婦)が集まって行なう事が記されている。「昔は羽織袴だったな。数珠繰るんは男だけで、鉦の音に合わせて、ナンマイダ、ナンマイダ、ナンマイダブツナンマイダと唱えながら百回まわすんさ」とあり、さらに「いまは8月21日と正月21日だども、昔は悪い病気が流行ったりするたんびにやった」との記述もあるため、1月21日に | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 22 | | 新潟県 | ア-36-40 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | ケモノ(獣)の解体 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-40のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料はケモノ(獣)を解体している場面。刃物を持ち解体している人物は胡坐をかき皮を剥いでいる。男性の足元はミノヵ<br>・足元にミノを広げる事については『越後三面山人記』p.38にも記載されているが、解体の作法として行なうかは不明 | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 23 | | 新潟県 | ア-41-22 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雄岸する川舟に乗る三人の男性 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-40のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪の残る三面川に浮かぶ川舟。舟には3人の人物が乗っており、本資料手前に写っている人物は竿を川に立てている<br>・アルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 24 | | 新潟県 | ア-37-15 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 歳徳神の供え物 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-37-15のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・膳の上に一汁一菜があり、さらに12個の団子に串を刺したものが並べてある。<br>・『山に生かされた日々』p.43掲載の写真「歳徳神(正月の神様)」に同様のものが掲載されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 25 | | 新潟県 | ア-41-18 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | ススハキオトコ | | | | ・記載なし | 108×83 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-18のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪に立てられた正月の松、ススハキオトコ。ススハキオトコは広がってしまっている。奥の民家には雪囲いがされている。ア-37-12と同じものヵ<br>・『山に生かされた日々』pp.40-41には類似する写真が掲載され、「松飾りの松を山から採ってくるのは、二十六日ごろからだな。松は五葉松だな。そって村はずれに置いておくんだども。置く所は、上(かみ)の方からとってくれば上に、下(しも)の方からとってくれば下に置くな。(中略)それを家に持ってくるのが三十日(大炊介家の一族は二十八日)。松迎えっていうんさ。そって、家の中さすぐいれないで、入口の所に立ててあるススハキ男と柴箒のところに置いておくんさ。」また、ススハキ男とは、 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 26 | | 新潟県 | ア-41-48 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | ススハキオトコと三本の木 | | | | ・記載なし | 108×83 | ・"写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-48のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・民家の軒先に立てられた松とススハキオトコ<br>・『山に生かされた日々』pp.40-41には類似する写真が掲載され、「松飾りの松を山から採ってくるのは、二十六日ごろからだな。松は五葉松だな。そって村はずれに置いておくんだども。置く所は、上(かみ)の方からとってくれば上に、下(しも)の方からとってくれば下に置くな。(中略)それを家に持ってくるのが三十日(大炊介家の一族は二十八日)。松迎えっていうんさ。そって、家の中さすぐいれないで、入口の所に立ててあるススハキ男と柴箒のところに置いておくんさ。」また、ススハキ男とは、ワラで作ったススハキ箒の事で、12月27日の大掃除の時に用いるとも記されている。そして30日には「松迎え」を行なうとされている | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 8 | 27 | 新潟県 | ア−39−19 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 三面村の正月の鏡餅(フクデ) | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−39−19のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・膳の上に乗せられた鏡餅。餅は円形の大きなものが二段で、その上に小さな丸餅、昆布、栗、松葉などが乗せてある。大正月のものヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.47によると布部では「フクデ(鏡餅)の上に小さな餅を三つ乗せるが、其れをタガグラと言ふ。餅の側には昆布、串柿、栗を添へる。かうした餅はエダダギ(戴き)と言ひ、皆がてんでに拝んで頂く」とあり、本資料とは異なる<br>・ア−35−29の資料と同一のため、村上清文氏撮影のものとも考えられる<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア−35−29の資料と同一であることから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 28 | 新潟県 | 写1−12−15 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月の飾り | | | | ・記載なし | 110×83 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・写1−12−15のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は小正月のダンゴ飾りを撮影したもの。木には鯛の飾りの他、紙風船が吊るされている<br>・写真中に「：：拾二月☆」と書かれた「十ニグヮヅ」と呼ばれるものが見える(『越後三面村布部郷土誌』pp.53−54参照)。ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52−53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ—藁のミゴ—に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラ | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面台紙記載 | |
| 写3 | 8 | 29 | 新潟県 | ア−41−27 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 棒に掛けられたホネだけの笠 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−41−27のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・笠のホネは、ホネとの間に棒を入れて吊るされている。円形の中央部にダンゴ状のものがあり、固定されている。その横には羽子板の羽に類似するものが撮影されている<br>・『山に生かされた日々』p.143によると「カサ・輪はウワミズザクラ、骨はタケ、スゲを糸で縫ってはっていく」とあり、p.32には笠づくりは「男の仕事」との旨が書かれている<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.96−97によると、スゲ笠は「サンジョガサ」と称され、「主に男が用いる。臺はシハンの外に藤づるのワッカ(瓊)を付けることもある」とされる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 30 | 新潟県 | ア−41−20 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | ススハキオトコの前に立つ男女 | | | | ・記載なし | 82×107 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−41−20のネガフィルム。フィルムの右端余白にドフィティングテープが貼られている<br>・ススハキオトコの前に立つ2人の人物。一人は坊主頭の男で半纏を着て、ワラグツをはいている。ア−37−24と同一人物ヵ。もう一人は女性で、頭に被り物をしている<br>・『山に生かされた日々』pp.40−41には類似する写真が掲載され、「松飾りの松を山から採ってくるのは、二十六日ごろからだな。松は五葉松だな。そっで村はずれに置いておくんだども。置く所は、上(かみ)の方からとってくれば上に、下(しも)の方からとってくれば下に置くな。(中略)それを家に持ってくるのが三十日(大炊介家の一族は二十八日)。松迎えっていうんさ。そっで、家の中さすぐいれないで、入口の所に立ててあ | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 31 | 新潟県 | ア−36−40 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 藁の飾り物 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−36−4のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は藁で作られた飾り物。正月の飾りヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 32 | 新潟県 | ア−35−26 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−35−26のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・刺された団子やマエダマ、ガラガラヘンベ、文字が書かれた札も下げられている<br>・「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52−53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ—藁のミゴ—に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 33 | 新潟県 | 関連なし | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 正月の床の間 | | | | ・記載なし | 83×110 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>床の間に供えられた膳。膳の上には12個の団子の上に小枝が刺されている。その左右に「：：拾二月☆」と書かれた「十ニグヮヅ」と呼ばれるものが見える(『越後三面村布部郷土誌』pp.53−54参照)。<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者、撮影地はこれによった<br>・ | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 34 | 新潟県 | ア−35−16 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雪景色 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−35−16のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪の積もった山の中を撮影したものヵ | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 35 | 新潟県 | ア−35−27 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾りと子供 | | | | ・記載なし | 109×84 | ・写3−8−60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア−35−27のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は掛軸が掛けられた部屋にダンゴ飾りが置かれ、その前に子供が立っている。このダンゴ飾りには団子の他に鯛型のガラガラヘンベが飾られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 8 36 | 新潟県 | ア－35－13 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 小正月の神棚 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－35－13のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・藁のシメ飾りが掛けられた神棚。『越後三面村布部郷土誌』p.47に「大正月にはシメを張らない」とあり、マエダマが飾られているために小正月と考えた<br>・神棚の前にガラス窓がつけられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 37 | 新潟県 | ア－41－41 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 注連縄とダンゴ飾りがされた神棚 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－41－41のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・部屋の隅に掛けられた神棚。その奥にも札が貼られた板が祀られている。注連縄は神棚の上と下に貼られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア－41－3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 38 | 新潟県 | ア－35－14<br>ア－35－33 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 大正月のオメァの柱 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－35－14、ア－35－33のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は神棚近くの柱に、松が飾られているため、この柱が「オメァの柱」と考えた。柱には札が貼られている<br>・神棚には膳が置かれている<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.45に「正月の松をオマツサマ」と言ひ、大きいのを二本（四本、又は七本の家もある）、オメァの柱に飾る」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 39 | 新潟県 | ア－35－14<br>ア－35－33 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 大正月のオメァの柱 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－35－14、ア－35－33のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は神棚近くの柱に、松が飾られているため、この柱が「オメァの柱」と考えた。柱には札が貼られている<br>・神棚には膳が置かれている<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.45に「正月の松をオマツサマ」と言ひ、大きいのを二本（四本、又は七本の家もある）、オメァの柱に飾る」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 40 | 新潟県 | ア－41－14 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 松の飾られた神棚 | | | | ・記載なし | 108×83 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－41－14のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・神棚の横には「歳徳大善神」と書かれた紙が張られ、その横には汚れた四角い紙が貼られている。それらの前には供え物がある<br>・ア－41－7の神棚を下方向から見た図<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア－41－3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 41 | 新潟県 | ア－35－5 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 雪の上に並べられたスゲ笠 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－37－5のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪の上に20枚以上のスゲ笠が並べられている。雪さらしヵ<br>・『山に生かされた日々』p.143によると「カサ・輪はウワミズザクラ、骨はタケ、スゲを糸で縫ってはっていく」とあり、p.32には笠づくりは「男の仕事」との旨が書かれている<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.96－97によると、本資料と同型の笠は「サンジョガサ」と称され、「主に男が用いる。臺はシハンの外に藤づるのワッカ（瓊）を付けることもある」とされる<br>ア－37の外装記載に「村上清文氏撮影」とあり、降雪時の三面村を撮影できたのは昭和9年からの村上清文の調査と考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村外装記載による | |
| 写3 8 42 | 新潟県 | ア－41－38 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 小正月のダンゴ飾りを取り付けている人々 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－41－38のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料はア－41－17と同じ部屋で行なわれているダンゴさし。<br>・踏み台と梯子に上った女性二人が木にダンゴをさしている<br>・三面における一月の行事の準備を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア－41－3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった、因みに正月の準備では29日（9が苦に通じることから）、31日（一夜飾りを忌む）を一般的に嫌うことから便宜上撮影日を28日までとした | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 43 | 新潟県 | | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 子供の冬装束 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・子供を並べて冬装束を撮影したもの。ワラクツを履き、頭巾を被っている子などが被写体となっている<br>・フカグヅ—冬に於ける常の履物である。藁製（『越後三面村布部郷土誌』p93）<br>・ワラグヅ—スリッパーのやうになつて居る。昔は年始廻り等にはよく此れを用ひたそうである（『越後三面村布部郷土誌』p93）<br>・ア－36－16と撮影状況が類似しているため、村上清文による三面村調査と推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 8 44 | 新潟県 | ア－35－6 | 村上清文（青ペン、縦書、表面、右側）<br>三面（a）（青ペン、縦書、表面、中央） | 小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 109×82 | ・写3－8－60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア－35－6のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・刺された団子やマエダマ、ガラガラヘンベ、文字が書かれた札も下げられている<br>・「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52－53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。（中略）此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー（藁に餅を巻きつけたもの）、マエダマ（ノエゴ—藁のミゴ—に小さな餅切れを點々と付けたもの）、ガラガラヘンベ（大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅）や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 8 | 45 | | 新潟県 | ア-36-25 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 囲炉裏端に座る家族 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-25のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・囲炉裏端に座り暖をとる三面村の家族。囲炉裏の空いている側に座布団が置いてあるため、村上清文の席ヵ。急須と茶筒、湯飲みが盆に入れられている<br>・囲炉裏端にいるのは、家の主人と考えられる男性1人、その息子夫婦と思われる男女と子供が1人である。男性の背後には小正月のクヮンダエやが見える。囲炉裏には自在鉤で鍋がかけられ、その横には火箸と灰カキヵ<br>・囲炉裏の四辺の名称は、丹田二郎によると「ヨゴザ　主人席。アニャザシギ　客席。又、アニャ(息子)の席。ババザシギ　婆(主人の妻)の席。カガザシキ　アネ(アニャの妻)の席。(『越後三面村布部郷土誌』pp.82– | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 46 | | 新潟県 | ア-36-5 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月のダンゴ飾り、ガラガラヘンベ | | | | ・記載なし | 109×83 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-5のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は掛軸が掛けられた部屋にダンゴ飾り(餅花、繭玉)が置かれている。その枝には団子の他に鯛型のガラガラヘンベが飾られている。「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ―藁のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 47 | | 新潟県 | ア-35-8 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 大正月の松飾り | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-8のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・多くの掛軸が掛軸が掛けられた上に松が飾られている<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.45-46によると「正月の松をオマツサマと言ひ、大きいのを二本(四本、又は七本の家もある)、オメァの柱に飾る。(中略)大神宮様(神棚)の前方の松の傍に、天照皇大神、春日大明神、古峯神社等のカゲヂ(掛圖)を掛け」とある。<br>・本資料には計7幅の掛軸が掛けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 48 | | 新潟県 | ア-35-17 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雪山装束の男性 | | | | ・記載なし | 84×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-17のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪山の中に立つ装束の男性。足元に袋状のものが置かれている。男性は手拭の上に帽子、背中にミノをつけ、コバカマ、足元にはカンジキを付けている<br>・『山の人達』p.54によると「如何なる時にも眼と耳は出しておく事になり居れり。」との記述があるため、狩猟の際の装束ではないと考える<br>・丸木舟づくりの際に山に入るための装束ヵ<br>・アルバム35の外装記載から村上清文による三面調査と推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 49 | | 新潟県 | ア-36-30 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 正月の松(オマツサマ) | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-30のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・掛軸が掛軸が掛けられた上に松が飾られている部屋。松の後ろには鋸が見える<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.45-46によると「正月の松をオマツサマと言ひ、大きいのを二本(四本、又は七本の家もある)、オメァの柱に飾る。(中略)大神宮様(神棚)の前方の松の傍に、天照皇大神、春日大明神、古峯神社等のカゲヂ(掛圖)を掛け」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム36のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 50 | | 新潟県 | ア-36-22 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | スルスを使っての脱穀作業、箕 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-36-22のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・スルス―高さ約66cm、幅約47cm、ナラ製の台部と塩入り粘土製の上下臼部からなる。臼部の周りは竹を編んだもので固定している。回転することにより籾と玄米に分離する籾摺用の土臼(『重要有形民俗文化財指定記念誌　越後奥三面の山村生産用具図録』2008年1月　新潟県朝日村教育委員会　p.49)。<br>・作業を行なっているのは女性が3人、男性1人。中央にスルスが置かれ、さらに擂鉢状のものも見える。その足元には籾殻の様なものが小山になっている。被写体の手元は、中心に据えられた石臼の様なものから出た身の丈以上の棒を持って回転させていると考えられる<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 51 | | 新潟県 | 写1-12-16 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 神棚と小正月の飾り | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・写1-12-16のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・本資料は神棚に供えられたダンゴ飾りヵ。これには鯛型のガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53)が飾られている<br>・神棚の右に貼られた紙には、絵と文字が書かれているが詳細不明<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県・山形県(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 52 | | 新潟県 | ア-41-43 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 雪の上にあるひも状のもの | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-43のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>雪の上に落ちているひも状の繊維のようなもの。材質や意図的におかれたものかなど詳細不明<br>・アルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 53 | | 新潟県 | ア-41-21 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 踊りを踊る二人の女の子 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-21のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・右手を高く上げ踊る女の子二人。二人とも派手な柄の着物を着、額には冠を被ってる。村芝居ヵ<br>・アルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 8 | 54 | | 新潟県 | ア-41-13 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 川舟に乗る三人の男性 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-13のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・雪の残る三面川に浮かぶ川舟。3人の男性が乗り、一人は竿をさしている、丸木舟ヵ<br>・アルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 55 | | 新潟県 | ア-35-35 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 炭焼き小屋 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-35のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・茅葺きの小屋と仕事着の人物1名。小屋の入口前には均等に切られた薪が積まれている。柴と椎の木ヵ<br>・『越後三面山人記』p.121(『山に生かされた日々』pp.138-139)によると「雪の重みに耐えられるようにサスは木の湾曲を利用して屋根がドーム型になるようにし、ヤスメという梁を渡して補強している。小屋は四畳半から六畳ほどの広さで、中央に炉が切ってある。地面の湿気を嫌って丸太を敷いた上に床を張ってある。この小屋には釘は一本も使われていない。全ての結束はブドウ蔓とネジリ柴という柔らかい柴によっている。」とあり、本資料では内部の様子までは見えない<br>アルバム35の外装記載から村上清文による三面村での調査と推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 56 | | 新潟県 | ア-41-40 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 神棚とダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-41-40のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・神棚に飾られたダンゴ飾り。部屋の隅に据えられた棚には、社、供え物などが置かれている。その両脇にはダンゴ飾りがある。これにはワラを二つ繋いだものが掛けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 57 | | 新潟県 | ア-35-43 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 小正月の神棚 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-43のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・神棚にはシメ縄が張られ、中央の社の前には団子をさした木がある。<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.52によると「ダエジグ様の前の方の柱にはミズプサの木で、大きなのを十六と、小さいのを澤山さす。大きいのは十六ダンゴ、小さいのはハナダンゴ」とあるが、本資料では16以上の団子が刺されている。本資料右側に写るのはクヮンダエの団子ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 58 | | 新潟県 | ア-36-34 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | フグデ(鏡餅) | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・被写体に対するブレからア-36-34のネガフィルムと推定。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・膳の上に乗せられた鏡餅。餅は円形の大きなものが二段で、その上に小さな丸餅、昆布、栗、松葉などが乗せてある。大正月のものヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.47によると布部では「フクデ(鏡餅)の上に小さな餅を三つ乗せるが、其れをタガグラと言ふ。餅の側には昆布、串柿、栗を添へる。かうした餅はエダダギ(戴き)と言ひ、皆がてんでに拝んで頂く」とあり、本資料とは異なる。『越後三面村布部郷土誌』の大正月の記述は小池牛吉氏の家の様子であるため、家ごとによって異なるヵ<br>・本資料の大きな餅の上には小さな餅と、半分に切った丸餅らしきものが乗せてある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 59 | | 新潟県 | ア-35-29 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | フグデ(鏡餅) | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-8-60の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードなし。<br>・ア-35-29のネガフィルム。フィルムの余白にドフィティングテープが貼られている<br>・膳の上に乗せられた鏡餅。餅は円形の大きなものが二段で、その上に小さな丸餅、昆布、栗、松葉などが乗せてある。大正月のものヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.47によると布部では「フクデ(鏡餅)の上に小さな餅を三つ乗せるが、其れをタガグラと言ふ。餅の側には昆布、串柿、栗を添へる。かうした餅はエダダギ(戴き)と言ひ、皆がてんでに拝んで頂く」とあり、本資料とは異なる。『越後三面村布部郷土誌』の大正月の記述は小池牛吉氏の家の様子であるため、家ごとによって異なるヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 8 | 60 | | | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>三面(a)(青ペン、縦書、表面、中央) | 封筒 | | | | × | | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒、170×120<br>・封筒の表面に青ペンの縦書きで「村上清文」「三面(a)」と記されている | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 9 | 1 | | 新潟県 | 写3-17-9<br>写3-15-1 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 小国町の囃子台(側面)と囃子台の一階に乗る子供たち | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・山車の下階に子供が乗っている。髪型から女の子4人、男の子2人である。柱近くにいる女の子3人の格好は普段着のようである。飾り物は笠を被り、杖を担いだ人形で、その横には笹らしきものが見える。<br>・『村上市史』p.240によると「飾り物　中国の二十四孝の孟宗、寛政六年(1794)に京都で出来たものであり、金襴の衣服を着せ、蓑笠をつけ鍬をかたねる」とあり、本資料の飾り物の人形と類似する。さらにこの記述から本資料の脇にある笹の様なものは竹であり、筍を掘る場面に近付けていると考えられる<br>・写3-17-9と同じ構図で撮影されているが、子供たちの位置や表情が異なっている | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 2 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 肴町の囃子台(後方部から撮影) | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・山車を後部から撮影したもの。山車の1階部分には子供が乗り、2階部分には人形と「恵」の法被を着た人物が2人、その陰に笛を吹く男性が1人<br>・『村上市史』p.237によると肴町では「飾り物　大鯛にまたがった恵比寿像に、釣り竿の代わりに葉つきの竹を肩にしている。大きな像のために特別飾り台は設けないで、二階そのものを飾り台に見立てている」との記述があり、人形が釣竿らしきものを持っているため、肴町のものであると考えた<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影された | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 9 | 3 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 肴町の囃子台(左下から撮影) | | | | ・記載なし | 83×111 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・山車の左下から撮影したもの。山車の2階部分には魚の上に乗る人形。その背後に法被を着た人物が立つ<br>・『村上市史』p.237によると肴町では「飾り物　大鯛にまたがった恵比寿像に、釣り竿の代わりに葉つきの竹を肩にしている。大きな像のために特別飾り台は設けないで、二階そのものを飾り台に見立てている。」との記述があり、人形が釣竿らしきものを持っているため、肴町のものであると考えた<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞 | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 4 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 新潟県下傷兵大会の会場 | | | | ・記載なし | 82×107 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・ネガフィルム<br>・会場の立て看板には「歓迎　縣下傷兵大会　村上新聞社」とある。村上新聞社は新潟県の地域新聞と考えられ、新潟で撮影されたものであると推定した。<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 5 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 安良町の囃子台(右側面) | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・二段構造の山車。二階部分に飾られた松が撮影されている<br>・『村上市史』p.248によると、「二階　上の台輪と平桁の間に波の彫刻をはめ込む。擬宝珠柱は四角で海老曲がり、透かしを入れ、四隅と中央に二本立てる。 飾り物　住吉神社の景を、青松一本で表現している。」とあり、2段目の宝珠柱の反り具合、飾り物で松を入れていることから安良町の囃子台と考えられる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 6 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 安良町の囃子台(右下から) | | | | ・記載なし | 82×107 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・二段構造の山車。二階部分に飾られた松が撮影されている<br>・『村上市史』p.248によると、「二階　上の台輪と平桁の間に波の彫刻をはめ込む。擬宝珠柱は四角で海老曲がり、透かしを入れ、四隅と中央に二本立てる。 飾り物　住吉神社の景を、青松一本で表現している。」とあり、2段目の宝珠柱の反り具合、飾り物で松を入れていることから安良町の囃子台と考えられる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 7 | | 新潟県 | 写3-30-63 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 囃子台の二階部分 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・本資料の右半分は感光しており、見えない。囃子台を撮影しているが、飾り物はない。<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 8 | | 新潟県 | 写3-30-36 | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 安良町の囃子台(左したから) | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・二段構造の山車。街の建物との対比から、2階相当の高さがあると考えられる<br>・『村上市史』p.248によると、「二階　上の台輪と平桁の間に波の彫刻をはめ込む。擬宝珠柱は四角で海老曲がり、透かしを入れ、四隅と中央に二本立てる。 飾り物　住吉神社の景を、青松一本で表現している。」とあり、2段目の宝珠柱の反り具合、飾り物で松を入れていることから安良町の囃子台と考えられる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 9 | | 新潟県 | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 村上町の囃子台(2階部分) | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-9-10の茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「村上清文　村上町にて」とあり<br>・法被を着た男性が人形の近くに立っている。屋根が電線の近くにあることから山車の様な構造と考えられる<br>・本資料は『村上市史』p.230-238に記載された「肴町しゃぎり」と考えられる。同書p.237によると「櫓造りの車体に下の台輪を置き、四隅は若葉の彫刻。(中略)飾り物　大鯛にまたがった恵比寿像に、釣り竿のわりに葉つきの竹を肩にしている。大きな像のために特別飾り台は設けないで、二階そのものを飾り台に見立てている。屋根　日覆は切妻(以下略)」との記述があり、掲載されている写真とも類似している<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞 | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 9 | 10 | | | | 村上清文(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上町にて(青ペン、縦書、表面、右側)<br>不明分(青ペン、縦書、表面、中央) | 封筒 | | | | × | | 茶色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒、166×120<br>・封筒の表面には青ペンの縦書きで「村上清文」「村上町にて」「不明分」と書かれている<br>・封筒の裏面である写3-9-10Bには「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷されている | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 10 | 1 | | 三重県 | ア-28-16 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 日本の国旗を斜め十字にされた鳥居の奥でたくさんの鮹のなます を奉納された大島の祠(大島さん、和具大島) | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、櫻田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の濱は埋まるばかりの人出である。此の祭は一名水かけ祭と言はれ通りがゝりの旅人なども水を浴せられて迷惑したものだといふが今年から厳禁された為、その被害を免れた。大島での行事は先づ大島さん(祠あり)に鮹のなます(海女が潜遠で潜り取ったもので禰宜の収入となる)を上げ、余興に海女の競潜・競泳あり、その動作振舞の逞ましさ荒々しさはたゝ驚嘆するのみである。」とあり、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 10 | 2 | | | ア-28-8 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | ヂンヂン祭りにて、幟を立てた船の前での漁師や海女たちの集合写真 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける(中略)大島での行事は先づ大島さん(祠あり)に飽のなます(海女が潜邊で潜り取つたもので禰宜の収入になる)を上げ、余興に海女の競漕競泳あり、その動作振舞の逞しさ荒々しさはたゞ驚嘆するのみである。」とあり、中央に海女達が見えることからその際に撮られたものヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 3 | | | ア-28-2 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 志州和具村絵図 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・和具村周辺の絵図面の接写、ア-28-2と上下組、近世期のものヵ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)二日(中略)帰途村役場を訪ふ村長御不在、岩城助役我等の調査に多大の好意を寄せられ、色々の希望を悉く許諾せらる。山口倉庫より古文書多数発見」とあり、また「五日(中略)山口古文書整理」とあり、撮影地、撮影日はこれによった | | | | | | | | 山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月5日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)村役場(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 4 | | | ア-28-3 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 志州和具村絵図 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・和具村周辺の絵図面の接写、ア-28-2と上下組、近世期のものヵ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)二日(中略)帰途村役場を訪ふ村長御不在、岩城助役我等の調査に多大の好意を寄せられ、色々の希望を悉く許諾せらる。山口倉庫より古文書多数発見」とあり、また「五日(中略)山口古文書整理」とあり、撮影者、撮影地、撮影日はこれによった | | | | | | | | 山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月5日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)村役場(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 5 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 素肌にソデナシを着て洋傘を持ちカグラサンの前に立つ男性の老人 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月12日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 6 | | | ア-28-14 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 黒板壁の家屋 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・撮影地はア-28-14の外装記載による<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | | 志摩(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 7 | | | ア-28-7 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | ヂンヂン祭りにて、大島の祠に座る禰宜 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける(中略)大島での行事は先づ大島さん(祠あり)に飽のなます(海女が潜邊で潜り取つたもので禰宜の収入になる)を上げ、余興に海女の競漕競泳あり、その動作振舞の逞しさ荒々しさはたゞ驚嘆するのみである。」とあり、中央に海女達が見えることからその際に撮られたものヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 8 | | | ア-28-6 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | ヂンヂン祭りで集まった人々 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける(中略)大島での行事は先づ大島さん(祠あり)に飽のなます(海女が潜邊で潜り取つたもので禰宜の収入になる)を上げ、余興に海女の競漕競泳あり、その動作振舞の逞しさ荒々しさはたゞ驚嘆するのみである。」とあり、中央に海女達が見えることからその際に撮られたものヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 9 | | | ア-28-12 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 地固めのため櫓を組んだ胴突きを引く人々 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・撮影地はア-28-12の外装記載による<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | | 志摩(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 10 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 白い碇着や長着などがかけられ、籠や盥などが置かれた室内の様子、海女小屋内部ヵ | | | | ・記載なし | 108×82 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月12日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 10 | 11 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | アラミ(アラメ)の口開けで浜に広げられたアラミとアラミ干し作業をする人々 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)十一日　晴　本日あらみの口あけ、老若男女炎天下に入亂れて立働く、濱は忽ちあらみで被はれてア ふ、夜は南風でその香が噎るばかり。」とあり、撮影地、撮影日はこれによる<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | 岩倉市郎「志州和具村生活歴」『学報　V』日本民族学会昭和12年(1937)p2「2　あらめ口あけの日(海面に点々と浮かぶは海女の磯桶)」 | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月11日～(備考参照) | 志摩郡和具村和具(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 12 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 竹内久三郎船「久吉丸」の船絵馬 | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・絵馬の右肩に「当村竹内久三郎船　船長久三御仰五人口」とあり額には「竹内氏」と年号があると考えられるが判別不能<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月12日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 13 | | | ア-28-4 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 和具の浜より出船する船団 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける」とありその際に撮られたものか、撮影者、撮影日はこれによる<br>・遠景に和具大島、小島が見えることから撮影地はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 14 | | | ア-28-15 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | ヂンヂン祭り集まった人々、万国旗、カグラサン | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の濱は埋まるばかりの人出である。」とあり、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 15 | | | ア-28-19 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 大島(和具大島)に渡る船と浜にいる子供たち | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の濱は埋まるばかりの人出である。」とあり、ヂンヂン祭りの為大島に渡る様子ヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 16 | | | ア-28-13 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | オショージで水垢離をした男たち | | | | ・記載なし | 80×110 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)六日　晴(中略)夕方濱にて年中行事オショージあり、富士浅間詣をした者十人許り波打際に飛込んで垢離を取るを、子供等大勢集つて薬盖を焚いて接待する、その煙を被ると、子供はまめ息災になるといふ」とあり、向かって左の男性が袈裟懸けに数珠を、また男性達全員が下着姿であることから、その際に撮られたものヵ、撮影地、撮影日はこれによる<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月6日～(備考参照) | 志摩郡和具村和具(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 17 | | | ア-28-5 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 和具の浜より和具大島沖に集まる船団 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける」とありその際に撮られたものヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 18 | | | ア-28-11 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 船上より見る大島(和具大島) | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の濱は埋まるばかりの人出である。」とあり、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 19 | | | ア-28-10 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 船上から見る漁船と筒状のものを積んだ船 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日ヂンヂン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の濱は埋まるばかりの人出である。」とあり、大島に船で渡る際に撮られたものヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる<br>・筒状のものについては詳細不明、曳航されているヵ | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 10 | 20 | | | ア-28-9 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 船上から見る養殖用のイカダと船 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日デンデン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の演は埋まるばかりの人出である。」とあり、大島に船で渡る際に撮られたものか、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 21 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 網主「當村子寿男」の「明治十六年未六月」奉納の船絵馬 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・絵馬の左肩に「明治十六年未六月」、左下に「當村子寿男」のとあり<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月12日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 22 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 水路に置かれた舟 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・水路はほとんど水がない状態、舟上に櫓と竿が乗っている<br>・写3-10のまとまりから昭和12年7月2日～12日の和具調査の写真と考えられ、撮影地と撮影年月日はこれによった<br>・撮影者はこの調査参加者の、岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄のいずれかヵ | | | | | | | | 岩倉市郎、小川徹、樫田勝徳、宮本馨太郎、山口和雄 | 昭和12年(1937年)7月2日～昭和12年(1937年)7月12日(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 23 | | | ア-28-18 | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 浜より船を出す白い襦袢を着た人々 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・"写3-10-24の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「岩倉　キヤイ　去□□？」とあり<br>・ネガ<br>・岩倉市郎「志州和具村探訪日記」『アチックマンスリーNO.26』(p.1)に「(7月)八日　快晴　今日デンデン祭、早朝より花火を打上げ、大小無数の漁船は取々の幟を立てゝ大島へ渡る、樫田岩倉見学に出かける、山口は調査整理の為残留、島の演は埋まるばかりの人出である。」とあり、デンデン祭りの為大島に渡る様子ヵ、撮影者、撮影地、撮影日はこれによる | | | | | | | | 桜田勝徳、岩倉市郎 | 昭和12年(1937年)7月8日～(備考参照) | 志摩郡和具村(現志摩市志摩町和具)、志摩郡和具村和具大島(現志摩市志摩町和具)(備考参照) | |
| 写3 | 10 | 24 | | | | 岩倉、(青ペン、縦書、表面、右側)<br>キカイ、(青ペン、縦書、表面、中央)<br>去■■■(青ペン、縦書、表面、中央) | 封筒 | | | | × | | ・「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒、170×122 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 11 | 1 | | 東京 | 河1-7-16 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | ホットンボー(御末社)とオンテグラ(御弊) | | | | ・記載なし | 69×118 | ・"写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-16と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島本村大三山大三王子神社(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 2 | | 東京 | 河1-40-7 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 庭にある唐臼 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・"写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-40-7と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第九圖「カラ臼」 | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月17日～(備考参照) | 東京都新島本村本村新町宮川藤左衛門氏宅庭(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 3 | | 東京 | 河1-7-8 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 豚の積み出しのため前浜に集まった人々と寵に入った豚 | | | | ・記載なし | 69×114 | ・"写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-8と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所『屋根裏の博物館　―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年p73「2豚の積み出し　神奈川大学日本常民文化研究所　寵に入れた豚を浜で量っているところ。豚は入札により東京、静岡方面へ買われていったという。沖の船は豚積船。新島本村前浜にて。」 | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島本村本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 4 | | 東京 | ア-15-39 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 網干場と網納屋 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・"写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの"<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-39と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 11 | 5 | | 東京 | ア-15-17 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 豚を船に乗せるため浜に集まる人々 | | | | ・記載なし | 69×119 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-17と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 6 | | 東京 | 河1-7-1、写3-21-1 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 前浜にあるハマンモリ(浜ノ森)、風除の砂丘、竹垣 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-1と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 東京都新島村本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 7 | | 東京 | 河1-40-2 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 新島本村前浜遠景と抗火石を積んだ石積船と豚積船 | | | | ・記載なし | 70×117 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-40-2と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二圖「本村前濱」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島村本村大三王子神社入口(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 8 | | 東京 | 河1-40-3 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 新島本村大三山から望む地内島 | | | | ・記載なし | 69×116 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-40-3と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第三圖「地内島」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島村本村大三山々麓(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 9 | | 東京 | ア-15-33 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | カワカミサマ(川神様)の池 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-33と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村平山(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 10 | | 東京 | ア-15-32 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | カワカミサマ(川神様) | | | | ・記載なし | 69×113 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-32と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村平山(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 11 | | 東京 | ア-15-19ア-15-24、河1-7-17 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 糸車で糸を紡ぐ女性 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-17と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 12 | | 東京 | ア-15-16 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 枯れ草取りから帰る女性 | | | | ・記載なし | 114×69 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-16と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 新島本村新町(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 13 | | 東京 | 河1-7-7 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 曼状の植物を頭に捧いで山から帰る女性(全身、背面) | | | | ・記載なし | 118×69 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-7と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島村本村新町(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 11 | 14 | | 東京 | ア-15-24 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 糸車で糸を紡ぐ女性 | | | | ・記載なし | 115×69 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-24と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 15 | | 東京 | ア-15-11 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 糸車 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-11と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 16 | | 東京 | ア-15-19 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 糸車で糸を紡ぐ女性 | | | | ・記載なし | 69×116 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-19と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 17 | | 東京 | ア-15-12 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 糸車 | | | | ・記載なし | 69×117 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-12と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 18 | | 東京 | ア-15-5 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 井戸、車井戸 | | | | ・記載なし | 118×69 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-5と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月17日～(備考参照) | 新島本村新町宮川藤左衛門氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 19 | | 東京 | 河1-40-15 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 浜の砂丘で防風を摘んでいる子供達 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-40-15と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二十四圖「防風を摘む子供達」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日～(備考参照) | 東京都新島村本村新町(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 20 | | 東京 | 河1-40-6 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 屋敷、大家(右側)とカマヤカタ(釜館、左側)、ナエバ(苗場) | | | | ・記載なし | 69×116 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-40-6と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第八圖「民家」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月17日～(備考参照) | 東京都新島村本村新町(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 21 | | 東京 | 河1-7-2 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 羽伏浦 | | | | ・記載なし | 69×113 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・河1-7-2と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 東京都新島村本村羽伏浦(備考参照) | |
| 写3 | 11 | 22 | | 東京 | ア-15-7 | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | 立木から水をとるための壺 | | | | ・記載なし | 121×69 | ・写3-11-23の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたもの<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「藤木　□□」とあり<br>・ア-15-7と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 新島本村羽伏(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 11 | 23 | | | | 藤木君分(青ペン、縦書、表面、右側) | | | | | × | | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒、172×122 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 1 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | アチックミューゼアムの台所に座る市川信次 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「アチクノ台所ト市川ヒソトラー」より | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | アチックミューゼアム(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 2 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 祭魚洞文庫内の様子 | | | | ・記載なし | 91×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同状況の写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「祭魚洞文庫ノ一部」より | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | アチックミューゼアム祭魚洞文庫(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 3 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 祭魚洞文庫内の様子、机上『辞苑』の上のチューリップと花器 | | | | ・記載なし | 91×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「祭魚洞文庫ノ一部」より | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | アチックミューゼアム祭魚洞文庫(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 4 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 芝区二ノ橋付近、古川(渋谷川)、入間川(いりあいがわ)、川岸の家々 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「芝区二ノ橋附近」より<br>・写3-12-6撮影と同場所(おそらく橋の上)よりパーンして撮られたと考えられる | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京都芝区(現港区)二の橋附近(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 5 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 芝区二ノ橋付近、古川(渋谷川)、入間川(いりあいがわ)、川岸の家々 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「芝区二ノ橋附近」より<br>・写3-12-5撮影と同場所(おそらく橋の上)よりパーンして撮られたと考えられる | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京都芝区(現港区)二の橋附近(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 6 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 内側から見た三田綱町部門 | | | | ・記載なし | 60×94 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「澁沢子部門内側ヨリ見ル」より | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京三田綱町部(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 7 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 三田綱町部と庭、自転車で遊ぶ子供とそれを押す女中 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「澁沢子部裏面ヨリ」より、この場合の裏面は正面に対しての裏面 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京三田綱町部(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 8 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | アチックミューゼアム(建物)と市川信次 | | | | ・記載なし | 93×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「アツチク、ミュゼアム　市川信次師」より | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | アチックミューゼアム(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 12 | 9 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 三田綱町邸内庭園に立つ高木一夫と吉田三郎 | | | | ・記載なし | 60×90 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものカ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる、撮影者は写3-12で被写体となっている市川信次カ<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「澁沢子邸庭園ノ一部　高木一夫氏と[illegible]」より | | | | | | | | | 市川信次 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京三田綱町邸(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 10 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 三田綱町邸、庭に立ち白いカードを持つ高木一夫 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものカ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「澁沢子邸裏面ヨリ高木一夫氏」より、この場合の裏面は正面に対しての裏面 | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京三田綱町邸(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 11 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 芝区二ノ橋付近、早川犬猫診療所、二橋家畜病院、路面電車のレール | | | | ・記載なし | 91×60 | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものカ、ネガ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「芝ノニノ橋附近」より | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京都芝区(現港区)二の橋附近(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 12 | | 東京 | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 三田綱町邸、庭に立つ高木一夫とテニスラケットを持った渋沢栄子 | | | | × | | ・写3-12-13の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものカ<br>・渋沢フィルム整理整理カードには「吉田三郎　練習分」とあり<br>・昭和10年(1935)3月13日から昭和11年(1936)3月12日まで『男鹿寒風山麓農民日録』で使用する写真機撮影の練習の為に主に吉田三郎によって撮影されたもの、昭和10年2月1日に吉田三郎著『男鹿寒風山麓農民手記』出版記念で渋沢邸を第四郎と共に訪れているが、2月11日には敬三が紀州・伊勢へと旅行に出かけているところから、写真現像の期間からも撮影関連はこの日ではなく、3月2日「例会、吉田三郎氏上京を記念して」～3月9日「例会、桜田勝徳氏上京」の両日に吉田三郎が参加していることからこの期間前後に撮影されたと考えられる<br>・題名、撮影地は同一写真である吉田総恵さん所蔵吉田三郎アルバム「血係ノ面影　第二集」台紙記載「澁沢子邸ト才嬢様ト高木一夫氏」より | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月2日～3月9日(備考参照) | 東京三田綱町邸(備考参照) | |
| 写3 | 12 | 13 | | | | 吉田三郎(青ペン、縦書、表面)<br>練習分(青ペン、縦書、表面)<br>[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦) | 封筒 | | | | × | 69×98 | ・白色紙封筒(ネガ用カ、120×170)<br>・封筒記載<br>表面:吉田三郎(青ペン、縦書)<br>練習分(青ペン、縦書)<br>裏面:[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三](縦)<br>・写3-12-1～写3-12-12を入れていた封筒カ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 1 | | | [備考]吉田三郎氏練習撮影(黒ペン、横書、表面)<br>✓(鉛筆)<br>2(黒鉛筆、裏面)<br>✓(赤鉛筆) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用カ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面:[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考]　吉田三郎氏練習撮影(黒ペン)<br>[鏡玉絞　密着焼　引伸] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 2 | | | [備考]吉田三郎氏練習撮影(黒ペン、横書、表面)<br>✓鉛筆) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用カ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面:[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考]　吉田三郎氏練習撮影(黒ペン)<br>[鏡玉絞　密着焼　引伸] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 3 | | | レ(チェックの印カ、鉛筆) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用カ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面:[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考]<br>[鏡玉絞　密着焼　引伸] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 4 | | | 記載なし | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用カ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面:[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考]<br>[鏡玉絞　密着焼　引伸] | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 12 | 14 | 5 | | | ✓(鉛筆) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用ヵ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面：[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 6 | | | 記載なし | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用ヵ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面：[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 7 | | | ✓(鉛筆)<br>2(黒鉛筆、裏面)<br>✓(赤鉛筆) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用ヵ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面：[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 8 | | | 記載なし | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用ヵ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面：[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 12 | 14 | 9 | | | 4(黒鉛筆、裏面) | シートフィルム用封筒 | | | | × | 69×98 | ・茶色薄紙封筒(ネガシートフィルム用ヵ)。表面に画題記入表が印刷されている<br>・封筒記載<br>表面：[新宮館]<br>[No.　画題　東京麻布六本木壹(三河台電停前)]<br>[電話　赤坂　(48)〇七三七番]<br>[撮影日　昭和　年　月　日　午前/午後　時　分]<br>[場所　天候]<br>[鏡玉種類　絞/スクリン]<br>[原版種類]<br>[露出時間]<br>[現像薬/法]<br>[定着薬/法]<br>[備考] | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 13 | 1 | | 新潟県 | ア-40-4<br>ア-40-5 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 縁側に座る桜井甚平 | | | | ・記載なし | 89×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・ア-40-4、ア-40-5のネガフィルム<br>・ア-40-8に同一人物が写っているため、撮影日時及び場所はそちらの台紙を参照した<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月」p.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・題名はア-40-18による | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | 越後『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | |
| 写3 | 13 | 2 | | 新潟県 | ア-40-6<br>ア-40-7 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 畑に立つ女性と、その側でしゃがむ少女 | | | | ・記載なし | 87×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月」p.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・ア-40-6、ア-40-7のネガフィルム | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | 越後『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | |
| 写3 | 13 | 3 | | 新潟県 | ア-40-12　ア-40-13 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 藁を編む女性 | | | | ・記載なし | 60×90 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月」p.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・写真の左側に、完成した籠のようなものが二つ見られる<br>・ア-40-12、ア-40-13のネガフィルム | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | 越後『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | |
| 写3 | 13 | 4 | | 新潟県 | ア-40-2<br>ア-40-3 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 藁を編む女性 | | | | ・記載なし | 61×88 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月」p.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・写真の左側に、完成したかごのようなものが二つ見られる<br>・ア-40-2、ア-40-3のネガフィルム | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | 越後『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 13 | 5 | | 新潟県 | ア-40-11 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | ウルシカキをする男性 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月 jp.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・ア-40-11のネガフィルム | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | 越後『歴史と民俗18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | |
| 写3 | 13 | 6 | | 新潟県 | ア-40-10 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | ウルシカキをする男性 | | | | ・記載なし | 88×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月 jp.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・ア-40-10のネガフィルム | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | 越後『歴史と民俗18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | |
| 写3 | 13 | 7 | | 新潟県 | ア-40-8 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 渋沢敬三と櫻井一家 | | | | ・記載なし | 90×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・ア-40-8のネガフィルム<br>・同一人物が写っていることから、撮影日時及び場所はア-40-8に、題名はア-40-20による<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月 jp.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | 越後『歴史と民俗18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | |
| 写3 | 13 | 8 | | 新潟県 | ア-40-9 | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | 渋沢敬三と櫻井一家 | | | | ・記載なし | 90×61 | ・写3-13-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「芋川か」とあり<br>・ア-40-9のネガフィルム<br>・同一人物が写っていることから、撮影日時及び場所はア-40-8に、題名はア-40-20による<br>・『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月 jp.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行　十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗　18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | 越後『歴史と民俗18』「アチックミューゼアム日誌 jp.264 | |
| 写3 | 13 | 9 | | | | 芋川か(青ペン、縦書、表面、右側) | | | | | ・記載なし | 170×120 | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒。 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 14 | 1 | | | | 鯨供養(青ペン、縦書、表面、右側)<br>位牌(青ペン、縦書、表面、右側) | | | | | ・記載なし | 80×109 | ・写3-14-2の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「鯨供養位牌」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 14 | 2 | | | | 鯨供養(青ペン、縦書、表面、右側)<br>位牌(青ペン、縦書、表面、右側) | | | | | ・記載なし | 166×120 | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒。 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 15 | 1 | | 新潟県 | 写3-9-1 | 村上町(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上清文作(青ペン、縦書、表面、右側)<br>〈朝鮮〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈昭　8．12、〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈澁澤先生撮影〉(黒ペン、表面、左下) | 山車人形が乗る上段と子供たちが乗る下段の二段からなる山車 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・写3-15-3の白色の封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上町　村上清文口(一字不明)」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることと、写3-9まとまりと類似しているため、撮影者、撮影地を推測した<br>・山車の下階に子供が乗っている。山車の二階部分には笠を被り、杖を担いだ人形で、その横には笹らきものが見える。<br>・『村上市史』p.240によると「飾り物　中国の二十四孝の孟宗、寛政六年(1794)に京都で出来たものであり、金襴の衣服を着せ、蓑笠をつけ銀をかたねる」とあり、本資料の飾り物の人形に該当するため、小国町の囃子台と考えられる。台の下には子供が乗っており、写3-9-1、写3-17-9も同じ囃子台を撮影していることから、写3-9-1、写3-17-9も囃子台が停められた状態で撮影されたと考えられる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 新潟県 | |
| 写3 | 15 | 2 | | 新潟県 | | 村上町(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上清文作(青ペン、縦書、表面、右側)<br>〈朝鮮〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈昭　8．12、〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈澁澤先生撮影〉(黒ペン、表面、左下) | 御輿台に乗せられた御輿 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-15-4の白色の封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上町　村上清文口(一字不明)」とあり<br>・整理カードの記述と村上清文が三面村調査関連で新潟に赴いていることから、撮影者として推測した<br>・御輿台に置かれた神輿。その近くの屋根には提灯が立てかけられている。<br>・『村上市史』p.174によると「七月に入ると、村上町では羽黒神社の祭りの準備を始める。(中略)七日が本祭りで神輿三基、屋台など一九台が街を練り歩く」とあり、そのうちの1台を撮影したものか<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 15 | 3 | | | | 村上町(青ペン、縦書、表面、右側)<br>村上清文作(青ペン、縦書、表面、右側)<br>〈朝鮮〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈昭　8．12、〉(黒ペン、表面、左側下)<br>〈澁澤先生撮影〉(黒ペン、表面、左下) | 封筒 | | | | × | | ・白色の封筒、146×97<br>・封筒の表面右側には青ペンの縦書きで「村上町」とあり、その下に同じく青ペンの縦書きで「村上清文作」と書かれている。本資料には黒ペンで「朝鮮」「昭　8．12、」「澁澤先生撮影」と書かれているが、青ペンでバツ印が書かれ修正されている。裏面には何も印刷されていない | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 16 | 1 | | 富山県 | ア-30-30<br>ア-30-37<br>河1-29-2-2 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 胴わらを腰に巻く早乙女 | | | | ・記載なし | 61×88 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・胴わらをつけた早乙女が別の早乙女を身支度を手伝っている<br>・アワラ田の田植え着については『田植えに関する習俗 2』茨城県・富山県　p.156にある<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46からの推定<br>・16ミリフィルム『白萩村アワラ田植直江津片田家行事』05:45に本資料と同じ人物が写っている<br>・ア-30-30と同一のネガフィルム被写体や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 2 | | 富山県 | ア-30-33 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 早乙女の身支度 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・胴わらを身につける早乙女。足元には藁や縄が置かれている<br>・16ミリフィルム『白萩村アワラ田植直江津片田家行事』05:17に撮影されている被写体と同一人物か<br>・ア-30-33と同一のネガフィルム被写体や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 3 | | 富山県 | ア-30-34 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 早乙女の服装 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・胴ワラを体に縄で巻きつけた早乙女。頭に手拭をアネハン被りにしている<br>・ア-30-34と同一のネガフィルム被写体や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 4 | | 富山県 | 河1-29-2-1<br>ア-30-32<br>ア-30-35 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 早乙女の集合写真 | | | | ・記載なし | 92×61 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・ア-30-35と同一のネガフィルム被写体や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・身支度を整えた早乙女の集合写真。仕事着の上から縄で胴わらを縛っている。7人の早乙女(女性6人、男性1人)がおり、手に風呂敷包を持った者と持っていない者がいる。ア-30-32、河1-29-2-1と同じ被写体、構図のため、関連番号とした | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 5 | | 富山県 | 河1-29-2-1<br>ア-30-32<br>ア-30-35 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 早乙女の集合写真 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・身支度を整えた早乙女の集合写真。仕事着の上から縄で胴わらを縛っている。7人の早乙女(女性6人、男性1人)がおり、手に風呂敷包を持った者と持っていないものがいる。ア-30-32、河1-29-2-1と同じ被写体、構図のため、関連番号とした<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46からの推定<br>・ア-30-32と同一のネガフィルムであると考えられるが、ア-30-32には左端の早乙女の腕のみ確認できる | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 6 | | 富山県 | ア-30-28 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | アワラ田の田植えを見るアチック同人 | | | | ・記載なし | 61×90 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・本資料手前には早乙女、その右奥にはアチック同人たちが田植えを見学をしている。さらに奥の田では早乙女と田舟が写っている<br>・16ミリフィルム『白萩村アワラ田植直江津片田家行事』に撮影されている田植えの様子は、奥の田圃か。畔道で田植えを見学している白いジャケットの人物が動画を撮影していると考えられる<br>・ア-30-28と同一のネガフィルム、撮影日、撮影地などはこれによる<br>・写3-16-7と一対であると考えられる<br>・ネガ黒色部分銀が浮き出している(2012年10月18日調査:小林) | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 7 | | 富山県 | ア-30-29 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 田舟に乗る男性 | | | | ・記載なし | 61×96 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・ア-30-29と同一のネガフィルム、撮影日、撮影地などはこれによる<br>・写3-16-6と一対であると考えられる | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 8 | | 富山県 | ア-30-31 | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | アワラ田の中をアワラ竹で苗桶を運ぶ様子 | | | | ・記載なし | 90×61 | ・写3-16-9の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒に入っていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「白萩村　アワラ」とあり<br>・『田植えに関する習俗 2』茨城県・富山県　p.130によるとアワラ竹は「運搬具で、田舟とともに田植えや稲刈りに利用される。」「スキーのようにはいて作業をする。アワラ竹のの真ん中には、ねずの縄(藁縄)を巻きつけて足がかりをつくる」とある<br>・苗桶の名称は『田植えに関する習俗 2』茨城県・富山県　の口絵図39・40・55を参考とした<br>・ア-30-31と同一のネガフィルム被写体や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・ネガ黒色部分銀が浮き出している(2012年10月18日調査:小林) | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |
| 写3 | 16 | 9 | | 富山県 | | 白萩村(青ペン、縦書、表面、右側)<br>アワラ(青ペン、縦書、表面、右側) | 封筒 | | | | × | 170×120 | ・白色の封筒<br>・表面「白萩村　アワラ」と青ペンで記載あり、裏面[東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三] | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)6月14日以前　渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | 越中白萩村(富山県中新川郡白萩村東種)渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」p.46 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 17 | 1 | | 台湾 | | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 台南州北門庄五王廟前での集合写真(備考参照) | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ<br>・ア-67-6に同場所が写っており題名はこれによる、集合写真に写る人々の詳細不明、台北帝大あるいは台湾総督府の関係者ヵ、被写体に小松の姿が無いことから撮影者は小松ヵ、撮影年月日はア-67-6台紙記載による | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月13日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州(備考参照) | |
| 写3 | 17 | 2 | | 台湾 | ア-67-5 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 台南州佳里街の廟(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 110×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)4月13日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州佳里街関連目録番号資料 | |
| 写3 | 17 | 3 | | 台湾 | ア-67-6 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 台南州北門庄五王廟(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ<br>・引用・使用媒体の16ミリフィルムはア-67-6より昭和11年4月の台湾予祭旅行と判断される | 16ミリフィルム「台湾1＆2」0.3513888888888889 | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月13日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州関連目録番号資料 | |
| 写3 | 17 | 4 | | 台湾 | | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | とある廟の前での集合写真 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ<br>・被写体に小松が写っている、撮影者の詳細不明<br>・アチックマンスリーp.40に小松勝美が4月8～23日まで台湾に行っていることから撮影年月日はこの間と考えられる<br>・写3-17-5と同じ場所と考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)4月8日～昭和11年(1936年)4月23日(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 17 | 5 | | 台湾 | | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | とある廟の前 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ<br>・アチックマンスリーp.40に小松勝美が4月8～23日まで台湾に行っていることから撮影年月日はこの間と考えられる<br>・写3-17-5と同じ場所と考えられる | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月8日～昭和11年(1936年)4月23日(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 17 | 6 | | 台湾 | ア-67-11 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 台南州新巷庄媽祖廟祭の町並み(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州新巷庄媽祖廟関連目録番号資料 | |
| 写3 | 17 | 7 | | | | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 17 | 8 | | 台湾 | ア-67-24 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | プロビンシャ城址(台紙記載による) | | | | ・記載なし | 109×81 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月17日～関連目録番号資料 | 台湾・台南市関連目録番号資料 | |
| 写3 | 17 | 9 | | 新潟県 | 写3-9-1 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(表面、左下)<br>(昭和8.12.)(表面、左下)<br>(渋澤先生撮影)(表面、左下) | 村上大祭のおしゃぎり「孟宗」 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ。ネガフィルム<br>・写3-9-1と同一の被写体。人物の表情が若干異なる<br>・山車の下階に子供が乗っている。髪型から女の子4人、男の子2人である。柱近くにいる女の子3人の格好は普段着のようである。飾り物は笠を被り、杖を担いだ人形で、その横には笹らしきものが見える。<br>・『村上市史』p.240によると「飾り物　中国の二十四孝の孟宗、寛政六年(1794)に京都で出来たものであり、金襴の衣服を着せ、簑笠をつけ鍬をかたねる」とあり、本資料の飾り物の人形と類似する。さらにこの記述から本資料の脇にある笹の様なものは竹であり、筍を掘る場面に近付けているものと考えられる<br>・写3-9-1と同じ構図で撮影されているが、子供たちの位置や表情が異なっている。<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる<br>・おしゃぎりとは屋台山車のこと、大祭巡行十番小国町の屋台山車(http://www.uoya.co.jp/uoyasake/index_taisai.html) | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 17 | 10 | 台湾 | ア-67-26 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(洪澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 台南市媽祖廟<br>(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南市関連目録番号資料 | |
| 写3 | 17 | 11 | 新潟県 | 写3-30-63 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(洪澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 村上大祭の屋台山車部分 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ。ネガフィルム<br>・囃子台を撮影しているが、飾り物はない。<br>写3-30-63と同じ構図で撮影しているが、本資料には日傘をさした人物が山車の前にいる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる<br>・おしゃぎりとは屋台山車のこと、大祭巡行十番小国町の屋台山車(http://www.uoya.co.jp/uoyasake/index_taisai.html) | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県岩船郡村上町(備考参照) | |
| 写3 | 17 | 12 | 新潟県 | 写3-30-63 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(洪澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 村上大祭の屋台山車部分 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ。ネガフィルム<br>・囃子台を撮影しているが、飾り物はない。<br>写3-30-63と同じ構図で撮影しているが、撮影角度が異なる<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる<br>・おしゃぎりとは屋台山車のこと、大祭巡行十番小国町の屋台山車(http://www.uoya.co.jp/uoyasake/index_taisai.html) | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 新潟県村上市羽黒町 | |
| 写3 | 17 | 13 | 台湾 | ア-67-22 | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(洪澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 袋網先の浮き樽 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・写3-17-14の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾　安平　小松岳(？)　不要分」とあり<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ<br>・鰹鮪は台江内海中の砂州で、三鰹鮪は億載金城の南側彼岸の光鳥にあたる(http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6-333C-4087-8F34-0207B5906588%7D&Lang=J) | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州三鰹鮪関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 17 | 14 | | | 台湾(青ペン、縦書、表面、右上)<br>安平(青ペン、縦書、表面、中央右)<br>小松■(青ペン、縦書、表面、右下)<br>(朝鮮)(黒ペン、表面、左下)<br>(昭和8.12.)(黒ペン、表面、左下)<br>(洪澤先生撮影)(黒ペン、表面、左下) | 封筒 | | | | × | | ・白色無地の封筒、146×97<br>・封筒記載文の■は「君」ヵ | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 18 | 1 | 島根県 | ア-19-21 | 封筒なし | 筵の上で鮑の殻むき、あるいは干し鮑にするため鮑を干す男性 | | | | ・記載なし | 70×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・撮影者はア-19-21によるが、詳細は不明 | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 2 | 島根県 | ア-19-20 写3-5-1 | 封筒なし | ねじり鉢巻きに網を持つ少年(糸満の人ヵ) | | | | ・記載なし | 71×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・撮影者はア-19-20によるが、詳細は不明<br>・宮本常一『写真・日記集成　別巻』(2005毎日新聞社)p.20に同港から写した写真(写真類3-5-1と同一)に同じ船が見える。<br>・少年が着ているのは『隠岐島前に於ける　糸満漁夫の聞書』口絵「網染め」に写るアガギンヵ<br>・山口和雄先生古稀記念誌刊行会編『黒船から塩の道まで』(1978財団法人日本経営史研究所)p.58に「糸満の漁夫、十数歳ぐらいの者が多かったと思います」とありこの少年も糸満の漁夫ヵ<br>・ア-19-20のネガフィルム | 宮本常一「戦前・戦中の写真帳」『写真・日記集成　別巻』毎日新聞社2005 | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 3 | 島根県 | ア-19-26 | 封筒なし | 網綱を干す男性 | | | | ・記載なし | 70×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・ア-19-26のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 4 | 島根県 | ア-19-31 | 封筒なし | 岸に停泊するトモド(船) | | | | ・記載なし | 45×69 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・船に櫓と艣が見える。形状から船は三枚板舟のトモド(船)ヵ(『隠岐島前漁村採訪記』口絵「トモド」、p.135)<br>・ア-19-31のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 18 | 5 | | 島根県 | ア-19-32 | 封筒なし | 獲れたサザエ | | | | ・記載なし | 45×70 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・ア-19-32のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 6 | | 島根県 | ア-19-36 | 封筒なし | するめいかの天日干し | | | | ・記載なし | 70×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・『隠岐島前漁村採訪記』p.51に「揃った烏賊は各自が干して問屋の仲介で商人に売る」とあり烏賊を獲った漁師が干しているものと考えられる<br>・ア-19-36のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 7 | | 島根県 | ア-19-17 | 封筒なし | 社の前のエビス像二体と稲荷像二体 | | | | ・記載なし | 45×69 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・ア-19-17のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 8 | | 島根県 | ア-19-24 | 封筒なし | 漁船と漁夫 | | | | ・記載なし | 45×70 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・船上にいる男性三人の内ソフト帽の二人は調査者カ<br>・ア-19-24のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 9 | | 島根県 | ア-19-27 | 封筒なし | 船上から隠岐の断崖を望む | | | | ・記載なし | 45×67 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・ア-19-27のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 18 | 10 | | 島根県 | ア-19-30 | 封筒なし | カナギ漁に向かう船団 | | | | ・記載なし | 45×70 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アチック　岩合村」とあり<br>・左手前の船にカガミ（海鏡。箱メガネ）が見え、一艘に一人なのでカナギ漁だと考えられる。乗っている船は五枚板舟のカンコ（船）カ『隠岐島前漁村採訪記』p.53）<br>・『隠岐島前に於ける　糸満漁夫の聞書』p.8に「午前七時頃発動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、これに糸満漁夫が分乗して漁場に向かう」とあるが、マワシタカアミ漁に関わる糸満漁夫の人数が少ないのとハギブニィは「丸木舟の形を残した軽舟」であるということからこの写真でないと判断した。<br>・ア-19-30のネガフィルム | | | | | | | | | | 岩倉市郎 | ・昭和10年（1935年）8月12日～昭和10年（1935年）8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 岩合村渋沢フィルム整理カード | |
| 写3 | 19 | 1 | | 新潟県 | ア-34-42 | 封筒なし | 越後三面川鮭漁場地域図 | | | | | 60×101 | ・渋沢フィルム整理カードには「三面川流域　中〇〇〇」とあり<br>・ア-34-42のネガ<br>・本資料は新潟県岩船郡村上鮭産育養所出品の地域図。日本海へ注ぐ三面川の地理を描いている<br>・凡例が記入されており、「草生地・水面・耕地・砂地・杭・牛枠・堤・宇」とある | 村上市『村上市史』民俗編上巻村上市平成元年（1989年）口絵9　漁労三面川鮭養殖場の図 | | | | | | | | 不明 | | | |
| 写3 | 20 | 1 | | | ア-55-2 | 封筒なし | 竹籠のようなものでできた杓子や剝られた洗い桶のようなもの、白いものが入った鉢、石臼など | | | | ・記載なし | 85×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭8.12.　渋沢先生撮影」とあり | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 20 | 2 | | | ア-55-6 | 封筒なし | 竹籠のようなものでできた杓子や剝られた洗い桶のようなものなど | | | | ・記載なし | 85×122 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭8.12.　渋沢先生撮影」とあり | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～外装記載 | 朝鮮 | |
| 写3 | 20 | 3 | | | | 封筒なし | 鞠すり臼（引用・使用媒体参照） | | | | ・記載なし | 85×115 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭8.12.　渋沢先生撮影」とあり | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p433「下右　朝鮮温陽郊外　鞠すり臼(昭和8年12月)」 | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～引用・使用媒体 | 朝鮮・温陽郊外（引用・使用媒体） | |
| 写3 | 20 | 4 | | | | 封筒なし | 木製の鳥を竿先に掲ぐところ（引用・使用媒体参照） | | | | ・記載なし | 120×85 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭8.12.　渋沢先生撮影」とあり | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p433「上右　朝鮮温陽郊外　鞠木製の鳥を竿先に掲ぐ(昭和8年12月)」 | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～引用・使用媒体 | 朝鮮・温陽郊外（引用・使用媒体） | |
| 写3 | 20 | 5 | | | | 封筒なし | 天下将軍（引用・使用媒体参照） | | | | ・記載なし | 85×120 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「朝鮮　昭8.12.　渋沢先生撮影」とあり<br>『犬歩当棒録』「旅譜」p.433では当該写真の半分を切って使っている | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p433「上左　朝鮮温陽郊外　天下将軍(昭和8年12月)」 | | | | | | | | 渋沢敬三 | 昭和8年(1933年)12月～引用・使用媒体 | 朝鮮・温陽郊外（引用・使用媒体） | |
| 写3 | 21 | 1 | | | ア-15-9 | 封筒なし | ダラ桶 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・ア-15-9と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月22日～（備考参照） | 新島本村原町小川安次郎氏宅（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 21 | 2 | | | ア-15-4 | 封筒なし | 大家と釜館、苗場 | | | | ・記載なし | 69×120 | ・ア-15-4と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 3 | | | 河1-7-3 | 封筒なし | 本村の道路、竹矢来の角を曲がる少女 | | | | ・記載なし | 69×120 | ・河1-7-3と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所『屋根裏の博物館　－実業家渋沢敬三が育てた民の学問－』横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年p73「3村の道　神奈川大学日本常民文化研究所　新島本村にて。」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 東京都新島村本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 4 | | | ア-15-42 | 封筒なし | 神津島出身の女性の姿(全身、背面) | | | | ・記載なし | 110×69 | ・ア-15-42と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 5 | | | ア-15-20 | 封筒なし | 縁側に座る女性 | | | | ・記載なし | 112×69 | ・ア-15-20と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 6 | | | 河1-7-14 | 封筒なし | 頭に薪を捧ぎ壁側に立つ神津島出身の女性(全身、正面) | | | | ・記載なし | 117×69 | ・河1-7-14と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 7 | | | ア-15-14 | 封筒なし | 神社の塀に並ぶ男の子たち | | | | ・記載なし | 69×117 | ・ア-15-14と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 8 | | | ア-15-27 | 封筒なし | 長榮寺墓地にて墓に花を供える女性とアッチジョーリ | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-27と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 9 | | | 河1-40-13 | 封筒なし | ハナ(削り掛け) | | | | ・記載なし | 115×79 | ・河1-40-13と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二十二圖「正月のハナ」 | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町十三社明神神主(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 10 | | | ア-15-28 | 封筒なし | 長榮寺墓地にて墓前に御題目を唱える女性たちと赤子を背負う女性 | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-28と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 11 | | | 河1-7-12 | 封筒なし | ハナ、十三社明神の削り掛け | | | | ・記載なし | 117×69 | ・河1-7-12と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村十三社明神(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 12 | | | ア-15-3 | 封筒なし | 風除けの竹垣 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・ア-15-3と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 13 | | | ア-15-26 | 封筒なし | 長榮寺墓地の墓参掃除 | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-26と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 14 | | | ア-15-23 | 封筒なし | 篠竹を切る女性 | | | | ・記載なし | 116×69 | ・ア-15-23と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月7日～(備考参照) | 式根島(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 15 | | | 河1-7-13 | 封筒なし | 井戸神様ヘシオバナ(塩花)を撒く女性 | | | | ・記載なし | 115×69 | ・河1-7-13と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 16 | | | ア-15-43 | 封筒なし | 頭に桶を捧げた神津島出身の女性の姿(全身、前面) | | | | ・記載なし | 118×69 | ・ア-15-43と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 17 | | | ア-15-25 | 封筒なし | 長榮寺墓地の墓参り | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-25と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 18 | | | ア-15-15 | 封筒なし | 森米酒造店前で立つ男の子二人 | | | | ・記載なし | 118×69 | ・ア-15-15と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 19 | | | ア-15-37 | 封筒なし | 漁に向かうため歩く男性の姿(出漁姿) | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-37と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 20 | | | 河1-7-18 | 封筒なし | 長栄寺境内にある謀計網之碑 | | | | ・記載なし | 115×69 | ・河1-7-18と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村長栄寺境内(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 21 | 21 | | | 河1-40-9 | 封筒なし | ミテゴン(三手越)の竹垣 | | | | ・記載なし | 115×69 | ・河1-40-9と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第十一圖「竹垣」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 22 | | | 河1-7-4 | 封筒なし | 車井戸 | | | | ・記載なし | 113×69 | ・河1-7-4と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日～(備考参照) | 東京都新島村本村山側(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 23 | | | ア-15-31 | 封筒なし | 式根島山の神祠 | | | | ・記載なし | 69×114 | ・ア-15-31と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月6日～(備考参照) | 式根島(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 24 | | | ア-15-41 | 封筒なし | 地鉈温泉に入る二人の女性 | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-41と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月6日～(備考参照) | 式根島(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 25 | | | ア-15-40 | 封筒なし | 地鉈温泉に入る二人の女性 | | | | ・記載なし | 69×116 | ・ア-15-40と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月6日～(備考参照) | 式根島(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 26 | | | ア-15-21 | 封筒なし | 縁側に座る二人の女性 | | | | ・記載なし | 69×119 | ・ア-15-21と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 27 | | | 河1-7-11 | 封筒なし | 長栄寺ダントーバ(墓地) | | | | ・記載なし | 69×119 | ・河1-7-11と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 東京都新島村本村長栄寺墓地(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 28 | | | ア-15-30 | 封筒なし | 式根島山の神祠のハナ | | | | ・記載なし | 115×69 | ・ア-15-30と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月6日～(備考参照) | 式根島(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 29 | | | ア-15-13 | 封筒なし | 守をする女の子(正面) | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-13と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月23日～(備考参照) | 新島本村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 30 | | | ア-15-29 | 封筒なし | 神主(元地役人)の家とオシメダイ | | | | ・記載なし | 69×113 | ・ア-15-29と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 新島本村前田健二氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 31 | | | ア-15-8 | 封筒なし | ナマグサ桶とダントー桶 | | | | ・記載なし | 68×116 | ・ア-15-8と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月22日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 32 | | | 河1-7-5 | 封筒なし | 庭に並べられた四つの桶(三種類) | | | | ・記載なし | 69×113 | ・河1-7-5と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月21日～(備考参照) | 東京都新島村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 33 | | | ア-15-10 | 封筒なし | ダラ桶 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・ア-15-10と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月21日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 34 | | | 河1-7-15 | 封筒なし | 船上から見る利島と鵜渡根島 | | | | ・記載なし | 70×116 | ・河1-7-15と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 東京都大島利島間船上(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 35 | | | ア-15-6 | 封筒なし | オカンノー(御観音)の井戸 | | | | ・記載なし | 113×69 | ・ア-15-6と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日～(備考参照) | 新島本村観音堂下(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 36 | | | 河1-40-14 | 封筒なし | 花を頭に挿いで墓参りに向かう女性と少女 | | | | ・記載なし | 116×69 | ・河1-40-14と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二十三圖「墓参りに行く老婆」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 37 | | | ア-15-44 | 封筒なし | 利島前浜停泊中の汽船から見た利島、舟揚げ場 | | | | ・記載なし | 69×113 | ・ア-15-44と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 利島前浜沖(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 38 | | | ア-15-47 | 封筒なし | 利島前浜停泊中の汽船から見た出漁する漁船 | | | | ・記載なし | 70×118 | ・ア-15-47と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 利島前浜沖(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 39 | | | ア-15-45 | 封筒なし | 利島前浜停泊中の汽船から見た利島、舟揚げ場 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・ア-15-45と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 利島前浜沖(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 21 | 40 | | | 河1-7-6 | 封筒なし | 赤子を背負う二人の少女と横に立つ少女 | | | | ・記載なし | 129×79 | ・河1-7-6と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1073「浜納屋（伊豆新島）」横浜市歴史博物館・神奈川大学日本常民文化研究所『屋根裏の博物館　－実業家渋沢敬三が育てた民の学問－』横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年横浜市歴史博物館・(財)横浜市ふるさと歴史財団2002年p73「1　子守　神奈川大学日本常民文化研究所　島の少女は7･8才になれば必ず子守をすることになっ | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月23日～(備考参照) | 東京都新島村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 41 | | | ア-15-46 | 封筒なし | 利島前浜停泊中の汽船から見た漁船 | | | | ・記載なし | 70×118 | ・ア-15-46と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 利島前浜沖(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 42 | | | ア-15-48 | 封筒なし | 汽船から見る大島差木地村海岸 | | | | ・記載なし | 70×115 | ・ア-15-48と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 大島差木地沖(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 43 | | | ア-15-22 | 封筒なし | 割烹着を着て頭に桶を捧げて立つ女性 | | | | ・記載なし | 114×70 | ・ア-15-22と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月24日～(備考参照) | 新島本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 44 | | | 河1-40-1 | 封筒なし | ハジキ(巻貝)で遊ぶ少女たち | | | | ・記載なし | 69×117 | ・河1-40-1と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二十五圖「ハヂキ貝で遊ぶ守達」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月23日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 45 | | | ア-15-18 | 封筒なし | 豚小屋の修繕 | | | | ・記載なし | 70×113 | ・ア-15-18と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月24日～(備考参照) | 新島本村原町小川安次郎氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 46 | | | ア-15-50 | 封筒なし | 汽船から見る大島波浮港 | | | | ・記載なし | 69×118 | ・ア-15-50と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 大島波浮港村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 47 | | | ア-15-49 | 封筒なし | 汽船から見る大島波浮港口 | | | | ・記載なし | 69×116 | ・ア-15-49と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日～(備考参照) | 大島波浮港村(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 48 | | | ア-15-38 | 封筒なし | 漁からの帰りの舟揚げと御手玉や貝殻で遊ぶ女の子たち | | | | ・記載なし | 69×116 | ・ア-15-38と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月24日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 49 | | | 河1-40-8 | 封筒なし | 垣根用の竹を切る女性 | | | | ・記載なし | 113×69 | ・河1-40-8と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第十圖「垣根用の竹を切る女」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月7日～(備考参照) | 東京都新島村式根島野伏清水平吉氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 50 | | | 河1-40-12 | 封筒なし | オシメグイ(御注連杭) | | | | ・記載なし | 117×69 | ・河1-40-12と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第二十一圖「オシメグイ」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月17日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町十三社明神神主前田健二氏宅(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 51 | | | ア-15-36 | 封筒なし | 漁船とアラミ(魚見) | | | | ・記載なし | 69×118 | ・ア-15-36と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 52 | | | 河1-40-5 | 封筒なし | 新島本村前浜に揚げられた漁船 | | | | ・記載なし | 69×115 | ・河1-40-5と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第五圖「漁船」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 53 | | | ア-15-35 | 封筒なし | 網納屋 | | | | ・記載なし | 69×114 | ・ア-15-35と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1073「浜納屋（伊豆新島）」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 54 | | | 河1-40-4 | 封筒なし | 新島本村前浜にある網納屋 | | | | ・記載なし | 70×116 | ・河1-40-4と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第四圖「網納屋」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 55 | | | 河1-40-11 | 封筒なし | 浜から採った砂を入れた籠を背負う女性(全身、背面) | | | | ・記載なし | 117×69 | ・河1-40-11と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | 藤木喜久麿『新島採訪録』アチックミューゼアム1936年口絵第十五圖「カゴを負ふ老婆」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 東京都新島村本村原町(備考参照) | |
| 写3 | 21 | 56 | | | ア-15-34 | 封筒なし | 浜からシオバナ(塩花)をとっていく女性 | | | | ・記載なし | 117×69 | ・ア-15-34と同一のネガフィルム、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる<br>・渋沢フィルム整理カードには「伊豆新島　藤木A(Aは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日～(備考参照) | 新島本村前浜(備考参照) | |
| 写3 | 22 | 1 | | 鹿児島県 | ア-13-58 | 封筒なし | 奄美大島の高倉　(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×115 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「奄美B(Bは丸囲み)」とあり<br>・撮影日・撮影地域はアチック･ミューゼアムによる薩南十島の調査日程のうち、奄美大島に訪れた5月17～18日とした。本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月17日～昭和9年(1934年)5月18日備考参照、『犬歩当棒録』旅譜による | 奄美大島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 22 | 2 | | 鹿児島県 | ア-13-56 | 封筒なし | 奄美大島大和村の群倉　(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×117 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「奄美B(Bは丸囲み)」とあり<br>・目録番号ア13-15と同場面。本資料は関連目録番号資料のネガフィルム | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p318「奄美大島の高倉」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月18日～『犬歩当棒録』旅譜による | 奄美大島関連目録番号資料 | |
| 写3 | 22 | 3 | | 鹿児島県 | ア-13-57 | 封筒なし | タキキを運ぶ男性(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 85×122 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「奄美B(Bは丸囲み)」とあり<br>・撮影日・撮影地域はアチック･ミューゼアムによる薩南十島の調査日程で訪れた可能性のある箇所全てが考えられる。但し5月12日は東京か | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月13日～昭和9年(1934年)5月20日備考参照、『犬歩当棒録』旅譜による | 鹿児島・桜島・十島村・口之永良部島・奄美大島(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 22 | 4 | | 不明 | | 封筒なし | 水面に浮かぶ木造船と山の斜面の畑 | | | | ・記載なし | 85×120 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「奄美B(Bは丸囲み)」とあるが、本資料が薩南十島調査における写真とは確認できず | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 22 | 5 | | 不明 | | 封筒なし | 水際に立つ男性 | | | | ・記載なし | 120×85 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「奄美B(Bは丸囲み)」とあるが、本資料が薩南十島調査における写真とは確認できず | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 23 | 1 | | 台湾 | ア-67-23 | 封筒なし | 浜に集まる漁夫と仲買人達 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり<br>・鰹節は台江内海中の砂州で、三艇鱚は億載金城の南側彼岸の光島にあたる(http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6- | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州三艇鱚関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 23 | 2 | | 台湾 | | 封筒なし | 台湾のとある漁村の網干場 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり<br>・アチックマンスリーp.40に小松勝美が4月8～23日まで台湾に行っていることから撮影年月日はこの間と考えられる | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月8日～昭和11年(1936年)4月23日(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 23 | 3 | | 台湾 | | 封筒なし | 荷を引く人と荷車 | | | | ・記載なし | 108×81 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり<br>・アチックマンスリーp.40に小松勝美が4月8～23日まで台湾に行っていることから撮影年月日はこの間と考えられる | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月8日～昭和11年(1936年)4月23日(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 23 | 4 | | 台湾 | ア-67-14 | 封筒なし | 道沿いでのニオつくり | | | | ・記載なし | 110×81 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾 | |
| 写3 | 23 | 5 | | 台湾 | | 封筒なし | 三艇鱚の浜の錘ヵ | | | | ・記載なし | 109×80 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり<br>・写3-23-11などと同じ場所と考えられる | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月8日～昭和11年(1936年)4月23日(備考参照) | 台湾(備考参照) | |
| 写3 | 23 | 6 | | 台湾 | ア-67-22 | 封筒なし | 稚魚を袋網で獲る男達 | | | | ・記載なし | 80×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり<br>・鰹節は台江内海中の砂州で、三艇鱚は億載金城の南側彼岸の光島にあたる(http://www.tncg.gov.tw/2007/news.asp?id=%7B062F12E6- | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州三艇鱚関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 23 | 7 | | 台湾 | 写1-13-10 | 封筒なし | 夜漁に使う燈斗 | | | | ・記載なし | 109×80 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州三艇鱚関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 23 | 8 | | 台湾 | ア-67-20 | 封筒なし | 安平より台南市の運河に浮かぶ船 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州安平から台南市関連目録番号資料 | |
| 写3 | 23 | 9 | | 台湾 | ア-67-15 | 封筒なし | ニオのようなものの間にいる女性達と遠方に走る貨物列車 | | | | ・記載なし | 109×81 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月14日～関連目録番号資料 | 台湾 | |
| 写3 | 23 | 10 | | 台湾 | ア-67-21 | 封筒なし | 共同墓地(関連目録番号資料による) | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州安平関連目録番号資料 | |
| 写3 | 23 | 11 | | 台湾 | 写1-13-9 | 封筒なし | 三艇鱚の浜の筏 | | | | ・記載なし | 109×80 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「台湾C(Cは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 小松勝美 | 昭和11年(1936年)4月16日～関連目録番号資料 | 台湾・台南州三艇鱚関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 24 | 1 | | | ア-34-18 | 封筒なし | 上洛月島の浜辺 | | | | ・記載なし | 81×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり<br>・題名は、16ミリフィルム「朝鮮多島海」による推定、撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～(備考参照) | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面上洛月里 | |
| 写3 | 24 | 2 | | | ア-34-23 | 封筒なし | 陽の光を扇子で避ける髭面の男性と集落 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり<br>・題名は、16ミリフィルム「朝鮮多島海」による推定、撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～(備考参照) | 上伊那　多島海　その他 | |
| 写3 | 24 | 3 | | | ア-34-20 | 封筒なし | 石と土壁で出来た家 | | | | ・記載なし | 80×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 不明 | 記載なし | 上伊那　多島海　その他 | |
| 写3 | 24 | 4 | | | ア-66-20 | 封筒なし | 朝鮮総督府(京福宮慶会楼)を背に記念撮影 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 朝鮮・京城(朝鮮総督府)台紙記載 | |
| 写3 | 24 | 5 | | | ア-34-23 | 封筒なし | 上洛月島の蝦網船 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり<br>・題名は、16ミリフィルム「朝鮮多島海」による推定、撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～(備考参照) | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面上洛月里 | |
| 写3 | 24 | 6 | | | ア-34-24 | 封筒なし | 下洛月島の浜辺にあげられた船 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり<br>・題名は、16ミリフィルム「朝鮮多島海」による推定、撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～(備考参照) | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面下洛月島 | |
| 写3 | 24 | 7 | | | ア-34-25 | 封筒なし | 縄で巻かれたもの、にお、ポッチ | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 不明 | 記載なし | 上伊那　多島海　その他 | |
| 写3 | 24 | 8 | | | ア-34-19 | 封筒なし | 丈の低い草原 | | | | ・記載なし | 81×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり | | | | | | | | | | 不明 | 記載なし | 上伊那　多島海　その他 | |
| 写3 | 24 | 9 | | | | 封筒なし | 木浦沖金剛丸上にて集合写真(引用・使用媒体参照) | | | | ・記載なし | 81×110 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり | 渋沢敬三『犬歩当棒録』角川書店1961年p446「木浦沖多島海巡行…」 | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月～引用・使用媒体 | 木浦沖 | |
| 写3 | 24 | 10 | | | ア-34-22 | 封筒なし | 上洛月里の全景 | | | | ・記載なし | 80×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「多島海D(Dは丸囲み)」とあり<br>・題名は、16ミリフィルム「朝鮮多島海」による推定、撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』からの推定 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)8月18日～(備考参照) | 朝鮮・全羅南道霊光郡落月面上洛月里 | |
| 写3 | 25 | 1 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×113 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 2 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×118 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 3 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 4 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×120 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 5 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×115 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 6 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×116 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 7 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 8 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 117×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 9 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×113 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 25 | 10 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×113 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 11 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×112 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 12 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×115 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 13 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 114×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 14 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×113 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 15 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 16 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×111 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 17 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×111 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 18 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×111 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 19 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×117 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 20 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×113 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 21 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 22 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 112×86 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 23 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×114 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 24 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×112 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 25 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×111 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 26 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×111 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 25 | 27 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×116 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「記載なし」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 1 | 1 | | 写3-26-1-2<br>河1-29-13-1 | ビワ湖（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側）<br>■■新田etc？（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側） | 琵琶湖のエリと沖島 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」か<br>・写3-26-1-2のネガフィルム<br>・写真左奥に写っているのが沖島か。そうであればその位置と角度から滋賀県途中町周辺で撮られたものと考えられる<br>・写真中央に写っているのはエリ漁のエリか<br>・河1-29-13-1の写真と比較して左に動いていることから、同撮影地で方向を変えて撮影されたと考えられる<br>・河1-29-13-1との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年（1935年）11月30日～昭和10年（1935年）12月3日（備考参照） | 滋賀県（備考参照） | |
| 写3 | 26 | 1 | 2 | | 写3-26-1-1<br>河1-29-13-1 | ビワ湖（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側）<br>■■新田etc？（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側） | 琵琶湖のエリと沖島 | | | | ・記載なし | 70×103 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」か<br>・写3-26-1-1（ネガ）の紙焼写真<br>・写真左奥に写っているのが沖島か。そうであればその位置と角度から滋賀県途中町周辺で撮られたものと考えられる<br>・写真中央に写っているのはエリ漁のエリか<br>・河1-29-13-1の写真と比較して左に動いていることから、同撮影地で方向を変えて撮影されたと考えられる<br>・河1-29-13-1との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年（1935年）11月30日～昭和10年（1935年）12月3日（備考参照） | 滋賀県（備考参照） | |
| 写3 | 26 | 2 | | | 河1-29-23-3 | ビワ湖（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側）<br>■■新田etc？（青ペン、縦書、天地逆、表面、左側） | 安土周辺から見た琵琶湖周辺 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものか<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」か<br>・河1-29-23-3のネガフィルム<br>・写真手前の集落は干拓地に作られたものか<br>・写真奥は沖島か。そうであれば沖島の位置から安土周辺で撮影されたと考えられる<br>・河1-29-23-3との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 26 | 3 | | | 河1-29-23-20 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 琵琶湖のエリ | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・河1-29-23-20のネガフィルム<br>・エリ漁のエリを撮影したもの<br>・橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.68において「エリを定置することをエリタテという。（中略）エリタテは、ベタニワ（完全な凪ぎ状態）の日にする。船に簀や竹を積んで、目的地に着くと、芯の杭を目標に二枚の簀を縄で結んで、その両端に竹を付けたものを湖中に立て、棕櫚で結んでつないで行く。湖南と湖北では波の荒さが違うので、若干要領を異にするという。毎年一月中旬から簀編みを始め、三月下旬にエリタテを終えるのが例という」と書かれている<br>・河1-29-23-20との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 4 | | | ア-23-19 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 岸に泊められた漁船と竿、簀 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-19のネガフィルム<br>・船上には鍋ヵを洗っている女性がいる<br>・岸にはウケの様なものが見られる<br>・積まれた竿や立てられた竿が見られる。また写真左上には簀のようなものが写っている。臥漁のための竿及び簀ヵ<br>・橋本鉄男『琵琶湖の民俗誌』pp.302-303に琵琶湖の船づくりについて書かれている<br>・ア-23-19との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 5 | | | ア-23-7 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 何かを見つめる子供たち | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-7のネガフィルム<br>・子供たちの視線は向かって左上に向いているが、何を見ているかは不明<br>・写真左側に和傘、恵比寿と大黒の絵が貼られた木製の箱、炭と思われるものが入った缶が写っている。河1-29-23-7に写っているものと同じヵ<br>・ア-23-7との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 6 | | | ア-23-32 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 赤ん坊を背負い、箕を持った女性 | | | | ・記載なし | 80×111 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-32のネガフィルム<br>・女性はホオカムリをし、手に箕を持っている。履いてるのは草履ヵ<br>・赤ん坊を背負い紐で背負っている<br>・奥には草屋根で障子の民家が建てられている<br>・ア-23-32との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 7 | | | ア-23-31 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 琵琶湖岸でのハサホシ | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-31のネガフィルム<br>・稲架に横木を渡し、仕事着や前掛けを干している。琵琶湖岸ヵ<br>・橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.62において「刈った稲は一〇株くらいを一把にして稲架にかける。稲架のことをハサといい、稲架にかけてかわかすのをハザホシという。ハサの作り方はところによって異なるが、縦木を夕ツとかハサグイと呼び、横竹を数段これに組んだところが多い」と書かれている<br>・ア-23-33と同じ場所。船上から撮影したものヵ<br>・ア-23-31との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 8 | | | ア-23-6 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | ウエの積まれた漁船と、漁船に乗る漁師と子供 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-6のネガフィルム<br>・船上にはウエが積まれている。橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.72-73において「（前略）これは一般にモジとかモンドリと呼ばれることが多い。その形は竹を細く割って、筒状に編んだ籠と思えばよい。中にやはり竹で作った漏斗状の戻りが付いているところからの称呼である。同様の漁具で円筒状のものにタツベがある。これは底に漁星板が貼られている。これらを多いときには一隻に二〇〇個余りも積み込んで出漁する」と書かれている<br>・桟橋には桶や箱が置かれている。箱の中にあるのはハエイト漁用の糸ヵ<br>・橋本前掲書p.72よりウエ漁が主に行われていたのは湖南堅田であることから、本写真は堅田で撮影されたものヵ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 9 | | | ア-23-8 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 水路に浮かぶ舟 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-8のネガフィルム<br>・両岸が石垣で固められた水路の写真、奥に橋があり船が浮かんでいる<br>・河1-29-23-9と同一の場所ヵ<br>・ア-23-8との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 10 | | | ア-23-18 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 何かを見つめる女性や子供たち | | | | ・記載なし | 83×108 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」ヵ<br>・ア-23-18のネガフィルム<br>・女性や子供の視線は向かって左に向いているが、何を見ているかは不明<br>・女性はホオカムリを被り、仕事着を着ている。ワタイレを羽織っている女性もいる<br>・女性は草鞋、草履、下駄を履いている。子供は靴を履いている<br>・奥には板間に座る子供や、立って何かを見ている男性がいる。男性の側には自転車が停められている<br>・ア-23-18との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 26 | 11 | | | ア-23-35 | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 畦道沿いに立てられたハザホシと稲を束ねる男性 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-26-12の白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒にはいっていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「ビワ湖　□□新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」カ<br>・ア-23-35のネガフィルム<br>・(0778)はナンバリングの打ち損じを訂正したもの<br>・ホオナムノ)をし手甲を着けた男性が稲を束ねている<br>・横木には竹を縄で縛って使っている<br>・橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.62において「刈った稲は一〇株くらいを一把にして稲架にかける。稲架のことをハサといい、稲架にかけてかわかすのをハザホシという。ハサの作り方はところによって異なるが、縦木を夕ソとかハサグイと呼び、横竹を数段これに組んだところが多い」と書かれている<br>・ア-23-35との関連から琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 26 | 12 | | | | ビワ湖(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側)<br>■■新田etc？(青ペン、縦書、天地逆、表面、左側) | 封筒 | | | | × | | ・白色の「東京都芝区三田綱町十番地　澁澤敬三」と印刷された封筒、171×121<br>・封筒には「ビワ湖　■■新田　etc？」とあり<br>・封筒記載文の■■は「栗見」カ | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 27 | 1 | | 新潟県 | 写1-15-16 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 藁にゅう | | | | ・記載なし | 110×81 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・写1-15-16のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)～写1-15-7備考参照 | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | |
| 写3 | 27 | 2 | | 新潟県 | 写1-15-17 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 糠にゅう | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・写1-15-17のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)～写1-15-7備考参照 | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | |
| 写3 | 27 | 3 | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 笠を被った男性二人 | | | | ・記載なし | 110×81 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 27 | 4 | | 新潟県 | 写1-15-12 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 稲を運ぶソリ(写真裏面記載による) | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・写1-15-12のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)～写1-15-7備考参照 | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | |
| 写3 | 27 | 5 | | 新潟県 | 写1-15-6 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | ちぐら | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・写1-15-6のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)～写1-15-7備考参照 | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | |
| 写3 | 27 | 6 | | 新潟県 | ア-7-28 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | トバ葺きの堆肥小屋 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・ア-7-28との関連から撮影者は岩倉市郎、撮影年月日は昭和11年5月、撮影地域は沖永良部島と考えられるが、『日本社会民俗辞典』のキャプションでは新潟県見付地方となっている。台紙記載のうち鉛筆書きの「越前見付」はこの編纂の際に書き込まれたものと考えられる。よって撮影者、撮影年月日は不明、撮影地域は推定で新潟県見付地方とした。 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1073「堆肥小屋(新潟県見付地方)」 | | | | | | | 不明 | 不明（備考参照） | 新潟県見付地方(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 27 | 7 | | 新潟県 | 写1-15-11 | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 稲越舟(二) | | | | ・記載なし | 83×112 | ・写3-27-8の白色無地の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「採集旅行　Vol.4　No.2越後」とあり<br>・写1-15-11のネガフィルム | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)～写1-15-7備考参照 | 新潟県南蒲原郡見附町附近写1-15-7備考参照 | |
| 写3 | 27 | 8 | | | | 採集旅行Vol.4(鉛筆、表面、左上)<br>No2　越後(鉛筆、表面、左上) | 封筒 | | | | × | 97×146 | ・白色無地の封筒、97×146<br>・封筒には「採取旅行　Vol.4　No.2越後」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 28 | 1 | | 島根 | 写3-28-2、4、5、6 | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で魚を追い出すために広がった船 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 2 | | 島根 | 写3-28-1、4、5、6 | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で魚を追い出すために広がった船 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 3 | | 島根 | | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で獲れた網の上の魚、タモですくいあげた魚 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 4 | | 島根 | 写3-28-1、2、5、6 | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で魚を追い出すために広がった船、網を引きあげる所 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 5 | | 島根 | 写3-28-1、2、4、6 | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で魚を追い出すために広がった船 | | | | ・記載なし | 81×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 6 | | 島根 | 写3-28-1、2、4、5 | オキ、(青ペン、縦書、天地逆)<br>糸満ヶ(青ペン、縦書、天地逆)<br>村上[様](鉛筆、明細表内)<br>[現像]手札4[枚](明細表内)<br>[合計金¥]48(明細表内) | マワシタカミ漁で魚を追い出すために広がった船 | | | | ・記載なし | 91×110 | ・写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>・封筒記載文の■は「満」ヵ<br>・『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』(pp.8-9)にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。(中略)まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如くーヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロのロの目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマをーづゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>・本資料はネガシートフィルム(手札判) | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日・『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>・『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越・『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 28 | 7 | | 島根 | | オキ.（青ペン、縦書、天地逆）<br>糸満？（青ペン、縦書、天地逆）<br>村上[様]（鉛筆、明細表内）<br>[現像]手札4[枚]（明細表内）<br>[合計金¥]48（明細表内） | 動力船などの船の間にあるハギ船 | | | | ·記載なし | 81×110 | ·写3-28-8の「さくらクロームフィルム」の封筒に入っていたものヵ<br>·渋沢フィルム整理カードには「オキ　糸口？」とあり<br>·封筒記載文の■は「満」ヵ<br>·『隠岐島前に於ける糸満漁夫の聞書』（pp.8-9）にマワシタカミ漁の漁法説明として「午前七時頃發動船一艘にハギ舟六艘が曳かれて、之に糸満漁夫が分乗して漁場に向かふ。（中略）まづタテ網を積んだ二艘の船が圖の如く網をはると共に、三艘の船も圖示する如く一ヶ所から三方に漕ぎわかれてフクロをはる。さうして空船を網につなぎ、これをフクロの口の目標として船または泳いで各人は魚を追ひ出す線上に到り、ヤマを一づゝ受取ると海中に踊り込んで追魚作業に移る。」とあり、題名はこれによった<br>·本資料はネガシートフィルム（手札判） | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935)8月12日～昭和10年(1935)8月18日·『隠岐島前漁村採訪記』p.1<br>·『黒船から塩の道まで』p.60 | 島根県隠岐郡西ノ島町船越·『隠岐島前漁村採訪記』p.1 | |
| 写3 | 28 | 8 | | × | | オキ.（青ペン、縦書、天地逆）<br>糸満？（青ペン、縦書、天地逆）<br>村上[様]（鉛筆、明細表内）<br>[現像]手札4[枚]（明細表内）<br>[合計金¥]48（明細表内） | 封筒 | | | | × | | ·「さくらクロームフヰルム」の封筒、136×114 | | | | | | | | | × | | × | |
| 写3 | 29 | 1 | | 島根 | ア-19-16 | 封筒なし | 船上から隠岐を望む | | | | ·記載なし | 45×71 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·ア-19-16と同一<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐近海（備考参照）関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 2 | | 島根 | ア-19-33 | 封筒なし | 隠岐近海の洋上 | | | | ·記載なし | 46×70 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·ア-19-33と同一<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐近海（備考参照）関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 3 | | 島根 | ア-19-23 | 封筒なし | 船上から隠岐を望む | | | | ·記載なし | 46×68 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·ア-19-23と同一<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐近海（備考参照）関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 4 | | 島根 | ア-19-22 | 封筒なし | 走る船の船べりに座る少年たち | | | | ·記載なし | 68×45 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·『黒船から塩の道まで』p.58に「糸満の漁夫、十数歳ぐらいの者が多かったと思います」とありこの少年も糸満の漁夫ヵ<br>·ア-19-22と同一<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐近海（備考参照）関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 5 | | 島根 | ア-19-29 | 封筒なし | 墓地にある地蔵、小祠 | | | | ·記載なし | 70×45 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·小祠の右手奥に石塔が見える<br>·ア-19-29と同一<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐（備考参照）関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 6 | | 島根 | | 封筒なし | サザエの殻（ボタンの材料ヵ） | | | | ·記載なし | 46×70 | ·収納されていた封筒見当たらず<br>·渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>·『岩波写真文庫119　隠岐』pp.56-57に「サザエの殻のボタンが島の工業だとしてたくさんのサザエの殻が摘まれている写真があり、題名はこれに倣ったが詳細は不明<br>·シートフィルムの大きさからアトム判（4.5×6）のカメラで撮影されたものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935年)8月～·昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>·日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐（備考参照）写3-29の一連の写真群による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 29 | 7 | | 島根 | ア-19-19 | 封筒なし | 滑車の附いた船尾 | | | | ・記載なし | 68×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-19と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 8 | | 島根 | ア-19-18、写4-1-3-1 | 封筒なし | 木にとまるミサゴ | | | | ・記載なし | 69×46 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-18と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 9 | | 島根 | ア-19-38 | 封筒なし | 浴衣姿で手に16ミリカメラを持ち遠くを見る桜田勝徳 | | | | ・記載なし | 70×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-38と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 10 | | 島根 | ア-19-37 | 封筒なし | アガギンを着た男性、網をつけた一斗缶と船 | | | | ・記載なし | 71×45 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-37と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 11 | | 島根 | ア-19-35 | 封筒なし | 船べりと綱・網を結びつける部分 | | | | ・記載なし | 45×69 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-35と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 12 | | 島根 | ア-19-25 | 封筒なし | 洋上の漁船 | | | | ・記載なし | 46×70 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-25と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 13 | | 島根 | ア-19-34 | 封筒なし | トモド、カンコなどの船艇 | | | | ・記載なし | 45×70 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-34と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |
| 写3 | 29 | 14 | | 島根 | ア-19-28、写4-1-3-3 | 封筒なし | 船上から隠岐の断崖を望む | | | | ・記載なし | 46×69 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「ハンザ」とあり<br>・ア-19-28と同一<br>・シートフィルムの大きさからアトム判(4.5×6)のカメラで撮影されたものカ | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村採訪記』p.1による | 島根県隠岐(備考参照)関連写真資料による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 1 | | 新潟県 | | 封筒なし | 鏡餅を載せた三方を持ち拝する女性 | | | | | 83×108 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·畳の上で正座し、餅の乗った三方に手をかけ拝する女性。その背後には炬燵があり、男の子が女性の様子を見ている。女性の左奥にはダンゴ飾りがある。山口貢俊『日本の民俗15　新潟』p.230「正月行事」の項に「餅拝みなど 一日。「おぜんに鏡餅・栗・串柿・昆布・柚子・松を入れたものと大皿に頭つきの魚を載せたものとを、アキの方へ向きすわって三度いただく(三面)。」との記述があるが、被写体の背後に小正月のダンゴの木らしきものが撮影されている<br>·旧暦正月の行事を行っていると考えられ、三面における一月（旧正月）の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった、また丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』に同様の記載があるため、撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～昭和10年(1935年)2月<br>丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 2 | | 新潟県 | | 封筒なし | 鏡餅を載せた三方を持ち拝する男性 | | | | | 83×109 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·畳の上で正座し、餅の乗った三方を持ちあげ拝する男性。その背後には炬燵があり、男性がその様子を見ている。男性の左奥にはダンゴ飾りがある。山口貢俊『日本の民俗15　新潟』p.230「正月行事」の項に「餅拝みなど 一日。「おぜんに鏡餅・栗・串柿・昆布・柚子・松を入れたものと大皿に頭つきの魚を載せたものとを、アキの方へ向きすわって三度いただく(三面)。」との記述があるが、被写体の背後に小正月のダンゴの木らしきものが撮影されている<br>·旧暦正月の行事を行っていると考えられ、三面における一月（旧正月）の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった、また丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』に同様の記載があるため、撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)2月16日～昭和10年(1935年)2月17日丹田二郎<br>『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 3 | | 新潟県 | | 封筒なし | 鏡餅とその上にある「十二グヴヅ」 | | | | | 82×108 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·三方の上に載せてある鏡餅（フクデ）、供え物と「：十二月☆」と書かれた「十二グヴヅ」<br>·丹田『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると小正月（2月16～17日）の行事に「クラの木を削ったものに、「十二月」（以前は閏月のある年は十三月と書いたと言ふ）とコンゲノハンと言ふ星形のものを書き、此れにヤドメの小枝を添へて、神棚、ダンゴの木、家の入口や窓の所などに配る」との記述がある。本資料は鏡餅と共に「十二グヴヅ」があり、左側のものには小枝が載せてある<br>·佐藤正己「東北地方の樹木方言（第3報）」『山形大学紀要　農業』（1953年　p.323）によると「ヤドメ」とは「（18）イヌガヤ及びハイイヌガヤ」の項に「新潟（岩船郡粟島）矢止の転訛か？」と記されているが、撮影されている小枝の葉はイヌガヤのものではなく、農商務省山林局『日本樹木名方言集』p.247の「イヌツゲ　ヤドメ（越後中蒲原及高田市）」に類似している | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)2月16日～昭和10年(1935年)2月17日丹田二郎<br>『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 4 | | 新潟県 | | 封筒なし | 神輿を担ぐ男たち | | | | | 82×112 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·村上町での祭り行列を撮影したものか。写真のピントのずれと屋台の飾り物が撮影されていないため、どの地区のものか判別できない。 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 30 | 5 | | 新潟県 | | 封筒なし | 囲炉裏の火、皿に載った豆 | | | | | 108×82 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·本資料は写りが暗く撮影状況を読み取り難い。囲炉裏で燃える火、皿に載った豆か、二重写しになったと考えられる人の頭部が見える | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 30 | 6 | | 新潟県 | | 封筒なし | 鏡餅を載せた三方を持ち拝する老齢の女性 | | | | | 83×108 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·畳の上で正座し、餅の乗った三方を持ちあげ拝する老齢の女性。その背後には炬燵があり、男の子がその様子を見ている。女性の左奥にはダンゴ飾りがある。山口貢俊『日本の民俗15　新潟』p.230「正月行事」の項に「餅拝みなど 一日。「おぜんに鏡餅・栗・串柿・昆布・柚子・松を入れたものと大皿に頭つきの魚を載せたものとを、アキの方へ向きすわって三度いただく(三面)。」との記述があるが、被写体の背後に小正月のダンゴの木らしきものが撮影されている<br>·旧暦正月の行事を行っていると考えられ、三面における一月（旧正月）の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった、また丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』に同様の記載があるため、撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)2月16日～昭和10年(1935年)2月17日丹田二郎<br>『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 7 | | 新潟県 | | 封筒なし | 鏡餅を載せた三方を持ち拝する村上清文 | | | | | 83×108 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·畳の上で正座し、三方を持ちあげ拝する村上清文ヵ。その背後には炬燵があり、男性がその様子を見ている。山口貢俊『日本の民俗15　新潟』p.230「正月行事」の項に「餅拝みなど 一日。「おぜんに鏡餅・栗・串柿・昆布・柚子・松を入れたものと大皿に頭つきの魚を載せたものとを、アキの方へ向きすわって三度いただく(三面)。」との記述があるが、被写体の背後に小正月のダンゴの木らしきものが撮影されている<br>·旧暦正月の行事を行っていると考えられ、被写体として村上清文が写っているように三面における一月（旧正月）の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ、また丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』に同様の記載があるため、撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935年)2月16日～昭和10年(1935年)2月17日丹田二郎<br>『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 8 | | 新潟県 | | 封筒なし | 室内に集まった三面の人々 | | | | | 83×108 | ·渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>·ネガフィルム<br>·本資料はその大半が黒くなっており、内容を読み取り難い。部屋の柱には日めくりカレンダーと考えられるものがあり、「20」とあるが、何月かは不明<br>·光量が足りない、または蓋のようなものがレンズにかかっているため画面がほぼ黒い状態、それでも松の枝模様の掛け物、手拭を頭に被った女性、立っていると考えられる人物などが若干読みとれる<br>·写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 9 | | 新潟県 | 写3-30-10 | 封筒なし | 小動物用の罠 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・低木の木の幹に針金を輪にした罠がかけられている。針金は幹に固定されており、宙に浮いた状態。もう一方の先端は幹近くで、小さな輪が作られ稼働すると考えられる。罠の場所は動物の通り道ヵ<br>・ウサギをはじめとした小動物用の罠ヵ<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 10 | | 新潟県 | 写3-30-9 | 封筒なし | 小動物用の罠 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム。写3-30-9と同じ構図<br>・低木の木の幹に針金を輪にした罠がかけられている。針金は幹に固定されており、宙に浮いた状態。もう一方の先端は幹近くで、小さな輪が作られ稼働すると考えられる。罠の場所は動物の通り道ヵ<br>・ウサギをはじめとした小動物用の罠ヵ<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 11 | | 新潟県 | | 封筒なし | 座敷で太鼓台を作る男性と炬燵で寝そべり何かを食べている二人の男の子 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・本資料中央には、大工道具をムシロの上に広げた人物が正座し、太鼓台らしきものに彫刻を行なっている。男性は、帽子に襟巻をしており、その周りには鋸、液体の入った洗面器などが置かれている<br>・男性が制作しているのは、太鼓台ヵ。赤羽正春「新潟県川舟造船技術の系譜-川舟から海船へ-」(民具マンスリー、14巻9号、1981年)の写真1には「渋沢敬三氏が寄贈した太鼓」が掲載されており、本資料で男性が制作している太鼓台と同一ではないかと考えられる<br>・作業を行なっている男性の傍には、炬燵に入り何かを食べている子供二人がカメラの方向に向いている<br>・「渋沢敬三　上」「村上清文氏談話」p.524によると「村上　ちょうど大工が一人家を建てに来ていて、そこに好きな女の子がいたもんだから一冬泊っておった。」との記述があるため、本資料の作業を行なっている大工が、それヵ<br>・写1-12-11の高橋源蔵氏宅での記念撮影に写る子供たちと、本資料の | | | | | | | | | 不明 | | 三面(高橋源蔵宅)(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 12 | | 新潟県 | ア-42-4<br>ア-42-5 | 封筒なし | 丸木舟の運搬 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-4、ア-42-5のネガフィルム<br>・5人の人物が丸木舟を運搬している。人物の両脇には農作物が積えられている。舟を担ぐ人物は頭に手拭を巻き、ミノを付けている。笠を負っている者もいる<br>・移動中を撮影したためにピントが合っていない<br>・丸木舟は冬季に製作され、「雪の上をソリのようにすべらせ、川まで運んだ(赤羽 1981)」とあり、ア-38で製作された舟を製作場の山から川まで運搬しているとは考え難い、したがってアチックミューシアムへ送ること になったが、「三面川を下し、村上駅まで出したまま手違いか、駅の構内で朽ち果てた(赤羽 1981)」とある舟は、一定期間村に保管されており、その後川へ運搬されたと考えられる(赤羽正春「新潟県川舟造船技術の系譜」『民具マンスリー』14巻9号 昭和56年12月10日)<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY」p.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 13 | | 新潟県 | | 封筒なし | 国旗を掲揚した広場の下で整列する人たち | | | | | 108×83 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・国旗がはためく竿がある広場で整列している人達、背景に雪が見える。大人は羽織袴の男性一人で村の学校での風景ヵ<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられ撮影地はこれによった。また雪の残る三面を撮影できるのは昭和9、10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)～昭和10年(1935年)(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 14 | | 新潟県 | | 封筒なし | 薪の積まれた小屋と猫 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・薪は小屋の前、中にも積まれている。小屋には雪囲いがされており、その前に猫が一匹背を丸めている<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 15 | | 新潟県 | | 封筒なし | 囲炉裏端に座わる三人の男たち | | | | | 108×83 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ネガフィルム、二重写しになっており被写体がブレている<br>・囲炉裏には鍋が付いた鍋がかけられており、炉端には皿や湯飲が置かれている。この囲炉裏を挟んで中心に男の子、その左右に男性が正座する。本資料右側の男性は高橋源蔵氏ヵ | | | | | | | | | 不明 | | 三面(高橋源蔵宅)(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 16 | | 新潟県 | ア-36-22 | 封筒なし | 臼の餅を丸める女性 | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・臼から餅らしきものを手に持ち切り取る女性と粉の入った鉢の側にしゃがむ女性。臼の近くには盥があり、餅が1つ入っている、正月の準備ヵ<br>・ア-36-22と同一の場所。室内には唐箕、鍋、スルス(籾摺用の土臼)が置かれている<br>・正月の準備を行っていると考えられ、三面における一月(旧正月)の行事関連を写真撮影できる可能性があるのが昭和9、10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者、撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)～昭和10年(1935年)(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 17 | | 新潟県 | | 封筒なし | ムササビを持つ青年 | | | | | 109×82 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・屋内で胸の前に小動物を持つ青年。ムササビか<br>・青年の近くの柱には多くの毛皮が掛けられ、柱の横には薬箪が見える<br>・写3-30のまとまりから三面かと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 18 | | 新潟県 | ア-42-12<br>ア-42-13 | 封筒なし | 田圃の側を運搬される丸木舟 | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-12、ア-42-13のネガフィルム<br>・田圃の側を担がれて運搬される丸木舟。4人の運搬者が撮影されている<br>・丸木舟は冬季に製作され、「雪の上をソリのようにすべらせ、川まで運んだ(赤羽 1981)」とあり、ア-38で製作された舟を製作場の山から川まで運搬しているとは考え難い、したがってアチックミュージアムへ送ることになったが、「三面川を下し、村上駅まで出したまま手違いか、駅の構内で朽ち果てた(赤羽 1981)」とある舟は、一定期間村に保管されており、その後川へ運搬されたと考えられる(赤羽正春「新潟県川舟造船技術の系譜」『民具マンスリー』14巻9号 昭和56年12月10日)<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 19 | | 新潟県 | ア-42-24<br>ア-42-25 | 封筒なし | 下り道での丸木舟の運搬 | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-24、ア-42-25のネガフィルム<br>・丸木舟の運搬を撮影したもの。舟は運搬者に担がれたまま道を下っている<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 20 | | 新潟県 | ア-42-22<br>ア-42-23 | 封筒なし | 山道での丸木舟の運搬 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-22、ア-42-23のネガフィルム<br>・7人の人物と担がれた丸木舟を撮影している。場所は山中らしき藪が鬱蒼とした場所で、獣道の如き細い道を移動している<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 21 | | 新潟県 | ア-42-18<br>ア-42-19 | 封筒なし | 緑生い茂る山 | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-18、ア-42-19のネガフィルム<br>・本資料には民家の屋根、その手前にはトウモロコシの葉などが撮影されている<br>・山の稜線の形からア-37-13と同一の山と判断し、三面村であると考えた。また本資料から撮影日が夏季であることが推定される。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 22 | | 新潟県 | ア-42-8<br>ア-42-9 | 封筒なし | 水辺に積み上げられた材木 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-8、ア-42-9のネガフィルム<br>・川原に木材が積まれており、その傍らには木製の梯子が置かれている<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 23 | | 新潟県 | ア-42-2<br>ア-42-3 | 封筒なし | 田の畔の草刈り | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-2、ア-42-3のネガフィルム<br>頭に被りものをし、ミノを着けた人物が中腰で田の畔の草を刈っている。右手には手甲を付けた動きから、鎌を使っていると推定した<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 24 | | 新潟県 | | 封筒なし | 梁の上に並べられたカマス | | | | | 109×83 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・カマスか<br>・写3-30のまとまりから三面かと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 25 | | 新潟県 | 写1-12-14 | 封筒なし | 油締機で油を絞る様子 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・木製の枠の上部を縄で固定し斜めの位置を保たせている。木枠の中間部に角材が通され、その下に円形の部位があり、ここから液体が碗に注がれている。被写体の2人は中間部の角材上部にあるカスガイを打ち込む事により、圧力をかけていると考えられる<br>・本資料は、ア-37-4と関連しており、『渋沢敬三　上』『村上清文氏談話』p.523に村上清文が三面村で宿泊していた家の名前が「高橋」との記述があるため、宿泊している際に撮影されたと考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 26 | | 新潟県 | ア-37-11 | 封筒なし | 正月の床の間にあるダンゴや繭 | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-11のネガフィルム<br>・床の間の掛け軸の下に木箱が置かれ、その上と繭に乗せられた供え物がある。その横には燭台がある。床の間の左側には、<br>　日□□七福神<br>　歳徳大冥神<br>　月□□八福神<br>と書かれた半紙が掛けられている。その前には、繭に供えられた12個の団子の上に小枝が刺されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、写3-30のまとまりから三面撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 27 | | 新潟県 | ア-37-12 | 封筒なし | 正月に迎えた松の横に立つススハキオトコと柴箒 | | | | | 108×83 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-12のネガフィルム<br>・雪に立てられた正月の松、ススハキオトコ。ススハキオトコは広がってしまっている。奥の民家には雪囲いがされている<br>・『山に生かされた日々』pp.40-41には同様の写真が掲載され、「松飾りの松を山から採ってくるのは、二十六日ごろからだな。松は五葉松だな。そっで村はずれに置いておくんだども。置く所は、上（かみ）の方からとってくれば上に、下（しも）の方からとってくれば下に置くな。（中略）それを家に持ってくるのが三十日（大炊介家の一族は二十八日）。松迎えっていうんさ。そって、家の中さすぐいれないで、入口の所に立ててあるススハキ男と柴箒のところに置いておくんさ。」また、ススハキ男とは、ワラで作ったススハキ箒の事で、12月27日の大掃除の時に用いるとも記述されている。そして30日には「松迎え」を行なうとされている<br>・十二月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和9年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれにより、 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 28 | | 新潟県 | | 封筒なし | 座敷に集まり食事をする三面の人々 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・被写体は囲炉裏のある座敷に集まっている三面の人々。本資料の中心には口髭をたくわえた男性が座っている。この男性以外は子供や女性たちである。人物の前には膳や徳利などがあることから年末年始の会合ヵ<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 29 | | 新潟県 | ア-42-14<br>ア-42-15 | 封筒なし | 畑の畔に立つ二人の男の子 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-14、ア-42-15のネガフィルム<br>・畑の畔に立つ2人の子供。左の子供はセーラー服デザインの服装と草履、右側の子供は開襟のシャツに半ズボン、靴を履いている。手にはキュウリの様なものを持っている<br>・子供の側に植えられているのは大豆ヵ<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY」p.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 30 | | 新潟県 | | 封筒なし | 民家の前に集まる三面の人々 | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ネガフィルム<br>・雪囲いがされた民家の前に集まっている人々。家の入口近くには子供らしき人物が5人と入口を除く蓑を着た人物がいる。その後方には大人らしき等身の人物が2人立つ。<br>・民家周囲に雪があり写3-30のまとまりから三面ヵと考えられ撮影地はこれによった、また雪の残る三面を撮影できるのは昭和9、10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)～昭和10年(1935年)（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 31 | | 新潟県 | ア-37-13 | 封筒なし | 奥三面の山 | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-13のネガフィルム<br>・民家の屋根越しに望む三面の山。山には雪が積もっている<br>・撮影者、撮影地はア-37-13による | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 32 | | 新潟県 | | 封筒なし | 木材を加工した所に集る男たち | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・木材の周囲に立ち、話をする男性たち。4人の男性はツヅレと称される上着にコバガマを履いている。足元が見える事から下駄、草履といったものを履いているヵ（名称参照：丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』pp.88-91）。本資料左側の坊主頭で下駄履きの男性は高橋源蔵氏ヵ<br>・木材の傍の木屑の中には鉈が転がっている<br>・本資料左奥の男性のみ、ジャケット、シャツ、ズボン、ブーツという格好である。『渋沢敬三　上』『村上清文氏談話』p.524によると「村上　ちょうど大工が一人家を建てに来ていて、そこに好きな女の子がいたもんだから一冬泊っておった。」との記述がある大工ヵ<br>・民家周囲に雪があり写3-30のまとまりから三面ヵと考えられ撮影地はこれによった、また雪の残る三面を撮影できるのは昭和9、10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられ撮影者はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)～昭和10年(1935年)（備考参照） | 三面村（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 33 | | | 写1-12-24 | 封筒なし | 屋根の雪下ろしの様子 | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・写1-12-24のネガフィルム<br>・屋根に積もった雪を下している | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 30 | 34 | | 新潟県 | | 封筒なし | 小正月の餅花（掲載刊行物による） | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・本資料は柱に飾られたダンゴのダンゴ飾り、「東風一口之春」と書かれた半紙、囲炉裏の上に設置された天棚などが撮影されている<br>・柱の後には掛軸が3幅掛けられており、中央にあるものは「吉峯神社」とある<br>・木には団子以外に丸い果物も吊り下げられている<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて来たものである。（中略）此等の團子をさした木をクワンダエとも言ふ。クワンダエにはアワボー（蕊に餅を巻きつけたもの）、マエダマ（ノエゴ―蕊のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの）、ガラガラヘンベ（大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅）や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日は | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p655「小正月の餅花（新潟県三面村）」 | | | | | | | | 不明 | | 新潟県三面村掲載刊行物による | |
| 写3 | 30 | 35 | | 新潟県 | ア-37-10 | 封筒なし | 天井の梁、あるいは長押近くに飾られたダンゴ飾り | | | | | 83×110 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-10のネガフィルム<br>・本資料は天井の梁近くに飾られた2本のダンゴ飾り。これは鴨居に針金らしきもので輪が取り付けられ、そこへ刺している。マエダマ、ガラガラヘンベが飾られている。「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した。<br>・梁の上には俵らしきものが置かれている<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて来たものである。（中略）此等の團子をさした木をクワンダエとも言ふ。クワンダエにはアワボー（蕊に餅を巻きつけたもの）、マエダマ（ノエゴ―蕊のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの）、ガラガラヘンベ（大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅）や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者 | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 36 | | 新潟県 | 写3-30-52<br>写3-9-8 | 封筒なし | 山車の上部にある飾り物、木彫りの虎や松 | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・光量が足りない、または塵のようなものがレンズにかかっているため画面がぼぼ黒い状態<br>・写3-30-52に全体像が写っている<br>・『村上市史』p.248によると安良町の櫓子台で、飾り物が「住吉神社の景を、青松一本で表現」とあり、さらに「見送り」という後部の彫刻は「丸彫の龍虎のいがみ合い、作者は安良町住人の稲垣又八（有礒周斎の弟）。」とあるため、安良町のものではないかと考えた<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年（1935）に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）7月～（備考参照） | 村上町（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 37 | | 新潟県 | ア-37-7 | 封筒なし | 雪に覆われた田圃の中の道と雪玉を持つ子供 | | | | | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-7のネガフィルム<br>・田圃の中を通る雪を踏みしめて作られた道越しに雪の積もった広場にいる子供たち。被写体の子供は2人である。本資料中央部に写る子供は雪玉を持っている<br>・撮影者、撮影地はア-37-7による | | | | | | | | 村上清文 | | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 38 | | 新潟県 | | 封筒なし | 藁箒で土間を履く女性 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・女性の動きが早く手にしているものが撮影出来ていないがその横にある箕に植物の茎状のものが集められているところからおそらく土間箒、藁箒と考えられ、何か作業をしたのちの掃除の場面だと考えられる<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 39 | | 新潟県 | ア-42-6<br>ア-42-7 | 封筒なし | 山道での丸木舟の運搬 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-6、ア-42-7のネガフィルム<br>・山際の畑の側を通り舟を運搬している場面。運搬者はミノを着けている<br>・丸木舟は冬季に製作され、「雪の上をソリのようにすべらせ、川まで運んだ（赤羽 1981）」とあり、ア-38で製作された舟を製作場の山から川まで運搬しているとは考え難い。したがってアチックミュージアムへ送ることになったが、「三面川を下し、村上駅まで出したまま手違いか、駅の構内で朽ち果てた（赤羽 1981）」とある舟は、一定期間村に保管されており、その後川へ運搬されたと考えられる（赤羽正春「新潟県川舟造船技術の系譜」『民具マンスリー』14巻9号 昭和56年12月10日）<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチクマンスリー「DIARY」p.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）8月25日～昭和10年（1935年）9月1日（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 30 | 40 | | 新潟県 | | 封筒なし | 民家の雪囲い | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・民家の雪囲いを撮影した資料ヵ。軒先には雪囲いと共に植物を乾燥させている<br>・家の近くには木材、桶などが転がっている<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 41 | | 新潟県 | ア-42-20<br>ア-42-21 | 封筒なし | 積み置かれた木材、皮を剝かれた丸太 | | | | | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-20、ア-42-21のネガフィルム<br>・一定の長さに切られ、積まれた木材。その後ろには薪用に割られた木材が積み上げられ、その上に筵状のものがかけてある<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY.jp11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 42 | | 新潟県 | | 封筒なし | 杭のような木材と木片 | | | | | 109×83 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ネガフィルム<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明<br>・建物を撮影しているが、詳細は不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 43 | | 新潟県 | | 封筒なし | 屋内に立つ女性(全身、正面) | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・女性は頭部にオカブリ(女子のもので、四季を通じて用ひる)、上着はツヅレヵ(ツヅレ・材料は茶ジマなど裏にアサギを合わして刺す。ツヅレは寒い時に着る)。手にはナガゴテ(二の腕までの長さがある。)を着用している(参照：丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』pp.88-90)<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 44 | | 新潟県 | ア-41-8 | 封筒なし | 松の飾られた神棚 | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-41-8のネガフィルム<br>・二つの社が祀られた神棚。正月の松はあるが、注連縄はされていない。準備中ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 45 | | 新潟県 | ア-35-24 | 封筒なし | 山の神の祠の前で礼拝する高橋源蔵氏 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・祠の前で膳を持ち頭を下げる人物<br>・ア-35-24と同じ場所ヵ。写3-30のまとまりから撮影地は三面、被写体は写3-30-66から高橋源蔵氏と考えられる、正月の行事の関連ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 46 | | 新潟県 | | 封筒なし | 木材を背負い運搬する二人の男の子 | | | | | 84×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・雪の残る中木材を背負い運搬する人物たち。三人の人物が撮影されており、左からほっかむりをした男性、地面に腰を下している人物、学生帽を被っている、親子ヵ<br>・背負い具は用いておらず、簔の上に木材を載せ、ロープで固定している<br>・光量が足りない、または簔のようなものがレンズにかかっているため画面左下がほぼ黒い状態<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 47 | | 新潟県 | | 封筒なし | 木材を背負い運搬をする女性たち | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・三人の人物が木材を運搬している。写3-30-47とは人物も異なり、背中に背負い板や背負い梯子のようなものを担いでゐようである<br>・フィルムの露光のためか、本資料の右側は白く光っている<br>・写3-30のまとまりから三面ヵと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 48 | | 新潟県 | ア-37-3 | 封筒なし | 柱に縄で固定されたダンゴ飾り | | | | | 82×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-3のネガフィルム<br>・本資料は柱に縄で固定されたダンゴ飾り。幹が太く、三ヶ所で固定されている。本資料中央には風呂敷らしきものが飾られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 49 | | 新潟県 | ア-42-16<br>ア-42-17 | 封筒なし | 蹄の手入れをする男たち | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-42-16、ア-42-17のネガフィルム<br>・男性が幅の広い器具で馬の蹄の手入れを行なっている。その傍らに立つ男性は馬の脚を両手で持ち支えている<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY」p.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 50 | | 新潟県 | ア-42-10<br>ア-42-11 | 封筒なし | 馬の蹄の手入れをする男性 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ア-42-10、ア-42-11のネガフィルム<br>・上半身裸の男性が馬の蹄の手入れを行なっている。男性は左手の刃物を蹄に当て、右手の槌で刃物の背を打っている。男性の腰に下げられたものは煙草のドウラン(煙草入れ)カ<br>・資料のつながりを考慮すると三面で撮影されたものと考えられる。「アチックマンスリー「DIARY」p.11」によると昭和10年8月25日から村上清文が三面へ出発している事から撮影日、撮影者を推定した | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)8月25日～昭和10年(1935年)9月1日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 51 | | 新潟県 | | 封筒なし | ワラウヂギネで藁打ちをする男たち | | | | | 82×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・藁打ちの様子。円形の石の台の上に藁束を載せ、打つ様子。本資料左にいる人物はワラウヂギネ(モヂツギギネよりも細い。材もヤマグゥが主として用ひられる(丹田二郎「越後三面村布部郷土誌」p.110))を振っている。藁束に左手を添えている人物の右手は振り上げられているが、何を持っているかは不明<br>・写3-30のまとまりから三面カと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 52 | | | 写3-30-36 | 封筒なし | 道に置かれた山車 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム。フィルムに虫食いの様な跡がある<br>・本資料の山車は2階部分に樹木が一本置かれているのみであるため、安良町の嚆矢台と推定した<br>・『村上市史』p.248によると安良町の嚆矢台は、飾り物が「住吉神社の景を、青松一本で表現」とあり、さらに「見送り」という後部の彫刻は「丸能の龍虎のいがみ合い、作者は安良町住人の稲垣又八(有穏周斎の弟)。」とあるため、安良町のものではないかと考えた<br>・祭りの前、もしくは終わった際に撮影したものカ<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 53 | | 新潟県 | | 封筒なし | 三面の男性のみによる屋内での集合写真 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・三面村の男性による記念撮影。成人男性のみならず、小さな子供も加わっている。男性たちの背後には二色の幕があり、その上には天皇と思われる写真が付けられており、国旗も飾られる。成人男性は11人おり、龍音寺の住職の姿もある。子供は最前列に4人、本資料右端に1人の計5人、住職の姿があること撮影地はこれによる | | | | | | | | | 不明 | | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 54 | | 新潟県 | ア-41-48 | 封筒なし | ススハキオトコと三本の木 | | | | | 108×82 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-41-48のネガフィルム<br>・民家の軒先に立てられた松とススハキオトコ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～昭和9年(1934年)12月28日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 55 | | 新潟県 | | 封筒なし | 雪上で棒のようなものを引き作業を行う女性 | | | | | 84×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・雪の積もった中農具の柄と考えられる棒を握って作業する女性。写3-30-43と同一人物。女性の背後には黒っぽい堆肥の様な植物がある<br>・女性は頭部にオカブリ(女子のもので、四季を通して用ひる)、上着はツヅレカ(ツヅレ-材料は茶ジマなど裏にアサギを合わして刺す。ツヅレは寒い時に着る)。手にはナガゴテ(二の腕までの長さがある。)を着用している(参照:丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』pp.88-90)<br>・写3-30のまとまりから三面カと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写3 | 30 | 56 | | 新潟県 | ア-37-4 | 封筒なし | 油締機で油を絞る様子 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-4のネガフィルム<br>・木製の枠の上部を縄で固定し斜めの位置を保たせている。木枠の中間部に角材が通され、被写体は木枠の中にある円形の穴の掃除を行なっているカ。その前には碗が置かれている。被写体の右足付近に置かれている円柱状の物体は油を絞るための重しカ<br>・本資料は、ア-37-4と関連しており、『渋沢敬三　上』「村上清文氏談話」p.523に村上清文が三面村で宿泊していた家の名前が「高橋」との記述があるため、宿泊している際に撮影されたと考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 57 | | 新潟県 | ア-41-6 | 封筒なし | ススハキオトコの横で子供を抱く男性 | | | | | 109×82 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-41-6のネガフィルム<br>・ススハキオトコの側に立つ男性と抱かれた子供。この男性の子ヵ<br>・子供は防止を被り防寒のため厚い着物を着ている。男性も重ね着をしているが、足元の様子から撮影のために外に出たと考えられる<br>・背後の民家には雪囲いがされており、その上から植物の葉(タバコの葉ヵ)が吊るされている<br>・撮影者、撮影地はア-41-6によった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 58 | | 新潟県 | ア-37-10 | 封筒なし | 正月に迎えた松の横に立つススハキオトコと柴箒 | | | | | 108×82 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ア-37-10のネガフィルム<br>・雪に立てられた正月の松、ススハキオトコ、柴箒。奥の民家には雪囲いがされている<br>・『山に生かされた日々』pp.40-41には同様の写真が掲載され、「松飾りの松を山から採ってくるのは、二十六日ごろからだな。松は五葉松だな。そって村はずれに置いておくんだども。置く所は、上(かみ)の方からとってくれば上に、下(しも)の方からとってくれば下に置くな。(中略)それを家に持ってくるのが三十日(大炊介家の一族は二十八日)。松迎えっていうんさ。そって、家のゆさすくいれないで、入口の所に立ててあるススハキ男と柴箒のところに置いておくんさ。」また、ススハキ男とは、ワラで作ったススハキ箒の事で、12月27日の大掃除の時に用いるとも記述されている。そして30日には「松迎え」を行なうとされている<br>・十二月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和9年の村上清文による三面調査であり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれにより、 | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 59 | | 新潟県 | | 封筒なし | 神棚に飾られたダンゴ飾り | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・ネガフィルム<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 60 | | 新潟県 | | 封筒なし | ダンゴ飾りとガラガラヘンベ | | | | | 109×82 | ・写1-12-15と同一の飾りヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・写真中に「：拾二月☆」と書かれた「十二グヴヅ」と呼ばれる紙が見える(『越後三面村布部郷土誌』pp.53-54参照)<br>・撮影地は写1-12-15による | | | | | | | | | 不明 | | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 61 | | 新潟県 | 写3-30-11 | 封筒なし | 炬燵にあたる3人の子供と洗濯物 | | | | | 108×82 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・炬燵の中から撮影者を見る3人の子供。写3-30-11で作業を見ていた子供たちと同じである。<br>・写1-12-11の高橋源蔵氏宅での記念撮影に写る子供たちと、本資料の子どもたちは類似している。このことから撮影地は高橋源蔵氏宅ヵ | | | | | | | | | 不明 | | 三面村(高橋源蔵氏宅)(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 62 | | 新潟県 | 写3-30-28 | 封筒なし | 座敷に集まり食事をする三面の人々 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・写3-30-28の別アングル。柱近くに口髭をたくわえた男性、囲炉裏の近くには女性と子供が座っている。奥の座敷では男性が手に杯をもてっている | | | | | | | | | 不明 | | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 63 | | 新潟県 | 写3-9-7<br>写3-17-11 | 封筒なし | 山車の上半部分 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・囃子台を撮影しているが、飾り物はない。<br>・『村上市史』p.174「七月の行事」に「村上祭り」の項があり、「七日が本祭りで神輿三基、屋台など19台が街を練り歩き」とあるため、撮影されたのは7月7日頃であり、昭和10年(1935)に7月下旬まで三面村で長期滞在調査を行なっていた村上清文による撮影であると考えられる | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)7月～(備考参照) | 村上町(備考参照) | |
| 写3 | 30 | 64 | | 新潟県 | | 封筒なし | 並べられた土器片 | | | | | 84×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・13片の土器片が並べられており、中央上から2段目にあるのはキャプションカ。土器片の文様具合から縄文土器と考えられる<br>・詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 30 | 65 | | 新潟県 | | 封筒なし | 囲炉裏端に座る男性と膳や鍋など | | | | | 83×109 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b(a)」とあり<br>・ネガフィルム<br>・屋内での撮影で光量が足らず全体的に暗い<br>・写3-30のまとまりから三面aと考えられるが詳細不明 | | | | | | | | | 不明 | | 不明 | |
| 写3 | 30 | 66 | | 新潟県 | | 封筒なし | 幟の前に膳を持って立つ高橋源蔵氏 | | | | | 83×108 | ・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 b」とあり<br>・膳の上に飯とお神酒を載せ、旗の前に立つ高橋源蔵氏<br>・16ミリフィルム「越後三面行」10:07から12:47の「羚羊狩衣装　高橋源蔵氏」に撮影されている人物と似ており、本資料に撮影された旗には「■正四年乙卯　■主　高橋氏」ある<br>・椿宏治　村山七郎　大貫裕康　小田潤「越后の秘境三面」(『民族学研究』第22巻1号　1958年3月　pp.78-79)に掲載された「三面家族譜」における高橋源一郎(源蔵を襲名ヵ)の生年月日は大正3年1月12日となっている。本資料の人物は源蔵を襲名した源一郎氏ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 1 | | 新潟県 | ア-35-44<br>ア-35-45<br>写3-8-1 | 封筒なし | 囲炉裏端に座る母子の後姿 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-35-44のネガフィルム<br>・本資料は、暗い場所で撮影されたためか細部が不明瞭である<br>・本資料右側には囲炉裏が確認でき、その側に帽子、半纏を着た赤子と頭に被り物をした母親らしき人物の後姿を撮影している。母親らしき人物は、左手に棒状の道具を持っている。その右側には被り物をした人物が撮影されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 2 | | 新潟県 | ア-37-6 | 封筒なし | 囲炉裏端に座る家族 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-6のネガフィルム<br>・被写体は主人、主婦と子供2人。囲炉裏には自在鉤によってヤカンが下げられている<br>・撮影された部屋は板敷きの上に畳を敷いている。子供は縞模様の羽織袴を着用している<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 3 | | 新潟県 | ア-37-24 | 封筒なし | 初詣りをする少年 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-24のネガフィルム<br>・フカグツを履き、お盆に瓶と餅を載せ雪の中を歩く少年。初詣りヵ<br>・『山に生かされた日々』p.42には類似すると考えられる「初詣りの供え物・十二個のモチ、酒、銭」の写真が掲載されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 4 | | 新潟県 | ア-41-37 | 封筒なし | 松飾りを取り付けている男性 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-37のネガフィルム<br>・男性が地下足袋らしきものを履いているため屋外での松の取付ヵ<br>・男性が着用しているのはシャッチとモモフギヵ(『越後三面村布部郷土誌』pp.89-90)<br>・三面における一月の行事の準備を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-37のネガフィルムのためア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった、因みに正月の準備では29日(9が苦に通じることから)、31日(一夜飾りを忌む)を一般的に嫌うことから便宜上撮影日を28日までとした | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～昭和9年(1934年)12月28日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 5 | | 新潟県 | ア-41-24 | 封筒なし | 神棚の前に飾られたダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-24のネガフィルム<br>・神棚の前にダンゴの木があり、神棚にも小さなダンゴ飾りがある。神棚の社の前にはガラスの戸がある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-24のネガフィルムのためア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 6 | | 新潟県 | ア-37-8 | 封筒なし | 水辺でのタナワ作り | | | | ・記載なし | 108×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-8のネガフィルム<br>・本資料は用水路に掛けられた石の上で、作業を行なう男性を撮影したもの。男性の足元には、黒みがかった紐状のものが広げられている。男性えお堺に左側のものは細く、右側のものは平たい<br>・タナワはシナノキで作ったものであり、文化庁文化財保護部「狩猟習俗Ⅱ」p.25によると「きわめて強靭な細引きである。長さは七、八ひろというから15メートルぐらいのもの」とある。<br>・日本民具辞典p.249「科」に記載されている加工の工程によると、8月下旬から9月上旬にかけて灰汁で煮て柔らかくし、横槌で叩き剝がれやすくし、水洗いの後に陰干しをする。雪の降り始める11月中旬に「科裂き」を行なうとされている。 | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 31 | 7 | | 新潟県 | ア-35-41 | 封筒なし | 床の間に飾られた小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-35-7のネガフィルム<br>・本資料は壁に「送南風雪梅花東風一　笑含霞春鶯歌口之春」と書かれた紙が貼られており、「天照皇大神宮」の掛軸がかけられている。ダンゴ飾りには布状のものが下げられている。ダンゴ飾りは大きな木で、柱などに固定され、空中に浮かせた状態である<br>・ダンゴの木に一部隠れた書の銘に「高橋利博」と読みとれるものがある。椿宏治ら共著「越後の秘境三面」(『民族学研究』22/1～2　1985『澁澤敬三先生還暦記念』p.78)の「三面家族譜」によると「高橋利博」は「利平・高橋語六」の息子で大正15年(1926)10月27日生とある。そのため、この人物と同一であった場合、写真資料撮影当時は9歳であったと推定される<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 8 | | 新潟県 | ア-41-35<br>ア-41-34 | 封筒なし | 囲炉裏端で木を削る男の子 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-34のネガフィルム<br>・囲炉裏端で木を削っている男の子。その前には同じ長さの皮を剥ぎとった棒が4本置かれており、被写体の男の子は5本目を手に持ち長さを確認している。<br>・棒の片端には細い棒を刺している。<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.5の小正月の行事の中に類似すると考えられるものの記載がある。その内容は「産散先の雪の上に柴を五、六本立てる。此れをハヤシと言ふ。その先に、タラの木の小枝の六、七寸に切ったものを刺す」としている。この行事の準備ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 9 | | 新潟県 | ア-37-23 | 封筒なし | 冬の女性装束 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-23のネガフィルム<br>・7人の女性と子供が2人撮影されている。女性は一様にハンテン(チョーナガ、又はドンブクヵ)を羽織り、エワバリ(出口袖)を着用ヵ。下半身にはハガマを着用し、足元にはワラグツを履いている。中央に立っている子供は、頭に帽子を被り、ソデナシ(袖のない綿入りはんてん)を着用している。足元はワラグヅヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.90-95の装束の説明によると<br>・チョーナガ―モジリ羽織。ハンテンとも云ふ<br>・ドンブク―チョーナガに綿を入れたもの<br>・エワバリ―出口袖<br>・ハガマ―もんぺいと言ふのが標準名であらうか。ハガマの外に、ダフラ、モックラ等とも云ふ。仕事着と云ふよりも、常着に近い。<br>・ワラグヅ―スリッパーのやうになつて居る。昔は年始廻り等にはよく此れを用ひたさうである | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 10 | | 新潟県 | ア-41-35<br>ア-41-34 | 封筒なし | 囲炉裏端で木を削る男の子 | | | | ・記載なし | 82×107 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-35のネガフィルム<br>・囲炉裏端で鉈で木を削っている男の子。その前には同じ長さの皮を剥ぎとった棒が3本置かれており、被写体の男の子は4本目を手に持っているヵ<br>・棒の片端には細い棒を刺している。<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.5の小正月の行事の中に類似すると考えられるものの記載がある。その内容は「産散先の雪の上に柴を五、六本立てる。此れをハヤシと言ふ。その先に、タラの木の小枝の六、七寸に切ったものを刺す」としている。この行事の準備ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 11 | | 新潟県 | ア-37-24<br>ア-41-10<br>ア-41-20<br>ア-41-26 | 封筒なし | ススハキオトコの前に盆を持ち立っている少年 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-10のネガフィルム<br>・ススハキオトコの前に立つ2人の人物。一人は坊主頭の男で半纏を着て、ワラグツをはいている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 12 | | 新潟県 | ア-41-26 | 封筒なし | ススハキオトコの前に盆を持ち立つ少年 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-26のネガフィルム<br>・ススハキオトコの前に立つ2人の人物。一人は坊主頭の男で半纏を着て、ワラグツをはいている。ア-37-24と同一人物ヵ。もう一人は女性で、頭に被り物をしており、立ち去ろうとしている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 13 | | 新潟県 | ア-41-32<br>ア-41-33 | 封筒なし | 鍬下しをする三人の男の子 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-32のネガフィルム<br>・雪の残る田圃の中に3人の人物が入っている。<br>・本資料は予祝行事の鍬下しヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.58によると鍬下しは新暦3月9日に行なう事が記されている。その内容は「ホンのまじなひに田を打つ。但し此の頃は未だ雪があるので、雪の上を耕すことになる。耕すのは誰と限らない。耕した者に餅を焼いてコビリを食べさせる」との記述がある。被写体が持っている鋤の様な道具は「コシケダ」という名称の道具ヵ(・『越後三面村布部郷土誌』p.111によると「屋根の雪を下したりする時に用いる。今はシャベルを代用する」とある)。<br>・三面における行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 14 | | 新潟県 | ア-41-11<br>ア-37-23 | 封筒なし | 冬の女性装束 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-11のネガフィルム<br>・7人の女性と子供が2人撮影されている。女性は一様にハンテン(チョーナガ、又はドンブクヵ)を羽織り、エワバリ(出口袖)を着用ヵ。下半身にはハガマを着用し、足元にはワラグツを履いている。中央に立っている子供は、頭に帽子を被り、ソデナシ(袖のない綿入りはんてん)を着用している。足元はワラグヅヵ<br>・『越後三面村布部郷土誌』pp.90-95の装束の説明によると<br>・チョーナガ―モジリ羽織。ハンテンとも云ふ<br>・ドンブク―チョーナガに綿を入れたもの<br>・エワバリ―出口袖<br>・ハガマ―もんぺいと言ふのが標準名であらうか。ハガマの外に、ダフラ、モックラ等とも云ふ。仕事着と云ふよりも、常着に近い。<br>・ワラグヅ―スリッパーのやうになつて居る。昔は年始廻り等にはよく此れを用ひたさうである | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 31 | 15 | | 新潟県 | ア-41-25 | 封筒なし | 小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>ア-41-25のネガフィルム<br>・撮影されているダンゴ飾りには、リンゴらしきものも飾られている。この飾りの側には帽子を被った男性と子供を背負う女性のポスターが貼られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-25のネガフィルムのためア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月1日～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 16 | | 新潟県 | 写1-12-22 | 封筒なし | 捏ね鉢で団子を作る二人の女性 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・写1-12-22のネガフィルム<br>・捏ね鉢のほかに笊や盥上の桶にも団子が見え大量に作っていることから行事に関する団子作りと思われる(小正月の準備か、)<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる<br>・撮影地は写1-12内で形式や写真類から推定による。 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明（備考参照） | 新潟県・山形県（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 17 | | 新潟県 | | 封筒なし | ガラガラヘンベと締め縄がされた神棚 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・シャモジ型のガラガラヘンベを中央に撮影し、その奥に松が飾られた神棚がある。神棚には注連縄がされており、ダンゴ飾りが付けられている。『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に削す。其の木は大正月の二日に伐つて来たものである。（中略）此等の團子を刺した木をクワンダエとも言ふ。クワンダエにはアワボー（薬に餅を巻きつけたもの）、マエダマ（ノエゴ―薬のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの）、ガラガラヘンベ（大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅）や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・ダンゴ飾り、松、注連縄から1月中の撮影と考えられる<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者や撮影年月日はこれによった | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p211神棚（新潟県三面村） | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 18 | | 新潟県 | ア-41-16 | 封筒なし | 神棚とダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 109×82 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-16のネガフィルム<br>・長押から張りだして祀られている神棚。神棚には燈明と供え物などがあり、その横にはダンゴ飾りが飾られている。注連縄は神棚を斜めに横切るようになされている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 19 | | 新潟県 | ア-41-47 | 封筒なし | 家の戸口で膳を持つ男の子 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-47のネガフィルム<br>・膳を持ち立っている男の子。ア-37-24の男の子と持っている膳の大きさ、載せているものの内容も異なる<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1936年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 20 | | 新潟県 | ア-37-22 | 封筒なし | 節分で集まった子供たち | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・15人の子供を撮影している。子供は男の子が多く、女の子はうち2人である<br>・子供たちは、手描きの鬼の面やカツラをつけ、縁台らしきものの上に並んでいる。2列目の中央寄りに立つ子供は、白い布状のものを広げている。その後ろには幕が張られている。節分の行事ヵ<br>・ア-37-22のネガフィルムであり、ア-37-22の外装記載に「三面村民俗（Ⅲ） 村上清文氏撮影」とあるため、昭和9年から翌10年の三面村長期滞在調査であると考えられ、撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1936年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 21 | | 新潟県 | ア-35-39 | 封筒なし | 小正月の団子作り | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-35-39のネガフィルム<br>・小正月のダンゴ飾りに刺す団子作りヵ<br>・手拭を頭に巻いた二人の女性が木鉢で団子を練り、丸めたものを笊に置く。近くには大きな枡が置いてある。桶の中は作った団子ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 22 | | 新潟県 | ア-37-18 | 封筒なし | 歳徳神の膳、スリッパ | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-18のネガフィルム<br>・本資料は板敷きの上に畳が敷かれた上に置かれた膳を撮影したもの。膳の上には蓋付きの碗2つ、供物の入った椀3つの計5つがある。碗の間に置かれているものは箸ヵ<br>・膳の後ろにスリッパに似たものが置かれている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-37-18のネガフィルムであり、アルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 31 | 23 | | 新潟県 | ア-35-40 | 封筒なし | 小正月の十ニグヮツ | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-35-40のネガフィルム<br>・本資料は二人の人物が棒状のものを広げ作業を行なっている場面である。人物の傍らには、現や棒状のものが無造作に並べられ、さらに円形いれものにも同様のものが入れられている。<br>・人物の正面には盆に伏せられた器が見える<br>・『越後三面村布部郷土誌』p.53には小正月に「十ニグヮツ」を作る事が記載されている。十ニグヮツとは「タラの木を削ったものに、「十二月」」とゴンゲノハンと言ふ星形のものを書き、此れにヤドメの小枝を添えて、神棚、ダンゴの木、家の入口や窓の所などに配る」とあるため、その準備カア-35-40の外装記載に「三面村民俗（Ⅲ）　村上清文氏撮影」とあるため、昭和9年から翌10年の三面村長期滞在調査であると考えられ、撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 24 | | 新潟県 | ア-41-29 | 封筒なし | 三面の民家の天棚や自在鉤、長押より上部 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-29のネガフィルム<br>・囲炉裏の上にある天棚（火棚）とその後ろに祀られている神棚を撮影したもの。天棚には物が載せてある。二つある神棚にはいずれもダンゴ飾りがある。『越後三面村布部郷土誌』p110によると、「ヒダナ（火棚）」の名称を用いており、「此の上にフカグヅやジンベを置くと早く乾く。又、濡れたデダヂ等も下げる」と記述されている<br>・天（あま）とはアマダナ、ヒダナとも呼ばれ囲炉裏上部に天井から吊るすネや竹製の板で、囲炉裏より大きく作られ、上部に買い上がる火の粉を防ぐ（岩井広實監修、工藤員功編2008『絵引 民具の事典』河出書房新社p.157）<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-29のネガフィルムであるためア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 25 | | 新潟県 | ア-41-3 | 封筒なし | 子供たちの節分 | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-3のネガフィルム<br>・ア-37-28のピントが調整されたもの<br>・子供たちは、手描きの鬼の面やカツラをつけ、縁台らしきものの上に並んでいる。その後ろには鼻が張られている。節分の行事ヵ。<br>・中央の白い布を着た子供は手に小さな打ち出の小槌を持っている<br>・・ア-41-3と同一のネガフィルムのため撮影者、撮影地を推測した | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 26 | | 新潟県 | | 封筒なし | 松の飾られた神棚 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・長押から張り出して祀られている神棚。神棚には燈明と供え物、松などがあり、その横の柱にはダンゴ飾りが飾られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 27 | | 新潟県 | | 封筒なし | （欠番） | | | | ・記載なし | | （欠番） | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 31 | 28 | | 新潟県 | ア-41-5 | 封筒なし | 柱に結えられた正月の松 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-5のネガフィルム<br>ポスターが張られた壁の近くに結えられた松。松には四角の紙が付けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-5のネガフィルムであるためア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 29 | | 新潟県 | ア-35-42 | 封筒なし | 膳に乗せられた料理 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-35-42のネガフィルム<br>・本資料は膳の上にある餅ヵ、汁物、漬物、納豆、和え物、魚、徳利を撮影している。正月の歳徳神の膳ヵ<br>・ア-35-42とは天地が逆転している<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年（1935年）1月～（備考参照） | 三面村（備考参照） | |
| 写3 | 31 | 30 | | 新潟県 | ア-41-42 | 封筒なし | 木の枝にダンゴをさす男の子 | | | | ・記載なし | 83×110 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-42のネガフィルム<br>・本資料の半分は隠れている。坊主頭の男の子が箕の中に入れてあるダンゴを木の枝に指している。本資料の半分以上を縞模様の着物が撮影されているため、この着物を着た人物の背後から撮影したものと考えられる<br>・三面における一月の行事の準備を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-3のようにアルバム37の関連が考えられ、またそのアルバム37のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった、因みに正月の準備では29日（9が苦に通じることから）、31日（一夜飾りを忌む）を一般的に嫌うことから便宜上撮影日を28日までとした | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年（1934年）12月26日～昭和9年（1934年）12月28日（備考参照） | 三面村（備考参照） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 31 | 31 | | 新潟県 | ア-41-15 | 封筒なし | 長押に飾られたダンゴ飾りの下部 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-15のネガフィルム<br>・注連縄、鴨居掛には木や竹が掛けてある<br>・鴨居に飾られたダンゴ飾りの下部には、ワラを束ねたものや、小さな農具(鍬、マンガ、イブリ)が飾られている<br>・イブリ―田植えの前に、水田の土をならすための道具(『重要有形民俗文化財指定記念誌　越後奥三面の山村生産用具図録』p.47)<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、圃子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の圃子をさした木をクワンダエとも言ふ。クワンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ―藁のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10 | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 32 | | 新潟県 | ア-37-27 | 封筒なし | 膳に乗せられた料理の俯瞰から見た図 | | | | ・記載なし | 83×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-27のネガフィルム<br>・本資料は膳の上にある餅ヵ、汁物、漬物、納豆、和え物、魚、徳利を撮影している。<br>・正月の歳徳神の膳ヵ<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村台紙記載 | |
| 写3 | 31 | 33 | | 新潟県 | | 封筒なし | 歳徳神の供え物 | | | | ・記載なし | 108×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・被写体の周囲の露出が暗いが膳の上にに12個の団子に串を刺したものが並べてある。その手前には小皿に菜のものが添えられている<br>・『山に生かされた日々』p.43掲載の写真「歳徳神(正月の神様)」に同様のものが掲載されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p686大晦日のミタマシメ(新潟県) | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)2月～(備考参照) | 三面村台紙記載 | |
| 写3 | 31 | 34 | | 新潟県 | ア-41-19 | 封筒なし | 小正月の飾りがある仏壇 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-19のネガフィルム<br>・撮影されている仏壇には中央にマエダマ(ノエゴ―藁のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの)と団子をさした木が飾られている。仏壇の右扉には弘法大師の掛軸が掛けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村台紙記載 | |
| 写3 | 31 | 35 | | 新潟県 | ア-37-26 | 封筒なし | 神棚に飾られたダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-26のネガフィルム<br>・本資料は神棚に飾られたダンゴ飾り。神棚には社、燈明、お神酒があり、注連縄にダンゴ飾りが飾られている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村台紙記載 | |
| 写3 | 31 | 36 | | 新潟県 | ア-37-14 | 封筒なし | 神棚に飾られたダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 83×110 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-37-14のネガフィルム<br>・本資料は神棚に飾られたダンゴ飾り。本資料右側の神棚には社が置かれており、注連縄がある所へクワンダエが飾られている。<br>・左側の棚は鴨居から縄を掛けて吊っている。柱にお札が貼られ、その前に膳、ダンゴ飾り、棒の立てられた皿が見える<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村台紙記載 | |
| 写3 | 31 | 37 | | 新潟県 | ア-41-9 | 封筒なし | 正月の準備のための用具、三方、ザル、膳、鉈など | | | | ・記載なし | 83×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-9のネガフィルム<br>・板の間に膳、ザル、スゲのムシロ、鉈、三方、布などが置かれている。三面村の正月行事の準備と考えられる<br>・三面における一月の行事の準備を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった、因みに正月の準備では29日(9が苦に通じることから)、31日(一夜飾りを忌む)を一般的に嫌うことから便宜上撮影日を28日までとした | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～昭和9年(1934年)12月28日(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 38 | | 新潟県 | 写1-12-21 | 封筒なし | 神送りの藁人形 | | | | ・記載なし | 109×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・題名は奥三面歴史交流館にある同様の人形の呼称を 参考にした<br>・『山に生かされた日々』p.47によると「神送りは、旧暦の2月2日、新暦でいえば3月はじめごろ。そうすると、そろそろ外に出て働くわけだ。病気になるのもこのころだし、厄病神を送るという意味でねえかな。(中略)ワラ人形をつくって、夕方に15若え衆(15歳になった青年たち)が人形をかついで、部落を3回まわってから人形たて場(部落の前田の淵)に立ててくるわけだ。それに子供が、カネたたきながら、「何神送れば、はやり神送るわ、送るわ」と叫んでついてくんだぜ。昭和37年に、この祭りはやめちまったどもな。」との記述がある<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面 | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 31 | 39 | 新潟県 | ア-41-46 | 封筒なし | 小正月のダンゴ飾り | | | | ・記載なし | 108×83 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-46のネガフィルム<br>・本資料は鴨居の上に飾られたダンゴ飾りで、アワボー、ガラガラヘンベが飾られている。小さな桶状のものはガラガラヘンベヵ。「ダンゴ飾り」は『山に生かされた日々』より参照した<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ—藁のミゴ—に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 40 | 新潟県 | ア-41-12 | 封筒なし | ダンゴ飾りやカンジキなどがかかる民家の母屋 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-12のネガフィルム<br>・鴨居にはダンゴ飾り、カンジキなどがある。ダンゴ飾りには円形のダンゴではなく、楕円形である<br>・ダンゴ飾りの横には植物の葉らしきものが干されている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-12のネガフィルムのためアルバム41のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 41 | 新潟県 | 写1-12-21 | 封筒なし | 神送りの藁人形 | | | | ・記載なし | 109×82 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・写1-12-21のネガフィルム<br>・題名は奥三面歴史交流館にある同様の人形の呼称を 参考にした<br>・『山に生かされた日々』p.47によると「神送りは、旧暦の2月2日。新暦でいえば3月はじめごろ。そうすると、そろそろ外に出て働くわけだ。病気になるのもこのころだし、厄病神を送るという意味でねえかな。(中略)ワラ人形をつくって、夕方に15若え衆(15歳になった青年たち)が人形をかついで、部落を3回まわってから人形たて場(部落の前田の渕)に立ててくるわけだ。それに子供が、カネたたきながら、「何神送れば、はやり神送るわ、送るわ」と叫んでついてくんだぜ。昭和37年に、この祭りはやめちまったどもな。」との記述がある<br>・写1-12-25裏面に「高橋文太郎氏作」とあり、10.2×7.7の大きさの写真は高橋文太郎による撮影の可能性が考えられ、当写真も同一の大きさによることから撮影者はこれによる | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 不明 | 新潟県三面村三面 | |
| 写3 | 31 | 42 | 新潟県 | ア-41-23 | 封筒なし | 正月の神棚 | | | | ・記載なし | 82×109 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-23のネガフィルム<br>・神棚の横には「歳徳大善神」と書かれた紙が張られ、供え物がされている。その横には汚れた四角形の紙がはられている神棚にも供え物と松がある<br>・鴨居の上にはダンゴ飾りがある<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-23のネガフィルムのためアルバム41のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1935年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 43 | 新潟県 | ア-41-45 | 封筒なし | 松飾りがされた神棚 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・ア-41-45のネガフィルム<br>・松飾りがされた神棚。本資料の左側には「送南風雪梅花笑含霞春鶯歌」と書かれた紙が松に取り付けられている<br>・三面における一月の行事を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、ア-41-45のネガフィルムのためアルバム41のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和10年(1936年)1月～(備考参照) | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 31 | 44 | 新潟県 | ア-41-30 | 封筒なし | 雪の積もった三面のカブトヤネの民家 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「村上清文　三面 (e)」とあり<br>・雪の積もった民家。曲屋の中門の前にはススハキオトコが立てられているヵ。<br>・家の前には樹木が植えてある。雪の上にワラの束が置かれているが詳細不明<br>・ア-41-30のネガフィルムのためアルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村(備考参照) | |
| 写3 | 32 | 1 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4ー11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像 \| 焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>〈[引伸]〉(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×63 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 2 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 92×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 3 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×91 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 4 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 62×90 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 5 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 62×91 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 6 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 7 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×63 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 8 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 9 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×91 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 10 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×91 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 11 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×63 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 12 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×91 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 13 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×63 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 14 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×90 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 15 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 16 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 91×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 17 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[棟](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 90×62 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 18 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×90 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 19 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | 90×63 | ・写3-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 20 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | | ・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり<br>・渋沢フィルム整理カードは存在するが、ネガ不明。そのため法量は未計測。 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 21 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2 昭和十年 ■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8 ■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當] [D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | ・記載なし | | ・渋沢フィルム整理カードには「大菩薩峠、奥塩原、神津牧場、赤倉、駒ケ岳」とあり<br>・渋沢フィルム整理カードは存在するが、ネガ不明。そのため法量は未計測。 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 22 | | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・「金城商会」の封筒、本資料が【封筒1】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 1 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒2】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 2 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒3】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 3 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>澁沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒4】 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 32 | 23 | 4 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>滋沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央左)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒5】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 5 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>滋沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒6】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 6 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>滋沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央右)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒7】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 32 | 23 | 7 | | | 【封筒1、表面】<br>三田綱町(黒ペン、右上)<br>滋沢家[様](黒ペン、右上)<br>[Q](紫色スタンプ、右上)<br>[納品](紫色スタンプ、右上)<br>大菩薩峠(黒ペン、縦書、中央右)<br>フィルム(鉛筆、縦書、中央右)<br>奥塩原(鉛筆、縦書、中央右)<br>神津牧場(鉛筆、縦書、中央右)<br>赤倉(鉛筆、縦書、中央左)<br>駒ケ岳(黒ペン、縦書、中央右)<br>神山(黒ペン、縦書、中央右)<br>【封筒1、裏面左側】<br>1(鉛筆、横書、「1」は丸で囲み字)<br>2　昭和十年　■子サント(鉛筆、横書、「2」は丸で囲み字)<br>3(鉛筆、横書、「3」は丸で囲み字)<br>4－11(鉛筆、縦書、「4」「11」は丸で囲み字)<br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像｜焼付]レ[紙]1[枚宛](黒ペン)<br>([引伸])(黒ペン、「引伸」の項目名に縦の取消線)<br>[原板]1/8　■(黒ペン)<br>10[月]22[日受](黒ペン)<br>[月]24[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン)<br>[擔當]　[D](紫色スタンプ)<br><br>【封筒1、裏面右側、明細表上】<br>[現像]18[型]9[枚]PK[替](鉛筆)<br>[現像]36[円](黒ペン) | | | | | × | | ・写真03-32-22(封筒1)の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・金城商会の原板保存袋、112×75、本資料は【封筒8】 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 1 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 83×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 2 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 82×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 3 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 86×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 4 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 89×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 5 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 6 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 88×63 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 33 | 7 | | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 63×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年[夏]上高地にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 34 | 1 | | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-34-6の「金城商会　原板保存袋」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 34 | 2 | | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | ・記載なし | 86×62 | ・写3-34-6の「金城商会　原板保存袋」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳にて」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 34 | 3 | | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-34-6の「金城商会　原板保存袋」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳にて」とあり | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 34 | 4 | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写3-34-6の「金城商会　原板保存袋」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 34 | 5 | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | ・記載なし | 86×62 | ・写3-34-6の「金城商会　原板保存袋」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 34 | 6 | | | 乗鞍岳にて(黒ペン、縦書、裏面、右側) | | | | | × | | ・金城商会の原板保存袋、133×90 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 1 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 87×61 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 2 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 62×85 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 3 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 62×86 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 4 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 5 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 6 | | | 【表面】<br>八ッ嶽(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[榮](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　八ッ嶽にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　八ッ嶽にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 35 | 7 | | | | 【表面】<br>ハッ樋(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[栄](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　ハッ樋にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | ・記載なし | 63×87 | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年九月　ハッ樋にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 8 | | | | 【表面】<br>ハッ樋(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[栄](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　ハッ樋にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある) | | | | | × | | ・金城商会の封筒、183×100 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 9 | 1 | | | 【封筒1、表面】<br>ハッ樋(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[栄](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　ハッ樋にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【封筒1、裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある)<br>【封筒2】<br>記載なし | | | | | × | | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたもの、本資料は【封筒2】<br>・松屋　五階写真機売場の封筒、114×73 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 9 | 2 | | | 【封筒1、表面】<br>ハッ樋(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[栄](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　ハッ樋にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【封筒1、裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある)<br>【封筒3】<br>一枚(黒ペン、縦書、中央) | | | | | × | | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたもの、本資料は【封筒3】<br>・茶色の封筒、120×83 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 35 | 9 | 3 | | | 【封筒1、表面】<br>ハッ樋(黒ペン、縦書、左上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、中央)<br>[御尊名]澁沢[栄](黒ペン、中央)<br>昭和九年九月　ハッ樋にて(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]／[焼付]■[枚]5[宛](黒ペン、中央明細表内、[現像][焼付]の間に斜め線)<br>〈[引伸　寸法　型　紙　枚　宛]〉(黒ペン、中央明細表内、全体に棒線)<br>9[月]29[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>9[月]30[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]■(黒ペン、中央明細表内)<br>【封筒1、裏面】<br>[U](紫色のスタンプ、中央)<br>[焼付][寸法]■8[枚数]17(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]102(黒ペン、中央明細表内)<br>[焼付][寸法]114[枚数]6(鉛筆、中央明細表内)<br>[焼付][金額]60(黒ペン、中央明細表内)<br>[合計][金額]162(黒ペン、中央明細表内)<br>／(黒ペン、中央明細表内右下、合計金額を囲うように斜めの棒線が引いてある)<br>【封筒4】<br>三枚(黒ペン、縦書、中央) | | | | | × | | ・写3-35-8の「金城商会」の封筒に入っていたもの、本資料は【封筒4】<br>・茶色の封筒、122×83<br>封筒記載文:<br>三枚(縦書、表面、中央) | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 1 | | | | 【裏面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×89 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 2 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 88×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 3 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 72×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 4 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×89 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 5 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×89 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 6 | | | | 【裏面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 88×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 7 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 8 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 86×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 9 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 63×87 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 10 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 11 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 73×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 12 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 71×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 13 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 68×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 14 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 71×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 15 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 70×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 16 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 70×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 17 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 71×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 18 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 69×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 19 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 76×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 20 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 21 | | | | 【裏面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 74×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 22 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 69×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 23 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 71×45 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 24 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | ・記載なし | 87×63 | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和十年七月　赤倉　妙高山　親不知」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 25 | | | | 【表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[ | ]8(裏面)<br>[原板]口[ | ]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計￥]198(黒ペン) | | | | | × | | ・「金城商会」の封筒、132×184 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 26 | 1 | | | 【封筒1、表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【封筒1、裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【封筒1、裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[｜]8(裏面)<br>[原板]口[｜]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【封筒1、裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計｜￥]198(黒ペン)<br>【封筒2】<br>[御預り枚数]ひ　1/8[型]17[枚](黒ペン、明細表内)<br>[焼付][紙]1[枚宛](黒ペン、明細表内) | | | | | | | | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・本資料は金城商会の原板保存袋、114×75 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 26 | 2 | | | 【封筒1、表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【封筒1、裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【封筒1、裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[｜]8(裏面)<br>[原板]口[｜]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【封筒1、裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計｜￥]198(黒ペン)<br>【封筒2】<br>[御預り枚数]ひ　1/8[型]17[枚](黒ペン、明細表内)<br>[焼付][紙]1[枚宛](黒ペン、明細表内) | | | | | | | | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・本資料は金城商会の原板保存袋、114×75 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 26 | 3 | | | 【封筒1、表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【封筒1、裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【封筒1、裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[｜]8(裏面)<br>[原板]口[｜]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【封筒1、裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計｜￥]198(黒ペン)<br>【封筒2】<br>[御預り枚数]ひ　1/8[型]17[枚](黒ペン、明細表内)<br>[焼付][紙]1[枚宛](黒ペン、明細表内) | | | | | | | | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・本資料は金城商会の原板保存袋、114×75 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 36 | 26 | 4 | | | 【封筒1、表面】<br>三田(黒ペン、右側上)<br>澁沢[様](右側上)<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>昭和十年　七月(黒ペン、縦書、右側中央)<br>赤倉、妙高山(黒ペン、縦書、右側中央)<br>親不知(黒ペン、縦書、右側中央)<br>【封筒1、裏面左】<br>お届け(黒ペン、縦書、左側中央)<br>【封筒1、裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛](黒ペン、「／」は[現像]の上にあり)<br>[引伸]／(黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり)<br>[原板]18[｜]8(裏面)<br>[原板]口[｜]9(黒ペン、口は「ひ」カ)<br>8[月]10[日受](黒ペン)<br>[月]11[日納](黒ペン)<br>[引受]■(黒ペン、■は丸囲みあり)<br>[擔當]U(紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内)<br>【封筒1、裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚](鉛筆)<br>138[円](鉛筆)<br>[焼付]口[型]12[枚](鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた横線カ)<br>60[円](黒ペン)<br>レ(黒ペン、「レ」はチェック)<br>／([合計]の文字から右上に向けてあり)<br>[合計｜￥]198(黒ペン)<br>【封筒2】<br>[御預り枚数]ひ　1/8[型]17[枚](黒ペン、明細表内)<br>[焼付][紙]1[枚宛](黒ペン、明細表内) | | | | | | × | | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・本資料は金城商会の原板保存袋、114×75<br>・本資料記載文：<br>[御預り枚数]1/8[型]3[枚](裏面、明細表内)<br>[焼付]4[枚宛](裏面、明細表内)<br>〈[引伸　型　紙　枚宛])(縦書、裏面、明細表内、[引伸　型　紙　枚宛]に縦の棒線あり) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 36 | 26 | 5 | | | 【封筒1、表面】<br>三田（黒ペン、右側上）<br>澁沢[稼]（右側上）<br>[納品]（紫色のスタンプ、右上）<br>昭和十年　七月（黒ペン、縦書、右側中央）<br>赤倉、妙高山（黒ペン、縦書、右側中央）<br>親不知（黒ペン、縦書、右側中央）<br>【封筒1、裏面左】<br>お届け（黒ペン、縦書、左側中央）<br>【封筒1、裏面右側明細表、上】<br>[現像]／各[枚宛]（黒ペン、「／」は[現像]の上にあり）<br>[引伸]／（黒ペン、「／」は[引伸]の上にあり）<br>[原板]18[｜]8（裏面）<br>[原板]口[｜]9（黒ペン、口は「ひ」カ）<br>8[月]10[日受]（黒ペン）<br>[月]11[日納]（黒ペン）<br>[引受]■（黒ペン、■は丸囲みあり）<br>[擔當]U（紫色のスタンプ、裏面、右上明細表内）<br>【封筒1、裏面右側明細表、下】<br>[焼付]118[型]23[枚]（鉛筆）<br>138[円]（鉛筆）<br>[焼付][口][型]12[枚]（鉛筆、口は頭にチェックのようなものがついた猿腰カ）<br>60[円]（黒ペン）<br>レ（黒ペン、「レ」はチェック）<br>／（[合計]の文字から右上に向けてあり）<br>[合計｜￥]198（黒ペン）<br>【封筒2】<br>[御預り枚数]ひ　1/8[型]17[枚]（黒ペン、明細表内）<br>[焼付][紙]1[枚宛]（黒ペン、明細表内） | | | | | × | | ・写3-36-25の「金城商会」の封筒に入っていたもの。<br>・本資料は金城商会の原板保存袋、114×75 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 1 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×90 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 2 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 91×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 3 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 91×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 4 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×91 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 5 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×90 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 6 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×90 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 7 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 88×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 8 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 90×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 9 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 91×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 10 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×90 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 11 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 91×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 12 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 63×90 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 13 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | ・記載なし | 91×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 37 | 14 | | | | 昭和九年八月　日光にて（黒ペン、縦書、右側） | | | | | × | | ・「亀甲館」の封筒、148×100、右上にクリップの跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 1 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍岳山頂（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 62×86 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-1-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「乗鞍岳山頂」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 1 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍岳山頂（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×118 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-1-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 2 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍より　槍・穂高方面（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 61×85 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-2-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和11年9月　乗鞍より槍・穂高方面」と | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 2 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍より　槍・穂高方面（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×106 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は・写3-38-2-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 3 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍　池（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 86×61 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-3-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「[昭和11年9月]乗鞍　池」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 3 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]乗鞍　池（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×107 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-3-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 4 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]池（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 61×85 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-4-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和11年9月　池」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 4 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]池（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×107 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-4-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 5 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 61×84 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-5-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和11年9月　(不記明)」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 5 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×108 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-5-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 6 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]徳沢ニテ（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 63×88 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-6-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和11年9月　徳沢口」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 6 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]徳沢ニテ（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×105 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-6-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 7 | 1 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]徳沢（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 88×63 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・写3-38-7-2は本資料用のネガ保存封筒カ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和11年9月　徳沢」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 7 | 2 | | | [撮影日][昭和]11[年]9[月]（鉛筆、画題表内）<br>[場所]徳沢（鉛筆、画題表内） | | | | | ・記載なし | 72×105 | ・写3-38-8の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・本資料は写3-38-7-1を入れるためのネガ保存用封筒カ | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 38 | 8 | | | | 【表面】<br>三田（黒ペン、右側上部）<br>澁澤（黒ペン、右側上部）<br>[納品]（紫色のスタンプ、右上）<br>昭和十一年九月（黒ペン、縦書、左側上部）<br>乗鞍行（黒ペン、縦書、左側上部）<br>フィルム（黒ペン、縦書、左側上部）<br>【裏面右側明細表、上】<br>[現像｜焼付]■[組][枚宛]（黒ペン）<br>[引伸]／[型]（黒ペン、右側上明細表内、「／」は2段にまたがってあり）<br>[原板]1/8[｜]41（黒ペン）<br>9[月]13[日受]（黒ペン）<br>[月]14[日納]（黒ペン）<br>[取枠]■（黒ペン）<br>[引受]■（黒ペン、■には丸囲みあり）<br>[擔當]U（黒ペン紫色のスタンプ）<br>【裏面右側明細表、下】<br>[現像]18[型]41[枚]DK[替]（印刷と鉛筆）<br>164[円]（黒ペン）<br>[焼付]18[型]35[枚]（印刷と鉛筆）<br>210[円]（印刷と鉛筆）<br>[合計｜￥]374（黒ペン）<br>／　／　（表内、[合計]の段上に右上に向けた「／」が2箇所あり） | | | | | × | | ・「金城商会」の封筒、131×181 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 39 | 1 | | | | 【裏面】<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、上部)<br>[御尊名]澁沢(黒ペン、上部)<br>五湖めぐり(赤鉛筆、縦書、右側)<br>昭和九年(黒ペン、縦書、右下)<br>十一月(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]及[ | 焼付]1[枚宛](黒ペン、中央明細表内)<br>({引伸　寸法　型　紙　枚宛})(中央明細表内、項目全体に黒ペンで積線)<br>[原板]1/8[ ]は(黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]5[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]6[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[取枠]有り(黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]SA(黒ペン、中央明細表内)<br>[記事]1/3(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>S(紫色のスタンプ、中央左)<br>[現像][寸法]■[枚数]4[単価]YK(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[現像][金額]16(黒ペン、下部明細表内)<br>[焼付][寸法]118[枚数]4(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[焼付][金額]24(黒ペン、下部明細表内)<br>九(鉛筆、裏面、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり)<br>[合計][金額]40(黒ペン、下部明細表内)<br>／(黒ペン、下部明細表内、[合計]の段から右上に向け | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写3-39-5の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年十一月　五湖めぐり」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 39 | 2 | | | | 【表面】<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、上部)<br>[御尊名]澁沢(黒ペン、上部)<br>五湖めぐり(赤鉛筆、縦書、右側)<br>昭和九年(黒ペン、縦書、右下)<br>十一月(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]及[ | 焼付]1[枚宛](黒ペン、中央明細表内)<br>({引伸　寸法　型　紙　枚宛})(中央明細表内、項目全体に黒ペンで積線)<br>[原板]1/8[ ]は(黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]5[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]6[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[取枠]有り(黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]SA(黒ペン、中央明細表内)<br>[記事]1/3(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>S(紫色のスタンプ、中央左)<br>[現像][寸法]■[枚数]4[単価]YK(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[現像][金額]16(黒ペン、下部明細表内)<br>[焼付][寸法]118[枚数]4(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[焼付][金額]24(黒ペン、下部明細表内)<br>九(鉛筆、裏面、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり)<br>[合計][金額]40(黒ペン、下部明細表内)<br>／(黒ペン、下部明細表内、[合計]の段から右上に向け | | | | | ・記載なし | 87×62 | ・写3-39-5の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年十一月　五湖めぐり」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 39 | 3 | | | | 【表面】<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、上部)<br>[御尊名]澁沢(黒ペン、上部)<br>五湖めぐり(赤鉛筆、縦書、右側)<br>昭和九年(黒ペン、縦書、右下)<br>十一月(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]及[ | 焼付]1[枚宛](黒ペン、中央明細表内)<br>({引伸　寸法　型　紙　枚宛})(中央明細表内、項目全体に黒ペンで積線)<br>[原板]1/8[ ]は(黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]5[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]6[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[取枠]有り(黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]SA(黒ペン、中央明細表内)<br>[記事]1/3(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>S(紫色のスタンプ、中央左)<br>[現像][寸法]■[枚数]4[単価]YK(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[現像][金額]16(黒ペン、下部明細表内)<br>[焼付][寸法]118[枚数]4(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[焼付][金額]24(黒ペン、下部明細表内)<br>九(鉛筆、裏面、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり)<br>[合計][金額]40(黒ペン、下部明細表内)<br>／(黒ペン、下部明細表内、[合計]の段から右上に向け | | | | | ・記載なし | 63×87 | ・写3-39-5の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年十一月　五湖めぐり」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 39 | 4 | | | | 【表面】<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、上部)<br>[御尊名]澁沢(黒ペン、上部)<br>五湖めぐり(赤鉛筆、縦書、右側)<br>昭和九年(黒ペン、縦書、右下)<br>十一月(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]及[ | 焼付]1[枚宛](黒ペン、中央明細表内)<br>({引伸　寸法　型　紙　枚宛})(中央明細表内、項目全体に黒ペンで積線)<br>[原板]1/8[ ]は(黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]5[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]6[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[取枠]有り(黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]SA(黒ペン、中央明細表内)<br>[記事]1/3(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>S(紫色のスタンプ、中央左)<br>[現像][寸法]■[枚数]4[単価]YK(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[現像][金額]16(黒ペン、下部明細表内)<br>[焼付][寸法]118[枚数]4(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[焼付][金額]24(黒ペン、下部明細表内)<br>九(鉛筆、裏面、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり)<br>[合計][金額]40(黒ペン、下部明細表内)<br>／(黒ペン、下部明細表内、[合計]の段から右上に向け | | | | | ・記載なし | 62×87 | ・写3-39-5の「金城商会」の封筒に入っていたものヵ<br>・渋沢フィルム整理カードには「昭和九年十一月　五湖めぐり」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 39 | 5 | | | | 【表面】<br>[納品](紫色のスタンプ、右上)<br>[御住所]三田(黒ペン、上部)<br>[御尊名]澁沢(黒ペン、上部)<br>五湖めぐり(赤鉛筆、縦書、右側)<br>昭和九年(黒ペン、縦書、右下)<br>十一月(黒ペン、縦書、右下)<br>[現像]及[ | 焼付]1[枚宛](黒ペン、中央明細表内)<br>({引伸　寸法　型　紙　枚宛})(中央明細表内、項目全体に黒ペンで積線)<br>[原板]1/8[ ]は(黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]5[日受](黒ペン、中央明細表内)<br>11[月]6[日納](黒ペン、中央明細表内)<br>[取枠]有り(黒ペン、中央明細表内)<br>[係名]SA(黒ペン、中央明細表内)<br>[記事]1/3(黒ペン、中央明細表内)<br>【裏面】<br>S(紫色のスタンプ、中央左)<br>[現像][寸法]■[枚数]4[単価]YK(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[現像][金額]16(黒ペン、下部明細表内)<br>[焼付][寸法]118[枚数]4(印刷と鉛筆、下部明細表内)<br>[焼付][金額]24(黒ペン、下部明細表内)<br>九(鉛筆、裏面、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり)<br>[合計][金額]40(黒ペン、下部明細表内)<br>／(黒ペン、下部明細表内、[合計]の段から右上に向け | | | | | × | | ・「金城商会」の封筒、182×100 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 40 | 1 | | | | 【表面】<br>九年夏　上高地にて（黒ペン、縦書、左上）<br>蓼科（一枚）（黒ペン、縦書、左下）<br>三田（黒ペン、縦書、中央）<br>澁澤[様]（黒ペン、縦書、中央）<br>[現]■[像][焼附　紙]七[枚宛]（黒ペン、■はチェック印カ、右側明細表内）<br>([引伸　寸法　｜　紙　枚宛])（右側明細表内、[引伸　寸法　｜　紙　枚宛]全体の上に斜め線あり）<br>3[月]6[日受]（右側明細表内）<br>3[月]7[日納]（右側明細表内）<br>[種板寸法]1/8（縦書、右側明細表内）<br>[預り枚数]1（右側明細表内）<br>【裏面】<br>[焼付]［寸法]118[枚数]7（鉛筆、下部明細表内）<br>[金額]42（下部明細表内）<br>ア（鉛筆、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり）<br>[合計]［金額]42（下部明細表内）<br>／（黒ペン、下部明細表内） | | | | | ・記載なし | 63×87 | ・写3-40-2の「金城商会」の封筒に入っていたものカ<br>・渋沢フィルム整理カードには「九年度　□[上]□[高]□[地]　蓼科にて」とあり | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 40 | 2 | | | | 【表面】<br>九年夏　上高地にて（黒ペン、縦書、左上）<br>蓼科（一枚）（黒ペン、縦書、左下）<br>三田（黒ペン、縦書、中央）<br>澁澤[様]（黒ペン、縦書、中央）<br>[現]■[像][焼附　紙]七[枚宛]（黒ペン、■はチェック印カ、右側明細表内）<br>([引伸　寸法　｜　紙　枚宛])（右側明細表内、[引伸　寸法　｜　紙　枚宛]全体の上に斜め線あり）<br>3[月]6[日受]（右側明細表内）<br>3[月]7[日納]（右側明細表内）<br>[種板寸法]1/8（縦書、右側明細表内）<br>[預り枚数]1（右側明細表内）<br>【裏面】<br>[焼付]［寸法]118[枚数]7（鉛筆、下部明細表内）<br>[金額]42（下部明細表内）<br>ア（鉛筆、下部明細表内、[焼付]と[合計]の間にあり）<br>[合計]［金額]42（下部明細表内）<br>／（黒ペン、下部明細表内） | | | | | × | | ・「金城商会」の封筒、181×98 | | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 40 | 3 | | | | 上高地にて（黒ペン、縦書、右） | | | | | × | | ・写3-40-2の「金城商会」の封筒に入っていたものか。<br>・「金城商会」の原板保存袋、114×76 | | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 41 | 1 | | 台湾 | ア-74-27 | 封筒なし | 屋根を失った家屋 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイワス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んどー〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05：44周辺キャプションには「マカザヤザヤ　三月二十七日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.2に「政策による聚落の合併、分裂(山脚移住)が近年甚だしかったため」とあり移住後の家屋と考えられる | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」06:14 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月27日～昭和12年(1937年)3月28日（備考参照） | 台湾・マカザヤザヤ関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 2 | | 台湾 | ア-75-13 | 封筒なし | 草山にて、水田の牛耕 | | | | ・記載なし | 63×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 3 | | 台湾 | ア-74-26 | 封筒なし | 立てられたスレート状の石や土器、屋根を失った家屋跡カ | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし<br>・写真の向き不明<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイワス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んどー〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05：44周辺キャプションには「マカザヤザヤ　三月二十七日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.2に「政策による聚落の合併、分裂(山脚移住)が近年甚だしかったため」とあり移住後の家屋と考えられる | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 4 | | 台湾 | ア-75-14-2 | 封筒なし | 草山より台北盆地遠景 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 5 | | 台湾 | ア-75-18 | 封筒なし | 縦貫線より水田の車窓 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 6 | | 台湾 | ア-75-12 | 封筒なし | 草山にて、天秤と籠で苗を水田に運ぶ人 | | | | ・記載なし | 63×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 7 | | 台湾 | | 封筒なし | 船上での記念写真<br>(宮本馨太郎、小川徹) | | | | ・記載なし | 90×62 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、船上で移動している期間昭和12年3月20日～23日または4月12～15日を撮影年月日と推定した。<br>・調査参加者である宮本馨太郎、小川徹が被写体となっている記念写真のため撮影者不明。 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)3月20日～昭和12年(1937年)4月15日（備考参照） | 台湾・航路上（備考参照） | |
| 写3 | 41 | 8 | | 台湾 | ア-75-5 | 封筒なし | 草山の田植えが行われた水田 | | | | ・記載なし | 63×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 9 | | 台湾 | ア-75-19 | 封筒なし | 縦貫線より水田の車窓 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。<br>・草山は台北市郊外(現陽明山)であり、「台湾旅行記」p.1および「台湾遠征の両氏帰る」(『アチックマンスリー』p.93)より台湾調査行程中、パイワン族調査前の基隆到着後から屏東移動までの3月23日～25日、パイワン族調査後で学甲庄見学後から台湾出発までの4月9～12日を撮影年月日と推定した。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月23日～昭和12年(1937年)4月12日（備考参照） | 台湾・草山関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 10 | | 台湾 | ア-74-28 | 封筒なし | 屋根を失った家屋、棚・土器など | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし<br>・写真の向き不明<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイワス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んどー〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05：44周辺キャプションには「マカザヤザヤ　三月二十七日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.2に「政策による聚落の合併、分裂(山脚移住)が近年甚だしかったため」とあり移住後の家屋と考えられる | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」06:42 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月27日～昭和12年(1937年)3月28日（備考参照） | 台湾・マカザヤザヤ関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 11 | | 台湾 | ア-74-10 | 封筒なし | バイルスの遠景 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」03：49周辺キャプションには「バイルス　三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日（備考参照） | 台湾・バイルス関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 12 | | 台湾 | ア-74-11 | 封筒なし | パイルスの家屋屋内の棚と彫刻された柱など | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」03:49周辺キャプションには「パイルス　三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05:28周辺に全く同一被写体あり | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」05:28 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日(備考参照) | 台湾・パイルス関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 13 | | 台湾 | ア-74-12 | 封筒なし | パイルスの家屋屋内の棚と壷など | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」03:49周辺キャプションには「パイルス　三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日(備考参照) | 台湾・パイルス関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 14 | | 台湾 | ア-74-13 | 封筒なし | パイルスの家屋屋内の棚と竹籠、バケツなど | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」03:49周辺キャプションには「パイルス　三月二十六日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05:36周辺に全く同一被写体あり | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」05:36 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)3月27日(備考参照) | 台湾・パイルス関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 15 | | 台湾 | ア-74-34 | 封筒なし | タラバコンにおける里芋の播種前の除草に関する火入れ | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」07:13周辺キャプションには「タラバコン附近　粟播きの準備　三月二十八日」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」09:01周辺キャプションに「下パイワンへの途上　パイルス　マカヤザヤ　タラバコン　を観る」とあり、そのため撮影年月日はこの二十八日とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」07:13周辺キャプションには「タラバコン附近　粟播きの準備　三月二十八日」とあるが、アチックマンスリーp.94に「私達が訪れた頃は既に十日程前に粟播きが済んでおりましたが、その代わり里芋の播種でそろそろ村々が忙しくなる時期でしたので、その方は可成り目撃しました。山々の中腹から、又あちらこちらの谷間から不意に白く立ち上がり、又少時の後に弱まつて消え去る煙は、実は真の | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」07:13 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・タラバコン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 16 | | 台湾 | ア-74-35 | 封筒なし | 里芋の播種前に畑の手入れや除草をするのタラバコンの男性達 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」07:13周辺キャプションには「タラバコン附近　粟播きの準備　三月二十八日」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」09:01周辺キャプションに「下パイワンへの途上　パイルス　マカヤザヤ　タラバコン　を観る」とあり、そのため撮影年月日はこの二十八日とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」07:13周辺キャプションには「タラバコン附近　粟播きの準備　三月二十八日」とあるが、アチックマンスリーp.94に「私達が訪れた頃は既に十日程前に粟播きが済んでおりましたが、その代わり里芋の播種でそろそろ村々が忙しくなる時期でしたので、その方は可成り目撃しました。山々の中腹から、又あちらこちらの谷間から不意に白く立ち上がり、又少時の後に弱まつて消え去る煙は、実は真の焼畑の煙ではなく播種を前に行ふ除草に伴ふものでした」とあり、題名 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」08:02 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・タラバコン台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 17 | | 台湾 | ア-74-24 | 封筒なし | マカザヤザヤの遠景 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05:44周辺キャプションには「マカザヤザヤ　三月二十七日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月27日～昭和12年(1937年)3月28日(備考参照) | 台湾・マカザヤザヤ関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 18 | | 台湾 | ア-74-24 | 封筒なし | マカザヤザヤの遠景 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」05:44周辺キャプションには「マカザヤザヤ　三月二十七日」とある、そのため撮影年月日はこの両日間とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月27日～昭和12年(1937年)3月28日(備考参照) | 台湾・マカザヤザヤ関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 19 | | 台湾 | ア-71-10 | 封筒なし | 下パイワン社の木のそばに置かれた網 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経て、ビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へ | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・下パイワン関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 20 | | 台湾 | ア-71-8-1 | 封筒なし | 下パイワン社の笠(リナイ)の製作(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」11:52に「笠(リナイ)の製作」とテロップがあり、その後(13:40)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」13:40 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・下パイワン関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 21 | | 台湾 | ア-71-8-2 | 封筒なし | 下パイワン社の笠(リナイ)の製作(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」11:52に「笠(リナイ)の製作」とテロップがあり、その後(13:40)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」13:40 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・下パイワン関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 22 | | 台湾 | ア-71-5 | 封筒なし | 下パイワン社の家屋 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経て、ビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へ | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・下パイワン関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 23 | | 台湾 | ア-71-13 | 封筒なし | ビューマ社の家屋 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経て、ビューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。二十九日(濃霧)ビューマから峠を越へて、直接クワルスに向ふ。」と | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・ビューマ関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 24 | | 台湾 | ア-71-12 | 封筒なし | ピューマ社の家屋と石塀に腰掛ける男性 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ發下パイワンを經て、ピューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。二十九日(濃霧)ピューマから峠を越へて、直接クワルスに向ふ。」と | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・ピューマ関連目録番号資料アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 25 | | 台湾 | ア-72-3 | 封筒なし | クワルス社の集落遠景(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:52に「クワルス　三月三十日・三十一日」とテロップがあり、その後(25:23)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」25:23 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 26 | | 台湾 | ア-72-4 | 封筒なし | クワルス社の集落遠景(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:52に「クワルス　三月三十日・三十一日」とテロップがあり、その後(25:23)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」25:23 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 27 | | 台湾 | ア-72-21 | 封筒なし | クワルス社の甘藷畑で作業をする女性(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」28:45に「甘藷畑」とテロップがあり、その後(29:14)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」(24:50)に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」19:14 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 28 | | 台湾 | ア-72-22 | 封筒なし | クワルス社の甘藷畑で作業をする女性(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」28:45に「甘藷畑」とテロップがあり、その後(29:14)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」(24:50)に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」19:14 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 29 | | 台湾 | ア-72-23 | 封筒なし | クワルス社にて、網袋に入る収穫された芋(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」28:45に「甘藷畑」とテロップがあり、その後(30:30)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」(24:50)に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」30:30 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 30 | | 台湾 | 写1-13-21 | 封筒なし | クワルス社の頭目の家屋の前の石壇の上に立つ高床の建物 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:22)で本資料に写る場面が紹介される(ただし逆向きからの撮影)ことによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」28:22 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 31 | | 台湾 | ア-72-10-1 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:11)で本資料に写る場面が紹介されること、台湾大学典藏数位化計画(Digital Archives Project of National Taiwan University)の臺灣大學人類學系／民族學影像A206「E クワルス社頭目の家中の雕刻 」に本資料と同じ彫刻が見えることによる。<br>・2枚の写真が貼られている。台紙右下にナンバリング番号と別の数字がスタンプされている(この頁の番号は「1037　1038」)。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」28:11 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 32 | | 台湾 | ア-72-10-2 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:11)で本資料に写る場面が紹介されること、本資料がア72-10-1と同一被写体で角度違いであることによる。<br>・2枚の写真が貼られている。台紙右下にナンバリング番号と別の数字がスタンプされている(この頁の番号は「1037　1038」)。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」28:11 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 33 | | 台湾 | ア-72-11 | 封筒なし | クワルス社の家屋の内部と柱に刻まれた彫刻 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 34 | | 台湾 | ア-72-12 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(27:51)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」27:51 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 35 | | 台湾 | ア-72-13 | 封筒なし | クワルス社の家屋の内部 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 36 | | 台湾 | ア-72-14 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:02)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」28:02 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 37 | | 台湾 | ア-72-15-1 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:02)で本資料に写る場面が紹介されること、本資料がア72-14と同一被写体で角度違いであることによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 38 | | 台湾 | ア-72-15-2 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:02)で本資料に写る場面が紹介されること、本資料がア72-14と同一被写体で角度違い(ピンボケ)であることによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 39 | | 台湾 | ア-72-16 | 封筒なし | クワルス社頭目の家屋の内部(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」27:24に「頭目の家」とテロップがあり、その後(28:02)で本資料に写る場面が紹介されることによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」28:02 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 40 | | 台湾 | ア-72-17 | 封筒なし | クワルス社の家屋の内部 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 41 | | 台湾 | ア-72-18 | 封筒なし | クワルス社の家屋の内部 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名はア72-13と同一被写体で角度違い(ピンボケ)であることによる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 42 | | 台湾 | ア-70-4 | 封筒なし | カビヤンの集落と耕地(関連目録番号資料台紙記載による) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」34:20 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 43 | | 台湾 | ア-70-4 | 封筒なし | カビヤンの集落と耕地(関連目録番号資料台紙記載による) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」34:20 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 44 | | 台湾 | ア-70-10 | 封筒なし | 播種を前に行う除草に伴なう野焼き(備考参照) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる<br>・アチックマンスリー№94で小川が「煙は実は真の焼畑の煙ではなく播種を前に行ふ除草に伴なふものでした」とあり調査時は焼畑の時期ではな | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 45 | | 台湾 | ア-73-35-2 | 封筒なし | トランにて、丸い笊状の道具を使って風力で穀物を選り分ける人々 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p.93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 46 | | 台湾 | ア-75-41 | 封筒なし | 大武山付近で群れをなす牛 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1ほか、参考資料からは調査行程中観音鼻附近の調査日時が推定できなかったため、台湾滞在中の期間を撮影年月日とした。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・大武山関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 47 | | 台湾 | ア-73-36 | 封筒なし | トランの家屋の壁に掛けられた犂や籠、鍬などの民具 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 48 | | 台湾 | ア-73-45 | 封筒なし | カビヤン社の家屋内の梁上の彫刻 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤンヵ関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 49 | | 台湾 | ア-73-47 | 封筒なし | 台湾原住民族家屋内の様子 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料には撮影地の記載がないため、当時の台湾調査の行程から撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 50 | | 台湾 | ア-75-28 | 封筒なし | 学甲庄中洲にて、水辺で水浴びをする水牛 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 51 | | 台湾 | ア-75-34 | 封筒なし | 学甲庄中洲にて廟の内部 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 52 | | 台湾 | ア-73-38 | 封筒なし | トランの竪杵と臼、笊や取っ手のついた籠状の民具 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 53 | | 台湾 | ア-73-16-2 | 封筒なし | ライ社にて、食事の調理の様子 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降りタ刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 54 | | 台湾 | ア-73-12-1 | 封筒なし | ライ社にて、竪杵と木臼を搗く女性達 | | | | ・記載なし | 89×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降りタ刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | 16ミリフィルム「PAI-WAN 1-3」j43:02 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 55 | | 台湾 | ア-73-12-2 | 封筒なし | ライ社にて、丸い笊状の道具を使って風力で穀物を選り分ける女性 | | | | ・記載なし | 90×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降りタ刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 56 | | 台湾 | ア-73-13 | 封筒なし | 車輪のついた道具で物を運ぶ子ども | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降りタ刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 57 | | 台湾 | ア-75-40 | 封筒なし | 観音鼻附近の山並み | | | | ・記載なし | 64×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1ほか、参考資料からは調査行程中観音鼻附近の調査日時が推定できなかったため、台湾滞在中の期間を撮影年月日とした。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・観音鼻関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 58 | | 台湾 | ア-73-32 | 封筒なし | トランの旧集落遠景 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 59 | | 台湾 | ア-73-35-1 | 封筒なし | トランにて、竪杵を使って臼を搗く人々 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 60 | | 台湾 | ア-73-33 | 封筒なし | トランの家屋 | | | | ・記載なし | 65×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 61 | | 台湾 | ア-73-37 | 封筒なし | トランの穀物が入れられた盆状の民具と網代編みされたポシェット状の容器 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料に記載のある「トラン」は、当時の台湾調査の行程から「斗羅渓」周辺のこと推定される。これについては要再検討。日本民族学会『学報IV』『台湾旅行記』および『アチックマンスリー』には「トラン」訪問の記述はみられないため、撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下バイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・トラン関連目録番号資料、台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 62 | | 台湾 | ア-73-46 | 封筒なし | 台湾原住民族家屋内の様子 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・本資料には撮影地の記載がないため、当時の台湾調査の行程から撮影年月日は全調査期間(『アチックマンスリー』p93による)と推定した。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月26日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾アルバム中表紙、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 63 | | 台湾 | ア-75-30 | 封筒なし | 学甲庄中洲にて建物の前で連枷を使用する人々 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 64 | | 台湾 | ア-75-33 | 封筒なし | 学甲庄中洲にて廟の棟部分の装飾 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 65 | | 台湾 | ア-75-32 | 封筒なし | 学甲庄中洲の民具(綜蓑、水桶、鐵杴、鋤頭、犂、牛擔、刈耙、秤擔など) | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・使用している民具の名称については慶友社『台湾の農具』p7,-10,50,73,106,127および図版1,5,6,25,32による。 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 66 | | 台湾 | ア-75-26 | 封筒なし | 学甲庄中洲にて地面に干された作物と子どもたち | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1によると「四月七日には台南州北門郡学甲庄附近を同地の陳華宗氏の御案内で見学」とあることから撮影年月日はこれによる。また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月7日～(備考参照) | 台湾・学甲庄中洲関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 67 | | 台湾 | ア-74-37 | 封筒なし | タパウにて鍋で煮炊きをする二人のタラバコンの女性 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガテープ)」とあり<br>・渋沢フィルム整理カードに貼付の紙焼きとネガのトリミングが異なる(紙焼きは縦長、ネガは横長)<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十七日(雨、時々晴)マカザヤザヤ及びパイルス見学。」「二十八日(霧、時々降雨あり)マカザヤザヤ発下パイワンを経てピューマに至る霧の甚しい時は殆んど一〇米先が見へぬ。」とあり、渋沢フィルム28「PAI・WAN 1-3」07:13周辺キャプションには「タラバコン附近 粟播きの準備 三月二十八日」とあり、渋沢フィルム28「PAI・WAN 1-3」09：01周辺キャプションに「下パイワンへの途上 パイルス マカザヤザヤ タラバコン を観る」とあり、そのため撮影年月日はこの二十八日とした、また、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる(因みにアチック写真内にネガフィルムがあるもので紙焼きの状態で6×6のスケールにされている【ネガフィルム自体のコマの大きさは64×90】) | 16ミリフィルム「PAI・WAN 1-3」07:42 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～(備考参照) | 台湾・タラバコン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 68 | | 台湾 | ア-70-11 | 封筒なし | 里芋(バサ)の植付(引用・使用媒体による) | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | 16ミリフィルム「PAI・WAN 1-3」38:35 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料、引用・使用媒体 | |
| 写3 | 41 | 69 | | 台湾 | ア-70-14 | 封筒なし | 座って一服をするカピヤンの男性 | | | | ・記載なし | 90×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる<br>・携えている棒状のものは里芋(パサ)の植え付け時に使う棒(ボカ)と考 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 70 | | 台湾 | ア-70-15 | 封筒なし | 耕作に向かうカピヤン男性の服装(後ろ向き) | | | | ・記載なし | 89×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる<br>・携えている棒状のものは里芋(パサ)の植え付け時に使う棒(ボカ)と考 | 国際常民文化研究機構ウェブサイトトップページ掲載<br>2010URLhttp://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/ | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 71 | | 台湾 | ア-70-13 | 封筒なし | 煙草の葉を分けている女性 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 72 | | 台湾 | ア-70-5 | 封筒なし | カピヤン家屋内の竹籠など | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | 16ミリフィルム「PAI・WAN 1-3」34:20 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 73 | | 台湾 | ア-70-7 | 封筒なし | カピヤン家屋内の竹籠や搗き臼、ボカなど | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる<br>・ボカは「台湾旅行記」p.3に「棒の先端に鉄片を附したもの」とあり渋沢 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 74 | | 台湾 | ア-70-6 | 封筒なし | カピヤン家屋内の竹籠や干した煙草の葉など | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 75 | | 台湾 | ア-70-8 | 封筒なし | カピヤン家屋内の竹籠や壷、甕など | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カピヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カピヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カピヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カピヤン関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 76 | | 台湾 | ア-70-9 | 封筒なし | カビヤン家屋内の竹籠など | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1には「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 77 | | 台湾 | ア-72-19 | 封筒なし | クワルス社頭目の納屋の内部 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「二十九日(中略)直接クワルスへ向ふ。(中略)三十日(快晴)クワルス滞在。三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。」とあり、また渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」24:50に「クワルス | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月28日～昭和12年(1937年)3月29日(備考参照) | 台湾・クワルス関連目録番号資料、台紙記載 | |
| 写3 | 41 | 78 | | 台湾 | ア-70-29 | 封筒なし | 耕作地の斜面 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」『学報Ⅳ　日本民族学会　昭和十二年六月』p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前までの期間と考えられる<br>・ラブダンについて詳細不明<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 79 | | 台湾 | ア-70-30 | 封筒なし | カビヤン内、川が見える場所の遠景 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 80 | | 台湾 | ア-70-30 | 封筒なし | カビヤン内、川が見える場所の遠景 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.2に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる<br>・「台湾旅行記」p.1には「三十一日(快晴、断雲が飛ぶ)夕刻カビヤンへ向ふ。 四月一日(快晴、断雲)カビヤン滞在。 三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、」とあり三月三十一日夕刻～四月三日午前 | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)3月31日～昭和12年(1937年)4月3日(備考参照) | 台湾・カビヤン関連目録番号資料 | |
| 写3 | 41 | 81 | | 台湾 | ア-73-2<br>ア-73-4 | 封筒なし | ライ社より林辺渓を望む(備考参照) | | | | ・記載なし | 89×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名・撮影地域は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」41:41に「林辺渓」とテロップがあり、その後(41:48)で本資料に写る場面が紹介されること、および関連目録番号資料による。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、プンティ渓に沿ふて下り、アブダン移住部落を経て、林邊 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」41:48 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月3日～(備考参照) | 台湾・林辺渓関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 82 | | 台湾 | ア-73<br>ア-73-24 | 封筒なし | ライ社より林辺渓を望む(備考参照) | | | | ・記載なし | 90×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名・撮影地域は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」41:41に「林辺渓」とテロップがあり、その後(41:48)で本資料に写る場面が紹介されること、および関連目録番号資料による。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、プンティ渓に沿ふて下り、アブダン移住部落を経て、林邊 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」41:48 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月3日～(備考参照) | 台湾・林辺渓関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 83 | | 台湾 | ア-73<br>ア-73-24 | 封筒なし | ライ社より林辺渓を望む(備考参照) | | | | ・記載なし | 88×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・題名・撮影地域は渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」41:41に「林辺渓」とテロップがあり、その後(41:48)で本資料に写る場面が紹介されること、および関連目録番号資料による。<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、プンティ渓に沿ふて下り、アブダン移住部落を経て、林邊 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」41:48 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月3日～(備考参照) | 台湾・林辺渓関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 84 | | 台湾 | ア-73-5 | 封筒なし | ライ社の集落と家屋 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に豪雨がくる)ライ滞在。(中略)六日(晴)午後ライ発」とあり、撮影年月日はこれによる。<br>・本資料は笠原政治編『台湾原住民族映像　浅井恵倫教授写真集』 | 『学報Ⅳ』(昭和12年6月)日本民族学会p3「同社(ライ社)の聚落」<br>16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」42:1842:18 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 85 | | 台湾 | ア-73-6 | 封筒なし | ライ社の集落と家屋 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」42:25 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 86 | | 台湾 | ア-73-17 | 封筒なし | 石敷きの庭に集まるライ社の人々 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 87 | | 台湾 | ア-73-18 | 封筒なし | 木組の棚の下に集まるライ社の人々 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 88 | | 台湾 | ア-73-7-1 | 封筒なし | ライ社の家屋と軒先に立つ子どもたち | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記」p.1に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記」p.1には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に豪雨がくる)ライ滞在。(中略)六日(晴)午後ライ発」とあり、撮影年月日はこれによる。<br>・本資料は左端の子どもの後ろに写る石板と、渋沢フィルム28「PAI-WAN　1-3」43:34に写る石板の形状が、笠原政治編『台湾原住民族映 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」43:39 | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 41 | 89 | | 台湾 | ア-73-7-2 | 封筒なし | ライ社の家屋の軒先に積まれた木材 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に豪雨がく)ライ滞在。(中略)六日(晴)午後ライ発」とあり、撮影年月日はこれによる。 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」43:43 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 90 | | 台湾 | ア-73-7-3 | 封筒なし | ライ社にて、木で組まれた棚と積み上げられた | | | | ・記載なし | 64×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に豪雨がく)ライ滞在。(中略)六日(晴)午後ライ発」とあり、撮影年月日はこれによる。 | 16ミリフィルム「PAI-WAN　1-3」43:45 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 91 | | 台湾 | ア-73-8 | 封筒なし | ライ社の家屋内に立てかけられた木製の棒と竪杵、籠がのせられた木臼 | | | | ・記載なし | 89×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 92 | | 台湾 | ア-73-9 | 封筒なし | ライ社の家屋内の棚に収められた道具とかまど | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 93 | | 台湾 | ア-73-10 | 封筒なし | ライ社の畑へ出る子ども | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 94 | | 台湾 | ア-73-11 | 封筒なし | ライ社の子ども | | | | ・記載なし | 89×64 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 41 | 95 | | 台湾 | ア-73-16-1 | 封筒なし | ライ社にて、食事の調理の様子 | | | | ・記載なし | 64×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「タイワン(ネガケース)」とあり<br>・「台湾旅行記.jp.1」に「三月二十六日より約二週間を鹿野忠雄氏東道の下に高雄州潮州郡下パイワン族の蕃地に過ごし、」とあり、アチック写真内にネガフィルムがあることから撮影者は小川・鹿野両人のどちらかと考えられる。<br>・「台湾旅行記.jp.1」には「(四月)三日(快晴、午後より天候漸次悪化)朝カビヤン出発、(中略)林邊渓に降り夕刻ライ着。四日、五日(薄曇から遂に | 『民具マンスリー』42巻3号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙吉田三郎「男鹿寒風山麓農民日録」アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年口絵第四一図「粟ヅボケ」<br>「アチックミューゼアム1938年口絵第四一図「粟ヅボケ」 | | | | | | | 小川徹、鹿野忠雄 | 昭和12年(1937年)4月4日～昭和12年(1937年)4月6日(備考参照) | 台湾・ライ関連目録番号資料、備考参照 | |
| 写3 | 42 | 1 | | 秋田県 | ア-44-43 | 封筒なし | 粟ヅボケ | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-43のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」」第四一図「粟ヅボケ」のキャプションに「10月24日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月十九日(土)』jp.215に「かうして刈つた粟を十二把を一緒にして立て、穂先の處をツナギでシバつて置くのです。これを一ツボケと申してゐます。」とあり | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月24日～ア-44-43台紙記載 | 寒風山麓脇本村三嶋神社裏畑ア-44-43台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 2 | | 秋田県 | ア-44-37 | 封筒なし | 稲ケシ、先にかけた稲杭から別の杭にかけかえるところ | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-37のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」第三六図「稲ケシ　1(先にカケた稲杭から別の杭に持ってゆく。)」のキャプションに「10月24日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月十五日(火)』pp.209-211に「前にかけてある穂ニヨのそばに一本の杭をついてその杭へかけ返すのです。即ち、今まで上であつた稲が今度は下になる訳です。かけ方は前の刈つた時のかけ方と反対です。前者は重に穂を乾すのが目的であり、後者は、莫た種を乾すのが目的である。ために前者は杭を中心にして穂を出来るだけ外部に出さうとするに反して、後者は出来るだけ元莫の方を外に出さうとするのです。そしてそのかけ方は杭を中心にして矢張り四方に元莫が出る様にします。そして元莫の方を少しくつげて、穂の方をひろげま | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三六図「稲ケシ　1(先にカケた稲杭から別の杭に持ってゆく。)」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月24日～ア-44-37台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下の田ア-44-37台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 3 | | 秋田県 | ア-44-35 | 封筒なし | 稲のソクタテ(畔にまたがせて立たせた縦から見た所) | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-35のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」第三五図「稲のソクタテ　縦」のキャプションに「10月8日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月三日(木)』jp.198に「畔にまたがせて立てることを、東立(ソクダテ)と申してゐます。東立は莫を上方に、穂の方を土につく様にしてゐた。それが為に数週間も杭にかけないでゐると穀は発芽するといふことが往々あつたと聴く。それが改良されて今日では刈つたら即時に杭にかける様になりました。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三五図「稲のソクタテ　縦」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月8日～ア-44-35台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三五兵衛馬喰田ア-44-35台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 4 | | 秋田県 | ア-45-24 | 封筒なし | 富永協同組合作業場 | | | | ・記載なし | 61×95 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-24のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる<br>・作業場右手前にある石碑現存(2007年3月29～31日の常民研調査) | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-45-24台紙記載 | 寒風山麓大倉村踊場富永協同組合作業場ア-45-24台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 5 | | 秋田県 | ア-44-44 | 封筒なし | 藁にお | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-44のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」第四三図「藁にほ」のキャプションに「11月1日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月十九日(土)』jp.214に「藁ニホは円型にして積みます。兼造と二人で積む。兼造は藁を二把ヅツ私に投げて私はそれを受け取つて積むのです。積み方は即ち藁の元莫の方を外部にして、穂先の方を内部にする様に、円型に重ねてゆく。二回もまはれば中央を一周位積んで廻る。中央にも藁をやらねば中央が穴になるし、又積んだ藁が外部にくずれやすいのでそれを食ひ止める為かからしても是非外部二廻に中央一廻の割合に積まねばなりません。高さも大きさもその人に依つて違ひます。今日私のやつた場合の大きさは直径九尺、高さ七尺、但し高さも尺とは雨打ぎはまでの處です。そこから更に屋根の如く、円型にして上になり次第にとがらして積んでゆく。即ち一段ごとに二四寸のウバイにして積むのです。そしてノマをかけゲボシをかけ縄をそ | 『民具マンスリー』42巻4号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年口絵第四三図「藁にほ」アチックミューゼアム1938年口絵第四三図「藁にほ」吉田三郎<br>『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年口絵「3　ワラいねよ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-44-44台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田豊治氏宅ア-44-44台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 6 | | 秋田県 | ア-44-42 | 封筒なし | 蕎麦ヅボケ | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-42のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」」第四二図「蕎麦ヅボケ」のキャプションに「11月1日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月二十六日(土)』pp.220-221に「ソバ刈りをしたりそれをツボケたりする。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第四二図「蕎麦ヅボケ」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「3　そばつぼげ」秋田文化出版社<br>1971年口絵「3　そばつぼげ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-44-42台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三郎畑の隣畑ア-44-42台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 7 | | 秋田県 | ア-44-40 | 封筒なし | 大豆ヅボケ | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-40のネガ<br>・「男鹿寒風山農民日録」第三九図「大豆ヅボケ」のキャプションに「11月1日」とあり<br>・「男鹿寒風山農民日録」『十月二十四日(木)』jpp.218-219に「大豆を抜て豆ヅボケにして日光に乾して置き、夜晴天の日を見て大豆押しをするのです。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三九図「大豆ヅボケ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-44-40台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三郎畑の隣畑ア-44-40台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 8 | | 秋田県 | ア-45-25 | 封筒なし | 稲を馬に付けて運ぶ(シレポイ)男の子 | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-25のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-45-25台紙記載 | 寒風山麓脇本村萱積場の道路ア-45-25台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 9 | | 秋田県 | ア-44-41 | 封筒なし | 稲マロギ | | | | ・記載なし | 61×94 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-41のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第四〇図「稲マロギ」のキャプションに「11月1日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十月十一日（金）』pp.204-205に「稲マロギは普通一束五把、即ち十五把を一マロギにするのです。先づ右手で穂ニヨから一把づつ稲を持ち出して左手にのせかけます。五把をならべた左手で腰に結びつけてあるツナギを一本取り出してツナギの先端を左手で握り、一方先端を右手に持つて、左手にのせかけてある稲にツナギを添はせて逆に返して、自分の足元の處に置く。さうするとツナギは稲の下になつて即ちツナギの上に稲が五把ならべられる訳です。その上に次ぎは四把の稲を反対につげる。そして又その上に六把の稲を最初の五把の稲と同様にしてならべあげてツナギでカーばいしめて後ツナギの両方の先端を一緒にして両方の手でねぢり廻してそれで良い訳です。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第四〇図「稲マロギ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-44-41台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三郎カヤ積場ア-44-41台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 10 | | 秋田県 | | 封筒なし | 板作りの小屋 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ネガ<br>・当該資料が写3-42のネガ群内にあることから撮影者は吉田三郎、撮影地は秋田県脇本村、撮影日は『男鹿寒風山農民日録』の日記をつけ始めた昭和10年3月13日～昭和11年3月12日までとした<br>・詳細不明 | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月13日～昭和11年(1936年)3月12日（備考参照） | 寒風山麓脇本村（備考参照） | |
| 写3 | 42 | 11 | | 秋田県 | ア-45-27 | 封筒なし | 大根を背に付け銅葉袋を付けた馬 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-27のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月1日～ア-45-27台紙記載 | 寒風山麓脇本村萱積場の道路ア-45-27台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 12 | | 秋田県 | ア-44-65 | 封筒なし | 馬耕（馬と犂での田打ち） | | | | ・記載なし | 60×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-65のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月二十四日（水）』p.52に「馬の犂で田を打つことを方言で馬耕と申します。以下馬耕といふ言葉で現します。今日は三本松の田を馬耕かけました。三本松の田を野田とも申します。三本松の田とは、其處に大きな太い松の木が昔から三本茂つて居りました關係上です。目下は二本枯れて一本きりです。それでも村人は三本松の田と申して居ります。」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月二十五日（木）』p.54に「乗遠は朝に肥を馱らがしに行き、午後も三本松田に馬耕をかけに出る。」とあり<br>・田おこし。馬のいる家は馬でやる。馬のいる家はお金持ち、兄の家には馬がいた（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 『民具マンスリー』43巻11号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年p54「田打（馬耕）2　所　家の三本松田　時　四月二十五日」アチックミューゼアム1938年p54「田打（馬耕）2　所　家の三本松田　時　四月二十五日」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月25日～ア-46-65台紙記載 | 寒風山麓脇本村三本松田ア-46-65台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 13 | | 秋田県 | ア-45-28 | 封筒なし | 大豆押し(大豆をジョゲでたたき豆の殻を割る)をする吉田勝江とそれを見る総恵と八重子 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-28のネガ<br>・ア-44-5と同状況だが総恵と八重子の顔の角度やジョゲの角度が違う<br>・吉田勝江は吉田三郎の妻、吉田総恵は吉田三郎長女、吉田八重子は吉田三郎次女（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査）<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十一月十九日（木）』pp.240-241に大豆押しについて「大豆の根元の土をたたぎ落し、それをムシロにならべてジョゲで叩えたたぎます。すると豆の殻は割れて豆は落つます。」とあり<br>・撮影者はア-44-5を撮影している吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月19日～ア-45-28台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅ア-45-28台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 14 | | 秋田県 | ア-44-5 | 封筒なし | 大豆押し(大豆をジョゲでたたき豆の殻を割る)をする吉田勝江とそれを見る総恵と八重子 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-5のネガ<br>・吉田勝江は吉田三郎の妻、吉田総恵は吉田三郎長女、吉田八重子は吉田三郎次女（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査）<br>・『男鹿寒風山農民日録』第四四図「大豆押し」のキャプションに「11月19日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十一月十九日（木）』pp.240-241に大豆押しについて「大豆の根元の土をたたぎ落し、それをムシロにならべてジョゲで叩えたたぎます。すると豆の殻は割れて豆は落つます。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第四四図「大豆押し」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「1　じょげで大豆ほろぎ」秋田文化出版社<br>1971年口絵「1　じょげで大豆ほろぎ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)11月19日～ア-44-5台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅ア-44-5台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 15 | | 秋田県 | ア-45-29 | 封筒なし | 脇本市場（歳末市場）に来ている人々 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-29のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『一月十九日（日）』pp.294-297に「今日は脇本市場の店の種類とその數とを調査に行つた。（中略）今年の歳末市場は近年にない人出であつた。だが売店の人々の話を聴くと、人出は多かつたが売行の悪いこと（少ないこと）は近年にないと痛嘆してゐた。」とあり、この際に撮影されたと考えられる<br>・ア-46-41、42と背景や電柱が同角度であるところから定点撮影されたものと考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)1月19日～ア-45-29台紙記載 | 寒風山麓脇本村脇本市場ア-45-29台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 16 | | 秋田県 | ア-45-5、ア-45-30 | 封筒なし | 吉田三郎畑から見た雪の積もった寒風山の景色 | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-30のネガ<br>・ア-45-5を撮影した後パーンして撮られた写真ぁ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十二月十八日（水）』pp.263-264に「雪、晴、雨、曇（中略）午前に写真を撮りに出たり、それを小包で直ぐ送るべく本村局まで行く。」とあり | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)12月18日～ア-45-30台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三郎宅、同畑ア-45-30台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 17 | | 秋田県 | ア-44-9 | 封筒なし | 刀斬（タツキリ、田と畔とを切り離すための田面から五六寸切っておくこと） | | | | ・記載なし | 90×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-9のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』p.31に「田の刀斬りとは昔のナギ刀の様なもので、田と畔とを離す関係から、畔の両側を田面から五六寸も深く斬つて行くのです。何故かうするかと言ふと、これは今後田打をする畔側についてゐる田の土が良く離れて来るから、非常に都合が良いからです。」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二二図「刀斬」のキャプションに「畔と田の土 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第二二図「刀斬」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「1　田のくろを切る「たじ」」秋田文化出版社<br>1971年口絵「1　田のくろを切る「たじ」」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月25日～ア-44-9台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田秀吉宅下ア-44-9台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 18 | | 秋田県 | ア-44-29 | 封筒なし | 馬耕（馬と犂での田打ち） | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-29のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二七図「田植まで　1（田打）」のキャプションに「4月25日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月二十四日（水）』p.52に「馬の犂で田を打つことを方言で馬耕と申します。以下馬耕といふ言葉で現します。今日は三本松の田を馬耕かけました。三本松の田を野田とも申します。三本松の田とは、其處に大きな太い松の木が昔から三本茂つて居りました關係上です。目下は二本枯れて一本きりです。それでも村人は三本松の田と申して居ります。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第二七図「田植まで　1（田打）」吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年p54「田打（馬耕）1　所　家の三本松田　時　四月二十五日」アチックミューゼアム1938年p54「田打（馬耕）1　所　家の三本松田　時　四月二十五日」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月25日～ア-44-29台紙記載 | 寒風山麓脇本村三本松田ア-44-29台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 19 | | 秋田県 | ア-45-2 | 封筒なし | 脇本村農会主催馬耕競牽会の様子 | | | | ・記載なし | 60×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-2のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月五日（日）』p.64に「私はその間脇本村農会主催の馬耕競牽会を見物に行つたり」とあり、この際に写されたものと考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月5日～ア-45-2台紙記載 | 寒風山麓脇本村飯ノ町田圃ア-45-2台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 20 | | 秋田県 | ア-45-3 | 封筒なし | ナタネの花を前に座る吉田三郎の友人二人 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-3のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月五日（日）』p.64に「私はその間脇本村農会主催の馬耕競牽会を見物に行つたり」とあり、当該資料も同撮影地であることからこの際に写されたものと考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月5日～ア-45-3台紙記載 | 寒風山麓脇本村飯ノ町の畑ア-45-3台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 21 | | 秋田県 | ア-45-10 | 封筒なし | 脇本村農会主催馬耕競牽会の様子 | | | | ・記載なし | 60×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-10のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月五日（日）』p.64に「私はその間脇本村農会主催の馬耕競牽会を見物に行つたり」とあり、この際に写されたものと考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月5日～ア-45-10台紙記載 | 寒風山麓脇本村宇飯村田圃ア-45-10台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 22 | | 秋田県 | ア-44-67 | 封筒なし | 田打ち後、細かに土を刻む田キジャミをする人々 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-67のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月十六日（木）』pp.74-75に「母は炊事、兼遠は朝に三本松田の灌漑溝を掘りに行き、午前も午後も毘沙門田にキザムに行く。」とあり<br>・水を入れる前に田を耕している。いちばんはじめにやる、自分の田を家族総出で3時4時に起きてやる。春早く寒いためソデナシのチャンチャンコ（ワタイレ）を着ている（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調 | 『民具マンスリー』44巻1号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「8　たうち」秋田文化出版社<br>1971年口絵「8　たうち」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月16日～ア-44-67台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅下田圃ア-44-67台紙記載 | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 23 | 秋田県 | ア-45-11 | 封筒なし | 馬に肥料をのせ運搬する男 | | | | ・記載なし | 92×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-11のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月20日～ア-45-11台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下の道路ア-45-11台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 24 | 秋田県 | ア-44-27 | 封筒なし | 味噌を作るために豆を蒸すところ | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-27のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二五図「味噌煮1　豆を蒸す」のキャプションに「5月19日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月十九日（日）』p.78に「先づ釜に火を焚き湯を沸し、蒸気（エギ）が揚つたら、昨日水洗ひして後浸して置いた大豆を汲み取り、コシキに入れます。このコシキに大豆を入れるに二つの方法があります。一つは先づ一定量の大豆を入れたら一先づ中止して、再び蒸気の揚がるを待ち、蒸気が揚つたら又大豆を入れ、そして又蒸気が揚つたら大豆を入れると言ふ具合に、五斗のダ大豆なら五回位に入れるのである。今一つは最初蒸気が揚つたら、五斗の大豆を一回に全部コシキに入れてしまふと言ふ方法とあります。私は四五年前までは前者の方法でやつて来た。だが考へると後者の方が良い様に思ふのでそれ以来後者の方法を実行して来た。今回も後者の方法でやつた。大豆が入れ終わつたら板のフタをしてコモを二三枚かけるのです。そして絶えず火を焚くのです。火を焚きながら釜の湯加減を見て水を注入いでやる。水を注入するにも二方法ある。その一は竹の節を抜き取つたのをコシキの中を通して釜の中に接続させ、そして水を注入するのと、今一は竹の割つた一尺位のものを、コシキの外部、即ちデワとコシキの間に差込んでやると釜部に接続します。それから水を注入するのとありま | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第二五図「味噌煮1　豆を蒸す」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月19日～ア-44-27台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅ア-44-27台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 25 | 秋田県 | ア-44-68 | 封筒なし | 田キジャミをする男性 | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-68のネガ | 『民具マンスリー』44巻2号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年p83『男鹿寒風山農民日録』p.83『田キジャミ　所　吉田傳次郎氏小川崎田　時　五月二十二日』アチックミューゼアム1938年p83『男鹿寒風山農民日録』p.83『田キジャミ　所　吉田傳次郎氏小川崎田　時　五月二十二日』 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月22日～ア-44-68台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田傳次郎氏小川崎田ア-44-68台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 26 | 秋田県 | ア-44-28 | 封筒なし | 味噌を作るために煮た豆を踏むところ | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-28のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二六図「味噌煮2　煮た豆を踏む」」のキャプションに「5月20日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月十九日（日）』p.79に「斯くて狐色になるまで火を焚きます。大豆が狐色になると火を止めます。そして一時間も放置して後愈々搗くのです。搗き方にも三つの方法があります。大きな木臼に入れて五六人の男女が太い木の棒で搗くのと今一つは大きな桶に入れて藁靴をはいて大豆を踏むと、又臼に入れてツキで搗くとあります。私の一族では以前から棒で搗くことをやつて来ましたが、私がやる様になつてからは第二の方法を実行してゐます。能率もあがるし、出来も良い訳です。搗く量は臼でやる場合は一回に大豆一斗位桶で踏む場合は約七升位。それで麹と籾と大豆の割合は大豆一斗に対して麹七升に籾七升これを七合あひと申し、何れも一斗づつの割合でやる人もあります。これを十合あひと申します。主に百姓は七合あひを実行してゐます」とあり<br>・藁沓を履いて踏んでいる（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研 | 吉田三郎『民具マンスリー』44巻2号神奈川大学日本常民文化研究所表紙第二六図「味噌煮2　煮た豆を踏む」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月20日～ア-44-28台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅内ア-44-28台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 27 | 秋田県 | ア-45-12 | 封筒なし | 馬を使った田かき | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-12のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月22日～ア-45-12台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家の三本松田ア-45-12台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 28 | 秋田県 | ア-44-69 | 封筒なし | 田の畔塗り（荒塗り）をする男性 | | | | ・記載なし | 60×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-69のネガ<br>・撮影者はアルバム44全体に関わっている吉田三郎と考えられる | 『民具マンスリー』44巻3号神奈川大学日本常民文化研究所表紙 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月22日～ア-44-69台紙記載 | 寒風山麓脇本村高瀬竹造（アイ田）ア-44-69台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 29 | 秋田県 | ア-44-3 | 封筒なし | 馬を使った田かき（アラグレカキ） | | | | ・記載なし | 60×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-3のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二八図「田植えまで　2（田カキ―アラグレカキ）」のキャプションに「5月22日」とあり<br>・アラグレカキは子供の仕事だったという（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第二八図「田植まで　2（田カキ―アラグレカキ）」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社 1971年秋田文化出版社 1971年口絵「4　がぎべらの仕事（さひどり）」秋田文化出版社 1971年口絵「4　がぎべらの仕事（さひどり）」」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月22日～ア-44-3台紙記載 | 寒風山麓脇本村三本松田ア-44-3台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 30 | 秋田県 | ア-45-13 | 封筒なし | 中休みの弁当を持って苗代から苗を馬で運ぶ男性 | | | | ・記載なし | 60×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-30のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『五月三十日（木）』p.89に「今日の金治部宅での仲休の飯は小豆飯、山ンドと鍊を味噌と酢で和ひ物をしたのと又ササゲを黒砂糖で煮たもの、コンニャクと笹筍とニガキ鍊と諸等を醤油で煮つけたもの等。お酒は無論。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年p89「田植の時苗を苗代から田へ運搬の場。又上の荷物と人の持つてゐるものは田植糸女の仲休食です　所　吉田重治氏宅下　時　五月三十日」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社 1971年秋田文化出版社 1971年口絵「4　田へねことべんとを運ぶ」秋田文化出版社 1971年口絵「4　田へねことべんとを運ぶ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)5月30日～ア-45-13台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田重治氏宅下ア-45-13台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 31 | 秋田県 | ア-45-14 | 封筒なし | 田植をするために型を廻ぐす（マグス）男性と格木（角棒）で田を均す男性を複合した二重写しの写真（多 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-14のネガ<br>・多重露光の一つの画像はア-44-32と同一、但し撮影日は6月3日 | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)6月2日～ア-45-14台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田耕太郎氏の関の田、佐藤倉吉氏の田ア-45-14台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 32 | 秋田県 | ア-44-32 | 封筒なし | 田植をするために型を廻ぐす（マグス）男性 | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-32のネガ<br>・「型」とは田植枠のこと<br>・『男鹿寒風山農民日録』第三〇図「田植まで　4（田植の直前田に型をつける）」のキャプションに「6月3日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『六月一日（土）』p.92に「本家では兼造朝田廻りをやり、午前には馬草を刈つたり、又、明日田植為すために田に型を廻（マ）ぐしに行く、午後も同様。型は七寸四方のものです。色々な種類があります。」とあり<br>・苗を植えるための型をつける（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三〇図「田植まで　4（田植の直前田に型をつける）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)6月3日～ア-44-32台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田耕太郎氏の関の田ア-44-32台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 33 | 秋田県 | ア-44-31 | 封筒なし | 格木（角棒）で田を均す男性 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-31のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二九図「田植まで　3（田ナラシ―大きな格木を曳く）」のキャプションに「6月3日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十四日（日）』pp.43-44に「私はカキ終った苗代をイブリと申す道具で苗代面の高低を均らし、更に長さ二間、巾二寸、厚さ一寸五分位の角棒で再度均らし、そして萱の二尺位の棒を苗代の中央に一本或はニ本、三本と立てて、そして一歩々々と自分の足跡のつかぬ様に極めてネヅグ（テイネイ）行ふのであります。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第二九図「田植まで　3（田ナラシ―大きな格木を曳く）」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社 1971年秋田文化出版社 1971年口絵「4　しろぎ（田をならす）」秋田文化出版社 1971年口絵「4　しろぎ（田をならす）」」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)6月3日～ア-44-31台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下の田ア-44-31台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 34 | 秋田県 | ア-44-34 | 封筒なし | 横一列で田の草取りをする人々 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-34のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第三三図「田草取り」のキャプションに「7月13日」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三三図「田草取り」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)7月13日～ア-44-34台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田耕太郎氏の田ア-44-34台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 35 | 秋田県 | ア-44-30 | 封筒なし | 馬モッコをつけた馬 | | | | ・記載なし | 60×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-30のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『七月二十日（土）』p.136に「本家では兼造朝に馬草を刈り、午前にはママから砂を肥料場へ馬で運搬する。馬屋肥や草を混ぜて堆肥とするのです。」とあり<br>・馬に肥料をつけて運ぶ（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年p136「堆肥切返しに交ぜる土を馬で運搬するこのモッコを馬モッコと言ふ。　所　本家宅前　時　七月二十日」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社 1971年秋田文化出版社 1971年口絵「3　んまもっこで土肥を運ぶ」秋田文化出版社 1971年口絵「3　んまもっこで土肥を運ぶ」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)7月20日～ア-44-30台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅内ア-44-30台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 36 | 秋田県 | ア-44-33 | 封筒なし | 苗代で苗取りをする男性たち | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-33のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第三一図「田植まで　5（苗取り）」のキャプションに「6月7日」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第三一図「田植まで　5（苗取り）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)6月7日～ア-44-33台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三九郎苗代田ア-44-33台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 37 | 秋田県 | ア-45-15 | 封筒なし | 苗を取った苗代にガンジヤの木の若芽を敷き詰めた様子 | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-15のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『六月十一日（火）』pp.101-102に「昔はガンジヤと申す木の若芽を刈り取つて来て一面敷渡したものでしたが、今は大抵藁や或は乾草を入れたりします。今もガンジヤを刈つて来て入れる人もあります。（中略）ガンジヤとは学名タニウツギとか申すさうです。」とあり | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)6月13日～ア-45-15台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田豊治氏宅苗代田ア-45-15台紙記載 | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 42 38 | 秋田県 | ア-45-17 | 封筒なし | 脇本村脇本郵便局前の市場の様子 | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-17のネガ<br>・市場は覚えていない。脇本本村に市が立っていた。脇本本村海側には小学校(本校)があった。(吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査)<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる<br>・『男鹿寒風山農民日録』「八月十日(土)」p.158に「妻は今日船川行を中止して朝飯の支度をして、食後脇本市場へ玉菜を売りに行く。(中略)午後には脇本市場を見物に行く。妻は市場から色々な買物をして昼までに | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)8月10日～ア-45-17台紙記載 | 寒風山麓脇本村脇本郵便局前市場ア-45-17台紙記載 | |
| 写3 42 39 | 秋田県 | ア-45-16 | 封筒なし | 玉菜(キャベツ)畑と玉菜についた青虫を捕る吉田総恵 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-16のネガ<br>・父は人よりもいいものを作っていた。センボク(秋田県仙北ヵ)の畑を作っているところへ野菜作りを習いにも行ったし、研究家だった。(吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査)<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる、また『男鹿寒風山農民日録』「六月十三日(木)」p.103に「妻は午前に玉菜の青虫捕り、又、除草などする」とあり、撮影者は妻勝江の可能性も考えら | | | | | | | | | 吉田三郎、吉田勝江 | 昭和10年(1935年)6月13日～ア-45-16台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田三郎畑ア-45-16台紙記載 | |
| 写3 42 40 | 秋田県 | ア-45-20 | 封筒なし | 稲刈りをする女性たち | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-20のネガ(画像では原画の反転画像)<br>・撮影年月日は台紙記載と引用・使用媒体で異なるため、何れの記載も反映させた | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年p203「稲刈り　所　本家宅下　時　十月十日」(上段) | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月2日～昭和10年(1935年)10月10日ア-45-20台紙記載、備考参照 | 寒風山麓脇本村本家宅下田ア-45-20台紙記載 | |
| 写3 42 41 | 秋田県 | ア-45-21 | 封筒なし | 刈り取った稲を杭にかける男性 | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-21のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる<br>・『男鹿寒風山農民日録』「十月二日(水)」p.196に「本家では兼造朝に杭を引き出しまろぐ、一日稲刈りをしたり、又かけたり。」とあり、この際に撮影されたものヵ<br>・当該資料に写っているのは吉田三郎本家の年雇、兼造ヵ | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月2日～ア-45-21台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下田ア-45-21台紙記載 | |
| 写3 42 42 | 秋田県 | ア-44-36 | 封筒なし | 稲のソクタテ(畔にまたがせて立たせた横から見た所) | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-36のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第三五図「稲のソクタテ　縦」のキャプションに「10月2日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』「十月三日(木)」p.198に「畔にまたがせて立てることを、束立(ソクダテ)と申してゐます。束立は莖を上方に、籾の方を土につく様にしてゐた。それが為に数週間も杭にかけないでゐると籾は発芽するといふことが往々あつたと聴く。それが改良されて今日では刈つたら即時に杭にかける様になりました。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第三五図「稲のソクタテ　横」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月2日～ア-44-36台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下の田ア-44-36台紙記載 | |
| 写3 42 43 | 秋田県 | ア-45-22 | 封筒なし | 稲刈りをする女性たち | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-22のネガ<br>・撮影年月日は台紙記載と引用・使用媒体で異なるため、何れも反映さ | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年p203「稲刈り　所　本家宅下　時　十月十日」(下段) | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月2日～昭和10年(1935年)10月10日ア-45-22台紙記載、備考参照 | 寒風山麓脇本村本家宅下田ア-45-22台紙記載 | |
| 写3 42 44 | 秋田県 | (ア-44-39) | 封筒なし | 稲かけしたホニョ(穂にお) | | | | ・記載なし | 89×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・撮影地は『男鹿寒風山農民日録』に掲載されているところから脇本村とした<br>・ア-44-39に写真の剥がれた形跡有り　付箋貼付あり　付箋刊行本:(303P)のネガヵ<br>・ア-44-39台紙記載文「稲かけしたホニヨ　場所　三五兵衛馬喰田　日時　昭10.10.8午後1時」<br>・ア-44-39は『男鹿寒風山農民日録』第三八図「ほにょ」の写真が貼られていたものヵ、同書のキャプションに「10月8日」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第三八図「ほによ　10月8日」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月8日～引用・使用媒体参照 | 寒風山麓脇本村(備考参照) | |
| 写3 42 45 | 秋田県 | ア-44-38 | 封筒なし | 稲ケシ、先にかけた稲杭から別の杭にかけかえたところ | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-38のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第三七図「稲ケシ　2(別の杭にかけた所)」のキャプションに「10月24日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』「十月十五日(火)」pp.209-211に「前にかけてある穂ニヨのそばに一本の杭をついてその杭へかけ返すのです。即ち、今まで上であつた稲が今度は下になる訳です。かけ方は前の刈つた時のかけ方と反対です。前者は重に穂を乾すのが目的であり、後者は、莖と穂を乾すのが目的である。ために前者は杭を中心にして穂を出来るだけ外部に出さうとするに反して、後者は出来るだけ元莖の方を外に出さうとするのです。そしてそのかけ方は杭を中心にして矢張り四方に元莖が出る様にします。そして元莖の方を少しくつげて、穂の方をひろげま | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第三七図「稲ケシ　2(別の杭にかけた所)」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月24日～ア-44-38台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅下の田ア-44-38台紙記載 | |
| 写3 42 46 | 秋田県 | ア-45-23 | 封筒なし | 葱畑 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-23のネガ<br>・撮影者はアルバム45全体に関わっている吉田三郎と考えられる | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)10月24日～ア-45-23台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅畑ア-45-23台紙記載 | |
| 写3 42 47 | 秋田県 | ア-44-15 | 封筒なし | 苗代のクロ塗り(アラ付け) | | | | ・記載なし | 92×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-15のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一一図「苗代のクロ塗1(アラ付け)」のキャプションに「4月7日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』「四月七日(日)」p33に「午後には苗代の畔を塗る。塗方は、昨日掃除して畔の原型を作つてあるので、今日はそれに苗代の土を一鍬づつ順序につけて行くのです。そして土をつけるには上の方かの水口から必ずつけて行くことです。そして一本の畔の両側につけ終つたら、次ぎは鍬で水をつけつけ、右のアラつけした畔をなでてゆきます。それで出来るのです。今日その畔塗りのあらつけする處と、なでる處を二枚写真に撮りました。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第一一図「苗代のクロ塗1(アラ付け)」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～ア-44-15台紙記載 | 寒風山麓脇本村菅原助蔵宅苗代田ア-44-15台紙記載 | |
| 写3 42 48 | 秋田県 | | 封筒なし | 毛皮を鞣すために使う蒲鉾形の板、裏打ち用 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・撮影日は同状況で撮影されているア-44-60によった<br>・ネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』「三月二十一日(木)」pp11-14に「先づ挽木屋に行つて、厚さ三寸の長さ四尺位の杉の大木から角材を挽き取つた残板を買つて来ると、それ自体が自然的な蒲鉾形になつてゐます。故に多少の凸凹は小刀で削り取り、又別に巾六寸長さ五尺厚さ一寸位の板、それを先端三寸位を残して、前の蒲鉾板の先端が食ひ入る様にさいくをします。(中略)先づ右の蒲鉾台上に、一枚の皮を毛並みに、毛を上にして張り付けます。その上にこんどは一枚の皮を頭の方を下にして、毛の部を裏にして、残留附着してゐる肉塊、脂肪塊の方を上向にします。裏打の目的はこの種の肉塊、脂肪塊又は皮下組織を除去するが為ださうです。先づ皮の肛門部の處を爪を以て剥離します。のち其の竹刀で徐々に頭部に向つて逆剥ぎすればよいのです。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年p12「裏打に使用。裏打とは皮に附着せる汚物を取除く為め、上にあげて竹の割つたもので上から下に向つてハダゲル　所　自宅」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～(備考参照) | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅引用・使用媒体記載 | |
| 写3 42 49 | 秋田県 | ア-44-63、ア-44-14 | 封筒なし | マロギ肥(束ねた肥) | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-63のネガ<br>・マロとは束のことでマロクは束ねること(『男鹿寒風山農民日録』p.7)<br>・ア-44-14にも「マロギ肥」があり、同一被写体の別カットと考えられる、また当該資料は二重写しで撮影されている<br>・撮影者はアルバム44全体に関わっている吉田三郎と考えられる | 『民具マンスリー』43巻7号神奈川大学日本常民文化研究所表紙 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月13日～ア-44-63台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金治郎宅ア-44-63台紙記載 | |
| 写3 42 50 | 秋田県 | ア-44-62 | 封筒なし | マロギ肥(束ねた肥)をマロツケ馬で運ぶ男性 | | | | ・記載なし | 90×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-62のネガ(画像では原画の反転画像)<br>・マロとは束のことでマロクは束ねること(『男鹿寒風山農民日録』p.7) | 『民具マンスリー』43巻9号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「4　まろぎ肥運び」秋田文化出版社<br>1971年口絵「4　まろぎ肥運び」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月13日～ア-44-62台紙記載 | 寒風山麓脇本村萱積場の道路ア-44-62台紙記載 | |
| 写3 42 51 | 秋田県 | ア-44-14 | 封筒なし | マロギ肥(束ねた肥) | | | | ・記載なし | 60×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-14のネガ<br>・マロとは束のことでマロクは束ねること(『男鹿寒風山農民日録』p.7)<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一〇図「マロギ肥」のキャプションに「4月13日」とあり<br>・ア-44-63にも「マロギ肥」があり、同一被写体の別カットと考えられる | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第一〇図「マロギ肥」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月13日～ア-44-14台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金治郎宅ア-44-14台紙記載 | |
| 写3 42 52 | 秋田県 | ア-44-19 | 封筒なし | 種籾俵を池に漬けた後、池から取上げ日光に乾したところ | | | | ・記載なし | 60×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-19のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一五図「塩水撰から種蒔まで3(種籾俵を池に漬けて二週間後に池より上げ二日程日に乾す)」のキャプションに「4月13日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』「四月十三日(土)」p.42に「朝に池に漬けてゐた種籾の俵を引揚げて、屋外にならべて日光に乾かす準備をする」とあ | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日錄』アチックミューゼアム1938年口絵第一五図「塩水撰から種蒔まで3(種籾俵を池に漬けて二週間後に池より上げ二日程日に乾す)」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月13日～ア-44-19台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金治郎宅ア-44-19台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 53 | | 秋田県 | ア-44-20 | 封筒なし | 温熱を加え発芽させるために置風呂で沸した湯を種籾俵の上から注いでいるところ | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-20のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一六図「塩水撰から種蒔まで4（苗代へ蒔く種籾に湯を通して温熱を加へ発芽させる。置風呂に湯を涌し、俵の上から今湯を注入してゐる）」のキャプションに「4月14日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十四日（日）』pp.44-45に「湯ドシとは、一旦水漬けした種籾を引揚げて、一日か二日日光に乾し、そして置風呂（シフロ）に湯を沸し、（人間が入れる程度の熱さで）風呂の上に二本の棒を渡して、その上に右の種俵をあげ、俵の上から数十回も湯を汲んではかけ、汲んではかけますそして俵中の種籾がかなり熟くなつたのを見て、別の俵と取り代へる。熱の付けた種俵はシベや藁をしいた床の中に積み重ねて、上からモグを被せます。モグは八郎潟産の藁草のことでせう。この仕事は種籾を発芽させる意味からです。発芽せば苗代へ蒔きます。これをモヤシ蒔と称へます。大抵二日か三日位の予定です。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第一六図「塩水撰から種蒔まで4（苗代へ蒔く種籾に湯を通して温熱を加へ発芽させる。置風呂に湯を涌し、俵の上から今湯を注入してゐる）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月14日～ア-44-20台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金治郎宅ア-44-20台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 54 | | 秋田県 | ア-44-23 | 封筒なし | ゴドサライ、小さなゴミを手で取り除く | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-23のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一九図「苗代作業2（更に小さなゴミを手で除く）」のキャプションに「4月14日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十日（水）』pp.37-38に「このゴドを昔は家内総動員で一つ一つ手でさらつたものです。ところが手の代りに、木の葉さらひを即ちコマジャリを使用するやうになり、それが改良されて、コマジャリより使用し易き独特のゴトサライと申すのを作りまして、近年はみなそれを使用するやうになりました。さらつたゴドはゴド穴へ入れます。」 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第一九図「苗代作業2（更に小さなゴミを手で除く）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月14日～ア-44-23台紙記載 | 寒風山麓脇本村木家宅下苗代田ア-44-23台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 55 | | 秋田県 | ア-44-24 | 封筒なし | イブリで苗代を均すところ、馬で苗代をカクところ | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-24のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二〇図「苗代作業3（イブリといふ道具で大体の高低を均らす。向ふの馬は苗代をカクところ。）」のキャプションに「4月14日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十四日（日）』pp.43-44に「私はカキ終った苗代をイブリと申す道具で苗代面の高低を均らし、更に長さ二間、巾二寸、厚さ一寸五分位の角棒で再度均らし、そして萱の二尺位の棒を苗代の中央に一本或は二本、三本と立てて、そして一歩々々と自分の足跡のつかぬ様に極めてネヅグ（テイネイ）行ふのであります。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第二〇図「苗代作業3（イブリといふ道具で大体の高低を均らす。向ふの馬は苗代をカクところ。）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月14日～ア-44-24台紙記載 | 寒風山麓脇本村木家宅下苗代田ア-44-24台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 56 | | 秋田県 | ア-44-22 | 封筒なし | ゴドサライ、ゴドサライ（道具名）で大きなゴミを取り除いているところ | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-22のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一八図「苗代作業1（大きなゴミをゴドサライといふ道具で除く）」のキャプションに「4月14日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十日（水）』pp.37-38に「このゴドを昔は家内総動員で一つ一つ手でさらつたものです。ところが手の代りに、木の葉さらひを即ちコマジャリを使用するやうになり、それが改良されて、コマジャリより使用し易き独特のゴトサライと申すのを作りまして、近年はみなそれを使用するやうになりました。さらつたゴドはゴド穴へ入れます。」とあり<br>・ゴドサライは針の長いような金属製のもので女性がした。馬を使う仕事は男の人がした（吉田総恵談、2007年3月29～31日の常民研調査） | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第一八図「苗代作業1（大きなゴミをゴドサライといふ道具で除く）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月14日～ア-44-22台紙記載 | 寒風山麓脇本村木家宅下苗代田ア-44-22台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 57 | | 秋田県 | ア-44-21 | 封筒なし | 苗代へ種籾を蒔くところ | | | | ・記載なし | 60×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-21のネガ<br>・撮影者はアルバム44全体に関わっている吉田三郎と考えられる | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第二一図「苗代作業4（苗代に種を蒔くために平面に均らす。腰の棒は苗代の廣さを示す為に、中央に差込んで歩く萱である。一俵蒔には一本、二俵蒔には二本という風に差す。隣の苗代に…」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月21日～ア-44-21台紙記載 | 寒風山麓脇本村木家宅下苗代田ア-44-21台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 58 | | 秋田県 | ア-44-25 | 封筒なし | 苗代をイブリで均らした後、更に角棒で均らすところ、萱の棒を苗代に立てて広さを示すところ | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-25のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二一図「苗代作業4（苗代に種を蒔くために平面に均らす。腰の棒は苗代の廣さを示す為に、中央に差込んで歩く萱である。一俵蒔には一本、二俵蒔には二本という風に差す。隣の苗代にさしたのが見えてゐる。）」のキャプションに「4月14日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月十四日（日）』pp.43-44に「私はカキ終った苗代をイブリと申す道具で苗代面の高低を均らし、更に長さ二間、巾二寸、厚さ一寸五分位の角棒で再度均らし、そして萱の二尺位の棒を苗代の中央に一本或は二本、三本と立てて、そして一歩々々と自分の足跡のつかぬ様に極めてネヅグ（テイネイ）行ふのであります。」とあり | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月14日～ア-44-25台紙記載 | 寒風山麓脇本村木家宅下苗代田ア-44-25台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 59 | | 秋田県 | ア-44-26 | 封筒なし | 手カゴと肥ザル（吉田三郎作） | | | | ・記載なし | 60×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-26のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二四図「自作竹細工　手カゴ　肥ザル　肥ザルは特に畑へ肥料を分配する時に必要」のキャプションに「4月24日」とあり<br>・手カゴは収穫カゴ、肥ザルは肥料を入れて手で蒔く時使う（吉田総恵 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第二四図「自作竹細工　手カゴ　肥ザル　肥ザルは特に畑へ肥料を分配する時に必要」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月24日～ア-44-26台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅前ア-44-26台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 60 | | 秋田県 | ア-44-66 | 封筒なし | ノマをかけた肥料とその肥料をツラシするところ | | | | ・記載なし | 60×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-66のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月二十五日（木）』p.54に「兼造は朝に肥を散らがしに行き、午後も三本松田に馬耕をかけに出る。」とあり、ツラシとは散らがしのことか<br>・ノマとは「苫」のこと（『男鹿寒風山農民日録』p.21など）<br>・撮影者はアルバム44全体に関わっている吉田三郎と考えられる | 『民具マンスリー』43巻12号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月25日～ア-44-66台紙記載 | 寒風山麓脇本村三本松田ア-44-66台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 61 | | 秋田県 | ア-44-64 | 封筒なし | 三本鍬で田を打つ男性と農作業をする女性 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-64のネガ<br>・撮影者はアルバム44全体に関わっている吉田三郎と考えられる | 『民具マンスリー』43巻10号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月24日～ア-44-64台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅下畑ア-44-64台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 62 | | 秋田県 | ア-44-4 | 封筒なし | 温床へ熱湯を注入している吉田勝江とそれを見る二人の子供 | | | | ・記載なし | 60×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-4のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第二三図「温床加温（自宅）」のキャプションに「熱湯を注入す　4月24日」とあり<br>・吉田勝江は吉田三郎の妻、写っている女の子の一人は吉田八重子（吉田三郎次女）<br>（吉田総恵談、2007年3月29～31日の常民研調査） | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第二三図「温床加温（自宅）」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月24日～ア-44-4台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅ア-44-4台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 63 | | 秋田県 | ア-45-31 | 封筒なし | 昼飯を食べる延命寺貯水池復旧工事の人夫たち | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-31のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十二月二十日（金）』p.265に「それから貯水池の事務所に行って、稼ぐに出た労賃を取って来た。」とあり、その際に撮影されてものヵ | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)12月20日～ア-45-31台紙記載 | 寒風山麓脇本村延命寺貯水池復旧工事現場ア-45-31台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 64 | | 秋田県 | ア-45-32 | 封筒なし | 延命寺貯水池復旧工事を行う人々 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-32のネガ<br>・ア-45-33と同状況の別カット<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十二月二十日（金）』p.265に「それから貯水池の事務所に行って、稼ぐに出た労賃を取って来た。」とあり、その際に撮影されてものヵ | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)12月20日～ア-45-32台紙記載 | 寒風山麓脇本村延命寺貯水池復旧工事現場ア-45-32台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 65 | | 秋田県 | ア-45-33 | 封筒なし | 延命寺貯水池復旧工事を行う人々 | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには「アルバム背表紙記載データ」欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-33のネガ<br>・ア-45-32と同状況の別カット<br>・『男鹿寒風山農民日録』『十二月二十日（金）』p.265に「それから貯水池の事務所に行って、稼ぐに出た労賃を取って来た。」とあり、その際に撮影されてものヵ | | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)12月20日～ア-45-33台紙記載 | 寒風山麓脇本村延命寺貯水池復旧工事現場ア-45-33台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 66 | | 秋田県 | ア-45-34 | 封筒なし | 脇本市場（歳末市場）に来ている人々、橇を付けた馬など | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-45-34のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『一月二十四日（金）』pp.300に「旧一月一日」とあり、台紙記載の「旧十二月二十五日」は1月19日と考えられる。その『男鹿寒風山農民日録』『一月十九日（日）』pp.294-297に「今日は脇本市場の店の種類とその数とを調査に行つた。（中略）今年の歳末市場は近年にない人出であつた。だが売店の人々の話を聴くと、人出は多かつたが売行の悪いこと（少ないこと）は近年にないと痛嘆してゐた。」とあり、この際に撮影されたと考えられる | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)1月19日～ア-45-34台紙記載 | 寒風山麓脇本村脇本サイ念寺前ア-45-34台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 67 | | 秋田県 | ア-46-2 | 封筒なし | 馬に付けた橇に肥料を載せる兼造 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-2のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『一月八日（水）』pp.285-286に「本家では兼造朝から肥料運搬をする。」とあり、この際に撮影されたと考えられる | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)1月8日～ア-46-2台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家の肥料場ア-46-2台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 68 | | 秋田県 | ア-46-3 | 封筒なし | 搗き臼にトシ縄と若水桶をあげた行事 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-3のネガ<br>・撮影年月日は旧正月16日（台紙記載）ではなく新暦の2月8日とした、因みに2月7日は旧正月15日で小正月にあたる | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』『アチックミューゼアム1938年p315「搗き臼にトシ縄と若水桶をあげた行事　所　本家宅　時　二月八日（旧正月十六日）」吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年秋田文化出版社<br>1971年口絵「3　わが水の桶」秋田文化出版社<br>1971年口絵「3　わが水の桶」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月8日～ア-46-3台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅ア-46-3台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 69 | | 秋田県 | ア-46-5 | 封筒なし | 正月の若木迎い、松と柳とタラの木等 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-5のネガ<br>・写真を原稿用紙（祭魚洞文庫用紙）に貼り、原稿用紙を台紙に貼ったもの<br>・『男鹿寒風山農民日録』『二月二日（日）』pp.306-309に「九時頃から少しゆるやかになりました故タラの木を伐りに出ました。このタラの木は私宅で使用すべき物ではないが、本家に伐つてやるのです。明日十一日は昔から若木迎ひと申して、小正月に使用する。タラの木、門松、柳等を伐り出して来る日なのです。それが年々タラの木が村中で不足するので、そして若し不足すれば困るもの故、各家では習慣通り一月十一日に伐り出さないで、一日も二日も早く伐り競争（バコ）をして居るのです。（中略）さて午前にタラの木を伐つて本家に持つて行つてやり、（中略）本家では兼造朝から馬草を切り、午前には所謂若木迎ひに山に出た。タラの木は前期の如く私が伐つてやつたし、ただ門松と柳だけ伐つて来た。門松は一般社人の習慣として一本まるの小さい松を伐るか若しくは一本 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月2日～ア-46-5台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅ア-46-5台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 70 | | 秋田県 | ア-46-4 | 封筒なし | 軒先に寒餅を乾す様子 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-4のネガ<br>・写真を原稿用紙（祭魚洞文庫用紙）に貼り、原稿用紙を台紙に貼ったもの<br>・寒餅とは『男鹿寒風山農民日録』『一月十五日（水）』pp.292-293に「今日の餅は寒餅と申してこれは旧の来年の六月一日に食ふ餅です。又春田畑に出る様になれば取り出して食ひます。寒中に搗いた餅は良くシビル（凍る）と申して居ります。餅を搗く時米が一体に良くフケないで、半フケの米とフケたのとが出来る時がある。（フケるとは即ちムシのことである。）さうして出来た米で餅を搗くと、ジャングリ餅と言ふのが出来ます。飯も前者の如く出来ることがある。その時にはメツコ飯と言ふ、面白いことには、天然痘でやられた人をジヤングリと仇名をつけて呼んでゐる。」とあり<br>・（軒先に下がっているのは）みなおもち。丸餅は今は売ってない。正月の寒の時に刻んで乾す。（角餅）これは今も道の駅で売っている。仙北 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』『アチックミューゼアム1938年p295「寒餅　春に焼いて食ふ餅を寒中に搗いて乾しておく所　本家宅　時　一月十九日」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)1月19日～ア-46-4台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅ア-46-4台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 71 | | 秋田県 | ア-46-6 | 封筒なし | 米俵を編む兼造 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-6のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『一月四日（土）』pp.282-283に「本家では兼造朝に馬屋肥を外に運び出し、今日矢張り俵編み。」とあり、当該資料が挿絵写真としてあるが「時　二月四日」とされている、俵編みのことが本文に出たためここで掲載したものか、そのため撮影日時は台紙記載のま | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』『アチックミューゼアム1938年p283「米俵編　所　吉田金太郎宅内　時　二月四日」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月4日～ア-46-6台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金太郎宅内ア-46-6台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 72 | | 秋田県 | ア-44-49 | 封筒なし | 蓑沓をつくる男性 | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-49のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第五〇図「蓑沓の製作」のキャプションに「2月4日」とあり | 『民具マンスリー』42巻10号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年口絵第五〇図「蓑沓の製作」アチックミューゼアム1938年口絵第五〇図「蓑沓の製作」<br>吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年口絵「1　わらぐち作り」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月4日～ア-44-49台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金田郎宅内ア-44-49台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 73 | | 秋田県 | 写3-42-63、写3-42-64、写3-42-65 | 封筒なし | 延命寺貯水池復旧工事を行う人々 | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・撮影者は写3-42全体に関わる吉田三郎ヵ<br>・ネガ<br>・写3-42-63～65までの工事の写真と関係するものか、撮影地はこれにかる<br>・撮影日は『男鹿寒風山農民日録』の日記をつけ始めた昭和10年3月13 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月13日～昭和11年(1936年)3月12日（備考参照） | 寒風山麓脇本村延命寺貯水池復旧工事現場（備考参照） | |
| 写3 | 42 | 74 | | 秋田県 | ア-46-7 | 封筒なし | 小正月の餅搗きをする兼造と吉田三郎の姉 | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-7のネガ<br>・写真を原稿用紙（祭魚洞文庫用紙）に貼り、原稿用紙を台紙に貼ったもの<br>・『男鹿寒風山農民日録』『二月五日（水）』pp.312-313に「本家では朝早くから小正月の餅搗きをする。アネと母と兼造の三人で搗きました。」とあり、当該資料が挿絵写真としてあるが「時　二月四日」とされている、 | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』『アチックミューゼアム1938年p312「餅搗　所　吉田金太郎氏方　時　二月四日午前十時」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月4日～ア-46-7台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田金太郎宅内ア-46-7台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 75 | | 秋田県 | ア-44-50 | 封筒なし | ナマハゲのケダシ（身にまとうもの）を神社の石犬（狛犬）の首に巻きつけたところ | | | | ・記載なし | 60×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-50のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第四九図「ナマハゲのケダシを神社の前の石犬の首に捲つけた處」のキャプションに「2月8日」とあり<br>・「ケダシ」とは『男鹿寒風山農民手記』pp.48-49にナマハゲが「身にまとう物、即ちケダシといふ物を作る。それは藁で編むのです。藁の元の方を一尺五寸も残して末の方ばかりで三つで編んでゆくのです。」とあり | 『民具マンスリー』42巻5号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年口絵第四九図「ナマハゲのケダシを神社の前の石犬の首に捲つけた處」アチックミューゼアム1938年口絵第四九図「ナマハゲのケダシを神社の前の石犬の首に捲つけた處」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月8日～ア-44-50台紙記載 | 寒風山麓脇本村三嶋神社前ア-44-50台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 76 | | 秋田県 | ア-44-51 | 封筒なし | 柳目玉餅（餅花、繭玉カ）を持つ吉田総恵とタラの木の火箸を持つ総恵の従兄弟の男の子 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-51のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第四八図「柳目玉餅とタラの木の火箸」もキャプションに「2月8日」とあり<br>・「目玉餅」とは『男鹿寒風山農民手記』p.42に「目玉餅。これも人々が最初苗代で仕事した時たべる餅です。十二ヶ月ある年は十二本の藁に、十三ヶ月ある年は十三本の藁にそれぞれ餅をつけます。同じのを二つ作ります。」とあり、また同書p.155に「正月十一日は、ナマハゲの面を作ったり、修繕したりする外に、若木迎へと申して、小正月に使用する、生柴、穂ノ木、門松、柳目玉を作る柳、等々を伐って来る日です。」とあり<br>・「タラの木の火箸」とは『男鹿寒風山農民手記』p.45に「キロリにはトゲのあるタラの木の棒を二本置きます。そして子供達でも誰でも間違つてキロリに足をながめてあたるとジギナリ（直グニ）くだんのタラの木の棒でカチヤギます（トゲのハへて居る棒を足の上にあてて引張ること）さうすると足から血がでて傷がつきます。子供は泣きます。それでも仕方ありません。これは正月中にキロリに足を入れると、五月青田に鴨が入つて青田が荒らされるといふのでこんなことをするらしい。」とあり<br>・私といとこ（同学年、吉田三郎の兄さんの子供）。正月にモチをつけたものを持っている、正月の行事、何のためか内容はわからない。私も従兄弟もエプロンをつけている、学校に行く時にもつけた（こんな小さいもの | 『民具マンスリー』42巻11号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年口絵第四八図「柳目玉餅とタラの木の火箸」アチックミューゼアム1938年口絵第四八図「柳目玉餅とタラの木の火箸」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月8日～ア-44-51台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家宅前ア-44-51台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 77 | | 秋田県 | ア-46-9 | 封筒なし | 馬に馬の餅とトシ縄をつけたところ | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-9のネガ（画像では原画の反転画像）<br>・撮影者はアルバム46全体に関わっている吉田三郎と考えられる<br>・昔は皆こういう風に晴段使っているものにトシ縄を付けていたんじゃないか、一年に一回はしていたんじゃないか（吉田総恵談。2007年3月29～31日の常民研調査） | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月8日～ア-46-9台紙記載 | 寒風山麓脇本村本家前ア-46-9台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 78 | | 秋田県 | ア-46-8 | 封筒なし | 三嶋神社境内にあるヒドのための木 | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-8のネガ<br>・撮影者はアルバム46全体に関わっている吉田三郎と考えられる<br>・ヒドとは『男鹿寒風山麓方言民俗誌』に「神社の祭日の前夜に、社殿の庭で大きく火を持やす。私の村では、祭日は三月十七日だがそれを正月の十六日の夜に、この火を焚き、その火に餅をあぶって持ち帰り、それを一家で分けてたべると、一年中無病になるとしんじられていたものだ。」とあり（『男鹿寒風山麓方言民俗誌』p.263） | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和11年(1936年)2月8日～ア-46-8台紙記載 | 寒風山麓脇本村三嶋神社前ア-46-8台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 79 | | 秋田県 | ア-44-6 | 封筒なし | 吉田三郎とその友人 | | | | ・記載なし | 61×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-46-6のネガ | | | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935年)3月21日～ア-44-6台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永(備考参照) | |
| 写3 | 42 | 80 | | 秋田県 | ア-44-7 | 封筒なし | ノマ小屋住居 | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-7のネガ<br>・ノマとは「苫」のこと(『男鹿寒風山農民日録』p.21など)<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十一日(木)』pp.13に「午後には休業して、寺の百萬遍に行く」とありその際に寄ったものか、撮影地は脇本村とした。<br>・簀を下げて囲いも藁で作った家、吉田家ではない(吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査) | 吉田三郎『男鹿寒風山麓方言民俗誌』秋田文化出版社<br>1971年口絵「2 のまの小屋住宅」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月21日～ア-44-7台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永(備考参照) | |
| 写3 | 42 | 81 | | 秋田県 | ア-44-52 | 封筒なし | 百萬遍の後の慰労会の女性たち | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-52のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十一日(木)』pp.13-14に「昔は百萬遍に大綱を使用したが、今年は大綱を廃した。頭に巻き付ける細縄も、各自で必要なだけ寺へ持って行つたさうです。信仰的慣行もかうして多少づつ変化してゆきつつあります。」とあり<br>・撮影者は『男鹿寒風山農民日録』『三月二十一日(木)』pp.13に「午後には休業して、寺の百萬遍に行く。」とあり台紙記載の撮影日時と同じため吉田三郎とした。<br>・寺にお婆ちゃん方が月に一回だとか集まって数珠を「ナントカカントカ…」と拝みながらまあよくして回す。お婆さんたちが子守をしていたので孫を連れて行ったりもする。私は行った記憶がない。今も寺でやっている(吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査) | 『民具マンスリー』42巻12号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月21日～ア-44-52台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>山延命寺内ア-44-52台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 82 | | 秋田県 | ア-44-53 | 封筒なし | 吉田三郎宅の兎と兎小屋 | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-53のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十三日(土)』pp.15に「昼飯。昨日死んだ小兎を切開して、皮を取り、その肉が一皿あつたので、それへ葱を混ぜて醤油で煮て食ふ。」とあり当該資料撮影前後で小兎が死んだか | 『民具マンスリー』43巻1号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム<br>1938年アチックミューゼアム1938年p15「私宅の養兎 所 私宅前 時 三月二十二日」アチックミューゼアム1938年p15「私宅の養兎 所 私宅前 時 三月二十二日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-53台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎宅前ア-44-53台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 83 | | 秋田県 | ア-44-54 | 封筒なし | 駅前にある男鹿農倉と脇本信用組合の農倉 | | | | ・記載なし | 60×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-54のネガ<br>・撮影者は『男鹿寒風山農民日録』『三月二十二日(金)』pp.14に「朝に駅前の妹の家から人糞尿約三斗位馬につけて一回運んだ。」とあり台紙記載の撮影日時と同じため吉田三郎とした<br>・倉庫の建物は2007年現在で現存(2007年3月29～31日の常民研調査) | 『民具マンスリー』43巻2号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-54台紙記載 | 寒風山麓脇本村脇本<br>駅前の小高い丘ア-44-54台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 84 | | 秋田県 | ア-44-55 | 封筒なし | ケヤキの切株に生えたユキノシタ(茸) | | | | ・記載なし | 61×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-55のネガ<br>・「ユキノシタ」とは『男鹿寒風山農民手記』p.16に「私は学名を知りません方言そのままです。冬期では雪の下といふのがあります。これは重に伐られた木の根に発生します。」とあり、いわゆるエノキダケか<br>・撮影者は『男鹿寒風山農民日録』『三月二十二日(金)』pp.14に「朝に駅前の妹の家から人糞尿約三斗位馬につけて一回運んだ。」とあり台紙記載の撮影日時に吉田三郎が撮影したものか | 『民具マンスリー』43巻3号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-55台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田<br>三五兵衛所有竹林の中ア-44-55台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 85 | | 秋田県 | ア-44-11 | 封筒なし | 肥溜にノマをかけたところ | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-11のネガ<br>・ノマとは「苫」のこと(『男鹿寒風山農民日録』p.21など)<br>・『男鹿寒風山農民日録』第七図「ノマをかけた所」のキャプションに「3月22日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十二日(金)』pp.14に「朝に駅前の妹の家から人糞尿約三斗位馬につけて一回に運んだ。又注文した金肥も到着したので、それも一回運ぶ。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第七図「ノマをかけた所」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-11台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎畑ア-44-11台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 86 | | 秋田県 | ア-44-56 | 封筒なし | 便所へ行く隣家の精神病者 | | | | ・記載なし | 89×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-56のネガ<br>・「三十六 二女は狂人と遊ぶ」吉田三郎『もの言う百姓』(昭和38年慶友社)pp.80-83に「私が耕作している畑の地主、と言ってもkれより持っていない極貧百姓だった。村の最も古い家で、昔は相当の富農だった。私から見れば四代目の本家であるから、私の血の源は其処に発しているとも言える。つまり私の本家の本家、またその本家の本家なのである。その家の主人が私に同情してくれて、それより無い土地を私に貸してくれたのである。小作料一年に十円だったが、余り生活が苦しそうなので二十円に私の方から値上げして、しかもそれを前払いに、正月支払ってやった。この二十円がなければ、正月できないという程の地主だったからだ。前にも書いた如く、小作田があっても、飯米借りて、秋には地主のため、ごそっと取られ、正月には食う米が無い組の方だった。この地主の弟が神奈川県の何処かで一家を持って生活していた。ところが何の病気が原因か知らないが、狂人となって村に帰った。(中略)この狂人の特色は、「天の悪神どうして俺をこんなに苦しめるか」と言って空に向って、「とっと、とっと」と溢を吹きかけることだった。(中略)それでいて決して人畜には損害をかけない狂人だった。村人に会うと、平身低頭して通るのであった。こんな狂人なのだから私も安心して畑の隅に住まわせた。」と | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年p17「隣家の精神病者 所 私宅前 時 三月二十二日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-56台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎宅前ア-44-56台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 87 | | 秋田県 | ア-44-10 | 封筒なし | 肥溜にかける防雨用の屋根の骨組み(ツボケ) | | | | ・記載なし | 60×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-10のネガ<br>・ツボケとは「先の所をツナギでシバっておく」ことで、藁や蕎麦などを立てる際にも使われる形のこと(『男鹿寒風山農民日録』p.215など)<br>・『男鹿寒風山農民日録』第六図「肥溜(ツボケ)屋根の骨組」のキャプションに「3月22日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十二日(金)』pp.14に「朝に駅前の妹の家から人糞尿約三斗位馬につけて一回に運んだ。又注文した金肥も到着したので、それも一回運ぶ。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第六図「肥溜(ツボケ)屋根の骨組」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-10台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎畑ア-44-10台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 88 | | 秋田県 | ア-44-57 | 封筒なし | 藁筵を農業倉庫に売りに行く女性たち | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-57のネガ | 『民具マンスリー』43巻4号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム<br>1938年アチックミューゼアム1938年p16「藁ムシロを農業倉庫に売りに行く 所 吉田鐵也氏宅前 時 三月二十二日」アチックミューゼアム1938年p15「私宅の養兎 所 私宅前 時 三月二十二日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月22日～ア-44-57台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田<br>鉄也宅前道路ア-44-57台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 89 | | 秋田県 | ア-44-18 | 封筒なし | 籾種を俵に入れて池に浸すところ | | | | ・記載なし | 60×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-18のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一四図「塩水撰から種蒔まで2(籾種を俵に入れて池に浸す。水に入れたらその上に筵をあげて棒をあげる。)」のキャプションに「3月27日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十九日(金)』pp24に鹽水撰について「大桶へ水を入れて、鹽を入れて攪拌します。但し卵が浮く程度の鹽加減です。それに籾を入れると悪い籾はみな浮き揚るから、それを除き、そして沈んだのを俵に入れて、池へ漬けます。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第一四図「塩水撰から種蒔まで2(籾種を俵に入れて池に浸す。水に入れたらその上に筵をあげて棒をあげる。)」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月27日～ア-44-18台紙記載 | 寒風山麓脇本村吉田<br>金治郎宅後ろの池ア-44-18台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 90 | | 秋田県 | ア-44-17 | 封筒なし | 種籾を水に入れて選ぶところ | | | | ・記載なし | 91×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-17のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一三図「塩水撰から種蒔まで1(種籾を塩水に入れて撰ぶ)」のキャプションに「3月27日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『三月二十九日(金)』pp24に鹽水撰について「大桶へ水を入れて、鹽を入れて攪拌します。但し卵が浮く程度の鹽加減です。それに籾を入れると悪い籾はみな浮き揚るから、それを除き、そして沈んだのを俵に入れて、池へ漬けます。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第一三図「塩水撰から種蒔まで1(種籾を塩水に入れて撰ぶ)」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)3月27日～ア-44-17台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎宅前ア-44-17台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 91 | | 秋田県 | ア-44-12 | 封筒なし | ヤナウ(萱屋根を葺く準備)男性たち | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-12のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第八図「ヤナウ(カヤ屋根をフク準備)」のキャプションに「4月2日」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938<br>年口絵第八図「ヤナウ(カヤ屋根をフク準備)」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月2日～ア-44-12台紙記載 | 寒風山麓脇本村<br>字ナガラキア-44-12台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 92 | | 秋田県 | ア-44-58 | 封筒なし | 水路(堰)で春の若草芽を探す女の子たち | | | | ・記載なし | 88×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-58のネガ<br>・セケとは『男鹿寒風山農民手記』p.26に「セケから流れて来る水」とあることから水路・堰のこと<br>・田んぼのセキ、チョロチョロ田んぼに入れる水が流れている。春になると雪解け水が流れて来る。春先にセリ、スカンコ(イタドリのこと)、タニシ、ドジョウを求めて行った。子供たちは遊びながら大きい子供について行った。父はなまっているからセケと秋田弁で言っている(吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査) | 『民具マンスリー』43巻5号神奈川大学日本常民文化研究所<br>表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム<br>1938年アチックミューゼアム1938年p30「春の若草芽を求めて歩く村の少女 所 私宅下のセケにて 時 四月五日」アチックミューゼアム1938年p30「春の若草芽を求めて歩く村の少女 所 私宅下のセケにて 時 四月五日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月5日～ア-44-58台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永<br>吉田三郎宅下のセケア-44-58台紙記載 | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 42 | 93 | 秋田県 | ア-44-13 | 封筒なし | 萱屋根を葺く男性 | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-13のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第九図「カヤ屋根フキ」のキャプションに「4月6日」とあり<br>・ア-44-12の時間経過後か、撮影地はこれによる<br>・屋根を葺くときは昔は共同で手伝いに来たりしてやった（吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第九図「カヤ屋根フキ」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月6日～ア-44-13台紙記載 | 寒風山麓脇本村ナガラギ（備考参照） | |
| 写3 | 42 | 94 | 秋田県 | ア-44-59 | 封筒なし | 炉の側で座る吉田三郎の友人 | | | | ・記載なし | 90×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-59のネガ<br>・写っている人は母方の親戚の人（吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査） | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～ア-44-59台紙記載 | 寒風山麓脇本村友人宅ア-44-59台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 95 | 秋田県 | ア-44-61 | 封筒なし | 夏大根蒔き用の畑のムネを高くする吉田勝江、畑をイバルところ | | | | ・記載なし | 93×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-61のネガ<br>・イバル（エバル）とは『男鹿寒風山農民日録』「三月二十三日（土）」p.15に「打ち返した畑を地ならしをする。それが出来てから二尺五寸の巾にムネを立てる。方言で「二尺五寸に畑をエバル」と申します。」とあり題名はこの説明によった<br>・畑のムネ立て。写る人は母（吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 『民具マンスリー』43巻8号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年p34「畑をイバル所　所　自畑　時　四月七日」アチックミューゼアム1938年p34「畑をイバル所　所　自畑　時　四月七日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～ア-44-61台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎畑ア-44-61台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 96 | 秋田県 | ア-44-60 | 封筒なし | 毛皮の縫し道具 | | | | ・記載なし | 90×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-60のネガ<br>・兎の皮縫し。冬に兎を殺して肉を食べ、その皮を縫した道具（吉田総惠談。2007年3月29～31日の常民研調査） | 『民具マンスリー』43巻6号神奈川大学日本常民文化研究所表紙吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年アチックミューゼアム1938年p12「毛皮縫の道具。箱の上にある竹棒の割つたのは裏打に使用する　所　私宅下のセケにて　時　四月七日」アチックミューゼアム1938年p12「毛皮縫の道具。箱の上にある竹棒の割つたのは裏打に使用する　所　私宅下のセケにて　時　四月七日」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～ア-44-60台紙記載 | 寒風山麓脇本村富永吉田三郎宅ア-44-60台紙記載 | |
| 写3 | 42 | 97 | 秋田県 | ア-44-16 | 封筒なし | 苗代のクロ塗り（仕上げ） | | | | ・記載なし | 90×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードには[アルバム背表紙記載データ]欄に「吉田三郎氏撮影」とあり<br>・ア-44-16のネガ<br>・『男鹿寒風山農民日録』第一二図「苗代のクロ塗2（仕上）」のキャプションに「4月7日」とあり<br>・『男鹿寒風山農民日録』『四月七日（日）』p33に「午後には苗代の畔を塗る。塗方は、昨日掃除して畔の原型を作つてあるので、今日はそれに苗代の土を一鍬づつ順序につけて行くのです。そして土をつけるには上の方かの水口から必ずつけて行くことです。そして一本の畔の両側につけ終つたら、次ぎは鍬で水をつけつけ、右のアラつけした畔をなでてゆきます。それで出来るのです。今日その畔塗りのあらつけする處と、なでる處を二枚写真に撮りました。」とあり | 吉田三郎『男鹿寒風山麓農民日録』アチックミューゼアム1938年口絵第一二図「苗代のクロ塗2（仕上）」 | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)4月7日～ア-44-16台紙記載 | 寒風山麓脇本村菅原助蔵宅苗代田ア-44-16台紙記載 | |
| 写3 | 43 | 1 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 2 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 3 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 4 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 5 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 6 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 7 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 8 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 9 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 10 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 11 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 12 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 13 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 14 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 89×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 15 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×92 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 16 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 17 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 18 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 60×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 19 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 20 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 21 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 60×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 22 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 23 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×88 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 24 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×93 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 25 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 88×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 26 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 89×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 27 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 28 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 29 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 30 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 31 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 32 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 33 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 34 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 89×60 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 35 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 36 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 37 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 91×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 38 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 39 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 60×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 40 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 93×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 41 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×90 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 42 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 60×89 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 43 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 44 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 61×91 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |
| 写3 | 43 | 45 | | | 封筒なし | | | | | ・記載なし | 92×61 | ・収納されていた封筒見当たらず<br>・渋沢フィルム整理カードなし。 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写3 | 44 | | | | | 【表面】<br>昭和九年(縦書、右側)<br>十一月(縦書、右側)<br>五湖めぐり(縦書、右側)<br>【裏面】<br>十月(縦書、右側)<br>箱根　神山　駒ケ岳(縦書、右側) | | | | | × | | ・「金城商会」の原板保存袋、111×74<br>・ネガとの照合が出来なかった封筒 | | | | | | | | | | |
| 写3 | 45 | | | | | 【表面】<br>夢科にて(縦書、右側)<br>【裏面】<br>十一月三四日(縦書、右側)<br>五湖めぐり(縦書、右側) | | | | | × | | ・「金城商会」の原板保存袋、116×73<br>・ネガとの照合が出来なかった封筒 | | | | | | | | | | |
| 写3 | 46 | | | | | 【表面】<br>6[月]□□[日](左側上部、□□は「13」ヵ)<br>温潭[様](左側中央)<br>【裏面】<br>(Size)手札(右側明細表内)<br>[現像]　[ロール]7[本](右側明細表内)<br>[焼付]　[各]1　31[枚](「31」のみ鉛筆、右側明細表内)<br>[仕上]6[月]14[日](右側明細表内) | | | | | × | | ・「新宮館」の封筒、130×205<br>・ネガとの照合が出来なかった封筒<br>・封筒は破損し、2つに分離している。 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 1 | 1 | 岡山県 | 写4-1-1-5 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 正徳年間の真鍋島 | | | | ・記載なし | | | 『備中真鍋島の史料　日本漁村史料第一巻』常民文化研究第76p91口絵「第三九号文書」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 1 | 1 | 2 | 岡山県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 真鍋増太郎家文書四四 | | | | ・記載なし | | | 『備中真鍋島の史料　日本漁村史料第一巻』常民文化研究第76p91口絵「第四四号文書」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 1 | 1 | 3 | 岡山県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 真鍋増太郎家文書三九 | | | | ・記載なし | | | 『備中真鍋島の史料　日本漁村史料第二巻』常民文化研究第77p91口絵「第四四号文書」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 1 | 1 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ハス、山中の６×６ネガ２枚の複写 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 1 | 5 | 岡山県 | 写<br>4-1-1-1 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 正徳年間の真鍋島 | | | | ・記載なし | | | 『備中真鍋島の史料　日本漁村史料第二巻』常民文化研究第77p91口絵「ねずみの絵」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 1 | 1 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 文書、正保三年 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 1 | 7 | 岡山県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 鼠絵図 | | | | ・記載なし | | | 『備中真鍋島の史料　日本漁村史料第二巻』常民文化研究第77p91口絵「ねずみの絵」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 1 | 2 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 祭、神主、何かを筆でたてているところ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 2 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 祭、おはらい | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 2 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 祭　箱　おはらい | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 2 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 祭　箱　に文書を入れる(王子神社) | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 2 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 神主と2人老人　神棚の前で | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 3 | 1 | 島根県 | ア-19-18、<br>写3-29-8 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 庭石のようなものにとまるミサゴ | | | | ・記載なし | 120×165 | ・ア-19-18と同一の被写体であるミサゴや同状況の場所で撮影されており、また、写4-1-3のまとまり自体もア-19と関連があると考えられ、撮影者や撮影日、撮影地などはこれによる | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村 | 島根県隠岐(備考参照)(備考参照) | |
| 写4 | 1 | 3 | 2 | 島根県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 隠岐、八束半島周辺、中海、大根島の入江、漁船 | | | | ・記載なし | 120×165 | ・写4-1-3のまとまり自体がア-19と関連があると考えられ(写4-1-3-1備考参照)、撮影者や撮影日、撮影地などは写4-1-3-1同様ア-19-18による | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村 | 島根県隠岐(備考参照)(備考参照) | |
| 写4 | 1 | 3 | 3 | 島根県 | ア-19-34、<br>写3-29-13 | 常民研所蔵ガラス乾板 | トモド、カンコなどの船艇 | | | | ・記載なし | 120×165 | ・写4-1-3のまとまり自体がア-19と関連があると考えられ(写4-1-3-1備考参照)、撮影者や撮影日、撮影地などは写4-1-3-1同様ア-19-18による | | | | | | | | | 岩倉市郎 | 昭和10年(1935年)8月12日～昭和10年(1935年)8月20日・昭和9年薩南十島調査に岩倉は参加していないため翌10年の隠岐調査の際に撮影されたものと考えられる<br>・日付は『隠岐島前漁村 | 島根県隠岐(備考参照)(備考参照) | |
| 写4 | 1 | 4 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 宮本馨太郎、小松勝美、高木一夫、高橋文太郎、五十津二郎ら室内での記念写真 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 4 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 赤ちゃんの姿　畳の | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 4 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 赤ちゃんの姿　畳の | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 4 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 子供　庭で遊ぶ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 4 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 赤ちゃん　正面　いすの上 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 5 | 1 | 東京都・秋田県 | 河1-6-7 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 三田綱町の温潭部でイタヤ細工を実演する渡部小勝 | | | | ・記載なし | | ・本資料は昭和9年11月9日に三田綱町部で行われた、渡部小勝によるイタヤ細工の製作実演時の写真である。補訂版「アチック来訪者芳名簿」渋沢史料館蔵p.24によると、この日のアチックの例会には渡部の他、温潭敬三、木川半之丞、祝宮静、小川徹、高橋文太郎、藤木喜久麿、五十沢次郎が参加している。本資料には顔が見えないが16ミリカメラをもった温潭敬三が写っている。アチックフィルム27「イタヤ細工」06:56あたりの写真と見られる。撮影日は柏葉拾遺p17の十六ミリフィルムリストより、昭和9年11月9日とした。また、本資料がガラス板写真であること | 16ミリフィルム「イタヤ細工」06:56 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)11月9日～(備考参照) | 三田綱町部(備考参照) | |
| 写4 | 1 | 5 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 小松勝美 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 5 | 3 | | 河1-6-10 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 小松勝美と木川半之丞 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 5 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 宮本馨太郎と磯貝勇 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 5 | 5 | | 河1-6-8 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 網西、高木、小川、山口、宮本、吉田、磯貝、桜田、雅英、紀子による綱町部庭での | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 5 | 6 | | 河1-6-9 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 小松勝美と市川信次 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 6 | 1 | | ア-23-9<br>河1-29-22-13 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 頬被りをする母子 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 6 | 2 | | ア-23-34　河1-29-22-15 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 稲架の前で子守をする子供 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 6 | 3 | | 河1-29-22-14 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 石臼小屋 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 7 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 青森のけさこヵ | | | | ・記載なし | | | 『日本の民具』第2巻資料番号225のけさこヵ | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 7 | 2 | | 河1-6-6 | 常民研所蔵ガラス乾板 | アチック・ミューゼアムの屋根裏の様子 | | | | ・記載なし | | | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』横浜市歴史博物館2002表紙 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 1 | 7 | 3 | | 河1-6-11 | 常民研所蔵ガラス乾板 | アチック・ミューゼアム萌芽時代 | | | | ・記載なし | | | 『柏葉拾遺』柏窓会1956年p42「アチック萌芽時代　綱町邸　大正14.」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 1 | 1 | | 河1-24-1 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 出雲地方の植畑ヵ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 1 | 2 | | 河1-24-2 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 出雲地方の植畑ヵ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 1 | 3 | | 河1-24-3 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 植畑の一例(八束郡講武村字名分 | | | | ・記載なし | | | 稲塚和右衛門『復刻　木実方秘伝書』アチック・ミューゼアム彙報第101936口絵「第三図　植畑の一例(八束郡講武村字名分」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 1 | 鹿児島県 | 写4-2-2-2 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 宝島のニンギョウ | | | | ・記載なし | 163×121 | ・宝島のニンギョウについては、『早川孝太郎著作集ⅩⅡ』p429、桜田勝徳著作集7p381に「木の人形」として関連の記述と挿絵が見られる。<br>・撮影者は掲載刊行物『民具問答集』まえがきp7「原図の作成は木川半之丞君が一手に引受けて貰れた。」とあることによる。 | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p313「ニンギョウ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 宝島（引用・使用媒体） | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 | 2 | 2 | 2 | 鹿児島県 | 写4-2-2-1 写4-2-2-4 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 宝島のニンギョウ | | | | ・記載なし | 163×120 | ・宝島のニンギョウについては、『早川孝太郎著作集ⅩⅡ』p429、桜田勝徳著作集7p381に「木の人形」として関連の記述と挿絵が見られる。<br>・撮影者は掲載刊行物『民具問答集』まえがきp7「原図の作成は木川半之丞君が一手に引受けて呉れた。」とあることによる。 | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p313「ニンギョウ」 | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 宝島（引用・使用媒体） | |
| 写4 | 2 | 2 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 熊手 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 4 | 鹿児島県 | 写4-2-2-2 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 宝島のニンギョウ | | | | ・記載なし | 164×120 | ・宝島のニンギョウについては、『早川孝太郎著作集ⅩⅡ』p429、桜田勝徳著作集7p381に「木の人形」として関連の記述と挿絵が見られる。<br>・撮影者は掲載刊行物『民具問答集』まえがきp7「原図の作成は木川半之丞君が一手に引受けて呉れた。」とあることによる。 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 宝島（引用・使用媒体） | |
| 写4 | 2 | 2 | 5 | 鹿児島県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 奄美大島のテル | | | | ・記載なし | 164×120 | ・宝島のニンギョウについては、『早川孝太郎著作集ⅩⅡ』p429、桜田勝徳著作集7p381に「木の人形」として関連の記述と挿絵が見られる。<br>・撮影者は掲載刊行物『民具問答集』まえがきp7「原図の作成は木川半之丞君が一手に引受けて呉れた。」とあることによる。 | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p308「テル」 | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 奄美大島名瀬町（引用・使用媒体） | |
| 写4 | 2 | 2 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 双体石像物 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | イタヤカツコベ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p81「イタヤカツコベ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | かご | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 節から2本枝分かれした木 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | マルブクロ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p160「マルブクロ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カツコベ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p1「カツコベ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カンジキ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p226「カンジキ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 2 | 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履、カンジキ、爪な | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 3 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 渋沢敬三料亭写真 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 3 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 渋沢敬三料亭写真 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 3 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 敬三二男記美の戒名 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 3 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 人物4名 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 4 | 1 | 岡山県 | ア-101-33 ア-101-34 ア-101-35 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草鞋 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-33～35と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 2 | 岡山県 | ア-101-36 ア-101-37 ア-101-38 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 118×164 | ・ア101-36～38と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 3 | 岡山県 | ア-101-30 ア-101-31 ア-101-32 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草履 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-30～32と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 4 | 岡山県 | ア-101-27 ア-101-28 ア-101-29 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草鞋 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 118×164 | ・ア101-27～29と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 5 | 岡山県 | ア-101-39 ア-101-40 ア-101-41 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 下駄 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-39～41と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 6 | 岡山県 | ア-101-24 ア-101-25 ア-101-26 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 草鞋 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-24～26と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 7 | 岡山県 | ア-101-3 ア-101-4 ア-101-5 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 魚屋・町屋 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-3～5と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 8 | 岡山県 | ア-101-12 ア-101-13 ア-101-14 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 頭上に籠を載せる人 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-12～14と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 9 | 岡山県 | ア-101-9 ア-101-10 ア-101-11 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 叭・稲藁のようなものを背負い走る人 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-9～11と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 10 | 岡山県 | ア-101-21 ア-101-22 ア-101-23 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 鍾を突く人 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-21～23と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 11 | 岡山県 | ア-101-15 ア-101-16 ア-101-17 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 井戸で水を汲む人 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 164×119 | ・ア101-15～17と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ<br>・乳剤面に剝離あり | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 4 | 12 | 岡山県 | ア-101-6 ア-101-7 ア-101-8 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 魚獲り | | | | 十二、 五、 十五、 池田家（朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆） | 119×164 | ・ア101-6～8と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 | 2 | 4 | 13 | 岡山県 | ア-101-18 ア-101-19 ア-101-20 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 池田家所蔵洛中洛外図屏風接写 馬に乗る人と軒先に多くの草履をかける家屋 | | | | 十二、 五、 十五、 池田家(朱筆、乳剤面から見て被写体画像右側、天地逆) | 119×164 | ・ア101-18～20と同一の被写体、このアルバムの写真を接写したものか | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～写真資料記載 | 岡山同被写体を写したアルバム101中表紙題名による | |
| 写4 | 2 | 5 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ザル | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | | | |
| 写4 | 2 | 5 | 2 | 東京都 | 写1-13-18 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 背負い袋を背負う田中喜多美(後ろ姿) | | | | ・記載なし | | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物が写り、これが田中喜多美であることによった<br>・撮影者はアチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。<br>・因みにこの前日が敬三の誕生日であることからそれで呼ばれたまたは16ミリフィルムでの撮影になったかといった何かしらの関係があるか | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町部16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | |
| 写4 | 2 | 5 | 3 | 東京都 | 写1-13-14 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 藁靴(フカグツ)を編む田中喜多美 | | | | ・記載なし | | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物が写り、これが田中喜多美であることによった<br>・撮影者はアチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。<br>・因みにこの前日が敬三の誕生日であることからそれで呼ばれたまたは16ミリフィルムでの撮影になったかといった何かしらの関係があるか | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町部16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | |
| 写4 | 2 | 5 | 4 | 東京都 | 写1-13-19 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 山仕事道具を背負いこちらを向く田中喜多美(腰ミノ) | | | | ・記載なし | | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物が写り、これが田中喜多美であることによった<br>・撮影者はアチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定した。<br>・因みにこの前日が敬三の誕生日であることからそれで呼ばれたまたは16ミリフィルムでの撮影になったかといった何かしらの関係があるか | 16ミリフィルム「ワラ靴製作」05:29 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月26日～『柏葉拾遺』p.17「十六ミリフィルム」による | 三田綱町部16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | |
| 写4 | 2 | 5 | 5 | 東京都 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 渋沢邸大広間・第一応接室での記念写真 | | | | ・記載なし | | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物(田中喜多美)が写り、これが写り込み、また同DVD12：05から早川孝太郎や市川信次、歌川節雄が写り早川歌川が同じ背広姿である事から撮影日はこれによる、因みに8月25日が敬三の誕生日であることからまとまった集合写真となったものか<br>・撮影者はアチックでのガラス板写真であることから木川半之丞と推定し | 早川孝太郎『早川孝太郎全集』XⅡ未来社2003p380 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)8月25日～(備考参照) | 三田綱町部16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | |
| 写4 | 2 | 5 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 二百十日の厄除人形 | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p160「二百十日の厄除人形」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 5 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | イタブクリ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p299「イタブクリ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 5 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 5 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 祝宴の酒杯 | | | | ・記載なし | | | 吉岡高吉『土佐室戸浮津組捕鯨實録』アチック・ミューゼアム彙報第35口絵「第18図 酒宴の酒杯」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 5 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 酒杯 | | | | ・記載なし | | | 吉岡高吉『土佐室戸浮津組捕鯨實録』アチック・ミューゼアム彙報第35口絵「第19図 酒杯」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | クチモツコ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p71「クチモツコ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | かご | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 木製箙 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | スリッパ状のはきもの | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | コシゴとニカヲ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p302「コシゴとニカヲ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | スリッパ状のはきもの | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | クツ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p63「クツ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | アグドスベ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p59「アグドスベ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | テゴ(熊本県阿蘇郡) | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p803「テゴ(熊本県阿蘇郡)」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | クサトリメカイとカマ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p137「クサトリメカイとカマ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ボウチボー | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p135「ボウチボー」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 13 | 秋田県 | 河1-17-9 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 秋田県仙北郡雲澤村の山ノ神 | | | | ・記載なし | | ・撮影年月日は不明であるが、アチック・ミューゼアムノート第1『民具問答集第一輯』p7から撮影者は木川半之丞とした。撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p76に昭和9年4月6日に写真について武藤鉄城が回答していることから、撮影はそれ以前とした。 | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p76「山ノ神」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)4月6日以前(備考参照) | 秋田県仙北郡雲澤村(引用・使用媒体) | |
| 写4 | 2 | 6 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | フミダラ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p73「フミダラ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 棒状ワラ ひねりあり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 16 | 秋田県 | 河1-17-4 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 秋田県仙北郡雲澤村のキニ日禮の餅包 | | | | ・記載なし | | ・撮影年月日は不明であるが、本資料がガラス板写真であること、また被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した。撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p101に昭和9年4月24日に写真について武藤鉄城が回答していることか | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p101「十二日禮ノ餅包」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)4月24日以前(備考参照) | 秋田県仙北郡雲澤村(引用・使用媒体) | |
| 写4 | 2 | 6 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カゴ 持ち紐あり 赤色トリミングあり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 6 | 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヘドロ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p66「ヘドロ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラぐつ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラぐつ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | コシビリ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p32「コシビリ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | コシビリ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p31「コシビリ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | しゃもじ、おたま | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | かご | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ぞうり | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラぐつ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | くわの先 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | わらじ(ゲタ) | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 足袋 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 弁当箱 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | うず、きね | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 16 | 栃木県 | 河1-17-1 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 栃木県河内郡古里村のサイノカミの棒 | | | | ・記載なし | | ・撮影年月日は不明であるが、本資料がガラス板写真であること、また被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した。 | | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 河内-古里村写真資料記載 | |
| 写4 | 2 | 7 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | しゃもじ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ほうき | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | つとっこ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 20 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラ製こんぼう用具 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 7 | 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ソチ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヒメソコとバカ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p134「ヒメソコとバカ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ツイタテ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p277「ツイタテ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | アシナカ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ナベシキ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 | 2 | 8 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラ製の採集袋 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ひもと棒か | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 7 | 鹿児島県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 十島村の頭上運搬に頭にのせるカブス(カブシ) | | | | ・記載なし | 163×120 | ・十島村の頭上運搬・カブシについては、高橋文太郎「奄美十島及大島に於る民具」(『旅と伝説』昭和9年八月号)p11に関連の記述が見られ、カブシの使用地は宝島となっているが、本資料のものかどうかは不明。 | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年p80「頭上運搬に頭にのせるカブス(カブシ)」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 十島村（引用・使用媒体） | |
| 写4 | 2 | 8 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | シヨタゴ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p305「シヨタゴ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 豆コキバシ(福岡県糟屋郡地方 | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p120「豆コキバシ(福岡県糟屋郡地方」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 田ノ神 | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p28「田ノ神」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミノ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | オケヵ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 墓前2人 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | オケ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 木実方秘伝書　五巻(稲塚和右衛門自筆) | | | | ・記載なし | | | 稲塚和右衛門『復刻　木実方秘伝書』アチック・ミューゼアム彙報第101936口絵「第一図　木実方秘伝書　五巻(稲塚和右衛門自筆)」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 湯筒 | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p51「湯筒」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カマ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ゲタ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ゲタ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 20 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 入れもの | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | のし板 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 22 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヨコヅチ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 8 | 23 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 椀 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ウケとコズ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p141「ウケとコズ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | イトヒキワク | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p144「イトヒキワク」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ビク | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | テゴ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p132「テゴ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ショイカゴ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p139「ショイカゴ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミノ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミノ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 綿繰り機 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ビク | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 10 | 岩手県 | 河1-17-6 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 岩手県紫波郡見前村の弓矢 | | | | ・記載なし | | ・撮影年月日は不明であるが、本資料がガラス板写真であること、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した。 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 岩手県紫波郡見前村西見前関連目録番号資料 | |
| 写4 | 2 | 9 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹籠 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ショウブかキマキか | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 疱瘡神送りの足半 | | | | ・記載なし | | | 『所謂足半(あしなか)に就いて』アチック・ミューゼアム彙報6p181「疱瘡神送りの足半」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ガーゼ状の布 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ドジヨートリカゴ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p48「ドジヨートリカゴ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 木箱　船玉様 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 9 | 17 | 岩手県 | 河1-17-7 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 岩手県稗貫郡内川目村の馬子ツナギの藁馬 | | | | ・記載なし | | ・撮影年月日は不明であるが、本資料がガラス板写真であること、また被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した。撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』 | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p46「馬子ツナギノ藁馬」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)5月20日以前(備考参照) | 岩手県稗貫郡内川目村（引用・使用媒体） | |
| 写4 | 2 | 10 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 背あて | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 網かご | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上衣 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 4 | | 河1-24-4 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 土手槌の一例(八東郡講武村字南講武。多久川土手 | | | | ・記載なし | | | 稲塚和右衛門『復刻　木実方秘伝書』アチック・ミューゼアム彙報第101936口絵「第四図　土手槌の一例(八東郡講武村字南講武。多久川土手」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 背あて | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラぐつ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラぐつ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | しょうぶ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 樹皮製背負いかご | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 門道心(木偶) | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p101「門道心(木偶)」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | わらつと | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | わらつととひも | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | タスキ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p35「タスキ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | くわの先 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ゲタ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カマ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラグツ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹の民具 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 20 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | わら手袋 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 10 | 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | わら手袋 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 犠徳■(蔵)　鯨ノモリ S12.6.122 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 2 | 東京都 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 渋沢邸にて踊りを踊る敬三、高橋文太郎等 | | | | ・記載なし | | ・題名は渋沢フィルムDVD26「ワラ靴製作」に同一の人物(田中喜多美)が写り、これが写り込み、また同DVD12：05から早川孝太郎や市川信次、歌川節雄が写り早川歌川が同じ背広姿である事から撮影日はこれによる、因みに8月25日が敬三の誕生日であることからまとまった集合写真となったものか | | | | | | | 1 | 昭和8年(1933年)8月25日～(備考参照) | 三田綱町部16ミリフィルム「ワラ靴製作」による | |
| 写4 | 2 | 11 | 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 田ゲタ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | コシミノ2枚 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ショイカゴ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カンジキ | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年p1169「冬の足ごしらえ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 足先のわら製タビ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 足先のわら製タビ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹のゲタ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カゴ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 11 | 愛知県 | 河1-17-3 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 愛知県北設楽郡園村足込のヤス | | | | ・記載なし | 119×163 | ・撮影年月日は不明であるが、本資料がガラス板写真であること、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した。撮影地は足込としたが、東京のアチックミューゼアムでの撮影の可能性もある。 | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 北設楽郡園村足込関連目録番号資料 | |
| 写4 | 2 | 11 | 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カミノシキ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 燈台 | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p58「燈台」日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第3巻誠文堂新光社1957年誠文堂新光社1957年p985「松脂蝋燭燈台」誠文堂新光社1957年p985「松脂蝋燭燈台」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ナラシ棒 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | トウロウ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | キハダの下駄 | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p237「キハダの下駄」 | | | | | | | | | | |
| 写4 | 2 | 11 | 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 板　なにかのフタヵ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 2 11 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ツチンポー | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p239「ツチンポー」 | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 11 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ネコダ（岐阜県高山市 | | | | ・記載なし | | | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年p804「ネコダ（岐阜県高山市」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 11 20 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カゴ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 11 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | タワシ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣　棚干（タナボシ） | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第二〇図　ヤステ釣7　棚干（タナボシ）」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣　乾場へ運ぶ | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一九図　ヤステ釣6　乾場へ運ぶ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣　巻き終へた舟とヤステの山 | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一七図　ヤステ釣4　巻き終へた舟とヤステの山」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣 「ヤステ釣」の舟がヤステを満載して陸へ着くところ | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一四図　ヤステ釣1 「ヤステ釣」の舟がヤステを満載して陸へ着くところ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 山へ舟材を採りに行く所 | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第二一図　　山へ舟材を採りに行く所」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣　巻綱をかけて巻揚げられている舟 | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一五図　ヤステ釣2　巻綱をかけて巻揚げられている舟」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣　ヤステは舟から筵畚へ移される | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一八図　ヤステ釣5　ヤステは舟から筵畚へ移される」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤステ釣 「まきど」で舟を巻揚げている | | | | ・記載なし | | | 『北海道幌別漁村生活誌』アチック・ミューゼアム彙報第19口絵「第一六図　ヤステ釣3 「まきど」で舟を巻揚げている」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 12 9 | 台湾 | ア-89-72 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 台湾にて使用の釜 | | | | ・記載なし | 119×164 | ・裏面ガラスから乳剤が一部剥れ(2010.6.14)<br>・ガラスはAGFA製<br>・ア-89-72のガラス乾板 | | | | | | | | 本橋巳太郎 | 昭和13年(1938年)9月10日～関連目録番号資料 | 台湾・台北市関連目録番号資料 | |
| 写4 2 12 10 | 台湾 | ア-89-71 | 常民研所蔵ガラス乾板 | ヤミ族使用のスグージュ（スグーユ）、釜 | | | | ・記載なし | 119×164 | ・裏面ガラスから乳剤が一部剥れ(2010.6.14)<br>・ガラスが裏面右下部欠、全体4分割に割れている、割れた端のほうから乳剤剥れ(2010.6.14)<br>・ガラスはAGFA製<br>・ア-89-71のガラス乾板 | | | | | | | | 本橋巳太郎 | 不明 | 台湾・台北市関連目録番号資料 | |
| 写4 2 12 11 | 台湾 | ア-89-69 | 常民研所蔵ガラス乾板 | ブヌン族使用のスグージュ（又ハ、スグーユ）、釜 | | | | ・記載なし | 119×163 | ・裏面ガラス全周囲端から乳剤が剥れ(2010.6.14)<br>・ガラスはAGFA製<br>・ア-89-69のガラス乾板 | | | | | | | | 本橋巳太郎 | 不明 | 台湾関連目録番号資料 | |
| 写4 2 12 12 | 台湾 | ア-89-70 | 常民研所蔵ガラス乾板 | アミ族使用のスグージュ（又ハ、スグーユ）、釜 | | | | ・記載なし | 119×163 | ・ガラスはAGFA製<br>・ア-89-70のガラス乾板 | | | | | | | | 本橋巳太郎 | 不明 | 台湾・台北市関連目録番号資料 | |
| 写4 2 13 1 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の屋根板剥ぎ | | | | ・記載なし | 83×107 | ・川島村の屋根板剥ぎについては引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p1-19に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p4「第三図　屋根板剥ぎ」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年誠文堂新光社1959年p1491「屋根板はぎ（長野県川島村）」誠文堂新光社1959年p1491「屋根板はぎ（長野県川島 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 2 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村木曽澤の辻の供養塔 | | | | ・記載なし | 82×103 | ・川島村の庚申塔を含む川島村の石塔については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p90-98に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。<br>・ガラス板のうち、被写体の山の稜線から上の空の部分が赤く着色されている。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p90「第十九図　辻の供養塔（木曽澤）」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 3 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の庭先のほんだりさま | | | | ・記載なし | 83×108 | ・川島村のほんだりさまについては引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p171,179,180,183,186に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p180「第二十三図　ほんだりさま（庭先）」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 4 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の共同風呂 | | | | ・記載なし | 108×82 | ・川島村の共同風呂については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p24-27に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p20「第五図　共同風呂」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 5 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の屋根葺き | | | | ・記載なし | 119×164 | ・川島村の屋根葺については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p1-19に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p4「第二図　屋根葺」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第4巻誠文堂新光社1959年誠文堂新光社1959年p1512「板屋根ふきのユイ（長野県川島村）」誠文堂新光社1959年p1512「板屋根ふきのユイ（長野県川島村）」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 6 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の龍吐水 | | | | ・記載なし | 107×82 | ・川島村の龍吐水については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p37に、火事・消防については、p28-42に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p38「第六図　龍吐水」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 7 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村飯沼澤の郷蔵 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・川島村の郷蔵については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p57,59,70,219に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p56「第十八図　郷蔵（飯沼澤）」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第1巻誠文堂新光社1952年誠文堂新光社1952年p370「郷倉（長野県上伊那郡川島村」誠文堂新光社1952年p370「郷倉（長野県上伊那郡川島村」 | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 2 13 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ソリ | | | | ・記載なし | | ・木製のソリ<br>・紐が先端に取り付けられている | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ワラの円状のもの | | | | ・記載なし | | ・藁で編まれたサンダワラのようなもの | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹カゴ | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれたカゴ | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 背負いカゴ | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれた背負いカゴ | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹の棒2本 | | | | ・記載なし | | ・半分に割られた竹の棒2本 | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 紐付きの竹カゴ | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれたカゴ<br>・紐が付けられている | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 紐付きの竹カゴ | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれたカゴ<br>・紐が付けられている | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 17 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 背負いカゴ | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれたカゴ | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 18 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 竹カゴと棒 | | | | ・記載なし | | ・竹で編まれたカゴと木の棒<br>・木の棒の先端は鋭く加工されている | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カツコベ | | | | ・記載なし | | | アチック・ミューゼアム編『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p50「カツコベ」 | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 20 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 高杯とほうき状のもの | | | | ・記載なし | | ・高杯と細い枝を束ねたほうき状のもの | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 下駄用のソリ | | | | ・記載なし | | ・下駄用のソリ | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 22 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 田下駄 | | | | ・記載なし | | ・下駄状の高足。田下駄 | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 23 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 笠の裏側 | | | | ・記載なし | | ・笠の裏側を撮影したもの | | | | | | | | | | | |
| 写4 2 13 24 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カゴ2点 | | | | ・記載なし | | ・六つ目編みの竹で編まれたカゴ2点<br>・布でつなぎ合わされている | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 2 14 1 | | 河1-4-2 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 葛飾区梅沢氏　ウケ職人 | | | | ・記載なし | | ・祭魚洞の原稿用紙に包まれている、原稿用紙に「昭和十三年四月十七日撮影　〇大里　葛飾区新宿町　梅沢平次郎氏」とあり(「大里」は〇で囲われている) | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)4月17日～(備考参照) | 葛飾区新宿町(備考参照) | |
| 写4 2 14 2 | | 河1-4-5 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 向島区安藤氏　ウケつくり | | | | ・記載なし | | ・祭魚洞の原稿用紙に包まれている、原稿用紙に「昭和十三年四月八日撮影　〇大里　向島区隅田町　安藤勇次郎氏」とあり(「大里」は〇で囲われている) | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)4月8日～(備考参照) | 向島区隅田町(備考参照) | |
| 写4 2 15 1-1 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 布を晒す二農女 | | | | ・記載なし | | ・写真2枚になっている<br>・剥離小<br>・薄葉に包み箱に入れ別置<br>・木の接写<br>・題名は資料記載による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 1-2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 葛飾北斎「甲州火振」 | | | | ・記載なし | | ・写真2枚になっている<br>・剥離大<br>・薄葉に包み箱に入れ別置<br>・葛飾北斎「千絵の海　甲州火振」を撮影したもの<br>・資料の接写<br>・題名は資料記載による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 2 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミノ・カサをつけた男性 | | | | ・記載なし | | ・剥離小<br>・薄葉に包んだまま<br>・漁具のミノ・カサを身につけた男性二人<br>・「878」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 3 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 大日本物産図絵「千島国海獺採之図」 | | | | ・記載なし | | ・剥離小<br>・安藤徳兵衛「大日本物産図絵　千島国海獺採之図」を撮影したもの<br>・千島諸島付近でのラッコ漁の様子を描いたもの<br>・資料の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 4 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | しめ網使用の実況 | | | | ・記載なし | | ・「880」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・漁船がしめ網を用いている様子を撮影したもの<br>・奥に舟屋が見られることから、京都府与謝郡伊根の写真であると推測される<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 5 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 鰤大敷網用台網船帰港の実況 | | | | ・記載なし | | ・「879」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・奥に舟屋が見られることから、京都府与謝郡伊根の写真であると推測される<br>・木の接写 | 和久田幹夫『舟屋むかしいま』あまのはしだて出版1989年(平成元年)p4大正の頃の舟屋と出漁風景 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 6 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 高知県の帆傘舟 | | | | ・記載なし | | ・「855」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・漁師が帆傘舟で釣りをしている写真の絵葉書を撮影したもの<br>・写真の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 7 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 浜辺の漁船 | | | | ・記載なし | | ・浜辺で漁船を撮影したもの<br>・船の中央辺りにタモと桶がみられる<br>・「875」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 8 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 河面道三郎出品の煮干鰯製造船 | | | | ・記載なし | | ・「842」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・木の接写<br>・題名は資料記載による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 9 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁具を身につけた漁師2人の写真 | | | | ・記載なし | | ・「876」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・胸当、漁衣、腰蓑を身につけている。一人は手に「宮」とかかれた籠を持っており、もう一人は桶のようなものを脇に抱えている。腰には包みのようなものを提げている<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 10 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁具を身につけた漁師2人の写真 | | | | ・記載なし | | ・「877」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・胸当、漁衣、腰蓑を身に着けている<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 11 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 農具及び船の写真 | | | | ・記載なし | | ・「1491」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・農具は鋤、鍬、石臼、足踏み水車などが描かれている<br>・船は外国のものか<br>・木の接写、農具の頁には白いペンでバツが書かれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 12 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 船及び盲暦の写真 | | | | ・記載なし | | ・「1497」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・資料左の船の下には「KOORAL」と書かれている<br>・木の接写 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 13 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | まるた船(諏訪湖) | | | | ・記載なし | | ・諏訪湖のまるた船の写真<br>・『桜田勝徳著作集3』「改訂　船名集」pp.235-237にまるた船に関する記述があり、諏訪湖のまるた船に関する記述がある | 日本民族学協会編『日本社会民俗辞典　第3巻』誠文堂新光社昭和32年(1957年)p1273「まるた船(諏訪湖)」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上方豆州活鯛船略図 | | | | ・記載なし | | ・「621」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・祭漁洞文庫所蔵文書<br>・徳川時代の活餌に関する史料<br>・『社会経済史料雑纂　第三輯』pp.71-72に本資料の翻刻が記載されている | 日本常民文化研究所編『社会経済史料雑纂　第三輯』日本常民文化研究所昭和18年(1943年)口絵「上方豆州活鯛船略図」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 船の図 | | | | ・記載なし | | ・「490」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「百四」と頁番号が書かれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁に出る人々の図 | | | | ・記載なし | | ・「5口9」と書かれた付箋と共に撮影されている。口は「7」ヵ<br>・木の接写<br>・漁に出る人々を描いたもの<br>・漁船には櫂、笠、縄、モリカ、剣ヵなどが載せられている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 17 | | 写4-2-15-44 | 常民研所蔵ガラス乾板 | カケゴの図 | | | | ・記載なし | | ・「57」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・写4-2-15-44の後頁である。同資料より千葉県下上総国夷隈郡岩和田村で使われていたカケゴの見取図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 18 | | 写4-2-15-22 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁船、櫓、櫂の図 | | | | ・記載なし | | ・「570」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「漁舟＜舩＞　山門郡矢留町長縄舩」と記載されている。<br>・本資料は見開きの右頁であり、見開きの左頁は写4-2-15-22である。 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 19 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 「小川島鯨組納屋場之図」「鯨組沖儀方三倍之次第」 | | | | ・記載なし | | ・「214」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・『鯨絵巻　上』を撮影したものと推測される。国文研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/kujiraemaki2-1/kujiraemaki2-1.html)で公開されている<br>・市場直次郎『日本の民俗41　佐賀』pp.61-65に捕鯨に関する記述があり、小川島について書かれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 20 | | 写4-2-15-40 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 和船図 | | | | ・記載なし | | ・「568」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「漁舟＜舩＞　山門郡矢留町」と記載されている。<br>・本資料は見開きの右頁であり、見開きの左頁は写4-2-15-40である。 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 21 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 和船図 | | | | ・記載なし | | ・「548」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>「四十四」と頁番号が書かれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 22 | | 写4-2-15-18 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁船、櫓、櫂の図 | | | | ・記載なし | | ・「571」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「二十七」と頁番号が書かれている<br>・本資料は見開きの左頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-18である。写4-2-15-18より福岡県山門郡矢留町で用いられていた長縄船の見取図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 23 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 24 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 25 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 26 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 27 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 28 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 29 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 30 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 31 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 32 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 33 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 34 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁衣、胸当の図 | | | | ・記載なし | | ・水産総合研究センター図書資料デジタルアーカイブ(http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/2012DA006.html)『水産博覧会第一区第一類出品審査報告』挿絵に本写真と同じものが描かれている。同書同頁を撮影したものヵ | 『水産博覧会第一区第一類出品審査報告』 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 35 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁衣、胸当、漁笠他、全12点の図 | | | | ・記載なし | | ・「1045」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・漁衣、漁笠、漁箕などの漁具の図<br>・上部に「水産小學附圖」と思われる記載が見える。写4-2-15-37から『新潟県管内水産小学附図』に記載されている図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 36 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | タコ取具、ヤス、蛤採具他の図 | | | | ・記載なし | | ・「1042」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・蛸取具、海苔採具、栄螺採具などの漁具の図<br>・上部に「水産小學附圖」と思われる記載が見える。写4-2-15-37から『新潟県管内水産小学附図』に記載されている図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 37 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 丸木舟、釣船他7船の図 | | | | ・記載なし | | ・「1044」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・丸太船、箱舩又半船など木造船の図<br>・越後、佐渡などの地域が書かれている<br>・上部に「水産小學附圖」と思われる記載が見える。前述の地名から『新潟県管内水産小学附図』に記載されている図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 2 15 38 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 製塩所の図 | | | | ・記載なし | | ・「102」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・製塩用の桶やエブリなどが写っている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 | 2 | 15 | 39 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 袖志の蜑二人の写真 | | | | ・記載なし | | ・「885」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・京都府京丹後市袖志の蜑を撮影したもの | 京都府水産講習所編『京都府漁業誌　第6巻（竹野郡之部）』<br>京都府水産講習所大正2年(1913年)口絵「袖志ノ蜑婦」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 40 | | 写4-2-15-20 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 和船図 | | | | ・記載なし | | ・「569」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・本資料は見開きの左頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-20である。写4-2-15-20より福岡県山門郡矢留町で用いられていた和船の見取図ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 41 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | イルカ漁の図 | | | | ・記載なし | | ・「100」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「二十六」と頁番号が書かれている<br>・『肥前国産物図考』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。 | 「肥前国産物図考」『江戸後期諸国物産帳集成　第十七巻』科学書院平成16年(2004年)p188-189 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 42 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 魚をかつぐ男女の図 | | | | ・記載なし | | ・「95」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・担いでいる魚は鰹ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 43 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 水眼鏡他全3点の図 | | | | ・記載なし | | ・「78」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・右から「静岡縣　覗水器」「高知縣　水眼鏡」「函館縣　覗水器」と注記されている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 44 | | 写4-2-15-17 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 沖合箱の図 | | | | ・記載なし | | ・「57」と書かれた付箋と共に撮影されている<br>・「沖合箱　之ー図　千葉縣下上總国夷隅郡岩和田村」と注記されている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 45 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | カッパの図 | | | | ・記載なし | | ・『利根川図誌』の河童の絵。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。<br>・写真下部に「物産　十八」と書かれている | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 46 | | 写4-2-15-49 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 勢子船・持双船などの図 | | | | ・記載なし | | ・「四八」と書かれている<br>・『勇魚取絵詞　下』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo2/yugyo2.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの左頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-49である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 47 | | 写4-2-15-48 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 長柄包丁・萬銛などの図 | | | | ・記載なし | | ・『勇魚取絵詞　下』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo2/yugyo2.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの右頁であり、見開きの左頁は写4-2-15-48である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 48 | | 写4-2-15-47 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 長柄包丁・萬銛などの図 | | | | ・記載なし | | ・『勇魚取絵詞　下』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo2/yugyo2.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの左頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-47である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 49 | | 写4-2-15-46 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 勢子船・持双船などの図 | | | | ・記載なし | | ・「四八」と書かれている<br>・『勇魚取絵詞　下』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo2/yugyo2.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの右頁であり、見開きの左頁は写4-2-15-46である | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 50 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 51 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 52 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 53 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 54 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 不明 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 55 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 漁の図 | | | | ・記載なし | | ・「二百四」と書かれている<br>・漁網を引き上げている際の絵ヵ。漁船とタモを持つ人々が描かれている。<br>・資料左側に注が書かれているが、判別不能 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 56 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 笠、蓑の図 | | | | ・記載なし | | ・笠は「スゲガサ　笠ハイカノ吹ク潮ニテ濡レザルタメ晴夜ニモ用フルナリ」と注記されている<br>・蓑は「烏賊場」と注記され、「イカバ」と振り仮名がされている<br>・水産総合研究センター図書資料デジタルアーカイブ(http://nrifs.fra.affrc.go.jp/book/D_archives/2012DA006.html)『水産博覧会第一区第一類出品審査報告』挿絵に本写真と同じものが描かれている。同書同頁を撮影したものヵ | 『水産博覧会第一区第一類出品審査報告』 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 57 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 生月御崎沖座頭鯨網代追入図 | | | | ・記載なし | | ・「四三ー一」と書かれている<br>・『勇魚取絵詞　上』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo1/yugyo1.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの左頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-58である<br>・題名は九州大学デジタルアーカイブによる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 58 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 生月御崎沖座頭鯨網代追入図 | | | | ・記載なし | | ・「四三ー二」と書かれている<br>・『勇魚取絵詞　上』を撮影したものと推測される。国文学研究資料館祭魚洞文庫旧蔵水産資料に同書が収蔵されている。また、九州大学デジタルアーカイブ(http://record.museum.kyushu-u.ac.jp/kujira/yugyo1/yugyo1.html)で公開されている<br>・本資料は見開きの右頁であり、見開きの右頁は写4-2-15-57である<br>・題名は九州大学デジタルアーカイブによる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 59 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 鮪冬網の図 | | | | ・記載なし | | ・資料に「126」と書かれた付箋が添付されている<br>・『日本山海名産図絵』を撮影したものと推測される | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 15 | 60 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 若狭鰒網の図 | | | | ・記載なし | | ・『日本山海名産図絵』を撮影したものと推測される | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 1 | | 河1-4-1 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 釜の材料である竹を割っているところ | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 2 | | ア-34-46 | 常民研所蔵ガラス乾板 | たくさんの釜を前に煙管で一服する男性 | | | | ・記載なし | | ・釜作りの職人ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 3 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の一ノ瀬堂前正徳六年建立の庚申塔 | | | | ・記載なし | 107×82 | ・川島村の庚申塔を含む川島村の石塔については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p90-98に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。<br>・ガラス板のうち、正面右側にガラスのひび割れがある。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p90「第二十図　庚申塔（一ノ瀬堂前正徳六年建立）」 | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月<br>（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 | 2 | 16 | 4 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の橋綱 | | | | ・記載なし | 82×108 | ・川島村の橋綱については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p56,57に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『上伊那川島村郷土誌続編』アチック・ミューゼアム彙報第7p56「第十七図　橋綱」 | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月<br>（備考参照） | 長野県上伊那郡川島村（備考参照） | |
| 写4 | 2 | 16 | 5 | 香川県 | ア-100-15 河1-8-1 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 岩黒島の集落 | | | | ・記載なし | 64×90 | ネガフィルムのみ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、『アチックマン | 岩黒島関連目録番号資料 | |
| 写4 | 2 | 16 | 6 | 香川県 | ア-100-15 河1-8-2 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 岩黒島の地割 | | | | ・記載なし | 64×90 | ネガフィルムのみ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、『アチックマン | 岩黒島関連目録番号資料 | |
| 写4 | 2 | 16 | 7 | 不明 | ア-100-4 ア-100-12 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 瀬戸内海島嶼部の港（備考参照） | | | | ・記載なし | 64×90 | ・ネガフィルムのみ<br>・当資料の年代および撮影地は、アルバム100の前後のナンバリングの番号をもとに、一連の瀬戸内海調査の写真と推定したものである | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、『アチック | 瀬戸内海島嶼（備考参照） | |
| 写4 | 2 | 16 | 8 | 香川県 | ア-100-2 ア-100-15 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 岩黒島の地割 | | | | ・記載なし | 64×90 | ・ネガフィルムのみ | 宮本常一「畑作」『日本民俗学大系』5平凡社昭和34年（1959年）p59「均分の畑　香川県丸亀市岩黒島　高橋文太郎撮影　畑を小さく区切ったのは均分に好都合なためで、島民は小さい畑を方々に持っている。」 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、『アチックマンスリー』による | 岩黒島台紙記載 | |
| 写4 | 2 | 16 | 9 | 岡山県 | 河1-8-5 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 真鍋島本浦遠景（関連目録番号資料による） | | | | ・記載なし | 64×90 | ・ネガフィルムのみ<br>・ネガ左側に「3」の印字あり、フィルム自体のNo.ヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月17日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、『アチックマン | 真鍋島本浦関連目録番号資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関所蔵資料情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関所蔵資料情報2 台紙記載 | 他研究機関所蔵資料情報3 備考 | 他研究機関所蔵資料情報4 写真資料記載 | 他研究機関所蔵資料情報5 写真資料法量 | 他研究機関所蔵資料情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関所蔵資料情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 写4 | 2 | 16 | 10 | 長野県 | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 上伊那川島村の十二ほんだり様とけえかき棒 | | | | ・記載なし | 107×83 | ・十二ほんだり様とけえかき棒については引用使用媒体であるアチック・ミューゼアム彙報第7『上伊那川島村郷土誌続編』p177-178に関連の記述がある。<br>・撮影者、撮影地域は引用・使用媒体の図版目次による。撮影年月日は引用・使用媒体の内容である児童による調査が開始された昭和9年4月より、同書が刊行された昭和11年8月の間を最大として推定した。 | 竹内利美『小学生の調べたる上伊那川島村郷土誌　続編』アチック・ミューゼアム彙報第71936p178「第二十二図　十二ほんだり様とけえかき棒」<br>日本民族学協会編『日本社会民俗辞典』第2巻誠文堂新光社1954年誠文堂新光社1954年p654「十二ほんだりさま(小正月の庭飾り、春木に小正月の粥かき棒(餅をはさむ)を立てる.この棒は水口祭に用いる.長野県川島村)」 | | | | | | | | 竹内利美 | 昭和9年(1934年)4月～昭和11年(1936年)8月(備考参照) | 長野県上伊那郡川島村(備考参照) | |
| 写4 | 2 | 16 | 11 | | 河1-4-4 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 釜を乾している場所と職人 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 12 | | 河1-4-8 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 並べた釜と職人 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 13 | | 河1-4-3 | 常民研所蔵ガラス乾板 | 釜と犬を抱く職人 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 14 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミチシバゾーリ | | | | ・記載なし | | ・ガラス板のひび割れ、欠けがみられる | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p220「ミチシバゾーリ」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 15 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | オヒツイレ | | | | ・記載なし | | ・ガラス板のひび割れ、欠けがみられる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 2 | 16 | 16 | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | ミソコシ | | | | ・記載なし | | ・ガラス板のひび割れ、欠けがみられる | アチック・ミューゼアム編『民具問答集　第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1アチック・ミューゼアム1937年p207「ミソコシ」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 写4 | 3 | 1 | | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | 着物を着た女性 | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 4 | 1 | | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 4 | 2 | | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 4 | 3 | | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |
| 写4 | 4 | 4 | | | | 常民研所蔵ガラス乾板 | | | | | ・記載なし | | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 1 | 1 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 大きな笠を二人で被る少女 | 2034(ナンバリング、青インク)<br>速里(鉛筆、縦書) | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 速里(縦書) | 79×104 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月18日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里台紙記載 | |
| 河1 | 1 | 2 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 石垣が側面にある小屋 | 2037(ナンバリング、青インク)<br>蔚山邑速里(鉛筆、縦書) | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×164 | 蔚山邑速里(縦書) | 78×102 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月18日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里台紙記載 | |
| 河1 | 1 | 3 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 水甕を頭にのせる女 | 2340(ナンバリング、青インク)<br>42(ナンバリング、青インク)<br>平安南道大同郡南串面孝南里<br>水甕を頭にのせる女。 | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×163 | | 59×58 | | | (財)宮本記念財団宮本記念財団 朝鮮(四) 1303 197 | 1303 197(この行赤ナンバリング)<br><br>平安南道大同郡南串面孝南里<br>昭和十一年八月二十一日撮影(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>水甕を頭にのせる女。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 41(鉛筆、写真裏面中央部、文字天地逆) | | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月21日～他研究機関所蔵資料 | 南串面孝南里台紙記載 | |
| 河1 | 1 | 4 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 機織 pe-tul | 2041(ナンバリング、青インク)<br>43(ナンバリング、青インク)<br>平安南道大同郡南串面孝南里<br>機織 pe-tul.<br>手前に見える薬製の腹物を足にはめて織るのである。 | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 206×164 | | 58×58 | | | (財)宮本記念財団宮本記念財団 朝鮮(四) 1304 198 | 1304 198(この行赤ナンバリング)<br><br>平安南道大同郡南串面孝南里<br>昭和十一年八月二十一日撮影(年月日は数字以外ゴム印)<br><br>機織 pe-tul.<br>手前に見える薬製の腹物を足にはめて織るのである。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月21日～他研究機関所蔵資料 | 南串面孝南里台紙記載 | 有 |
| 河1 | 1 | 5 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | チゲ | 2060(ナンバリング、青インク)<br>64(ナンバリング、黒インク)<br>×(赤鉛筆)<br>慶尚南道蔚山邑速里(ゴム印)<br>06 27(ナンバリング、青インク) | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 58×58 | ・題名は『朝鮮多島海旅行覚書』口絵四図「チゲを負う」と同形態からこれにした<br>・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して宮本馨太郎が速里に滞在していた期間とした | | (財)宮本記念財団宮本記念財団 朝鮮(二) 1169 65 | 1169 65(この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑速里(ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31(鉛筆、写真裏面中央部)<br>32(鉛筆、写真裏面下部) | | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里台紙記載 | 有 |
| 河1 | 1 | 6 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 白い衣服を着る二人の男 | 3(赤鉛筆)<br>2095(ナンバリング、青インク)<br>5(ナンバリング、黒インク)<br>慶尚南道蔚山邑速里(ゴム印)<br>07 03(ナンバリング、青インク) | 台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 210×162 | | 57×58 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して宮本馨太郎が速里に滞在していた期間とした | | (財)宮本記念財団宮本記念財団 朝鮮(一) 1109 5 | 1109 5(この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑速里(ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 41(鉛筆、写真裏面中央部) | | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里台紙記載 | |
| 河1 | 1 | 7 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 鍬や背負子など当地の農具類 | 2175(ナンバリング、青インク)<br>014(ナンバリング、黒インク)<br>(スケッチ、黒インク)<br>Madang-pitsyali<br>Tsige<br>Konbe<br>Pajan-tsige<br>ojan<br>Ojunton<br>Shogli<br>Soshilè<br>Milge<br>Toyakta | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 62×85 | ・写真下部に写真解説として農具の図とそれに併記して名称が書かれている<br>・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里外装記載 | 有 |
| 河1 | 1 | 8 | | 朝鮮 | ア-64-52 | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 鎌や箱、パチチゲなど当地の農具類 | 2176(ナンバリング、青インク)<br>015(ナンバリング、黒インク)<br>(スケッチ、黒インク)<br>ojan<br>Nat<br>Homagnat | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 84×61 | ・写真下部に写真解説として農具の図とそれに併記して名称が書かれている<br>・写真はアルバム64-52と全く同じもの、焼き増しか<br>・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行1607 | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里外装記載 | 有 |
| 河1 | 1 | 9 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 速里の石臼 | 2177(ナンバリング、青インク)<br>020(ナンバリング、黒インク)<br>速里 石臼(Tolbài)<br>部落の南はづれにある石臼。数軒が共有して<br>あるもの。最近はMotorが入って、是を用ひることも尠くなつたと云ふ。<br>立つてゐるのは左から大串さん、朴淳杓君と彼のGrossmatter. | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 61×83 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行1603 | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里台紙記載 | 有 |
| 河1 | 1 | 10 | | 朝鮮 | ア-64-47 | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 昼休みの子どもたち | 2181(ナンバリング、青インク)<br>044(ナンバリング、黒インク)<br>昼休み<br>(洞舎の庭で) | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 61×84 | ・写1-9-28-3などに「洞舎」と記載があり、そこでは速里と記載があることから撮影地域はこれによる<br>・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした<br>・写真はア64-47と全く同じもの、焼き増しか | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行1605 | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里備考参照 | |
| 河1 | 1 | 11 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 朴容文氏宅の下の家 | 2183(ナンバリング、青インク)<br>050(ナンバリング、黒インク)<br>朴容文(72)氏宅の<br>Aitsè(下の家)<br>左方はTsekkan、右方はもとの牛舎(So-mag)であるが、今は納屋になつてゐる。 | ・台紙には旗の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | | 63×83 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に関して調査一行が速里に滞在していた期間とした | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行1626 | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)7月1日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑速里外装記載 | |
| 河1 | 1 | 12 | | 秋田県 | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg.,Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>速里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 秋田県角館町のヤマゾリ古型 | 1867(ナンバリング、青インク)<br>14、3 ソリ(鉛筆)<br>00001(ナンバリング、黒インク)<br>秋田県角館町(武藤鉄城氏蔵)<br>ヤマゾリ古型(左)、 | ・台紙には透かしに、ESPARTO SUPERFINEとある | 215×161 | | 79×104 | ・台紙は二重になつており下の台紙は大きく、上の台紙は罫線用紙の台紙で上の台紙に写真が貼られている<br>・「1867 14、3 ソリ」の記載は一番下の台紙、それ以降の記載は上の罫線用紙台紙に記載<br>・本資料はナンバリングからアルバム50から抜き出されたものと考えられる、アルバム50は全体が調査風景や調査内容、引用・使用媒体から昭和十一年三月に行われた武藤鉄城と高橋文太郎の調査と考えられ、撮影者・撮影日など詳細はこれら調査をまとめた『秋田マタギ資料』によった(尚、常民文化研究所が所蔵する『秋田マタギ資料』は写真貼付部分が落丁しているので(詳細不明)、典拠は三一書房『日本常民生活資料叢書』第10巻pp.761-888によった) | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行1608 | | | | | | | 武藤鉄城・高橋文太郎 | 昭和11年(1936年)5月5日備考参照 | 角館町台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 1 | 13 | | × | | 【表面】<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>[To] Mr.Keizo Shibusawa（印字）<br>Japan National Committee（印字）<br>International Chamber of Commerce（印字）<br>The New Kaijo Bldg,.Room 1720（印字）<br>Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan（印字）<br>国際商業会議所（鉛筆）<br>PRINTED MATTER（ゴム印）<br>"ADVERTISING MATERIAL"（ゴム印）<br>"NO COMMERCIAL VALUE"（ゴム印）<br>【裏面】<br>達里集(黒フェルトペン、縦書、右) | 封筒 | × | × | | × | 390×235 | ・PHILCO TIOGA＆STREETSのA4型封筒、消印は1959年1月19日付、「PHILADELPHIA」郵便局のもの | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1612 | | | | | | | × | | | |
| 河1 | 2 | 1 | 1 | 秋田県 | | | 北秋田郡北比内荘脇神村の家屋 | 11(赤鉛筆、丸囲み)<br>第四五図<br>｜←天地二寸三分→｜(赤インク) | 民間伝承編集部原稿用紙20字×10行 | 246×179 | 45(鉛筆、丸囲み)<br>天地二寸三分(鉛筆、縦書)<br>109(鉛筆) | 64×45 | ・台紙は「図書出版 六人社 民間伝承 編集部」の原稿用紙<br>・本資料は内田武志編 常民文化研究第六七『菅江真澄未刊文献集二』の口絵の版下写真と考えられ、題名は同書により、撮影者・撮影地は不明だが、撮影年月日は同書刊行以前とした<br>・河岡01-2-1-1～4は同じ台紙に貼られている | 『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67口絵「第四十五図」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1614 | | | | | | | 不明 | 昭和29年（1954年）以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 1 | 2 | 秋田県 | | | 北秋田郡北比内荘脇神村の家屋 | 11(赤鉛筆、丸囲み)<br>第四六図<br>｜←天地二寸三分→｜(赤インク)<br>レ(鉛筆) | 民間伝承編集部原稿用紙20字×10行 | 246×179 | 46(鉛筆、丸囲み)<br>天地二寸三分(鉛筆、縦書)<br>109(鉛筆) | 64×47 | ・台紙は「図書出版 六人社 民間伝承 編集部」の原稿用紙<br>・本資料は内田武志編 常民文化研究第六七『菅江真澄未刊文献集二』の口絵の版下写真と考えられ、題名は同書により、撮影者・撮影地は不明だが、撮影年月日は同書刊行以前とした<br>・河岡01-2-1-1～4は同じ台紙に貼られている | 『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67口絵「第四十六図」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1615 | | | | | | | 不明 | 昭和29年（1954年）以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 1 | 3 | 秋田県 | | | 杉を割り内をくり抜いて、桜の皮を用いて組み綴じした箭箙 | 11(赤鉛筆、丸囲み)<br>第四七図<br>｜←二寸三分→｜(赤インク) | 民間伝承編集部原稿用紙20字×10行 | 246×179 | 47(鉛筆、丸囲み)<br>天地二寸三分(鉛筆、縦書)<br>104(鉛筆) | 66×47 | ・台紙は「図書出版 六人社 民間伝承 編集部」の原稿用紙<br>・本資料は内田武志編 常民文化研究第六七『菅江真澄未刊文献集二』の口絵の版下写真と考えられ、題名は同書により、撮影者・撮影地は不明だが、撮影年月日は同書刊行以前とした<br>・河1-2-1-1～4は同じ台紙に貼られている | 『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67口絵「第四十七図」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1619 | | | | | | | 不明 | 昭和29年（1954年）以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 1 | 4 | 秋田県 | | | 木鍬と鍬臺、木履、鍋耳 | 11(赤鉛筆、丸囲み)<br>第四八図<br>｜←天地二寸三分→｜(赤インク)<br>(■) | 民間伝承編集部原稿用紙20字×10行 | 246×179 | 48(鉛筆、丸囲み)<br>天地二寸三分(鉛筆、縦書)<br>107(鉛筆) | 65×43 | ・台紙は「図書出版 六人社 民間伝承 編集部」の原稿用紙<br>・本資料は内田武志編 常民文化研究第六七『菅江真澄未刊文献集二』の口絵の版下写真と考えられ、題名は同書により、撮影者・撮影地は不明だが、撮影年月日は同書刊行以前とした<br>・河岡01-2-1-1～4は同じ台紙に貼られている | 『菅江真澄未刊文献集 二』 常民文化研究第67口絵「第四十八図」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1616 | | | | | | | 不明 | 昭和29年（1954年）以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 2 | | 不明 | ア-93-4<br>ア-93-7<br>ア-93-11 | | 幕末の絵巻より接写したテスリツムの場面 | 9(ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 259×205 | | 120×164 | ・本資料はもともと、アルバム93より抜き出されたものと考えられる、アルバム93にはテスリツムに関する写真が綴じられているが、澁澤敬三『東北犬歩当棒録』p.120によると、これらの資料は「幕末の絵巻より転写」とあるが、ア93-5からこの絵巻は小千谷ちぢみ絵巻の「縮布製造之真図」である可能性が高い、なお、撮影年月日は同書が発行される以前とした | 『東北犬歩当棒録』表紙裏「テスリツム。絵巻より」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1617 | | | | | | | 不明 | 昭和30年（1955年）5月25日以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 3 | | 不明 | ア-93-9 | | 幕末の絵巻より接写したテスリツムの場面 | 13(ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 260×205 | | 120×165 | ・本資料はもともと、アルバム93より抜き出されたものと考えられる、アルバム93にはテスリツムに関する写真が綴じられているが、澁澤敬三『東北犬歩当棒録』p.120によると、これらの資料は「幕末の絵巻より転写」とあるが、ア93-5からこの絵巻は小千谷ちぢみ絵巻の「縮布製造之真図」である可能性が高い、なお、撮影年月日は同書が発行される以前とした<br>・本資料は関連目録番号資料ア-93-9の一部を拡大したもの | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1620 | | | | | | | 不明 | 昭和30年（1955年）5月25日以前 備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 2 | 4 | | 山形県 | | | 紅花畑全景 | × | × | | ○(鉛筆)<br>第三図 紅花畠全景〈摘み全景〉(縦書)<br>第五章参照(縦書)<br>安齋徹氏所蔵(縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>三寸二〈五〉分(鉛筆、縦書)<br>3〈4〉(鉛筆、縦書、丸囲み)<br>64(鉛筆、丸囲み) | 110×154 | ・本資料は写真のみで台紙がない<br>・撮影地域は本資料の説明である『最上紅花史料』第5章による<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした | 『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57口絵「紅花畠全景 （第五章参照」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1628 | | | | | | | 安斎徹 | 昭和17年(1942年)8月以前 備考参照 | 山形県山形市引用・使用媒体 | |
| 河1 | 2 | 5 | | 青森県 | | | 木造町から見た岩木山 | × | × | | 2(鉛筆、丸囲み)<br>木造町ヨリ見タ(墨書、縦書)<br>岩木山(墨書、縦書) | 80×118 | ・本資料は写真のみで台紙がない<br>・本資料を撮影した昭和6年6月のアチック調査について書かれた澁澤敬三『祭魚洞雑録』pp.139-142、高橋文太郎「陸奥十三から増川峠へ」p.95より撮影年月日は昭和6年6月3日とした<br>・撮影者は不明であるが、同行して撮影が可能であったのは澁澤敬三のほか、酒井仁、岡本信三、高橋文太郎、早川孝太郎である | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1629 | | | | | | | 不明 | 昭和6年(1931年)6月3日～備考参照 | 青森県木造町備考参照 | |
| 河1 | 2 | 6 | | 山形県 | 写1-1-1 | | 山形県七日町初市の花飴 | × | × | | 第十九〈七〉図(縦書)<br>○(鉛筆)山形七日町初市の花飴(縦書)<br>第十四章参照(縦書)<br>佐藤栄太氏撮影(縦書)<br>原寸(鉛筆、縦書) | 78×103 | ・引用・使用媒体本文によれば「陰暦正月の初市に立つ大道店」とあり(p.249)、その大道店で花飴を売っている場面ヵ<br>・本資料は写真のみで台紙がない<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした | 『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57口絵「花飴 山形七日町初市」 | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1632 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前 備考参照 | 山形七日町引用・使用媒体 | |
| 河1 | 2 | 7 | | 山形県 | | | 寒河江町武田家所蔵の紅花屏風 | × | × | | | 133×194 | ・本資料は写真のみで台紙がない<br>・本資料は『最上紅花史料』第十五章に言及されている<br>・写1-1-21の一部分の拡大<br>・撮影者は写1-1-15から佐藤栄太と推定<br>・撮影年月日の詳細は不明であるが、同書の出版以前とした | 『最上紅花史料』 日本常民文化研究所彙報第57口絵「紅花屏風Ⅱ」『日本社会民俗辞典』第3巻「紅花つくり」(山形県最上郡) | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1633 | | | | | | | 佐藤栄太 | 昭和17年(1942年)8月以前 備考参照 | 山形県寒河江町引用・使用媒体 | |
| 河1 | 2 | 8 | | | | | 封筒 | × | × | | | 358×210 | ・封筒は産業経済新聞東京本社の封筒を転用している<br>・外装法量は劣化による破損がひどいためおおよその数値を計測した | | 宮本記念財団<br>昭和十二年 中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1630 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 3 | 1 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒、左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡下狩野村字日向にてトンボガサを被った女性 | 792(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>トンボガサ(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十一日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡下狩野村字日向(黒ペン)<br>右原ひさ(四八)(黒ペン) | | 207×162 | | 62×60 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・「トンボガサ」は笠のこの地方の方言である。『静岡縣方言誌 分布調査第三輯 民具編』p.9に「笠と云つても其材料別や男女の使用者別により、日除け用雨天用などの使用法別などに依つて其名稱と形態に相違が有る様である。(中略)材料から云へば藺、菅、竹皮、棕櫚、玉蜀黍の皮、鉋屑製などである。形状は大型のものと小型のもの傾斜の緩かなものと急なもの、笠の内部の頭に當る處に輪が付いてゐたり紐や紙の付いてゐるもの等の各種類がある。使用者の相違によつても形状の違ふ物を使用する。一般に男子用は傾斜が急であり、女子用は傾斜が緩かで大型である」とある | | (財)宮本記念財団昭和十一年 伊豆旅行(上)<br>1031 | 12(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1031(写真右上、ナンバリング、青インク)<br>静岡県田方郡下狩野村字ツボノウチ 右原ひさ(四八) トンボガサ | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡下狩野村字日向台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 2 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒、左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣賀茂郡南上村字毛倉野にてモヂリバンテンを着た女性(正面) | 793(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>No9(台紙右上、ナンバリングに重なっている、鉛筆)<br>仕事着(鉛筆、縦書き)<br>モヂリバンテン(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十五日(黒ペン)<br>静岡縣賀茂郡南上村字毛倉野(黒ペン)<br>山田けいの(五〇)(黒ペン) | | 207×162 | | 60×59 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第11集 仕事着—東日本編—』p.278に「モンペと組み合わせて着用したものにハンテン・ウワッパリ・ハンジリ・ハッピ・ノラギ・ジバンと呼ぶ腰丈の上衣がある」とある<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24 かぶりもの・きもの・はきもの』pp..104-105にモヂリソデに関する説明が書かれている | 『日本社会民俗辞典』第2巻口絵「冬の仕事着(静岡県南上村毛倉野—農村). テヌグイ・モヂリバンテン・モノシ・テブクロ・オビ・マイカケ・ヒモ・クツシタ・タビハダシ | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(下)<br>1053 | 83(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1053(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣賀茂郡南上村毛倉野<br>山田けいの(五〇)<br><br>山田けいの服装<br>テヌグイ(ホツカブリ)<br>モヂリバンテン 茶木綿<br>ヒモ (細)<br>モノシ<br>ジバン (腰の文位)木綿<br>ジバン ネル<br>マイカケ 木綿<br>オビ<br>コシマキ ネル<br>コシマキ ネル<br>クツシタ 黒<br>タビハダシ | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県賀茂郡南上村字毛倉野台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 3 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒、左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡上大見村字原保にてナガアシ(田下駄) | 795(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>ナガアシ、オーアシ、アシ(黒ペン)<br>全長 61.5cm(黒ペン)<br>全幅 22.5cm(黒ペン)<br>ナワシロの時用ひる。(黒ペン)<br>最近余り使用しない。(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十一日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡上大見村字原保(黒ペン) | | 207×162 | ナガアシ、オーアシ、アシ(左上、ペン)<br>上大見村原保(左上、ペン)<br>昭和十一、二、(左上、ペン)<br>↓(中央、鉛筆) | 79×59 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・宮本記念財団所蔵『昭和十一年 伊豆旅行(上)』台紙24に「静岡縣田方郡上大見村字原保 ナガアシ オーアシ アシ ナワシロの時用ひるが最近一般に余り用ひなくなった 長さ六一．五cm 幅二二．五cm」と書かれている。写真は貼付されていないが、撮影地、名称、大きさなどが一致しており、河1-3-3の写真の説明であると推測される。 | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>台紙24 | 24(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡上大見村字原保<br>ナガアシ<br>オーアシ<br>アシ<br>ナワシロの時用ひるが最近一般に余り用ひなくなった<br>長さ六一．五cm | ・他研究機関資料に写真は貼付されていないが、撮影地、名称、大きさなどから、この写真の説明であると推測される。 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡上大見村字原保台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 4 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒、左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡中狩野村字本柿木にて着物を着用した四人の子供 | 801(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>昭和十一年二月二十二日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡中狩野村字本柿木(黒ペン) | | 207×162 | | 59×59 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・集合写真 | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1041 | 51(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1041(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡中狩野村本柿木 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡中狩野村字本柿木台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 5 | 1 | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒、左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡上狩野村字湯ヶ島新田にて山袴を着用した女性(正面) | 804(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>モモヒキ(山袴)(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十四日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡上狩野村字湯ヶ島新田(黒ペン)<br>山本ちえ(二三)(黒ペン) | | 207×162 | | 60×60 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・河1-3-5-1、2は一枚の台紙に貼られている<br>・女性を正面から撮影した図<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第11集 仕事着—東日本編—』p.272に「(前略)つい丈の長着にタモトの袖でたすきをかけたり、長着の裾をひざこぞうの少し下ぐらいまではしょって腰巻を出したり、田んぼなどではときに腰巻もたくしあげたり、というのが戦前までの一般的な女性の仕事着である。モヂリ袖、筒袖などにするとたすきは必要なかった。また、山村や漁村では短い上衣と腰巻に前掛けをするところもあった。大正時代から昭和十年代にかけて。そこへモンペが流行していったようである。特に山間部などでは、男性のタッツケやカルサンを模したものを作ってはき始めていた」とある。<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24 かぶりもの・きもの・はきもの』pp..133-140に | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1045 | 57(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1045(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡上狩野村湯ヶ島新田(茅野)<br>山本ちえ(二三)<br>山本ちえは田方郡上大見村筏場から嫁に来た女である。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・1045と1046は同じ頁に貼られている | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡上狩野村字湯ヶ島新田台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 3 | 5 | 2 | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡上狩野村字湯ヶ島新田にて山袴を着用した女性(右側面) | 804(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>同上(黒ペン) | | 207×162 | | 60×57 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・河1-3-5-1、2は一枚の台紙に貼られている<br>・女性を右側面から撮影した図<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告　第11集 仕事着―東日本編―』p.272に「(前略)つい丈の長着にタモトの袖でたすきをかけたり、長着の裾をひざこぞうの少し下ぐらいまではしょって腰巻を出したり、田んぼなどではときに腰巻もたくしあげたり、というのが戦前までの一般的な女性の仕事着である。モヂリ袖、筒袖などにするとたすきは必要なかった。また、山村や漁村では短い上衣と腰巻に前掛けをするところもあった。大正時代から昭和十年代にかけて。そこへモンペが流行していったようである。特に山間部などでは、男性のタッツケやカルサンを模したものを作ってはき始めていた」とある。<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24　かぶりもの・きもの・はきもの』pp..133-140に | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1046 | 57(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1046(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>山本ちえ服装<br>ソデナシバンテン　綿入れ<br>モヂリバンテン　あわせ<br>モモヒキ　(山袴) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・1045と1046は同じ頁に貼られている | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡上狩野村字湯ヶ島新田台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 6 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡上狩野村字湯ヶ島新田にてハカマ、モンペを着用した三人の女 | 805(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>ハカマ、モンペ(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十四日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡上狩野村字湯ヶ島新田(黒ペン)<br>流杉つる　其の他(黒ペン)<br>(宮城県刈田郡白石町の人々)(黒ペン) | | 207×162 | | 60×58 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告　第11集 仕事着―東日本編―』p.272に「(前略)つい丈の長着にタモトの袖でたすきをかけたり、長着の裾をひざこぞうの少し下ぐらいまではしょって腰巻を出したり、田んぼなどではときに腰巻もたくしあげたり、というのが戦前までの一般的な女性の仕事着である。モヂリ袖、筒袖などにするとたすきは必要なかった。また、山村や漁村では短い上衣と腰巻に前掛けをするところもあった。大正時代から昭和十年代にかけて。そこへモンペが流行していったようである。特に山間部などでは、男性のタッツケやカルサンを模したものを作ってはき始めていた」とある。<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24　かぶりもの・きもの・はきもの』pp..133-140において山袴の解説が書かれており、カルサンに関しても記載されている | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1047 | 59(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1047(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡上狩野村湯ヶ島新田(茅野)<br>流杉つる(写真左端)<br>流杉つる一家の人々は宮城縣刈田郡白石町の人々である。<br>彼女等は其の穿ける山袴をハカマとかモンペとか読んで居った。 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡上狩野村字湯ヶ島新田台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 7 | 1 | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡下狩野村字日向にてカルサンを着用した女(左側面) | 807(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>No9(台紙右上、ナンバリングに重なっている、鉛筆)<br>山袴(鉛筆、縦書き)<br>カルサン(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十一日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡下狩野村字日向(黒ペン)<br>右原ひさ(四八)(黒ペン) | | 207×162 | | 61×58 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・河1-3-7-1、2は一枚の台紙に貼られている<br>・女性を左やや半身の角度で撮影した図<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告　第11集 仕事着―東日本編―』p.272に「(前略)つい丈の長着にタモトの袖でたすきをかけたり、長着の裾をひざこぞうの少し下ぐらいまではしょって腰巻を出したり、田んぼなどではときに腰巻もたくしあげたり、というのが戦前までの一般的な女性の仕事着である。モヂリ袖、筒袖などにするとたすきは必要なかった。また、山村や漁村では短い上衣と腰巻に前掛けをするところもあった。大正時代から昭和十年代にかけて。そこへモンペが流行していったようである。特に山間部などでは、男性のタッツケやカルサンを模したものを作ってはき始めていた」とある。<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24　かぶりもの・きもの・はきもの』pp..133-140において山袴の解説が書かれており、カルサンに関しても記載されている<br>・『日本社会民俗辞典』第4巻「やまばかま」pp..1504-1505において「カルサン＝丙型式山袴」の項目で解説されている | | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1029 | 11(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1029(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡下狩野町字日向クボノウチ<br>右原ひさ(四八)<br><br>右原ひさ服装<br>テヌグイ(オカーサンカブリ)<br>モヂリバンテン　セル縞<br>アワセ(三尺三寸位の太サ)　木綿縞<br>ジバン　木綿縞<br>シヤツ　メリヤス<br>コシマキ　ネル白<br>コシマキ　ネル<br>カルサン　(膝下はゴムバンド　足首は紐附)　木綿 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・1029と1030は同じ頁に貼られている | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡下狩野村字日向台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 7 | 2 | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡下狩野村字日向にてカルサンを着用した女性(背面) | 807(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>口(丸で囲み字、鉛筆、判読不能)<br>同上(黒ペン) | | 207×162 | | 60×58 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・河1-3-7-1、2は一枚の台紙に貼られている<br>・女性を背面から撮影した図<br>・鉛筆で記入されている文字は判読不能<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告　第11集 仕事着―東日本編―』p.272に「(前略)つい丈の長着にタモトの袖でたすきをかけたり、長着の裾をひざこぞうの少し下ぐらいまではしょって腰巻を出したり、田んぼなどではときに腰巻もたくしあげたり、というのが戦前までの一般的な女性の仕事着である。モヂリ袖、筒袖などにするとたすきは必要なかった。また、山村や漁村では短い上衣と腰巻に前掛けをするところもあった。大正時代から昭和十年代にかけて。そこへモンペが流行していったようである。特に山間部などでは、男性のタッツケやカルサンを模したものを作ってはき始めていた」とある。<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24　かぶりもの・きもの・はきもの』pp..133-140において山袴の解説が書かれており、カルサンに関しても記載されている<br>・『日本社会民俗辞典』第4巻「やまばかま」pp..1504-1505において「カルサン＝丙型式山袴」の項目で解説されている | 『日本社会民俗辞典』第2巻p535「カルサン姿(静岡県田方郡) | (財)宮本記念財団昭和十一年・伊豆旅行(上)<br>1030 | 11(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>1030(写真右上、ナンバリング、青インク)<br><br>静岡縣田方郡下狩野町字日向クボノウチ<br>右原ひさ(四八)<br><br>右原ひさ服装<br>テヌグイ(オカーサンカブリ)<br>モヂリバンテン　セル縞<br>アワセ(三尺三寸位の太サ)　木綿縞<br>ジバン　木綿縞<br>シヤツ　メリヤス<br>コシマキ　ネル白<br>コシマキ　ネル<br>カルサン　(膝下はゴムバンド　足首は紐附)　木綿 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・1029と1030は同じ頁に貼られている | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡下狩野村字日向台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 8 | | 静岡県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 静岡縣田方郡下狩野村字本立野にてドーフク(袖無)を着用した男性と女性 | 809(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>No9(台紙右上、ナンバリングに重なっている、鉛筆)<br>仕事着(鉛筆、縦書き)<br>ドーフク(袖無)(黒ペン)<br>昭和十一年二月二十一日(黒ペン)<br>静岡縣田方郡下狩野村字本立野(黒ペン)<br>上田慶作(六四)、同とく(六〇)(黒ペン) | | 207×162 | | 62×61 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・『アチックマンスリー』第九号p.35より宮本馨太郎、小川徹の両名による調査であると分かる<br>・宮本記念財団所蔵『昭和十一年　伊豆旅行(上)』台紙16に「ドーフク. ドーギ」と書かれている。ドーギについては『神奈川大学日本常民文化研究所調査報告　第11集　仕事着―東日本編―』p.278に「ドーギは腰丈で袖は半袖の筒袖に作り綿を厚く入れた。(中略)綿入れのドーギやハンテンは農村・漁村の別なく冬の重ね着として用いられた。ドーギは漁村の方が早くから使用していたという。ドーギ、ハンテンの区別は、打合せがあるのがドーギで、ないのがハンテンである」とある | | (財)宮本記念財団昭和十一年　伊豆旅行(上)<br>1032 | ・16(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>・1032(写真右上、ナンバリング、青インク)<br>・静岡県田方郡下狩野町字本立野　上田慶作(六五)　〃とく(六〇)<br>・上田慶作服装<br>テヌグイ(ハチマキ)<br>ドーフク、ドーギ<br>オビ<br>シヤツ<br>モモヒキ<br>ハダシタビ | ・他研究機関所蔵資料と当資料は同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 静岡県田方郡下狩野村字本立野台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 9 | | 埼玉県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄にてショイコ、ショイタなど背負梯子類 | 828(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>ショイコ(黒ペン)<br>ショイタ(黒ペン)<br>昭和十一年四月二十六日(黒ペン)<br>埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄(黒ペン) | | 207×162 | 36(中央、鉛筆) | 59×60 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・「ショイコ」、「ショイタ」は背負梯子のこの地方の方言である。『静岡縣方言誌　分布調査第三輯　民具編』p.35で「背負梯子とは重い荷物を背負ふ時に使用する木の枠である」と解説されている。また、日本常民文化研究所『日本の民具』p.156において、「「背負う」という動作名と、形状・機能などを示す言葉とによってつくられたと思われる呼名」と解説されている | | (財)宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一年)<br>1084 | 1084(台紙左上、ナンバリング、赤インク)<br><br>ショイコ<br>ショイタ<br>昭和十一年四月二十六日<br>埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄 | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 埼玉県児玉郡本泉村大字太駄台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 10 | | 埼玉県 | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄にてモヂリソデノアワセギモンを着用した女性 | 834(台紙右上、ナンバリング、青インク)<br>モヂリソデノアワセギモン(黒ペン)<br>昭和十一年四月二十六日(黒ペン)<br>埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄字ヨコバタケ(黒ペン) | | 207×162 | 36(中央、鉛筆) | 58×59 | ・河1-3-11の封筒に入っていた<br>・宮本馨太郎『民俗民芸双書24　かぶりもの・きもの・はきもの』pp..104-105にモヂリソデに関する説明が書かれている | | (財)宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一年)<br>1090 | 1090(台紙左上、ナンバリング、赤インク)<br><br>モヂリソデノアワセギモン<br>昭和十一年四月二十六日<br>埼玉縣兒玉郡本泉村大字太駄字ヨコバタケ | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | | 埼玉県児玉郡本泉村大字太駄字ヨコバタケ台紙記載 | |
| 河1 | 3 | 11 | | | | [XEQ,RADIO MEXICANA DEL CENTRO S. A.](タイプライター印字、黒左上部)<br>[TOSHIBA](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[MUSIC(黒)(FAMILIAR JAPANESE CHILDREN'S SONGS)](タイプライター印字、赤、左上部)<br>[JH-02006](タイプライター印字、黒、黒ペンで下線) [August 8th. 1959(Saturday)](タイプライター印字、赤、赤ペンで下線、上部中央)<br>宮本馨太郎作(縦書、中央) | 封筒 | × | × | | | 368×243 | ・河1-3-1～10の資料を入れていた封筒、法量368×243<br>・封筒は日本国際放送株式会社のもの、半分に折られている　上端に破れあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 4 | 1 | | 不明 | 写4-2-16-1 | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>筌集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 筌の材料である竹を割っているところ | 1216(ナンバリング、青インク)<br>瞬(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とORIGINALと透かしがある | 203×157 | 記載なし | 114×89 | ・台紙の罫線がある表に写真が貼られているのではなく、台紙の裏に写真が貼られている | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1658 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 4 | 2 | | 不明 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>筌集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 筌と職人 | 1217(ナンバリング、青インク)<br>瞬(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とその上にORIGINAL 、下にSUPERFINEと透かしがある | 203×157 | 記載なし | 117×89 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1659 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 4 | 3 | | 不明 | 写4-2-16-13 | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>筌集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 筌と犬を抱く職人 | 1218(ナンバリング、青インク)<br>瞬(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とその上にORIGINAL 、下にSUPERFINEと透かしがある | 203×157 | 記載なし | 116×88 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1655 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 4 | 4 | | 不明 | 写4-2-16-11 | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 釜を乾している場所と職人 | 1219(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とその上に<br>ORIGINAL 、下に<br>SUPERFINEと透かしがある | 203×157 | 記載なし | 84×116 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1660 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 4 | 5 | | 不明 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 釜と職人 | 1220(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とその上に<br>ORIGINAL 、下に<br>SUPERFINEと透かしがある | 203×157 | 記載なし | 116×86 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1661 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 4 | 6 | | 朝鮮 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 達里の釜 | 1922(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>61(ナンバリング、黒インク)<br>×(赤鉛筆)<br>慶尚南道蔚山邑達里(ゴム印)<br>06 30(ナンバリング、青インク) | ・台紙には旋の絵(中にSMとその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×163 | 記載なし | 57×58 | ・撮影年月日は『朝鮮多島海旅行覚書』、渋沢フィルム『多島海探訪記』、『アチックマンスリー』、『朝鮮の農村衛生』誌などにより、朝鮮の農村衛生に限して宮本馨太郎が達里に滞在していた期間とした | | (財)宮本記念財団宮本記念財団<br>朝鮮（二）<br>1166　62 | 1166　　62(この行赤ナンバリング)<br><br>慶尚南道蔚山邑達里（ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31(鉛筆、写真裏面中央部)<br>6.7(鉛筆、写真裏面下部) | | ・台紙には旋の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)7月10日～昭和11年(1936年)8月16日備考参照 | 慶尚南道蔚山邑達里台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 7 | | 島根県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | サガリ(釜) | 1923(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆、右上、丸で囲われている)<br>61(ナンバリング、黒インク)<br>隠岐中條村原田で　サガリ(釜、ウグイを捕る釜)カエリをサカエラといふ。<br>(樫田　勝徳作)<br>vol.2(鉛筆カ) | 台紙には鳥の絵とその絵のみにSUPERFINEと透かしがある | 207×162 | 隠岐中條村(縦書)<br>原田でサガリ(釜、ウグイを(縦書)<br>捕る釜)(縦書)<br>カエリをサカエラといふ。(縦書) | 74×101 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1663 | | | | | | | 樫田勝徳 | 不明 | 隠岐中條村台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 8 | | 不明 | 写4-2-16-12 | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 並べた釜と職人 | 1924(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆) | 台紙には絵柄や文字の透かしはなく、縦の罫線の透かしのみが入っている(裁断の都合により絵柄や文字が見えない可能性を含む) | 210×150 | 一2,7一(鉛筆)<br>881、(鉛筆)<br>105(鉛筆、丸で囲み字) | 84×115 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1664 | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 4 | 9 | | 新潟県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | ド(側面) | 1925(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>新潟県岩船郡三面村布部<br>vol.5(鉛筆カ) | 台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 211×163 | 記載なし | 58×58 | ・河1-4-9と河1-4-10は同一の被写体を角度を変えて撮ったもの<br>・建物の軒先で撮影された「ド」の側面。その横には「フカグツガダ」と呼ばれる木の型の先端が見える<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』p.106の「八　漁猟用具」の項に「ド」の解説がある。それによると「○ド　泥鰌ドは竹製で徳利形。既製品である。又、細い竹などで自製する大きなドもある」と記載されている<br>・『越後三面村布部郷土誌』口絵第11図によると「(側面)長さ110cm（正面）高さ41cm　底辺59cmとある。また「撮影　宮本馨太郎氏」とあるため、昭和11年にアチック・ミューゼアムで村上町、布部を調査(『旅譜』p.449、『アチックマンスリー』「種川見学記」p.83)した折に撮影したものと考えられる | 『越後三面村布部郷土誌』アチックミューゼアム彙報第22第11図1 | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1627 | | | | | | | 宮本馨太郎 | 不明～昭和11年(1936年)11月29日備考参照 | 岩船郡三面村布部台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 10 | | 新潟県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | ド(正面) | 1926(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>新潟県岩船郡三面村布部<br>vol.5(鉛筆カ) | 台紙には馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 211×163 | 記載なし | 58×58 | ・河1-4-9と河1-4-11は同一の被写体を角度を変えて撮ったもの<br>・建物の軒先で撮影された「ド」の正面<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』p.106の「八　漁猟用具」の項に「ド」の解説がある。それによると「○ド　泥鰌ドは竹製で徳利形。既製品である。又、細い竹などで自製する大きなドもある」と記載されている<br>・『越後三面村布部郷土誌』口絵第11図によると「(側面)長さ110cm（正面）高さ41cm　底辺59cmとある。また「撮影　宮本馨太郎氏」とあるため、昭和11年にアチック・ミューゼアムで村上町、布部を調査(『旅譜』p.449、『アチックマンスリー』「種川見学記」p.83)した折に撮影したものと考えられる | 『越後三面村布部郷土誌』アチックミューゼアム彙報第22第11図2 | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1625 | | | | | | | 宮本馨太郎 | 不明～昭和11年(1936年)11月29日備考参照 | 岩船郡三面村布部台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 11 | | 鹿児島県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | アミクッ(釜) | 1927(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>大島　大和村思勝　アミクッ(若竹製)(高橋文太郎作)<br>エビ、カニ、ドジョウなどを捕る<br>アギッ　マキッ(この枠、図解縦書)<br>十島行写真(V)(鉛筆) | 台紙には鳥の絵とその絵の下にQUARITYと透かしがある | 208×161 | 大島(鉛筆、縦書)<br>大和村思勝(鉛筆、縦書) | 78×104 | ・「アギッ　マキッ」は釜の入り口、出口の名前で図解されている<br>・撮影年月日は薗南十島調査の日程による | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1622 | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)5月18日～備考参照 | 大和村思勝台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 12 | | 鹿児島県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | アリヨ(釜) | 1928(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>大島　名瀬町<br>十島行写真(IV)(鉛筆) | 台紙には絵柄や文字の透かしはなく、縦の罫線の透かしのみが入っている(裁断の都合により絵柄や文字が見えない可能性を含む) | 208×162 | 名瀬(鉛筆、縦書)<br>VELOX(印刷、斜体字) | 79×106 | ・撮影年月日は薗南十島調査の日程による | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1621 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月17日～昭和9年(1934年)5月18日備考参照 | 奄美大島名瀬町台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 13 | | 千葉県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | ズとエビズ | 1929(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>10<br>右　ズ(ドジョウ、ウナギをとる)<br>左　エビズ(蝦をとる)<br>千葉県香取郡津宮村にて<br>昭　9、 | 写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE C.N.＆Coとある | 206×163 | 津宮村(縦書)<br>右　ズ(オジョウ、ウナギヲトル)(縦書)<br>左　エビズ(蝦ヲトル)(縦書) | 101×79 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1609 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)～台紙記載 | 香取郡津宮村台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 14 | | 栃木県 | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | ヒメコやコズなど釜類 | 1930(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>右　ウケ(ドジョウ、ウナギなど)(縦書)<br>コズ(ウケに立てかけたものの)(縦書)<br>右中　ヒメツコ(魚串をさす)(縦書)<br>左中　バカ(串をさし、町へ売り出す)(縦書)<br>左　フミカゴ(縦書)<br>栃木河内郡古里村字下ゲ橋　里崎方<br>昭　9、 | ・写真が貼られた罫線用紙は透かしに、ESPARTO SUPERFINEがある | 207×161 | 13　下橋　里崎方<br>右　ウケ(ドジョウ、ウナギなど)(縦書)<br>コズ(ウケに立てかけたもの)(縦書)<br>右中　ヒメツコ(魚串をさす)(縦書)<br>左中　バカ(串をさし、町へ売り出す)(縦書)<br>左　フミカゴ(縦書) | 78×103 | | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1610 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)～台紙記載 | 河内郡古里村字下ゲ橋台紙記載 | |
| 河1 | 4 | 15 | | 鹿児島県 | 写1-10-1 | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>釜集(縦書)<br>広[　]写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 喜界島のアリヨー(釜) | 1932(ナンバリング、青インク)<br>鉛(鉛筆)<br>アリヨー(鉛筆)<br>喜界島(鉛筆) | 写真が貼られた罫線用紙は透かしに、SUPERFINE C.N.＆Coとある | 207×163 | 記載なし | 75×103 | ・アチック・ミューゼアム彙報55「喜界島漁業民俗　喜界島調査資料第四」の口絵「5アリョー」と同形態だが縄の網目や吊り紐など若干仕様が異なる | | 宮本記念財団<br>昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行<br>1611 | | | | | | | 岩倉市郎 | 不明 | 喜界島台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 4 | 16 | | × | | 【表面】<br>港区芝三田綱町一〇(縦書)<br>渋沢敬三様(縦書)<br><br>【裏面】<br>茎集(縦書)<br>在(　)写真(縦書)<br>ほしい(縦書) | 封筒 | | | | | | 273×188 | ・国民経済研究協会世論調査室のB5型封筒 | | 宮本記念財団<br>路上スケッチ1　1310 204 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 5 | 1 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 赤沢先生(鉛筆、縦書)<br>三島川湧水(鉛筆、縦書)<br>15(鉛筆、中央)<br>八戸市白銀小学校長(鉛筆、縦書)<br>赤澤義清氏(鉛筆、縦書) | 64×88 | | | | | | | | | | | 赤沢義清 | 不明 | 八戸市白銀写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 2 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川での洗濯 | × | | | | 赤沢先生(鉛筆、縦書)<br>三島川(鉛筆、縦書)<br>15(鉛筆、中央)<br>八戸市立白銀小学校長(鉛筆、縦書)<br>赤澤義清氏(鉛筆、縦書) | 63×88 | | | | | | | | | | | 赤沢義清 | 不明 | 八戸市白銀写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 3 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 赤沢先生(鉛筆、縦書)<br>三島川湧水(鉛筆、縦書)<br>15(鉛筆、中央)<br>八戸市白銀小学校長(鉛筆、縦書)<br>赤澤義清氏(鉛筆、縦書) | 62×89 | | | | | | | | | | | 赤沢義清 | 不明 | 八戸市白銀写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 4 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 三島川湧水(鉛筆、縦書)<br>石岡穂積氏(鉛筆、縦書) | 173×120 | | | | | | | | | | | 石岡穂積 | 不明 | 三島川(八戸市)写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 5 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 八戸市写真同好会(鉛筆、縦書)<br>石岡穂積氏(鉛筆、縦書)<br>三島川湧水(鉛筆、縦書) | 179×128 | | | | | | | | | | | 石岡穂積 | 不明 | 三島川(八戸市)写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 6 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 八戸市写真同好会(鉛筆、縦書)<br>石岡穂積氏(鉛筆、縦書)<br>三島川湧水(鉛筆、縦書) | 179×127 | | | | | | | | | | | 石岡穂積 | 不明 | 三島川(八戸市)写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 7 | | 青森県 | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 三島川の湧水による洗濯 | × | | | | 八戸市写真同好会(鉛筆、縦書)<br>石岡穂積氏(鉛筆、縦書)<br>三島川湧水(鉛筆、縦書) | 179×128 | | | | | | | | | | | 石岡穂積 | 不明 | 三島川(八戸市)写真資料記載 | |
| 河1 | 5 | 8 | 1 | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 小井川潤次郎より田口啓吉氏宛て書簡 | 冠省(筆、縦書)<br>十七日に白銀へまゐりましたが三島清(筆、縦書)<br>水川ともに寒天の為対象が見当らず(筆、縦書)<br>■■の愚息に以前のスケッチを探し直さ(筆、縦書)<br>廿四封お目に懸けます(筆、縦書)<br>写真中道氏の方は杉本社長に届け(筆、縦書)<br>た答と返事がまゐりましたからすでニ(筆、縦書)<br>御用済のことと存じますが　以上(筆、縦書)<br>小井川潤次郎(筆、縦書)<br>一月二十三日(筆、縦書) | × | | | 244×169 | ・手紙、上部中央にクリップ錆、クリップ付属<br>・(昭和26年1月17日に三島川清水川に撮影に行ったが、対象となるものが撮影できなかったために、以前のスケッチ(河1-8-5-2～4)を直して同封したという内容、また同封の写真(河1-5-1～7)は杉本行雄氏には既に中道氏から送ってあるとのこと | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 5 | 8 | 2 | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 洗濯作業のスケッチ | × | | | | | 174×244 | ・スケッチ(鉛筆) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 5 | 8 | 3 | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 洗濯作業のスケッチ | × | | 174×246 | | | ・スケッチ(鉛筆) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 5 | 8 | 4 | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>沼澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 洗濯作業のスケッチ | おしら様ノ文化財申請ノ件承知(鉛筆、縦書、取消ノ筆)<br>但あまりに見せたくないとの条件づき(鉛筆、縦書、取消ノ筆)<br>八戸市大字白銀字人形沢二一一(鉛筆、縦書、取消ノ筆)<br>砂森<br>西久保　秀雄(鉛筆、縦書、取消ノ筆)<br><br>三島川清水川洗濯の図(鉛筆、縦書)<br>バケツでやる(鉛筆、縦書)<br>手ぶらでやる(鉛筆、縦書)<br>オーバーに長くつ(鉛筆、縦書)<br>モンペル長くつ(鉛筆、縦書) | | 190×271 | | | ・スケッチ、クリップ錆あり<br>・裏面に「三島川、清水川洗濯の図　バケツでやる、手ぶらでやる　オーバーに長くつ　モンペル長くつ（鉛筆、縦書）」とある | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 5 | 9 | | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>澁澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 十和田観光電鉄社長杉本行雄氏より澁澤敬三にあてた書簡 | 二月五日　　杉本行雄拝(筆、縦書)<br>渋沢先生(筆、縦書)<br>御侍史(筆、縦書)<br>拝啓其後御無沙汰(筆、縦書)<br>がど御案じ申上て居ります(筆、縦書)<br>小井川氏ヨリも心配して問封(筆、縦書)<br>のしらせいただきましたが(筆、縦書)<br>地元紙に広告の結果(筆、縦書)<br>比較的よい思ハれるのを(筆、縦書)<br><br>同封御届申上ます(筆、縦書)<br>これハ昨年撰ったもの(筆、縦書)<br>の由です御気に(筆、縦書)<br>召てハ幸甚に存じます(筆、縦書)<br>急ぎ御報告まで(筆、縦書) | 「やまと」9行便箋 | 250×177 | | | ・便箋2枚<br>・十和田観光電鉄株式会社杉本行雄氏より澁澤敬三への手紙、年代は封筒(河1-5-10)より昭和36年と見られる | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 5 | 10 | | × | | 【表面】<br>東京都港区（毛筆、縦書）<br>芝三田綱町一〇（毛筆、縦書）<br>澁澤敬三先生（毛筆、縦書）<br>御侍史（毛筆、縦書）<br><br>【裏面】<br>二月五日（毛筆、縦書）<br>杉本行雄（毛筆、縦書） | 封筒 | × | | | | | | 279×189 | ・封筒法量279×189、十和田観光電鉄株式会社の封筒 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 1 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | 旅譜凡例 | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 249×177 | | 75×142 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・河1-6-1～河1-6-4はクリップで留められていた<br>・河1-6-1～河1-6-4　4枚をとめていたクリップ付属<br>・旅譜凡例、印刷された物を切り抜いて貼付してある | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 2 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | [旧水産史研究室]右下、印字されたキャプションの切り抜きを貼付） | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 249×177 | | 88×131 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・河1-6-1～河1-6-4はクリップで留められていた<br>・『柏葉拾遺』写真363番の切り抜きヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 3 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 249×176 | | 104×145 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・河1-6-1～河1-6-4はクリップで留められていた<br>・『柏葉拾遺』写真362番の切り抜きヵ、「旧民具研究室」のキャプションあり | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 4 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 249×177 | | 111×92 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・河1-6-1～河1-6-4はクリップで留められていた<br>・『柏葉拾遺』写真213番の切り抜きヵ、「民具陳列　アチック　木川写」のキャプションあり | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 5 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×11行の原稿用紙 | 249×177 | | 118×95 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・『柏葉拾遺』写真217番の切り抜きヵ、「アチック　木川写」「アチック萌芽時代　銅町部　大正14」のキャプションあり | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 6 | | | 芝4-1-7-2 | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | アチック・ミューゼアムの屋根裏の様子 | | 祭魚洞書屋20字×12行の原稿用紙 | 249×177 | 記載なし | 117×165 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・玩具が陳列されている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 7 | | | 芝4-1-5-1 | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | 三田綱町の澁澤邸でイタヤ細工を実演する渡部小勝 | | 祭魚洞書屋20字×13行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 163×117 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・本資料は昭和9年11月9日に三田綱町邸で行われた渡部小勝によるイタヤ細工の製作実演時の写真、補訂版『アチック来訪者芳名簿』渋沢史料館蔵p.24によると、この日のアチックの例会には渡部の他、澁澤敬三、木川半之丞、宍戸静、小川徹、高橋文太郎、藤木喜久麿、五十沢次郎が参加している、本資料には顔が見えないが16ミリカメラをもった澁澤敬三が写っている、アチックフィルム27「イタヤ細工」06:56あたりの写真と考えられる<br>・撮影日は柏葉拾遺p.17の十六ミリフィルムリストより、昭和9年11月9日とした、また、関連目録番号資料にガラス板写真があることから撮影は木川半之丞と推定した | 16ミリフィルム「イタヤ細工」06:56 | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)11月9日～備考参照 | 三田綱町邸備考参照 | |
| 河1 | 6 | 8 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×14行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 114×162 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・アチック同人 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 9 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 160×115 | ・河1-6-16の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 10 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa, President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×16行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 116×159 | ・河1-6-16の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 6 | 11 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×17行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 117×164 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・集合写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 12 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | 廿三.三.二九.(右下) | 祭魚洞書屋20字×18行の原稿用紙 | 249×176 | ■.3.29(スタンプ、青、左上部) | 87×128 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・鈴木行三 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 13 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 祭魚洞書屋20字×18行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 87×138 | ・河1-6-16の封筒に入っていた<br>・ポストカード | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 6 | 14 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 2976(右上、ナンバリング、青インク)<br>アチック・ミューゼアム内部(中央)<br>昭和一一、三、一(右)<br>木川半之丞氏撮影(右) | | 256×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 164×120 | ・河1-6-16の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | 有 |
| 河1 | 6 | 15 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | 2984(右上、ナンバリング、青インク)<br>アチック・ミューゼアム全景(中央)<br>昭和11.3.30　木川半之丞氏撮影(中央) | | 256×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 97×149 | ・河1-6-16の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | 有 |
| 河1 | 6 | 16 | | | | 瞬間の累積（黒サインペン、縦書）<br>アチック集（黒サインペン、縦書）<br>〈国際電々〉（鉛筆）<br>[Mr.Keizo Shibusawa. President]（印字、黒）<br>[Kobusai Denshin Denwa Co.,Ltd.]（印字、黒）<br>[Mitsubishi #21 Bldg., 3rd Floor]（印字、黒）<br>[#2, C-chome Marunouchi]（印字、黒）<br>[Chiyoda-ku, Tokyo]（印字、黒）<br>[Japan]（印字、黒）<br>[P2-E　113]（印字、黒） | | | × | | × | | 328×50 | ・河1-6-1～15の資料を入れていた封筒、法量328×250、Radio Corporation of Americaの封筒、縦半分に折られている、上部に破れあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 7 | 1 | | 東京都 | 写3-11-6 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 前浜にあるハマンモリ(浜ノ森)、風除の砂丘、竹垣 | 403(ナンバリング、青インク)<br>ハマンモリ(浜ノ森)風除の垣　島の前面海に面して自然<br>の砂丘が連てゐる島民は此處へ塵埃類を捨てゝ砂丘の<br>生長を助けてゐるかに見える.砂丘の上には又防風の竹垣が<br>遠って西風を遮ってゐる.村はこの背後に隠れてゐて似か<br>らは一寸見えない。<br>場所　新島本村前浜<br>日時　昭和11.4.16.(西風強キ日) | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に楔 | 206×163 | 記載なし | 65×109 | ・付紙記載文：「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日台紙記載による | 東京都新島村本村前浜台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 2 | | 東京都 | 写3-11-21 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 羽伏浦 | 404(ナンバリング、青インク)<br>羽伏浦　東向きの海岸で冬季の地曳網造場である。<br>場所　新島本村羽伏浦<br>日時　昭和11.4.16. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に楔 | 206×163 | 記載なし | 66×110 | ・付紙記載文：「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日台紙記載による | 東京都新島村本村羽伏浦台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 3 | | 東京都 | 写3-21-3 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 本村の道路、竹矢来の角を曲がる少女 | 406(ナンバリング、青インク)<br>村の道路<br>場所　新島本村<br>日時　昭和11.4.11. | SUPERFINE　C.N.&Co.と透かし有り | 206×163 | 記載なし | 67×110 | ・付紙記載文：「チェック印」 | 『屋根裏の博物館　一実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.73「3　村の道　神奈川大学日本常民文化研究所　新島本村にて。」 | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日台紙記載による | 東京都新島村本村台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 4 | | 東京都 | 写3-21-22 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 車井戸 | 409(ナンバリング、青インク)<br>クルマキド(車井戸)<br>場所　新島本村山側.<br>日時　昭和11.4.11. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に楔 | 206×163 | 記載なし | 108×66 | ・付紙記載文：「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日台紙記載による | 東京都新島村本村山側台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 5 | | 東京都 | 写3-21-32 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 庭に並べられた四つの桶（三種類） | 412(ナンバリング、青インク)<br>桶三種　左端はナマグサオケと云って漁の有った時女が<br>浜から魚を運ぶに用ひる　水汲桶と同大であるが前者は<br>スギ材、後者はサワラ材を用ひる。中央はダント―オケと云っ<br>て女達が墓参に水を入れて行く.右端の二個はダラ桶と云<br>って女が上反りの天秤棒に吊って畑へ肥料を運ぶのに用ひる。<br>場所　新島本村原町、小川安次郎氏宅にて<br>日時　昭和11.4.21. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に楔 | 206×163 | 記載なし | 68×111 | ・付紙記載文：「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月21日台紙記載による | 東京都新島村原町小川安次郎氏宅台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 6 | | 東京都 | 写3-21-40 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | | 赤子を背負う二人の少女と横に立つ少女 | 40.1　■　守親(鉛筆)<br>419(ナンバリング、青インク)<br>守達、鳥の少女は皆七八才になれば必ず頼まれて子守をすることになってゐる。<br>場所　新島本村<br>日時　昭和11.4.23. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に楔 | 206×163 | 記載なし | 111×66 | ・付紙記載文：「チェック印」<br>・当該資料と同伏況である河1-40-1台紙記載に「新島本村原町、小川氏宅にて」とあり撮影地はこれによる<br>・「■」は消し字カ | 『日本社会民俗辞典』第3巻p1073「浜納屋（伊豆新島）」『屋根裏の博物館　一実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「1　子守　神奈川大学日本常民文化研究所　島の少女は7-8才になれば必ず子守をすることになっていた。新島本村にて。」 | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月23日台紙記載による | 東京都新島村原町小川安次郎氏宅備考参照 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 7 | 7 | | 東京都 | 写3-11-13 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 墓状の植物を頭に挿いでいから帰る女性(全身、背面) | 423(ナンバリング、青インク)<br>山から帰る女達　山程かう家へと帰る夕暮時<br>前を歩む女は、アケビの蔓様のものを頭にサヘイで<br>ゐる。それに腋が引掛けてあり腰には鉈と鎌が更<br>してある。<br>場所　新島本村新町<br>日時　昭和11.4.15. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 110×66 | ・付紙記載文:「チェック印」 | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島村本村新町台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 8 | | 東京都 | 写3-11-3 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 豚の積み出しのため前浜に集まった人々と瓶に入った豚 | 424(ナンバリング、青インク)<br>豚の積出し．豚は入札によって東京又は遠州方面<br>へ買はれて行く．瓶に入れた豚を浜で量ってゐる<br>ところである．沖に懸ってゐる舩は豚積舩である。<br>場所　新島本村前浜<br>日時　昭和11.4.15. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 66×110 | ・付紙記載文:「チェック印」 | 『屋根裏の博物館　一実業家渋沢敬三が育てた民の学問ー』p73f'2　豚の積み出し　神奈川大学日本常民文化研究所　瓶に入れた豚を浜で量っているところ。豚は入札により東京、静岡方面へ買われていったという。沖の舩は豚積船。新島本村前浜にて。』 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島村本村前浜台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 9 | | 東京都 | | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 庭で唐臼を搗く二人の女性 | 430(ナンバリング、青インク)<br>唐臼搗き<br>場所　新島本村 | SUPERFINE　C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | | 77×54 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる | | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月7日昭和11年(1936年)4月27日備考参照 | 東京都新島村本村台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 10 | | 東京都 | | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 畑から反り天秤で薩摩芋を運ぶ女性 | 431(ナンバリング、青インク)<br>掘より薩摩芋を運ぶ女．<br>場所　新島本村 | SUPERFINE　C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | | 96×65 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる | 『屋根裏の博物館　一実業家渋沢敬三が育てた民の学問ー』p73f'4　薩摩芋を運ぶ　神奈川大学日本常民文化研究所　畑より収穫した薩摩芋を運ぶ女性。新島本村にて。』 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月7日昭和11年(1936年)4月27日備考参照 | 東京都新島村本村台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 11 | | 東京都 | 写3-21-27 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 長栄寺ダントーバ(墓地) | 435(赤鉛筆)<br>435(ナンバリング、青インク)<br>ダントーバ(墓場)<br>場所　新島本村長栄寺墓地<br>日時　昭和11.4.11. | SUPERFINE　C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | | 66×109 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・『新島採訪録』p.31「桶類」に「ダント桶は卵塔橋の訛りで、婦女が毎朝夕に墓参する時阿伽水を入れて手に提げて行く」とあり、当該資料台紙記載の「ダントーも卵塔と考えられ卵塔場と考えられる。因みに卵塔とは、台屋上に卵形の塔身をのせた墓石で禅僧の墓石に多く用いられる無縫塔(むほうとう)のこと | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月11日台紙記載による | 東京都新島村本村長栄寺墓地台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 12 | | 東京都 | 写3-21-11 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | ハナ、十三社明神の削り掛け | 442(ナンバリング、青インク)<br>ハナ、<br>場所　新島本村十三社明神<br>日時　昭和11.4.14. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 109×65 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・『新島採訪録』p.39f'年中行事　正月十四日」に「ハナと云って桑の木の削掛けを竹の枝に掛けたもの、幷に俵木と云ってコメゴメの木で米俵の形を作って、年神棚、神棚、歳間等供餅を飾った跡へ供へる。(中略)神社の門松の跡へは神棚へ供へるのと同じのハナを挿す。」とあり | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村十三社明神台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 13 | | 東京都 | 写3-21-15 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 井戸神様へシオバナ(塩花)を撒く女性 | 40.3(鉛筆)<br>447(ナンバリング、青インク)<br>シオ(鉛筆)<br>井戸神様へ塩花を散く老婆　前出の老婆が背負ひ<br>帰った塩花を井戸神様の祠の内外に撒き散いて<br>ゐるところ<br>場所　新島本村原町<br>日時　昭和11.4.14. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 111×66 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・塩花は一般的に清めの塩で海水を汲んで来て振りかける塩のことをいうが当該資料台紙記載では砂となっている | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村原町台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 14 | | 東京都 | 写3-21-6 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 頭に薪を捧ぎ壁側に立つ神津島出身の女性(全身、正面) | 456(ナンバリング、青インク)<br>神津島薪採り<br>場所　新島本村<br>日時　昭和11.4.14. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 108×67 | ・付紙記載文:「チェック印」<br>・ア-15-42、ア-15-43、河1-7-14は同状況同一人物と考えられる。ア-15-42に「神津島女風俗　宿の女中が神津島の女だったので　特に份装して貰った。」とあり | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 15 | | 東京都 | 写3-21-34 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 船上から見る利島と鵜渡根島 | 458(ナンバリング、青インク)<br>利島遠望　船から見た利島北面．左に薄く同形の島は鵜渡根島。<br>場所　利島大島間舩中ニテ<br>日時　昭和11.4.27. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 63×111 | ・付紙記載文:「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月27日台紙記載による | 東京都大島利島間船上台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 16 | | 東京都 | 写3-11-1 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | ホットンボー(御来社)とオンテグラ(御幣) | 466(ナンバリング、青インク)<br>ホットンボーとオンテグラ．神社の背後両側に必ず<br>立石が数個並んでゐる．これをホットンボーと云って<br>一種の御来社であるようだ　その前に立てた幣をばオン<br>テグラと云ってニ本ヅヽ立てゝあった。<br>場所　新島本村大三山、大三王子神社ニテ<br>日時　昭和11.4.15. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 65×109 | ・付紙記載文:「チェック印」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島本村大三山大三王子神社台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 17 | | 東京都 | ア-15-19<br>ア-15-24<br>写3-11-11 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 糸車で糸を紡ぐ女性 | 467(ナンバリング、青インク)<br>糸を紡ぐ女．<br>場所　新島本村原町、小川氏宅<br>日時　昭和11.4.16. | 透かしは錨と日本国旗と日章旗、「C・N」、星に樫 | 206×163 | 記載なし | | 65×110 | ・ア-15-19、ア-15-24と同状況で縁側で紡いでいる | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月16日台紙記載による | 新島本村原町小川安次郎氏宅台紙記載による | 有 |
| 河1 | 7 | 18 | | 東京都 | 写3-21-20 | 瞬間の累積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 長栄寺境内にある謀計網之碑 | 468(ナンバリング、青インク)<br>謀計網之碑<br>場所　新島本村　長栄寺境内<br>日時　昭和11.4.14. | SUPERFINE　C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | | 109×66 | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 新島本村長栄寺境内台紙記載による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 7 | 19 | | 東京都 | | 瞬間の景積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 竹を使って棒ノ実を採る女性 | 469(ナンバリング、青インク)<br>棒ノ実採り<br>場所　新島本村 | SUPERFINE　C.N.&Coと透かしあり | 206×163 | 記載なし | 68×109 | ・『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であったとあり、撮影年月日はこれによる | | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月7日昭和11年(1936年)4月27日備考参照 | 東京都新島本村台紙記載による | |
| 河1 | 7 | 20 | | 東京都 | | 瞬間の景積(黒サインペン、縦書)<br>伊豆　式根、神津<渋澤敬三殿>(黒サインペン、縦書、「渋澤敬三殿」は黒ペン)<br>藤木喜久麿作(黒サインペン、縦書)<br>[経済団体連合会] | 封筒 | × | 記載なし | | 記載なし | 342×210 | ・河1-7-1～19の資料が入っていた封筒、法量342×210、経済団体連合会の封筒、上部に破れあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 8 | 1 | | 香川県 | ア100-15　写4-2-16-5 | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 岩黒島の集落 | 3263(右上、ナンバリング、青インク)<br>岩黒1(鉛筆、右) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 260×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 112×157 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 岩黒島台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 2 | | 香川県 | ア100-15　写4-2-16-6 | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 岩黒島の地割 | 3265(右上、ナンバリング、青インク)<br>地割　岩黒　1(鉛筆、右) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 260×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 112×157 | | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 岩黒島台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 3 | 1 | 岡山県 | 河1-8-3-2 | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | カシギアミ | 3269(右上、ナンバリング、青インク)<br>3(上)<br>カシキアミ(八浜)(中央) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 258×206 | | 60×80 | ・カシキアミとは樫木網のこと(湯浅照弘『岡山県漁業民俗断片録』『岡山県旧児島湾のカシキ網漁業』p.334による) | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 八浜台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 3 | 2 | 岡山県 | 河1-8-3-1 | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | カシギアミ | 3269(右上、ナンバリング、青インク)<br>2(右)<br>カシキアミ(八浜)(中央) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 258×206 | | 61×81 | ・カシキアミとは樫木網のこと(湯浅照弘『岡山県漁業民俗断片録』『岡山県旧児島湾のカシキ網漁業』p.334による) | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 八浜台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 4 | | 香川県 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 瓦の天日干し作業 | 3275(右上、ナンバリング、青インク) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 257×206 | | 60×83 | ・当該資料の年代および撮影地は、アルバム100の前後のナンバリングの番号をもとに、一連の瀬戸内海調査の写真と推定、また関連の瓦焼きについての記述と考えられるものがアチックミュージアムノート17『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.394にある | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月15日～備考参照、『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 岩黒島<br>備考参照 | 有 |
| 河1 | 8 | 5 | | 岡山県 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 真鍋島本浦遠景 | 3277(右上、ナンバリング、青インク)<br>真鍋島本浦(中央) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 257×206 | | 62×145 | ・2枚の写真が継ぎ貼りされている | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月17日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 真鍋島本浦台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 6 | | 不明 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 機を織る女性 | 3279(右上、ナンバリング、青インク) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 258×206 | | 61×82 | ・当該資料の年代および撮影地は、渋沢フィルムをもとに、一連の瀬戸内海調査の写真と推定 | 16ミリフィルム「塩飽1 &2」 | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日備考参照、『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 不明 | 有 |
| 河1 | 8 | 7 | | 愛媛県 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | ササとネズミを積んだ薪木船 | 3280(右上、ナンバリング、青インク) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 257×206 | | 60×82 | ・当該資料とは別カットの写真がアチック・ミューゼアムノート17『瀬戸内海島嶼巡訪日記』口絵36、『屋根裏の博物館　―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.72「1　焚木を運ぶ」、アI8-50-2に掲載されている | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月18日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 高井神島台紙記載 | 有 |
| 河1 | 8 | 8 | | 岡山県 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 北木島遠景 | 3281(右上、ナンバリング、青インク) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 257×206 | | 62×81 | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月17日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 北木島台紙記載 | |
| 河1 | 8 | 9 | | 香川県 | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 広げられた漁網 | 3283(右上、ナンバリング、青インク) | 写真が貼られた罫線用紙は、馬の絵とその絵の下にVICTORYと透かしがある | 258×205 | | 60×81 | ・アチック・ミューゼアムノート17『瀬戸内海島嶼巡訪日記』によると、設島で使われている漁網は地曳網と巾着網であるが、当該資料にみえる網がどちらかは不明である | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 不明 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 8 | 10 | | × | | 瀬戸内集(黒フェルトペン、縦書、左) | 封筒 | × | × | | | 341×240 | ・日本原子力産業会議の封筒を使っている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 9 | 1 | | 富山県 | | × | 明治十一年灘浦漁業免許網場絵図 | 氷見郡灘浦漁場図(鉛筆)<br>14.9.2日(鉛筆、下線あり) | | 255×194 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 163×119 | ・本資料は富山県氷見郡灘浦の漁場図であり、漁場の他に陸地の村名や山アテが書かれている。台紙記載の「14.9.2日」から撮影日を推定した<br>・アチックミューゼアム彙報31『近世越中灘浦台網漁業史』付録「地図B 明治十一年灘浦漁業免許網場絵図部分図」のもととなった編場絵図、出典である編場絵図は灘浦漁業株式会社の所蔵(同付録備考より)、題名はこれによる | | | | | | | | | 不明 | 昭和14年(1939年)9月2日～台紙記載 | 不明 | |
| 河1 | 10 | 1 | | 香川県 | | 瀬戸内海風景スケッチ(黒フェルトペン、縦書、左) | 岩黒島を望む島並み遠景、トレース版下 | 第{一六}<ー≪■≫八>図(岩黒島)(「一六」は赤鉛筆、他は鉛筆、縦書、■は消し字ヵ、右上)<br>｜←5寸2分→｜(青鉛筆、上)<br>Fig.32.(右下) | | 199×375 | | | ・トレース記載分<br>本島笠島の波止ヨリ （縦書き）<br>ENEニ大槌島(右) （この行「ENE」以外縦書き）<br>NEニ岩黒島(左)ヲ （この行「NE」以外縦書き）<br>望ム。(縦書き)<br>(昭一二、五、一九) （縦書き）<br>・19.9×37.5 （台紙法量）<br>・13.4×32.0 （トレース紙法量）<br>・台紙にトレース指示線有り<br>・アルバム台紙記載文　第一六＜ー≪■≫八＞図(岩黒島) （この行「一六」は赤鉛筆、縦書き、それ以外は鉛筆、縦書き、■は書き損じを鉛筆で塗りつぶしたものヵ) | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p24 第16図 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 10 | 2 | | 香川県 | | 瀬戸内海風景スケッチ(黒フェルトペン、縦書、左) | 櫃石島を望む島並み遠景、トレース版下 | 第{一九}<二ー≪ーー≫>図(櫃石島)(釜島)(「一九」は赤鉛筆、「(釜島)」は青鉛筆で「(櫃石島)」が文字上に上書きき、他は鉛筆、縦書、右上)<br>｜←5寸2分→｜(青鉛筆、上)<br>Fig.35.(右下) | | 197×514 | | | ・トレース記載分<br>本島笠島ヨリNEニ （この行「NE」以外縦書き）<br>岩黒島(右端)、釜島 （縦書き）<br>(右遠方)、櫃石島(中央)、 （縦書き）<br>向島(左端)ヲ望ム （縦書き）<br>遠景ハ下津井附近ノ連山。（縦書き）<br>×印ハ鷲羽山(一三三米) （縦書き）<br>(昭一二、五、一九) （縦書き）<br>・19.7×51.4 （台紙法量）<br>・13.6×47.2 （トレース紙法量）<br>・台紙にトレース指示線有り | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p30 第19図 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 10 | 3 | | 香川県 | | 瀬戸内海風景スケッチ(黒フェルトペン、縦書、左) | 粟島・高見島を望む島並み遠景、トレース版下 | <第54図≪50<52>≫>(「50」と「52」訂正線は赤鉛筆、「第54図」は鉛筆、縦書、右上)<br>第50図(赤鉛筆、縦書、右上)<br>｜←5寸2分縮尺→｜(青鉛筆、上)<br>Fig.36.(右下) | | 197×513 | | | ・トレース記載分<br>讃岐国三豊郡荘内村 （縦書き）<br>室濱ヨリEニ （縦書き）<br>粟島(右)、高見島(左) （縦書き）<br>ヲ望ム。（縦書き）<br>(昭一二、五、一八) （縦書き）<br>・19.7×51.3 （台紙法量）<br>・13.4×49.2 （トレース紙法量）<br>・台紙にトレース指示線有り | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p122 第50図 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 10 | 4 | | 香川県 | | 瀬戸内海風景スケッチ(黒フェルトペン、縦書、左) | 沙彌島・瀬居島を望む島並み遠景、トレース版下 | 六〇図<第六三≪二≫>(「六〇図」「二」訂正線は赤鉛筆、「第六三図」は鉛筆、縦書、右上)<br>←5寸2分→(青鉛筆、上)<br>Fig.34.(右下) | | 197×513 | | | ・トレース記載分<br>本島泊、塩飽荘ヨリ （縦書き）<br>SEニ沙彌島(右)、瀬居島(左) （この行「SE」以外縦書き）<br>小瀬居島(左端)ヲ望ム。（縦書き）<br>遠景ハ四国連山、両島ノ （縦書き）<br>中央ハ坂出附近。（縦書き）<br>(昭一二、五、一九) （縦書き）<br>・19.7×51.3 （台紙法量）<br>・13.4×47.0 （トレース紙法量）<br>・台紙にトレース指示線有り | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p122 第50図 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 10 | 5 | | 香川県 | | 瀬戸内海風景スケッチ(黒フェルトペン、縦書、左) | 豊島甲生浦より女木島・男木島・屋島を望む島並み遠景、トレース版下 | 第六五<八>図(訂正線は赤鉛筆、「第六八図」は鉛筆、縦書、右上)<br>←5寸2分→(青鉛筆、上)<br>Fig.37.(右下) | | 198×514 | | | ・トレース記載文<br>豊島甲生浦ヨリ(縦書き)<br>Sニ女木島(1)、男木島(2)、(縦書き)<br>屋島(3)ヲ望ム。(縦書き)<br>遠景ハ阿讃国境山脈ナリ。(縦書き)<br>(昭一二、五、二〇)(縦書き)<br>・(裏面)瀬戸内海風景スケッチ(マジックペン、縦書き)、(裏面)3007(ナンバリング) | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』 アチック・ミューゼアムノート第17　p171 第65図 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 11 | 1 | | | | 牛旋激水図　一枚(毛筆、縦書、右)<br>牛旋激水牛曳碓　一器ニシテ二器ヲ兼タル図　一枚(毛筆、縦書、中央) | | × | | | 26(鉛筆、右上隅) | 104×77 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 11 | 2 | | | | 牛旋激水図　一枚(毛筆、縦書、右)<br>牛旋激水牛曳碓　一器ニシテ二器ヲ兼タル図　一枚(毛筆、縦書、中央) | | × | | | | 320×442 | ・「牛旋激水図」 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 11 | 3 | | | | 牛旋激水図　一枚(毛筆、縦書、右)<br>牛旋激水牛曳碓　一器ニシテ二器ヲ兼タル図　一枚(毛筆、縦書、中央) | | × | | | | 280×170 | ・封筒法量280×170、右上に「祭魚洞文庫」シール、左上に「27540」とナンバリングしたシール | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 1 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.1(鉛筆、左上隅) | 67×98 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 2 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.2(鉛筆、左上隅) | 66×99 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 12 | 1 | 3 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.3(鉛筆、左上隅) | 67×99 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 4 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.4(鉛筆、左上隅) | 100×67 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 5 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.5(鉛筆、左上隅) | 67×98 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 6 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.6(鉛筆、左上隅) | 100×68 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 7 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.7(鉛筆、左上隅) | 67×99 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 8 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.8(鉛筆、左上隅) | 71×97 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 9 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.9(鉛筆、左上隅) | 99×67 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 10 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.10(鉛筆、左上隅) | 103×73 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 11 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.11(鉛筆、左上隅) | 100×68 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 12 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | Nr.12(鉛筆、左上隅) | 100×68 | ・本資料は河1-12-1-13【封筒1】に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 1 | 13 | | | 【封筒1】<br><佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側)<br>【封筒2】<br>17.9.25(鉛筆、上部中央)<br>白髪太郎写真(鉛筆、縦書、中央)<br>淡路洲本(鉛筆、縦書、中央)<br>前野正博氏(鉛筆、縦書、中央)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左上部) | | × | | | | 134×84 | ・封筒法量134×84、兵庫県水産試験場淡路分場の封筒、河1-12-2【封筒2】の封筒に入っていた、この封筒に河1-12-1-1～河1-12-1-12が入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 12 | 2 | | | | <佐々木喜善>(上から黒サインペンで消されている、右側)<br>シラガタロウ(黒サインペン、左側) | | × | | | | 253×141 | ・封筒法量253×141、「アチック ミュウゼアム 澁澤敬三行」の封筒、この中に河1-12-1-13【封筒1】の封筒が入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 1 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 2 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 3 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 4 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 5 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 6 | | | | | | × | | | 記載なし | 116×168 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 7 | | | | | | × | | | 記載なし | 114×164 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 13 | 8 | | | | | × | | | 記載なし | 114×164 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 9 | | | | | × | | | 記載なし | 113×163 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 10 | | | | | × | | | 記載なし | 113×163 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 11 | | | | | × | | | 記載なし | 120×168 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 12 | | | | | × | | | 記載なし | 120×168 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 13 | 13 | | | | | × | | | | 276×215 | ・封筒法量276×215、国際電信電話株式会社の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 1 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 1(鉛筆、左上隅) | 74×99 | ・写真裏面記載文の1は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 2 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 2〈3〉(青鉛筆、左上隅) | 74×98 | ・写真裏面記載文の2は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 3 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 3〈3〉(青鉛筆、左上隅) | 74×98 | ・写真裏面記載文の3は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 4 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 5(鉛筆、左上隅) | 74×98 | ・写真裏面記載文の5は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 5 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 6(鉛筆、左上隅) | 74×98 | ・写真裏面記載文の6は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 6 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 7(鉛筆、左上隅) | 75×97 | ・写真裏面記載文の7は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 7 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | 8(鉛筆、左上隅) | 73×98 | ・写真裏面記載文の8は○囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 14 | 8 | | | 米田村(鉛筆、縦書、右上)<br>鉤針(鉛筆、縦書、右上)<br>製造(鉛筆、縦書、右上)<br>〈台湾〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線)米田村鉤針製造(鉛筆、縦書、右側)<br>〈鹿野氏分〉(鉛筆、縦書、鉛筆で二重線、左)<br>米田村鉤針(黒サインペン、縦書、左) | | × | | | | 199×140 | ・封筒法量199×140、実用印画紙アサヒの封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 15 | | 滋賀県 | | | 野洲川周辺の地図 | × | × | | | 362×314 | ・野洲川河口周辺の白地図<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第一圖」の原版ヵ。本資料と掲載図版を比較すると、野洲川に沿って赤ペンで修正が加えられ、傍線・斜線・バツ印・鉛筆や黒ペンによる書き込みなどがされている。<br>・妙光寺・三上神社周辺は鉛筆で丸く囲まれ「別紙参照」と指示されている | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一圖 近江國野洲川流域略圖」 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 1 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1743(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 107×73 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 2 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1744(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 107×80 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 3 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1746(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | | 106×78 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 4 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1748(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 115×80 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 5 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1749(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 114×80 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 6 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1752(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 114×77 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 7 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1754(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 109×79 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 8 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 1756(右上、ナンバリング、青インク) | | 206×163 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 105×79 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・河1-16-1～8は草履製作の工程を撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 9 | | 写1-22-1-2 | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | 足半草履のレントゲン写真 | ○(右上)<br>a2(右上、赤ペン、青鉛筆の下線あり)<br>3062(右上、ナンバリング、青インク)<br>足半草履 レントゲン写真(下) | | 262×208 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 200×145 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・写1-22-1-2の紙焼き | | | | | | | | | | | | 有 |
| 河1 | 16 | 10 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 3064(右上、ナンバリング、青インク) | | 260×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 120×165 | ・河1-16-13の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 11 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | 3065(右上、ナンバリング、青インク) | | 260×204 | 記載なし(台紙に貼られているため) | 121×165 | ・河1-16-13の封筒に入っていた<br>・西郷隆盛像の足元 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 12 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | インドのワラジ. カルカッタ博物館標本(右)<br>中根〈■■〉ちえ氏送附(右下) | 祭魚洞書屋原稿用紙20字×10行 | 249×176 | [PHOTO SECTION<br>DEPT. OF ANTHROPOLOGY<br>UNIVERSITY OF DELHI] (青スタンプ、右下、四角で全体を囲む) | 137×208 | ・河1-16-13の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 16 | 13 | | | 足半集(黒サインペン、縦書、中央) | | × | × | | | 359×225 | ・河1-16-1～12の資料が入っていた封筒、法量359×225、日本原子力産業会議の封筒、中央に「千代田区大手町一の五 国際電信電話 顧問 渋沢敬三殿」の印字あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 17 | 1 | 栃木県 | 写4-2-7-16 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 栃木県河内郡古里村のサイノカミの棒 | × | × | | (サイノカミの棒)栃木、河内・古里村(鉛筆) | 164×115 | ・撮影年月日は不明であるが、関連目録番号資料がガラス板写真であること、また被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 栃木県河内郡古里村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 2 | 岩手県 | | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 岩手県上閉伊郡金澤村のワラウマ | × | × | | 200 2885 ワラウマ size1/7 岩手・上閉伊・金澤村(青インク) | 166×116 | ・撮影年月日は不明であるが、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 岩手県上閉伊郡金澤村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 3 | 愛知県 | 写4-2-11-11 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 愛知県北設楽郡園村足込のヤス | × | × | | no. 312〈302〉 2327 ヤス 愛知、北設楽・園村足込 size1/7 | 115×164 | ・撮影年月日は不明であるが、関連目録番号資料がガラス板写真であること、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した<br>・現地での撮影か東京のアチックミューゼアムでの撮影かは不明 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 北設楽郡園村足込または東京・アチックミューゼアム写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 4 | 秋田県 | 写4-2-6-16 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 秋田県仙北郡雲澤村の十二日禮の餅苞 | × | × | | 十五日禮ノツト 秋田・仙北雲澤(ママ) | 165×120 | ・撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p.101に昭和9年4月24日に写真について武藤鉄城が回答していることから、撮影はそれ以前とした | 『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1 p101「十二日禮ノ餅苞」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)4月24日以前 備考参照 | 秋田県仙北郡雲澤村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 5 | 新潟県 | | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 新潟県高田市のケヅリカケ | × | × | | (ケヅリカケ)新潟・高田市(鉛筆) | 164×121 | ・撮影年月日は不明であるが、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしようとして白い布を背景にしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した<br>・2本のケヅリカケが撮影されている | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 新潟県高田市写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 6 | 岩手県 | 写4-2-9-10 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 岩手県紫波郡見前村の弓矢 | × | × | | 362 3702(青インク)<br>弓矢 岩手県紫波郡見前村西見前一 no,3702(鉛筆)<br>size1/2(青インク) | 165×120 | ・撮影年月日は不明であるが、関連目録番号資料がガラス板写真であること、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 岩手県紫波郡見前村西見前写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 7 | 岩手県 | 河1-17-7<br>写4-2-9-17 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 岩手県稗貫郡内川目村の馬子ツナギの藁馬 | × | × | | 375 3701 馬子ツナギの藁馬 岩手県稗貫郡内川目村 size1/4(青インク) | 165×120 | ・撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p.46に昭和9年5月20日に写真について藤原三治が回答していることから、撮影はそれ以前とした | 『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1p46「馬子ツナギノ藁馬」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)5月20日以前 備考参照 | 岩手県稗貫郡内川目村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 8 | 秋田県 | 河1-17-8 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 秋田県河邊郡舟岡村のミヅノモチ | × | × | | No. 21 お供へ餅 秋田・河邊・舟岡村 size1/3 Ⅰ(赤ペン) | 164×121 | ・撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p.53に昭和8年12月21日に写真について佐藤金治郎が回答していることから、撮影はそれ以前とした | 『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1p53「ミヅノモチ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和8年(1933年)12月21日以前 備考参照 | 秋田県河邊郡舟岡村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 9 | 秋田県 | 河1-17-9<br>写4-2-6-13 | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 秋田県仙北郡雲澤村の山ノ神 | × | × | | 341 山ノ神 秋田・仙北・雲然 size1:8(ママ) | 164×120 | ・撮影年月日は、引用・使用媒体『民具問答集』p.76に昭和9年4月6日に写真について武藤鉄城が回答していることから、撮影はそれ以前とした | 『民具問答集 第一輯』 アチック・ミューゼアムノート第1p76「山ノ神」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)4月6日以前 備考参照 | 秋田県仙北郡雲澤村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 10 | 東京都 | | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン)<br>信仰用具 (黒フェルトペン、縦書) | 東京都西多摩郡小河内村のキネとウス | × | × | | キネとウス 東京、西多摩、小河内村(鉛筆) | 165×121 | ・撮影年月日は不明であるが、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしようとして白い布を背景にしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 東京都西多摩郡小河内村写真資料記載 | |
| 河1 | 17 | 11 | 不明 | | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン) | カタナ | × | × | | 焼不足(鉛筆) | 165×121 | ・題名は外装記載による<br>・撮影年月日は不明であるが、関連目録番号資料がガラス板写真であること、被写体の背景を白く塗りつぶす加工をしてあることなどから撮影者は木川半之丞と推定した | | | | | | | | | 木川半之丞 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 17 | 12 | × | | 信仰用具<br>祭具品10<br>サイノカミの棒、ワラウマ、ヤス、十五日礼ノツト、ケヅリカケ、弓矢、馬子ツナギの藁馬、お供へ餅、山の神、キネとウス、カタナ (傍線／赤ペン) | 封筒 | × | × | | | 251×141 | ・封筒はアチック・ミューゼアムのものを利用し、渋沢敬三と印刷されている | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 18 | 1 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 120×165 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 2 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 120×165 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 3 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 165×120 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 4 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 165×121 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 5 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 165×120 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 6 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | 記載なし | 165×121 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 18 | 7 | | | | | <山口様分>(鉛筆、縦書、右側)<br>◎内房写真(青鉛筆、縦書、左側)<br>内房写真(黒マジック、縦書、左側)<br>657(青ナンバリング、裏面右下) | | × | × | | | 203×143 | ・茶色の昭和写真工業株式会社の写真用封筒<br>・封筒法量203×143 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 19 | 1 | | | | 河1-19-2 | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 日本民族学博物館予定敷地の様子、保谷村下保谷の草原の風景 | × | × | | 市外、保谷村下保谷(板橋区南大泉町二隣接ス)(黒インク、縦書、右側)<br>武蔵野電鉄保谷駅下車(黒インク、縦書、右側)<br>日本民族博物館予定敷地(一)(黒インク、縦書、右側)<br>(西方ヨリ望ム)(黒インク、縦書、右側)<br>(電車)省線池袋ー保谷駅ー敷地(黒インク、横書、左側)<br>(自動車)丸ノ内ー目白ー練馬ー保谷敷地(黒インク、横書、左側)　〃ー新宿ー荻窪ー田無町ー〃(黒インク、横書、左側) | 114×158 | ・写真裏面記載文の一行目最初の「保谷」には「ホーヤ」とルビが/ふられている<br>・写真記載文の「〃」は前者は「丸ノ内」、後者は「保谷敷地」を示している<br>・写真裏面記載文には省線池袋から保谷駅間は「24分」、保谷駅から敷地間は「3～5分」、目白駅から保谷敷地間は「25分」、新宿から保谷敷地までは「25分」と示す記載あり | | | | | | | 不明 | | 日本民族学博物館予定敷地、保谷村下保谷写真資料記載参照 | |
| 河1 | 19 | 2 | | | | 河1-19-1 | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>完(赤鉛筆、左側)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 日本民族学博物館予定敷地の様子、保谷村下保谷の草原の風景 | × | × | | 記載なし | 115×158 | ・河岡1-19-1と同一、焼増しヵ | | | | | | | | | | 不明 | | 日本民族学博物館予定敷地、保谷村下保谷河1-19-1写真資料記載参照 | |
| 河1 | 19 | 3 | | | | 河1-19-4 | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>完(赤鉛筆、左側)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 日本民族学博物館予定敷地の様子（南側より撮影） | × | × | | 日本民族博物館予定敷地(二)(黒インク、縦書、右側)<br>(南方ヨリ望ム)(黒インク、縦書、右側) | 113×158 | | | | | | | | | | | 不明 | | 日本民族学博物館予定敷地、保谷村下保谷河1-19-1写真資料記載参照 | |
| 河1 | 19 | 4 | | | | 河1-19-3 | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>完(赤鉛筆、左側)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 日本民族学博物館予定敷地の様子（南側より撮影） | × | × | | 記載なし | 114×156 | ・河岡1-19-3と同一、焼増しヵ | | | | | | | | | | 不明 | | 日本民族学博物館予定敷地、保谷村下保谷河1-19-1写真資料記載参照 | |
| 河1 | 19 | 5 | | | | | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>完(赤鉛筆、左側)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 日本民族学博物館予定敷地の様子（北側より撮影） | × | × | | 日本民族博物館予定敷地(三)(黒インク、縦書、右側)<br>(北方ヨリ望ム)(黒インク、縦書、右側)<br>×［記］号：中心となる自然雑木林、(黒インク、縦書、右側)<br>〇記号：樹齢二百年ヲ経タル欅林、(黒インク、縦書、右側) | 109×159 | ・写真裏面記載文の「×記号」「〇記号」の示す位置が写真の表に記入されている | | | | | | | 不明 | | 日本民族学博物館予定敷地、保谷村下保谷河1-19-1写真資料記載参照 | |
| 河1 | 19 | 6 | | | | | 2.津軽の砂丘(青ボールペン、縦書、右側上)<br>完(赤鉛筆、左側)<br>保谷(黒マジック、縦書、左側上) | 封筒 | × | × | | | 207×143 | ・法量207×143の茶色の封筒<br>・表に「東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷されている<br>・記載文の「完」は〇囲み | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 20 | 1 | | | | | 単線/横(黒マジック、縦書、左側) | | × | × | | 記載なし | 163×119 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 20 | 2 | | | | | 単線/横(黒マジック、縦書、左側) | | × | × | | | 208×143 | ・法量208×143茶色の封筒<br>・表に「東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷されている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 21 | 1 | | | | | <15　最上紅花>(青インク、縦書、右側上)<br>物売　浜谷浩(黒マジック、縦書、左側) | | × | × | | | 208×143 | ・法量208×143茶色の封筒<br>・表に「東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミュウゼアム　澁澤敬三行」と印刷されている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 22 | 1 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | マイカケをつける男 | × | × | | 1、マエダレ、マエカケ(鉛筆、縦書)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の右側)<br>切ル(鉛筆、指示線の上側)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の左側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真1と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.8には「マイカケ(マエカケ・マエダレとも言ふ)」とある、またここでの記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真1「マエダレ・マエカケ」 | (財)宮本記念財団 | 1（赤鉛筆）<br>1607（青ナンバリング）<br>マエダレ<br>マエカケ<br>(金谷久三郎)<br>岡山縣児島郡八浜町<br>昭和十二年五月十五日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 57×57 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL'SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月15日～他研究機関所蔵資料 | 八溝引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 2 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ハイガイトリ | × | × | | 3、ハイガイトリ(鉛筆、縦書)<br>切ル(鉛筆、指示線の上側)<br>切ル(鉛筆、指示線の下側)<br>(■)(鉛筆、指示線の内側)<br>左(鉛筆、指示線の内側)<br>右(鉛筆、指示線の内側)<br>三寸(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>一分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真3と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.9にある「ハイガイトリ」の記載は宮本馨太郎<br>・裏面記載の■は書き損じを鉛筆で塗りつぶしたものヵ<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真3「ハイガイトリ」 | (財)宮本記念財団 | 3（赤鉛筆）<br>1603（青ナンバリング）<br>ハイガイトリ<br>岡山縣児島郡八浜町<br>昭和十二年五月十五日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL'SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月15日～他研究機関所蔵資料 | 八溝引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 3 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | フータイカゴ | × | × | | 4、〇マンデュ―カゴ(鉛筆、縦書、「4」と「、」が〇の中に書かれている)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の右側)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の左側)<br>天地(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真4と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.9には「フータイカゴ（マンジュウカゴともいふ）」とある、またここでの記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真4「フータイカゴ」 | (財)宮本記念財団 | 4（赤鉛筆）<br>1605（青ナンバリング）<br>マンデュ―カゴ<br>フータイカゴ<br>岡山縣児島郡八浜町<br>昭和十二年五月十五日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL'SCAPと透かしがある | 206×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月15日～他研究機関所蔵資料 | 八溝引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 4 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | フゴ | × | × | | 二、味野(鉛筆、縦書)<br>5、(鉛筆)<br>左右三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>給ガラ(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>多少ツマル(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 107×155 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真5と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.13にある「フゴ」の記載は磯貝勇<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真5「フゴ」 | | | | | | | 不明 | | 昭和12年(1937年)5月15日～『大歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 味野引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 5 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | オコンジン様 | × | × | | 7(三、釜鳥)(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>三寸二分(鉛筆、縦書) | 107×155 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真7と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.17にある「金神様」の記載は榎田勝徳 | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真7「金神様」 | | | | | | | 不明 | | 昭和12年(1937年)5月16日～『大歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 釜鳥引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 6 | | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K-M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ツボカゴとドーマルカゴ | × | × | | 8、テウラ(鉛筆、縦書)<br>(■)まん中の丸(鉛筆、縦書)<br>給ガラ現寸にて(鉛筆、縦書)<br>左右三寸二分(鉛筆、縦書)<br>天地二寸七分八(鉛筆、縦書)<br>周囲切り(鉛筆、縦書)<br>落す(鉛筆、縦書) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.18には「ツボカゴ」の図と説明、また「ドーマルカゴ」の図と説明があり、写真を掲載したのではなく図にしたことがわかる、因みに「ツボカゴ」「ドーマルカゴ」の記載は磯貝勇<br>・裏面記載の■は書き損じを鉛筆で塗りつぶしたものヵ<br>・他研究機関所蔵資料によると、撮影地は六口島である可能性が高く、写真裏面記載文中の「テウラ」の記載がある釜鳥の可能性は低い<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | | (財)宮本記念財団 | 1626（青ナンバリング）<br>六口島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 57×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL'SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 六口島他研究機関所蔵資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料　情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 22 | 7 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | テウラ | × | × | | 8〇テウラ(鉛筆、縦書、「8」が〇の中に書かれている)<br>左(鉛筆、指示線の内側)<br>右(鉛筆、指示線の内側)<br>三寸(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真8と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.17に「テウラ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は『図録　民具入門事典』p.15「テウラ　岡山県」に同写真が使用されているため宮本馨太郎とした | 『図録　民具入門事典』p.15写真8「テウラ」 | (財)宮本記念財団 | 8 （赤鉛筆）<br>1608 （青ナンバリング）<br>テウラ<br>岡山縣児島郡下津井町<br>宇釜島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 30(30)（20）(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 釜島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 8 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | マエソを着けた漁師等による鯖網漁 | × | × | | 11、鯖網漁(鉛筆、縦書)<br>切ル(鉛筆、指示線の上側)<br>左(鉛筆、指示線の下側)<br>右(鉛筆、指示線の下側)<br>三寸(鉛筆、縦書、指示線の下側)<br>二分(鉛筆、縦書、指示線の下側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真11と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.23にある「マエソ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真11「鯖網漁に於て漁夫が腰蓑を着用す」「屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―」「2 腰蓑をつけた漁夫」 | (財)宮本記念財団 | 11 （赤鉛筆）<br>1612 （青ナンバリング）<br>鯖網<br>禹島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 30（鉛筆、写真裏面中央部） | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 與島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 9 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ソデナシを着た老女 | × | × | | 12 袖無シ着た老女(鉛筆、縦書)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の右側)<br>(左右)(鉛筆、訂正の棒線は赤鉛筆、指示線の内側)<br>天地(ここまで赤鉛筆、縦書、指示線の内側)三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の左側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真12と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.28にある「ソデナシ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真12「袖無し着た老女」 | (財)宮本記念財団 | 12(4) （赤鉛筆）<br>1614 （青ナンバリング）<br>ソラ豆を採るソデナシを着た老女<br>岩黒島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×166 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岩黒島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 10 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ハイカラ袖を着た女 | × | × | | 13、ハイカラ袖きた女(鉛筆、縦書)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の右側)<br>左右(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>一寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>切ル(鉛筆、縦書、指示線の左側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真13と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.28にある「ハイカラ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真13「ハイカラ袖をきた女」 | (財)宮本記念財団 | 13 （赤鉛筆）<br>1615 （青ナンバリング）<br>ハイカラ袖の仕事着<br>(元川ワカ)<br>岩黒島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 57×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岩黒島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 11 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | マキ袖の着物に袖無しを着た男 | × | × | | 14、マキ袖の着物ニ袖無シを(鉛筆、縦書)<br>着た男(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>一寸七分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 114×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真14と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.28にある「マキソデ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真14「マキ袖の着物に袖無しを着た男」 | (財)宮本記念財団 | 14 （赤鉛筆）<br>1619 （青ナンバリング）<br>マキソデの着物にソデナシを着せる男<br>宮崎正太郎<br>岩黒島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・この宮本記念財団所蔵写真と同一の写真が常民研にはない | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岩黒島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 12 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ソデツキの着物 | × | × | | 15、ソデツキの着物(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>一寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真15と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.29にある「ソデツキ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真15「ソデツキの着物」 | (財)宮本記念財団 | 15 （赤鉛筆）<br>1616 （青ナンバリング）<br>ソデツキの着物<br>(宮崎ツネ)<br>岩黒島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 57×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岩黒島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 13 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | テオソイをつけた女 | × | × | | 16、テオソイをつけた女(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>一寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真16と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.29にある「テオソイ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真16「テオソイをつけた女」 | (財)宮本記念財団 | 16 （赤鉛筆）<br>1617 （青ナンバリング）<br>テオソイを着けた女<br>(宮崎ツネ)<br>岩黒島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岩黒島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 14 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | マエダレを着した漁夫 | × | × | | 18、〇マエダレを着た漁夫(鉛筆、縦書、「18」と「、」が〇の中に書かれている)<br>左右二寸四分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真18と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.34にある「マエダレ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真18「マエダレを着した漁夫」 | (財)宮本記念財団 | 18 （赤鉛筆）<br>1620 （青ナンバリング）<br>マエダレを着せる漁夫<br>橿石島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 31（鉛筆、写真裏面中央部） | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 橿石島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 15 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ソデナシ・テツボの袷せ着物・ダテマキ・マイカケ・ジヨーリ | × | × | | 19、(平尾フサ)(鉛筆、縦書)<br>・ソデナシ(鉛筆、縦書)<br>・テツボの袷着物(鉛筆、縦書)<br>・ダテマキ(鉛筆、縦書)<br>・マイカケ(鉛筆、縦書)<br>・ジョーリ(鉛筆、縦書)<br>天地三寸二分にして(鉛筆、縦書)<br>左右を二寸四分に作ル(鉛筆、縦書)<br>人物を中心に(鉛筆、縦書) | 115×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』pp.53-54にある「ソデナシ」等の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は『図録　民具入門事典』p.15「晋段着　香川県」に同写真が使用されているため宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真19「ソデナシ・テツボの袷せ着物・ダテマキ・マイカケ・ジヨーリ」『図録　民具入門事典』「晋段着　香川県」 | (財)宮本記念財団 | 19 （赤鉛筆）<br>1628 （青ナンバリング）<br>ソデナシ<br>テツボのアワセギモン<br>ダテマキ<br>マイカケ<br>ジョーリ （平尾フサ）<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 16 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ネヂソデ・ツツソソデのシトヨイ・マイカケ・ジヨーリ | × | × | | 20、合木タケ(鉛筆、縦書)<br>・ネヂソデ(鉛筆、縦書)<br>・ツヽソデの(鉛筆、縦書)<br>シトヨイ(鉛筆、縦書)<br>・マイカケ(鉛筆、縦書)<br>・ジョーリ(鉛筆、縦書)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書)<br>左右を二寸四分(鉛筆、縦書)<br>に作ること。(鉛筆、縦書)<br>人物中心(鉛筆、縦書) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』pp.53-54にある「ソデナシ」等の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真20「ネヂソデ・ツヽソデのシトヨイ・マイカケ・ジヨーリ」 | (財)宮本記念財団 | 20 （赤鉛筆）<br>1629 （青ナンバリング）<br>ネヂソデ・ネヂツボ<br>ツツソデのシトヨイ<br>マイカケ<br>ジョーリ<br>(合木タケ)<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 17 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女の手拭の冠り方・ホーカブリ | × | × | | 21(合木タケ)(鉛筆、縦書)<br>左右一寸六分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸6分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真21と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.54にある「女の手拭の冠り方」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真21「女の手拭の冠り方・ホーカブリ」 | (財)宮本記念財団 | 21 （赤鉛筆）<br>1632 （青ナンバリング）<br>(合木タケ)<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料　情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 22 | 18 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女の手拭の冠り方・ホーカブリ | × | × | | 22、(合木タケ(鉛筆、縦書)<br>2寸6分(鉛筆、縦書、指示線内側、右側のトリミング線の天地を狐で括りその中心に記載、)<br>←1寸6分(鉛筆、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真22と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.54にある「女の手拭の冠り方」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真22「同じく(写真21の「女の手拭の冠り方・ホーカブリ」と同キャプションという意味。)」 | (財)宮本記念財団 | 22 （赤鉛筆）<br>1633（青ナンバリング）<br>（合木タケ）<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 19 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女の手拭の冠り方・ホーカブリ | × | × | | 23、(金木タケ(ホーカブリ)(鉛筆、縦書)<br>2寸6分(鉛筆、縦書、指示線内側、右側のトリミング線の天地を狐で括りその中心に記載、)<br>←1寸6分(鉛筆、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真23と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.54にある「女の手拭の冠り方」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は『図録　民具入門事典』p.87ホーカブリに同写真が使用されているため宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真23「同じく(写真21の「女の手拭の冠り方・ホーカブリ」と同キャプションという意味。)」『図録　民具入門事典』「ホーカブリ」 | (財)宮本記念財団 | 23 （赤鉛筆）<br>1630（青ナンバリング）<br>ホーカブリ<br>（合木タケ）<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 55×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 20 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女の手拭の冠り方・ホーカブリ | × | × | | 24、　金木タケ(ホーカブリ)(鉛筆、縦書)<br>左右一寸6分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地二寸六分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真24と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.54にある「女の手拭の冠り方」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真24「同じく(写真21の「女の手拭の冠り方・ホーカブリ」と同キャプションという意味。)」 | (財)宮本記念財団 | 24 （赤鉛筆）<br>1631（青ナンバリング）<br>ホーカブリ<br>（合木タケ）<br>手島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 手島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 21 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | シオミヅオケ | × | × | | 29、天地三寸二分(鉛筆、縦書)<br>左右二寸五分(鉛筆、縦書)<br>舷からは(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>現寸(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 157×109 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真29と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』pp.75-76にある「シオミヅオケ」の記載は結城次郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真29「シオミヅオケ」 | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月17日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 小飛島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 22 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | カンキー・トーキョーソデ | × | × | | 30、 東京袖の単次の着物(鉛筆、縦書)<br>人物(写真3)は現寸にして(鉛筆、縦書)<br>左右三寸五分(鉛筆、縦書)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真29と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.80にある「カンキー」「トーキョーソデ」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真30「カンキー・トーキョーソデ」 | (財)宮本記念財団 | 30 （赤鉛筆）<br>1638（青ナンバリング）<br>トーキョーソデのヒトエのキリモン<br>（山川ツタノ）<br>大飛島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 大飛島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 23 | | 愛媛県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 焚木を運ぶ | × | × | | 37、 高井神島(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>三寸二分(鉛筆、縦書) | 119×157 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真37と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.97にある「概観」の焚き木に関する記載は宮本常一 | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真37「焚木を運ぶ」 | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月18日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 高井神島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 24 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | デンチを着る女 | × | × | | 44 ソデナシ(鉛筆、縦書)<br>テンジンを着た女(鉛筆、縦書)<br>(金田ツル)(鉛筆、縦書)<br>左右一寸五分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真44と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.110にある「デンチ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真44「デンチを着る女」 | (財)宮本記念財団 | 45 （赤鉛筆）<br>1640（青ナンバリング）<br>ソデナシテンジンを着る老女<br>（合田ツル）<br>伊吹島<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 27(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 伊吹島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 25 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | チンボカゴを肩に掛く | × | × | | 45 金田ツル(鉛筆、縦書)<br>チンボカゴを肩に掛く(鉛筆、縦書)<br>左右一寸五分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真45と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.112にある「チンボカゴ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)2箇所あり<br>・撮影者は『図録　民具入門事典』p.85「チンボカゴ」に同写真が使用されているため宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真45「右の女がチンボカゴを肩に掛く」『図録　民具入門事典』「チンボカゴ」 | (財)宮本記念財団 | 46(45) （赤鉛筆）<br>1641（青ナンバリング）<br>ソデナシテンジンを着る老女<br>（チンボカゴを肩に掛けて居る）<br>（合田ツル）<br>伊吹島<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 伊吹島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 26 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女子働装構成　シゲ笠・手拭・テーホイ・コシギリ・オコシ・マエカケ・キヤハン・チカタビ | × | × | | 48 シゲ笠(菅笠)(鉛筆、縦書)<br>手拭(鉛筆、縦書)<br>テーホイ(半甲)(鉛筆、縦書)<br>コシギリ(テッポ)(仕事着)(鉛筆、縦書)<br>オコシ(腰巻)(鉛筆、縦書)<br>マエカケ(鉛筆、縦書)<br>キヤハン(鉛筆、縦書)<br>チカタビ(地下足袋)(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五(穴)分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真48と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.116にある「シゲガサ」等の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は『日本社会民俗辞典』pp.534-535間写真キャプションより宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真48「女子働装構成　シゲ笠（菅笠）・手拭・テーホイ（手甲）・コシギリ（テッポ）（仕事着）・オコシ（腰巻）・マエカケ・キヤハン・チカタビ（地下足袋）」『日本社会民俗辞典』第2巻「春・夏の畑仕事着」 | (財)宮本記念財団 | | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・台紙に貼った写真が所在不明なため、青いインデックスアルバムから所蔵機関整理番号を推定した） | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 室演引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 27 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 仕事着にて耕作する女 | × | × | | 49、 耕作する女(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五(穴)分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真49と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.116にある「シゲガサ」等の記載は宮本馨太郎<br>・写真48「女子働装構成　シゲ笠（菅笠）・手拭・テーホイ（手甲）・コシギリ（テッポ）（仕事着）・オコシ（腰巻）・マエカケ・キヤハン・チカタビ（地下足袋）」と同様の女性で、且つ同現場と考えられる<br>・撮影者は『日本社会民俗辞典』pp.534-535間の写真と同様の女性で、且つ同現場であることから推定した | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真49「左の仕事着にて耕作する女」 | (財)宮本記念財団 | 50 （赤鉛筆）<br>1644（青ナンバリング）<br>耕作する女<br>（池内スミエ）<br>釜浜<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 室演引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 28 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ドーギ(袖無)を着たる女 | × | × | | 53 ドーギ(袖無)を着る老女(鉛筆、縦書)<br>左右二寸四分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真53と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり)<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.121にある「ドーギ」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は『かぶりもの・きもの・はきもの』写真6『オキテヌダイの老婆』に同写真が使用されているため宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真53「ドーギ(袖無)を着たる女」『かぶりもの・きもの・はきもの』『オキテヌダイの老婆』 | (財)宮本記念財団 | 54 （赤鉛筆）<br>1646（青ナンバリング）<br>トーギ（袖無）を着せる老女<br>志々島<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 室演引用・使用媒体 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料　情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 22 | 29 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ハラアテを着る漁夫赤稚をしめている | × | × | | 54 ハラアテを着る漁夫、赤稚をしめている(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 116×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真54と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.121にある「ハラアテ」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真54「ハラアテを着る漁夫赤稚をしめている」 | (財)宮本記念財団 | 55（赤鉛筆）<br>1645（青ナンバリング）<br>ハラアテをせる漁夫<br>赤フンドシをして居る。<br>志々島<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 室演引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 30 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | オキテヌグビ(手拭の被り方の一種)をせる老女 | × | × | | 55、 オキテヌグビをせる老女(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真55と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.121にある「オキテヌグイ」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は『図録　民具入門事典』p.8「オキテヌグイ」に同写真が使用されていたため宮本馨太郎とした | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真55「オキテヌグビ（手拭の被り方の一種）をせる老女」『図録　民具入門事典』「オキテヌグイ」『日本社会民俗辞典』第3巻「おさでぬぐい（香川県志々島）」 | (財)宮本記念財団 | 56（赤鉛筆）<br>1647（青ナンバリング）<br>オキテヌグイをせる老女<br>志々島<br>昭和十二年五月十八日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 26(鉛筆、写真裏面中央部)<br>既寸(写真裏面右側)<br>100(写真裏面下部) | 55×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月18日～他研究機関所蔵資料 | 室演引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 31 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | マキソデを着る老女 | × | × | | 56、 マキソデを着る老女(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真56と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.142にある「マキソデ」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真56「マキソデを着る老女」 | (財)宮本記念財団 | 57(61)（赤鉛筆）<br>1651（青ナンバリング）<br>マキソデを着せる老女<br>沙弥島<br>昭和十二年五月十九日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 203×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月19日～他研究機関所蔵資料 | 牛島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 32 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ツツソデの仕事着を着る女 | × | × | | 57、 ツツソデの仕事着きる女(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真57と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.162にある「ツツソデ」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真57「ツツソデの仕事着を着る女」 | (財)宮本記念財団 | 58（赤鉛筆）<br>1652（青ナンバリング）<br>ツツソデの仕事着を着せる女<br>（久保木サカエ）<br>岡山縣色久郡牛窓町字前島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 前島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 33 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 豊島の民家・麦藁屋根・石塁の塀 | × | × | | 59 農家(鉛筆、縦書)<br>←(右上部、青鉛筆)<br>左右(鉛筆、縦書、指示線上)<br>二寸八分(鉛筆、縦書、指示線上)<br>切ル(指示線下側、鉛筆) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真59と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.164にある「概観」の記載は宮本常一と樫田勝徳<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真59「豊島の民家・麦藁屋根・石塁の塀」 | (財)宮本記念財団 | 60（赤鉛筆）<br>1653（青ナンバリング）<br>農家<br>豊島　甲生<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 55×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 豊島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 34 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 村井戸と水神様(刊行記載物、他機関所蔵資料による) | × | × | | 60 井戸(鉛筆、縦書)<br>切ル(指示線上、鉛筆)<br>切ル(指示線下、鉛筆)<br>←2.6←(指示線線内側、鉛筆)<br>8P7.（指示線内側、鉛筆）<br>13X(指示線内側、鉛筆)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>三寸(鉛筆、縦書)<br>二分(鉛筆、縦書) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真60と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.165にある「村井戸」の記載は樫田勝徳<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)2箇所あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真60「村井戸」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「4　村井戸」 | (財)宮本記念財団 | 61（赤鉛筆）<br>1654（青ナンバリング）<br>井戸と水神様<br>豊島　甲生<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 豊島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 35 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ミノマエダレを着せる女 トンポゾーリを穿く オキテヌグイをなす | × | × | | 62、 ミノマエダレを着せる(た)女(鉛筆、縦書)<br>トンポゾーリを穿く(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真62と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.175にある「ミノマイダレ」等の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真62「ミノマエダレを着せる女トンポゾーリを穿く オキテヌグイをなす」 | (財)宮本記念財団 | 63（赤鉛筆）<br>1658（青ナンバリング）<br>ミノマイダレ・ハカママエダレを<br>着せる女<br>トンポゾーリをして居る<br>雄木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 男木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 36 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ミノマエダレを着せる女 トンポゾーリを穿く オキテヌグイをなす | × | × | | 63、 仝上(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真63と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.175にある「ミノマイダレ」等の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真63「右に同じ」 | (財)宮本記念財団 | 64（赤鉛筆）<br>1659（青ナンバリング）<br>ミノマイダレ・ハカママエダレを<br>着せる女<br>トンポゾーリを穿いて居る。<br>雄木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 55×56 | 台紙には旗の絵（中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 204×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 男木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 37 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ドンザ(ヒヤクタン)を着る漁夫 | × | × | | 64、 ドンザヒヤクタンをきる漁夫(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 115×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真64と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.175にある「ドンザ」の記載は磯貝勇<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真64「ドンザ(ヒヤクタン)を着る漁夫」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「3 ドンザを着る漁夫」 | (財)宮本記念財団 | 1655（青ナンバリング）<br>ドンザ・ヒヤクタンを着せる老漁夫<br>男木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 29(鉛筆、写真裏面中央部) | 55×56 | 台紙には<br>SPOUTING<br>WATER<br>FOOL`SCAPと透かしがある | 206×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 男木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 38 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 女木島 | × | × | | 66、(木島)(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>三寸二分(四)分(鉛筆、縦書) | 108×157 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真66と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.177にある「概観」の記載は宮本常一 | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真66「女木島」 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月20日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 39 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | イタダク(頭上運搬) | × | × | | 68(67、)(鉛筆、縦書)<br>左右←寸七分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真68と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.177にある「概観」の記載は磯貝勇<br>・写真裏面にトリミングの指示線（鉛筆）2箇所あり | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真68「イタダク（頭上運搬）」 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月20日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 女木島引用・使用媒体 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 22 | 40 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ドーギ(アイギ) シヤツ・ズボン | × | × | | 69、ドーギ・アイギ(袖無X鉛筆、縦書)<br>シヤツ(鉛筆、縦書)<br>ズボン(鉛筆、縦書)<br>左右一寸七分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 115×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真69と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.183にある「イ、労働服装の構成　漁夫の例」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)2箇所あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真69「ドーギ(アイギ)　シヤツ・ズボン」 | (財)宮本記念財団 | 70 （赤鉛筆）<br>1660（青ナンバリング）<br>漁夫の服装<br>ドンギ・アイギ(袖無)<br>シヤツ<br>ズボン<br>（木木又吉）<br>越木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 32(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 41 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ドーギ(アイギ) シヤツ・ズボン | × | × | | 70、 仝上(鉛筆、縦書)<br>左右一寸七分(鉛筆、縦書、指示線の内側)<br>天地三寸二分(鉛筆、縦書、指示線の内側) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真70と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.183にある「イ、労働服装の構成　漁夫の例」の記載は宮本馨太郎<br>・写真裏面にトリミングの指示線(鉛筆)2箇所あり<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真70「右に同じ」 | (財)宮本記念財団 | 71 （赤鉛筆）<br>1661（青ナンバリング）<br>ドンギ・アイギ(袖無)を着せる<br>漁夫<br>（木木又吉）<br>越木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 32(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 42 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | テヌダイ・シゴトギ・テホイ・ミノマイカケ・キヤハン・トンボゾーリ | × | × | | 71、 テヌダイ(鉛筆、縦書)<br>シゴトギ(マキノデ)(鉛筆、縦書)<br>テホイ(鉛筆、縦書)<br>ミノマイカケ(鉛筆、縦書)<br>キヤハン(鉛筆、縦書)<br>トンボゾーリ(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五分(鉛筆、縦書) | 116×115 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真71と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.183にある「イ、労働服装の構成　女子の例」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真71「テヌダイ・シゴトギ(マキノデ)・テホイ・ミノマイカケ・キヤハン・トンボゾーリ」『日本社会民俗辞典』第2巻「春の焚き木採り婆」 | (財)宮本記念財団 | 72 （赤鉛筆）<br>1662（青ナンバリング）<br>女子労働服装<br>テヌダイ　手拭<br>シゴトギ(マキノデ)　仕事着<br>テホイ　手甲<br>ミノマイカケ　三布前掛<br>キヤハン　脚絆<br>トンボゾーリ　結草履<br>(増田ヨシノ)<br>越木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 32(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 43 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ミノマイカケ着装の法 | × | × | | 72、 ミノマイカケ　着装の法は(鉛筆、縦書)<br>女木島では若い人は裏後で(鉛筆、縦書)<br>老人は雄木島の如く積て合せてゐる(鉛筆、縦書)<br>左右(鉛筆、縦書)<br>二寸五(七)分(鉛筆、縦書) | 116×114 | ・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真72と同じ大きさのトリミング指示が写真の裏面にあり<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.183にある「イ、労働服装の構成　女子の例」の記載は宮本馨太郎<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真72「ミノマイカケ着装の法付　女木島では若い人は裏後で老人は男木島の如く積て合せてゐる」 | (財)宮本記念財団 | 73 （赤鉛筆）<br>1663（青ナンバリング）<br>ミノマイカケの着装法(合せ方)は<br>越木島では若い人は裏後で老人は<br>雄木島の如く積て合せる。<br>(増田ヨシノ)<br>越木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 32(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 44 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | イタダク(頭上運搬)前から見たところ | × | × | | | 117×117 | ・河1-22-39『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真68「イタダク(頭上運搬)」と同様の人物・状況、このときに一緒に撮られたものと考えられる<br>・撮影者は他研究機関所蔵資料による | | (財)宮本記念財団 | 68 （赤鉛筆）<br>1664（青ナンバリング）<br>タキギをカベりたる島の女<br>アタマスケと称する一尺四方位<br>のフトンを用ひて頭上に物をの<br>せるのである。<br>(増田ヨシノ)<br>越木島<br>昭和十二年五月二十日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・『瀬戸内海島嶼巡訪日記』の口絵写真番号と思われる数字「66」が台紙には記入されているが、刊行された同書には掲載されておらず、別カット(写真番号68)の写真と差し替えられたものと見られる | 32(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×56 | 台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 207×162 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月20日～他研究機関所蔵資料 | 女木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 45 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 背負梯子 | × | × | | | 116×115 | ・16mmフィルムカメラを持った渋沢敬三が中央奥に見える | | (財)宮本記念財団 | 1627（青ナンバリング）<br>六口島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部、天地逆) | 57×55 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 岡山縣児島郡下津井町字六口島他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 46 | | 岡山県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | ツボカゴ | × | × | | ・河1-22-06と同様の縦倒・縦の下の前で撮られている<br>・題名は『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.18「ツボカゴ」の図と説明、また「ドーマルカゴ」の図と説明より | 116×115 | ・河1-22-06と同様の縦倒・縦の下の前で撮られている<br>・題名は『瀬戸内海島嶼巡訪日記』p.18「ツボカゴ」の図と説明、また「ドーマルカゴ」の図と説明より | | (財)宮本記念財団 | 1625（青ナンバリング）<br>六口島<br>昭和十二年五月十七日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | 25(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 207×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月17日～他研究機関所蔵資料 | 岡山縣児島郡下津井町字六口島他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 47 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 下津井より見たる犂石島<br>(他研究機関所蔵資料による) | × | × | | ・『渋沢フィルム24　塩飽1＆2』の06:00からの遠景と同風景<br>・都道府県・国は「香川・岡山」 | 116×115 | ・『渋沢フィルム24　塩飽1＆2』の06:00からの遠景と同風景<br>・都道府県・国は「香川・岡山」 | 16ミリフィルム『塩飽1＆2』06:00 | (財)宮本記念財団 | 1621　1622（青ナンバリング）<br>下津井より見たる犂石島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・この資料は宮本記念財団昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行　1621と続き写真で、1枚の同じ台紙に貼られている<br>・写真の法量は1枚ごとの大きさ(上段)と続き写真の最大値(下段)を併記した、また1枚ごとの法量は重なっている部分も可能な限り計測し記載しているため1枚ごとの法量をすべて合算しても最大値の法量とはならない<br>・被写体の犂石島は香川縣仲多度郡奥島村字犂石島であるが、撮影場所は岡山縣児島郡下津井町大字下津井からの撮影であるため、撮影地はこれによった | 31(鉛筆、写真裏面中央部) | 57×45 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岡山縣児島郡下津井町大字下津井他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 48 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 下津井より見たる犂石島<br>(他研究機関所蔵資料による) | × | × | | | 115×115 | ・『渋沢フィルム24　塩飽1＆2』の06:00からの遠景と同風景<br>・都道府県・国は「香川・岡山」 | 16ミリフィルム『塩飽1＆2』06:00 | (財)宮本記念財団 | 1621　1622（青ナンバリング）<br>下津井より見たる犂石島<br>昭和十二年五月十六日<br>撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・この資料は宮本記念財団昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行　1622と続き写真で、1枚の同じ台紙に貼られている<br>・写真の法量は1枚ごとの大きさ(上段)と続き写真の最大値(下段)を併記した、また1枚ごとの法量は重なっている部分も可能な限り計測し記載しているため1枚ごとの法量をすべて合算しても最大値の法量とはならない<br>・被写体の犂石島は香川縣仲多度郡奥島村字犂石島であるが、撮影場所は岡山縣児島郡下津井町大字下津井からの撮影であるため、撮影地はこれによった | 31(鉛筆、写真裏面中央部) | 57×56 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL`SCAPと透かしがある | 206×161 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 岡山縣児島郡下津井町大字下津井他研究機関所蔵資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 22 | 49 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 興島(他研究機関所蔵資料による) | × | × | | | 115×115 | ・「渋沢フィルム24　塩飽1＆2」の04:03からの遠景と同風景 | 16Eリフィルム「塩飽1＆2」04:03 | (財)宮本記念財団 | 1609　1610　1611（青ナンバリング）<br>興島<br>昭和十二年五月十六日撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・この資料は宮本記念財団昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行　1610-1611と続き写真で、1枚の同じ台紙に貼られている<br>・写真の法量は1枚ごとの大きさ(上段)と続き写真の最大値(下段)を併記した、また1枚ごとの法量は重なっている部分も可能な限り計測し記載しているため1枚ごとの法量をすべて合算しても最大値の法量とはならない | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×50 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL'SCAPと透かしがある | 206×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 香川県仲多度郡興島村字興島他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 50 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 興島(他研究機関所蔵資料による) | × | × | | | 116×114 | ・「渋沢フィルム24　塩飽1＆2」の04:03からの遠景と同風景<br>・鳥居が半分写っている写真 | 16Eリフィルム「塩飽1＆2」04:03 | (財)宮本記念財団 | 1609　1610　1611（青ナンバリング）<br>興島<br>昭和十二年五月十六日撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・この資料は宮本記念財団昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行　1609-1611と続き写真で、1枚の同じ台紙に貼られている<br>・写真の法量は1枚ごとの大きさ(上段)と続き写真の最大値(下段)を併記した、また1枚ごとの法量は重なっている部分も可能な限り計測し記載しているため1枚ごとの法量をすべて合算しても最大値の法量とはならない | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 56×55 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL'SCAPと透かしがある | 206×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 香川県仲多度郡興島村字興島他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 51 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 興島(他研究機関所蔵資料による) | × | × | | | 115×115 | ・「渋沢フィルム24　塩飽1＆2」の04:03からの遠景と同風景<br>・鳥居が全景写っている写真 | 16Eリフィルム「塩飽1＆2」04:03 | (財)宮本記念財団 | 1609　1610　1611（青ナンバリング）<br>興島<br>昭和十二年五月十六日撮影(年月日は数字以外ゴム印) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・この資料は宮本記念財団昭和十二年　中部瀬戸内海島嶼探訪旅行　1609-1610と続き写真で、1枚の同じ台紙に貼られている<br>・写真の法量は1枚ごとの大きさ(上段)と続き写真の最大値(下段)を併記した、また1枚ごとの法量は重なっている部分も可能な限り計測し記載しているため1枚ごとの法量をすべて合算しても最大値の法量とはならない | 30(鉛筆、写真裏面中央部) | 55×45 | 台紙にはSPOUTING WATER FOOL'SCAPと透かしがある | 206×160 | 宮本馨太郎 | 昭和12年(1937年)5月16日～他研究機関所蔵資料 | 香川県仲多度郡興島村字興島他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 22 | 52 | | 香川県 | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 男木島の民家 | × | × | | 男木島(縦書、右上)<br>(62)(65)(64)(赤鉛筆、右上)<br>61(赤鉛筆、上)<br>現寸(鉛筆、縦書、左下) | 78×102 | ・「瀬戸内海島嶼巡訪日記」p.171にある「概観」を参照とあるが具体的に写っている被写体と文章が一致していない、強いてあげれば「湊には良い波止場があって、漁船碇泊に適し、畑は南斜面に拓けて美しい段をなしてゐる」の箇所か、図内にこの部分の記載をしているのは宮本第一 | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』写真61「男木島の民家」 | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月20日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 男木島引用・使用媒体 | |
| 河1 | 22 | 53 | | × | | 29石神村（青ペン、縦書、右）<br>瀬戸内海(K・M)（フェルトペン、カッコ内赤鉛筆、左上） | 封筒 | × | × | | | 251×143 | ・アチック・ミューゼアムの封筒を使っている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 23 | 1 | | | | 【表面】<br>東京(市)(都港区)芝(区)三田綱町十番地(青インク、縦書、右側)<br>アチック　ミューゼアム(青インク、縦書、右側)<br>渋澤敬三様(青インク、縦書、右側)<br>〈行〉(青インク、縦書、右側)<br>竹の下駄(鉛筆、横書、左側上)<br>竹ノゲタ、海ノヤロ(黒フェルトペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>■(黒インク、裏面上部)<br>港区芝高輪南町五三(黒インク、縦書、裏面右側)<br>林彌一郎(黒インク、縦書、裏面右側) | | × | | | | | ・林彌一郎から渋澤敬三に宛てた書状<br>・内容は「竹下駄」「海ノヤロ」についての質問への回答<br>・薄紙にタイプ打ち、255×182、5枚 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 23 | 2 | | | | 【表面】<br>東京(市)(都港区)芝(区)三田綱町十番地(青インク、縦書、右側)<br>アチック　ミューゼアム(青インク、縦書、右側)<br>渋澤敬三様(青インク、縦書、右側)<br>〈行〉(青インク、縦書、右側)<br>竹の下駄(鉛筆、横書、左側上)<br>竹ノゲタ、海ノヤロ(黒フェルトペン、縦書、左)<br>【裏面】<br>■(黒インク、裏面上部)<br>港区芝高輪南町五三(黒インク、縦書、裏面右側)<br>林彌一郎(黒インク、縦書、裏面右側) | | × | | | | 207×143 | ・法量207×143の茶色の封筒 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 1 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | | 115×155 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 2 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | | 114×154 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 3 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | | 114×154 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 4 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | | 115×155 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 5 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | ←2.6→(鉛筆、横書、上部)<br>一七五■(鉛筆、縦書、右側下)<br>左右三寸二分(青鉛筆、縦書、右側)<br>133(鉛筆、中央下)<br>889(鉛筆、中央下) | 152×110 | ・写真の裏面上部に台紙から剥がれたと思われる跡あり<br>・写真裏面記載文の133は〇囲み | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 24 | 6 | | | | 【表面】<br>東京都港区三田綱町一〇　渋沢様方　宮本常一様(縦書、中央)<br>【表面】<br>出雲ハゼ(赤鉛筆、縦書、左) | | × | | | | 227×190 | ・封筒法量227×190<br>・「東京都港区三田綱町一〇　渋澤様方　宮本常一様」宛ての史学研究会の封筒 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 1 | | 静岡県 | | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内浦　銅板(黒マジック、縦書、左側) | 長濱村地先海面ノ光景 | × | | | 彙報番号(青鉛筆、横書、左側)<br>46 色丹島語(この行数字は赤鉛筆、以下は黒インク、横書、左側)<br>47 粒々辛苦(この行数字は赤鉛筆、以下は黒インク、横書、左側)<br>48 下総行徳塩業史(この行数字は赤鉛筆、以下は黒インク、横書、左側)<br>49(赤鉛筆、左)<br>50(赤鉛筆、左)<br>51(赤鉛筆、左)<br>52(赤鉛筆、左)<br>53(赤鉛筆、左) | 159×236 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・題名は『豆州内浦漁民史料』下巻ロ絵による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二ロ絵「第一圖　長濱村地先海面ノ光景」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 2 | | 静岡県 | ア-98-26 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内浦　銅板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一六六九 | × | | | | 135×196 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-26と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.Ⅱにおいて本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二ロ絵「第三圖(一六六九)」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 3 | | 静岡県 | ア-98-16 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内浦　銅板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一六八六 | × | | | | 200×136 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-16と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.Ⅱにおいて本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二ロ絵「第五圖(一六八六)」 | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 25 | 4 | | 静岡県 | ア-98-21 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七一三 | × | | | | 136×202 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-21と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.22において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第六圖[一七一三]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 5 | | 静岡県 | ア-98-29 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七一四 | × | | | | 197×135 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-29と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.23において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第七圖[一七一四]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 6 | | 静岡県 | ア-98-28 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七四一 | × | | | | 138×196 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-28と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.37において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第八圖[一七四一]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 7 | | 静岡県 | ア-98-13 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七六五 | × | | | | 200×139 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-13と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.48において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第九圖[一七六五]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 8 | | 静岡県 | ア-98-20 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七六八 | × | | | | 198×136 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-20と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻pp.48-49において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十圖[一七六八]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 9 | | 静岡県 | ア-98-23 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一七九八 | × | | | | 135×198 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-23と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻pp.57-58において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十一圖[一七九八]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 10 | | 静岡県 | ア-98-19 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八〇一 | × | | | | 136×197 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-19と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.59において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十二圖[一八〇一]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 11 | | 静岡県 | ア-98-22 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八〇三 | × | | | | 136×197 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-22と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻pp.59-60において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十三圖[一八〇三]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 12 | | 静岡県 | ア-98-33 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八〇五 | × | | | | 197×134 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-33と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.60において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十四圖[一八〇五]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 13 | | 静岡県 | ア-98-18 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八一七 | × | | | | 200×139 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-18と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.66において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十五圖[一八一七]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 14 | | 静岡県 | ア-98-14 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八六二 | × | | | | 197×136 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-14と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.84において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十六圖[一八六二]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 15 | | 静岡県 | ア-98-32 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八六七 | × | | | | 199×135 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-32と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.88において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十七圖[一八六七]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 16 | | 静岡県 | ア-98-10 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八七一 | × | | | | 202×136 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-10と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.91において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十八圖[一八七一]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 17 | | 静岡県 | ア-98-12 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一八九七 | × | | | | 136×202 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-12と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.103において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第十九圖[一九七七]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 18 | | 静岡県 | ア-98-30 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　一九二八 | × | | | | 134×196 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-30と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.117において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第二十圖[一九二八]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 19 | | 静岡県 | ア-98-31 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 河内山樽木林見取圖 | × | | | | 196×138 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-19と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・題名は『豆州内浦漁民史料』下巻口絵による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第二十二圖[河内山樽木林見取圖]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 20 | | 静岡県 | ア-98-27 | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 豆州内浦漁民史料　二二七二 | × | | | | 135×199 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・ア-98-27と同一のもの、色彩バランスが異なる<br>・渋沢敬三『豆州内浦漁民史料』下巻p.434において本資料が翻刻されている<br>・題名は文書番号による | 『豆州内浦漁民史料』下巻　アチックミューゼアム彙報第四二口絵「第二十三圖[二二七二]」 | | | | | | | | | | |
| 河1 | 25 | 21 | | 三重県 | | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 簀女の圖 | × | | | | 138×199 | ・版下写真カ<br>・河1-25-24の封筒に入っていた<br>・岩田準一「志摩の簀女」口絵より「[三重縣漁業圖解]所載」及び「三重縣廳所藏」と付記されている。<br>・同書「序に代へて」の昭和十三年十一月二十九日の所に絵図に関する情報が記載されており、そこから本資料が元々は『三重縣漁業圖解』第四冊に記載されていたとわかる。また、同書「序に代へて」昭和十四年二月三日～四日の所に、漁業圖解の撮影と筆写のため櫻田勝徳・岩倉市郎が鳥羽を訪ねている事が記録されており、撮影者・撮影年月日・撮影場所はこれによる<br>・題名は『志摩の簀女』口絵による | 『志摩の簀女』アチックミューゼアム彙報第四〇口絵「簀女の圖」『合冊三重県水産図解』 | | | | | | | 櫻田勝徳・岩倉市郎 | 昭和14年2月3日～昭和14年2月4日『志摩の簀女』「序に代へて」備考参照 | 鳥羽『志摩の簀女』「序に代へて」備考参照 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 25 | 22 | | 三重県 | | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 鯨女の圖 | × | | | | 139×198 | ·版下写真あ<br>·河1-25-24の封筒に入っていた<br>·岩田準一『志摩の鯨女』口絵より「三重縣漁業圖解」所載」及び「三重縣廳所藏」と付記されている。<br>·同書「序に代へて」の昭和十三年十一月二十九日の所に絵図に関する情報が記載されており、そこから本資料が元々は『三重縣漁業圖解』第四冊に記載されていると分かる。また、同書「序に代へて」昭和十四年二月三日～四日の所に、漁業圖解の撮影と筆写のため樫田勝徳・岩倉市郎が鳥羽を訪ねている事が記録されており、撮影者・撮影年月日・撮影場所はこれによる<br>·題名は『志摩の鯨女』口絵による | 『志摩の鯨女』アチックミューゼアム彙報第四〇口絵「鯨女の圖」『合冊三重県水産図解』 | | | | | | | 樫田勝徳・岩倉市郎 | 昭和14年2月3日～昭和14年2月4日『志摩の鯨女』「序に代へて」備考参照 | 鳥羽『志摩の鯨女』「序に代へて」備考参照 | |
| 河1 | 25 | 23 | | 三重県 | | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 志摩海岸圖 | × | | | | 273×198 | ·版下写真あ<br>·河1-25-24の封筒に入っていた<br>·題名は『志摩の鯨女』口絵による | 『志摩の鯨女』アチックミューゼアム彙報第四〇口絵「志摩海岸圖」 | | | | | | | | 酒井錠吉郎 | | | |
| 河1 | 25 | 24 | | | | <24. 25. 26. 東北ノ塩>(青ボールペン、縦書、右側)<br>内清　鋼板(黒マジック、縦書、左側) | 封筒 | × | × | | | 207×143 | ·河1-25-1～23の資料がはいっていた茶封筒、法量207×143<br>·表に「東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミユウゼアム　澁澤敬三行」と印刷されている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 1 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 106×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 2 | | 鹿児島県 | 写1-21-3 | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | 宝島珊瑚礁上にて十島調査団集合写真 | × | | | | 115×155 | ·撮影日は薩南十島調査日程による | 『柏葉拾遺』p49写真245「十島宝島珊瑚礁上にて　昭和9.5.」『早川孝太郎全集』X Ⅱ「十島丸の船長」船員も一緒に、宝島の珊瑚礁の上に勢揃いした探訪の一行。『柏葉拾遺』より昭和9年（1934）5月16日、澁澤は前列中央。早川は二列目の右端。」 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月16日～備考参照、『犬歩当棒録』旅譜 | 宝島台紙記載 | |
| 河1 | 26 | 3 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 122×171 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 4 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 73×106 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 5 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 157×118 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 6 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 158×120 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 7 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 73×100 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 8 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 2(鉛筆、中央) | 108×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 9 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 4(鉛筆、中央)<br>高木様(鉛筆、縦書、左上) | 107×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 10 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 6(鉛筆、中央) | 107×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 11 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 8(鉛筆、中央) | 107×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 12 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 11(鉛筆、中央) | 107×148 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 13 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | 15(鉛筆、中央) | 107×149 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 26 | 14 | | | | レ(鉛筆、表右上、「レ」はチェック印)<br>1. 金と米(縦書、表右上)<br>中尊寺　金堂　内陣の図(鉛筆、縦書、表中央)<br>紀念写真(黒マジック、縦書、表左上)<br>完〇(赤鉛筆、〇は「完」を丸囲み、表左上) | | × | | | | 251×143 | ·法量251×143の茶封筒<br>·表に「東京市芝区三田綱町十番地　アチック ミユウゼアム　澁澤敬三行」と印刷されている<br>·資料番号が付与されていない266×203の白紙が1点あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 27 | 1 | | 島根県 | | 瞬間の景積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 大根島寺津から万原へ向かう船上から見る大根島 | 640(ナンバリング、青インク)<br>出雲　大根島<br>(樫田勝徳作) | ·台紙には島の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 出雲大根島(縦書) | 74×101 | ·台紙記載撮影者の桜田は薩南十島調査後の昭和9年5月27日に大根島寺津を訪れておりその後『対岸の万原に渡り』とあり、その際の船上からの撮影、また被写体に写る航跡から大根島から対岸へ渡っていると考えられる(『大根島旧記』『桜田勝徳著作集4』pp.174-177) | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和9年（1934年）5月27日～『大根島旧記』『桜田勝徳著作集4』pp.174-177 | 島根県中海、船上『大根島旧記』『桜田勝徳著作集4』p.177 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 27 | 2 | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 艀桑の葉をとりに行くフラタ船(艀船、ひらたぶね) | 641(ナンバリング、青インク)<br>出雲　大根島　寺澤にて<br>桑の葉採りにゆく船、平田船、(「平田」に「フラタ」と降り仮名)<br>(櫻田　勝徳作) | ・台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 出雲大根島(縦書)<br>寺澤にて(縦書)<br>桑の葉採りに(縦書)<br>ゆく船(縦書)<br>平田船(縦書、「平田」の振り仮名として「フラタ」) | 74×101 | ・台紙記載撮影者の桜田は薩南十島調査後の昭和9年5月27日に大根島寺津を訪れており「朝の海をみていると船に乗って桑の葉をとりにゆくものもいる」とあり、当該写真のことと考えられる(「大根島旧記」『桜田勝徳著作集4』p.176)<br>・台紙記載「寺澤」はママ、「寺津」<br>・・県立公文書館県史編さん室学芸員樫村賢二氏による現在の寺津の画像あり、そこに当該写真左端に移る祠もある(2012.6) | | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月27日～「大根島旧記」『桜田勝徳著作集4』p.176 | 島根県松江市八束長寺津台紙記載による | |
| 河1 | 27 | 3 | | 島根県 | ア-20-24 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | イモアナ、イモグラ | 45.(鉛筆) 642(ナンバリング、青インク、「6」に鉛筆で斜線)<br>蔵(鉛筆)<br>隠岐浦郷　イモグラ.(櫻田勝徳作)<br>民族学辞典(鉛筆、縦書)<br>⑥(鉛筆)<br>1/2＋1(鉛筆)<br>10. 6(ナンバリング、青インク) | 無地 | 207×162 | 隠岐浦郷(縦書)<br>イモグラ(縦書) | 74×101 | ・台紙中央に紙テープを貼り付けた跡あり<br>・台紙に付箋あり<br>・『日本社会民俗辞典1』にp.316「イモを貯える穴倉(隠岐島)」とあり | 『屋根裏の博物館　ー実業家渋沢敬三が育てた民の学問ー』p71「3　イモグラ　神奈川大学日本常民文化研究所　かつて隠岐では甘藷が主要な常食のひとつであり、収穫した甘藷はイモグラに貯蔵された。隠岐・浦郷にて。桜田勝徳撮影。」 | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月24日～昭和9年(1934年)5月25日旅譜pp.434-435(浦郷には延べ二日滞在した) | 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷台紙記載参照(台紙記載「隠岐浦郷」は現隠岐郡西ノ島町浦郷) | 有 |
| 河1 | 27 | 4 | | 島根県 | ア-20-35 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | クサツヅリを着る漁夫(手を前で組む) | 643(ナンバリング、青インク)<br>隠岐浦郷　三度にて、クサツペリ着る漁夫、<br>(櫻田勝徳作) | 台紙には盾と槍を持った人物像の透かしあり | 208×162 | 隠岐浦郷の(縦書)<br>三度にて(縦書)<br>クサツペリ着る(縦書)<br>漁夫(縦書) | 101×74 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・ツヅリとは「裂織の冬着(沖着物ともする)がある。之は廣くドンザと呼ばれる衣服にひとしい。之は経に麻糸を使ひ、緯に木綿の襤褸を細く裂いた布片を用ゐて、自家で織る。」とある(ここでの引用は知夫村の事例)(『隠岐島前漁村採訪記』p.32) | 『桜田勝徳著作集3』口絵「漁師の仕事着(隠岐島前三度、昭和9年著者撮影)」『屋根裏の博物館　ー実業家渋沢敬三が育てた民の学問ー』「2　クサツヅリを着る漁夫　神奈川大学日本常民文化研究所　隠岐・浦郷三度にて。桜田勝徳撮影。」 | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月24日～旅譜pp.434-435 | 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷三度台紙記載参照(台紙記載「隠岐浦郷　三度」は現隠岐郡西ノ島町浦郷三度) | 有 |
| 河1 | 27 | 5 | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | トモドの舳 | 647(ナンバリング、青インク)<br>隠岐浦郷　トモドのオモテ.<br>(櫻田勝徳作) | ・台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 隠岐浦郷(縦書)<br>トモドの(縦書)<br>オモテ(縦書) | 74×101 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり | 『桜田勝徳著作集3』口絵「トモドの舳部と艫部(隠岐浦郷、昭和9年著者撮影)」 | | | | | | | | 櫻田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月24日～昭和9年(1934年)5月25日旅譜pp.434-435(浦郷には延べ二日滞在した) | 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷台紙記載参照(台紙記載「隠岐浦郷」は現隠岐郡西ノ島町浦郷) | 有 |
| 河1 | 27 | 6 | | 島根県 | ア-20-14<br>ア-20-15<br>ア-20-16<br>ア-20-28<br>ア-20-29 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | カナギ漁(右手に櫂を持ち海鏡を口にくわえて船から身を乗り出して覗いているところ) | 650(ナンバリング、青インク)<br>隠岐中村. カナギ漁三(櫻田勝徳作) | ・台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 隠岐中村(縦書)<br>カナギ漁三、(縦書) | 74×101 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・ア-20-14・15・16・28・29と同状況での撮影 | 『屋根裏の博物館　ー実業家渋沢敬三が育てた民の学問ー』p71「1　カナギ漁　神奈川大学日本常民文化研究所「カナギ漁」とはヤスで海底の海草やサザエを捕るいわゆる見突の漁法で、隠岐では烏賊釣とならび古くから行われていたという。桜田勝徳撮影。」 | | | | | | | | 櫻田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月25日～昭和9年(1934年)5月26日旅譜pp.434-435 | 島根県隠岐郡隠岐の島町中村台紙記載参照(台紙記載「隠岐中村」は現隠岐郡隠岐の島町中村) | 有 |
| 河1 | 27 | 7 | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 八十八夜のサンダラ(サンダワラ) | 652(ナンバリング、青インク)<br>隠岐五箇村山田にて　八十八夜のサンダラ<br>(櫻田勝徳作) | ・台紙には鳥の絵とその絵の上にSUPERFINE、下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 隠岐五箇村(縦書)<br>山田にて(縦書)<br>八十八夜の(縦書)<br>サンダラ(縦書) | 101×74 | ・八十八夜の行事については詳細不明<br>・水口祭りに関係するものヵ | | | | | | | | | 櫻田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月25日～旅譜pp.434-435 | 島根県隠岐郡隠岐の島町山田台紙記載参照(台紙記載「隠岐五箇村山田」は現隠岐郡隠岐の島町山田) | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料情報1 所蔵機関整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 27 | 8 | | | 島根県 | 河1-27-15 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 船小屋と桟橋 | 655(ナンバリング、青インク)<br>隠岐布施にて　船小屋、<br>八束半島にて　八船小屋、　草葺多し。<br>(樫田勝徳作) | 台紙には眉と裾を持った人物像の透かしあり | 208×161 | 隠岐布施にて(縦書)<br>船小屋(縦書)<br>八束半島にて(縦書)<br>八船小屋(縦書)<br>草葺多し(縦書) | 74×101 | ・台紙記載は隠岐と八束半島の両方の記載があるが八束半島は草葺きが多いと言ってよりこの写真では板葺きで置き石がしてある。因みに撮影者樫田は八束半島と隠岐のどちらにも調査に行っている<br>・撮影地布施は旅譜に記載がないが旅譜「中村～大久」間の船移動の際に寄ったと考えられる(旅譜pp.434-435)<br>・河岡1-27-15と同状況の写真 | 16ミリフィルム17「隠岐」【10:27～10:37】 | | | | | | | 樫田勝徳 | 昭和9年(1934年)5月26日～旅譜pp.434-435 | 島根県隠岐郡隠岐の島町布施・台紙記載参照(台紙記載「隠岐布施」は現隠岐郡隠岐の島町布施)<br>・備考参照 | |
| 河1 | 27 | 9 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | サイノ神と治癒の御礼(榜に紐をつけて、それに一文銭をつないだもの) | 48.3(鉛筆)　662(ナンバリング、青インク)<br>訴、■(鉛筆)<br>(オキ?)(鉛筆) | 無地 | 208×161 | | 103×77 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・「サイノ神」[隠岐島前漁村採訪記]に「岐路に化物が出ると其處に幸の神を祀る。(中略)神の上等に此神が在り、之に杖をあげてみる。足の痛いもの、耳の悪いものが杖をあげて願をかける。治るとその御禮に榜に紐をつけて、それに一文銭をつないだものをあげるか若しくは幟をあげてみる。」とあり(「サイノ神」[隠岐島前漁村採訪記]p.145)、題名はこれによる | | | | | | | | 不明 | | 隠岐外装記載参照 | 有 |
| 河1 | 27 | 10 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 磯箱、マタ(ソクマタ)など | 664(ナンバリング、青インク) | 台紙向かって右下にかろうじて透かしの模様が見えるが特定不能(台紙には唇と裾を持った人物像の透かしあり?) | 208×161 | | 104×77 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・題名「磯箱」はア-20-9台紙記載による | | | | | | | | 不明 | | 隠岐外装記載参照 | 有 |
| 河1 | 27 | 11 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 水田で田舟を押す女性 | 669(ナンバリング、青インク) | 無地 | 208×161 | | 105×76 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・田起こしや刈敷きをした跡が見える | | | | | | | | 不明 | | 隠岐外装記載参照 | 有 |
| 河1 | 27 | 12 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 川漁の釜、サガリ | 670(ナンバリング、青インク) | 台紙には眉と裾を持った人物像の透かしあり | 208×161 | | 77×104 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・『桜田勝徳著作集3』口絵に同被写体の別カットがある「川漁の釜<サガリ>（隠岐島後原田、昭和9年著者撮影）」 | 『桜田勝徳著作集3』口絵「川漁の釜<サガリ>（隠岐島後原田、昭和9年著者撮影）」 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月24日～昭和9年(1934年)5月25日旅譜pp.434-435 | 島根県隠岐郡隠岐の島町原田引用・使用媒体参照(『桜田勝徳著作集3』口絵に同被写体の別カットがある「川漁の釜<サガリ>（隠岐島後原田、昭和9年著者撮影）」 | 有 |
| 河1 | 27 | 13 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 八十八夜のサンダワラ、または水口祭りの依り代 | 671(ナンバリング、青インク、右上) | 台紙には眉と裾を持った人物像の透かしあり | 208×161 | | 104×78 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・河岡1-27-7に似た状況、題名はこれに寄ったが詳細は不明 | | | | | | | | 不明 | | 隠岐外装記載参照 | 有 |
| 河1 | 27 | 14 | | | 島根県 | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 流れフラ・和布・メカブ採取具 | 677(ナンバリング、青インク)<br>島前、浦郷:三度（高橋文太郎） | 台紙には眉と裾を持った人物像の透かしあり | 208×161 | | 103×77 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・八戸の「流れ昆布採集具」に似た木製の傘針状のもの(『東北大歩当棒録』p.84「流れ昆布採集具」(八戸海岸)) | 16ミリフィルム17「隠岐」【02:25～02:28】 | | | | | | | 高橋文太郎 | | 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷三度台紙記載参照(台紙記載「隠岐浦郷　三度」は現隠岐郡西ノ島町浦郷三度) | 有 |
| 河1 | 27 | 15 | | | 島根県 | 河1-27-8 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 船小屋 | 45.4(鉛筆)　678(ナンバリング、青インク)<br>オキ(鉛筆) | 台紙には眉と裾を持った人物像の透かしあり | 208×161 | | 77×106 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・河岡1-27-8と同状況の写真、題名・撮影年月日・撮影地はこれによる | 16ミリフィルム17「隠岐」【10:27～10:37】 | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月26日～備考参照 | 島根県隠岐郡隠岐の島町布施・関連写真台紙記載参照(関連写真台紙記載「隠岐布施」は現隠岐郡隠岐の島町布施)<br>・備考参照 | 有 |
| 河1 | 27 | 16 | | | 島根県 | ア-20-19 | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 牧畑とトモド（橈、アセチレンランプ） | 45.5(鉛筆)　679(ナンバリング、青インク)<br>オキ(鉛筆) | 無地 | 208×161 | | 76×103 | ・台紙に「チェック印」が入った付箋あり<br>・トモドの軸の方にアセチレンランプが見え夜間の漁の仕様であり、軸の方に半纏のような上衣と褌などが見える。夜間に行う地曳網や四艘張網に使った船か<br>・ア-20-19と同状況の写真、題名・撮影年月日・撮影地はこれによる | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)5月24日～備考参照 | 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷三度・関連写真台紙記載参照(関連写真記載「隠岐国島前浦郷村三度」は現隠岐郡西ノ島町浦郷三度) | 有 |
| 河1 | 27 | 17 | | | × | | 瞬間の累積(黒マジック、縦書)<br>隠岐集(黒マジック、縦書) | 封筒 | × | × | | | 311×214 | 表に「株式会社　東京国際貿易センター　東京都中央区日本橋江戸橋三丁目五番地　三木ビル内　電話(28)8001～4番」と印刷された茶封筒　311×214 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-1 | | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが(異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.1](鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧造沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47年]10月12[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ-3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号S<br>・河1-28-5の箱に入っていた。<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1～河1-28-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)(枕)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号2<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号3<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-5 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号4<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-1-6 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号5<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号6<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号7<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号8<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号9<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-5 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム番号10<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キ書本1)(鉛筆、中央)<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-2-6 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号11<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号12<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号13<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ)1(鉛筆、中央、訂正／黒クレヨンで取消線あり)<br>(J6)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号14<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号15<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-5 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号16<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J5)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-3-6 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号17<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号18<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号19<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号20<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号21<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-5 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号22<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-4-6 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号23<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号24<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号25<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号26<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号27<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>1(キャビネ2)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-5 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号28<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-5-6 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号29<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J8)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-6-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号30<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-6-1～河1-28-1-1-6-4までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-6-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号31<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-6-1～河1-28-1-1-6-4までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央、訂正／黒クレヨンで取消線あり)<br>(J4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-6-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号32<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-6-1～河1-28-1-1-6-4までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央、訂正／黒クレヨンで取消線あり)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-6-4 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号33<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-6-1～河1-28-1-1-6-4までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-7-1 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号34<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-7-1～河1-28-1-1-7-3までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-7-2 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号35<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-7-1～河1-28-1-1-7-3までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>J-4(黒クレヨン、中央)<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-7-3 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号36<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-1-7-1～河1-28-1-1-7-3までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 1-8 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ) | 34×231 | ・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-1-6(ネガフィルム番号S、1～5)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-9 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ) | 34×230 | ・河1-28-1-1-2-1～河1-28-1-1-2-6(ネガフィルム番号6～11)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-10 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ、3ヶ所捺印、内2ヶ所は重なっている) | 34×230 | ・河1-28-1-1-3-1～河1-28-1-1-3-6(ネガフィルム番号12～17)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左)<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左)<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-11 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ) | 34×231 | ・河1-28-1-1-4-1～河1-28-1-1-4-6(ネガフィルム番号18～23)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-12 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ) | 34×230 | ・河1-28-1-1-5-1～河1-28-1-1-5-6(ネガフィルム番号24～29)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-13 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ) | 34×153 | ・河1-28-1-1-6-1～河1-28-1-1-6-4(ネガフィルム番号30～33)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-14 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [F074](中央左、黒スタンプ、天地逆) | 34×118 | ・河1-28-1-1-7-1～河1-28-1-1-7-3(ネガフィルム番号34～36)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F074(黒スタンプ、天地逆、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 1-15 | | | 626B(黒色スタンプ、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[NO.]1(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キー3(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 172×240 | ・河1-28-1-1-1-1～河1-28-1-1-14までのネガフィルムやベタ焼きが入っている「ISUZU CAMERA SHOP」のネガケース | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号S<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号2<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J5)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧淄沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム番号(コマ)、ネガフィルム番号3<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号4<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-1-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号5<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号6<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号7<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号8<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号9<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(鉛筆、中央)<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号10<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-2-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号11<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号12<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(鉛筆、中央)<br>トリミング指示線(鉛筆、上側)<br>トリミング指示線(鉛筆、右側)<br>トリミング指示線(鉛筆、下側)<br>1(鉛筆、右下)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号13<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号14<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下)<br>・ネガフィルム保護紙の上に貼り付けられた別の紙片の記載<br>やりなおし→(鉛筆、ネガフィルム保護紙の上に貼り付けられた別の紙片　62×51　に記載されている)<br>トリムなし口(鉛筆、「口」は赤ボールペン、「トリムなし」を四角囲み、ネガフィルム保護紙の上に貼り付けられた別の紙片　62×51　に記載されている) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号15<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(トリムなし)(鉛筆、中央)<br>↑(鉛筆、中央左側、「トリムなし」に向けた矢印)<br>手2[枚](鉛筆、左下、「↑」の真下)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号16<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-3-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号17<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(鉛筆、中央)<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号18<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号19<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号20<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号21<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(手札)(鉛筆、縦書、右側)<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号22<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(手札)(鉛筆、中央)<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下)<br>(トリミング指示線)(鉛筆、上側)<br>(トリミング指示線)(鉛筆、右側) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-4-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×37 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号23<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号24<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号25<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(鉛筆、中央)<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号26<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号27<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号28<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(JJ3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-5-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号29<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(JJ2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-1 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号30<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(JJ2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-2 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号31<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(JJ4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-3 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号32<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-4 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号33<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(JJ1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-5 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号34<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1枚)(鉛筆、中央)<br>(JJ1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-6-6 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号35<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-7 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | | 34×231 | ・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-1-6(ネガフィルム番号S、1～5)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-8 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | | 34×231 | ・河1-28-1-2-2-1～河1-28-1-2-2-6(ネガフィルム番号6～11)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-9 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | | 34×231 | ・河1-28-1-2-3-1～河1-28-1-2-3-6(ネガフィルム番号12～17)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-10 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所(様)(鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧追沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>牛4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | | 34×231 | ・河1-28-1-2-4-1～河1-28-1-2-4-6(ネガフィルム番号18～23)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 2-11 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | 34×231 | ・河1-28-1-2-5-1～河1-28-1-2-5-6(ネガフィルム番号24～29)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-12 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | [-728](中央右、黒スタンプ、天地逆) | 34×231 | ・河1-28-1-2-6-1～河1-28-1-2-6-6(ネガフィルム番号30～35)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>-728(黒スタンプ、天地逆、裏側中央右上) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 2-13 | | | [NO.]2(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)<br>[撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br>キ4(鉛筆、ケース蓋下左側) | | × | | | | 172×241 | ・河1-28-1-2-1-1～河1-28-1-2-12までのネガフィルムやベタ焼きが入っている「ISUZU CAMERA SHOP」のネガケース<br>・「36コマ目何も写ってません。」と記載された紙片(83×167)がネガケースに巻かれていた | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号2<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号3<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号4<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号5<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-1-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×37 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号6<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号7<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号8<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号9<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(手札3枚)(鉛筆、中央)<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号10<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号11<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(手札2)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-2-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号12<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号13<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J4)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号14<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号15<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号16<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J3)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号17<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-3-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号18<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号19<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(2)[枚](鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号20<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号21<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ2)(鉛筆、中央)<br>(J1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号22<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号23<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1(枚)(鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-4-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号24<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号25<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央)<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号26<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ(J)1(枚)(鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号27<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガには何も写っていない | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号28<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号29<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-5-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号30<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-1 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号31<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J2)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-2 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号32<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-3 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部<br>(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正／黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正／「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号33<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)(枚)(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-4 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号34<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)｛枚｝(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-5 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号35<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(J1)｛枚｝(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-6-6 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×39 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号36<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガ<br>・河1-28-3はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>J1｛枚｝(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-7 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-6(ネガフィルム番号1～6)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-8 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-2-1～河1-28-1-3-2-6(ネガフィルム番号7～12)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-9 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-3-1～河1-28-1-3-3-6(ネガフィルム番号13～18)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-10 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-4-1～河1-28-1-3-4-6(ネガフィルム番号19～24)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-11 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-5-1～河1-28-1-3-5-6(ネガフィルム番号25～30)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-12 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | [F066](中央左、黒スタンプ) | 35×231 | ・河1-28-1-3-6-1～河1-28-1-3-6-6(ネガフィルム番号31～36)までのネガフィルムのベタ焼き<br>・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚」のネガのベタ焼き<br>・ベタ焼き記載文<br>F066(黒スタンプ、裏側中央左) | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 1 | 3-13 | | | [NO.]3(鉛筆、ケース蓋左上)<br>日本常民文化研究所[様](鉛筆、ケース蓋左上)［撮影場所]旧油沢部(鉛筆、ケース蓋右上)<br>[昭和]47[年]10[月]25[日](鉛筆、ケース蓋右上)<br><キ-3>(鉛筆、訂正ノ黒ペン、ケース蓋下左側)<br><キ-5>(ケース蓋下左側)<br>J1(鉛筆、ケース蓋下左側)<br>キャ3<4>(鉛筆、訂正ノ「3」のみ黒ペン、ケース蓋下左側) | | × | | | | 172×241 | ・河1-28-1-3-1-1～河1-28-1-3-1-12までのネガフィルムやベタ焼きが入っている「ISUZU　CAMERA　SHOP」のネガケース | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム番号40(天地逆)<br>・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号40(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号41(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1｛枚｝(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 38×35 | ・・ネガフィルム番号42(天地逆)ネガフィルム番号42(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]46[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1(天地逆)<br>・ネガフィルム番号43(天地逆)・ネガフィルム番号43(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号44(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-1-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ(鉛筆、中央)<br>S1[枚](鉛筆、左下)<br>1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-2-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×22 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号　なし<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-2-1～河1-28-2-1-2-2までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・画像が途中で切れて写っていない | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-2-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 38×35 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号S<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-2-1～河1-28-2-1-2-2までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>キャビネ1[枚](鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号22(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号23(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号24(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号25(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、左下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号26(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-3-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号27(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)(鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号28(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]46[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号29(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号30(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号31(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号32(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-4-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号33(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(S1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号34(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号35(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号36(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号37(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号38(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-5-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号39(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・フィルムが露光してしまい黒くなり像が二重写しになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]46[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・フィルムが露光してしまい黒くなり像が二重写しになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号12(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号13(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号14(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-6-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号15(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-6-1～河1-28-2-1-6-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)1枚1(鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-1 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号16(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-2 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号17(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-3 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号18(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-4 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号19(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-5 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号20(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-7-6 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号21(天地逆)<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 1-8 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 31×238 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-1-6(ネガフィルム番号40～44、1)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-9 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]46[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 31×235 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-3-1～河1-28-2-1-3-6(ネガフィルム番号22～27)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-10 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 31×236 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-4-1～河1-28-2-1-4-6(ネガフィルム番号28～33)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-11 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 35×236 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-5-1～河1-28-2-1-5-6(ネガフィルム番号34～39)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-12 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 32×80 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-6-5～河1-28-2-1-6-6(ネガフィルム番号14、15)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-13 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 32×236 | ・河1-28-5の箱にネガと一緒に入っていた<br>・河1-28-2-1-7-1～河1-28-2-1-7-6(ネガフィルム番号16～21)までのネガフィルムのベタ焼き | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 1-14 | | | [NO.]001(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]26-27[日](鉛筆、ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青年館(ケース蓋右上)<br>254(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側)<br>253(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース内側左) | | × | | | | 153×241 | ・河1-28-2-1-1-1～河1-28-2-1-13までのネガフィルムやベタ焼きが入っている「NEGATIVE　PRESERVER」のネガケース | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-1 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号13<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(キャビネ1)[枚](鉛筆、中央) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-2 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号14<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>S1[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-3 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号15<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-4 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号16<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・このコマ自体に画像は写っていない | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-5 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号17<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・このコマ自体に画像は写っていない | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 2-1-6 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号18<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-1-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・このコマ自体に画像は写っていない | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-1 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]46[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号1<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-2 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号2<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-3 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号3<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(○)[枚][取消線は鉛筆、右上) | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-4 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号4<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(○)[枚][取消線は鉛筆、右上) | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-5 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号5<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-2-6 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号6<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-2-1～河1-28-2-2-2-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(○)[枚][取消線は鉛筆、右上) | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-1 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号7<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-2 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号8<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-3 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号9<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(S1)[枚](鉛筆、右下) | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-4 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号10<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-5 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号11<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(○)[枚][取消線は鉛筆、右上) | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 2 | 2-3-6 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 35×38 | ・ネガフィルム(コマ)、ネガフィルム番号12<br>・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4はこのスリーブから紙焼きしたもの<br>・河1-28-2-3-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムは一枚のスリーブになっている<br>・ネガフィルム保護紙記載文<br>(〇)[秋](取消線は鉛筆、右上) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 2 | 2-4 | | | [NO.]002(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋左上)<br>[撮影]49[年]10[月]25.26[日](ケース蓋左上)<br>常民文化[様](ケース蓋右上)<br>[場所]青山　青年館(ケース蓋右上)<br>良寛(縦書、ケース蓋下左側)<br>317(黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、ケース蓋下左側) | | × | | | | 153×241 | ・河1-28-2-2-1-1～河1-28-2-2-3-6までのネガフィルムが入っている<br>「NEGATIVE　PRESERVE」のネガケース<br>・ネガケースに綴じられているネガフィルムが入っていない保護用紙にも、<br>(〇)[キャビネ]等の書き込みあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 1 | | | | | × | | | [C433](黒ナンバリング、右上)<br>[47.10.25](紫スタンプ、天地左に90度向きが異なる、右側中央) | 182×130 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-1はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 2 | | | | | × | | | 有賀(鉛筆、縦書、天地左に90度向きが異なる、左上)<br>[C433](黒ナンバリング、天地逆、左下) | 182×130 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 3 | | | | | × | | | [47.10.25](紫スタンプ、天地右に90度向きが異なる、右下)<br>[750k](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央左)<br>[-3.11.22](黒スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央左) | 104×76 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-3はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 4 | | | | | × | | | [47.10.25](紫スタンプ、中央上)<br>[C433](黒ナンバリング、天地逆、右下) | 130×183 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-4はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 5 | | | | | × | | | 〇同(鉛筆、右上、「〇」は「同」を丸囲み)<br>キャビネ(鉛筆、縦書、中央左)<br>手札(鉛筆、縦書、中央左)<br>[626B](黒ナンバリング、中央)<br>[1　18](青スタンプ、中央右)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-5はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 6 | | | | | × | | | 〇有賀(鉛筆、縦書、右上、「〇」は「有賀」を丸囲み)<br>〇河岡(鉛筆、縦書、右上、「〇」は「河岡」を丸囲み)<br>〇田中誠二(鉛筆、縦書、左上、「〇」は「田中誠二」を丸囲み)<br>[626B](黒ナンバリング、中央)<br>[1 4](青スタンプ、中央右)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-6はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 7 | | | | | × | | | 〇八十島(鉛筆、縦書、右上、「〇」は「八十島」を丸囲み)<br>〇宮本常(鉛筆、縦書、右上、「〇」は「宮本常」を丸囲み)<br>〇田中誠二(鉛筆、縦書、中央、「〇」は「田中誠二」を丸囲み)<br>〇竹内(鉛筆、縦書、中央、「〇」は「竹内」を丸囲み)<br>〇河岡(鉛筆、縦書、中央、「〇」は「河岡」を丸囲み)<br>〇有賀(鉛筆、縦書、左上、「〇」は「有賀」を丸囲み)<br>[626B](黒ナンバリング、中央)<br>[1 7](青スタンプ、中央右)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-7はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 8 | | | | | × | | | [626B](黒ナンバリング、中央)<br>[1 9](青スタンプ、中央右)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-8はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 9 | | | | | × | | | [626B](黒ナンバリング、中央)<br>[1 11](青スタンプ、中央右)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-9はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 10 | | | | | × | | | 〇喜多村(鉛筆、縦書、中央上、「〇」は「喜多村」を丸囲み)<br>[2 11](青スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央)<br>[625B](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央左) | 104×76 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-10はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 3 | 11 | | | | | × | | | ○竹内(鉛筆、縦書、右側中央、「○」は「竹内」を丸囲み)<br>○□□(鉛筆、縦書、右側中央、「○」は「□□」を丸囲み)<br>○山口(鉛筆、縦書、右側中央、「○」は「山口」を丸囲み)<br>○三木(鉛筆、縦書、中央、「○」は「三木」を丸囲み)<br>[626B](黒ナンバリング、天地逆、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、天地逆、中央上) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-10はこの紙焼きのネガ<br>・写真裏面記載文の□□は「江原」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 12 | | | | | × | | | 市川(縦書、右上)<br>[13.11.72](黒スタンプ、天地逆、中央上)<br>[251C](黒ナンバリング、天地逆、中央) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-10はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 13 | | | | | × | | | 松田(縦書、右上)<br>[13.11.72](黒スタンプ、天地逆、中央上)<br>[251C](黒ナンバリング、天地逆、中央) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-11はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 14 | | | | | × | | | ○村田(縦書、右側中央、「○」は「村田」を丸囲み)<br>○宮本常(縦書、右側中央、「○」は「宮本常」を丸囲み)<br>[2 24](青スタンプ、中央左)<br>[625B](黒ナンバリング、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×103 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-12はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 15 | | | | | × | | | ○三木(縦書、右上、「○」は「三木」を丸囲み)<br>○追沢(縦書、右上、「○」は「追沢」を丸囲み)<br>[3 17](青スタンプ、中央左)<br>[627B](黒ナンバリング、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-13はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 16 | | | | | × | | | ○宮本常(縦書、右上、「○」は「宮本常」を丸囲み)<br>[2 16](青スタンプ、中央左)<br>[625B](黒ナンバリング、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-14はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 17 | | | | | × | | | [625B](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央)<br>[2 8](青スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央右)<br>○有賀(鉛筆、縦書、天地右に90度向きが異なる、中央下、「○」は「有賀」を丸囲み)<br>○沢口(鉛筆、縦書、天地右に90度向きが異なる、中央下、「○」は「沢口」を丸囲み) | 104×76 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-15はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 18 | | | | | × | | | ○(赤鉛筆、右上)<br>○原寸(鉛筆、縦書、天地右に90度向きが異なる、中央右、「○」は「原寸」を丸囲み)<br>一手札(鉛筆、縦書、中央上、天地右に90度向きが異なる、中央上、「一」は「○原寸」からの引き出し線)<br>[2 14](青スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央上)<br>[625B](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、天地右に90度向きが異なる、中央左)<br>○沢口(鉛筆、縦書、天地右に90度向きが異なる、右下、「○」は「沢口」を丸囲み)<br>○有賀(鉛筆、縦書、天地右に90度向きが異なる、右下、「○」は「有賀」を丸囲み) | 104×76 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-16はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 19 | | | | | × | | | [47.10.25](紫スタンプ、中央上)<br>[B804](黒ナンバリング、中央上)<br>2(鉛筆、中央) | 130×91 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-17はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 20 | | | | | × | | | [47.10.25](紫スタンプ、中央上)<br>[B804](黒ナンバリング、中央上) | 130×91 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-18はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 21 | | | | | × | | | [C677](黒ナンバリング、右上) | 182×130 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-19はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 22 | | | | | × | | | ○竹内(鉛筆、縦書、右上、「○」は「竹内」を丸囲み)<br>○河岡(鉛筆、縦書、右上、「○」は「河岡」を丸囲み)<br>[627B](黒ナンバリング、中央)<br>[3 12](青スタンプ、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×105 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-20はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 3 | 23 | | | | | × | | | [3 11](青スタンプ、中央左)<br>[627B](黒ナンバリング、中央)<br>[31.10.72](黒スタンプ、中央下) | 76×104 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-24の封筒に入っていた<br>・写真帳1「赤アルバム1冊101枚と同じ写真<br>・河1-28-1はこの紙焼きのネガ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 3 | 24 | | | | | × | | | | 228×144 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-3-1～23の資料を入れいた封筒<br>・東京都港区芝5丁目14～17(慶応前)の中島写真館の茶封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 1 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 2 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 3 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 4 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 5 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 6 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | 5(鉛筆、中央) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 7 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 8 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 9 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 10 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○(サービスサイズ)(明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[#]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」か | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 4 | 11 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 12 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 13 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 14 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 15 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 16 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 17 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 18 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 19 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 20 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [`-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 21 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 22 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]〇(サービスサイズ)(明細表内中央、「〇」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[¤]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>〇光沢(明細表下、「光沢」は「〇」で囲まれている、「光沢」「〇」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650　775　一　1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」カ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 4 | 23 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 24 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 25 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 26 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 27 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 28 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 29 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | 4(鉛筆、中央) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 30 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 31 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 32 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 33 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、中央) | 112×76 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 34 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 35 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-F30](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 76×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の口は「才」ｶ | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 28 | 4 | 36 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [002](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 37 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [002](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 38 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 112×77 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 39 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 40 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 41 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 42 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 43 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | [001](黒ナンバリング、天地左に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 44 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-E98](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 45 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-E98](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央)<br>33(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、中央左) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 46 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | ['-E98](黒ナンバリング、天地右に90度向きが異なる、中央) | 77×112 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-47の封筒に入っていた<br>・河1-28-2はこの紙焼きのネガ<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 4 | 47 | | | 常民文化[様](左上)<br>[承り日][月]11[日][時](左上)<br>[出来上り日][月]14[日]6[時](左上)<br>[区分]各1[引伸](明細表内中央)<br>[サイズ]○[サービスサイズ](明細表内中央、「○」は[サービスサイズ]を丸囲み)<br>[数量]31(明細表内中央)<br>[@]25(明細表内中央)<br>[金額]775(明細表内中央)<br>○光沢(明細表下、「光沢」は「○」で囲まれている、「光沢」「○」いずれも赤ペン)<br>8□(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、左下)<br>650 775 ― 1425(縦3段で筆算がされている、右下) | | × | | | | 221×143 | ・河1-28-5の箱に入っていた<br>・河1-28-4-1～46の資料を入れていた封筒<br>・三菱カラープリントの封筒<br>・封筒記載文の□は「才」カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 28 | 5 | | | | [虎屋近江 鉄道人写 印](黒印字、縦書、左、印は赤) | 虎屋近江 鉄道人写 印(虎屋近江の紙箱、写真などなし、印文は「鉄斎」) | × | | | | 270×207 | ・箱側面にフェルトペンで「49.10.26 叢書出版記念、講座、写真」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 1 | | | | | 「瞬間の累積 日本常民文化研究所三五周年記念」(澁沢直筆の目次 原稿用 | × | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 2 | 1 | 富山県 | ア-30-32<br>写3-16-4<br>写3-16-5 | | 早乙女の集合写真 | 977(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 80×103 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ16<br>・身支度を整えた早乙女の集合写真。仕事着の上から縄で胴わらを結っている。7人の早乙女（女性6人、男性1人）がおり、手に風呂敷包を持つ者と持っていないものがいる。ア-30-32、写3-16-4 写3-16-5と同じ被写体のため、関連番号とした<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 有 |
| 河1 | 29 | 2 | 2 | 富山県 | ア-30-30<br>ア-30-37<br>写3-16-1 | | 早乙女の身支度 | 981(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 80×103 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ1<br>・胴ワラをつける早乙女。早乙女の腰巻の柄がア-30-30、37と同じため、関連番号とした<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定<br>・本資料右端に見きれているのは渋沢敬三カ | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 有 |
| 河1 | 29 | 2 | 3 | 富山県 | | | 苗を手に持ち畔に立つ早乙女 | 983(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 78×104 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ16<br>・本資料の手前には田植えの済んだ圧田（乾田）がある。早乙女の背後はアワラ田カ。本資料奥には田舟に乗った男性が写る<br>・本資料中央に立つ早乙女は、腰巻の柄がア01-29-2-2の被写体と同じ<br>・16ミリフィルム『白荻村アワラ田植直江津片田家行事』09：15に本資料に近いシーンあり<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 有 |
| 河1 | 29 | 2 | 4 | 富山県 | | | アワラの田植え | 1000(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 80×106 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ16<br>・アワラ田の田植えを行なう4人の早乙女、畔に村の子供が立ちその様子を見ている。本資料奥には田植えを見学するアチック同人たちが写る。その近くには、田舟、アワラ竹、桶が置かれている。後方の丘の上には学校と考えられる建物が見える<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 有 |
| 河1 | 29 | 2 | 5 | 富山県 | ア-30-23 | | アワラの田植え | 1003(ナンバリング、青インク)<br>39.1(鉛筆)<br>アワラ 田植(鉛筆)<br>富山県 白口 ○(鉛筆)<br>1.4(鉛筆) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 78×103 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ16<br>・16ミリフィルム『白荻村アワラ田植直江津片田家行事』09：32からの映像と同じ田圃。4人の早乙女（女性3人、男性1人）と田舟に乗った男性を撮影している<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定<br>・写真の上にトレース用紙が貼られていた跡がある | 『日本社会民俗辞典』第2巻p.873「アワラの田植（富山県白荻村）－人体の半ばを没する沼地の田植、ワラを腰にまいて浮きとする－」 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 有 |
| 河1 | 29 | 2 | 6 | 富山県 | ア-30-24<br>ア-30-25<br>ア-30-26 | | 東種の田圃の遠景 | 1005(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 210×161 | | 78×104 | ・アチックフィルム16ミリフィルムあり「直江津片田家行家／白荻村アワラ田植」ビデオ16<br>・アワラ田の田植えを含めた東種の風景。ア-30-24、25、26にはない遠景からの田植えの様子が撮影されている<br>・撮影日は渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46からの推定 | | | | | | | | 不明 | 昭和11年(1936年)6月14日渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | 越中白荻村（富山県中新川郡白荻村東種）渋沢敬三『犬歩当棒録』p.445 旅譜、アチックマンスリー「REPORT」jp.46 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 3 | 1 | 新潟県 | | | 直江津町における正月の田植え行事の道具 | 1030(ナンバリング、青インク、右上)<br>1.(右上、「1.」の左に弧線あり)<br>田植え(正月十五日の行事) その一.(上)<br>場所 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺<br>片田九十八氏宅(上)<br>撮影月日 昭和十一年正月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 123×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・座敷の上に置かれた羽釜と膳の上に置かれたケズリカケ、犂のミニチュア。羽釜の中には小豆を煮たものが入っている<br>・農具のミニュチュアが汚れていることから田植え行事が終った後に撮影したものヵ<br>・台紙記載によると新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺 片田九十八氏宅の正月の田植え行事。<br>・地域は異なるが、小正月の田植え行事について『田植えに関する習俗2』茨城県・富山県によると、富山県の事例で「14日の晩に作った農具の模型で、15日の小豆粥をいただきまえに、炉をかこんで小豆粥を煮ている鍋を田圃に見たて、長男が鍬で粥の表面を打ち耕し、主人が柄振でならしたあとを、女たちが稲を植えるといった田植えの模擬がが行なわれた」との記述がある。本資料に撮影されているものは、犂のミニチュアが汚れているため、小豆粥で行事を行った後に撮影されたと考えられる | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)1月19日・旅譜p.445<br>・アチックマンスリー「DIARY」p.27<br>・アチックミューゼアム日誌pp..241-242(『歴史と民俗』18) | 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 3 | 2 | 新潟県 | | | 鍬のミニチュアを持ち正月の田植え行事を行なう男性 | 1031(ナンバリング、青インク、右上)<br>2.(右上、「2.」の左に弧線あり)<br>田植え(正月十五日の行事) その二.(上)<br>場所 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺<br>片田九十八氏宅(上)<br>撮影月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 165×119 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・正月の田植え行事を行なう男性。男性は正座し、上着にラクダのシャツで頭にハチマキをしている。その右手には鍬のミニュチュアを持ち、羽釜の中身を混ぜているヵ<br>・16ミリフィルム「深田植・直江津片田家」02:30～03:00と04:09～04:12に同様の場面が撮影されている<br>・地域は異なるが、小正月の田植え行事について『田植えに関する習俗2』茨城県・富山県によると、富山県の事例で「14日の晩に作った農具の模型で、15日の小豆粥をいただきまえに、炉をかこんで小豆粥を煮ている鍋を田圃に見たて、長男が鍬で粥の表面を打ち耕し、主人が柄振でならしたあとを、女たちが稲を植えるといった田植えの模擬がが行なわれた」との記述がある。<br>・『日本社会民俗辞典』第1巻p.43に同一人物と思われる男性の写真が記載されている。同書では手に犂を持っており、儀礼の最中と推測される | 『日本社会民俗辞典』第1巻p43「正月田植(予祝儀礼)(新潟県直江津町) | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)1月19日・旅譜p.445<br>・アチックマンスリー「DIARY」p.27<br>・アチックミューゼアム日誌pp..241-242(『歴史と民俗』18) | 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 3 | 3 | 新潟県 | | | 正月の松飾りを付けている親子田植え行事を行なう早乙女 | 1032(ナンバリング、青インク、右上)<br>4(右上、「4」の左に弧線あり)<br>田植え(正月十五日の行事) その四(上)<br>場所 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺<br>片田九十八氏宅(上)<br>撮影〈■〉月日 昭和十一年一月十九日〈■〉(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 119×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・羽釜の中身をケズリカケを立てる3人の早乙女。女性3人が行事を行なっており、膳の上に置かれていたケズリカケを釜の中に立てている。その背後には羽織姿の男性が食事の膳を前にして見ている<br>・16ミリフィルム「深田植・直江津片田家」03:43～04:08と04:18～04:33に同様の場面が撮影されている<br>・地域は異なるが、小正月の田植え行事について『田植えに関する習俗2』茨城県・富山県によると、富山県の事例で「14日の晩に作った農具の模型で、15日の小豆粥をいただきまえに、炉をかこんで小豆粥を煮ている鍋を田圃に見たて、長男が鍬で粥の表面を打ち耕し、主人が柄振でならしたあとを、女たちが稲を植えるといった田植えの模擬がが行なわれた」との記述がある。 | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)1月19日・旅譜p.445<br>・アチックマンスリー「DIARY」p.27<br>・アチックミューゼアム日誌pp..241-242(『歴史と民俗』18) | 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 3 | 4 | 新潟県 | ア-31-3 | | 床の間の前に座る片田九十八氏 | 1033(ナンバリング、青インク、右上)<br>5(右上、「5」の左に弧線あり)<br>田植え(正月十五日の行事) その五(上)<br>場所 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺<br>片田九十八氏宅(上)<br>撮影月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 120×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・床の間の前に座る男性。男性の前には食事の膳、右横には火鉢が置かれている。座っている場所から片田九十八氏ヵ<br>・16ミリフィルム「深田植・直江津片田家」04:34～04438に同様の場面が撮影されている | | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)1月19日・旅譜p.445<br>・アチックマンスリー「DIARY」p.27<br>・アチックミューゼアム日誌pp..241-242(『歴史と民 | 新潟県中頸城郡直江津町字至徳寺台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 3 | 5 | 新潟県 | | | 瞽女 | 【表】<br>1035(ナンバリング、青インク、右上)<br>7(右上、「7」の左に弧線あり)<br>瞽女(上)<br>場所 高田市北本町三丁目 高嶋利平氏宅にて(上)<br>撮影年月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上)<br>(縦棒トリミングの指示線、左上)<br>(縦棒トリミングの指示線、右上)<br>(横棒トリミングの指示線 右側上)<br>(横棒トリミングの指示線 右側下)<br>22×15.5(鉛筆天地左に90度向きが異なる、右側中央)<br>【裏】<br>7.2〈1〉(鉛筆、天地逆、丸で囲み字、中央) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 120×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・写真表面記載文<br>22×1.55(鉛筆、天地右に90度向きが異なる、右端)<br>横棒トリミングの指示線(右側上)<br>横棒トリミングの指示線(右側下)<br>縦棒トリミングの指示線(左下)<br>縦棒トリミングの指示線(右下)<br>・本資料は瞽女を撮影したもの。右側の瞽女は縞の着物に髪型は銀杏返しで、三味線をひきながら、歌いを行なっていると推定される。その左横に一人、同じく縞模様の着物に髪型は銀杏返しの女性が、膝の上で手を組んで座っている。この女性の口もとは閉じている。後列に二人座っている。後列右の女性は、一番年配で羽織を着て、眼を閉じている。その左側に座る女性は正座をし、眼を閉じている。<br>・『瞽女の民俗』p.46-47によると「衣服―入門当時は縞の着物に縞の帯、前掛けも木綿縞である。(中略)夜の座敷や宿唄の座となれば、ガス・ナフトル・更紗などの着物に加茂縞の半幅帯をしめて、染め絣の前掛け姿となる。髪型―髪型は十二歳ころは桃割れ、十五、十六歳の三味線も弾け、唄も人並みにできるようになってからはびんとり髷・銀杏返しとなった。年が明ければ丸髷となる」との記述がある。<br>・山口賢俊『新潟の民俗』p.189によると「歌は祭文松坂で通称「ごぜぶし」、三味線に合わせて歌う弾き語りである。葛の葉子別れ・巡礼おつる・佐倉宗五郎・小栗判官・白井権八・八百屋お七・景清牢見舞・しんとく丸など」と描かれている。<br>・最後列には、おかっぱ頭の子供が座っている。衣服や髪型から瞽女ではな | 『日本社会民俗辞典』第1巻p421ゴゼ―瞽女の最後の人々であろう(新潟県高田市) | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和11年(1936年)1月19日・旅譜p.445<br>・アチックマンスリー「DIARY」p.27<br>・アチックミューゼアム日誌pp..241-242(『歴史と民俗』18) | 新潟県高田市北本町三丁目高嶋利平氏宅台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 3 | 6 | 新潟県 | | | 瞽女が所持するヂョーバコ | 1036(ナンバリング、青インク、右上)<br>8(右上、「8」の左に弧線あり)<br>ヂョーバコ(瞽女の所持するもの)(上)<br>場所 高田市北本町三丁目 高嶋利平氏宅にて(上)<br>撮影月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 123×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・蓋付きの木箱を撮影したもの。身には金具が付けられ、そこに紐がついていることから蓋を固定するために用いられていたと考えられる。撮影されたものの紐は短い<br>・背景が白く加工されている<br>・佐久間惇一『瞽女(ごぜ)の民俗』p.24によると、市川信次の言を用いて「座本はジョウバコを保管していたという」と述べ、「状箱か錠箱か不明であるが、その箱の保管も座本の表徴の一つであったと思われる。(中略)ジョウバコは蓋のかかった桐の箱で、箱を結ぶ紐がついていて」との記述があり、本資料も類似している | | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 29 | 3 | 7 | 新潟県 | | | 友仙染仕事場 | 1040(ナンバリング、青インク、右上)<br>12.(右上、「12.」の左に弧線あり)<br>友仙染仕事場(上)<br>場所 高田市北本町三丁目 高嶋利平田氏宅(上)<br>撮影年月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 120×165 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった | | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 29 | 3 | 8 | 新潟県 | | | 米の計量所 | 1041(ナンバリング、青インク、右上)<br>13(右上、「13」の左に弧線あり)<br>米を量る所(鉛筆、上)<br>場所 高田市本町七丁目 倉石和義氏宅(上)<br>撮影月日 昭和十一年一月十九日(木川半之丞氏撮影)(上) | | 201×160 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 120×163 | ・河1-29-3-9の針金で括ってあった<br>・台紙記載によると「米を計量する場所」とあり、台秤が置かれている。本資料中央部には着物姿の男性が立っているが、詳細不明<br>・本資料中央部には板張りの箇所があり、樽や升が置かれている | | | | | | | | | 木川半之丞 | | 新潟県高田市本町七丁目倉石和義氏宅台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 3 | 9 | | | | | × | | | | 27×13 | ・河1-29-3-1～8の資料を括っていた針金 27×13 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 4 | 1 | 新潟県 | | | 小正月の飾り物 | 2789(ナンバリング、青インク)<br>布部(赤ペン、右下) | | 260×204 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×164 | ・付箋あり<br>・版下写真<br>・『越後三面村布部郷土誌』口絵第16図によると「マンガ(馬鍬)、トンガ(唐鍬)、カマ、臼桶」とある<br>・ダンゴ飾りに掛けられている飾り物の名称は『越後三面村布部郷土誌』pp.52-53によると「此の日まで松を飾つて置く家では其れを外し、團子を木に刺す。其の木は大正月の二日に伐つて來たものである。(中略)此等の團子をさした木をクヮンダエとも言ふ。クヮンダエにはアワボー(藁に餅を巻きつけたもの)、マエダマ(ノエゴ―藁のミゴ―に小さな餅切れを點々と付けたもの)、ガラガラヘンベ(大黒様や鯛や、鶏や、打出の小槌等の形をした煎餅)や美しい布切れで作つた袋などを下げる。」とある | 『越後三面村布部郷土誌』口絵第一六図小正月の飾り物 | | | | | | | | 木川半之丞 | | 不明 | |
| 河1 | 29 | 4 | 2 | | | | | 3077(ナンバリング、青インク、右上)<br>19(赤鉛筆、左上)<br>クジラの位牌 土佐室戸 日本常民文化研究所(中央) | | 260×198 | 〈エヤブラッシをかけて〉(鉛筆、縦書、右端)<br>■■■(鉛筆、右上)<br>中央を(鉛筆、縦書、中央右)<br>三寸二分(鉛筆、縦書、中央右)<br>右、左は(鉛筆、縦書、中央右)<br>□□二寸(鉛筆、縦書、中央右)<br>切抜キ(鉛筆、縦書、中央下)<br>「土佐捕鯨」(鉛筆、縦書、左端) | 112×153 | ・版下写真<br>・写真裏面記載文<br>□□は「ナリ」ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 4 | 3 | | | | | 3078(ナンバリング、青インク、右上)<br>小牧氏 鯨モリ(中央) | | 260×204 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 115×156 | ・版下写真<br>・写真表面左下<br>「S.Home」と型押しあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 4 | 4 | | | | | | | 248×176 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 116×162 | ・版下写真<br>・台紙は「祭魚洞書屋」の原稿用紙 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 4 | 5 | | | | | × | × | | | 41×16 | 針金 41×16 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 5 | 1 | | | | 中表紙 | 昭和十一年十一月一日<br>白河～柵倉<br>ハイキング<br>(福島県西白河郡白河町)<br>(同 東白河郡柵倉町) | | 211×162 | | | ・写真貼付なし<br>・河1-29-5-14の針金で綴られていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 5 | 2 | 福島県 | | | 井戸のそばの洗い場で洗濯をする二人の女性 | 839(ナンバリング、青インク)<br>福島県西白河郡白河町 | | 211×162 | 14(鉛筆、中央下) | 48×58 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・奥の女性は洗濯板と盥で、手前の女性は籠のそれぞれを使った洗っている<br>・後ろの家屋の壁に「口大学目薬」とあり、参天製薬の「大学目薬」の宣伝ヵ | 『日本社会民俗辞典』第1巻p83「泉と洗場(福島県白河)」 | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一年) | 1344(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月1日中表紙による | 福島県西白河郡白河町台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 5 | 3 | 福島県 | | | 家屋の前でクサミノを着た人物(全身、後面) | 840(ナンバリング、青インク)<br>クサミノ<br>福島県西白河郡白河町 | | 211×162 | 14(鉛筆、中央下) | 58×58 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた | | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一年) | 1343(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月1日中表紙による | 福島県西白河郡白河町台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 5 | 4 | 福島県 | | | 店の前で立つ、馬を引いた男性、赤ん坊を背負う女の子 | 842(ナンバリング、青インク)<br>福島県東白河郡柵倉町<br>ポンチョ型.(鉛筆) | | 211×162 | 14(鉛筆、中央) | 58×58 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた | | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一年) | 1346(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月1日中表紙による | 福島県西白河郡白河町台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 5 | 5 | 新潟県 | ア-24-48 | | 三面にある入り口が一つの家屋 | 847(ナンバリング、青インク)<br>入口の一つの家<br>新潟県岩船郡三面村布部 | | 211×162 | 14(鉛筆、天地左に90度異なる、中央) | 58×59 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第5図に掲載された資料。同書によると佐藤惣次郎氏宅で、本資料手前には「チョーモン」という「鍵の手に曲がつて突出して居る部(p.81)」が見え、大根が干してある。また「チョーモンの方は勝手元に當るわけであるが、左勝手(家に向つて)が多い(p.82)」とあるが、本資料は「右勝手」である。<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第5図に「撮影 宮本馨太郎氏」とあるため、昭和11年にアチック・ミューゼアムで村上町、布部を調査した折に撮影したものと考えられる | 『越後三面村布部郷土誌』口絵第五図家の外観(佐藤惣次郎氏宅) | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一・十二年) | 1356(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月29日以前他研究機関所蔵資料 | 新潟県岩船郡三面村布部他研究機関所蔵資料 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 5 | 6 | 新潟県 | ア-24-48 | | 三面にある入り口が三つの家屋 | 849(ナンバリング、青インク)<br>入口の三つある家<br>新潟県岩船郡三面村布部 | | 211×162 | | 57×58 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第4図上段に掲載された資料。同書によると小池角次郎氏宅で、キャプションによると「家の外観。向つて左方よりオドロ、中の口、ゲンクワロを示す」とある。同書のp.82の解説によると「オドロ」とは「大戸又は大戸口」と書かれている。本資料中央にある樹木の左側にあるのがオドロヵ<br>・本資料には「チョーモン」という「鍵の手に曲がつて突出して居る部(p.81)」は河1-29-5-5程明確に見えない<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第4図に「撮影 宮本馨太郎氏」とあるため、昭和11年にアチック・ミューゼアムで村上町、布部を調査した折に撮影したものと考えられる | 『越後三面村布部郷土誌』口絵第四図家の外観。向つて左方よりオドロ、中の口、ゲンクワロを示す(小池角次郎氏宅) | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一・十二年) | 1354(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月29日以前他研究機関所蔵資料 | 新潟県岩船郡三面村布部他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 29 | 5 | 7 | 新潟県 | ア-24-50<br>ア-24-51 | | オカブリをした女性(上半身、左側面) | 851(ナンバリング、青インク)<br>オカブリ<br>新潟県岩船郡三面村布部 | | 211×162 | | 57×59 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第9図3に掲載された資料で、キャプションは「頭部に於いて「オカブリ」を示す」とある。同書のp.88によると「○オカブリ 紺木綿で作る。女子のもので、四季を通じて用ひる。頬の折り返しの所には、若い者は大きなカスリ、年配の者はこまかいのを附ける。」とある。本資料の頬の折り返しは、大きな模様のカスリである<br>・丹田二郎『越後三面村布部郷土誌』口絵第9図に「撮影 宮本馨太郎氏」とあるため、昭和11年にアチック・ミューゼアムで村上町、布部を調査した折に撮影したものと考えられる | 『越後三面村布部郷土誌』口絵第九図3.頭部に於いて「オカブリ」を示す。 | (財)宮本記念財団宮本記念財団路上スケッチ(昭和十一・十二年) | 1358(ナンバリング、赤インク) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真 | | | | | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)11月29日以前他研究機関所蔵資料 | 新潟県岩船郡三面村布部他研究機関所蔵資料 | |
| 河1 | 29 | 5 | 8 | 新潟県 | ア-32-5 | | 陸にあげられたサメヅラ(川舟) | 1049(ナンバリング、青インク)<br>馬舟(サメヅラ)全形<br>(三面川) | | 202×155 | | 63×56 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・川岸に陸揚げされた川舟。舟の先端は「サメヅラ」と呼ばれる形態となっている<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について(一)」(民具マンスリー12巻11号 p.4)によると三面川の舟は「長さにくらべ、幅を短くしている」とる。これは三面川に瀬が多く、流れが速いため、水の抵抗を少なくするためだと記述されている。さらに赤羽は三面川の舟の特徴として「ムキあるいは駒木と呼ばれる重木の入った刳舟の系統である」との推測を立てている(p.6)。<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p75「1 馬舟(サメヅラ)全形」 | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日備考参照 | 新潟県三面川台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 5 | 9 | 新潟県 | ア-32-6<br>写1-18-6-1-3-11 | | 三艘の川舟 | 1051(ナンバリング、青インク)<br>川舟(三面川)(二) | | 203×157 | 川船(鉛筆、縦書、右上) | 64×56 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・川舟の内部を撮影したもの。ア-32-6と類似しており、本資料は陸地を背景に撮影している。<br>・赤羽正春「新潟県下越地方の川舟について(一)」(民具マンスリー12巻11号 p.4)によると三面川の舟は「長さにくらべ、幅を短くしている」とる。これは三面川に瀬が多く、流れが速いため、水の抵抗を少なくするためだと記述されている。さらに赤羽は三面川の舟の特徴として「ムキあるいは駒木と呼ばれる重木の入った刳舟の系統である」との推測を立てている(p.6)。<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日備考参照 | 新潟県三面川台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 5 | 10 | 新潟県 | 写1-18-6-1-1-11 | | 三面川の小網による鮭漁、イクリアミ漁 | 1058(ナンバリング、青インク)<br>小網(イクリ).(三面川) | | 202×156 | 三面川(鉛筆、縦書、右上)<br>ロロリ網(鉛筆、縦書、右上) | 64×56 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・写真裏面記載文<br>ロロは「エク」ヵ | | | | | | | | | 不明 | | 新潟県三面川台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 5 | 11 | 新潟県 | ア-32-49<br>写1-18-6-1-1-5 | | 三面川における鮭の入札 | 1065(ナンバリング、青インク)<br>鮭ノ入札(三面川) | | 202×156 | 三面川(鉛筆、縦書、右上)<br>鮭入札(鉛筆、縦書、右上) | 64×56 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・三面川の鮭売場<br>・本資料は地面の上に並べられた鮭を人々が見ている。名前の入った羽織や前掛けが撮影されているが、読み取る事はできない<br>・本資料手前に撮影されている背広に下駄履きの人物はアチック同人ヵ<br>・ア-32が昭和13年11月16日～24日にかけての「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」(『旅譜』)の調査写真であり、ア-32-2などと同様の印画紙(6×6)であることから撮影日はこれによった(『旅譜』に記載のない16日、17日の日付はア-32内の台紙記載による) | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p75「2 鮭ノ入札(三面川)」 | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月16日～昭和13年(1938年)11月24日備考参照 | 新潟県三面川台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 5 | 12 | 新潟県 | ア-32-7 | | 三面川に設けられた止め簀 | 1104(ナンバリング、青インク)<br>トメズ<br>三面川種川<br>昭,13・11・17 | | 201×155 | | 75×103 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・『三面川の鮭の歴史』p.30によると、種川とは「鮭の産卵する川ということです。「種川の制」というのは、今の言葉で云えば鮭の資源保護のために、村上藩がとった制度」とあり、その構造は同書p.136によると「元杭と称し長さ一間半乃至弐間半の松・杉・楢・栗等の杭を、間送り三本あてに打ち込み、河を横断して基礎となるべき柵を作る」とある<br>・「止め簀」とは「鮭の遡上を止める装置で、河幅全部を遮断するものだが、船筏の通航を自由にするため開閉できるようになっている『三面川の鮭の歴史』(pp.135-136より抜粋)」<br>・台紙記載によると昭和13年11月17日に撮影されたものと考えられる | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p75「3 トメズ 三面川種川」 | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月17日～台紙記載による | 新潟県三面川台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 5 | 13 | 新潟県 | | | 三面川の小網による鮭漁、イクリアミ漁 | 1106(ナンバリング、青インク)<br>イクリアミ<br>三面川堀川<br>昭,13・11・17 | | 201×155 | | 75×100 | ・河1-29-5-14の針金で綴られていた<br>・台紙記載によると三面川でのイクリアミ漁<br>・『村上市史』p.533によると地引き大網漁は「舟は全長33尺、胴幅5尺の大網舟を用いる。アシ(沈子)の部分を舳先側、アバ(浮子)は艫側に積む。船には操船3人、網入れ2人の屈強な若者が乗り込む。まず大網の引き網の端を、川岸の3、4人の若者に持たせる。川岸では網が流されないよう、杭にも網を懸けている。船は網を投げ入れながら全速力で対岸まで向かう。対岸に着くとそこで待つ。2、3町上流から川舟約12艘が船端を棒でたたきながら、下流に渡された網を目指して鮭を追い込んでいく。鮭の群れが、先に川に渡した網にかかるのを見計らい、対岸で待っていた大網船から残りの網を投げ入れながら、出発した場所の引き綱の方へ川を横切って戻る。この時、大網船の動きに呼応して、最初から引き綱を持っていた3、4人の若者が、いっせいに網をたぐりながら下流に走る。船が岸に着くと、船に乗っていた4人が飛び降り、両方で引き綱を引く」とある | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p75「4 イクリアミ 三面川堀川」 | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月17日～台紙記載による | 新潟県三面川台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 5 | 14 | | | | 針金 | × | | | | | ・河1-29-5-1～13の資料を綴っていた針金2点 36×18、18×9 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 6 | | 岡山県 | ア-78-5 河1-30-11-1 | | 味野町荻野正孝邸前での記念写真 | #39(青ペン、右上、写真に向かって90度転倒) | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 248×176 | | 148×217 | | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』 アチック・ミューゼアムノート第17口絵「味野荻野氏邸前にて」『東北犬歩当棒録』「味野萩野邸前勢ぞろい」『柏葉拾遺』「瀬戸内海巡航団 味野萩野邸にて 昭和12.5」 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～『犬歩当棒録』旅譜、『瀬戸内海島嶼巡訪日記』、アチックマンスリーによる | 味野町荻野正孝邸引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 7 | 1-1 | 三重県 | | | アマゴヤの内部 | 3302(ナンバリング、青インク、右上)<br>アマゴヤの内部(中央右)<br>(和具にて)(中央右、( )はママ) | ESP SUPER VICTORY と馬に乗ったジョッキーの透かしあり | 257×206 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 83×61 | ・河1-29-7-1-1と河1-29-7-1-2は同じ台紙に貼られている<br>・海女が潜水時に着る着物や桶、千歯扱きなどが写っている、因みに屋根のトタンと壁板や柱の組み方等から河1-29-7-1-1と河1-29-7-1-2は同所と考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月22日～昭和12年(1937年)5月23日『犬歩当棒録』旅譜、アチックマンスリーによる | 和具台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 7 | 1-2 | 三重県 | | | アマゴヤの内部 | 3302(ナンバリング、青インク、右上)<br>アマゴヤの内部(中央右)<br>(和具にて)(中央右、( )ママ) | ESP SUPER VICTORY と馬に乗ったジョッキーの透かしあり | 257×206 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 60×81 | ・河1-29-7-1-1と河1-29-7-1-2は同じ台紙に貼られている<br>・海女が潜水時に使う水眼鏡や釜などが写っている、因みに屋根のトタンと壁板や柱の組み方等から河1-29-7-1-1と河1-29-7-1-2は同所と考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月22日～昭和12年(1937年)5月23日『犬歩当棒録』旅譜、アチックマンスリーによる | 和具台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 7 | 2 | 三重県 | ア-18-39-2 | | 軒先で海女の道具類を広げこちらを指差す女性と子供 | 3304(ナンバリング、青インク、右上)<br>御座村(中央) | ESPART SUPER VICTORY と馬に乗ったジョッキーの透かしあり | 257×207 | | 60×83 | ・ア-18-39-2に同じ着物の柄の女性と子供並びに同道具類の引いた同場所の写真がある | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月22日～『犬歩当棒録』旅譜、アチックマンスリーによる | 御座村台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 7 | 3-1 | 三重県 | | | 船上から海に飛び込む海女 | 3305(ナンバリング、青インク、中央)<br>和具村(中央) | ESPART SUPER VICTORY と馬に乗ったジョッキーの透かしあり | 257×207 | | 60×83 | ・河1-29-7-3-1と河1-29-7-3-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月22日～昭和12年(1937年)5月23日『犬歩当棒録』旅譜、アチックマンスリーによる | 和具台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 7 | 3-2 | 三重県 | | | 水中を覗き潜水漁を行う海女 | 3305(ナンバリング、青インク、中央)<br>和具村(中央) | ESPART SUPER VICTORY と馬に乗ったジョッキーの透かしあり | 257×207 | | 61×83 | ・河1-29-7-3-1と河1-29-7-3-2は同じ台紙に貼られている | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月22日～昭和12年(1937年)5月23日『犬歩当棒録』旅譜、アチックマンスリーによる | 和具台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 7 | 4 | × | | | 針金 | × | × | | | | ・河1-29-7を留めていたこより状の銀色の針金 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 8 | 1 | | ア-40-14 | | 横道の亀太郎 熊に噛まれた顔 | 1852(ナンバリング、青インク、右上)<br>横道の亀太郎(中央)<br>熊にかまれた顔(中央右寄り)<br>新潟県北魚沼郡湯之谷村上折立(中央)<br>昭和十一、七、十二、(中央)<br>二(青ペン、一の字の下)<br>、(青ペン、二の字の下) | | 206×165 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 60×45 | ・台紙に透かしあり「TRADE.」「SM」<br>・台紙の日付は昭和十二年に修正されているが、金子総平『南会津・北魚沼地方に於ける熊狩雑記』p.57に「昭和十二年三月二日悲しくも亀太郎老は死にました」とあるため、昭和12年7月の撮影は不可能である。『歴史と民俗18』「アチックミューゼアム日誌(2)昭和十一年一月～十二月」p.264に「七月十日、十一日(中略)先生、村上さん新潟方面に御旅行 十二日夜御帰り」とあるため、本資料はその際に撮影されたものと思われる<br>・金子前掲書pp..54-57において、富永清策氏による、亀太郎が熊に噛まれた際の話が記載されている。<br>・ア-40-14と同一の写真、写真の上部が見切れている | | | | | | | | | | 昭和11年(1936年)7月12日～昭和11年(1936年)7月12日『歴史と民俗 18』「アチックミューゼアム日誌」p.264 | 越後『アチックミューゼアム日誌』p.264 | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料情報1 所蔵機関整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 8 | 2 | | | | | 星亀太郎老（刊行物記載による） | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 144×97 | ・金子総平「南会津・北魚沼地方に於ける煎狩雑記」pp.54-57において、富水清策氏による、亀太郎が熊に噛まれた際の話が記載されている。<br>・同書口絵「第四図　故星亀太郎老」では昭和11年8月撮影と付記されている。『アチックマンスリー』「羊川紀行　木川半之丞」pp.60-61において、木川が羊川で写真撮影を行っており、本資料はその時に撮影されたものと推測される。 | 「南会津・北魚沼地方に於ける煎狩雑記」口絵「第四図　故星亀太郎老［昭和十一年八月撮影］」 | | | | | | | | 昭和11年（1936年）8月18日～昭和11年（1936年）9月19日『アチックマンスリー』「羊川紀行　木川半之丞」pp.60-61 | 羊川『アチックマンスリー』「羊川紀行　木川半之丞」pp.60-61 | |
| 河1 | 29 | 9 | 1 | 新潟県 | 写1-18-6-1-5-10<br>ア-32-53 | | 阿賀野川の地引き大網漁、地引網を曳引きで引く人々 | 1077(ナンバリング、青インク)<br>阿賀野川、鮭網―　網引 | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 阿賀野川(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>網引き(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×57 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・本資料の地引きの様子は、綱を直接手で引くのではなく、綱に地引き用の器具（櫂板、コシビなどと一般に呼ばれる）を取り付け、体全体で引くようである。この木具には背中当てが取付られており、胃甲骨の辺りに当てがっている。足元には樽の浮子がある、敬三らしき人がそれを見ている<br>・ア-32-53と同状況で、同じ人物も見える。ア-32-53台紙記載に「松ヶ崎 昭.13.11.19」とあり撮影年月日や撮影地はこれによる | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～備考参照 | 松ヶ崎浜備考参照 | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 2 | 新潟県 | 写1-18-6-1-4-10 | | スマキ（簀巻き） | 1083(赤鉛筆)<br>スマキ（葛塚） | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 葛塚(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>スマキ(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×56 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・本資料は湿地に設置されたスマキを撮影したもの<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・葛塚は『旅譜』に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月18日～昭和13年(1938年)11月22日・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 葛塚台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 3 | 新潟県 | 写1-18-6-1-4-1 | | 川に浮かぶ穀積の船 | 1086(ナンバリング、青インク)<br>穀積の船(福島潟) | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 62×57 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・本資料は大量の藁を積んだ川舟を積の上から撮影したもの。船尾には頭に布を巻いた人物が座っている<br>・ア-32-37と同じ場所か<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 福島潟台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 4 | 新潟県 | 写1-18-6-1-4-4<br>ア-32-37 | | ナガシ網 | 1088(ナンバリング、青インク)<br>ナガシ網(福島潟) | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 62×58 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・干されている円柱状の網。網の内部には漏斗状の仕掛けがしてあり、入った獲物を逃がさないようなっている<br>・ア-32-37にナガシ網を行っている資料がある<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 福島潟台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 5 | 新潟県 | 写1-18-6-1-4-6 | | 置かれた笥とナマズ籠 | 1089(ナンバリング、青インク)<br>カゴ（ナマズ）約三尺<br>（福島潟　タイワン） | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | □□(右上、記載あるが台紙に貼り付けてあるため不詳)<br>タイワン(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>カゴ(ナマズ)(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 64×56 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・地面に置かれた3つの籠。全て同じ徳利型をしており、漏斗状の返しがあると考えられる。その後ろには樽が置かれている。<br>・台紙記載によると「カゴ（ナマズ）」とあるため、笨ではなく籠として使用するものか<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 福島潟台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 6 | 新潟県 | 写1-18-6-1-4-5<br>ア-89-34 | | 吊り下げられた複数のドジョウ籠 | 1090(ナンバリング、青インク)<br>1090（赤鉛筆）<br>カゴ(ドジョウ)　約一尺<br>（福島潟　タイワン） | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 福島潟(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>タイワン(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>カゴ(ドジョウ)(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×56 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・竹竿に吊るされた籠。計6つの籠があり、河1-29-9-5と同じ構造（徳利型で漏斗状の返しをもつ）と考えられるが、本資料は小型である。<br>・台紙記載によると「カゴ（ドジョウ）」とあるため、笨ではなく籠として使用するものか<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 福島潟台紙記載による | 有 |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 9 | 7 | 新潟県 | | ヲ1-18-6-1-2-10 | | 子安地蔵 | 1092(ナンバリング、青インク)<br>1092(赤鉛筆)<br>子ヤス地蔵(十日町) | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 十日町(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>子ヤス地蔵(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×56 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・地蔵は笠を被り、左手には赤子を抱え座す。右手には何も無く、錫杖を持つ形に握られている<br>・河1-29-1-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月21日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 十日町台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 8 | 新潟県 | | ヲ1-18-6-1-2-9 | | 通りにあるガンギ | 1093(ナンバリング、青インク)<br>1093(赤鉛筆)<br>ガンギ（十日町） | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 十日町(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>ガンギ(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×56 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・本資料は建物の軒先を撮影したもの。手前は木造の建物だが、土台はコンクリートの様なん工物であると考えられる。その奥は大理石らしき石造りの建物<br>・ガンギとは雁木と書く、その用途は『日本民家語彙集解』によると「①新潟県下や長野県下水内郡地方・福井県敦賀市付近などの農家において、主屋の土間の正面に設けた庇を指す呼称。幅1メートルほどで、積雪季の緩衝地帯である。②新潟県下や鳥取県因幡地方・秋田県下などの町家において、主屋や近の道路側におふした幅広の下屋を指す呼称。雨雪の折の通行に利用された。多くは巾1間(1.8メートル)ほどで、板葺きであった」との記述がある<br>・台紙記載によると新潟県十日町での撮影<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月21日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 十日町台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 9 | 新潟県 | | ア-32-43<br>ヲ1-18-6-1-2-6 | | 魚野川の鮭を獲るヤナ | 1099(ナンバリング、青インク)<br>魚野川ノヤナ(鮭) | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 64×56 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・ア-32-43と同一の資料<br>・ア-32-43の台紙記載によるとヤナを使用した鮭漁。ヤナの上には魚が打ち上げられている<br>・魚野川は「旅譜」に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月18日～昭和13年(1938年)11月22日・「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 魚野川台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 10 | 新潟県 | | ア-32-40 | | 魚野川の鮭を獲るヤナ、ヤナに乗って漁をみる渋沢敬三と小林存 | 魚野川ノヤナ(鮎) | 罫線紙、4穴、SUPERFINE REAMLID の透かしあり | 202×155 | 魚野川(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>ヤナ(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳)<br>下リアユ(右上、台紙に貼りつけてあるため筆記用具不詳) | 65×56 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・裏面にナンバリングの青インクのあとあり<br>・川に設置されたヤナに水を流し込んでいる。ヤナの上には6人の人物がおり、中央に写る人物は着物姿に外套を纏っている。その横の人物も背広姿であり、ヤナの漁をアチック同人と考えられる<br>・魚野川は「旅譜」に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした<br>・敬三と小林存は「旅譜」『大歩当棒録』p.451に記載のある名前によった | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月18日～昭和13年(1938年)11月22日・「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・備考参照 | 魚野川台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 11 | 新潟県 | | ヲ1-18-6-1-2-11<br>ア-32-53<br>ア-32-54 | | 阿賀野川の地引き大網漁、地引網を腰引きで引く人々 | 1113(ナンバリング、青インク)<br>オーアミ(一名地引網)<br>松ヶ崎浜<br>昭.13・11・19 | 罫線紙、4穴、○にKの透かしあり、透かしの文字は写真のかげで読めない | 200×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 78×104 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・浜で網を手で手繰り寄せている様を見学しているアチック同人。ア-32-53に見られる引く具を用いるのではなく、手で網を手繰り寄せているため、道具を用いる前段階の作業ヵ<br>・台紙記載によると「1名地引網」とあるため、大網漁と地引網の2つの漁法を行なっているヵ<br>・本資料の地引きの様子は、網を直接手で引くのではなく、綱に地引き用の器具（腰板、コンビなどと一般に呼ばれる）を取り付け、体全体で引くようである。この木具には背中当てが取付られており、肩甲骨の辺りに当てがっている。足元には樽の浮子がある、牧三らしき人がそれを見ている、ア-32-53と同状況で、同じ人物も見える | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 阿賀野川台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 12 | 新潟県 | | ア-32-34 | | 阿賀野川の地引き大網漁、地引網で引揚げた鮭 | 1114(ナンバリング、青インク)<br>オーアミ<br>鮭を引上げた瞬間<br>松ヶ崎浜<br>昭.13・11・19 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と［ ］RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 78×103 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・台紙記載によると松ヶ崎浜での大網漁での獲物<br>・鮭が1匹かかっている<br>・河1-29-1-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 阿賀野川台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 13 | 新潟県 | | | | 福島潟のカタバタ | 1115(ナンバリング、青インク)<br>福島潟　カタバタ<br>昭、13・11・19 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と［ ］RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×104 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・台紙記載にある「カタバタ」とは「潟端」の意で福島潟の端を撮影したものヵ | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 福島潟台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 14 | 新潟県 | | ア-32-37 | | 舟からナガシ網を仕掛ける男性 | 1116(ナンバリング、青インク)<br>ナガシ網<br>福島潟　新鼻<br>昭、13・11・19 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と［ ］RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×104 | ・河1-29-9-22の針全で綴ってあった<br>・被写体は頭に手拭を巻いた男性で、川舟の上から流網を行なっている。網は舟頭から舟尾まであり、男性は舟頭の網を引上げている場面ヵ。被写体の後方には木製の桃と置らしき建物がある<br>・舟の型は「イタアワセ(『村上市史』p.557)」ヵ<br>・日本民具辞典p.405によると流網は「漁網を固定したり、張り立てたりせず、水中に流すような状態で置き、魚が網目に刺さるようにしたり、からませたりして捕獲する刺網の一種」とある<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・新鼻は「旅譜」に記載がないが福島潟近郊にある土地であり撮影日は「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査の日程とした | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日～<br>「旅譜」『大歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 新鼻台紙記載による | | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 9 | 15 | 新潟県 | 河1-29-9-15<br>ア-32-56 | | 葦のようなものを積んでいる舟 | 1119(ナンバリング、青インク)<br>福島潟<br>昭、13・11・19 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と[ ]RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 72×103 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・福島潟をゆく葦を載せた2艘の舟が撮影されており、大量の葦が積まれている<br>・舟には2人の人物が乗っており、共に舟頭と舟尾でオールを使っている<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 福島潟台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 16 | 新潟県 | | | カラスといわれる部材が着いている屋根 | 1120(ナンバリング、青インク)<br>カラスのある屋根<br>藤塚浜<br>昭, 13・11・19 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と[ ]RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 104×77 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・台紙記載によると藤塚浜の民家。屋根棟の先に取り付けられた反った大棟を持つ附属物が「カラス」ヵ<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月19日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 藤塚浜台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 17 | 新潟県 | | | 腰蓑を着けた漁師の服装(全身、左側面) | 1121(ナンバリング、青インク)<br>漁師服装　其ノ二<br>藤塚浜<br>昭, 13・11・20 | 罫線紙、4穴、写真の影で透かしの詳細不明、古代エジプト壁画風 | 200×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 103×77 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・台紙記載によると藤塚浜での漁師の装束。被写体は男性で、頭には首まで隠れる布を被り、着物に手甲、腰には蓑をあてている。足元は草履である。<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451では藤塚浜には11月19日に行っていることになっているが台紙記載では20日になっている、ここでは台紙記載によった | 『日本社会民俗辞典』第4巻p1381漁夫のコシミノ(新潟県藤塚浜) | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月20日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 藤塚浜台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 9 | 18 | 新潟県 | ア-78-21-1 | | 敬三を中心とした集合写真 | 1122(ナンバリング、青インク)<br>記念撮影<br>藤塚浜<br>大滝氏　小林存氏　伊豆川氏　先生　桜田氏<br>小林氏　金塚氏(縦書)<br>昭, 13・11・20 | 罫線紙、4穴、〇にKと「SUPREFINE」「ORGINAL」の透かし | 200×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 76×104 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・敬三一行と一緒に糸車と網のようなものも写っている<br>・ア-78-21-1は別アングルの資料。前列中央に渋沢敬三、金塚氏、中列に小林氏、小林存氏、後列に大滝氏、伊豆川氏、櫻田勝徳氏である。<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451では藤塚浜には11月19日に行っていることになっているが台紙記載では20日になっている、ここでは台紙記載によった | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月20日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 藤塚浜台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 9 | 19 | 新潟県 | | | 野積「シンゴイ」殿の家とその間取り図 | 1123(ナンバリング、青インク)<br>野積「シンゴイ」殿の家<br><br>昭, 13・11・21 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と[ ]RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 74×103 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・台紙中央の間取り図は写真の家の母屋の間取り、及び母屋と「土蔵」「イドゴヤ」「コヤ」「便所」の位置関係を図示したもの<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451では野積には11月20日に行っていることになっているが台紙記載では21日になっている、ここでは台紙記載によった | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月21日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 野積台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 9 | 20 | 新潟県 | | | 井戸小屋 | 1124(ナンバリング、青インク)<br>井戸小屋　寺泊町野積<br>昭, 13・11・21 | 罫線紙、4穴、国会議事堂のような絵と[ ]RIAL TOWER の透かし | 203×156 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 78×103 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・河1-29-9-19の台紙記載によると「イドゴヤ」の位置関係を示した図があるため、野積「シンゴイ」殿の家の井戸小屋ヵ<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451では野積には11月20日に行っていることになっているが台紙記載では21日になっている、ここでは台紙記載によった | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月21日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 野積台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 9 | 21 | 新潟県 | | | 船小屋 | 1125(ナンバリング、青インク)<br>船小屋<br>寺泊町野積海岸<br>昭, 13・11・21 | 罫線紙、4穴、写真の影で透かしの詳細不明、古代エジプト壁画風 | 200×155 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 75×103 | ・河1-29-9-22の針金で綴ってあった<br>・浜辺にある仮設の小屋、舟を遠方から撮影したもの<br>・河1-29-9-1のまとまりが総和13年11月の「藤塚浜、福島潟、寺泊、野積」調査に関わると考えられる<br>・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451では野積には11月20日に行っていることになっているが台紙記載では21日になっている、ここでは台紙記載によった | | | | | | | | | 不明 | 昭和13年(1938年)11月21日〜・「旅譜」『犬歩当棒録』p.451<br>・台紙記載による | 野積台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 9 | 22 | | | | 針金 | × | × | | | 55× | ・針金　55mm<br>・河1-29-9-1〜21を綴っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 10 | 1 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 77×56 | ・昭和25年8月　九学会連合の対馬海女見学ヵ(澁澤敬三著作集4、P378) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 10 | 2 | | | | | 曲、海女、廿五、八(右下、青ペン、「八」は或は「へ」ヵ) | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 曲、海女、廿五、八(右下、青ペン、「八」は或は「へ」ヵ) | 55×82 | ・昭和25年8月　九学会連合の対馬海女見学ヵ(澁澤敬三著作集4、P378)<br>・船上で作業中の海女、船を漕ぐ男性の後姿、ランプ、などが写っている<br>・右上にホチキスの跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 10 | 3 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 165×119 | ・昭和25年8月　九学会連合の対馬海女見学ヵ(澁澤敬三著作集4、P378)<br>・作業中の海女を撮影する人々(内、ビアズレー)が写っている<br>・右上にホチキスの跡あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 10 | 4 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 76×57 | ・昭和25年8月　九学会連合の対馬海女見学ヵ(澁澤敬三著作集4、P378)<br>・筏舟が写っている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 11 | 1 | 愛知県 | ア-26-5 | | 田口町長江の夏目義吉宅にて新盆行事見学の一行記念写真(渋沢敬三、夏目義吉の両親、夏目一平、原田清、窪田五郎、有賀喜左衛門、早川孝太郎、村上清文、高橋文太郎など) | 913(ナンバリング、青インク)<br>田口長　夏目方　紀念撮影(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 記載なし | 60×81 | 写っているのは渋沢敬三、夏目義吉の両親、夏目一平、原田清、窪田五郎、有賀喜左衛門、早川孝太郎、村上清文など<br>・撮影日時は澁澤敬三『犬歩当棒録』「旅譜」、本山雑記p.176によるが、夏目宅へは2日夜到着のため3日の撮影と推定した、ア-26-4、ア-26-5と同一の場面<br>・人名は『早川孝太郎全集ＸⅡp.346』下段の写真キャプションによる、引用・使用媒体のうち横浜市歴史博物館、神奈川大学日本常民文化研究所発行の掲載写真は渋沢史料館所蔵のもの | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p33「長江の盆踊り見学行」『本山雑記』常民資料蔵書「長江の盆踊り見学行」『昭和前期農政経済名著集』20「昭和九年、愛知県津具村にて」『早川孝太郎全集』ＸⅡ「田口町(現設楽町)長江の夏目義吉(後列左端の和服)方を訪れた渋澤敬三(後列左側から二人目)らの一行。澁澤の右の和服の二人は義吉の両親。前列右から夏目一平、原田清、窪田五郎、有賀喜左衛門。早川孝太郎は後列右から五人目。一行は明け方まで長江の盆踊りを見学した。昭和8年(1933)9月3日。『柏葉拾遺』より。」 | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)9月3日～備考参照 | 北設楽郡田口町長江台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 11 | 2 | 愛知県 | | | 田口町長江の夏目義吉宅のキリコドウロウ | 922(ナンバリング、青インク)<br>田口長　夏目方(鉛筆、縦書)<br>キリコドウロウ(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 田口町長江(鉛筆、縦書)<br>夏目方(鉛筆、縦書)<br>キリコ灯籠(鉛筆、縦書) | 77×101 | ・撮影日時は澁澤敬三『犬歩当棒録』「旅譜」、本山雑記p.176によるが、夏目宅へは2日夜到着のため3日の撮影と推定した<br>・ア-26-11、12と同一場面で反対側から撮影したもの | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)9月3日～備考参照 | 北設楽郡田口町長江台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 11 | 3 | 愛知県 | | | 奥三河北設楽郡田口町長江の夏目義吉家 | 923(ナンバリング、青インク)<br>愛知県北設楽郡田口町長江(鉛筆、縦書)<br>夏目方(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×164 | 田口町長江(鉛筆、縦書)<br>夏目方(鉛筆、縦書) | 77×102 | ・撮影日時は引用・使用媒体キャプションによる、台紙にゼムクリップの錆の染みあり | 『早川孝太郎全集』ＸⅡp343「澁澤敬三、有賀喜左衛門らも訪れた長江村(現愛知県設楽町)の夏目義吉家。撮影高橋文太郎　昭和8年(1933)9月3日。」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)9月3日～引用・使用媒体 | 北設楽郡田口町長江台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 11 | 4 | 愛知県 | | | 北設楽郡下津具村和市のヒゴヤ | 931(ナンバリング、青インク)<br>No.□　←1.6→(鉛筆)<br>産屋(鉛筆、縦書、囲み字、ふりがなあり)<br>｜←1.6寸→｜(鉛筆)<br>愛知県北設楽郡下津具村(鉛筆)<br>8.4(鉛筆)<br>1.6　1.5(鉛筆)<br>榎本文治氏撮影 | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 207×161 | 記載なし | 58×79 | ・撮影場所、撮影年月日は『本山雑記』p.226、澁澤敬三『犬歩当棒録』「旅譜」の記述により、榎本文治が中在家花祭に同行した昭和10年1月2日に撮影されたものと推定<br>・本資料に写るヒゴヤは昭和8年1月に撮影された16ミリフィルム「三河地方旅行1&2」03:26に見えるが、その後の経年で本資料撮影時には屋根の一部が破損している | 『日本社会民俗辞典』第1巻p74「ヒマヤー産小屋(愛知県北設楽郡」 | | | | | | | | 榎本文治 | 昭和10年(1935年)1月2日備考参照 | 北設楽郡下津具村和市台紙記載 | 有 |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 11 | 5 | 和歌山県 | | | 紀州田原村のドウミテの一枚田 | 2360(右上、ナンバリング、青インク)<br>ドウミテの一枚田(中央)<br>(於　紀州田原村)(中央やや下)<br>榎田氏作(右下) | 罫線紙、4穴、透かしは〇に K と「ORIGINA」「SUPERFIN」 | 202×157 | 紀州田原村(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳)<br>ドウミテの(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳)<br>一枚田(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳) | 76×100 | ・旅譜pp.436-437より、昭和10年2月11～13日に沼澤敬三、桜田勝徳、小川徹が紀州、伊勢を訪れている。田原村は現在の串本町であり、串本周辺には12日に訪れているところから、その際に撮影したものか | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和10年(1935年)2月12日備考参照 | 紀州田原村台紙記載 | | 有 |
| 河1 | 29 | 11 | 6 | 和歌山県 | | | 紀州太地浦のヤケクサシ | 2361(右上、ナンバリング、青インク)<br>ヤケクサシ(中央)<br>(於　紀州太地浦)(中央やや下)<br>榎田氏作(右下) | 罫線紙、4穴、透かしは〇に K と「ORIGINA」「SUPERFIN」 | 202×157 | 紀州太地浦の(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳)<br>ヤケクサシ(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳) | 75×100 | ・旅譜pp.436-437より、昭和10年2月11～13日に沼澤敬三、桜田勝徳、小川徹が紀州、伊勢を訪れている。太地には12日に訪れており、その際に撮影したものか | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和10年(1935年)2月12日備考参照 | 紀州太地浦台紙記載 | | 有 |
| 河1 | 29 | 11 | 7 | 三重県 | | | 伊勢渡会郡古和の門松のツボゴキ | 2362(右上、ナンバリング、青インク)<br>門松のツボゴキ(中央)<br>(於　伊勢渡会郡古和)(中央やや下)<br>榎田氏作(右下) | 罫線紙、4穴、透かしは〇に K と「ORIGINA」「SUPERFIN」 | 202×157 | 伊勢渡会郡(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳)<br>古和にて(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳)<br>門松のツボゴキ(右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具は不詳) | 75×100 | ・旅譜pp.436-437より、昭和10年2月11～13日に沼澤敬三、桜田勝徳、小川徹が紀州、伊勢を訪れている。古和には12日に訪れており、その際に撮影したものか | | | | | | | | 桜田勝徳 | 昭和10年(1935年)2月12日備考参照 | 伊勢渡会郡古和台紙記載 | | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 1 | 新潟県 | ア-29-3 | | 西頚城郡糸魚川町押上でにて塩田での洪沢敬三らー行 | 970(右上、ナンバリング、青インク)<br>塩田実演　その二(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29.(右下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 70×97 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよくて解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 2 | 新潟県 | ア-29-3 | | 西頚城郡糸魚川町字押上にて濃い塩水をとる作業中の男性 | 971(右上、ナンバリング、青インク)<br>15、1(中央上、鉛筆)<br>塩(右上、鉛筆)<br>塩田実演　その三(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町字押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29.(中央やや下)<br>1、5　2(中央下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 98×71 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよくて解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p74「2　濃い塩水をとる」『日本社会民俗辞典』第2巻「揚浜の製塩作業(新潟県糸魚川市)」 | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 3 | 新潟県 | ア-29-3 | | 揚浜式塩田の様子(刊行物記載による) | 972(右上、ナンバリング、青インク)<br>塩田実演　その四(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町字押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29.(中央やや下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 75×104 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・題名は横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.74に依った<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよくて解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p74「1　揚浜式塩田の様子」 | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 4 | 新潟県 | ア-29-3 | | 西頚城郡糸魚川町字押上にて塩田での実演を見る洪沢敬三らー行 | 973(右上、ナンバリング、青インク)<br>塩田実演　その五(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町字押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29(中央やや下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 74×103 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよくて解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p74「3　エプリでならす」 | | | | | | | 不明 | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 5 | 新潟県 | ア-29-3 | | 西頚城郡糸魚川町字押上にて塩釜の作業中の男性 | 975(右上、ナンバリング、青インク)<br>塩田実演　その七(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町字押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29(中央やや下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 71×96 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよくて解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p74「4　塩釜」 | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 12 | 6 | 新潟県 | ア-29-3 | | 西頚城郡糸魚川町字押上にて製塩小屋の屋根 | 976(右上、ナンバリング、青インク)<br>塩田実演　その八(中央)<br>新潟県西頚城郡糸魚川町字押上にて(中央やや下)<br>昭10.10.29(中央やや下) | 罫線紙、4穴、透かしは馬の絵と「VICTORY」 | 207×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 71×98 | ・河1-29-12-7の針金で綴ってあった<br>・渋沢敬三『塩俗問答集』p.192に「筆者の糸魚川海浜における見聞では、砂浜を夏分に限り巾約二間、長さ約六十間を一区劃とし、製塩業者戸数に等分に分割し、その分界標式にはその辺の手頃の小石を用いた。冬分は全く普段の海浜となる。タレ集約の操作は残存せる器具を用いての仮演出によりよく了解出来た。釜は十数戸ずつ共同して一つを持ち、薪は糸魚川渓谷からの供出であったという」と書かれている。 | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)10月29日台紙記載による | 新潟県西頚城郡糸魚川町字押上台紙記載による | 有 |
| 河1 | 29 | 12 | 7 | | | | 針金 | × | × | | | 50× | ・河1-29-12-1～6を綴っていた、50mm | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 13 | 1 | | 写3-26-1-1<br>写3-26-1-2 | | 琵琶湖のエリと沖島 | 739(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」 | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×102 | ・河1-29-13-3の針金で綴ってあった<br>・写真左奥に写っているのが沖島ヵ。そうであればその位置と角度から滋賀県途中町周辺で撮られたものと考えられる<br>・写真中央に写っているのはエリ漁のエリヵ<br>・河1-29-13-1の写真と比較して右に動いていることから、同撮影地で方向を変えて撮影されたと考えられる<br>・河1-29-13-2と一緒に綴られていたことから、琵琶湖畔の写真であると考えられ、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年〔1935年)11月30日昭和10年〔1935年)12月3日『犬歩当棒録』p.445及び『歴史と民俗17』「アチックミューゼアム日誌]p.229<br>備考参照 | 途中『犬歩当棒録』p.445<br>備考参照 | |
| 河1 | 29 | 13 | 2 | | | | キグツとウエ | 1931(右上、ナンバリング、青インク)<br>ビワ湖畔旅行(左下) | 罫線紙、4穴、透かしは錨と日本国旗と日章旗、星に桜 | 206×162 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 78×102 | ・河1-29-13-3の針金で綴ってあった<br>・キグツは長谷川嘉和『近江の民具』p.16において、「網をたぐり寄せて船に引き揚げると、水もつれて上り船底にたまる。こんなときキグツに、藁すべを入れて素足で履くととても温かかったという(中略)杉材を刳ったのと杉板を合わせて作ったのと二種あり、ゴム長靴が普及するようになってすたれた」と書かれている。本資料では側面に文字が彫られている。<br>・ウエは同書p.114において、「竹を細く割り太糸や棕櫚縄で簀編みし、筒状に整えた一方を束ねて閉じ、もう一方に戻りを付ける。戻りの付いていないのを滋賀県内で見受けることはまれで、ウエ、ウケ、ノゾ、モジ、モンドリなどと称され、生のシジミを割って餌に入れるなどして魚が入りそうなところに仕掛ける」と書かれている。<br>・『犬歩当棒録』p.445及び『歴史と民俗17』「アチックミューゼアム日誌]p.229より、昭和10年11月30日～12月3日に祝宮静らアチック同人と近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査を行なっており、撮影日はこれによった。 | | | | | | | | | | 昭和10年〔1935年)11月30日昭和10年〔1935年)12月3日『犬歩当棒録』p.445及び『歴史と民俗17』「アチックミューゼアム日誌]p.229<br>備考参照 | 琵琶湖畔台紙記載による | |
| 河1 | 29 | 13 | 3 | | | | 針金 | × | × | | | 80× | ・河1-29-13-1～2を綴っていた、80mm | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 14 | 1 | 新潟県 | | | 角突きの牛と観客 | 2986(表右上、ナンバリング、青インク)<br>古志郡二十村(表右下、鉛筆)<br>No.6　野田ベコ(裏中下、鉛筆) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 255×206 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 110×153 | ・アチックフィルム16ミリ「二十村竹沢村牛突」ビデオ14あり<br>・古志郡の角突きは1978年に国指定重要無形民俗文化財に指定されている<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している。本資料はその際撮影されたものヵ<br>・『東北犬歩当棒録』pp..30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている | 『犬歩当棒録』p437「越後古志郡二十日村にて、牛の角突き勝負がついた時観衆は皆両手を真直ぐに頭の上に上げて拍手した。こんな拍手の仕方も昔からあったのかもしれない(昭和10年4月)」『東北犬歩当棒録』越後古志郡二十村にて | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)4月27日『犬歩当棒録』旅譜p.442 | 新潟県二十村『犬歩当棒録』旅譜p.442 | 有 |
| 河1 | 29 | 14 | 2 | 新潟県 | | | 角突きの牛と観客 | 2977(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 255×206 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 110×154 | ・アチックフィルム16ミリ「二十村竹沢村牛突」ビデオ14あり<br>・古志郡の角突きは1978年に国指定重要無形民俗文化財に指定されている<br>・河1-29-14-1と同じ場面をタイミングをずらして撮影したもの<br>・『犬歩当棒録』p.442より、昭和10年4月27～29日に渋沢敬三、鷲尾徳之助、近藤勘次郎、春日部たすく、土屋喬雄、鳥居辰次郎、祝宮静、小川徹、市川信次、宮本馨太郎、村上清文、山口和夫、細貝平作らが越後二十村を訪問している。本資料はその際撮影されたものヵ<br>・『東北犬歩当棒録』pp..30-33に二十村の牛の角突きについて書かれており、牛は野田ベコと呼ばれると書かれている | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)4月27日『犬歩当棒録』旅譜p.442 | 新潟県二十村『犬歩当棒録』旅譜p.442 | |
| 河1 | 29 | 15 | 1 | 秋田県 | | | 馬に乾草をつけて運ぶ男の子 | ×(赤鉛筆)<br>乾草運ビ<br>場所　佐藤金治氏宅下<br>日時　昭10.8.28午前12時<br>原文(縦書、鉛筆)<br>62(青インク、ナンバリング) | 碇に日章旗と国旗が描かれその中央にC.Nと書かれた絵の透かしあり | 207×162 | 佐藤金治宅下<br>八月二十八日<br>午前十二時<br>乾草運び | 67×86 | ・『男鹿寒風山農民日録』「八月二十八日(水)」pp.173-174に「午後には駅前までツブシムギを買ふに出る。」とあり、この際に撮影されたと考えられる | 『男鹿寒風山麓方言民俗誌』口絵「5　がぎべらの仕事(まぎ採り)」 | | | | | | | | 吉田三郎 | 昭和10年(1935年)8月28日台紙記載 | 寒風山麓脇本村佐藤金治宅下台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 15 | 2 | 秋田県 | | | 寒風山にて乾草刈をする人々 | ネガナシ(縦書、鉛筆)<br>乾草刈<br>場所　寒風山<br>日時　昭10.8.21午前11時 | 碇に日章旗と国旗が描かれその中央にC.Nと書かれた絵の透かしあり | 207×162 | <口><br>場所　寒風山<br>日時　八月二十一日<br>午前十一時<br>乾草刈 | 53×81 | ・『男鹿寒風山農民日録』「八月二十一日(水)」p.168に「十時から母校に小原國芳氏の教育道の話を聴きに行く。午後一時半に話を途中にして仕事が多忙故帰る。」とあり、当該資料は吉田三郎によって撮影されたのではないと考えられ、同書同頁に「本家では兼造朝に馬草を刈り。今日からアネと二人で昼飯持参で乾草刈りに山に行く。母は炊事。」とあり撮影者は兼造、または義姉と考えられる | 『男鹿寒風山麓農民日録』口絵第三四図「乾草刈(寒風山)8月21日」 | | | | | | | | 兼造、吉田三郎義姉 | 昭和10年(1935年)8月21日台紙記載 | 寒風山斜面草刈り場台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 15 | 3 | 青森県 | | | 漁具　ケタ網のケタ | 1134(青インク、ナンバリング) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とORIGINALと透かしがある | 202×156 | 記載なし | 78×100 | ・民具の写真、角材に石を取り付けた錘のようなもの、ケタ網のケタ㋕<br>・河1-29-15全体が昭和9年男鹿石神八戸調査、昭和10年男鹿の写真であり、漁具としては昭和9年の八戸で漁村を廻っているため、撮影日はこれによりまた撮影地は青森県とした、詳細は不明 | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月〜備考参照 | 八戸・岩手備考参照 | 有 |
| 河1 | 29 | 15 | 4 | 青森県 | 写1-18-17-23<br>写1-18-2-24<br>河1-29-16-1 | | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | 1135(ナンバリング、青インク)<br>〇(鉛筆) | 台紙には「O」「K」が重なった意匠とORIGINALと透かしがある | 202×156 | 記載なし | 77×101 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものか<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19　流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照<br>・都道府県・国は「青森・岩手」 | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月〜備考参照 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 河1 | 29 | 16 | 1 | 青森県 | 写118-17-23<br>写1-18-2-24<br>河1-29-15-4 | | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 110×155 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものか<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19　流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照<br>・都道府県・国は「青森・岩手」 | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月〜備考参照 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 河1 | 29 | 16 | 2 | 青森県 | 写1-18-17-24<br>写1-18-2-28 | | 八戸の海岸、または岩手種市海岸の塩釜の跡 | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 110×153 | ・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡を写真にしたものか<br>・昭和9年9-10月期旅行の16ミリフィルム種市海岸塩釜跡は渋沢史料館所蔵のもの<br>・(昭和9年9月期旅行の16ミリフィルム男鹿オシラアソビ他の編集前のフィルムを写真にしたものか)(男鹿オシラアソビ他フィルムからは確認できず)<br>・男鹿オシラアソビ他フィルムには『東北犬歩當棒録』渋沢敬三p.84「19　流れ昆布採集具(八戸海岸)」とある写真と同カットがありそれによれば青森、塩釜跡とすれば旅譜から種市海岸と推定されその場合岩手、題名・県名等はそれらを参照<br>・都道府県・国は「青森・岩手」 | | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月〜備考参照 | 八戸・岩手引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜による | |
| 河1 | 29 | 16 | 3 | 岩手県 | 河1-29-25-17 | | 稗室の外観(さしかけの下は焚口) | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 120×166 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp156写真11「稗室の外観(さしかけの下は焚口)」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)〜備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 16 | 4 | 岩手県 | 河1-29-25-12 | | マヤ | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 121×167 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・刊行物『屋根裏の博物館　—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』p.60「10　厩　斎藤方男氏」はママ<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに「厩　小馬屋」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp276写真21「マヤ」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「10　厩　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)〜備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 17 | 1 | 岩手県 | | | 岩手県岩手郡御所村の森林鉄道インクライン | 1810(ナンバリング、青インク)<br>森林鉄道インクライン(鉛筆、縦書)<br>岩手縣岩手郡　御所村(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 記載なし | 81×58 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号p.56による | 16ミリフィルム「田沢仙岩峠」09:53 | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)10月2日〜備考参照 | 岩手郡御所村台紙記載 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 17 | 2 | 岩手県 | | | 仙岩峠の切割 | 1823(ナンバリング、青インク)<br>仙岩峠途上　切通シ(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 仙岩峠(鉛筆、縦書)<br>切割(鉛筆、縦書) | 103×78 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号p.56による | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)10月1日～備考参照 | 仙岩峠台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 3 | 岩手県 | | | 仙岩峠途上から見た生保内遠景 | 1824(ナンバリング、青インク)<br>仙岩峠への途上(鉛筆、縦書)<br>生保内の遠景(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 仙岩峠ヨリ(鉛筆、縦書)<br>生保内(鉛筆、縦書) | 79×102 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号p.56による | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)10月1日～備考参照 | 仙岩峠台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 4 | 岩手県 | | | 仙岩峠ヲサ沼畔のお助け小屋にて武藤鉄城と沼澤敬三 | 1790(ナンバリング、青インク)<br>仙岩峠お助小屋(鉛筆、縦書)<br>(左)武藤鉄城氏(鉛筆、縦書)<br>(右)渋沢敬三氏(鉛筆、縦書)<br>峠(鉛筆、丸囲み)<br>6.4(鉛筆、丸囲み)<br>No10(鉛筆) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 仙岩峠(鉛筆、縦書) | 78×102 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号p.56による<br>・撮影者は引用使用媒体による | 『ドルメン』第3巻第1号p.56「第四図　ヲサ沼畔の小屋(仙岩峠)」『日本社会民俗辞典』第2巻「仙岩峠のお助け小屋(岩手・秋田県境)」 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)10月1日～備考参照 | 仙岩峠台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 5 | 岩手県 | | | 岩手県沢内村近景 | 1789(ナンバリング、青インク)<br>沢内村にて(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 記載なし | 57×80 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号pp.57-60による | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)10月2日～備考参照 | 沢内村台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 6 | 岩手県 | | | 岩手県沢内村川舟近景 | 1791(ナンバリング、青インク)<br>沢内村にて(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 岩手(鉛筆、縦書)<br>和賀郡(鉛筆、縦書)<br>沢内村川舟(鉛筆、縦書) | 78×101 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号pp.59-61による | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)10月2日～昭和8年(1933年)10月3日備考参照 | 沢内村台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 7 | 岩手県 | | | 川舟にて、犬の皮をつけた男 | 1794(ナンバリング、青インク)<br>沢内村にて(鉛筆、縦書) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」、「TRADE」「MARK」 | 205×165 | 沢内村川舟(鉛筆、縦書) | 102×80 | ・河1-29-17-8の針金で綴ってあった<br>・撮影年月日は高橋文太郎「仙岩峠から雫石、沢内への旅」(『ドルメン』第3巻第1号p.61による<br>・撮影者は引用使用媒体による | 『ドルメン』第3巻第1号p.61「第八図　犬の皮をつけた男(川舟にて)」」 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)10月3日～引用・使用媒体 | 沢内村台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 17 | 8 | × | | | こより | × | × | | | 70× | ・河1-29-17-1～7の資料を綴っていた、70mm | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 18 | 1 | 愛知県 | | | 北設楽郡富山村大谷にて漆を取るための刃物跡がついた丸太 | 695(ナンバリング、青インク)<br>愛知、北設楽、富山村、大谷附近(高橋文太郎作) | 罫線紙、4穴、台紙には鳥の絵とその絵の下にQUARITYと透かしがある | 207×162 | 愛知、北設楽、「富山村」大谷付近(鉛筆、縦書　このうち「愛知、」、「富山村」」は黒ペンにて加筆) | 77×103 | ・本資料は高橋文太郎「山と民俗」p.140.147、『本山雑記』p.152によると、昭和8年1月4日に撮影されたものと推定される | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月4日～備考参照 | 愛知県北設楽郡富山村大谷附近台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 18 | 2 | 長野県 | | | 下伊那郡神原村木山にて越前出身の炭焼きの男性達 | 704(右上、ナンバリング、青インク)<br>長野、下伊那郡、神原、(本山)付近(高橋文太郎作) | 罫線紙、4穴、台紙にはQUARITYと透かしがある | 207×162 | 長野、下伊那郡、神原、(鉛筆、縦書　このうち「長野」は黒ペン)<br>本山(鉛筆、縦書) | 78×103 | ・本資料は高橋文太郎「山と民俗」p.136に関連の記述が見られる、また、犬歩当棒録「旅譜」、高橋文太郎「山と民俗」p.136.147、『本山雑記』p.151によると、昭和8年1月4日に撮影されたものと推定される | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p38「本山の風景」『早川孝太郎全集』X II「焼けた炭焼小屋の後始末に行く、越前からきていた炭焼きの男たち。―」 | | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和8年(1933年)1月4日～備考参照 | 長野県下伊那郡神原村本山台紙記載 | 有 |
| 河1 | 29 | 18 | 3 | 新潟県 | | ア-43-2<br>ア-43-3<br>ア-43-4<br>ア-43-5<br>ア-43-6<br>ア-43-7<br>ア-43-8<br>ア-43-9<br>ア-43-10<br>ア-43-11<br>ア-43-12<br>ア-43-13 | 新潟県三面部落全景 | 1517(右上、ナンバリング、青インク)<br>49、1(右上、鉛筆)<br>1、72(右、鉛筆) | 罫線紙、4穴、透かしは「SUPERFINE」「C.N.&Co.」 | 89×142 | 記載なし | 206×163 | ・写真は絵はがき、キャプションは修正液で消されているが「神秘境（奥三面郷案景）三面部落全景」と読める<br>・ア-43-2～13の絵葉書セットから抜き出されたものか | 『日本社会民俗辞典』第2巻p.516「新潟県三面村三面」 | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 三面備考参照 | |
| 河1 | 29 | 19 | 1 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×10行の原稿用紙 | 250×176 | 記載なし | 121×164 | ・2002年神野善治氏閲覧、「内浦長浜」の付箋を伏す<br>・浦の俯瞰写真<br>・右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 2 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×11行の原稿用紙 | 250×177 | 記載なし | 121×165 | ・2002年神野善治氏閲覧、「淡島」の付箋を伏す<br>・島の写真<br>・右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 3 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×12行の原稿用紙 | 250×178 | 記載なし | 99×150 | ・2002年神野善治氏閲覧、左上に「淡島」、手前の小屋に「沖ノ島」の付箋を伏す<br>・島、船の写真<br>・右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 19 | 4 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×13行の原稿用紙 | 250×179 | 中巻(1)(中央、鉛筆) | 120×156 | ·2002年神野善治氏閲覧、奥の島に「沖ノ島」、また「建切網漁」の付箋を伏す<br>·魚、船の写真<br>·右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 5 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×14行の原稿用紙 | 250×180 | 記載なし | 120×153 | ·2002年神野善治氏閲覧、「内浦長浜」の付箋を伏す<br>·浦の俯瞰写真、手前に櫓<br>·右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 6-1 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 250×181 | 記載なし | 104×73 | ·河29-19-6-1～3は一枚の台紙に貼られている<br>·2002年神野善治氏閲覧、「内浦盆のコシカケ（竹盆）」の付箋を伏す<br>·右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 6-2 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×16行の原稿用紙 | 250×182 | 記載なし | 104×72 | ·河29-19-6-1～3は一枚の台紙に貼られている<br>·2002年神野善治氏閲覧、「内浦盆のコシカケ（竹盆）」の付箋を伏す<br>·右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 19 | 6-3 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×17行の原稿用紙 | 250×183 | 記載なし | 104×73 | ·河29-19-6-1～3は一枚の台紙に貼られている<br>·2002年神野善治氏閲覧、「内浦盆のコシカケ（竹盆）」の付箋を伏す<br>·右上にホチキスあと | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 20 | 1 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家での花祭の花宿 | 899(ナンバリング、青インク)<br>愛知県北設楽郡本郷町中在家花宿(鉛筆) | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 本郷町中在家(鉛筆、縦書)<br>花宿(鉛筆、縦書) | 77×100 | ·撮影年月日は『本山雑記』p.196の記述により、渋沢敬三が撮影した16mmフィルム「花祭り」に写るポンプ車、畑の位置、本資料の被写体の人物が同一であることから昭和9年1月3日に撮影されたものと推定した、同定は同フィルム12:20過ぎで行った。また、同記述から本資料は高橋文太郎によって撮影されたものと推定した、『本山雑記』p.195によると本資料に写る花宿は山田陽次郎宅 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)1月3日～備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 20 | 2 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭湯ばやし | 900(ナンバリング、青インク)<br>中在家花宿ニテ湯バヤシ(鉛筆) | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 77×101 | ·撮影年月日は『本山雑記』p.196の記述により、渋沢敬三が撮影した16mmフィルム「花祭り」に写る人物と、本資料の被写体の人物が同一であることから昭和9年1月3日に撮影されたものと推定した、同定は同フィルム12:45過ぎで行った、また、同記述から本資料は高橋文太郎によって撮影されたものと推定した | 16ミリフィルム「花祭り」09:02『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』『花祭（湯囃子）』」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)1月3日～備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 20 | 3 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭湯ばやし | 903(ナンバリング、青インク)<br>903(赤鉛筆)<br>中在家花宿ニテ湯バヤシ(鉛筆) | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 79×102 | ·撮影年月日は『本山雑記』p.196の記述により、渋沢敬三が撮影した16mmフィルム「花祭り」に写る人物と、本資料の被写体の人物が同一であることから昭和9年1月3日に撮影されたものと推定した、同定は同フィルム12:15過ぎで行った、また、同記述から本資料は高橋文太郎によって撮影されたものと推定した | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p43『花祭（湯囃子）』」 | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)1月3日～備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 20 | 4 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭の鼓め面(ひのう) | 906(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 78×103 | ·撮影年月日は『本山雑記』p.196の記述により、渋沢敬三が撮影した16mmフィルム「花祭り」に写る面と、本資料の被写体の面が同一であることから昭和9年1月3日に撮影されたものと推定した、同定は同フィルム08:47過ぎで行った、また、同記述から本資料は高橋文太郎によって撮影されたものと推定した<br>·中在家の「鼓め」の面については『早川孝太郎全集』p.382に「第15図「しずめ」の面（ひのう）朱塗り（振草系中在家）」としてスケッチが掲載されているが、ラフなため本資料との同定はできない | | | | | | | | 高橋文太郎 | 昭和9年(1934年)1月3日～備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家台紙記載 | |
| 河1 | 29 | 20 | 5 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭面 | 932(ナンバリング、青インク)<br>7.3(丸囲み、鉛筆)<br>—1,3—(鉛筆)<br>玉生道経氏撮影 | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 79×59 | ·撮影場所、撮影年月日は『本山雑記』p.226の記述により、玉生道経が中在家花祭に同行した昭和10年1月3日に撮影されたものと推定した、本資料に写る面は前年に撮影された16ミリフィルム「花祭り」07:53に見える、また、昭和5年に油澤部で撮影された16ミリフィルム「花祭り綱町部」15:37にも見える | | | | | | | | 玉生道経 | 昭和8年(1933年)10月2日～昭和8年(1933年)10月3日備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家備考参照 | |
| 河1 | 29 | 20 | 6 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭の駒鬼面 | 933(ナンバリング、青インク)<br>7.3(丸囲み、鉛筆)<br>—1,3—(鉛筆)<br>玉生道経氏撮影 | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 81×56 | ·撮影場所、撮影年月日は『本山雑記』p.226の記述により、玉生道経が中在家花祭に同行した昭和10年1月3日に撮影されたものと推定した、本資料に写る面は前年に撮影された16ミリフィルム「花祭り」08:09に見える | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p43『花祭面』 | | | | | | | | 玉生道経 | 昭和8年(1933年)10月2日～昭和8年(1933年)10月3日備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家備考参照 | |
| 河1 | 29 | 20 | 7 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭の山割鬼面 | 934(ナンバリング、青インク)<br>玉生道経氏撮影 | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 80×58 | ·本資料とア-27-12は同一の被写体、同一の場面、撮影場所、撮影年月日は『本山雑記』p.226の記述により、玉生道経が中在家花祭に同行した昭和10年1月3日に撮影されたものと推定した | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p43『花祭面』 | | | | | | | | 玉生道経 | 昭和8年(1933年)10月2日～昭和8年(1933年)10月3日備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家備考参照 | |
| 河1 | 29 | 20 | 8 | 愛知県 | | | 北設楽郡本郷町中在家の花祭の榊鬼面 | 935(ナンバリング、青インク)<br>玉生道経氏撮影 | 罫線紙、4穴、台紙にはESPARTO　SUPERFINEと透かしがある | 211×161 | 記載なし | 77×57 | ·本資料とア-27-11は同一の被写体、同一の場面、撮影場所、撮影年月日は『本山雑記』p.226の記述により、玉生道経が中在家花祭に同行した昭和10年1月2,3日に撮影されたものと推定、本資料に写る榊鬼面は前年に撮影された16ミリフィルム「花祭り」08:32に見える<br>·撮影者は台紙記載による | | | | | | | | 玉生道経 | 昭和8年(1933年)10月2日～昭和8年(1933年)10月3日備考参照 | 北設楽郡本郷町中在家備考参照 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 21 | | 青森県 | 写1-18-17-35 | | 縄を担ぎ蓑と頬冠りをした女性三人(後ろ姿) | | 祭魚洞書屋20字×14行の原稿用紙 | 250×180 | 記載なし | 76×107 | ・撮影者は「挿図目次」『祭魚洞雑録』p.4より | 『早川孝太郎全集』ⅩⅡp371「津軽・木造町のはずれで追いついた三人の娘たち。町からの帰りらしかった。真ん中の娘はカワともミオともいう真っ黒な毛皮を着ている。」『東北犬歩当棒録』「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」『渋沢敬三著作集』第3巻「津軽十三村所見　色彩に乏しい村、風雨にさらされて」『祭魚洞雑録』「木造町郊外津軽乙女」16ミリフィルム「飛島」 | | | | | | | | 岡本信三 | 昭和6年(1931年)6月～引用・使用媒体 | 木造町郊外引用・使用媒体、『犬歩当棒録』旅譜、『祭魚洞雑録』などによる | |
| 河1 | 29 | 22 | 1 | | | | | × | × | | 記載なし | 141×101 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 2 | | | | | × | × | | 記載なし | 105×146 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 3 | | | | | × | × | | 記載なし | 162×116 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 4 | | | | | × | × | | 記載なし | 161×115 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 5 | | | | | × | × | | 記載なし | 77×115 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 6 | | | | | × | × | | 記載なし | 75×99 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・裏面に剥がしあとあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 7 | | 河1-29-22-8 | | 王子別邸での親類の集い(栄一、篤二、敬三など) | × | × | | 記載なし | 124×150 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・河1-29-22-8と同一の写真、焼き増しヵ | 『柏葉拾遺』p1「親類のつどい　王子別邸　明治34.4.12」 | | | | | | | | 不明 | 明治34年(1901年)4月12日～引用・使用媒体 | 王子別邸引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 22 | 8 | | 河1-29-22-7 | | 王子別邸での親類の集い(栄一、篤二、敬三など) | × | × | | 記載なし | 127×152 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・河1-29-22-7と同一の写真、焼き増しヵ | 『柏葉拾遺』p1「親類のつどい　王子別邸　明治34.4.12」 | | | | | | | | 不明 | 明治34年(1901年)4月12日～引用・使用媒体 | 王子別邸引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 22 | 9 | | | | | × | × | | 記載なし | 83×57 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・河1-29-22-10と同じ写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 10 | | | | | × | × | | 記載なし | 84×57 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・河1-29-22-9と同じ写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 11 | | | | | × | × | | 記載なし | 161×115 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり<br>・糸魚川の製塩再現ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 12 | | | | | × | × | | 記載なし | 109×152 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 13 | | | | | × | × | | 記載なし | 162×115 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 14 | | | | | × | × | | 記載なし | 115×162 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 15 | | | | | × | × | | 記載なし | 115×164 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 16 | | | | | × | × | | 記載なし | 165×120 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 17 | | | | | × | × | | □□を要す(右下、ペン) | 161×110 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 18 | | | | | × | × | | 奴ヵ(左下、毛筆ヵ) | 79×48 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 19 | | | | | × | × | | 記載なし | 92×73 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 20 | | | | | × | × | | 子供の藁沓(鉛筆、中央)<br>□辺郡豊光村(鉛筆、中央) | 92×74 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 21 | | | | | × | × | | ミゴ縄で<br>編んだコダス<br>(ヂェン結び)(以上、中央、鉛筆)<br>仙北郡神代村(中央、鉛筆) | 75×96 | ・河1-29-22-1～22に柏葉拾遺に掲載の写真有り、また、拵氏のｱﾙﾊﾞﾑ(接写あり)と同じ写真あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 22 | 22 | | | | 封筒 | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 23 | 1 | 滋賀県 | | | 上臼の取り外された石臼 | 737(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・石臼の写真<br>・上臼が取り外され、壁に立てかけられている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 2 | 滋賀県 | | | オケグツを履いた男性 | 738(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 103×75 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・男性がオケグツを装着している<br>・長谷川嘉和『近江の民具』p.16において、オケグツはキグツと同様の用途で用いられたと書かれている。キグツは同書同頁で「網をたぐり寄せて船に引き揚げると、水もつれて上り船底にたまる。こんなときキグツに、藁すべを入れて素足で履くととても温かかったという(中略)杉材を刳ったのと杉板を合わせて作ったのと二種あり、ゴム長靴が普及するようになってすたれた」と書かれている。<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 3 | 滋賀県 | 写3-26-2 | | 安土周辺から見た琵琶湖周辺 | 742(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 76×103 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・写真手前の集落は干拓地に作られたものヵ<br>・写真奥は沖島ヵ。そうであれば沖島の位置から安土周辺で撮影されたと考えられる<br>・写3-26-2の紙焼写真<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 23 | 4 | 滋賀県 | | | 白く塗られた地蔵 | 746(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 102×76 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・白く塗られた地蔵の写真<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 5 | 滋賀県 | | | 民家と畑 | 747(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・草屋根の家屋の写真、屋根には破風が見られる。軒下に布団が干してある<br>・家屋の壁に天秤があり、天秤にはモッコが掛けられている<br>・橋本鉄男『日本の民俗25 滋賀』p.42に「草屋根は一般にクズヤブキといわれるが、藁・萱・麦稈・葭などが用いられる」と書かれている。<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 6 | 滋賀県 | | | 近江安土付近の蒸し風呂 | 749(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 103×76 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・近江安土付近の蒸し風呂の写真<br>・渋沢敬三『犬歩当棒録』p.444に本資料と類似した写真が掲載されている。そちらでは扉の部分が開放されている。注釈には「近江安土付近のむしぶろの一形式 人は四角の入口より入り右方の戸を中よりしめ下方より来る蒸気にてむされる。土間や台所等にあるものには大きな籠様のものを天井からつるしおろして密閉する形式のものもあった」と書かれている。<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | 『犬歩当棒録』p444「近江安土付近のむしぶろの一形式」 | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | 近江安土付近『犬歩当棒録』p.444 | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 7 | 滋賀県 | ア-23-7 | | 藁で編まれた籠 | 751(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 102×73 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・籠の写真、素材は藁縄ヵ<br>・籠の側面には取っ手が付けられ、布が結ばれている。中には藁が入れられている<br>・籠の側には和傘、恵比寿と大黒の絵が貼られた木箱、一斗缶ヵが置かれている。ア-23-7に写っているものと同じヵ<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 8 | 滋賀県 | | | 漁村の家屋や漁具とこちらを見る女性や子供 | 757(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 211×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・網が干してある集落の風景、琵琶湖周辺の漁村ヵ<br>・電信柱、少女、子供を背負った女性、蓑、桶、カゴなどが写っている<br>・昭和44・45年に実施された滋賀県教育委員会編『琵琶湖民俗緊急調査報告書』写真「沖島の民家 ここが一番広い通りである」で本写真と同じと思われる場所が撮影されていることから、本写真は沖島で撮影されたと推測される<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 9 | 滋賀県 | ア-23-8 | | 水路に浮かぶ舟 | 758(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 76×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・両岸が石垣で固められた水路の写真、奥に橋がある<br>・ア-23-8と同一の場所ヵ<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 10 | 滋賀県 | | | 琵琶湖のエリ | 762(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 75×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・エリ漁のエリを撮影したもの。船上から撮影したものヵ<br>・橋本鉄男『日本の民俗25 滋賀』p.68において「エリを定置することをエリタテという。(中略)エリタテは、ベタニワ(完全な凪ぎ状態)の日にする。船に簀や竹を積んで、目的地に着くと、芯の杭を目標に二枚の簀を縄で結んで、その両端に竹を付けたものを湖中に立て、棕櫚で結んでつないで行く。湖南と湖北では波の荒さが違うので、若干要領を異にするという。毎年一月中旬から簀編みを始め、三月下旬にエリタテを終えるのが例という」と書かれている。<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 11 | 滋賀県 | ア-23-14 | | 網を打つ男性 | 763(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 73×102 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・笠をかぶり腰蓑をつけた男性が、網を打った瞬間の写真<br>・ア-23-14に写っている人物と同一人物ヵ<br>・写真右の男性が船で運んでいるのは稲藁ヵ<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 12 | 滋賀県 | | | 仕事着の女性(後ろ側) | 764(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 103×77 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・女性の後ろ姿を撮影したもの。地下足袋及び前掛けと思われるものを着用している。<br>・髪を後ろでまとめ、櫛で止めている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗 17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 23 | 13 | 滋賀県 | | | 小川の傍のベッチャイ | 766(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 81×104 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・小屋の写真、左側に臼と思われるものが写っている。橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.30写真に本写真と類似した小屋が写っている。写真注には「ベッチャイ　小屋の中のきねに写真手前の水受けの木箱を吊るし、これに水があふれると同時にひっくりかえって唐臼の米をつく仕組みになっている」と書かれている。本資料はこのベッチャイを撮影したものヵ<br>・右側に小川と船があり、その奥には橋が架かっている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | |
| 河1 | 29 | 23 | 14 | 滋賀県 | ア-23-2 | | 小川の傍のベッチャイ | 768(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは翼のある宝冠、「SUPERFIN」 | 206×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 77×104 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・小屋の写真、右側に小川が写る。橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.30写真に本写真と類似した小屋が写っている。写真注には「ベッチャイ　小屋の中のきねに写真手前の水受けの木箱を吊るし、これに水があふれると同時にひっくりかえって唐臼の米をつく仕組みになっている」と書かれている。本資料はこのベッチャイを撮影したものヵ<br>・小屋及び石段の形状から、河1-29-23-14で撮影されている小屋の前で撮影されたと推測される<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 15 | 滋賀県 | | | 子供と揺り籠に入った赤ん坊 | 770(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは翼のある宝冠、「SUPERFIN」 | 206×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 103×75 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・子供と、揺り籠に入った赤ん坊の写真<br>・写真右側には障子が見られる<br>・橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』pp..208-209において「揺り籠は湖東ではエサ(黒川)、湖西ではフゴ(良谷)、湖南でエサフゴ(勅旨)などという。三歳ぐらいになってもこの中にはいって、親の仕事の間じっとしているのが躾のよい子とされていた(笹ヵ谷)」と書かれている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 16 | 滋賀県 | | | 赤ん坊を背負う少女(左側面) | 773(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「SUPERFINE」「C.N.&Co.」 | 206×162 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 102×74 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・少女が赤ん坊を背負っている写真、左側面から撮影<br>・少女は草履を履いている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | |
| 河1 | 29 | 23 | 17 | 滋賀県 | ア-23-11 | | 台所で腰掛けている男性 | 777(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「SUPERFINE」「C.N.&Co.」 | 206×162 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 104×77 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・写真は台所、丸刈りで白いシャツ、地下足袋を着用した男性が腰掛けている<br>・男性の後ろに箒、提灯が掛かっている。<br>・ア-23-11に写っている男性と同一人物であることから、本写真はア-23-11に写っている民家の台所で撮影されたと推測される<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 18 | 滋賀県 | | | 軒先のスキ・カンジキ・モッコ | 779(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「SUPERFINE」「C.N.&Co.」 | 206×162 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 104×77 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・軒先にスキ、カンジキ、モッコヵが掛けられている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 19 | 滋賀県 | | | 岸に並ぶ船 | 782(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「SUPERFINE」 | 206×162 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 75×103 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・岸べりの船の写真<br>・長谷川嘉和『近江の民具』p.16において、「川や湖岸で稲を運んだり、藻刈りをしたりする田船をダンベといっている。漁村で多く用いられる小舟は、ヒラタと呼ばれている」と書かれている。また『日本民俗調査報告書集成　近畿の民俗　滋賀編』p.650において、「北湖の船は波の高いところで使うので船も深く大きく舳が張っているのでローリングが少なく、波をわけるようになっている。そして舳先きの側面には銅板で細長く斜めにダテカスガイと呼ぶ模様を付けている。(中略)南湖の船は、北湖にくらべて波が静かである、したがって南湖専用の船はヒラジキ(平底)を広くして荷を多く積めるようにしていて、この船を団平(ダンペイ)、またはヘイタブネと呼んでいる」と書かれている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 20 | 滋賀県 | 写3-26-3 | | 琵琶湖のエリ | 789(右上、ナンバリング、青インク) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かしがある紙と同じヵ | 210×161 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 76×100 | ・アルバム23「採訪(16)」から抜き取られたもの<br>・写3-26-3の紙焼写真<br>・エリ漁のエリを撮影したもの<br>・橋本鉄男『日本の民俗25　滋賀』p.68において「エリを定置することをエリタテという。(中略)エリタテは、ベタニワ(完全な凪ぎ状態)の日にする。船に簀や竹を積んで、目的地に着くと、芯の杭を目標に二枚の簀を縄で結んで、その両端に竹を付けたものを湖中に立て、棕櫚で結んでつないで行く。湖南と湖北では波の荒さが違うので、若干要領を異にするという。毎年一月中旬から簀編みを始め、三月下旬にエリタテを終えるのが例という」と書かれている<br>・アルバム23のまとまりから、昭和10年11月30日～12月3日に行われた祝宮静らアチック同人との近江安曇川、安土、沖島、栗見の調査と推測されるため、撮影日はこれによった | | | | | | | | | | 昭和10年(1935年)11月30日昭和10年(1935年)12月3日『歴史と民俗　17』「アチックミューゼアム日誌」p.229 | | 有 |
| 河1 | 29 | 23 | 21 | | | | 封筒 | × | × | | | | ・昭和10年近江安曇川、安土、沖島、栗見への採訪の際の写真を入れていた<br>・裏面に[東京都千代田区有楽町二丁目三番地朝日新聞東京本社] | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 1 | | | | 新島(写真目録ヵ)、及び「?一瞬の　?瞬間の} 累積構想」メモ | × | × | | | | ・1枚目の左上に「〔15〕 藤木」「新島」と記入がある束、15枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 2 | | | | 目録(昭和.2.11三ヶ島村～昭和.26.8新島) | × | × | | | | ・1枚目が「1.昭和.2.11.　三ヶ島村」から始まる束、11枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 3 | | | | 目録(明治42.5府中修学旅行～昭和.32.10南伊、イタリー) | × | × | | | | ・1枚目が「祭魚洞関係」から始まる束、5枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 4 | | | | 十島、鹿児島(写真目録ヵ) | × | × | | | | ・1枚目左上に「十島」「〔9〕竹島。」の記入がある束、26枚 | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 24 | 5 | | | | 喜界島(写真目録ヵ) | × | × | | | | ・1枚目左上に縦書きで「喜界島」の記入がある束、13枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 6 | | | | 沖永良部(写真目録ヵ) | × | × | | | | ・1枚目左上に「沖永良部」と記入がある束、2枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 7 | | | | 筆写原稿(広辞苑、古事類苑からの筆写ヵ) | × | × | | | | ・ホチキス留めのもの、広辞苑、古事類苑からの筆写ヵ、6枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 8 | | | | 原稿用紙 | × | × | | | | ・無記入の日本道路協会原稿用紙2枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 9 | | | | 日本生命のビニール製ファイル | × | × | | | | ・河1-29-24-1～8の資料が入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 24 | 10 | | | | 「？一瞬の　？瞬間の}　累積　構想」(ねらい、詳細目次、等)のコピー | × | × | | | | ・河1-29-24-1～8の資料のコピーと思われる、ゼムクリップで留められた束5部、バラのもの2枚、総枚数74枚 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 25 | 1 | 岩手県 | 写1-18-10-1 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 手ツム<br>(封筒・刊行物記載文による) | 3060(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | ○(右上、台紙に貼り付けているため使用筆記具不明) | 120×165 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・大きく焼かれた紙焼き写真の一部を切り取ったものを台紙に貼ったと考えられる<br>・当該写真表面に台紙に貼られていたものをはがした様な痕あり<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「手ツム　使用麻糸ヨリノ実況」「外ニ　渋沢子爵ノ活動写真ニ撮影」「石田キク(六七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp299写真36「糸つむぎ」『東北犬歩当棒録』「テスリツム　石神村実演」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「19　つぼまへでの麻糸取り　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 2 | 岩手県 | 写1-18-12-5 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大家斎藤家母屋表側 | 3218(ナンバリング、青インク)<br>S.A.3(鉛筆)<br>1(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 1(鉛筆、写真右上に2箇所、丸で囲み字)<br>1(鉛筆、写真中央部)<br>ヨコ三寸二分(鉛筆、縦書)<br>線一三三(鉛筆、縦書) | 120×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻・『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「斎藤家全影」「文政三年庚辰三月十一日建築」「斎藤安道　斎藤文男　斎藤方男　橋本春孝」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ口絵写真1「大家斎藤家母屋表側」『渋沢敬三著作集』第3巻斎藤家「全景」『東北犬歩当棒録』「斎藤家　全景(間口二十一間、奥行九間)」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「斎藤善助家　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 3 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大家斎藤家母屋裏側 | 3219(ナンバリング、青インク)<br>A.1(鉛筆)<br>2(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×163 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ写真2「大家斎藤家母屋裏側」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 4 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大家斎藤家ヤクヤ、斎藤フミ | 3223(ナンバリング、青インク)<br>A2(鉛筆)<br>6(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 4(写真右上、丸で囲み字)<br>4(写真中央部)<br>タテ二寸(台紙に貼り付けているため使用筆記具不明)<br>線一三三(台紙に貼り付けているため使用筆記具不明) | 117×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「神棚及仏間」「仏間ノ如来仏像ハ孝順大僧正ヨリ下附セラル観世音ノ尊像ハ江戸浅草観音ト尊像残黄金ニ而模鋳セルトニ　弘化三年十二月下シ置クル」「家屋ハ文政三年庚辰三月十一日建築」「善助母　座セルハ斎藤フミ(文久三年生)七十二歳」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ写真4「大家斎藤家ヤクヤ」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「18　やくや　斎藤方男氏　仏壇のある部屋」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 5 | 岩手県 | 写1-18-12-3 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大屋斉藤家ジョウイ、マツトウガイやヤグラ(刊行物記載による) | 3225(ナンバリング、青インク)<br>○(鉛筆)<br>A1(鉛筆)<br>8(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻・『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・ジョウイとは玄関から上がって取付きの部屋(「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』p.260)<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「明松ノ燈スノ影」「渋沢子爵ノ来遊ノ節」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『東北犬歩当棒録』p111「24　同家居間。燈火にシデ鉢を用う」『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ「写真5　大屋斎藤家ジョウイ」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 6 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | マゲ(大屋) | 3227(ナンバリング、青インク)<br>S.A2(鉛筆)<br>10(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「方男　訓子　正子　春吉　清吉　イセ」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp278写真24「マゲ(大屋)」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「17　じょい　斎藤方男氏　じょいは居間のこと」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 7 | 岩手県 | 写1-18-12-4 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大屋斎藤家ダイドコ | 3229(右上、ナンバリング、青インク)<br>3.229(赤鉛筆)<br>S.A3(鉛筆)<br>12(青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 3(丸で囲み字、台紙に貼り付けてあるため使用筆記具不明)<br>3(写真中央部、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>ヨコ二寸三分(左、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>線一三三(左、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明) | 163×118 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「臺所」「嬰児　斎藤イネ(一)　斎藤セツ(二四)　橋本キヨ(五七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ写真6「大屋斎藤家ダイドコ」『渋沢敬三著作集』第3巻斎藤家「台所」『東北犬歩当棒録』「斎藤家台所」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「14　だいどころ　斎藤方男氏　子供はエジコに入れられている」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 8 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | トドコベヤ(蚕室) | 3232(ナンバリング、青インク)<br>A.1(鉛筆)<br>15(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 120×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「機織場」「外ニ夜　渋沢子爵ノ活動写真ニモ撮影ス」「斎藤コト(四四)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp269写真17「トドコベヤ(蚕室)」『屋根裏の博物館—実業家渋沢敬三が育てた民の学問—』「16　とどこべやでの機織り　斎藤方男氏」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 25 | 9 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大家斎藤家ハシリマエ | 3234(ナンバリング、青インク)<br>A1(鉛筆)<br>16(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 120×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・刊行物『屋根裏の博物館 ―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.61「15 はしりさき」はママ<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、同一の写真があるがその写真は無題(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ写真7「大屋斎藤家ハシリマエ」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「15 はしりさき 斎藤万男氏 はしりさきは水屋のこと」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 10 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 土蔵＝米蔵(大屋) | 3(鉛筆)<br>3235(ナンバリング、青インク)<br>A1(鉛筆)<br>17(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 120×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp281写真27「土蔵＝米蔵(大屋)」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 11 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大屋斎藤家ニワ | 3236(ナンバリング、青インク)<br>A1(鉛筆)<br>18(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・刊行物『屋根裏の博物館 ―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.60「11 くわおきばと農」はママ<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ写真8「大屋斎藤家ニワ」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「11 くわおきばと農 神奈川大学日本常民文化研究所 くわおきばは蚕の桑を保存する場所」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 12 | 岩手県 | 河1-29-16-4 | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | マヤ | 3237(ナンバリング、青インク)<br>A.2(鉛筆)<br>18(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 120×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・刊行物『屋根裏の博物館 ―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p.60「10 厩 斎藤万男氏」はママ<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに「厩 小馬屋」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったものこ誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp276写真21「マヤ」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「10 厩 斎藤万男氏」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 13 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | マヤの守り札(大屋) | 3238(ナンバリング、青インク)<br>A.1(鉛筆)<br>20(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×163 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「厩ノ入口」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったものこ誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp276写真22「マヤの守り札(大屋)」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「12 馬小屋入り口に貼ってあるお札 斎藤万男氏」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 14 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 湯殿 | 3239(ナンバリング、青インク)<br>A1(鉛筆)<br>21(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「松船」「山本兼松」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp297写真33「湯殿」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 15 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 木地挽小屋 | 3241(ナンバリング、青インク)<br>S.A.2(鉛筆)<br>23(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「木地挽ノ実況」「石田重三(二七)」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp283写真29「木地挽小屋」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 16 | 岩手県 | | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | マゲ(屋根ウラ部屋、木地乾燥に使用) | 3242(ナンバリング、青インク)<br>A.2(鉛筆)<br>24(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 162×118 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「屋根下ニ於ケル木地形乾燥所」ともある(斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館『屋根裏の博物館』展示の際に対田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある)<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp272写真20「マゲ(屋根ウラ部屋、木地乾燥に使用)」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 17 | 岩手県 | 河1-29-16-3 | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 竈室の外観(さしかけの下は焚口) | 4(鉛筆)<br>竈室(蒸室)(鉛筆)<br>3244(ナンバリング、青インク)<br>S.A.2(鉛筆)<br>26(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp156写真11「竈室の外観(さしかけの下は焚口)」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 18 | 岩手県 | 写1-18-12-1 | 沼沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 竈室の内部 | 1(鉛筆)<br>竈ノ窯蒸籠(「蒸籠」の下に「セイロ」とふりがな、鉛筆)<br>3246(ナンバリング、青インク)<br>S.A.2(鉛筆)<br>27(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所(日本常民文化研究所のこと)所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp156写真12「竈室の内部(棚にさしいれた板の上に稗を並べて乾燥する)」『沢沢敬三著作集』第3巻斎藤家「ひえむち内部」『東北犬歩当棒録』「斎藤家ひえむち内部」 | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～儘考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 25 | 19 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 水車小屋(米つき)(大屋) | 3247(ナンバリング、青インク)<br>S.A.2(鉛筆)<br>28(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×162 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所（日本常民文化研究所のこと）所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「水車」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp282写真28「水車小屋（米つき）（大屋）」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 20 | 岩手県 | 写1-18-12-2 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 大屋斎藤家成員および雇人 | 3249(ナンバリング、青インク)<br>S.A.3(鉛筆)<br>30(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 2(写真右上に2箇所、丸で囲み字、台紙に貼り付けてあるため使用筆記具不詳)<br>2(写真中央部、台紙に貼り付けてあるため使用筆記具不詳)<br>ヨコ三寸二分(鉛筆、左)<br>線一三三(鉛筆、左) | 119×164 | ・渋沢敬三著作集第3巻・『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所（日本常民文化研究所のこと）所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「斎藤家々族及ビ使用人」「本家屋ハ文政三年庚辰三月十一日建築」「外ニ渋沢子爵ノ活動写真ニモ撮影ス」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ口絵写真3「大屋斎藤家成員および雇人」『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』「3　斎藤家とその大家族　斉藤方男氏」『東北犬歩当棒録』「23　石神村斎藤家の大家族」『日本社会民俗辞典』第2巻「岩手県二戸郡浅沢村斎藤家の家族」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 21 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 渋沢敬三、今和次郎ら一行と斎藤家集合写真 | 3250(ナンバリング、青インク)<br>A.1(鉛筆)<br>31(ナンバリング、青インク) | ・台紙には馬に乗る人の絵、VICTORYの透かしあり | 260×204 | 記載なし | 118×163 | ・渋沢敬三著作集第3巻『東北犬歩當棒録』には撮影年代は昭和10年とあるが、渋沢が訪れたのは昭和9年であり、また『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』序にも「同研究所（日本常民文化研究所のこと）所蔵の石神部落に関する昭和9年の写真三六葉の掲載」とあるので撮影年代はこれによる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「子爵　渋沢敬三氏民家研究ノ為御出張ノ節紀年撮影」「前列　巌谷不二雄氏（早稲田大学理工学部建築学科研究室）　渋沢敬三子爵　今和次郎氏（早稲田大学教授）　佐藤源八氏（中佐井）　後列　木川半之丞氏（写真氏）　渡辺口治氏（農林技師）　右ヨリ　村上清文氏（早大卒業生）　小川純（ママ、徹）氏（東京帝大人文地理研究学生）　竹内芳太郎氏（武蔵高等工科学校教授）」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『屋根裏の博物館―実業家渋沢敬三が育てた民の学問―』p56「渋沢敬三一行と斎藤家」 | | | | | | | | 不明 | 昭和9年(1934年)9月23日～備考参照 | 岩手県石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 22 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 木地挽小屋(ろくろを使った作業) | | ・王冠に「錨」の絵のような透かしあり | 261×203 | 記載なし | 143×109 | ・木椀を車を使った器械で挽いている写真<br>・『東北犬歩当棒録』口絵「木地屋」と同場所ヵ | 東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース<br>URLhttp://www.um.u-tokyo.ac.jp/dm2k-umdb/umdb/TR/「4117」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎備考参照 | |
| 河1 | 29 | 25 | 23 | 岩手県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | エズコ(刊行物記載による) | 1139(ナンバリング、青インク) | 台紙には「SUPERFINE」「C.N.&Co.」と透かしあり | 206×164 | 記載なし | 77×102 | ・河1-29-25に同様の「エジコ」が写っている写真があり、その写真は「大家族制度と名子制度」『有賀喜左衛門著作集Ⅲ』口絵6「大家斎藤家ダイドコ」と同一のものと考えられる、撮影場所はこれによる | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ口絵口絵6「大家斎藤家ダイドコ」<br>『有賀喜左衛門著作集』Ⅲ「写真6　大家斎藤家ダイドコ」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 石神村引用・使用媒体 | 有 |
| 河1 | 29 | 25 | 24 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 木地屋の椀刳りの様子(ろくろを使っている作業と手斧状の道具を使った作業) | 2817(ナンバリング、青インク) | 台紙には「GORDON」「ESPARTO」「SUPERFINE」「BURITISH MANUFACTURE」と透かしあり | 261×204 | 記載なし | 109×156 | ・当該写真向かって左下に鏡文字で「122」と書かれている（ガラス乾板に書かれていたものヵ） | 『東北犬歩当棒録』口絵「木地屋」東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4109」 | 東京大学総合研究博物館人類先史部門東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4109」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 25 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 椀くり(手斧状の道具を使った作業) | 2818(ナンバリング、青インク) | 台紙には「SUPERFINE」「C.N.&Co.」と透かしあり | 262×203 | 記載なし | 112×152 | | 『東北犬歩当棒録』口絵「椀くり」東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4116」 | 東京大学総合研究博物館人類先史部門東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4116」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 26 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 椀くり(手斧状の道具を使った作業) | | 台紙には盾と槍を持った人物像の透かしあり | 262×203 | 記載なし | 106×155 | ・河1-29-25-24の左から2番目の女性と同一人物と思われる | 東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース<br>URLhttp://www.um.u-tokyo.ac.jp/dm2k-umdb/umdb/TR/「4115」 | 東京大学総合研究博物館人類先史部門東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4115」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 27 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 椀くり | | 台紙には盾と槍を持った人物像の透かしあり | 262×203 | 記載なし | 113×154 | | 東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース<br>URLhttp://www.um.u-tokyo.ac.jp/dm2k-umdb/umdb/TR/「4113」 | 東京大学総合研究博物館人類先史部門東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4113」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 28 | 福島県 | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 木地屋の道具 | 本文(丸囲み、鉛筆) | 台紙には盾と槍を持った人物像の透かしあり | 262×203 | 記載なし | 155×112 | ・木地屋の道具と製造工程の見本が写っている | 『東北犬歩当棒録』p72「木地屋の道具」東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4114」 | 東京大学総合研究博物館人類先史部門東アジア・ミクロネシア古写真資料画像データベース「4114」 | | | | | | | 不明 | 不明 | 会津弥平四郎引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 29 | 岩手県 | 河1-29-25-15 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 木地挽小屋 | | 祭魚洞書屋20字×11行の原稿用紙 | 249×177 | 記載なし | 120×169 | ・台紙には祭魚洞書屋の原稿用紙を使用している<br>・河1-29-25-15と同一写真であるが、焼き具合が悪く全体に白く飛んでいる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「木地挽ノ実況」「石田重三（二七）」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp293写真31「木地挽小屋」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～備考参照 | 石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 30 | 岩手県 | 河1-29-25-19 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 水車小屋(米つき)(大屋) | | 祭魚洞書屋20字×11行の原稿用紙 | 249×177 | 記載なし | 120×167 | ・台紙には祭魚洞書屋の原稿用紙を使用している<br>・河1-29-25-15と同一写真であるが、焼き具合が悪く全体に黒く沈んでいる<br>・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「水車」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp282写真28「水車小屋（米つき）（大屋）」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～備考参照 | 石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 31 | 岩手県 | 河1-29-25-16 | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | マゲ(屋根ウラ部屋、木地乾燥に使用) | × | × | | 記載なし | 168×120 | ・斎藤福徳氏所蔵のアルバムに撮影年月日が「昭和九年九月二十三日」と書かれ、また「屋根下ニ於ケル木地形乾燥所」ともある（斎藤福徳氏所蔵アルバムは2002年10月の横浜市歴史博物館「屋根裏の博物館」展示の際に刈田氏が使ったもので誰の撮影でどういう経緯か詳細不明のもの、常民研には写真のコピーがある）<br>・撮影者は『東北犬歩當棒録』p.113による | 『有賀喜左衛門著作集』Ⅲp272写真20「マゲ（屋根ウラ部屋、木地乾燥に使用）」 | | | | | | | | 木川半之丞 | 昭和9年(1934年)～備考参照 | 石神村引用・使用媒体 | |
| 河1 | 29 | 25 | 32 | × | | 澁沢先生(縦書、右)<br>石神持集(フェルトペン、縦書、右)<br>小泉信三氏(縦書、中央)<br>茅誠司氏(縦書、中央)<br>石坂泰三氏(縦書、中央)<br>私見在中(縦書、中央)<br>馬場さん(鉛筆、縦書、左) | 封筒 | × | × | | × | 368×220 | ・封筒は経済雑誌週間『ダイヤモンド』の袋を利用している | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 29 | 26 | | × | | | 「昭和五年四月十三日三田綱町邸花祭余会者芳名録」 | × | × | | | | ・祭魚洞書屋の原稿用紙7枚をホチキスで留めてあり、昭和5年4月13日に行われた三田綱町邸での花祭の芳名録の写しか、1枚目が表紙で、2枚目以降が芳名録<br>・芳名録に記載のある名前は次の通り、青木秀、青木覓、明石照男、赤堀芙三、朝比奈正美、有賀喜左衛門、飯塚友一郎、石井健吾、池上隆祐、池上隆三、池上広正、石坂泰三、石田幹之助、石本己四雄、石本みさほ、石黒忠篤、石黒幸次郎、石黒重子、石黒元子、石黒光子、泉鏡太郎、泉二郎、井田善之助、市河三喜、伊藤隆之助、伊藤嘉章、伊藤良、井上信二郎、井上貢、伊波普猷、上原専祿、宇野圓空、大久保泰、岡茂雄、岡田純夫、岡村千秋、岡村綱一郎、岡村肇、岡村千馬太、岡本信三、荻野正孝、岡村千佐子、尾上登太郎、小倉俊、小畑久五郎、大沢佳郎、太田代仁子、小野武夫、尾高豊作、尾高鮮之助、大藤時彦、桂泰三、片岡龍夫、加藤泰邦、金城朝永、川口寛三、木内信胤、菊池健三、菊池武、菱銀沢、姜今福、木舟庄七、木村修三、木村、金田一京助、熊谷辰次郎、窪田栄、小鞆重三、小池厚之助、小泉鉄、幸田成友、小寺融吉、小寺敬孝、小手川重次郎、小林古径、駒形栄助、斉藤為五郎、酒井仁、酒井千代、佐々木修二郎、佐藤富治、佐治祐吉、三瓶愛、去立鉄次郎、柴三九男、渋沢篤二、渋沢元治、渋沢孝三、白鳥庫吉、清水一雄、守随一、白石喜太郎、新村出、鈴木重治、鈴木八郎、杉田きみ、杉田富、杉本行雄、関屋貞三郎、曽志崎誠二、高田正、高橋文太郎、武井武雄、竹友常雄、田中市郎衛門、田村圓、千葉明、園部義彦、土田勝弥、土屋喬雄、鶴田喜次郎、戸塚保去、東畑清一、富永薫、那須皓、中島外吉、中野時之、中村為治、中山正前、中山太郎、中溝等、長尾太郎、野上豊一郎、野口謙次郎、野村茂、橋清泰雄、橋本侍左衛門、橋本文夫、林正道、林弥一郎、萩原正徳、平形知一、一柳喜一郎、広川称五郎、穐畑雪湖、深見去之助、藤田義雄、船山智、洞富雄、星野辰雄、穂積重遠、穂積伸子、松井透、松崎重二、松平有光、松本信広、前田青邨、水野恭介、水野忠文、溝敏、三村清之介、宮尾しげを、宮本勢助、宮本瑞、村上清文、森本六爾、安成四郎、安成三郎、矢田部勁吉、吉岡義二、矢田部順子、柳田国男、山崎みつ子、山科岑夫、山内里中、山内直子、山内春子、山内美神子、山田穂雄、山本靖民、吉岡清子、横山重、渡辺唐一郎、渡辺得男、渡辺尚一、季周泳 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 29 | 27 | | × | | | | 瞬間の累積(段ボール箱、世界大百科事典　限定版 27 平凡社の箱を流用) | × | × | | | | ・河1-29-1～河1-29-26が入っていた箱<br>・(世界大百科事典を黒める会)の料金別納郵便の宛名札あり、宛名は「千代田(中央)区大手町一ノ五　国際電電公社　秘書課　工藤様」<br>・右上にフェルトペンで「瞬間の累積」 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 1 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 77×114 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 2 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 78×112 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 3 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 77×111 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 4 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 5 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 101×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 6 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 102×72 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 7 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 71×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 8 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 72×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 9 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 72×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 10 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 72×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 11 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 69×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 12 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 13 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 77×115 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 14 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 79×115 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 15 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 78×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 16 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 76×115 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 17 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 79×114 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 18 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 79×112 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 19 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 77×112 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 20 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | [K739](黒ナンバリング、上) | 85×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 21 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 116×85 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 22 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | [K667](黒ナンバリング、上) | 84×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 23 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 84×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 24 | | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | × | | 記載なし | 85×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料　情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 1 | 25 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 84×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 26 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 27 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 28 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 29 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×116 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 30 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 81×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 31 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 81×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 32 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 33 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 79×115 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 34 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | [Agfa-Brovira](右及び左、印画紙に印刷されている)<br>9(中央、鉛筆) | 87×121 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 35 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 80×117 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 36 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 72×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 37 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 70×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 38 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 71×101 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 39 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | | × | | × | | 記載なし | 71×102 | ・河1-30-1-40の封筒に入っていた<br>・外国視察写真ヵ | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 1 | 40 | | | [VISCOUNT K. SHIBUSAWA](黒印字、右上)<br>[10 TSUNAMACHI MITA SHIBA-KU](黒印字、右上)<br>[TOKYO](黒印字、右上) | 封筒 | × | | × | | | 107×161 | ・河1-30-1-1～39の資料が入っていた、107×161 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 1 | | | | | × | | × | | 記載なし | 63×109 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 2 | | | | | × | | × | | 記載なし | 66×117 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 3 | | | | | × | | × | | 記載なし | 65×110 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 4 | | | | | × | | × | | 記載なし | 67×113 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 5 | | | | | × | | × | | 記載なし | 66×113 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 6 | | | | | × | | × | | 記載なし | 66×112 | ・河1-30-2-9-のネガに対応<br>・海水浴の写真 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 7 | 台湾 | ア116-4-2-1<br>河1-30-2-9-7 | | 草山貴賓館前にて記念撮影(石黒忠篤と後藤文夫ヵ) | × | | × | | 記載なし | 77×109 | ・河1-30-2-9-7のネガに対応<br>・渋沢敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、渋沢の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行している<br>・ネガフィルムが残っている(河1-30-2-9-7)ことから撮影者は澁澤敬三ヵ、撮影日時・撮影地域は同書p.77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 2 | 8 | 台湾 | ア116-4-2-2<br>河1-30-2-9-8 | | 草山貴賓館洋館ベランダにて記念撮影(石黒忠篤と後藤文夫ヵ) | × | | × | | 記載なし | 78×108 | ・河1-30-2-9-8のネガに対応<br>・渋沢敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、渋沢の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行している<br>・ネガフィルムが残っている(河1-30-2-9-8)ことから撮影者は澁澤敬三ヵ、撮影日時・撮影地域は同書p.77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-1 | | | | | × | | × | | | 63×112 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-1の写真に対応<br>・河1-30-2-9-2～8の資料と同じタイプのフィルムと見られるが、下辺が切れている | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-2 | | | | | × | | × | | ア(左下、ペン) | 68×112 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-2の写真に対応 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-3 | | | | | × | | × | | ア(右下、ペン) | 68×115 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-3の写真に対応 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 2 | 9-4 | | | | | × | × | | キ(右下、ペン) | 68×120 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-4の写真に対応 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-5 | | | | | × | × | | キ(右下、ペン) | 68×113 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-5の写真に対応 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-6 | | | | | × | × | | キ(左下、ペン) | 68×119 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-6の写真に対応 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-7 | 台湾 | ア116-4-2-1<br>河1-30-2-7 | | 草山貴賓館前にて記念撮影(石黒忠篤と後藤文夫カ) | × | × | | | 85×113 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-7の写真に対応<br>・渋沢敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、渋沢の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行している、ネガフィルムが残っている(河1-30-2-9-7)ことから撮影者は澁澤敬三カ、撮影日時・撮影地域は同書p.77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-8 | 台湾 | ア116-4-2-2<br>河1-30-2-8 | | 草山貴賓館洋館ベランダにて記念撮影(石黒忠篤と後藤文夫カ) | × | × | | | 85×116 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-2-9-9のハトロン紙袋に入っていた<br>・河1-30-2-8の写真に対応<br>・渋沢敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、渋沢の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行している、ネガフィルムが残っている(河1-30-2-9-8)ことから撮影者は澁澤敬三カ、撮影日時・撮影地域は同書p.77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 2 | 9-9 | | | | | × | × | | | 93×127 | ・河1-30-2-9-1～8の資料が入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 3 | 1 | | | | 絵葉書「A REAL KING, TWO QUEEN AND A CHUM」 | × | × | | | 87×138 | ・題名は葉書面の印字から<br>・絵柄は巨大な鮭2匹と女性二人、アラスカで捕獲された記録的な大きさの鮭を写したものであるらしい | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 3 | 2 | | | | 絵葉書「Chilcat dancers」 | × | × | | | 87×138 | ・題名は葉書面の印字から<br>・絵柄はアラスカの民族衣装「チルカット」を着た男性二人が踊っている場面 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 1 | | | | 原稿「精密と包まれた誠実」(ダイヤモンド「私見」に寄稿したもの) | × | × | | | | ・「精密と包まれた誠実」は祭魚洞書屋原稿用紙7枚、ホチキス留め、但、1枚外れている<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 2 | | | | 原稿「笹村先生手記ロダン「鼻欠け」ブロンズの由来」 | × | × | | | | ・「笹村先生手記ロダン「鼻欠け」ブロンズの由来」は祭魚洞書屋原稿用紙4枚ホチキス留<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 3 | | | | 原稿「飯野雄司著「見たまゝ聞いたまゝ」跋」 | × | × | | | | ・「飯野雄司著「見たまゝ聞いたまゝ」跋」は祭魚洞書屋原稿用紙7枚、ホチキス留<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 4 | | | | 原稿「朝日生命七十周年を祝して」 | × | × | | | | ・「朝日生命七十周年を祝して」は祭魚洞書屋原稿用紙5枚、ホチキス留<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 5 | | | | 原稿「和して同ぜざる人にきょう投票日に思う」 | × | × | | | | ・「和して同ぜざる人に　きょう投票日に思う」は角川書店原稿用紙7枚、ホチキス留<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 6 | | | | 手書き世界地図 | × | × | | | | ・手書き世界地図、祭魚洞書屋原稿用紙2枚<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 4 | 7 | | | | メモ、計算表など | × | × | | | | ・メモ、計算表など、角川書店原稿用紙3枚、内2枚はホチキス留<br>・河1-30-4-1～7はクリップで留められていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 1 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 5 | 2 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×113 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 3 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 4 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×111 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 5 | 新潟県 | ア-41-39 | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 雪の積もった中で干されている苞 | × | × | | | 82×108 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・雪の積もった民家の前に干されている無数の苞。<br>・その横には子供らしき人物が立っている<br>・ア-41-39と同一で為り、アルバム41のまとまりから、村上清文による三面調査と考えられため撮影者、撮影地はこれによった | | | | | | | | | 村上清文 | | 三面村儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 6 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×112 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 7 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 8 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×115 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 9 | 新潟県 | ア-37-22<br>ア-41-3 | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 節分で集まった子供たち | × | × | | | 82×108 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・子供たちは、手描きの鬼の面やカゾラをつけ、縁台らしきものの上に並んでいる。その後ろには苞が積られている。節分の行事か。<br>・中央の白い布を着た子供は手に小さな打ち出の小槌を持っている<br>・ア-37-22、ア-41-3と類似するが、被写体の構図が異なる。アルバム37、41が村上清文が三面村での長期滞在調査中に撮影したものと考えられるため、撮影者、撮影地はこれによる | | | | | | | | | 村上清文 | 不明 | 三面村儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 10 | 台湾 | ア-116-6-1-2<br>ア-118-12-2-1 | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 台北州七星郡士林庄の中農の家屋 | × | × | | | 85×113 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)pp.24-27によると、澁澤の他、石黒忠篤、今川英が同行しているが、アチック内にネガ(河1-30-5-10)が残っていることから撮影者は澁澤敬三と推定した<br>・撮影日時・撮影地域は同書による | | | | | | | | | 渋沢敬三 | 大正15年(1926年)4月23日～儀考参照 | 台湾(台北州七星郡士林庄字林子口儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 11 | 台湾 | ア-117-12-1-1<br>ア-118-11-2-1 | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 台中の土壁間(移摺業者) | × | × | | | 85×112 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・土壁間については澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)pp.57-61に記述がある、澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能、撮影日時・撮影地域は同書および『犬歩当棒録』旅譜p411による | | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月30日～儀考参照 | 台湾(台中)儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 12 | 愛知県 | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 榊鬼と見学する子どもたち | × | × | | | 85×113 | ・ネガフィルムで河1-30-5-19の封筒に入っていたもの、本資料に写る榊鬼は『早川孝太郎全集Ⅹ Ⅱ』p.360、『早川孝太郎全集Ⅰ』口絵写真「図24 鬼の舞と面」と同場面であり、足込の鬼と考えられる、後者の写真は早川孝太郎『花祭』(岡書院-昭和5年4月刊行)に掲載されていることから、撮影年月日は澁澤が足込の花祭りを始めて訪れた昭和5年1月4日、撮影地域も同所と推定した | | | | | | | | | 不明 | 昭和5年(1930年)1月4日～儀考参照 | 北設楽郡園村足込儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 13 | 愛知県 | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 足込の花祭の伴鬼 | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルムで河1-30-5-19の封筒に入っていたもの、本資料に写る鬼は『早川孝太郎全集Ⅹ Ⅱ』p.360、『早川孝太郎全集Ⅰ』口絵写真「図24 鬼の舞と面」と同場面であり、足込の鬼と考えられる、後者の写真は早川孝太郎『花祭』(岡書院-昭和5年4月刊行)に掲載されていることから、撮影年月日は澁澤が足込の花祭りを始めて訪れた昭和5年1月4日、撮影地域も同所と推定した | | | | | | | | | 不明 | 昭和5年(1930年)1月4日～儀考参照 | 北設楽郡園村足込儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 14 | 新潟県 | ア-41-44 | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 正月の松飾りを付けている親子 | × | × | | | 82×108 | ・ア-41-44のネガフィルムカ<br>・正月の松飾りを神棚に飾りつけている男性とその横で手伝いをしている息子<br>・子供は松と固定用のワラを抱えている<br>・三面における一月の行事の準備を写真撮影できる可能性があるのが昭和10年の村上清文による三面調査であり、アルバム41のまとまりから撮影者や撮影年月日が関連していると考えられるため撮影者や撮影年月日はこれによった、因みに正月の準備では29日(9が苦に通じることから)、31日(一夜飾りを忌む)を一般的に嫌うことから便宜上撮影日を28日までとした | | | | | | | | | 村上清文 | 昭和9年(1934年)12月26日～昭和9年(1934年)12月28日儀考参照 | 三面村儀考参照 | |
| 河1 | 30 | 5 | 15 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×111 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・石敢當の画像 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 16 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 17 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×113 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・「南島見聞記」(『祭魚洞雑録』)の石垣島に於けるタターチャ造と関係した写真と考えられ、ア-119-5として一括してまとめられていた写真のネガ | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 5 | 18 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | | × | × | | | 85×114 | ・ネガフィルム<br>・河1-30-5-19の封筒に入っていた<br>・シーサーの画像ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 5 | 19 | | | フィルム(青ペン、縦書、右)ネガ(赤ペン、縦書、右)<br>台湾(青ペン、縦書、右)<br>沖縄(青ペン、縦書、右)<br>花祭(青ペン、縦書、右) | 封筒 | × | × | | | 210×113 | ・河1-30-5-1～18の資料が入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 6 | | | | | CUNARD LINE PLAN “MAURETANIA”(英国汽船会社CUNARDの旅船室内の地図) | × | × | | | 825×850 | ・法量は825×850、うち、右上の160×240が切り取られている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 1 | 愛媛県 | | | 宇和島城での記念写真 | 2160(右上、ナンバリング、青インク)<br>5(上、赤鉛筆)<br>11.8(右下) | 罫線紙、4穴、透かしは旗に「SM」 | 206×164 | 記載なし | 58×69 | ・城の写真 | | (財)宮本記念財団 | 1310 204(この行赤ナンバリング) | ・他研究機関所蔵資料と当資料とは同一の写真<br>・『宮本記念財団 路上スケッチ1』中台紙に「宇和島(赤鉛筆)」とあり撮影時期や撮影地域これによる | 12(鉛筆、写真裏面中央部、記載はあるいは17ヵ) | 57×55 | ・台紙には旗の絵(中にSM)とその絵を挟んで上にTRADE下にMARKと透かしがある | 205×154 | 宮本馨太郎 | 昭和11年(1936年)8月～他研究機関所蔵資料 | 宇和島『宮本記念財団 路上スケッチ1』中台紙による | |
| 河1 | 30 | 7 | 2 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>〈21.8？〉〈吉田ら調〉(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 151×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 3 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>27.8(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 80×115 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 4 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>27.11(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 79×114 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 5 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>27.12(下、赤鉛筆)<br>〈11〉55(左下、青鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 5(右上、赤鉛筆) | 79×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 6 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>27.12(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 79×114 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 7 | | | | | 7(右上、赤鉛筆)<br>27.12(下、赤鉛筆)<br>〈11〉55(青鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 79×111 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 8 | | | | | 7(右上、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 57(中央、赤鉛筆)<br>[S. REHE-FOTO BLD DAHLEM](中央)<br>[EPPINGER STRASUB 9 TEL. 16.34.14](中央) | 100×142 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 9 | | | | | 7(右上、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 57(中央、赤鉛筆) | 88×138 | ・絵葉書、葉書面に「DELL WOOD」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 10 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>28.(右下、赤鉛筆)<br>8(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | ＃54、(中央やや右上、赤鉛筆)<br>(名簿アリ)(中央やや右、赤鉛筆、( )はママ) | 137×192 | ・第8回日本人類学会日本民族学協会連合大会の集合記念写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 11-1 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>29.(右下、赤鉛筆)<br>10(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 79×114 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 11-2 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>29. 10(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×114 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 12 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>29. 10(右下、赤鉛筆)<br>lec■I(右下、青ペン) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 13 | | | | | 29. 10(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 14 | | | | | 29. 10(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 15 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 81(中央、赤鉛筆)<br>昭和三〇.二一.五(右、縦書)<br>新潟県西蒲原月潟村にて(右、縦書)<br>不巨撮(左、縦書) | 79×116 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 16 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 71×102 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 17 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 102×72 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 18 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 101×70 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 19 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 72×102 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 20 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 102×72 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 21 | パレスチナ | | | ゼリコの果物屋 | 30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | ゼリコーの街(左、鉛筆) | 102×72 | ・撮影者は刊行物記載による | 『犬歩当棒録』p540 | | | | | | | | 古内大使 | 昭和30年(1955年)11月～引用・使用媒体 | ゼリコ引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 7 | 22 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 71×102 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 23 | | | | | 8(右上、赤鉛筆)<br>30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 72×102 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 24 | | | | | 30. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | イェルサレム市外(左下、鉛筆) | 101×70 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 25 | | | | | 9(右上、赤鉛筆)<br>31. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×110 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 26 | | | | | 9(右上、赤鉛筆)<br>31. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 76×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 27 | | | | | 9(右上、赤鉛筆)<br>31. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 112×77 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 28 | | | | | 31. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 29 | | | | | 31. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 77×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 30 | | | | | 9(右上、赤鉛筆)<br>32. 4(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 81×127 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 31 | | | | | 33. 7(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | [2](中央、青いナンバリング) | 61×87 | ・ニホンザルの写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 32 | | | | | 8. 12(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 146×201 | ・石碑「澁澤青淵先生頌徳碑」の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 33 | | | | | 8. 12(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | (ペン、敬三から登喜子に当てた葉書、葉書の絵の寺にいる亀の話や、同封の品の処分についての指 | 86×137 | ・絵の面の上やや左にペンで「大正十一年十月七日」とあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 34 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 13(赤鉛筆、中央)<br>■中阿歌麿(鉛筆、中央)<br>■田部達郎(鉛筆、中央)<br>■〃 敏夫(鉛筆、中央)<br>瀬川昌邦(鉛筆、中央)<br>平野長蔵(鉛筆、中央)<br>口原久松(鉛筆、中央)<br>計二人(鉛筆、中央) | 98×187 | ・『柏葉拾遺』に同じ写真が用いられており、写真解説P.7にはここに写っている人物の名が列記されている、「右より、前列。人夫、敬三、田中阿歌麿、人夫、人夫、後列。瀬川昌邦、矢田部達郎、平野長蔵、矢田部敏夫。」 | 『柏葉拾遺』p29一致 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 35 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 98×143 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 36 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | いくたびかここに真昼の夢見たる(左、鉛筆)<br>高山樗牛瞑想の松(左、鉛筆)<br>土井晩翠歌(左、鉛筆)<br>笹川臨風書(左、鉛筆)<br>59ヵ(中央、鉛筆) | 80×114 | ・旧制二高の構内にあった土井晩翠の歌碑の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 37 | | | | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 249×176 | 記載なし | 78×115 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 38 | | | | | | 日本常民文化研究所25字×10行 | 258×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 108×83 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 39 | | | | | | 日本常民文化研究所25字×10行 | 258×179 | Frascati ノリバノ<br>Grotto Ferratta<br>ナル村 村人が<br>葡萄ヲ絞レル所<br>小生新酒一杯参拝<br>デ御馳走ニアヘル<br>“Gragie gragie”<br>ト云ツテ去ル<br>(裏面の上半分に以上の記載、横書き、ペン)<br>K(中央やや下、ペン)<br>BSHqss(中央やや下、ペン) | 83×108 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 40 | | | | | | 日本常民文化研究所25字×10行 | 258×179 | [VELOX](裏面に六カ所、印画紙に印刷されている)<br>[0838ニ618](上、画面に対して天地逆、スタンプヵ) | 83×106 | ・イプセンの墓 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 41 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | PAPYRUSの罫線紙、縦書き | 229×179 | 14(中央、赤鉛筆) | 71×102 | | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 7 | 42 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 「PAPYRUS」罫線紙、縦書き | 229×179 | 13(赤鉛筆、中央)<br>3. Nov. 55(上、ペン)<br>stoneheage(中央、ペン)<br>u2(中央、ペン)<br>24(中央やや右、天地が右に90度回転)<br>[12104](左、ナンバリングヵ) | 77×112 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 43 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」、「NISSHO BOND」「NNK」の透かしあり | 228×179 | 13(中央、赤鉛筆) | 104×147 | ・絵葉書、絵はストーンヘッジ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 44 | | | | | 第二高高等学校。(戦災で〈消〉焼失)(中央やや左下、学校名のみ青ペン)<br>〈写真〉目で見る仙台市より。(右、ペン)<br>コレヤメ(右やや下) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 記載なし | 121×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 45 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 230×178 | 13(中央、赤鉛筆) | 104×149 | ・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 46 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」、「NISSHO BOND」「NNK」の透かしあり | 228×179 | 64(中央、赤鉛筆) | 76×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 47 | | | | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」、「NISSHO BOND」「NNK」の透かしあり | 228×179 | 13(中央、赤鉛筆)<br>7-8(中央、鉛筆) | 81×118 | ・藤田嗣治夫妻と澁澤敬三 | 『犬歩当棒録』p536 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 48 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 72×99 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 49 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 70×98 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 50 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 15(中央、赤鉛筆ヵ) | 103×144 | ・馬上の澁澤敬三 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 51 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 15(中央、赤鉛筆ヵ) | 75×98 | ・漁師4名の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 52 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 73×99 | ・牛の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 53 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 64×81 | ・海水浴の写真<br>・『柏葉拾遺』p.25「静浦　水泳　篤二写　明治42年頃」と同一状況の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 54 | | | | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 101×140 | ・澁澤敬三一行が洞窟の前で記念写真、「白瀧」「一ノ淵」の表札が見える | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 55 | | | | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 1(中央、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明) | 104×80 | ・石垣、桶、導水管ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 56 | | | | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | v-1　17(中央、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明) | 130×109 | ・澁澤敬三、墓前ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 57 | | | | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 15(中央やや右上、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>252-1　女(中央、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明) | 137×100 | ・澁澤敬三、墓前ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 58 | | | | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 26.3-16(中央、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>40.2(中央、丸で囲み字、台紙に貼り付けてあるため | 108×153 | ・民具調査の様子ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 59 | | | | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 4(右上、丸で囲み字、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>08(左下、丸で囲み字、台紙に貼り付けてあるため筆記具不明)<br>(その他、マークのようなものあり) | 103×158 | ・日の丸行列 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 60 | | | | | × | × | | | 115×176 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 61 | | | | | × | × | | レ(左下、鉛筆、チェック印ヵ) | 117×80 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 7 | 62 | 香川県 | | | 福武丸と瀬戸内海島嶼調査団一行 | 第三福武丸と共に。 昭12, 5月(中央) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 記載なし(書籍を切り抜いたもののため) | 96×132 | ・柏葉拾遺切り抜き、265番の写真<br>・都道府県・国は「香川・岡山・愛媛」 | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』 アチック・ミューゼアムノート第17口絵「福武丸と一行」 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日引用・使用媒体 | 香川・岡山・愛媛引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 7 | 63 | | | | | 谷口さんの遺書の封筒(中央) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 記載なし(書籍を切り抜いたもののため) | 132×67 | ・柏葉拾遺切り抜き | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日引用・使用媒体 | 香川・岡山・愛媛引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 7 | 64 | | | | | 2992(右上、ナンバリング、青インク)<br>[備考] 昭和十一年八月(中央やや右下、「備考」は青スタンプ)<br>金子総平氏撮影(中央やや下、鉛筆)<br>大桃ノ鮭〈鱒〉網(中央やや下、鉛筆)<br>(アチック.マンスリー　参照)(中央やや下、鉛筆) | 罫線紙、4穴、透かしは「ESPARTO」「SUPERFINE」、馬の透かし、「VICTORY」 | 257×206 | | | ・写真なし、台紙のみ | | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～昭和12年(1937年)5月20日 | | 有 |
| 河1 | 30 | 8 | 1 | 山形県 | | | 新考案の編網機を持つ松森胤保 | 松森胤保。明治二四年十二月、〈■〉逝くなる前年〈■〉六十六歳・八ヶ月の時の像。手に持つは新考案の編網機。 | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 252×184 | 記載なし | 115×67 | ・本資料は澁澤敬三『東北犬歩当棒録』口絵写真の切り抜き、口絵キャプションの「新考案の編網機を持つ」にペンで消去線が引いてある | 『東北犬歩当棒録』口絵「胤保とそのスケッチ　新考案の編網機を持つ」 | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 8 | 2-1 | 山形県 | | | 松森翁筆『両羽博物図譜』飛虫図譜　蜻蛉部「変葡萄虫種」 | 7(赤鉛筆)<br>松森翁筆写。<br>21,8,(赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 100×72 | ・河1-30-8-2-1～4はホチキス留めされていた<br>・写真右の台紙上に剥がし跡あり<br>・本資料は澁澤敬三『東北犬歩当棒録』口絵写真掲載のため、準備したものと考えられる、台紙右側には写真がはがされたあとがあるが、ここには口絵掲載の写真が貼ってあったと考えられる<br>・資料の同定は酒田市立図書館ホームページ公開の「両羽博物図譜の世界」による | | 酒田市立図書館 | | 松森胤保『両羽博物図譜』飛虫図譜　蜻蛉部「変葡萄虫種」55丁裏 | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 8 | 2-2 | 山形県 | | | 松森翁筆『両羽博物図譜』魚類図譜川魚部 | 7(赤鉛筆)<br>同前。<br>21,8(赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 101×74 | ・河1-30-8-2-1～4はホチキス留めされていた<br>・写真左の台紙上に剥がし跡あり<br>・本資料は澁澤敬三『東北犬歩当棒録』口絵写真掲載のため、準備したものと考えられる、台紙右側には写真がはがされたあとがあるが、ここには口絵掲載の写真が貼ってあったと考えられる<br>・資料の同定は酒田市立図書館ホームページ公開の「両羽博物図譜の世界」による | | 酒田市立図書館 | | 松森胤保『両羽博物図譜』魚類図譜川魚部13丁表 | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 8 | 2-3 | 山形県 | | | 松森翁筆『両羽博物図譜』禽類図譜鶫椋部(真鶫属) | 7(赤鉛筆)<br>同前。<br>21,8(赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 100×72 | ・河1-30-8-2-1～4はホチキス留めされていた<br>・河1-30-8-2-3、4は同じ台紙に貼られている<br>・本資料は澁澤敬三『東北犬歩当棒録』口絵写真掲載のため、準備したものと考えられる<br>・資料の同定は酒田市立図書館ホームページ公開の「両羽博物図譜の世界」による | | 酒田市立図書館 | | 松森胤保『両羽博物図譜』魚類図譜川魚部20丁表 | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 8 | 2-4 | 山形県 | | | 松森翁筆写図 | 7(赤鉛筆)<br>同前。<br>21,8(赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 101×73 | ・河1-30-8-2-1～4はホチキス留めされていた<br>・河1-30-8-2-3、4は同じ台紙に貼られている<br>・本資料は澁澤敬三『東北犬歩当棒録』口絵写真掲載のため、準備したものと考えられる<br>・酒田市立図書館ホームページ公開の「両羽博物図譜の世界」によれば、資料被写体中に「明治二十一年二月三日」とあり、「力源之一法」とあることから本資料に写るのは松森胤保「南郊開物径歴」「開物奨励」「南郊意匠開物」のいづれかと考えられる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 9 | 1 | 台湾 | ア-117-3-1-1 | 【表面】<br>No.96(青ペン、右)<br>故石黒さんの写っているネガ(縦書、右)<br>5[月]30[日](青ペン、右)<br>澁澤[様](青ペン、中央)<br>【裏面】<br>[Size]カビネ(中央)<br>[御預リ原板]3[枚](中央)<br>[引伸]各2 6[枚]<br>[仕上]〈□〉[月]〈3〉[日](中央) | 庭園にて後藤文夫民政長官(左)、農林省農務局長石黒忠篤(右)の記念撮影(民政長官官邸ヵ) | × | × | | 記載なし | 111×116 | ・河1-30-9-1～3は河1-30-9-1-4の封筒に入っていた<br>・本資料はアルバム前後の資料から台湾総督府後藤文夫民政長官官邸の庭園における撮影の可能性が高いが特定に至らないため推定、澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.17によると、石黒忠篤など同行しているが、撮影者の推定は不能<br>・撮影日時・撮影地域は推定に基づき同書およびア117-2-1-2による | | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)4月22日～備考参照 | 台湾(台湾総督府民政長官官邸)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 9 | 2 | 台湾 | ア-116-5-1-2 | 【表面】<br>No.96(青ペン、右)<br>故石黒さんの写っているネガ(縦書、右)<br>5[月]30[日](青ペン、右)<br>澁澤[様](青ペン、中央)<br>【裏面】<br>[Size]カビネ(中央)<br>[御預リ原板]3[枚](中央)<br>[引伸]各2 6[枚]<br>[仕上]〈□〉[月]〈3〉[日](中央) | 草山貴賓館洋館ベランダにて記念撮影(井野碩哉と後藤文夫ヵ) | × | × | | 記載なし | 85×113 | ・河1-30-9-1～3は河1-30-9-1-4の封筒に入っていた<br>・澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、澁澤の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行しているが、撮影者の推定は不能<br>・撮影日時・撮影地域は同書p77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 9 | 3 | 台湾 | ア-116-5-1-1 | 【表面】<br>No.96(青ペン、右)<br>故石黒さんの写っているネガ(縦書、右)<br>5[月]30[日](青ペン、右)<br>澁澤[様](青ペン、中央)<br>【裏面】<br>[Size]カビネ(中央)<br>[御預リ原板]3[枚](中央)<br>[引伸]各2 6[枚]<br>[仕上]〈□〉[月]〈3〉[日](中央) | 草山貴賓館洋館ベランダにて記念撮影(澁澤敬三と後藤文夫ヵ) | × | × | | 記載なし | 85×114 | ・河1-30-9-1～3は河1-30-9-1-4の封筒に入っていた<br>・澁澤敬三「南島見聞録」(『祭魚洞雑録』)p.32によると、澁澤の他、石黒忠篤、井野碩哉、大塚健治、今川渕、小野氏、石崎氏が同行しているが、撮影者の推定は不能<br>・撮影日時・撮影地域は同書p77により、草山貴賓館(現草山御賓館) | | | | | | | | | 不明 | 大正15年(1926年)5月1日～備考参照 | 台湾(草山貴賓館)備考参照 | |
| 河1 | 30 | 9 | 4 | 台湾 | | 【表面】<br>No.96(青ペン、右)<br>故石黒さんの写っているネガ(縦書、右)<br>5[月]30[日](青ペン、右)<br>澁澤[様](青ペン、中央)<br>【裏面】<br>[Size]カビネ(中央)<br>[御預リ原板]3[枚](中央)<br>[引伸]各2 6[枚]<br>[仕上]〈□〉[月]〈3〉[日](中央) | 茶封筒 | × | × | | | | ・河1-30-9-1～3を入れていた封筒<br>・麻布区三河台町電車停留所前の新宮館という写真館の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 10 | 1 | | | | | 9(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 15(中央、赤鉛筆) | 83×120 | ・河1-30-10-1～4はホチキス留めされていた<br>・ライオン | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 10 | 2 | | | | | 9(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 15(中央、赤鉛筆) | 82×120 | ・河1-30-10-1～4はホチキス留めされていた<br>・ペンギン | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 10 | 3 | | | | | 9(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 15(中央、赤鉛筆) | 82×120 | ・河1-30-10-1～4はホチキス留めされていた<br>・カバ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 10 | 4 | | | | | 9(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 15(中央、赤鉛筆) | 82×120 | ・河1-30-10-1～4はホチキス留めされていた<br>・シカ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 1 | 岡山県 | ア-78-5<br>河1-29-6 | | 味野町荻野正孝邸前での記念写真 | × | × | | 記載なし | 77×101 | | 『瀬戸内海島嶼巡訪日記』 アチック・ミューゼアムノート第17口絵「味野荻野氏邸前にて」『東北犬歩当棒録』「味野萩野邸前勢ぞろい」『柏葉拾遺』「瀬戸内海巡航団 味野萩野邸にて 昭和12.5」 | | | | | | | | 不明 | 昭和12年(1937年)5月16日～引用・使用媒体 | 味野町荻野正孝邸引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 11 | 2 | | | | 草葺きの家屋の前に立つ六人の少年 | × | × | | 野嵜中学(左、ペン) | 111×152 | ・草葺きの家屋の前に少年が六人立っている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 3 | 三重県 | | | 鳥羽多徳島へ向かう桐英会一行の記念写真 | × | × | | 記載なし | 79×112 | ・撮影日時は『犬歩当棒録』p.496による<br>・同書より写っているのは左から清水康雄、正田英一郎、大友恒夫、佐分利一武、今村信吉、石黒忠篤、木内信胤、石黒夫人、長村貞一、池田夫人、御木本美隆 | 『犬歩当棒録』p496「多徳島へ。桐英会一行(昭和27年11月)。左より清水康雄、正田英一郎、大友恒夫、佐分利一武、今村信吉、石黒忠篤、木内信胤、石黒夫人、長村貞一、池田夫人、御木本美隆」 | | | | | | | | | 昭和27年(1952年)11月10日～引用・使用媒体 | 鳥羽引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 11 | 4 | アメリカ | | | ハワイ大学にてテスター博士とヴァンガンプ氏の写真 | × | × | | 記載なし | 77×111 | | 『犬歩当棒録』p557「ハワイ大学にて テスター博士、ヴァンガンプ氏(左 この方は日本語—漢字も—が読めるので日本の分権の重要部分は彼によち概ね訳出されている)」 | | | | | | | | | 昭和31年(1956年)11月～引用・使用媒体 | ハワイ大学引用・使用媒体 | |
| 河1 | 30 | 11 | 5 | イスラエル | | | イエルサレムの街 | × | × | | イエルサレムの街(鉛筆、左上) | 71×101 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 6 | | | | 石造りのモスク | × | × | | 記載なし | 102×70 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 7 | | | | 石造りのモスク | × | × | | 記載なし | 102×72 | ・河1-30-11-6に写っているモスクの一部を拡大して撮影したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 8 | ジョルダン | | | ジョルダン川のほとりで煙草を吸う渋沢敬三 | × | × | | 記載なし | 102×71 | ・後ろに葉葺き屋根の小屋があり、柱には十字が書かれている<br>・『犬歩当棒録』p.541に本資料と同じ地形や植物が写った写真があるため、撮影者・場所・日時はこれによった | 『犬歩当棒録』p541「上 ジョルダン川のほとり アルメニアから脱出の案内人と(古内大使作、昭和三〇年一一月) | | | | | | | | 古内大使 | 昭和30年(1955年)11月～昭和30年(1955年)11月<br>引用・使用媒体<br>備考参照 | ジョルダン川引用・使用媒体<br>備考参照 | |
| 河1 | 30 | 11 | 9 | | | | 背広姿の日本人男性6人の集合写真 | × | × | | 記載なし | 87×130 | ・建物の出入り口での集合写真<br>・一番左に立っているのは佐島敬愛 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 10 | | | | 飛行機から撮影した雲と海 | × | × | | 記載なし | 87×128 | ・資料左に写っているのは飛行機の主翼ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 11 | ラホイヤ | | | ラホイヤにてラヴェール博士及び魚類学者との中食会 | × | × | | 記載なし | 78×112 | ・『犬歩当棒録』p.556にこの中食会を別のアングルから撮影したと思われる写真が載っており、題名・撮影場所はこれによった<br>・同書p.549よりラホイヤには11月8日に到着している | 『犬歩当棒録』p556「中 ラホイヤ ラヴェール博士招待。主として魚類学者と中食会(昭和三一年一一月) | | | | | | | | | 昭和31年(1956年)11月8日～昭和31年(1956年)11月8日『犬歩当棒録』p.549<br>備考参照 | ラホイヤ『犬歩当棒録』p.556<br>備考参照 | |
| 河1 | 30 | 11 | 12 | ブラジル | | | サンパウロにて鐘紡の紡績工場を見学する敬三ら一行 | × | × | | 一九五七年11月卅一日(右)<br>鐘紡工場にて(右)<br>パウリスタ新聞社(左)<br>河野寛(左)<br>[YUTAKA KONO][JORNAL PAULISTA](中央、赤スタンプ)<br>KANEBO(下)<br>Sai jose des cawpos(下)<br>Sai paulo(E.F.C.B)(下) | 91×121 | ・『渋沢敬三著作集第4巻』「南米通信」p.63に「市内にある東洋紡も郊外に新設した鐘紡も見せていただいた」と書かれている事から、その際に撮られた写真だと推測される<br>・台紙には11月と記載されているが、同書より8月30日サンパウロ着、ホテル・ジカラグア泊の後、翌日31日に鐘紡を訪問している事から撮影日時はこれによった | | | | | | | | | 河野寛 | 昭和32年(1957年)8月31日～昭和32年(1957年)8月31日備考参照 | サンパウロ写真記載 | |
| 河1 | 30 | 11 | 13 | ブラジル | | | サンパウロにて紡績工場を見学する敬三ら一行 | × | × | | 一九五七年11月卅一日(右)<br>サンパウロ州中央口(右)<br>サン・ジョゼー・ドス・カンポス(右)<br>市郊外(右)<br>鐘紡工場にて(右)<br>「右より」(左)<br>堀江取締役(左)<br>渋沢大使(左)<br>磯野総領事(左)<br>近満社長(左)<br>パウリスタ新聞社(左)<br>河野寛(左)<br>[YUTAKA KONO][JORNAL PAULISTA](中央、赤スタンプ) | 90×121 | ・『渋沢敬三著作集第4巻』「南米通信」p.63に「市内にある東洋紡も郊外に新設した鐘紡も見せていただいた」と書かれている事から、その際に撮られた写真だと推測される<br>・台紙には11月と記載されているが、同書より8月30日サンパウロ着、ホテル・ジカラグア泊の後、翌日31日に鐘紡を訪問している事から撮影日時はこれによった | | | | | | | | | 河野寛 | 昭和32年(1957年)8月31日～昭和32年(1957年)8月31日備考参照 | サンパウロ写真記載 | |
| 河1 | 30 | 11 | 14 | スイス | | | アントロポス研究所前での渋沢敬三と佐島敬愛 | × | × | | 記載なし | 121×88 | ・『犬歩当棒録』p.517に同じ場所で渋沢敬三、佐島敬愛、ボルネーマン博士らと撮影した写真があるため、撮影場所・日時はこれによった | 『犬歩当棒録』p517「フリーブルグ アントロポス研究所。左端ボルネーマン博士」 | | | | | | | | | 昭和29年(1954年)10月～引用・使用媒体<br>備考参照 | フリーブルグ引用・使用媒体<br>備考参照 | |
| 河1 | 30 | 11 | 15 | | | | 船上の渋沢敬三と青年 | × | × | | ブ5(左、鉛筆) | 75×57 | ・大型船の甲板で撮影されている<br>・隣の青年については詳細不明 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 16 | | | | 船上からのとある火山の遠 | × | × | | 記載なし | 79×111 | ・石造の家屋や窓の大きい家屋が見られることから国外で撮影されたものヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 17 | 宮城県 | | | 樗牛冥想の松の石碑 | × | × | | 59(中央、鉛筆) | 82×114 | ・題名は石碑による<br>・旧制二高の構内にあった土井晩翠の歌碑。『東北犬歩当棒録』p.115に旧制二高の石碑に関する記述があり、撮影地はこれによった | | | | | | | | | | | 宮城県仙台市旧制第二高等学校備考参照 | |
| 河1 | 30 | 11 | 18 | | | | 高台から撮影した漁の様子 | × | × | | 記載なし | 78×114 | ・左手前に穂が出たススキが見られることから、秋頃撮影されたものヵ<br>・右手前に石垣のようなものが見られる<br>・海には漁をする漁船の様子が見られる | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 19 | | | | 飛行機から撮影した雪山 | × | × | | 記載なし | 87×130 | ・撮影されている雪山はアルプス山脈ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 11 | 20 | 香港 | | | 香港にてヴィクトリア・ピークから撮影した市街地 | × | × | | 1～8(中央、鉛筆)<br>香港(中央やや下、鉛筆)<br>Peakより(中央やや下、鉛筆) | 81×118 | ・「Peak」とはヴィクトリア・ピークのこと | | | | | | | | | | | 香港ヴィクトリア・ピーク台紙記載<br>備考参照 | |

| 目録番号 | | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 12 | 1 | | 富山県 | | | 天然記念物ホタル鳥賊絵はがき | × | × | | | 90×141 | ・題名は葉書のキャプションによる<br>・3杯のホタルイカが並べられている。表面：[天然記念物ホタル鳥賊（魚津名物）]、裏面：[郵便はがき]、[CARTE POSTALE UNION POSTALE UNIVERSELLE]<br>・通信面に貼られていた跡あり<br>・通信欄半分、通信面上部「はがき」から昭和8年以降の私製絵葉書（「絵葉書通信欄による年代測定」参照） | | | | | | | | 不明 | 昭和8年～備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 12 | 2 | | 富山県 | | | 魚津埋没林の絵はがき | × | × | | | 90×141 | ・題名は葉書のキャプションから<br>・埋没林の上に座る男性2人、右側の埋没林にはロープが掛けられており、そのロープは岸に立てられた棒に繋がっている。岸には大勢の人間がいる<br>・表面：[魚津埋没林]、裏面：[郵便はがき]、[CARTE POSTALE UNION POSTALE UNIVERSELLE]<br>・通信面に貼られていた跡あり<br>・通信欄半分、通信面上部「はがき」から昭和8年以降の私製絵葉書（「絵葉書通信欄による年代測定」参照）<br>・魚津の埋没林は富山県魚津市釈迦堂にあり、昭和30年に特別天然記念物に指定されている | | | | | | | | 不明 | 昭和8年～備考参照 | 不明 | |
| 河1 | 30 | 12 | 3 | | デンマーク | | | 海外の古い犂の絵はがき | × | × | | | 105×141 | ・2種類の犂と壁画が展示された図案。壁には2頭の動物で犂を引き耕作する様子のレリーフが飾られる。その下には壁に掛けられた犂、底には大型の犂が置かれている。この犂は2輪の台車に針金で固定されている<br>・宛名面には「LANDBRUG MUSEET,SORGENFRI　B 5.D□□ke oldtidsplowe(rekonstruktion)」はデンマーク語で「農業博物館　古い犂（改造）」の意であるが、所々破れがあるため読めない<br>・通信面に貼られていた跡あり | | | | | | | | 不明 | | | |
| 河1 | 30 | 13 | 1 | | | | | 滝沢[様] | 滝澤敬三証明用写真 | × | × | | 記載なし | 65×55 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 13 | 2 | | | | | 滝沢[様] | 封筒 | × | × | | | | ・河1-30 -13-1の資料が入っていた封筒 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 14 | 1 | | | | | | | × | × | | 6(左上、丸で囲み字、鉛筆) | 111×154 | ・河1-30-14-4の台紙に挟まっていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 14 | 2 | | | | | | | × | × | | 5(左上、丸で囲み字、鉛筆) | 155×110 | ・河1-30-14-4の台紙に挟まっていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 14 | 3 | | | | | | | × | × | | 7(左上、丸で囲み字、鉛筆) | 110×155 | ・河1-30-14-4の台紙に挟まっていた | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 14 | 4 | | | | | | | × | × | | | 178×130 | ・河1-30-14-1～3の資料を挟んでいた、178×130 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 15 | 1 | | 青森県 | 河1-30-15-2 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の十一面観音 | × | × | | | 130×89 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>丈　1尺9寸(中央)<br>台座　3寸(中央) | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢関連目録番号資料 | |
| 河1 | 30 | 15 | 2 | | 青森県 | 河1-30-15-1 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の十一面観音 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 130×92 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 3 | | 青森県 | 河1-30-15-4 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の阿弥陀像 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 130×93 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名は河1-30-15-16による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 4 | | 青森県 | 河1-30-15-3 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の阿弥陀像 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 131×90 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名は河1-30-15-16による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 5 | | 青森県 | 河1-30-15-6 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の観音像 | × | × | | 小観音像(中央)<br>丈　1尺5寸(中央)<br>台座　2寸5分(中央) | 130×92 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢関連目録番号資料 | |
| 河1 | 30 | 15 | 6 | | 青森県 | 河1-30-15-5 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の観音像 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 130×92 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名・撮影地域は関連目録番号資料による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 7 | | 青森県 | 河1-30-15-8 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の恵比寿様・大黒様 | × | × | | えびす大黒様(中央) | 94×130 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名・撮影地域は関連目録番号資料による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢関連目録番号資料 | |
| 河1 | 30 | 15 | 8 | | 青森県 | 河1-30-15-7 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の恵比寿様・大黒様 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 94×130 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 9 | | 青森県 | 河1-30-15-10 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の稲荷神像 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 130×93 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 10 | | 青森県 | 河1-30-15-9 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の稲荷神像 | × | × | | 稲荷神像(中央)<br>丈　1尺1寸(中央)<br>台座　1寸(中央)<br>円光　7寸5分(中央) | 130×94 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名・撮影地域は関連目録番号資料による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢関連目録番号資料 | |
| 河1 | 30 | 15 | 11 | | 青森県 | 河1-30-15-12 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の地蔵像 | × | × | | 青森県上北郡甲地村塔の沢(鉛筆、縦書)<br>山田善蔵　家蔵(鉛筆、縦書) | 130×90 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢写真資料記載 | |
| 河1 | 30 | 15 | 12 | | 青森県 | 河1-30-15-11 | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県上北郡甲地村塔の沢の山田家蔵の円空作の地蔵像 | × | × | | 地蔵様(中央)<br>丈　1尺2寸(中央)<br>台座　7寸(中央) | 130×90 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・題名・撮影地域は関連目録番号資料による | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県上北郡甲地村塔の沢関連目録番号資料 | |
| 河1 | 30 | 15 | 13 | | 青森県 | | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県下北郡佐井村長福寺の円空作の十一面観音像 | × | × | | 下北　佐井(縦書) | 76×114 | ・表面にキャプション「蓮谷」の貼付あり<br>・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・像容、写真資料記載から青森県下北郡佐井村長福寺の円空十一面観音とみられ、題名・撮影地はこれによる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県下北郡佐井村備考参照 | |
| 河1 | 30 | 15 | 14 | | 青森県 | | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 青森県下北郡佐井村長福寺の円空作の十一面観音像 | × | × | | 下北　佐井(縦書) | 115×75 | ・河1-30-15-17の封筒に入っていた<br>・像容、写真資料記載から青森県下北郡佐井村長福寺の円空十一面観音とみられ、題名・撮影地はこれによる | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 青森県下北郡佐井村備考参照 | |
| 河1 | 30 | 15 | 15 | | | | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 上北郡甲地村山田家蔵の円空仏についての由緒書 | × | × | | | | ・青森県上北郡甲地村塔ノ沢、山田善蔵家の仏像についての手紙<br>・「三宣荘」の便箋、252×174、4枚ホチキス留め | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 15 | 16 | | | | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 上北郡甲地村山田家蔵の円空仏についての由緒書 | × | × | | | | ・河1-30-15-15の資料をタイプで起こしたもの<br>・十和田観光電鉄株式会社の用紙、251×177、二つ折りにしたものを3枚紙綴り綴じ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 15 | 17 | | | | 三沢市中央通り二丁目（縦書）<br>公営住宅第二号（縦書）<br>円空上人作　佐井村/甲地村（縦書、口囲み）<br>中道等殿（縦書）<br>杉本社長へ　渡すこと　中道生（赤ペン、縦書） | 封筒 | × | × | | | 171×121 | ・河1-30-15-1～14の資料を挟んでいた<br>・青森県教育庁の封筒 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 16 | 1 | | | | 滝澤先生　写真四枚在中　飛田生(縦書、中央) | | × | × | | 口稿(中央)<br>バタヤ街(中央)<br>34(3)、10、(中央、これのみ横書き)<br>飛田東山(中央)<br>贈呈(中央)<br>渋沢先生(中央) | 138×211 | ・河1-30-16-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 16 | 2 | | | | 滝澤先生　写真四枚在中　飛田生(縦書、中央) | | × | × | | 昭和三十四年十月　五十五才(中央、ペン)<br>飛田口造(中央、ペン)<br>贈呈(中央、ペン)<br>渋沢先生(中央、ペン) | 241×164 | ・河1-30-16-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 16 | 3 | | | | 滝澤先生　写真四枚在中　飛田生(縦書、中央) | | × | × | | 昭和三十四年十月　五十五才(中央)<br>飛田口造(中央)<br>贈呈(中央)<br>渋沢先生(中央) | 277×196 | ・河1-30-16-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 30 | 16 | 4 | | | 澁澤先生 写真四枚在中 飛田生(縦書、中央) | | × | × | | おはずかしき□□や御□□(右)<br>昭和三十四年十月 五十五才(中央)<br>飛田□造(中央)<br>贈呈(中央)<br>渋沢先生(左) | 160×98 | ·河1-30-16-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 16 | 5 | | | 澁澤先生 写真四枚在中 飛田生(縦書、中央) | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 昭和三十四年十月(中央)<br>飛田生(中央) | 157×101 | ·河1-30-16-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 16 | 6 | | | 澁澤先生 写真四枚在中 飛田生(縦書、中央) | 封筒 | × | × | | | 373×238 | ·光村原色版印刷所の封筒、373×238 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 17 | 1 | | | | 京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑 | × | × | | 記載なし | 213×274 | ·右下に「TENKO.MURAKAMI.KEIJO」のエンボスあり、撮影者ヵ<br>·澁澤敬三『犬歩当棒録』pp.432-434によると京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑は昭和8年12月に除幕式を行っており、撮影年月日はこれ以降となり、撮影地域もこれによる | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)12月～不明備考参照 | 京城奨忠壇備考参照 | |
| 河1 | 30 | 17 | 2 | | | | 京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑 | × | × | | 記載なし | 213×273 | ·右下に「TENKO.MURAKAMI.KEIJO」のエンボスあり、撮影者ヵ<br>·澁澤敬三『犬歩当棒録』pp.432-434によると京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑は昭和8年12月に除幕式を行っており、撮影年月日はこれ以降となり、撮影地域もこれによる | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)12月～不明備考参照 | 京城奨忠壇備考参照 | |
| 河1 | 30 | 17 | 3 | | | | 京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑 | × | × | | 記載なし | 213×273 | ·右下に「TENKO.MURAKAMI.KEIJO」のエンボスあり、撮影者ヵ<br>·澁澤敬三『犬歩当棒録』pp.432-434によると京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑は昭和8年12月に除幕式を行っており、撮影年月日はこれ以降となり、撮影地域もこれによる | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)12月～不明備考参照 | 京城奨忠壇備考参照 | |
| 河1 | 30 | 17 | 4 | | | | 京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑 | × | × | | 記載なし | 214×258 | ·右下に「TENKO.MURAKAMI.KEIJO」のエンボスあり、撮影者ヵ<br>·澁澤敬三『犬歩当棒録』pp.432-434によると京城奨忠壇の澁澤青淵翁頌徳碑は昭和8年12月に除幕式を行っており、撮影年月日はこれ以降となり、撮影地域もこれによる | | | | | | | | | 不明 | 昭和8年(1933年)12月～不明備考参照 | 京城奨忠壇備考参照 | |
| 河1 | 30 | 18 | | | | | 屏風に描かれた書の筆写 | × | × | | | 178×249 | ·10字×20字の原稿用紙、178×249、4枚<br>·写真は河1－30－20にあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 1 | | | | | × | × | | 31(やや左下、鉛筆) | 86×125 | ·河1-30-19-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 2 | | | | | × | × | | 31(やや右下、鉛筆) | 86×123 | ·河1-30-19-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 3 | | | | | × | × | | 9(やや左下、鉛筆)<br>33(左、鉛筆) | 85×126 | ·河1-30-19-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 4 | | | | | × | × | | 31(右、鉛筆) | 86×125 | ·河1-30-19-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 5 | | | | | × | × | | | 166×218 | ·河1-30-19-6の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 19 | 6 | | | | 封筒 | × | × | | | | ·河1-30-19-1～5の資料が入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 1 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 127×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 2 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 126×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 3 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 126×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 4 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 126×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 5 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 126×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 6 | | | | 屏風書 | × | × | | 記載なし | 126×85 | ·河1-30-18に釈文あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 20 | 7 | | | | 包紙 | × | × | | | 90×137 | ·90×137(畳んだ状態で) | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 21 | | 青森県 | | | 十一面観音が県重宝に指定された報や十和田湖·青森などに関する新聞スクラップ | →■報(青インク、縦書)<br>148<br>149 | × | | | | 台紙下部の「148」「149」はページ番号か<br>·記事見出しは以下の通り<br>「リンゴ十和田ワンダフル」年代·掲載誌不明<br>「ボートが転覆 十和田湖」昭和34年9月14日·東奥(本)<br>「過失致死で取調べ」昭和34年9月15日·読売<br>「『県重宝』に十一面観音」昭和34年9月13日·産経<br>「川崎京成電鉄社長が近く現地を視察」昭和34年9月13日·東奥(本)<br>「少女ひかれ危篤」昭和34年8月12日·東奥夕(本)<br>「バスにひかれ小学生即死」昭和34年9月14日·読売(県)<br>「少年トラックにひかれ即死 八戸で交通事故二つ」昭和34年9月14日·デーリー東北<br>·都道府県·国は「青森·岩手」 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 22 | 1 | | | リデル(縦書、右上) | 封筒「リデル」 | × | × | | | 200×120 | ·200×120 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 22 | 2 | | | 澁澤會長様 御写真(縦書、中央) | 封筒(「澁澤會長様 御写 | × | × | | | 160×110 | ·160×110 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 22 | 3 | | | □□4005(青ナンバリング、右上)<br>椎名様(中央)<br>手札8(中央)<br>P□18(中央) | 封筒(「椎名様」【博多大丸8㎜シネの封筒】) | × | × | | | 174×102 | ·174×102 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 30 | 23 | | | | | 魚名□(段ボール箱、世界大百科事典 限定版 11 平凡社の箱を流用) | × | × | | | | ·[世界大百科事典を薦める会]の料金別納郵便の宛名札あり、宛名は「千代田(中央)区大手町一ノ五 国際電電公社 秘書課 工藤様」<br>·宛名札の上に青鉛筆で「魚名の分」 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 31 | 1 | | | | 民具説明手紙(昭和九年頃)(墨書、縦書、中央)<br>ネゴダ(左上、横書、ペン) | 「民具説明」(書簡類綴) | 昭和(■)八年七月五日付 早川孝太郎氏宛(赤ペン、縦書、右)<br>(以下、手紙文、縦書、用紙全体)<br>暑くなりました。其の後お変わりなくお活動の御事とご遠察いたし<br>ます。過日は色々御配慮を得して誠に有難う御座いました。<br>別送にて二三の採集物を一先づ御目にかけます。お受取下され<br>ば幸に存じます。<br>一、オミキスズ<br>これは今年の四月出雲に旅行いたしまして船通山の麓鳥0上村<br>の或るカンナゴヤで採集いたしたものです。<br>カンナゴヤと称するのは<br>カンナ(鉄穴と漢字を当てます。砂鉄採取場です)にしつらへ<br>た小屋で此処にカンナヂ(鉄穴翁、砂を<br>掘る人夫)が寝泊まりするのです。淋しい<br>山中の一軒〈家〉屋です。彼等は此処で<br>カナヤコサンを信仰して生活してゐる<br>(手紙文ここまで)<br>[No.]1.(ペン、右上)<br>[ISOGAI-I.](中央下)<br>カンナゴヤ(左下、縦書、ペン) | 「ISOGAI.I」のロゴのある用箋 | | | | ·「民具説明」の題箋が貼られた二つ折りの厚紙に、書簡、報告書16部綴り、題箋右下に「済」(丸で囲み字)の朱印あり<br>·綴られているものは次の通り、昭和8年7月5日付磯貝勇発早川孝太郎宛採集物報告(カンナゴヤの写真1点貼付)封筒有り、「民俗研究資料蒐集品目録 岩手県雫石地方」厚紙に挟んである、(昭和八年)10月15日付田中喜多美発村上清文宛資料送付について説明した葉書、昭和8年12月20日付佐藤金治郎発澁澤宛ミヅの餅の件について回答したとの手紙、昭和8年10月24日付新潟県中頸城郡黒川村の「湯とう」について箱山貴左郎の報告、昭和8年12月付新潟県中頸城郡桑取村の竹輪の製作や保存について高橋道隆の報告とその添状と封筒、昭和9年1月25日付田中喜多美の「ワラシナゴキ」報告、昭和9年2月10日付秋田県雄勝郡湯澤より松脂ローソクについて報告と実物送付連絡の葉書とその追伸、昭和9年3月13日秋田県仙北郡雲澤村より寄贈民具の目録、櫻田〈早川〉氏解説、昭和9年3月12日付九大原稿用紙に採集民具の目録、2月18日付磯貝勇発高橋文太郎宛報告書、石坂仙太郎氏寄贈土俗品解説<br>·河1-31-4の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 31 | 2 | | | | 民具説明手紙(昭和九年頃)(墨書、縦書、中央)<br>ネゴダ(左上、横書、ペン) | 書簡類 | × | × | | | | ·群馬県館林の高橋新之助よりの報告書と書簡<br>·河1-31-4の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 31 | 3 | | | | 民具説明手紙(昭和九年頃)(墨書、縦書、中央)<br>ネゴダ(左上、横書、ペン) | 福島県若松市会津銀行よりの民具目録 | × | × | | | | ·福島県若松市会津銀行よりの民具目録<br>·河1-31-4の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 31 | 4 | | | | 民具説明手紙(昭和九年頃)(墨書、縦書、中央)<br>ネゴダ(左上、横書、ペン) | 封筒 | × | × | | | | ·河1-31-4の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 1 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 原稿(テショカゴ) | × | × | | | | ·河1-32-10の封筒に入っていた<br>·テショカゴについてのメモ、イラスト、実測図など、8点<br>·東京文房具堂原稿用紙、祭魚洞書屋原稿用紙の切れ端などを使用 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 2 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 原稿(竹籠など) | × | × | | | | ·河1-32-10の封筒に入っていた<br>·山形県館海郡飛鳥村の竹籠、海苔摘籠についてのイラスト、解説文、及び飛鳥図志など刊行物からの筆写と思われるメモ<br>·25点、うち、筆写と思われるメモ22点 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 3 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 採集データ「かいなわ及びしかた) | × | × | | | | ·東京文房堂原稿用紙2枚<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 4 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 民俗図集原稿ヵ | × | × | | | | ·民俗図集原稿用紙11枚、資料名、採集者、採集年月、収蔵年月、採集地は記入されているが、写真等は貼られていない、分類の記入があるものもあり、いずれも収蔵者は「A.M.」<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 5 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 原稿等(テゴについて) | × | × | | [67](左上、頁番号)<br>[運搬用具の採集(高橋)](左、縦書、キャプション)<br>テゴ着用図(参考図)(右、縦書)<br>[第二図·ヘナカアテを著けテゴを背負ふ女·越後岩船郡粟嶋浦村内浦](左、縦書、キャプション) | | ·テゴに関するメモ、イラスト6枚、民俗図集原稿用紙「テゴ」1枚<br>·写真は刊行物切り抜き、ただし、どこから切り抜いた物かは不明('09.12.09現在)<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 6 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 原稿(シカタ、カイナワについて) | × | × | | | | ·シカタ、カイナワに関する原稿、3枚<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 7 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | ハチ | × | × | | | | ·「はち」の情報が記入された民俗図集原稿用紙1枚、「不要(測未·参考抄文ノミ)(15)14通」と描かれたメモ1枚が付属している<br>·題名は付属の原稿用紙、及び被写体から<br>·写真はクリップで原稿用紙に留められていたのでクリップは外し、写真とメモで別のPPの袋に収納<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 8 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | スネアテ | × | × | | 仙岩峠にて(鉛筆、縦書、中央) | | ·無記入の民俗図集原稿用紙、「1891 スネアテ」の計測値のメモ、「1891 スネアテ」の編み目の実測図、各1枚<br>·題名は付属の原稿用紙、及び被写体から<br>·写真はクリップで原稿用紙に留められていたのでクリップは外し、写真とメモで別のPPの袋に収納<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 9 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | 原稿(ユキゲタ) | × | × | | | | ·ユキゲタに関するメモ2枚、「2664 ユキゲタ」の測定値が描かれたメモ1枚(三省堂特製原稿用紙の紙片)、民俗図集原稿用紙「ゆきげた」1枚<br>·河1-32-10の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 32 | 10 | | | | 民具図集?(中央、縦書、墨書)<br><農業用具 件数40>(左上、ペン、件数40は赤ペン、横書)<br>ぜにかご。(左上、鉛筆) | テショカゴの参考図スケッチ並びに参考説明、版下ヵ | × | × | | | | ·河1-32-1～9の資料を入れていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 1 | | | 【封筒1】<br>瞬間·計画(フェルトペン、縦書、右) | | 韮山 反射炉。明治41年.8月。篤二作(中央やや左)<br>両方見える(中央やや左、鉛筆)<br>□を採用(中央やや左、鉛筆) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 248－16〈20〉(中央、台紙に貼り付けられているため筆記具は不詳) | 107×77 | ·【封筒1】【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 2 | | | 【封筒1】<br>瞬間·計画(フェルトペン、縦書、右) | | 仙台米ヶ袋町 木田寮。元デニング先生邸。(下)<br>大正5. 作者不詳。(下)<br>階上左より、小林正美、近藤経一、浜水正雄, 階下(下)<br>富氏恒雄、筆写、中山正則。(下)<br>大6(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 94×138 | ·【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 3 | | | 【封筒1】<br>瞬間·計画(フェルトペン、縦書、右) | | 大.九.六(下、赤鉛筆) | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店」 | 253×179 | 26(中央、赤鉛筆ヵ) | 55×78 | ·【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関　所蔵資料<br>情報1 所蔵機関<br>整理番号 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報2<br>台紙記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報3<br>備考 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報4<br>写真資料記載 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報5<br>写真資料法量 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報6<br>台紙情報詳細 | 他研究機関<br>所蔵資料 情報7<br>台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 33 | 1 | 4 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 林本源野前　半月池。大正15.5月。(下) | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店」 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 99×71 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 5 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×165 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 6 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 吉志郡二十村の闘牛。昭和20年、4月。作者不詳。(中央) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 71×98 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 7 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | ヤメ(右上、赤鉛筆)<br>5(上、赤鉛筆)<br>口門善陸。 昭和10.5月。(下)<br>10. 5(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 248×176 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 8 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 5(上、赤鉛筆)<br>10. 5(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 99×145 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 9 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | ヤメ(右上、赤鉛筆)<br>5(上、赤鉛筆)<br>大島沿岸の曳縄。左より筆者、小田桐忠次、仁部駿夫(下)<br>末広幸次郎　諸氏。 昭和10年、6月。(下)<br>10. 6(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 118×168 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 10 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | ヤメ(右)<br>5(上、赤鉛筆)<br>同前。若水にて。左より木内敬篤、鈴木勝文君、伊藤松宇、小山邦太郎、(下)<br>筆者等。 昭和15年、11月。(下)<br>15-11(右下、赤鉛筆) | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店」 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 63×128 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 11 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 5(上、赤鉛筆)<br>同前。 昭和15年、11月。(下)<br>15. 11(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 141×96 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 12 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 17. 7(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 91(中央、赤鉛筆) | 58×85 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・管江真澄の墓石 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 13 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 管江真澄墓の横面(右、ペン)<br>本反(中央、鉛筆) | 111×76 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・写真表に「横」とペンで書き込みあり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 14 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 北京　天壇にて。左より、牟田、志村、織田、増田、中原、筆者、(下)<br>吉岡、岡本、諸氏。 昭和18.5月(下)<br>18. 5(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 901(中央、鉛筆) | 116×158 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 15 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 18. 5(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 6レ(中央、鉛筆、「レ」はチェック印か) | 83×105 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 16 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 7(上、赤鉛筆)<br>26.6(右下、赤鉛筆) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | a(組いである2枚のそれぞれ中央) | 126×145 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・2枚の写真を継いでひとつの画像としている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 17 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 7(右上、赤鉛筆)<br>丁抹フリーランド。 1952作。(下) | 龍門雑誌原稿用紙25字×8行の原稿用紙 | 187×262 | 63(中央、赤鉛筆カ) | 11×79 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 18 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 7(右上、赤鉛筆)<br>ヤメ(右上)<br>N.Y.スローンケットリング癌研にて。(下)<br>杉浦美松博士と。 太田邦夫氏作。(下)<br>27-5-8(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 80×116 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 19 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 7(右上、赤鉛筆)<br>バンコック、仏塔。(中央やや下)<br>27(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | バンコック(中央、鉛筆)<br>ソナム河向こうの(中央、鉛筆)<br>寺院の塔(中央、鉛筆) | 113×79 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 20 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | (富士鳥)((下左より)<br>昭和30. 11月。(■))(下、赤鉛筆、、■は消し字) | 「PAPYRUS」罫線紙、縦書き | 229×179 | 63(右上、赤鉛筆カ) | 79×113 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 21 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 9(右上、赤鉛筆)<br>関門トンネル見学。 KDD社員作。 昭和31.11月(下) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 31(中央、赤鉛筆) | 72×113 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 22 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | ヤメ(右)<br>パレストリーナにて。左より、飯田、中根、筆者、木内。[昭和32.5月]　佐島氏作(下) | 柏葉拾遺頒布要領 | 172×252 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 87×129 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・柏葉拾遺頒布要領の裏紙を台紙としている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 23 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | スカンゼン。 手前は蜜蜂小屋。 1957.4月(下) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 86×129 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 24 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 保谷のにしたし(右下ややよ、赤鉛筆)<br>34.2(右下、写真の向きに対して直角、台紙の向きに順) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 128×176 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 25 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 34.4(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 922(中央、赤鉛筆)<br>3(中央、鉛筆) | 78×117 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 26 | 長野県 | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | 清水屋の土間からあがる上條嘉門治 | 45.7(右下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 163×118 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・高橋文太郎『山の人達』挿絵一の説明によると「明治四十五年夏、上高地清水屋にて、渋沢敬三子爵と同行の友人が撮影されたもの」とあり<br>・『大歩当棒録』p.353「清水屋に立ち寄り嘉門爺(明治45年7月、菊池雙二郎氏作？)」とあり | 『山の人達』挿絵一『大歩当棒録』「清水屋に立ち寄り嘉門爺(明治45年7月、菊池雙二郎氏作？)」 | | | | | | | | 渋沢敬三、菊池雙二郎氏 | 明治45年(1912年)～備考参照 | 上高地清水屋備考参照 | |
| 河1 | 33 | 1 | 27 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 5(上、赤鉛筆) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 90×150 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 28 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×165 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・写真の画面に149の番号有り、鳩に餌をやる男性の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 29 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×164 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 30 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 85×128 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 31 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 139×92 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 32 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 87×129 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 33 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×164 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 33 | 1 | 34 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×165 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 35 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×165 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 36 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 120(中央、丸で囲み字、ペンヵ)<br>250-20(中央、丸で囲み字、ペンヵ) | 104×152 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 37 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 252-13(中央、丸で囲み字、ペンヵ) | 130×99 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 38 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 165×121 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 39 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 121×164 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 40 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 下村海南、徳川宗敬氏等を所謂大納言の聟に迎える時国復一郎翁。(右)<br>一家全員の方にする(上、赤ペン)<br>ヤメ(上、赤ペン) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 時国家(上やや左、ペンヵ) | 115×161 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 41 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | [VASARI(2)ROMA 26795](中央、黒スタンプ) | 66×97 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 42 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 81(中央、赤鉛筆) | 85×109 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 43 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 記載なし | 86×128 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 44-1 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 13(中央、赤鉛筆)<br>7-15(中央、鉛筆) | 82×120 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-1-44-1～4はホチキス留めされていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 44-2 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」、「NISSHO BOND」「NNK」の透かしあり | 229×179 | 64(中央、赤鉛筆) | 75×114 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-1-44-1～4はホチキス留めされていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 44-3 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 64(中央、赤鉛筆) | 76×113 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-1-44-1～4はホチキス留めされていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 44-4 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 8(右上、赤鉛筆) | 無地、「文芸春秋特選」 | 229×179 | 64(中央、赤鉛筆) | 75×112 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-1-44-1～4はホチキス留めされていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 45 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 柏葉拾遺頒布要領 | 252×172 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 85×123 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・柏葉拾遺頒布要領の裏紙を台紙としている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 46 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 日本常民文化研究所原稿用紙25字×10行 | 258×179 | Hallriaws(中央、赤鉛筆)<br>24(中央、赤鉛筆)<br>1928.11.26(中央、赤鉛筆) | 83×109 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 47 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 日本常民文化研究所原稿用紙25字×10行 | 258×179 | 23(中央、赤鉛筆)<br>r675 ν(中央、鉛筆) | 107×83 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 48 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 同前。(やや右下) | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店」 | 253×179 | 30(中央、赤鉛筆) | 76×112 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 49 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | | 罫線紙、「日本銀行名古屋支店」 | 253×179 | 記載なし(台紙に貼り付けてあるため) | 71×99 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 50 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 記載なし | 79×84 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 51 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 記載なし | 122×165 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 52 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 記載なし | 165×121 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 53 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 大、11(赤鉛筆、下) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 【表】<br>大正十一年十月五日(縦書、左下)<br>敬三(縦書、左下)<br>【裏】<br>(澁澤智雄宛の葉書) | 87×137 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 54 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 【表】<br>[Naar het dorp(Marken)](キャプション、左下)<br>【裏】<br>[Printed in Holland.](切手欄に印刷、左上)<br>[D.B.M.41](右下) | 130×90 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 55 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 【表】<br>[Roma - Piazza S. Pietro vedula dalla Chiesa](キャプション、左下)<br>[40. Ernesto Richter-Ruma.](キャプション、右下) | 136×87 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 56 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 【表】<br>[UPPSALA. Domkyrkan.](キャプション、左下)<br>【裏】<br>[S.P. 15](青スタンプ、右上の切手欄、丸で囲み)<br>[FORI■■ NORISK KONST STOCKHOLM](キャプション、右) | 135×84 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書、絵の面に「10 ore」の切手の貼付あり、消印の「HOLM C」「24」の字が読み取れる | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 57 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | × | × | | 【表】<br>[Roma - Panorama da S. Pietro.](キャプション、左下)<br>[14. Ernesto Richter-Ruma.](キャプション、右下) | 87×136 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 58 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 大12,(下、赤鉛筆)<br>a28(右下) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | (刊行物の切り抜き、自動車の広告ヵ) | 102×141 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 59 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 大,12,(下、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | 【表】<br>[5892 LONDON BRIDGE. TORQUAY. - JUDGES' LTD.](キャプション、左下)<br>【裏】<br>[POSTCARD RCTURE](キャプション、上)<br>[By JUDGES LTD. HASTINGS.](キャプション、上) | 83×134 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 60 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | フロリダ。マリンランド。(左下) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 【表】<br>[Feeding Time - Marin Studio On Fla. A1A Marineland , Fla. 2-D-13.](キャプション、下)<br>【裏】<br>(台紙に貼り付けられているため詳細不明) | 88×138 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 61 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | ダルトムア。ローマンブリッジ。(左)<br>エハガキ。(右) | 角川書店原稿用紙20字×10行の原稿用紙 | 251×184 | 【表】<br>[6805 CLAPPER BRIDGE. POSTBRIDGE. DARTMOOR - JUDGES' LTD.](キャプション、左下)<br>【裏】<br>(台紙に貼り付けられているため詳細不明) | 84×134 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・絵葉書 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 62 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 8(右上、赤鉛筆) | 祭魚洞書屋20字×15行の原稿用紙 | 248×176 | | | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・渡部正雄博士作の「江戸川河口附近」地図、トレースしたものヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 1 | 63 | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右) | | 77(右上、赤鉛筆) | 罫線紙 | 246×176 | | | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・パンフレット「Welcome to GREENFIELD VILLAGE」 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 2 | 1 | | | 【封筒1】瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右)<br><br>【封筒2】<br>【表面】<br>東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中(縦書、中央)<br>【裏面】<br>茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子(縦書、右) | 土手のような場所に座る鹿野忠雄 | × | × | | 49(下、鉛筆) | 78×54 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-2ー1～2は包紙に包まれていた<br>・河1-33-2ー1～3は【封筒2】河1-33-2ー4の封筒に入っていた | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 33 | 2 | 2 | | | 【封筒1】瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右)<br><br>【封筒2】<br>【表面】<br>東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中(縦書、中央)<br>【裏面】<br>茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子(縦書、右) | 調査者と共に座る鹿野忠雄 | × | × | | 記載なし | 46×57 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-2ー1～3は包紙に包まれていた<br>・河1-33-2ー1～3は【封筒2】河1-33-2ー4の封筒に入っていた<br>・隣に写っているのは台北帝大人類学教室助手であった宮本延人ヵ | | | | | | | | | 不明 | 不明 | 不明 | |
| 河1 | 33 | 2 | 3 | | | 【封筒1】瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右)<br><br>【封筒2】<br>【表面】<br>東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中(縦書、中央)<br>【裏面】<br>茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子(縦書、右) | 渋沢敬三宛鹿野静子書簡(写真同封の件) | × | × | | | | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-2ー1～3は包紙に包まれていた<br>・河1-33-2ー1～3は【封筒2】河1-33-2ー4の封筒に入っていた<br>・5月17日澁澤敬三宛書簡、内容は写真の送付についてのこと、230×177<br>・写真を三枚送付した旨書かれているが、この河1-33-2には二枚しかない、消印から「35.5.17」と昭和35年五月十七日に送られたことが分かり、河1-33-2は『犬歩当棒録』(昭和36年9月発行)に掲載するために渋沢敬三が静子に写真提供を依頼したものと考えられ、同書p.80上段の写真(鹿野夫人の好意によるとのキャプションあり)が残りの1枚であったと考えられる | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 2 | 4 | | | 【封筒1】瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右)<br><br>【封筒2】<br>【表面】<br>東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中(縦書、中央)<br>【裏面】<br>茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子(縦書、右) | 封筒(東京都港区芝三田綱町 渋沢敬三先生 写真在中(縦書、中央) | × | × | | | 143×177 | ・【封筒1】河1-33-3の封筒に入っていた<br>・河1-33-2ー1～3を入れていた封筒【封筒2】(茅ヶ崎市小和田一八二二 鹿野静子)、143×177 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 33 | 3 | | | | 【封筒1】<br>瞬間・計画(フェルトペン、縦書、右)<br>【裏面】<br>[東京都] | 封筒「瞬間・計画」 | × | × | | | 367×238 | ・河1-33-1～2を入れていた東京都教育委員会の調査用封筒を転用【封筒1】(裏面、東京都と印字あり)、367×238 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 1 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | ソリ天秤 | × | × | | | 136×201 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・ソリ天秤の写真<br>・印刷物<br>・撮影者は不明だが、背景を白くする加工を行っていることから、撮影者は木川半之丞と推測される<br>・藤木喜久麿『新島採訪録』口絵第十二図に本資料の実測図が描かれている。また同書pp..31-32に本資料に関する調査報告が書かれている。 | 『新島採訪録』アチックミューゼアムノート第十一口絵「第十二圖 ソリ天秤」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 34 | 2 | | 滋賀県 | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 簗漁の様子 | × | × | | | 136×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物<br>・野洲川比江付近での簗漁の写真 | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第三圖　簗〔比江附近〕」 | | | | | | | | | | 野洲川比江付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第三圖　簗〔比江附近〕」 | |
| 河1 | 34 | 3 | | 滋賀県 | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 簗漁の様子 | × | × | | | 135×195 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物<br>・野洲川比江付近での簗漁の写真 | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第三圖　簗〔比江附近〕」 | | | | | | | | | | 野洲川比江付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第三圖　簗〔比江附近〕」 | |
| 河1 | 34 | 4 | 1 | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川乙久保付近の様子 | × | × | | | 134×196 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、1枚の紙に3点の写真が印刷されているうちのひとつ、河1-34-20-11-1～3と同じ写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」では「乙久保」と表記されているが「乙窪」が正しい | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第十二圖」 | | | | | | | | | | 野洲川乙窪付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 4 | 2 | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川比江付近及び乙久保付近の様子 | × | × | | | 134×196 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、1枚の紙に3点の写真が印刷されているうちのひとつ、河1-34-20-11-1～3と同じ写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」では「乙久保」と表記されているが「乙窪」が正しい | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第十二圖」 | | | | | | | | | | 野洲川乙窪付近及び比江付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 4 | 3 | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川比江付近、野洲川乙久保付近及び堤防上の道路の様子 | × | × | | | 134×196 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、1枚の紙に3点の写真が印刷されているうちのひとつ、河1-34-20-11-1～3と同じ写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」では「乙久保」と表記されているが「乙窪」が正しい。また同書掲載とは写真の並び順が異なる<br>・祝前掲書p.168に「野洲川の堤防も勿論、下流ほど高く其の上には一間幅の道路さへ通じて居る。堤防の外側にある耕地は内側の河床と殆んど水準を等しくしてゐるから極めて濕潤、あたかも沼澤の如き箇處が目に付く。しかも内側の舊河床には竹藪や桑畠などがあり、却つて乾燥せるやの觀がある」と書かれている | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第十二圖」 | | | | | | | | | | 野洲川乙窪及び比江付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 5 | | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料　二〇 | × | × | | | 137×198 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-12、河1-34-20-4に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..24-25に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第五圖〔二〇〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 6 | | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料　一 | × | × | | | 138×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-13、河1-34-20-3に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..1-2に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第四圖〔一〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 7 | | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料　二六ノ二 | × | × | | | 132×196 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-20-7に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..35-36に本資料の翻刻が記載されている<br>・本資料は文書の一部を抜粋して撮影している<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第八圖〔二六ノ二〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 8 | | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料　二六ノ一 | × | × | | | 135×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-20-6に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..34-35に本資料の翻刻が記載されている<br>・本資料は文書の一部を抜粋して撮影している<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第七圖〔二六ノ一〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 9 | | | | 農民日録　挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料　三〇 | × | × | | | 136×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-20-8に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』p.56に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第九圖〔三〇〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 34 | 10 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 五六 | × | × | | | 134×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-20-10に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』p.117に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第十一圖〔五六〕 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 11 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二五 | × | × | | | 133×197 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-20-5に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..30-31に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第六圖〔二五〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 12 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二〇 | × | × | | 現寸(右、鉛筆)<br>「野洲川」つづき(左、赤ペン) | 114×160 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-5、河1-34-20-4に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..24-25に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第五圖〔二〇〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 13 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 一 | × | × | | 現寸(右、鉛筆)<br>「野洲川」つづき(左、赤ペン) | 107×161 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・印刷物、河1-34-6、河1-34-20-3に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』pp..1-2に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第四圖〔一〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 14 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 琵琶湖北部の古地図 | × | × | | ×(ママ、鉛筆、中央やや上) | 107×144 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・琵琶湖北側の古地図の写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第二圖」に本資料と思われる写真が使われており、脚注に「大谷治雄氏蔵」と書かれている。大谷氏は三上神社の旧社家であり、同書の文書閲覧に関わった人物である | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第二圖 近江國古地圖〔部分〕〔元禄頃か〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 15 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 琵琶湖南部の古地図 | × | × | | ×(ママ、鉛筆、中央やや上) | 114×164 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・琵琶湖南側の古地図の写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第二圖」に本資料と思われる写真が使われており、脚注に「大谷治雄氏蔵」と書かれている。大谷氏は三上神社の旧社家であり、同書の文書閲覧に関わった人物である | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第二圖 近江國古地圖〔部分〕〔元禄頃か〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 16 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 三上大明神周辺の古地図 | × | × | | ←天地五寸→(縦書、右、鉛筆)<br>拡大(右、鉛筆)<br>野洲川史料(左、赤ペン) | 121×164 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・野洲川流域の一部の古地図、三上大明神など<br>・三上大明神周辺の地形や村落について記録した古地図ヵ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 17 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川河口付近の地図 | × | × | | | 245×169 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・琵琶湖の野洲川河口付近の白地図<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第一圖」の版下ヵ | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一圖 近江國野洲川流域略図」 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 18 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川河口付近の地図 | × | × | | | 334×273 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・琵琶湖の野洲川河口付近の白地図、手書き<br>・「大谷氏所蔵近江国古地図ヨリ(年代不明)」とあり。大谷氏は三上神社の旧社家であり、祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』の三上神社文書の閲覧に関わった人物である | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 19 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川河口付近の地図 | × | × | | | 320×260 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・琵琶湖の野洲川河口付近の白地図、手書き<br>・「陸地測量部地図ヨリ(五万分一)」とあり<br>・陸地測量部の作成した琵琶湖周辺の地図をトレースしたものヵ<br>・左上に「3」の番号が赤ペンで振ってある | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 1 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 近江國野洲川流域略圖 | [第一図 近江国野洲川流域略図](右上、印字したものを切り抜いて貼付)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 235×159 | | 167×114 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・台紙に貼ってあるものは琵琶湖の野洲川河口付近の白地図<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第一圖 近江國野洲川流域略圖」の版下ヵ<br>・題名は刊行物記載による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一圖 近江國野洲川流域略圖」 | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 2 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 近江國古地圖〔部分〕 | [第二図 近江国古地図 〔部分〕〔元禄頃か〕]第二図 近江国古地図 〔部分〕〔元禄頃か〕(上、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>[〔北〕]〔北〕(右、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものとと両方、〔 〕はママ)<br>木川半之亟代作(左下)<br>他ノ頃ヲ使用スル(左下、赤ペン)<br>[〔大谷治雄氏蔵〕]〔大谷治雄氏蔵〕(下、鉛筆 | | 227×305 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 153×210 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・台紙に貼られているのは、木下半之丞が古地図を接写したものの印刷ヵ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第二圖 近江國古地圖〔部分〕」の版下ヵ<br>・題名は刊行物記載による<br>・大谷治雄氏は三上神社の旧社家であり、同書の文書閲覧に関わった人物である | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第二圖 近江國古地圖〔部分〕〔元禄頃か〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 3 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 一 | [第四図〔一〕](右上、印字したものを切り抜いて貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 159×236 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 42×154 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・河1-34-6、河1-34-13に写っている文書と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第四圖」の版下ヵ<br>・同書pp..1-2に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第四圖〔一〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 4 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二〇 | [第五図〔二〇〕](右上、印字したものを切り抜いて貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 159×235 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 51×151 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・河1-34-5、河1-34-12に写っている写真と同じ<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第五圖」の版下ヵ<br>・同書pp..24-25に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第五圖〔二〇〕」 | | | | | | | | 大西道治 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 5 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二五 | [第六図〔二五〕〔二五〕](右上、印字したものを切り抜いて貼付、〔 〕はママ、二五の二つめはペン字)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 155×228 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 110×154 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史資料』「第六圖」の版下ヵ<br>・同書pp..30-31に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第六圖〔二五〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 6 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二六ノ一 | [第七図〔二六ノ一〕]第七図〔二六ノ一〕(右上、印字したものを切り抜いて同内容のペン書きの上に貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 155×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 63×152 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第七圖」の版下ヵ<br>・河1-34-8に写っている写真と同じ<br>・同書pp..34-35に本資料の翻刻が記載されている<br>・本資料は文書の一部を抜粋して撮影している<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第七圖〔二六ノ一〕 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 7 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 二六ノ二 | [第八図〔二六ノ二〕]第八図〔二六ノ二〕(右上、印字したものを切り抜いて同内容のペン書の上に貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 155×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 65×157 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第八圖」の版下ヵ<br>・河1-34-7に写っている写真と同じ<br>・同書pp..35-36に本資料の翻刻が記載されている<br>・本資料は文書の一部を抜粋して撮影している<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第八圖〔二六ノ二〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 8 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 三〇 | [第九図〔三〇〕]第九図〔三〇〕(右上、印字したものを切り抜いて貼付、印字は同内容のペン書の上に貼付されている、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 154×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 79×154 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第九圖」の版下ヵ<br>・河1-34-9に写っている写真と同じ<br>・同書p.56に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第九圖〔三〇〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 34 | 20 | 9 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 五二 | [第一〇図〔五二〕]第一〇図〔五二〕(右上、印字したものを切り抜いて同内容のペン書の上に貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 158×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 68×158 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第十圖」の版下カ<br>・同書pp..101-104に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一〇圖〔五二〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 10 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川簗漁業史資料 五六 | [第一一図〔五六〕]第一一図〔五六〕(右上、印字したものを切り抜いて同内容のペン書の上に貼付、〔 〕はママ)<br>野洲川(右下、鉛筆)<br>〈木川半之亟代作〉(左下、赤鉛筆で消し字) | | 158×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 68×156 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第一一圖」の版下カ<br>・河1-34-10に写っている写真と同じ<br>・同書p.117に本資料の翻刻が記載されている<br>・題名は文書番号による | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第十一圖〔五六〕」 | | | | | | | | 木川半之丞 | | | |
| 河1 | 34 | 20 | 11-1 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川付近の堤防上の道路の様子 | [第一二図]第一二図(右上、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>(考証篇)(右上、鉛筆)<br>[堤防上の道路]堤防上の道路(中央、写真の下、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 158×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 57×36 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・河1-34-20-11-1～3は同じ台紙に貼られている、写真は印刷物、河1-34-4-1～3と同じ写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第一二圖」の版下カ | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一二図」 | | | | | | | | | | 野洲川乙窪及び比江付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 20 | 11-2 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川乙久保付近の様子 | [第一二図]第一二図(右上、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>(考証篇)(右上、鉛筆)<br>[乙久保附近]乙久保附近(中央、写真の下、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 158×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 58×36 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・河1-34-20-11-1～3は同じ台紙に貼られている、写真は印刷物、河1-34-4-1～3と同じ写真<br>・写真脚注では「乙久保」と表記されているが「乙窪」が正しい<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第一二圖」の版下カ | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一二図」 | | | | | | | | | | 野洲川乙窪付近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 20 | 11-3 | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | 野洲川比江付近の様子 | [第一二図]第一二図(右上、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>(考証篇)(右上、鉛筆)<br>[比江附近]比江附近(中央、写真の下、ペン書きと印字したものを切り抜いて貼付したものと両方)<br>野洲川(右下、鉛筆) | | 158×227 | 記載なし(台紙に貼り付けられているため) | 58×36 | ・河1-34-21の封筒に入っていた<br>・河1-34-20-1～11はクリップで留められていた、野洲川関係図、写真版下綴り<br>・河1-34-20-11-1～3は同じ台紙に貼られている、写真は印刷物、河1-34-4-1～3と同じ写真<br>・祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第一二圖」の版下カ | 『近江國野洲川簗漁業史資料』アチックミューゼアム彙報第十八口絵「第一二図」 | | | | | | | | | | 野洲川比江附近祝宮靜『近江國野洲川簗漁業史』「第十二圖」 | |
| 河1 | 34 | 21 | | | | 農民日録 挿図(青鉛筆、縦書、右)<br>野洲川地図家口(墨書、縦書、左) | | × | × | | | | ・河1-34-1～20をいれていた封筒<br>・紙質劣化甚だしい | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 35 | | | | | | 年代別表、用紙欄外に神奈川大学経済学部とあり、財団常民研以降のものカ | × | × | | | 699×256 | ・神奈川大学経済学部の用箋二枚を継いでいる、699×256 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 1 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 現寸(右上、鉛筆) | 170×120 | ・草鞋の写真、片足のみ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 2 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 現寸(右上、鉛筆) | 164×120 | ・鍋敷きの写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 3 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 現寸(左、鉛筆)<br>オゴケ(右下、鉛筆) | 120×164 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 4 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 現寸(左上、鉛筆)<br>マギモノ(右下、鉛筆) | 120×164 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 5 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | No.18 2277 海、ヤロ Sige1/2 宮崎、南那珂・福島町(上、ペン) | 120×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 6 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 現寸(左上、鉛筆)<br>右カラ・(右下、鉛筆)<br>ツモ(右下、鉛筆)<br>イノツモ(右下、鉛筆) | 119×164 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 7 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 記載なし | 44×63 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 8 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 記載なし | 120×164 | ・天秤棒の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 9 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | 記載なし | 155×110 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 10 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | | | 131×171 | | 119×165 | ・台紙はハトロン紙付、写真は台紙から完全に剥がれている | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 11 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | 十一[第〈十〉図] 手木 〔不要〕(右上、「手木」までを鉛筆で丸囲み、「不要」は鉛筆、丸囲みの範囲を指した指示)<br>下 ハイライト(右下、鉛筆) | | 190×140 | | 95×108 | ・拓本カ | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 36 | 12 | | | | 三津町 重田禮志提 (小型) 計拾枚(縦書、中央) | | × | × | | | 232×84 | ・封筒、232×84 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 37 | 1 | | | | | ソリテンビンでダラを運ぶ女 | × | × | | 八切(上、鉛筆)<br>現寸(中央、鉛筆)<br>八切(下、鉛筆)<br>反り天秤でダラを運ぶ女(右下、鉛筆) | 141×93 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 37 | 2 | | | | | 第七図反り天秤 | × | × | | | 77×191 | ・図 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 37 | 3 | | | | | ソリテンビン図 | × | × | | | 121×169 | ・図 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 1 | | | | | | × | × | | 記載なし | 111×155 | ・扉の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 2 | | | | | | × | × | | 吾国の標柱(右上) | 107×152 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 3 | | | | | | × | × | | 露国の国境標(右上) | 150×107 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 4 | | | | | | × | × | | ロッペン鳥の卵(右上) | 105×150 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 5 | | | | | | × | × | | ギリヤークの女の子(右上) | 156×114 | ・写真裏面にギリヤークとオロッコのひとが日本人と見分けがつかないことについて文章あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 6 | | | | | | × | × | | 土人の人形(右上)<br>最左端の人形を入れてある器は白樺の木皮にて製せしもの(右) | 111×154 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 7 | | | | | | × | × | | 土人の鱒取り実況(右上) | 112×155 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 8 | | | | | | × | × | | 鱒猟の実況(右上) | 113×158 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 9 | | | | | | × | × | | 土人が収穫した鱒を背割にしているところ(右上) | 112×157 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 10 | | | | | | × | × | | オロッコ族とその家(丸木造りの家)(右上) | 153×112 | ・写真裏面に上衣の装飾や靴の説明あり | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 11 | | | | | | × | × | | 海豹島には未だ行きません(右上) | 112×158 | ・写真裏面に「来年海豹島に行く」旨と写真の説明有り | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 12 | | | | | | × | × | | ギリヤーク族(右上) | 114×158 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 13 | | | | | | × | × | | オットセイ(右上) | 112×156 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 14 | | | | | | × | × | | 海豹島の全景(右上) | 114×159 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 15 | | | | | | × | × | | ロッペン鳥(右上) | 113×156 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 16 | | | | | | × | × | | ギリヤークの女(右上) | 156×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 17 | | | | | | × | × | | 土人の用ふる揺籃とでも申すもので御座います(右上)<br>[半澤中商店発行 樺太東海岸敷香]の検印(右下、青スタンプ) | 164×121 | ・写真裏面に写真の揺籃とその後の壁についての説明有り | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 18 | | | | | | × | × | | ギリヤーク族とその家(右上)<br>[半澤中商店発行 樺太東海岸敷香]の検印(右、青スタンプ)<br>[No14](右下、青スタンプ) | 120×164 | ・写真裏面に写真の説明と「土人教育所」や「土人部族」の運動会への言及有り | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 19 | | | | | | × | × | | [半澤中商店発行 樺太東海岸敷香]の検印(右下、青スタンプ)<br>[No99](右下、青スタンプ) | 120×164 | ・写真は風葬の写真<br>・写真裏面に挨拶文、写真の説明有り | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 20 | | | | | | × | × | | [半澤中商店発行 樺太東海岸敷香]の検印(右下、青スタンプ)<br>[No21](右下、赤スタンプ) | 120×164 | ・写真は風葬の写真 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 21 | | | | | | × | × | | [半澤中商店発行 樺太東海岸敷香]の検印(右、青スタンプ)<br>[No74](右、青スタンプ) | 164×120 | ・写真は赤ん坊に授乳する女性 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 38 | 22 | | | | | | × | × | | No.70, 2282 ケケ下駄 宮崎県南那珂郡福島町 Sige1/3(上) | 121×165 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 39 | 1 | | 広島県 | | | わち魚のたも網すくい | × | × | | 小一号(右)<br>わち魚の<br>たも網掬ひ(以上、中央) | 41×55 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 2 | | 広島県 | | | 籠で煮たわち魚を乾す | × | × | | 小二号(右)<br>わち魚を<br>煮て籠で<br>乾す所(以上、中央)<br>左右三寸四分に(青鉛筆、左)<br>倍大する(青鉛筆、左) | 41×56 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p103 第9図「わち魚を煮て籠で乾す所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 3 | | 広島県 | | | 竹簀に乾したわち魚 | × | × | | 小 四号(右)<br>わち魚を<br>竹簀に<br>乾して<br>ある所(以上、中央) | 42×57 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 4 | | 広島県 | | | 波止場の橋の網干しと船に水を積む人 | × | | | 小五号(右)<br>波止場の橋<br>の網干しと<br>船に水をつ<br>む人(以上、中央) | 40×55 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 5 | | 広島県 | | | あまて魚、建網干し | × | × | | 小六号(右)<br>あまて？魚<br>建網干し(以上、中央、？は「て」の横にあり) | 41×58 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 6 | | 広島県 | | | 船溜の橋と子ども | × | × | | 小七号(右)<br>船溜の<br>橋と<br>子供(以上、中央) | 40×56 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 7 | | 広島県 | | | 鯛取網(五智網) | × | × | | 小八号(右)<br>ゴチ網<br>(鯛網)(以上、中央、( )はママ) | 41×57 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 8 | | 広島県 | | | 魚生簀を積む伝馬船と網干し | × | × | | 小拾号(右)<br>魚生簀<br>を積む<br>伝馬船<br>と網干(以上、中央) | 41×55 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 9 | | 広島県 | | | 蛸壷縄作業 | × | × | | 中拾号(右)<br>蛸壷縄作業(中央やや右) | 84×102 | ・資料にはハトロン紙および割付の寸法の指示が書かれた紙が四辺に貼り付けられており、指示は以下の通り<br>「カコイノ中原寸 (右側／鉛筆)<br>2寸5分 (上側横書／鉛筆)<br>一寸六分 (左側／鉛筆)」<br>また、写真には背景部分に修整が施してある、写真裏面記載文の中の「中拾号」は割付の指示のために貼られた紙の下側に書かれている<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p105 第10図「蛸壷縄作業」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 10 | | 広島県 | | | 蛸壷をからむ所 | × | × | | 中二号(右)<br>蛸壷をからむ所(赤ペン、中央やや右) | 82×111 | ・資料にはハトロン紙および割付の寸法の指示が書かれた紙が四辺に貼り付けられており、指示は以下の通り<br>「カコイノ中原寸 (右側／鉛筆)<br>2寸5分 (上部横書／鉛筆)<br>一寸八部五厘 (左側／鉛筆)」<br>また写真裏面記載文の中の「中 二号」は割付の指示のために貼られた紙の下側に書かれている<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三『安芸三津漁民手記』本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p105 第11図「蛸壷をからむ所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 39 | 11 | | 広島県 | 河1-39-39 | | 干蛸 | × | × | | 中拾六号(右)<br>干蛸(中央やや右) | 111×82 | ・資料にはハトロン紙および割付の寸法の指示が書かれた紙が四辺に貼り付けられており、指示は以下の通り<br>「カコイノ中、原寸（上側縦書／鉛筆）<br>1寸9分 （上側横書／鉛筆）<br>2寸5分 （右側縦書／鉛筆）」<br>また写真裏面記載文の中の「中 拾六号」は割付の指示のために貼られた紙の下側に書かれている<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p103<br>第12図「干蛸」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 12 | | 広島県 | | | 漁民家屋 | × | × | | 中 一号(右)<br>漁民家屋<br>(進家自宅ト小<br>進藤自宅ノ誤カ)(以上、赤ペン、中央) | 76×99 | ・写真裏面記載文「(進家自宅ト小進藤自宅ノ誤カ)」とは関連資料河1-39-41の進藤氏直筆と考えられる写真説明の誤りを指摘したものと考えられる<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 13 | | 広島県 | | | 鯛打と鯛打機械 | × | × | | 中三号(右)<br>鯛打ト<br>鯛打機械(以上、中央)<br>(原寸)(青鉛筆、左) | 71×98 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p83<br>第3図「鯛打と鯛打機械」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 14 | | 広島県 | | | 魚類共同販売所 | × | × | | 中四号(右)<br>魚類共同販売所(中央ややや右)<br>左右、二寸八分五厘(青鉛筆 中央ややや左)<br>タテ 二寸三分(青鉛筆、左) | 69×89 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられている、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による<br>・写真裏面にトリミングの指示線（青鉛筆）あり | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p113<br>第14図「魚類共同販売所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 15 | | 広島県 | | | カベリ(魚を盥に入れて売りまわる人) | × | × | | 中五号(右)<br>カベリ<br>魚ヲ盥ニ入レテ<br>売リマハル人(以上、中央)<br>(原寸)(青鉛筆、左)<br>タテ、三寸一分(青鉛筆、左)<br>ヨコ 二寸四分(青鉛筆、左) | 100×73 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、トリミングの指示線が書かれている、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による<br>・写真裏面にトリミングの指示線 （青鉛筆）あり | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p145<br>第17図「カベリ（魚を盥に入れて売りまはる人」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 16 | | 広島県 | | | カタギ(魚を籠に入れて売り廻る人) | × | × | | 中六号(右)<br>カタギ<br>魚を籠ニ入れて<br>売り廻ル人(以上、中央)<br>(原寸)(青鉛筆、左)<br>左右、二寸三分、(青鉛筆、左)<br>タテ二寸四分五厘(青鉛筆、左) | 74×98 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、トリミングの指示線が書かれている、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p145<br>第16図「カタギ（魚を籠に入れて売り廻る人」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 17 | | 広島県 | | | 五智網(鯖網)作業 | × | × | | 中七号(右)<br>ゴチ網、<br>鯖揚作業(以上、中央)<br>左右三寸四分一厘(青鉛筆、左)<br>タテ、ナリユキ(青鉛筆、左) | 84×117 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p99<br>第6図「ゴチ網・編揚作業」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 18 | | 広島県 | | | 五智網を干したところ | × | × | | 中八号(右)<br>ゴチ網<br>網を干した所(以上、中央)<br>原寸(青鉛筆、左) | 76×97 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p99<br>第7図「ゴチ網・網を干した所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 19 | | 広島県 | | | 鯖凍縞漁業の出漁準備のととのった所 | × | × | | 中九号(右)<br>鯖凍縞出漁<br>準備のととのっ(■)た所(以上、中央)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや右) | 76×98 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p103<br>第8図「鯖凍縞出漁準備のととのった所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 20 | | 広島県 | | | いか取網作業 | × | × | | 中拾一号(右)<br>(わち魚の)<br>(たも網掬ひ)<br>いか(■)取網作業 （以上、中央、消去線もペン） | 83×114 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 21 | | 広島県 | | | 蝦漕網の網干 | × | × | | 中拾二号(右)<br>蝦漕網の網干(中央ややや)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや左) | 77×98 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられている、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p111<br>第13図「蝦漕網の網干」「瀬戸内海西部の漁と暮らし」 神奈川大学日本常民文化叢書3 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 22 | | 広島県 | | | 鰹大敖網の大船と大幟 | × | × | | 中拾三号(右)<br>鰹大敖網の大船<br>と大幟(以上、中央)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや左) | 81×102 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p111<br>第5図「鰹大敖網の大船と大幟」「瀬戸内海西部の漁と暮らし」 神奈川大学日本常民文化叢書3 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 23 | | 広島県 | | | 老人の縄ない | × | × | | 中拾四号(右)<br>老人の縄ない(中央ややや右)<br>原寸(青鉛筆、中央)<br>(タテ、一寸四分)(青鉛筆、消去線は鉛筆、中央)<br>ヨコ （二寸七分五厘）三寸四分増(青鉛筆、消去線と「三寸四分増」は鉛筆、中央ややや左)<br>指定ワク内(鉛筆、左) | 79×111 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、トリミングの指示線・指示枠が書かれている、指示は以下の通り<br>「(2寸7分5厘） （枠の上側、青鉛筆、訂正／鉛筆）<br>（一寸四分） （枠の右側、青鉛筆、訂正／鉛筆）<br>左右3寸4分 （枠の下側）<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p83<br>第4図「老人の縄ない」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 24 | | 広島県 | | | あけ貝(貝の身をあける所) | × | × | | 中拾五号(右)<br>あけ貝<br>(貝の身をあける所)(以上、中央、（ ）はママ)<br>原寸ニテ(原寸)青鉛筆、(ニテ)鉛筆、中央ややや左)<br>左右、二寸五分<br>タテニ寸六分(以上、青鉛筆、左) | 78×100 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、トリミングの指示線が書かれている、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p113<br>第15図「あけ貝（貝の身をあける所」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 25 | | 広島県 | | | 帝国水難救済会三津政難組合救助手の整列と会旗 | × | × | | 中拾七号(右)<br>帝国水難救済会<br>三津政難組合<br>救助手の整列<br>と会旗(以上、中央) | 78×99 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 26 | | 広島県 | | | 帝国水難救済会より昭和九年九月の大暴風雨の際の救済により感謝状を受けたところ | × | × | | 中拾八号(右)<br>帝国水難救済会<br>より昭和九年九月<br>の大暴風雨の際の<br>救済により感謝状<br>を受けたところ(以上、中央) | 76×100 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 27 | | 広島県 | | | 三津救難組合の住吉祭出初式 当日救助手の人命救助競争 | × | × | | 中拾九号(右)<br>三津救難組合<br>の住吉祭出初式<br>当日救助手の<br>人命救助競争(以上、中央) | 78×99 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 28 | | 広島県 | | | 救助船光海号水難救済より波止場内に引あげた所 | × | × | | 中弐拾号(右)<br>救助船光海号<br>水難救済より<br>波止場内に引<br>あげた所(以上、中央) | 76×100 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 29 | | 広島県 | | | 土用丑の日 | × | × | | 中弐拾一号(右)<br>土用丑の日(中央ややや右)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや左) | 78×98 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、写真には背景部分に修整が施してある<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p191<br>第20図「土用丑の日」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 30 | | 広島県 | | | 住吉祭神輿出発の所 | × | × | | 中弐拾二号(右)<br>住吉祭<br>神輿出発<br>ノ所(以上、中央)<br>(原寸)(鉛筆、左) | 78×98 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p199<br>第22図「住吉祭の神輿」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 31 | | 広島県 | | | 氏神榊山八幡宮の拝殿 | × | × | | 中弐拾三号(右)<br>氏神<br>榊山八幡宮ノ<br>拝殿(以上、中央ややや右)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや左) | 76×100 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p199<br>第21図「氏神　榊山八幡宮の拝殿」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 32 | | 広島県 | | | 素戔神社祇園祭行列の出発 | × | × | | 中弐拾四号(右)<br>素戔神社<br>祇園祭<br>行列ノ出発(以上、中央) | 76×98 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 33 | | 広島県 | | | 素戔神社祇園祭の先払の鬼・天狗等 | × | × | | 中弐拾五号(右)<br>素戔神社<br>祭の先払の<br>鬼・天狗等(以上、中央)<br>原寸(青鉛筆、中央ややや左) | 76×100 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p191<br>第19図「素戔神社祇園祭の先払の鬼・天狗等」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 34 | | 広島県 | | | 住吉神社御旅所と浜若連中の創立を語る寛政二年奉献より引つづきの幟 | × | × | | 凸(青鉛筆、右上)<br>中弐拾六号(右)<br>住吉神社の旅所と<br>浜若連中ノ幟(以上、中央ややや右) | 101×82 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 35 | | 広島県 | | | 祇園祭にて一ヶ年中の三分の一の売上高を算する魚市場の賑い | × | × | | 大一号(右上)<br>祇園祭にて一ヶ年<br>中ノ三分ノーの<br>売上高を算する<br>魚市場の賑い(以上、中央ややや右) | 102×151 | ・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 36 | | 広島県 | | | しんめいさん(三柱大明神祭) | × | × | | 大四号(右上)<br>しんめいさん<br>(三柱大明神祭)(以上、中央ややや右、（ ）はママ) | 155×109 | ・写真裏面記載文「三柱大明神祭」は「二柱大明神祭」の誤りか、題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 37 | | 広島県 | 河1-39-40 | | 三津町沖合専用漁場潮の干潟 | × | × | | 左右<br>(1)1、海龍正梅寺<br>医王殿より見おろしたる<br>三津町沖合(以上、右、鉛筆)<br>(橋)<br>左右六寸縮<br>(タテ)ナリユキ(以上、中央ややや左、鉛筆、「横」「タテ」の（ ）はママ) | 75×199 | ・資料にはハトロン紙が貼り付けられており、トリミングの指示線が書かれており、写真には背景部分に修整が施してある<br>・題名は関連資料河1-39-41の写真説明およびアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」本文による | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p2第1図「三津町沖合専用漁場潮の干潟」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 38 | | 広島県 | | | 箱下駄 | × | × | | 記載なし | 54×72 | ・資料は刊行物のゲラ刷りと思われるが2点掲載されている打ちの左部分のみ | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p151<br>第18図「箱下駄」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 39 | | 広島県 | 河1-39-11 | | 干蛸 | × | × | | 記載なし | 139×101 | ・資料は刊行物のゲラ刷りと思われる | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p103<br>第12図「干蛸」 | | | | | | | | 進藤松司 | 不明 | 安芸津町三津 | |
| 河1 | 39 | 40 | | × | 河1-39-37 | | 三津町沖合専用漁場潮の干潟の絵解き | × | × | | | 190×225 | ・ハトロン紙に「三津町沖合専用漁場潮の干潟　写真」と題のついた地形の見取図が手書きされたもの、写真のトレースカ<br>・資料はアチック・ミューゼアム彙報第十三「安芸三津漁民手記」写真版第1図「三津町沖合専用漁場潮の干潟」の絵解きの原資料と思われ、掲載刊行物欄には同図版情報を記載した | 『安芸三津漁民手記』 アチック・ミューゼアム彙報第13p2第1図「三津町沖合専用漁場潮の干潟」 | | | | | | | | | | | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 39 | 41 | | × | | | 『安芸三津漁民手記』掲載写真等の説明 | × | 大西原稿用紙25字×10行 | | | 255×176 | ・原稿用紙左上に通し番号が記されているが「2」が2枚あり、誤記入と考えられる、原稿用紙右上にクリップ錆あと、資料周縁部に破れあり<br>・内容は以下の通り(全文)<br>1 (横書)<br>中一号 漁民家室 新家自宅<br>〃二号 蛸魚壷をから(ろ)む所 (訂正／鉛筆)<br>〃三号 綱打と綱打機械<br>〃四号 魚類共同販売所(魚市場)<br>〃五号 カベリ 魚を盥(たらい)に入れて売って廻る人 (訂正／鉛筆)<br>〃六号 カタギ 魚をカゴに入れて売って廻る人<br>〃七号 五智網(鯛網)作業 網を揚げたところ (「げ」追加／鉛筆)<br>〃八号 全網を干したところ<br>〃九号 蛸魚壷縄の出漁準備の出来たところ<br>〃拾号 蛸魚壷縄作業<br>2 (横書)<br>小一号 わち魚のたも網すくひ 籠 (「籠」追加／鉛筆)<br>小二号 わち魚を煮て籠(かご)で乾す所 籠 (「籠」文中訂正／鉛筆、文末追加／鉛筆)<br>小三号 わち魚を籠(かご)より竹簀ぶ拡げる所<br>小四号 わち魚を竹簀に乾してある所<br>小五号 波止場の橋の網干と船に水を積む人<br>小六号 あまて魚、建網干し<br>小七号 船溜の橋と子供<br>小八号 鯛取網(五智網)<br>小九号 魚生簀を積む伝馬船と網干<br>小十号 仝<br>2 (横書)<br>中拾一号 いか取網作業<br>〃拾二号 蝦蛺漕網の網干<br>中拾三号 鰡大敷網の大船と大幟 | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 39 | 42 | | × | | | 写真台紙 | × | × | | | 175×113 | | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 40 | 1 | | 東京都 | 河1-7-6<br>写3-21-44 | | ハジキ(巻貝)で遊ぶ少女たち | ハジキで遊ぶ少女. 小さい巻貝をハジキと呼んで種々<br>の遊び方がある。この図はハジキをミイミイゲイコ(ヒメアサリ)<br>の貝片ですくい取る遊びをしてゐる。<br>場所 新島本村原町、小川氏宅にて<br>日時 昭11.4.23. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 76×112 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第廿五圖 ハヂキ貝で遊ぶ守達.(本村原町小川氏庭前)小さい巻貝をハジキと呼んで、これで種々の遊びがある。本圖はハジキをミイミイゲイコ(ヒメアサリ)の貝殻ですくい取り合ふ遊びをしてゐるところである。」とあり<br>・河1-7-6と同じ少女たちが遊んでいる<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二十五圖「ハヂキ貝で遊ぶ守達」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月23日台紙記載による | 東京都新島村本村原町小川安次郎氏宅台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 2 | | 東京都 | 写3-11-7 | | 新島本村前浜遠景と抗火石を積んだ石積船と豚積船 | ○(鉛筆)<br>新島本村前浜の一望. 大三王子神社参道入口から大和田<br>までの前浜を一目に見たところ. 延長一里ある。前方にある船は石<br>積船で今抗火石を積んでゐる。遠く小さく見ゆるのは豚積船で。<br>前浜のはづれ水平線上に見ゆるのは利島である。<br>場所 新島本村大三王子神社入口ニテ<br>日時 昭和11.4.15. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 66×110 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第二圖 本村前濱 前濱の南端大三王子神社参道入口より大和田までの前浜全體を一望に見渡す. 延長約一里ある。水平線上に薄く見ゆるのは利島である。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二圖「本村前濱」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島村本村大三王子神社入口台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 3 | | 東京都 | 写3-11-8 | | 新島本村大三山から望む地内島 | 地内島、 新島前浜の前面にある無人島で昔は<br>この島の南方(写真の左方)小根のある附近が鰹の漁<br>場であったといふ。<br>場所 新島本村大三山々麓ニテ<br>日時 昭11.4.15. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 66×110 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第三圖 地内島 前濱の前面にある無人島で、昔はこの島の南端(寫真の左方)小根のある附近が鰹の漁場であったといふ。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第三圖「地内島」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島村本村大三山々麓台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 4 | | 東京都 | 写3-21-54 | | 新島本村前浜にある網納屋 | 網納屋<br>場所 新島本村前濱<br>日時 昭11.4.14. | SUPERFINE C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | 65×110 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第四圖 網納屋 (本村前濱にて)」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第四圖「網納屋」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村前濱台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 5 | | 東京都 | 写3-21-52 | | 新島本村前浜に揚げられた漁船 | 漁船<br>場所 新島本村前浜<br>日時 昭11.4.14. | SUPERFINE C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | 66×110 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第五圖 漁船 (本村前濱にて)」とあり<br>・手前に写っている船の名前は「佐火丸」と読める<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第五圖「漁船」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村前浜台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 6 | | 東京都 | 写3-11-20 | | 屋敷、大家(右側)とカマヤカタ(釜館、左側)、ナエバ(苗場) | 民家、 右が大家で左はカマヤカタ(釜館)であり、敷石<br>を境にした前方はナエバ(苗場)であって、今は芋種がふせ<br>てある.<br>場所 新島本村新町<br>日時 昭11.4.17. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 66×109 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第八圖 民家 (本村新町にて) 右が大家で其左は釜館である。庭を隔てゝ敷石を境とした前方は苗場で芋種がふせてあった。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第八圖「民家」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月17日台紙記載による | 東京都新島村本村新町台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 7 | | 東京都 | 写3-11-2 | | 庭にある唐臼 | ○(鉛筆)<br>唐臼(カラウス)。 麦、粟等の脱穀に用ひられる<br>最近電力の普及と共に製米所が出来てあまり用ひるこ<br>とも少なくなった。<br>場所 新島本村新町、宮川藤左衛門氏方<br>日時 昭11.4.17. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 66×110 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第九圖 唐臼 (本村新町にて) 多く庭の一隅入口の近くにある。麦粟等の脱穀に用ひる。最近は電力の普及と共に製米所が出來て用ひる事も少くなった。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第九圖「カラ臼」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月17日台紙記載による | 東京都新島村本村新町宮川藤左衛門氏宅庭台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 8 | | 東京都 | 写3-21-49 | | 垣根用の竹を切る女性 | 垣根用の竹を切る女. <これは>神津島の風俗が近來<br>新島、式根島に流入してゐる. これは神津島風俗<br>に最も近い。<br>場所 式根島野伏、清水平吉氏宅<br>日時 昭11.4.7. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 109×66 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第十圖 垣根用の竹を切る女」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第十圖「垣根用の竹を切る女」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月7日台紙記載による | 東京都新島村式根島野伏清水平吉氏宅台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 9 | | 東京都 | 写3-21-21 | | ミテゴン(三手越)の竹垣 | 左右二寸八分(縦書、鉛筆)<br>—(鉛筆)<br>下(鉛筆)<br>切ル(縦書、鉛筆)<br><br>竹垣。 新島の民家の垣の多くは竹垣であって<br>この編み方をミテゴン(三手越)といふ<br>場所 新島本村原町<br>日時 昭11.4.11. | SUPERFINE C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | 109×66 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.1に「第十一圖 竹垣 (本村原町にて) この垣の編み方は三手越シと云ふ。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第十一圖「竹垣」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月11日台紙記載による | 東京都新島村本村原町台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 10 | | 東京都 | | | 腰にマギモンを巻きモッコーを反り天秤に引掛けて肩にする女性(全身、正面) | 畑へ行く女、 空のモッコーを反りテンビンに引掛<br>けて肩にしてゐる. 腰に巻いてあるのはマギモンで帰<br>途収穫物を運ぶ時これを巻いて頭上にのせてテ<br>ンビンを捧ぐのである。<br>場所 新島本村 | SUPERFINE C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | 95×62 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨と考えられる<br>・『新島採訪録』p.2に「第十四圖 モッコーと天秤 空のモッコーを反り天秤に引掛けて肩にしてゐる。腰に巻いてゐるのはマギモンで、荷を運ぶ時にはこれを丸めて頭上に乗せて天秤を捧ぐのである。本圖は現在新島で賣つて居る風俗寫真に依った。」とあり、撮影は風俗寫真の接写と考えられる、そのため撮影者、撮影日(接写した日)は不明とした<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第十四圖「モッコーと天秤」 | | | | | | | | 不明 | 備考参照 | 東京都新島村本村台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 11 | | 東京都 | 写3-21-55 | | 浜から採った砂を入れた籠を背負う女性(全身、背面) | 籠を負ふ女.<br>場所 新島本村原町<br>日時 昭11.4.14. | SUPERFINE C.N.&Co.と透かしあり | 206×163 | 記載なし | 110×66 | ・ア−15,ア−16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第十五圖 カゴを負ふ老婆 (本村原町にて) 濱から砂を採つて歸ろところである。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第十五圖「カゴを負ふ老婆」 | | | | | | | | 藤木喜久磨 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村原町台紙記載による | |

| 目録番号 | | | | 都道府県・国 | 関連目録番号 | 外装記載 | 題名(仮) | 台紙記載 | 台紙情報詳細 | 台紙法量 | 写真資料記載 | 写真資料・外装法量 | 備考 | 引用・使用媒体 | 他研究機関 所蔵資料 情報1 所蔵機関 整理番号 | 他研究機関 所蔵資料 情報2 台紙記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報3 備考 | 他研究機関 所蔵資料 情報4 写真資料記載 | 他研究機関 所蔵資料 情報5 写真資料法量 | 他研究機関 所蔵資料 情報6 台紙情報詳細 | 他研究機関 所蔵資料 情報7 台紙法量 | 撮影者 | 撮影年月日 | 撮影地域 | 付箋 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 河1 | 40 | 12 | | 東京都 | 写3-21-50 | | オシメグイ(御注連杭) | 左右二寸七分(縦書、鉛筆)<br>—(鉛筆)<br>下(鉛筆)<br>切ル(縦書、鉛筆)<br><br>オシメグイ．神主、祝吏、祢宜、すべて神職の家の門口に建<br>てられてゐる．初めは両方の柱に葉付きの青竹を添えるの<br>であるが今は枯れ落ちて枝だけになつてゐた。<br>場所　新島本村十三社明神神主前田健二氏宅<br>日時　昭11.4.17. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 110×66 | ・ア-15,ア-16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第廿一圖　オシメグイ　(十三社神社々司前田健二氏邸)　両方の柱に添へた竹は葉付きの青竹であるが、四月にはすつかり枯れ落ちて枝だけになつてゐた。」とあり、また同書p.36に「オシメグイ(御注連杭)(中略)これより内をば清浄な地として區劃するものだと云ふ。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二十一圖「オシメグイ」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月17日台紙記載による | 東京都新島村本村原町十三社明神神主前田健二氏宅台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 13 | | 東京都 | 写3-21-9 | | ハナ(削り掛け) | ハナ　この美しい花は十三社明神の随臣門の前にあっ<br>た．又境内の小祠の前にも立って居た形跡があった．<br>昔は民家でも門松の跡へこれを立てたが或年大漁の<br>為め作る暇が無くて立てなかった夫れ以来民家では<br>立てないと云ふ<br>場所　新島本村十三社明神<br>日時　昭11.4.14. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 110×67 | ・ア-15,ア-16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第廿二圖　ハナ　(十三社神社随臣門前)」とあり、また同書p.39に「正月の内飾りを取除き、シラアダンゴと云つて門松に用ひた竹の枝に餅を五分位の賽の目に刻んで幾つも附けたもの、又ハナと云つて桑の木の削掛けを竹の枝に附けたもの、幷に俵木と云つてコメゴメの木で米俵の形を作つて、年神棚、神棚、床間等供餅を飾つた跡へ供へる。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二十二圖「正月のハナ」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月14日台紙記載による | 東京都新島村本村原町十三社明神神主台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 14 | | 東京都 | 写3-21-36 | | 花を頭に捧いで墓参りに向かう女性と少女 | 墓参りに行く老婆．島の女は毎日必ず墓参に行く．<br>これは今墓前に供へる花をサヽイで墓地(ダントー)に<br>行くところである。<br>場所　新島本村原町<br>日時　昭11.4.26. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 110×65 | ・ア-15,ア-16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第廿三圖　墓参りに行く老婆．(本村原町)　島の女は毎日必ず朝夕に墓参に行く。本圖は今墓前に供へる花(ツヽジ)を捧いで墓地へ行くところ。背負つた籠の中にダントー桶が入れてある。」とあり<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二十三圖「墓参りに行く老婆」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月26日台紙記載による | 東京都新島村本村原町台紙記載による | |
| 河1 | 40 | 15 | | 東京都 | 写3-11-19 | | 浜の砂丘で防風を摘んでいる子供達 | 防風を採る子供達．磯遊びの帰りがけに濱の砂丘で防風をつんでゐる子供達．前方の<br>子供の肩から吊げて居る篭はタベロツコで中には<br>海草(主として天草)が入れてあった．<br>場所　新島本村新町<br>日時　昭11.4.15. | 錨と日本国旗と日章旗、星に桜の透かしあり | 206×162 | 記載なし | 62×109 | ・ア-15,ア-16など新島に関わる写真資料の台紙貼付や台紙記載などの状況から撮影者は藤木喜久磨、また、『新島採訪録』p.1「まえがき」に「本年四月伊豆の新島へ民具採集に出張した際、島の人達から明治初期中期に於ける島の漁業並に民俗に関する話を聞く事が出来た。(中略)新島へは前回の渡島から十年振りであった。この十年間の島の変り方は真に驚くべきものであった。今回の滞在期間は七日から廿七日までの約三週間であった」とあり、撮影年月日はこれによる<br>・『新島採訪録』p.2に「第廿四圖　防風を摘む子供達　(本村新町海岸にて)　磯遊びの歸りがけ濱の砂丘に防風を摘んでゐる、前方の子供の肩に掛けてゐる籠はタベロツコで、中には海草(主として天草)が入れてあった。」とあり<br>・「防風」とはハマボウフウなどの野草と考えられる<br>・河1-40-1～15はクリップで留められていた | 『新島採訪録』口絵第二十四圖「防風を摘む子供達」 | | | | | | | | 藤木喜久麿 | 昭和11年(1936年)4月15日台紙記載による | 東京都新島村本村新町台紙記載による | |
| 河1 | 41 | 1 | | × | | 行徳塩ノ図バン三枚(鉛筆、縦書、右)<br>4/15〆(赤鉛筆、縦書、中央)<br>カヂ西口御存和(鉛筆、縦書、左)<br>行徳ノ塩(フェルトペン、縦書、左) | | × | × | | 記載なし | 153×106 | ・河1-41-4の封筒に入れられていた | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 41 | 2 | | × | | 行徳塩ノ図バン三枚(鉛筆、縦書、右)<br>4/15〆(赤鉛筆、縦書、中央)<br>カヂ西口御存和(鉛筆、縦書、左)<br>行徳ノ塩(フェルトペン、縦書、左) | | × | × | | 記載なし | 156×112 | ・河1-41-4の封筒に入れられていた<br>・河1-41-1に写っている絵画の部分を拡大したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 41 | 3 | | × | | 行徳塩ノ図バン三枚(鉛筆、縦書、右)<br>4/15〆(赤鉛筆、縦書、中央)<br>カヂ西口御存和(鉛筆、縦書、左)<br>行徳ノ塩(フェルトペン、縦書、左) | | × | × | | 記載なし | 155×103 | ・河1-41-4の封筒に入れられていた<br>・河1-41-1に写っている絵画の部分を拡大したもの | | | | | | | | | | | | |
| 河1 | 41 | 4 | | × | | 行徳塩ノ図バン三枚(鉛筆、縦書、右)<br>4/15〆(赤鉛筆、縦書、中央)<br>カヂ西口御存和(鉛筆、縦書、左)<br>行徳ノ塩(フェルトペン、縦書、左) | | × | × | | | 198×142 | ・河1-41-1～3の資料が入っていた<br>・「純国産印画紙　サザナミ」の封筒、198×142 | | | | | | | | | | | | |